(財)米子市教育文化事業団
文化財発掘調査報告書 64

鳥取県米子市

BAKU ROU MACHI

博労町遺跡

第2分冊

理科学的分析
特　　論
遺物観察表
写真図版編

2011.3

財団法人　米子市教育文化事業団

正誤表

(財)米子市教育文化事業団　文化財発掘調査報告書 64

鳥取県米子市　『博労町遺跡』

お手数ですが、以下のとおり訂正の上御活用下さい。

頁	訂正箇所	誤	正
第2分冊・108頁	遺構情報の時期欄	9世紀	9世紀前半
第2分冊・108頁	遺物情報の鉄関連遺物全体構成欄	土器(被熱滓付)	土器(被熱滓付き)
第2分冊・108頁	総括の整理・解析欄、4行目文末	4:16:80:0となる。	1:4:20:0となる。
第2分冊・108頁	総括の時期欄	・出土土器による年代観は、9世紀前半と見られる。	・鉄関連遺物廃棄土坑の年代観は、出土した遺物から9世紀前半と見られる。

㈶米子市教育文化事業団
文化財発掘調査報告書 64

鳥取県米子市

BAKU ROU MACHI

博労町遺跡

第2分冊

理科学的分析
特　　論
遺物観察表
写真図版編

2011.3

財団法人　米子市教育文化事業団

目　　次

（第２分冊）
第Ⅶ章　理科学的分析
第１節　博労町遺跡における自然科学分析……（株式会社古環境研究所）　1
第２節　博労町遺跡における種実同定……（株式会社古環境研究所）　14
第３節　博労町遺跡における放射性炭素年代測定……（株式会社古環境研究所）　22
第４節　博労町遺跡出土製鉄・鍛冶関連遺物の金属学的調査
……（九州テクノリサーチ・TACセンター　大澤正己・鈴木瑞穂）　25

第Ⅷ章　特論
第１節　弥生時代終末～古墳時代前期土器の検討……（濱野）　40
第２節　弥生時代終末～古墳時代の遺構の変遷……（濱野）　50
第３節　博労町遺跡における古代の遺物と遺構の検討……（濱野）　53
第４節　出土文字資料からみる博労町遺跡の性格について
……（出雲市文化財課　高橋　周）　58
第５節　博労町遺跡出土の土錘について……（平木）　67
第６節　博労町遺跡出土の石器について……（濱野）　71
第７節　博労町遺跡出土鉄関連遺物の調査……（佐伯）　77
第８節　博労町遺跡出土中世遺物の検討
―錦町第一遺跡出土中世資料と比較して―……（濱野）　109
第９節　博労町遺跡の中世畠跡の検討……（濱野）　118
遺物観察表
写真図版

（第１分冊）
第Ⅰ章　調査の経緯
第１節　調査に至る経緯……（平木）　1
第２節　調査の体制……（平木）　1
第３節　調査日誌抄……（濱野）　3

第Ⅱ章　遺跡概観……（濱野）　4
第１節　自然、地理的環境……4
第２節　歴史的環境……5

第Ⅲ章　調査の概要……（濱野）　11
第１節　測量方眼の設定と調査の方法……11
第２節　土層堆積状況……12

第Ⅳ章　検出した遺構と遺物……（濵野）　18
第１節　弥生時代終末～古墳時代……18
(1)　掘立柱建物跡……24
(2)　竪穴住居跡……26
(3)　土坑……92
(4)　溝状遺構……96

第２節　古代……130
(1)　掘立柱建物跡……（濵野）132
(2)　柵列……（濵野）167
(3)　竪穴住居跡……（濵野）170
(4)　竈……（濵野）173
(5)　井戸……（濵野）175
(6)　鍛冶関連遺物廃棄土坑……（佐伯）180
(7)　土壙墓……（濵野）181
(8)　土坑……（濵野）182
(9)　溝状遺構……（濵野）194
(10)　道路状遺構（硬化面）……（濵野）224
(11)　ピット……（濵野）226

第３節　中世……（濵野）230

第４節　近世以降……（濵野・佐伯）266
(1)　井戸……266
(2)　溝状遺構……289
(3)　石列……296

第Ⅴ章　遺構外の出土遺物……（濵野）297
第１節　弥生時代～古代の遺物……（濵野）297
第２節　中世の遺物……（濵野・佐伯）360
第３節　近世以降の遺物……（濵野・佐伯）362
第４節　表採遺物……（濵野）364

第Ⅵ章　まとめ……（濵野）372

写真図版目次

巻頭PL１．　調査地全景（南西方向から３区を望む）
巻頭PL２．　調査地全景（３区を望む）
調査地全景（南東方向から３区を望む）
調査地全景（北東方向から３区を望む）
調査地全景（北西方向から３区を望む）
異形勾玉
辻玉
図版１．　調査前状況
１区　最終面全景
２区　最終面全景
３区　最終面全景
４区　最終面全景
５区　最終面全景
堆積状況
調査終了後状況
図版２．　１区　SI01
１区　SI02
１区　SI03
１区　SI04･05･06
１区　SI06遺物出土状況
２区　遺構検出状況
２区　SI02（西から）
２区　SI02（南から）
図版３．　２区　SI03
２区　SI03遺物出土状況
２区　SI04（南東から）
２区　SI04（南西から）
２区　SI04ベッド状遺構
２区　SI04遺物出土状況
作業風景
図版４．　３区　SI01
４区　SI01･05
４区　SI02
４区　SI02遺物出土状況
４区　SI03
４区　SI03遺物出土状況
４区　SI04
４区　SI06
図版５．　５区　SI01
５区　SI01･02･03･17･18（西から）
５区　SI04
５区　SI04　Pit内遺物出土状況
５区　SI05
５区　SI03･04･05･08
５区　SI07　中央ピット土堤
５区　SI07
図版６．　５区　SI06･07
５区　SI09
５区　SI10･11（北東から）
５区　SI10･11（南西から）
５区　SI01･02･09･16･19･18　SK17
５区　SI09･10･11　SK06･07･08･09
５区　SI12
５区　SI14
図版７．　５区　最終状況（南東から）
５区　SB01
１区　SD02完掘状況（１区）
１区　SD02遺物出土状況（１区）
１区　SD02遺物出土状況
１区　SD02遺物出土状況（４区）
１区　SD02遺物出土状況
図版８．　１区　SK05遺物出土状況
１区　SK05完掘状況
５区　SK06
５区　SK07
５区　SK12
３区　柱穴群
５区　SD11
５区　SD11断面
図版９．　２区　SD05（北東から）
２区　SD05（南側から）
２区　SD06
２区　SD11･12
３区　SD04
遺物出土状況
図版10．　４区　SD05
遺物出土状況
４区　SD07
４区　SD11
５区　溝全景（西から）

5区　溝全景（南西から）
図版11.　2区　SX01
3区　鍛冶関連遺物廃棄土坑
3区　土壙墓
3区　土壙墓内遺物出土状況
3区　SK10
作業風景
図版12.　3区　SK08
3区　SK09
2区　SK09
5区　竈跡
土層剥取り状況
図版13.　3区　畝全景
1区　畝全景
2区　畝全景
4区　畝全景
5区　畝全景
図版14.　中世畠跡全景（合成写真）
図版15.　足跡
3区　SD02
1区　畝中遺物出土状況
4区　竪穴状畝
1区　畝中遺物出土状況
4区　水溜状遺構
5区　畦10
遺物出土状況
図版16.　2区　硬化面
2区　硬化面断面
5区　硬化面（西側から）
5区　硬化面（東側から）
1区　SK01
1区　SK03
2区　SK01木枠
2区　SK01
図版17.　2区　SK02
2区　SK04
2区　SK05
2区　SK06
2区　SK07
2区　SK08
3区　SK01
図版18.　3区　SK02
3区　SK02内木枠
3区　SK03
4区　SK01
4区　SK02
4区　SK05
4区　SK03
4区　SK03　柄列
図版19.　4区　SK08
4区　SK09
5区　SK01
5区　SK02
5区　SK03
1区　石列
図版20.　作業風景
図版21.　1区　遺構出土遺物
図版22.　1区　遺構出土遺物
図版23.　1区　SD02出土遺物
図版24.　1区　SD02出土遺物
図版25.　1区　SD02出土遺物
図版26.　1区　SD02出土遺物
図版27.　1区　SD02出土遺物
図版28.　1区　遺構出土遺物
図版29.　2区　遺構出土遺物
図版30.　2区　SI04出土遺物
図版31.　2区　SI04出土遺物
図版32.　2区　SI04出土遺物
図版33.　2区　SI04出土遺物
図版34.　2区　遺構出土遺物
図版35.　2・3区　遺構出土遺物
図版36.　3区　遺構出土遺物
図版37.　4区　遺構出土遺物
図版38.　4区　遺構出土遺物
図版39.　4・5区　遺構出土遺物
図版40.　5区　遺構出土遺物
図版41.　5区　遺構出土遺物
図版42.　5区　遺構出土遺物
図版43.　5区　遺構出土遺物
図版44.　5区　遺構出土遺物
図版45.　中世畝・中世包含層出土遺物
図版46.　中世畝・中近世包含層・包含層出土遺物
図版47.　中世包含層・包含層出土遺物
図版48.　包含層出土遺物
図版49.　包含層出土遺物
図版50.　包含層・表採遺物

図版51.　表採遺物
　　墨書土器
　　包含層出土遺物
図版52.　鉄製品
　　窯体付着須恵器
　　土錘
　　漆器
　　木製品

第Ⅶ章　理科学的分析

第１節　博労町遺跡における自然科学分析

株式会社　古環境研究所

Ⅰ．プラント・オパール分析

１．はじめに

植物珪酸体は、植物の細胞内にガラスの主成分である珪酸（SiO_2）が蓄積したものであり、植物が枯れたあとも微化石（プラント・オパール）となって土壌中に半永久的に残っている。プラント・オパール分析は、この微化石を遺跡土壌などから検出して同定・定量する方法であり、イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定および古植生・古環境の推定などに応用されている（杉山　2000）。また、イネの消長を検討することで埋蔵水田跡の検証や探査も可能である（藤原・杉山　1984）。

２．試料

分析試料は、中世の畝状遺構検出面において採取された10点である。試料の内訳は、２区畠５（№20068、№20069）、３区畠６（№30025、№30026）、４区畠９（№30187、№30188、№30291、№30292）、５区畠10（№30150、№30151）である。なお、試料は遺跡の調査担当者によって採取されたものである。

３．分析方法

プラント・オパールの抽出と定量は、プラント・オパール定量分析法（藤原　1976）をもとに、次の手順で行った。

１）試料を105℃で24時間乾燥（絶乾）
２）試料約１gに直径約40μmのガラスビーズを約0.02g添加
（電子分析天秤により0.1mgの精度で秤量）
３）電気炉灰化法（550℃・６時間）による脱有機物処理
４）超音波水中照射（300W・42KHz・10分間）による分散
５）沈底法による20μm以下の微粒子除去
６）封入剤（オイキット）中に分散してプレパラート作成
７）検鏡・計数

検鏡は、おもにイネ科植物の機動細胞（葉身にのみ形成される）に由来するプラント・オパールを同定の対象とし、400倍の偏光顕微鏡下で行った。計数は、ガラスビーズ個数が400以上になるまで行った。これはほぼプレパラート１枚分の精査に相当する。

検鏡結果は、計数値を試料１g中のプラント・オパール個数（試料１gあたりのガラスビーズ個数に、計数されたプラント・オパールとガラスビーズの個数の比率を乗じて求める）に換算して示した。ま

た、おもな分類群については、この値に試料の仮比重と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体１個あたりの植物体乾重、単位：10^{-5}g）を乗じて、単位面積で層厚１cmあたりの植物体生産量を算出した。イネ（赤米）の換算係数は2.94（種実重は1.03）、ヨシ属（ヨシ）は6.31、ススキ属（ススキ）は1.24、メダケ節は1.16、ネザサ節型は0.48、チマキザサ節は0.75である（杉山　2000）。

4．結果

分析試料から検出されたプラント・オパールは、イネ、キビ族型、ヨシ属、ススキ属型、チガヤ属、シバ属、タケ亜科（メダケ節型、ネザサ節型、チマキザサ節型、その他）および未分類である。これらの分類群について定量を行い、その結果を第１表、第１図に示した。主要な分類群については顕微鏡写真を示す。以下に、プラント・オパールの検出状況を記す。

１）２区畠５（試料20068、試料20069）（第１分冊第309図）

試料20068では、イネが高い密度で検出され、ススキ属型も高密度である。他にキビ族型、ヨシ属、チガヤ属、シバ属、メダケ節型、ネザサ節型が低い密度で検出された。

試料20069では、イネは検出されるもののやや低い密度である。ススキ属型とシバ属が比較的高い密度である。他にキビ族型、チガヤ属、ネザサ節型が低密度で検出された。

２）３区畠６（試料30025、試料30026）（第１分冊第315図）

いずれの試料もイネが高い密度で検出された。その他では、試料30025でヨシ属、ススキ属型、シバ属、メダケ節型、ネザサ節型が、試料30026では、キビ族型、ヨシ属、ススキ属型、チガヤ属、シバ属、ネザサ節型がそれぞれ検出された。試料30026でススキ属型が高い密度である以外はいずれも低い密度である。

３）４区畠９（試料30187、試料30188、試料30291、試料30292）（第１分冊第319図）

各試料ともイネが高い密度で検出された。キビ族型は試料30187のみで、チマキザサ節型は試料30291のみで検出された。ヨシ属、ススキ属型、チガヤ属、シバ属、ネザサ節型は４試料すべてで検出された。このうち、ススキ属型は試料30292で非常に高い密度であり、他の試料でも高い密度である。ネザサ節型も試料30187、試料30188、試料30292で比較的高い密度である。メダケ節型は試料30188と試料30291で検出されたがいずれも低密度である。

４）５区畠10（試料30150、試料30151）（第１分冊第323図）

いずれの試料もイネが高い密度で検出された。キビ族型、ヨシ属、ススキ属型、シバ属、ネザサ節型も両試料で検出された。試料30151でススキ属型とネザサ節型が高い密度である以外は、いずれも低い密度である。その他では、試料30150ではメダケ節型とチマキザサ節型が、試料30151ではチガヤ属が検出されたが、これらも低い密度である。

5．考察

稲作跡の可能性を判断する際の目安は、試料1gあたりおよそ5,000個/g以上の密度でイネ機動細胞プラント・オパールが検出された場合とされている。ただし、近年の調査において2,000～3,000個/g程度の密度でも水田遺構が検出されている例があることから、ここでは判断の基準を3,000個/gとして検討を行った。

中世の遺構検出面では、すべての試料でイネのプラント・オパールが検出されている。プラント・オパール密度は1,800～7,200個/gであり、2区の№20069を除くといずれも稲作跡の可能性を判断する際の基準値である3,000個/gを超過している。したがって、当該遺構検出面ではほぼ全域において稲が作付けられていた可能性が考えられる。

プラント・オパール分析で同定が可能な分類群のうち、イネ以外で栽培植物が含まれるものには、ムギ類、ヒエ属型（ヒエが含まれる）、エノコログサ属型（アワが含まれる）、キビ属型（キビが含まれる）、ジュズダマ属（ハトムギが含まれる）、オヒシバ属（シコクビエが含まれる）、モロコシ属型、トウモロコシ属型などがあるが、今回の調査区ではこれらは確認されなかった。したがって、これらの植物が栽培されていた可能性については肯定することはできない。また、イネ科栽培植物の中にはまだ検討が十分でないものもあるため、その他の分類群の中にも栽培種に由来するものが含まれている可能性が考えられるが、現時点ではこれらを特定することはできない。なお、プラント・オパール分析で同定される分類群は主にイネ科植物に限定されるため、根菜類などの畑作物は分析の対象外となっている。したがって、イモ類、根菜類およびその他の野菜類が栽培されていた可能性については言及できない。

なお、今回の調査区で分析を実施した10箇所におけるイネプラント・オパール密度の平均値は4,200±1,500個/gと高い値であり、水田における検出密度に匹敵する。検出面は畝状（畠状）遺構であることから、畑稲作が行われていたと思われるが、あるいは田畑輪換がなされていた可能性も考えられる。

その他の分類群では、ススキ属型とシバ属がすべての試料で、ヨシ属とチガヤ属は大半の試料で検出されている。このうちススキ属型は全体に高い密度であり、ヨシ属は少量である。こうしたことから、調査地一帯は概ね乾いた環境であり、ススキ属、シバ属およびチガヤ属が生育していたと推定される。

（引用・参考文献）

杉山真二　2000「植物珪酸体（プラント・オパール）」『考古学と植物学』同成社，p. 189-213.

杉山真二・松田隆二・藤原宏志　1988「機動細胞珪酸体の形態によるキビ族植物の同定とその応用－古代農耕追求のための基礎資料として－」『考古学と自然科学』20　同成社，p. 81-92.

藤原宏志　1976「プラント・オパール分析法の基礎的研究(1)－数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法－」『考古学と自然科学』9　同成社，p. 15-29.

藤原宏志・杉山真二　1984「プラント・オパール分析法の基礎的研究(5)－プラント・オパール分析による水田址の探査－」『考古学と自然科学』17　同成社，p. 73-85.

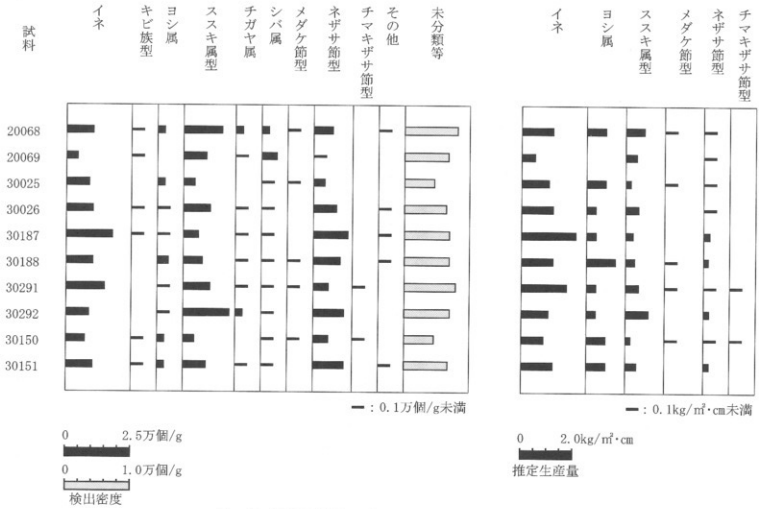
第1表　博労町遺跡のプラント・オパール分析結果

検出密度（単位：×100個/g）

分類群（和名・学名）／試料		2区		3区		4区				5区	
		20068	20069	30025	30026	30187	30188	30291	30292	30150	30151
イネ科	Gramineae (Grasses)										
イネ	*Oryza sativa*	42	18	36	42	72	42	60	36	30	42
キビ族型	Paniceae type	6	6		6	6				6	6
ヨシ属	*Phragmites*	12		12	6	6	18	6	6	12	12
ススキ属型	*Miscanthus* type	60	36	18	42	24	30	42	72	18	36
チガヤ属	*Imperata*	12	6		6	6	6	6	12		6
シバ属	*Zoysia*	12	24	6	6	6	6	6	6	6	6
タケ亜科	Bambusoideae (Bamboo)										
メダケ節型	*Pleioblastus* sect. Medake	6		6			6	6		6	
ネザサ節型	*Pleioblastus* sect. Nezasa	30	6	18	36	54	42	24	48	24	48
チマキザサ節型	*Sasa* sect. Sasa etc.							6		6	
その他	Others	6			6	6	6				6
未分類等	Unknown	204	169	115	161	173	173	197	175	114	168
プラント・オパール総数		390	265	211	311	353	329	353	355	222	330

おもな分類群の推定生産量（単位：kg/㎡・cm）：試料の仮比重を1.0と仮定して算出

イネ	Oryza sativa	1.23	0.53	1.07	1.23	2.11	1.23	1.76	1.06	0.88	1.24
ヨシ属	*Phragmites*	0.76		0.76	0.38	0.38	1.13	0.38	0.38	0.76	0.76
ススキ属型	*Miscanthus* type	0.74	0.45	0.22	0.52	0.30	0.37	0.52	0.90	0.22	0.45
メダケ節型	*Pleioblastus* sect. Medake	0.07		0.07			0.07	0.07		0.07	
ネザサ節型	*Pleioblastus* sect. Nezasa	0.14	0.03	0.09	0.17	0.26	0.20	0.11	0.23	0.12	0.23
チマキザサ節型	*Sasa* sect. Sasa etc.							0.04		0.04	



第１図　博労町遺跡のプラント・オパール分析結果

Ⅱ．花粉分析

1．はじめに

花粉分析は、一般に低湿地の堆積物を対象とした比較的広域な植生・環境の復原に応用されており、遺跡調査においては遺構内の堆積物などを対象とした局地的な植生の推定も試みられている。花粉などの植物遺体は、水成堆積物では保存状況が良好であるが、乾燥的な環境下の堆積物では分解されて残存していない場合もある。

2．試料

分析試料は、2区から採取された畠5試料20068、試料20069の2点、3区から採取された畠6試料30025、試料30026の2点、4区から採取された畠9試料30187、試料30188、試料30291、試料30292の4点、5区から採取された畠10試料30150、試料30151の2点の計10点である。時期は中世（鎌倉時代）と想定される。これらは、プラント・オパール分析に用いられたものと同一試料である。

3．方法

花粉の分離抽出は、中村（1973）の方法をもとに、以下の手順で行った。

1）試料から1㎤を採量
2）0.5％リン酸三ナトリウム（12水）溶液を加え15分間湯煎
3）水洗処理の後、0.5㎜の篩で礫などの大きな粒子を取り除き、沈澱法で砂粒を除去
4）25％フッ化水素酸溶液を加えて30分放置
5）水洗処理の後、氷酢酸によって脱水し、アセトリシス処理（無水酢酸9：濃硫酸1のエルドマン氏液を加え1分間湯煎）を施す
6）再び氷酢酸を加えて水洗処理
7）沈渣に石炭酸フクシンを加えて染色し、グリセリンゼリーで封入してプレパラート作成
8）検鏡・計数

検鏡は、生物顕微鏡によって300～1000倍で行った。花粉の同定は、島倉（1973）および中村（1980）をアトラスとして、所有の現生標本との対比で行った。結果は同定レベルによって、科、亜科、属、亜属、節および種の階級で分類し、複数の分類群にまたがるものはハイフン（－）で結んで示す。イネ属については、中村（1974、1977）を参考にして、現生標本の表面模様・大きさ・孔・表層断面の特徴と対比して同定しているが、個体変化や類似種もあることからイネ属型とする。また、この処理を施すとクスノキ科の花粉は検出されない。

4．結果

(1) 分類群

出現した分類群は、樹木花粉15、樹木花粉と草本花粉を含むもの2、草本花粉15、シダ植物胞子2形態の計34である。これらの学名と和名および粒数を第1表に示し、花粉数が200個以上計数できた試料は、周辺の植生を復元するために花粉総数を基数とする花粉ダイアグラムを第1図に示す。なお、200個未満であっても100個以上の試料については傾向をみるため参考に図示し、主要な分類群は顕微

鏡写真に示した。また、寄生虫卵についても観察したが検出されなかった。以下に出現した分類群を記載する。

〔樹木花粉〕

モミ属、マツ属複維管束亜属、スギ、イチイ科－イヌガヤ科－ヒノキ科、ノグルミ、ハンノキ属、カバノキ属、クマシデ属－アサダ、クリ、シイ属、ブナ属、コナラ属コナラ亜属、コナラ属アカガシ亜属、エノキ属－ムクノキ、スイカズラ属

〔樹木花粉と草本花粉を含むもの〕

クワ科－イラクサ科、マメ科

〔草本花粉〕

ガマ属－ミクリ属、イネ科、イネ属型、カヤツリグサ科、ソバ属、アカザ科－ヒユ科、ナデシコ科、カラマツソウ属、アブラナ科、アリノトウグサ属－フサモ属、チドメグサ亜科、セリ亜科、タンポポ亜科、キク亜科、ヨモギ属

〔シダ植物胞子〕

単条溝胞子、三条溝胞子

(2) 花粉群集の特徴

1）2区畠5（試料20068、試料20069）（第1分冊第309図）

いずれの試料も草本花粉が約90％を占め、類似した出現傾向を示す。特にヨモギ属が卓越し、イネ科、タンポポ亜科、アブラナ科などが低率に出現する。樹木花粉ではスギ、マツ属複維管束亜属が低率に出現する。

2）3区畠6（試料30025、試料30026）（第1分冊第315図）

いずれの試料も類似した出現傾向を示す。草本花粉が約90％を占め、特にヨモギ属が卓越し、次いでイネ科が多く、アカザ科－ヒユ科、タンポポ亜科などが低率に出現する。樹木花粉ではスギなどが低率に出現する。

3）4区畠9（試料30187、試料30188、試料30291、試料30292）（第1分冊第319図）

試料30187と試料30188では類似した出現傾向を示し、草本花粉が約85％を占める。草本花粉ではイネ科（試料30187はイネ属型を含む）を主にヨモギ属、カヤツリグサ科、アブラナ科、アカザ科－ヒユ科などが伴われ、チドメグサ亜科、タンポポ亜科、キク亜科などが低率に出現する。試料30187ではソバ属がわずかに出現する。樹木花粉ではスギ、マツ属複維管束亜属などが低率に出現する。

試料30291では草本花粉が約90％を占め、花粉密度は低い。特にヨモギ属が卓越し、次いでイネ科が多く、タンポポ亜科、キク亜科などが低率に出現する。樹木花粉ではスギなどがわずかに出現する。

試料30292では草本花粉が約65％を占め、樹木・草本花粉を含むマメ科が約20％を占める。草本花

粉ではヨモギ属、イネ科が比較的多く、アブラナ科が伴われ、アカザ科-ヒユ科、タンポポ亜科、ソバ属などが出現する。樹木花粉ではスギ、マツ属複維管束亜属などが低率に出現する。

4）5区畠10（試料30150、試料30151）（第1分冊第323図）

いずれの試料も類似した出現傾向を示し、草本花粉が約80％を占める。特にヨモギ属が高率に出現し、次いでイネ科が多く、アブラナ科、アカザ科－ヒユ科、タンポポ亜科などが低率に出現する。樹木花粉ではスギが比較的多い。

5．花粉分析から推定される植生と環境

1）2区

卓越するヨモギ属は乾燥を好む人里雑草ないし畑作雑草であり、イネ科、タンポポ亜科なども同様の性格を持つ。堆積地はこれらの草本が生育する乾燥した草地の環境であったと考えられる。また、遺構が畝状遺構であり出現するイネ科、アブラナ科には栽培植物が含まれることから、アワ、ヒエ、ムギなど雑穀類やアブラナなどの畑の可能性も考えられる。近隣にはスギ、マツ属複維管束亜属などの針葉樹がやや遠方に生育していたと思われる。

2）3区

2区と類似した出現傾向を示し、同様な堆積環境であったと考えられる。耕地雑草のアカザ科－ヒユ科が2区よりやや多い。

3）4区

試料30187と試料30188では、多様な環境に生育する水生植物のイネ科（試料30187はイネ属型を含む）やカヤツリグサ科が出現することから、水草が生育するような止水域の分布が示唆され、これには水田周囲の環境が含まれる。栽培植物を多く含むアブラナ科や、試料30187ではソバ属、耕地雑草のアカザ科－ヒユ科なども出現し、これらの畑の可能性も考えられる。

試料30291では乾燥を好むヨモギ属が卓越し、乾燥ないし乾湿を繰り返すような環境が推定され、畑であった可能性も考えられる。

試料30292では、栽培植物を多く含むイネ科、アブラナ科、マメ科が優占し、ソバ属も出現しこれらの畑が分布していたと考えられる。4区の周辺には、やや遠方にスギ、マツ属複維管束亜属などの針葉樹が生育していたと思われる。

4）5区

乾燥した環境を好むヨモギ属が高率に出現し、多様な環境に生育するイネ科も多い。さらに、アブラナ科、アカザ科－ヒユ科、タンポポ亜科などの畑作雑草で占められることから、堆積地は乾燥した畑などの環境が考えられる。近隣にはスギ林の分布が示唆される。

6．まとめ

博労町遺跡の中世とみられる２区、３区、４区、５区で、花粉分析を行った。その結果、ヨモギ属、イネ科、アブラナ科、アカザ科－ヒユ科、タンポポ亜科の畑作雑草の性格をもつ草本の繁茂が示唆された。イネ科、アブラナ科には栽培植物を含まれ、特に４区はアワ、ヒエ、ムギなどの雑穀類やアブラナやソバなどの畑の可能性が推定された。また、周辺地域にはスギ林の分布が示唆されるが、５区の方がスギ林に近い可能性がある。

（引用・参考文献）

金原正明　1993「花粉分析法による古環境復原」『新版古代の日本第10巻古代資料研究の方法』角川書店，p.248-262.

島倉巳三郎　1973「日本植物の花粉形態」『大阪市立自然科学博物館収蔵目録』第５集　60p.

中村　純　1967『花粉分析』古今書院，p. 82-110.

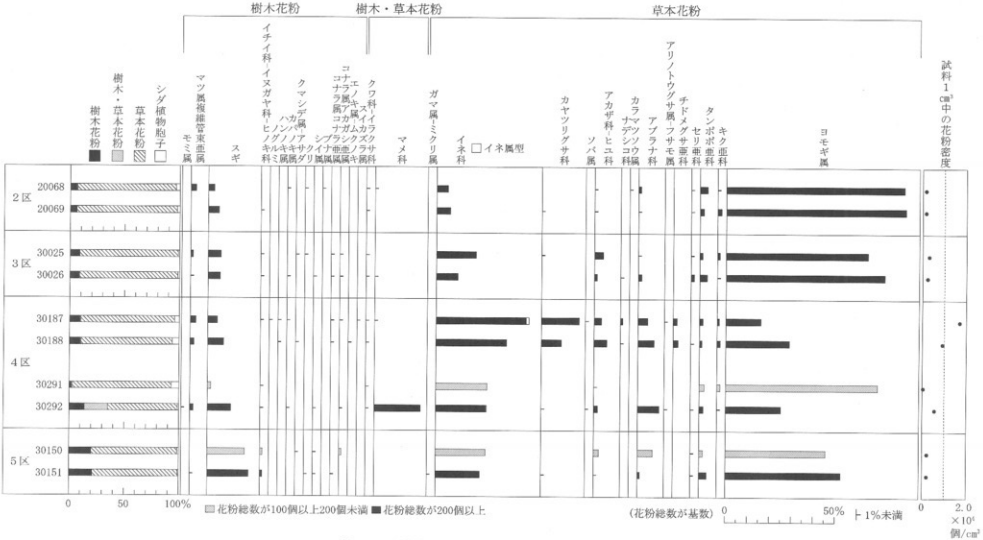
中村　純　1974「イネ科花粉について、とくにイネ（Oryza sativa）を中心として」『第四紀研究』13,p.187-193.

中村　純　1977「稲作とイネ花粉」『考古学と自然科学』第10号　同成社　p. 21-30.

中村　純　1980「日本産花粉の標徴」『大阪自然史博物館収蔵目録』第13集，91p.

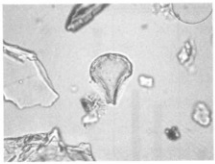
第１表　博労町遺跡における花粉分析結果

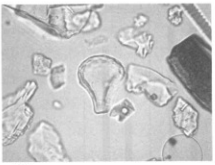
分類群		2区		3区		4区				5区	
学名	和名	20068	20069	30025	30026	30187	30188	30291	30292	30150	30151
Arboreal pollen	樹木花粉										
Abies	モミ属								1		
Pinus subgen. *Diploxylon*	マツ属複維管束亜属	6		4	1	10	6		5		1
Cryptomeria japonica	スギ	7	11	22	18	17	26	2	36	30	55
Taxaceae-Cephalotaxaceae-Cupressaceae	イチイ科－イヌガヤ科－ヒノキ科		2	1	3	3		1	1	2	3
Platycarya strobilacea	ノグルミ					1					
Alnus	ハンノキ属					1	1				
Betula	カバノキ属	1			1	1			1		
Carpinus-Ostrya japonica	クマシデ属－アサダ			1			1			1	
Castanea crenata	クリ	1		2							1
Castanopsis	シイ属				1				2	1	1
Fagus	ブナ属	1									
Quercus subgen. *Lepidobalanus*	コナラ属コナラ亜属			2	2	3	2				1
Quercus subgen. *Cyclobalanopsis*	コナラ属アカガシ亜属			1	1	1			1	2	
Celtis-Aphananthe aspera	エノキ属－ムクノキ						2				
Lonicera	スイカズラ属					1					
Arboreal・Nonarboreal pollen	樹木・草本花粉										
Moraceae-Urticaceae	クワ科－イラクサ科	1	1	1	1	2	3	1	2		
Leguminosae	マメ科	1			1	1			71		
Nonarboreal pollen	草本花粉										
Typha-Sparganium	ガマ属－ミクリ属										1
Gramineae	イネ科	13	14	68	32	160	117	31	77	40	59
Oryza type	イネ属型					5			1		
Cyperaceae	カヤツリグサ科		1	2		67	33		2		2
Fagopyrum	ソバ属					1			1		
Chenopodiaceae-Amaranthaceae	アカザ科－ヒユ科	1	1	15	4	13	21	1	6	4	1
Caryophyllaceae	ナデシコ科				1	4	1				
Thalictrum	カラマツソウ属	1									
Cruciferae	アブラナ科	3	2	3	5	17	27		33	12	3
Haloragis-Myriophyllum	アリノトウグサ属－フサモ属					3			2		
Hydrocotyloideae	チドメグサ亜科					7	8				
Apioideae	セリ亜科	1	1	2	5		1		2	1	1
Lactucoideae	タンポポ亜科	9	4	5	11	6	4	3	6	3	10
Asteroideae	キク亜科	2	4	4	3	4	5	2	3		
Artemisia	ヨモギ属	207	183	243	235	62	105	92	85	80	153
Fern spore	シダ植物胞子										
Monolate type spore	単条溝胞子	4	2	3	3	4	8	6	1	2	3
Trilate type spore	三条溝胞子	5	4	2	2	14	16	4	3	1	
Arboreal pollen	樹木花粉	16	13	33	27	38	38	3	47	36	62
Arboreal・Nonarboreal pollen	樹木・草本花粉	2	1	1	2	3	3	1	73	0	0
Nonarboreal pollen	草本花粉	237	212	342	296	349	322	129	218	140	230
Total pollen	花粉総数	255	226	376	325	390	363	133	338	176	292
Pollen frequencies of 1cm³	試料1cm中の花粉密度	1.5 $\times 10^3$	1.5 $\times 10^3$	3.0 $\times 10^3$	2.3 $\times 10^3$	1.7 $\times 10^4$	9.2 $\times 10^3$	4.0 $\times 10^3$	5.6 $\times 10^3$	2.2 $\times 10^3$	2.1 $\times 10^3$
Unknown pollen	未同定花粉	5	6	4	4	2	5	3	3	2	2
Fern spore	シダ植物胞子	9	6	5	5	18	24	10	4	3	3
Helminth eggs	寄生虫卵	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)
Digestion rimeins	明らかな消化残渣	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)
Charcoal fragments	微細炭化物	(＋)	(＋)	(＋)	(＋)	(＋)	(－＋)	(＋)	(＋＋)	(＋)	(＋＋)

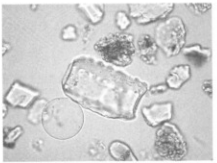


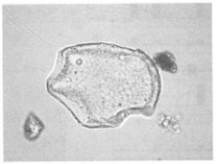
第1図　博労町遺跡における花粉ダイアグラム

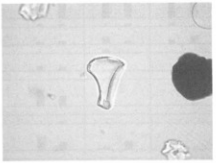
プラント・オパールの顕微鏡写真

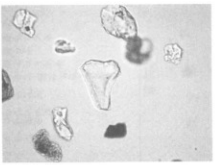

イネ

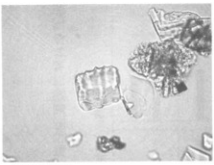

イネ

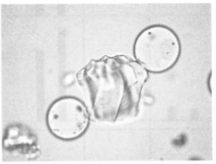

キビ族型

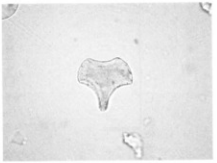

ヨシ属


ススキ属型

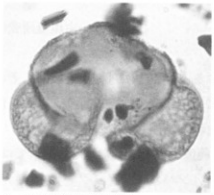

チガヤ属


ネザサ節型

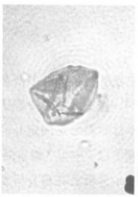

メダケ節型

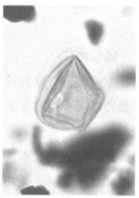

シバ属

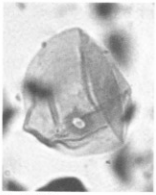
50 μm

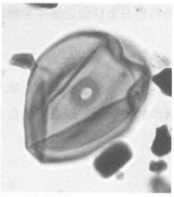

1　マツ属複維管束亜属

2　スギ


3　クワ科－イラクサ科

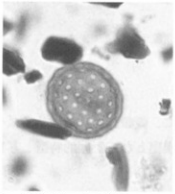

4　マメ科

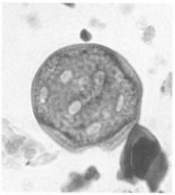

5　イネ科

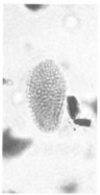

6　イネ属型

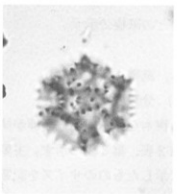
7　カヤツリグサ科

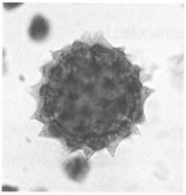
8　ソバ属


9　アカザ科－ヒユ科

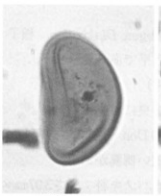

10　ナデシコ科

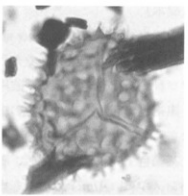

11　アブラナ科


12　タンポポ亜科


13　キク亜科

14　ヨモギ属


15　シダ植物単条溝胞子


16　シダ植物三条溝胞子

10 μm

第２節　博労町遺跡における種実同定

株式会社　古環境研究所

１．はじめに

植物の種子や果実は比較的強靱なものが多く、堆積物中に残存する。堆積物から種実を検出しその群集の構成や組成を調べ、過去の植生や群落の構成要素を明らかにし古環境の推定を行うことが可能である。また出土した単体試料等を同定し、栽培植物や固有の植生環境を調べることができる。

博労町遺跡の発掘調査では、中世（鎌倉時代）とされる畠跡が広範囲で検出された。当該遺構では、すでにプラント・オパール分析と花粉分析が実施され、稲作、雑穀、ソバおよびアブラナ等を作物とする畑作が行われていた可能性が示唆されている。そこで、ここでは畠の畝および遺構より抽出された種実類の同定を行い、畠跡における栽培作物の特定および周辺植生を検討する。

２．試料

試料は、中世（鎌倉時代）の畠跡において、１区の畠１畝１～畝３、畝５・７～畝９、畠４畝６の８箇所、２区のSX01（土坑）、４区の水溜状遺構の計10箇所で採取された土壌より水洗選別された種実類である（第１分冊第306・319図）。

３．方法

同定は、形態的特徴および現生標本との対比によって行い、結果は同定レベルによって科、属、種などの階級で示す。

４．結果

(1)　分類群

樹木６、草本13分類群が同定される。学名、和名および粒数を第１表に、穀類、ウリ類のサイズを第２表、第３表に示す。主要な分類群の写真を図版に示す。以下に同定根拠となる形態的特徴と写真に示したもののサイズを記載する。

〔樹木〕

マツ属複維管束亜属　*Pinus* subgen. *Diploxylon*　種子　マツ科：長さ5.91㎜×幅3.14㎜

種子は倒卵形を呈し、やや扁平である。

マツ科　Pinaceae　毬果（破片）

黒褐色で卵形を呈す。その中央にはへそがある。

スギ　*Cryptomeria japonica* D.Don　種子　スギ科：長さ4.05㎜×幅1.73㎜

茶褐色で長楕円形を呈し、狭い側翼がある。

ハンノキ属　*Alnus*　種子　カバノキ科：長さ3.97㎜×幅3.82㎜

種子は広卵形や卵形、倒卵形を呈し、扁平である。暗褐色で平滑となる。

アカメガシワ　*Mallotus japonicus* Muell. et Arg.　種子（破片）　トウダイグサ科

黒色で球形を呈し、「Y」字状のへそがある。表面にはいぼ状の突起が密に分布する。

クロガネモチ　*Ilex rotunda* Thunb.　核　モチノキ科：長さ4.30㎜×幅1.20㎜

灰黄色で半狭楕円形を呈し、光沢はない。背面には２個の縦溝があり、溝は粗面。腹面の正中線は稜をなす。

〔草本〕

イネ　*Oryza sativa* L.　炭化果実　イネ科：サイズは第２表に記載する。

炭化しているため黒色である。長楕円形を呈し、胚の部分がくぼむ。表面には数本の筋が走る。

ヒエ　*Echinochloa utilis* Ohwi et Yabuno　穎（完形・破片）　イネ科：サイズは第２表に記載する。

茶褐色で類円形を呈し、下端に枝梗が残る。腹面はやや平らゟ。背面は丸い。発芽しているものがあり、赤い発芽促進剤状の色のついているものもあり、これらについては現生の種実の混入の可能性も考えなければならない。

オオムギ　*Hordeum vulgare* L.　果実（完形・破片）　イネ科：サイズは第２表に記載する。

炭化しているため黒色で、楕円形を呈す。腹部の端には胚がある。背面には縦に一本の溝がある。側面の形は曲率が大きく、胚と胚乳との接する輪郭線は山形である。

コムギ　*Triticum aestivum*. L　果実　イネ科：サイズは第２表に記載する。

炭化しているため黒色で、楕円形を呈する。腹部の端には胚がある。背面には縦に一本の溝がある。比較的四角い形を呈し、短い。

ムギ類（オオムギ－コムギ）*Hordeum-Triticum*　果実（破片）　イネ科

オオムギもしくはコムギと思われるが、発泡しているため穀類とした。

イネ科　Gramineae　穎：長さ1.94㎜×幅0.89㎜

灰褐色で長楕円形を呈す。腹面はやや平らゟ。背面は丸い。表面は滑らかである。

ホタルイ属　*Scirpus*　果実（完形・破片）　カヤツリグサ科：長さ1.96㎜×幅1.56㎜

黒褐色で、やや光沢がある。広倒卵形を呈し、断面は両凸レンズ形である。表面には横方向の微細な隆起があり、基部に４～８本の針状の付属物を持つ。

アサ　*Cannabis sativa* L.　種子　クワ科：長さ3.98㎜×幅3.17㎜

茶褐色で広卵形を呈す。一端には円形のへそ部がある。

アサは南アジアや中央アジアが原産とされる１年草の畑作物である。茎皮の繊維は麻糸になり、種子は油を採ったり食用になる。

カナムグラ　*Humulus japonicus* Sieb. et Zucc.　種子（破片）　クワ科

黒色で円形を呈し、断面形は両凸レンズ状である。側面には心形を呈するへそがある。

タデ属　*Polygonum*　果実　タデ科

黒褐色で卵形を呈す。断面は三角形である。

ギシギシ属　*Rumex*　果実　タデ科：長さ5.35㎜×幅2.94㎜

茶褐色で頂端が尖る卵形を呈す。断面は三角形、表面には光沢がある。萼状の花被の残るものもある。

アブラナ科　Cruciferae　種子

赤褐色で類円形を呈し、下端にへそがある。

ウリ類　*Cucumis melo* L.　種子（完形・破片）　ウリ科：サイズは第３表に記載する。

淡褐色～黄褐色で長楕円形を呈し、上端は「ハ」字状にくぼむ。平均値は長さ7.94㎜×幅3.82㎜、

最大値長さ8.83㎜×幅4.33㎜、最小値長さ6.24㎜×幅3.26㎜。

藤下（1992）によると小粒種子（雑草メロン型）、中粒種子（マクワウリ・シロウリ型）、大粒種子（モモルディカ型）があり、本試料は中粒種子（マクワウリ・シロウリ型）から大粒種子（モモルディカ型）にあたる。

キク亜科　Asteroideae　果実　キク科

茶褐色で楕円形を呈し、両端は切形となる。

(2) 種実群集の特徴

・1区

1）畝1

草本種実のヒエを中心に、オオムギ、ムギ類、イネ科、イネ、コムギ、タデ属、ギシギシ属が伴い、樹木草本ではスギ、マツ科が同定された。

2）畝2

すべて草本種実でありヒエを中心に、イネ科、イネ、コムギ、ムギ類が同定された。

3）畝3

すべて草本種実でありヒエを中心に、イネ科、オオムギ、ムギ類、キク亜科が同定された。

4）畝5

畝3と出現傾向はほとんど一緒だが、樹木種実のマツ属複維管束亜属、ハンノキ属が同定された。

5）畝6

すべて草本種実でありヒエを中心に、イネ科、カナムグラが同定された。

6）畝7

すべて草本種実でありヒエを中心に、イネ科が同定された。

7）畝8

草本種実のヒエ、イネ科、ムギ類、樹木種実のハンノキ属が同定された。

8）畝9

草本種実のヒエ、ホタルイ属、樹木種実のマツ属複維管束亜属、アカメガシワ、クロガネモチが同定された。

・2区　SX01（土坑）

すべて草本種実であり、オオムギ、ムギ類が同定された。

・4区　水溜状遺構

すべて草本種実であり、ウリ類が多量に検出され、ほかにホタルイ属、アサが同定された。

5．種実同定から推定される植生と農耕

(1) 1区畠1・畠4（畝1～畝3、畝5～畝9）

草本種実のヒエ、オオムギ、イネ、コムギ、ムギ類は栽培植物であり、ほとんどが炭化しているがヒエだけは未炭化であった。ヒエの中には発芽しているものもあった。もしかすると現生のものが混入した可能性も考えられる。イネ科、ホタルイ属、タデ属は抽水植物であり、カナムグラ、ギシギシ属、キク亜科は人里植物ないし畑作雑草で、陽当たりの良い乾燥地に生育する。マツ属複維管束亜属、

クロガネモチは温帯を中心に広く分布する針葉樹ないし常緑広葉樹である。マツ属複維管束亜属は土壌条件の悪い岩山に生育し、二次林を形成するアカマツと、砂地の海岸林を形成するクロマツとがある。スギは温帯に広く分布し、とくに積雪地帯や多雨地帯で純林を形成する針葉樹である。ハンノキ属も温帯を中心に広く分布し、沢沿いなどの湿原や水湿のある低地に生育し、ときには湿地林を形成する。アカメガシワは落葉広葉樹であり、二次林種でもある。これらの樹木が近隣に生育していたと考えられる。

(2) 2区 SX01（土坑）

すべて草本種実で、オオムギ、ムギ類は栽培植物である。近隣にそれらを栽培した畑があり、土坑内に混入した可能性が考えられる。土坑の性格は種実同定からは言及できない。

(3) 4区 水溜状遺構

検出された種実はすべて草本種実である。最も多いウリ類は栽培植物であり、サイズの平均値は長さ7.94mm×幅3.82mm、最大値は長さ8.83mm×幅4.33mm、最小値は長さ6.24mm×幅3.26mmであった。これらの計測値からサイズのばらつきはあまりなく、一個体からもたらされた可能性が高い。アサは栽培ないし有用植物である。ホタルイ属は抽水性植物であり水辺を好む。

6．まとめ

博労町遺跡で検出された中世の畠跡における種実同定の結果、樹木種実のマツ属複維管束亜属、マツ科、スギ、ハンノキ属、アカメガシワ、クロガネモチ、草本種実のイネ、ヒエ、オオムギ、コムギ、ムギ類、イネ科、ホタルイ属、アサ、カナムグラ、タデ属、ギシギシ属、ウリ類、キク亜科が同定された。1区ではヒエ、オオムギ、イネ、コムギ、ムギ類の栽培植物が検出され、とくにヒエが多く、ヒエを主にオオムギ、コムギ、イネが栽培されていたと推定された。2区のSX01ではオオムギ、ムギ類の栽培植物が検出されたが、土坑の性格は不明であった。4区の水溜状遺構では多量のウリ類、アサの栽培植物が検出され、当時、調査地もしくは近傍でウリ類やアサが栽培されていたと推定される。なお、ウリ類については種子の形状からでは種レベルの同定は困難であるため、詳細な同定を行うためにもDNA分析を実施することが望まれる。

以上のように、当該畠跡ではイネやヒエ、オオムギ、コムギ、ムギ類等の雑穀が栽培されていたことが明らかになった。また、ウリ類やアサも栽培されていた可能性が認められた。

（引用・参考文献）

松谷暁子　1982「電子顕微鏡でみる縄文時代の栽培植物」『畑作文化の誕生』日本放送出版協会，p. 91-120.

笠原安夫　1985『日本雑草図説』養賢堂，494p.

笠原安夫　1988「作物および田畑雑草種類」『弥生文化の研究』第2巻生業，雄山閣出版，p. 131-139.

南木睦彦　1991「栽培植物」『古墳時代の研究』第4巻生産と流通Ⅰ，雄山閣出版株式会社，p. 165-174.

吉崎昌一　1992「古代雑穀の検出」『月刊考古学ジャーナル』№355，ニューサイエンス社，p. 2-14.

藤下典之　1992「出土種子からみた古代日本のメロンの仲間、その種類，渡来，伝搬，利用について」『考古学ジャーナル』354，ニュー・サイエンス社，p. 7-13.

第1表　博労町遺跡における種実同定結果

分類群		部位		1区								2区	4区
学名	和名			畝1	畝2	畝3	畝5	畝6	畝7	畝8	畝9	SX01	水溜状遺構
Arbor	樹木												
Pinus subgen. Diploxylon	マツ属複維管束亜属	種子					1				1		
			(破片)								2		
Pinaceae	マツ科	毬果	(破片)	1									
Cryptomeria japonica D. Don	スギ	種子		2									
Alnus	ハンノキ属	果実					1			1			
Mallotus japonicus Muell. et Arg.	アカメガシワ	種子	(破片)								1		
Ilex rotunda Thunb.	クロガネモチ	種子									1		
Herb	草本												
Oryza sativa L.	イネ	炭化果実		1	1								
Echinochloa utilis Ohwi et Yabuno	ヒエ	穎		51	43	106	45	29	132	8	10		
			(破片)				8		12				
Hordeum vulgare L.	オオムギ	炭化果実		4		1						1	
			(破片)	5									
Triticum aestivum L.	コムギ	炭化果実		1	1								
Hordeum-Triticum	ムギ類	炭化果実	(破片)	5	1	1				1		1	
Gramincae	イネ科	穎		3	10	6	5	2	9	7			
Scirpus	ホタルイ属	果実									1		8
Cannabis sativa L.	アサ	種子											1
Humulus scandens Merr.	カナムグラ	種子	(破片)					1					
Polygonum	タデ属	果実		1									
Rumex	ギシギシ属	果実		1									
Cruciferae	アブラナ科	種子			3								
Cucumis melo L.	ウリ類	種子											156
			(破片)										8
Asteroideae	キク亜科	果実				1							
Total	合計			75	59	115	60	32	153	17	16	2	173

第２表　博労町遺跡穀類計測値

畝３　ヒエ

試料	長さ(mm)	幅(mm)
1	2.31	1.80
2	2.32	1.75
3	2.03	1.62
4	2.49	1.85
5	2.31	1.84
6	2.14	1.64
7	2.26	1.79
8	1.91	1.39
9	2.26	1.75
10	2.36	1.76
11	2.49	1.85
12	2.22	1.66
13	2.07	1.84
14	2.22	1.78
15	2.16	1.81
16	2.30	1.75
17	2.18	1.67
18	2.05	1.62
19	2.31	1.66
20	2.14	1.72
21	2.14	1.60
22	2.16	1.45
23	2.29	1.66
24	2.40	1.72
25	2.11	1.35
26	2.22	1.61
27	2.23	1.78
28	2.33	1.71
29	2.21	1.92
30	2.29	1.80
31	2.06	1.51
32	2.49	1.82
33	1.69	1.47
34	2.14	1.67
35	2.15	1.86
36	2.02	1.53
37	2.03	1.45
38	1.95	1.28
39	2.45	1.83
40	2.18	1.49
41	2.30	1.80
42	2.34	1.61
43	2.23	1.98
44	2.34	1.94
45	2.32	1.74
46	2.09	1.62
47	2.17	1.56
48	1.94	1.52
49	2.23	1.57
50	1.78	1.36

畝７　ヒエ

試料	長さ(mm)	幅(mm)
1	1.67	1.15
2	2.24	1.78
3	2.44	1.67
4	2.28	1.58
5	2.08	1.76
6	2.50	1.87
7	1.95	1.63
8	2.39	1.85
9	2.07	1.55
10	2.01	1.58
11	2.09	1.49
12	2.49	2.00
13	2.12	1.46
14	2.16	1.67
15	2.45	1.79
16	2.31	1.88
17	1.99	1.55
18	2.54	1.63
19	2.36	1.67
20	2.32	1.84
21	2.48	1.98
22	2.38	1.65
23	2.42	2.02
24	2.14	1.50
25	2.17	1.83
26	1.92	1.65
27	2.51	1.95
28	1.67	1.19
29	1.66	1.35
30	2.42	1.89
31	2.50	1.71
32	2.27	1.76
33	2.09	1.74
34	2.06	1.71
35	2.22	1.84
36	2.57	1.84
37	2.07	1.64
38	2.00	1.69
39	2.24	1.65
40	1.69	1.30
41	2.24	1.80
42	1.98	1.51
43	2.40	1.57
44	2.16	1.67
45	2.42	1.78
46	1.71	1.31
47	2.58	1.91
48	2.26	2.01
49	2.58	1.77
50	2.21	1.68

畝３	長さ(mm)	幅(mm)
平均値	2.20	1.68
最大値	2.49	1.98
最小値	1.69	1.28

畝７	長さ(mm)	幅(mm)
平均値	2.21	1.69
最大値	2.58	2.02
最小値	1.66	1.15

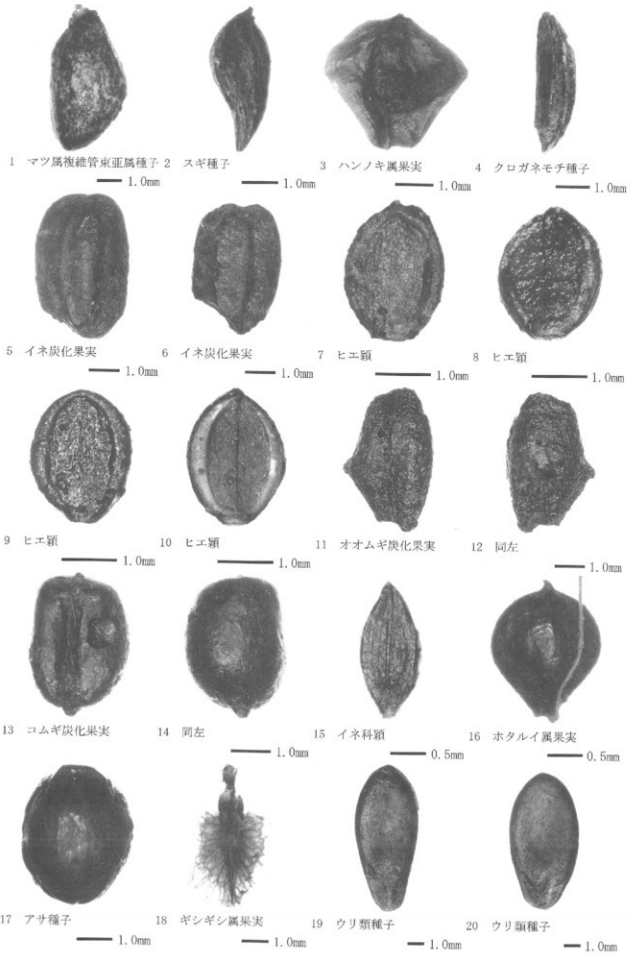
ヒエ全体	長さ(mm)	幅(mm)
平均値	2.20	1.68
最大値	2.58	2.02
最小値	1.66	1.15

試料	長さ(mm)	幅(mm)
イネ	4.76	3.10
	4.33	2.92
オオムギ	4.55	2.49
	4.71	2.67
	3.99	2.34
	4.71	2.36
	4.87	3.08
コムギ	3.33	2.49
	3.59	2.41

第３表　博労町遺跡ウリ類計測値

試料	長さ（mm）	幅（mm）	試料	長さ（mm）	幅（mm）
1	8.47	3.79	51	8.12	4.26
2	8.56	4.05	52	8.10	3.53
3	7.63	3.98	53	6.95	3.35
4	7.83	3.63	54	7.10	4.02
5	7.47	3.56	55	8.05	3.91
6	7.96	3.63	56	8.19	3.55
7	8.65	4.19	57	6.55	3.48
8	8.38	3.97	58	8.42	3.84
9	8.00	4.04	59	8.05	3.70
10	7.89	3.86	60	7.67	3.84
11	8.61	3.66	61	8.28	3.86
12	6.64	3.77	62	8.16	3.91
13	7.87	3.43	63	7.98	3.44
14	8.18	3.77	64	7.44	3.65
15	8.27	3.66	65	7.81	3.62
16	7.16	3.57	66	8.47	3.93
17	7.87	3.61	67	7.93	3.81
18	7.65	3.81	68	8.09	3.93
19	7.69	4.01	69	7.95	3.67
20	7.76	3.59	70	7.95	4.14
21	8.27	4.06	71	6.95	3.79
22	8.29	3.81	72	8.12	4.16
23	8.03	3.57	73	8.09	3.72
24	8.54	3.59	74	7.37	3.86
25	8.41	3.79	75	7.30	3.77
26	7.74	3.92	76	8.35	4.14
27	7.76	3.90	77	8.51	3.88
28	8.65	3.63	78	8.00	3.93
29	8.58	3.79	79	8.19	3.93
30	7.85	3.79	80	7.88	3.86
31	8.34	3.75	81	8.28	3.93
32	8.29	3.63	82	8.05	3.53
33	7.87	3.59	83	7.27	3.77
34	8.27	3.72	84	7.48	3.91
35	8.14	3.92	85	7.76	4.02
36	7.20	3.26	86	8.26	3.86
37	8.07	3.92	87	6.27	4.30
38	8.47	3.48	88	7.67	4.16
39	8.38	3.84	89	8.51	3.62
40	8.47	3.72	90	8.30	3.69
41	8.61	3.77	91	8.33	4.23
42	8.34	3.77	92	8.65	3.98
43	8.45	3.72	93	7.30	3.98
44	8.00	4.21	94	6.24	4.33
45	8.45	3.46	95	7.06	4.12
46	7.58	3.68	96	8.33	4.23
47	8.41	3.62	97	6.88	3.65
48	8.54	3.88	98	8.09	3.93
49	7.49	3.79	99	6.88	3.70
50	8.83	3.75	100	7.97	4.23

	長さ（mm）	幅（mm）
平均値	7.94	3.82
最大値	8.83	4.33
最小値	6.24	3.26



1　マツ属複維管束亜属種子　1.0mm
2　スギ種子　1.0mm
3　ハンノキ属果実　1.0mm
4　クロガネモチ種子　1.0mm
5　イネ炭化果実　1.0mm
6　イネ炭化果実　1.0mm
7　ヒエ頴　1.0mm
8　ヒエ頴　1.0mm
9　ヒエ頴　1.0mm
10　ヒエ頴　1.0mm
11　オオムギ炭化果実　1.0mm
12　同左　1.0mm
13　コムギ炭化果実　1.0mm
14　同左　1.0mm
15　イネ科頴　0.5mm
16　ホタルイ属果実　0.5mm
17　アサ種子　1.0mm
18　ギシギシ属果実　1.0mm
19　ウリ類種子　1.0mm
20　ウリ類種子　1.0mm

第３節　博労町遺跡における放射性炭素年代測定

株式会社　古環境研究所

１．はじめに

放射性炭素年代測定は、光合成や食物摂取などにより生物体内に取り込まれた放射性炭素（^{14}C）の濃度が、放射性崩壊により時間とともに減少することを利用した年代測定法である。樹木や種実などの植物遺体、骨、貝殺、土壌、土器付着炭化物などが測定対象となり、約６万年前までの年代測定が可能である。

ここでは、博労町遺跡で出土した炭化物を対象に加速器質量分析法による放射性炭素年代測定を行い、検出遺構の構築年代および土層の堆積年代について検討した。

２．試料と方法

測定試料の情報、調製データは第１表のとおりである。試料は調製後、加速器質量分析計（パレオ・ラボ、コンパクトAMS：NEC製 1.5SDH）を用いて測定した。得られた^{14}C濃度について同位体分別効果の補正を行った後、^{14}C年代、暦年代を算出した。

第１表　測定試料及び処理

試料名	出土箇所	種　類	前処理・調整	測定法
№ 1	№ 6081（２区SB19 P417）	炭化材	超音波洗浄、酸－アルカリ－酸処理	AMS
№ 2	№ 6102（２区SB18 P465）	炭化材	超音波洗浄、酸－アルカリ－酸処理	AMS
№ 3	№ 3691（４区SD10）	炭化材	超音波洗浄、酸－アルカリ－酸処理	AMS
№ 4	№ 1307（５区畠１畝）	炭化材	超音波洗浄、酸－アルカリ－酸処理	AMS

※AMS（Accelerator Mass Spectrometry）は加速器質量分析法

３．測定結果

第２表に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比（$\delta^{13}C$）、同位体分別効果の補正を行って暦年較正に用いた年代値、慣用に従って年代値、誤差を丸めて表示した^{14}C年代、^{14}C年代を暦年代に較正した年代範囲を、第１図に暦年較正結果をそれぞれ示す。暦年較正に用いた年代値は年代値、誤差を丸めていない値であり、今後暦年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年較正を行うために記載した。

第２表　測定結果

試料名	測定№（PED－）	$\delta^{13}C$（‰）	暦年較正用年代（年BP）	^{14}C年代（年BP）	暦年代（西暦） 1σ（68.2%確率）	2σ（95.4%確率）
№ 1	15461	－23.87±0.17	1253±20	1255±20	AD690-750（56.5%） AD760-780（11.7%）	AD670-820（94.3%） AD840-860（ 1.1%）
№ 2	15462	－27.81±0.17	3185±23	3185±25	BC1495-1470（25.2%） BC1465-1430（43.0%）	BC1500-1415（95.4%）
№ 3	15463	－26.57±0.16	3203±22	3205±20	BC1495-1445（68.2%）	BC1515-1425（95.4%）
№ 4	15464	－29.29±0.14	943±20	945±20	AD1030-1050（14.8%） AD1080-1160（53.4%）	AD1020-1160（95.4%）

BP：Before Physics(Present)、BC：紀元前、AD：紀元

^{14}C年代はAD1950年を基点にして何年前かを示した年代である。^{14}C年代（yrBP）の算出には、^{14}Cの半減期としてLibbyの半減期5568年を使用した。また、付記した^{14}C年代誤差（±1σ）は、測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の^{14}C年代がその^{14}C年代誤差内に入る確率が68.2％であることを示すものである。なお、暦年較正の詳細は以下の通りである。

暦年較正とは、大気中の^{14}C濃度が一定で半減期が5568年として算出された^{14}C年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の^{14}C濃度の変動、及び半減期の違い（^{14}Cの半減期5730±40年）を較正して、より実際の年代値に近いものを算出することである。

^{14}C年代の暦年較正にはOxCal3.1（較正曲線データ：IntCal09）を使用した。なお、1σ暦年代範囲は、OxCalの確率法を使用して算出された^{14}C年代誤差に相当する68.2％信頼限界の暦年代範囲であり、同様に2σ暦年代範囲は95.4％信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は^{14}C年代の確率分布を示し、二重曲線は暦年較正曲線を示す。

4．所見

博労町遺跡で出土した炭化材4点について、加速器質量分析法（AMS法）による放射性炭素年代測定を行った。その結果、試料№6081（2区SB19、P417）は1255±20年BP(2σの暦年代でAD670～820年、AD840～860年)、試料№ 6102（2区SB18、P465）は3185±25年BP(同BC1500～1415年)、試料№ 3691（4区SD10）は3205±20年BP(同BC1515～1425年)、試料№ 1307（中世5区畠畝）は945±20年BP(同AD1020～1160年）の年代値が得られた。

（引用・参考文献）

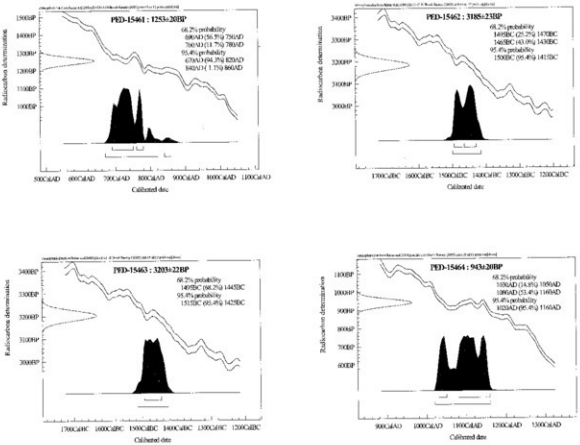
Bronk Ramsey C. (1995)Radiocarbon Calibration and Analysis of Stratigraphy,The OxCal Program, Radiocarbon,37 (2), p. 425-430.

Bronk Ramsey C. (2001)Development of the Radiocarbon Program OxCal, Radiocarbon, 43（2 A), 355-363.

中村俊夫　2000「放射性炭素年代測定法の基礎」『日本先史時代の14C年代』p. 3-20.

Paula J Reimer et al., (2004) IntCal 04 Terrestrial radiocarbon age calibration, 26-0 ka BP. Radiocarbon 46, p. 1029-1058.

Reimer, P.J., Baillie, M.G.L., Bard, E., Bayliss, A., Beck, J.W., Blackwell, P.G., Bronk Ramsey, C., Buck, C.E., Burr, G.S., Edwards, R.L., Friedrich, M., Grootes, P.M., Guilderson, T.P., Hajdas, I., Heaton, T.J., Hogg, A.G., Hughen, K.A., Kaiser, K.F., Kromer, B., McCormac, F.G., Manning, S.W., Reimer, R.W., Richards, D.A., Southon, J.R., Talamo, S., Turney, C.S.M., van der Plicht, J. and Weyhenmeyer C.E. (2009) IntCal09 and Marine09 Radiocarbon Age Calibration Curves, 0-50,000 Years cal BP. Radiocarbon, 51, 1111-1150.


PED-15461 : 1253±20BP
68.2% probability
686AD (56.5%) 750AD
766AD (11.7%) 780AD
95.4% probability
670AD (94.3%) 820AD
842AD (1.1%) 866AD
Radiocarbon determination
Calibrated date
PED-15462 : 3185±23BP
68.2% probability
1495BC (25.2%) 1470BC
1468BC (43.0%) 1430BC
95.4% probability
1500BC (95.4%) 1410BC
PED-15463 : 3203±22BP
68.2% probability
1495BC (68.2%) 1445BC
95.4% probability
1515BC (95.4%) 1425BC
PED-15464 : 943±20BP
68.2% probability
1028AD (14.8%) 1050AD
1080AD (53.4%) 1160AD
95.4% probability
1020AD (95.4%) 1160AD

第１図　暦年較正結果

第４節　博労町遺跡出土製鉄・鍛冶関連遺物の金属学的調査

九州テクノリサーチ・TACセンター
大澤正己・鈴木瑞穂

１．いきさつ

博労町遺跡は鳥取県米子市博労町に所在する。調査地区内では古代の掘立柱建物跡や区画溝などが検出された。３区からは９世紀前半と推定される鉄関連遺物を廃棄した土坑より羽口、鉄滓等が出土している。遺跡内での生産の実態を検討する目的から、金属学的調査を行う運びとなった。

２．調査方法

２－１．供試材

Table１に示す。鍛冶関連遺物計８点の調査を行った。

２－２．調査項目

(1) 肉眼観察

遺物の外観上の観察所見を簡単に記載した。

(2) マクロ組織

本来は肉眼またはルーペで観察した組織であるが、本稿では顕微鏡埋込み試料の断面全体像を、低倍率で撮影したものを指す。当調査は、顕微鏡検査によるよりも広い範囲にわたって、組織の分布状態、形状、大きさなどの観察ができる利点がある。

(3) 顕微鏡組織

滓中に晶出する鉱物及び鉄部の調査を目的として、光学顕微鏡を用い観察を実施した。観察面は供試材を切り出した後、エメリー研磨紙の#150、#240、#320、#600、#1000、及びダイヤモンド粒子の３μと１μで順を追って研磨している。なお金属組織の調査では、３％ナイタル（硝酸アルコール液）を腐食（Etching）に用いた。

(4) ビッカース断面硬度

鉄滓中の鉱物と、金属鉄の組織同定を目的として、ビッカース断面硬度計（Vickers Hardness Tester）を用いて硬さの測定を行った。試験は鏡面研磨した試料に136°の頂角をもったダイヤモンドを押し込み、その時に生じた窪みの面積をもって、その荷重を除した商を硬度値としている。試料は顕微鏡用を併用し、荷重は50または100gfで測定した。

(5) EPMA（Electron Probe Micro Analyzer）調査

化学分析を行えない微量試料や鉱物組織の微小域の組織同定を目的とする。

分析の原理は、真空中で試料面（顕微鏡試料併用）に電子線を照射し、発生する特性X線を分光後に画像化し、定性的な結果を得る。更に標準試料とX線強度との対比から元素定量値をコンピューター処理してデータ解析を行う方法である。

(6) 化学組成分析

供試材の分析は次の方法で実施した。

全鉄分（Total Fe）、金属鉄（Metallic Fe）、酸化第一鉄（FeO）：容量法。

炭素（C）、硫黄（S）、：燃焼容量法、燃焼赤外吸収法

二酸化珪素（SiO_2）、酸化アルミニウム（$Al2O_3$）、酸化カルシウム（CaO）、酸化マグネシウム（MgO）、酸化カリウム（K_2O）、酸化ナトリウム（Na_2O）、酸化マンガン（MnO）、二酸化チタン（TiO_2）、酸化クロム（Cr_2O_3）、五酸化燐（P_2O_5）、バナジウム（V）、銅（Cu）、二酸化ジルコニウム（ZrO_2）：ICP(Inductively Coupled Plasma Emission Spectrometer）法：誘導結合プラズマ発光分光分析。

3、調査結果

BAK－1：椀形鍛冶滓（含鉄）

(1) 肉眼観察：19gの小型の椀形鍛冶滓である。表面は黄褐色の土砂や茶褐色の銹化物に覆われており、微細な木炭破片や鍛造剥片が付着する。滓部は黒灰色で、破面にはごく細かい気孔が散在するが緻密である。

(2) マクロ組織：Photo.1①に示す。観察面ではまとまった鉄部は存在せず、上面側を中心にごく微細な銹化鉄が多数散在する。また滓部の鉱物組成をみると、上半部はウスタイト（Wustite：FeO）の割合が少なく、下半部で密に晶出する。

(3) 顕微鏡組織：Photo.1②～⑦に示す。②は滓表面に付着する微細な木炭破片で、木口面が観察される。発達した導管が分布する広葉樹材の黒炭であった。また③は滓表面に付着した平坦度に乏しい鍛造剥片の拡大である。

④⑤は上面側の滓部の拡大で、淡茶褐色多角形結晶ウルボスピネル（Ulvōspinel: 2 FeO·TiO_2）、白色粒状結晶ウスタイト（Wustite: FeO）、淡灰色柱状結晶ファヤライト（Fayalite: 2 FeO·SiO_2）が晶出する。精錬鍛冶滓の晶癖である。また⑥⑦は滓中にごく微細な銹化鉄部が散在しており、内部には亜共析組織（C<0.77%）の痕跡が残存する。この金属組織痕跡から、炭素含有率は0.2～0.3%程度の低炭素鋼と推定される。

(4) ビッカース断面硬度：紙面の構成上、硬度を測定した圧痕の写真を割愛したが、淡茶褐色多角形結晶の調査を実施した。硬度値は638Hv、641Hv、664Hvであった（荷重：100gf）。ウルボスピネルに同定される。また淡灰色柱状結晶の定量分析値は610Hv、687Hvであった（荷重：50gf）。ファヤライトの文献硬度値600～700Hvの範囲内であり、ファヤライトに同定される。さらに白色粒状結晶の硬度値は492Hv、527Hv、533Hvであった（50gf）。ウスタイトの文献硬度値450～500Hvと比較するとやや硬質で、一部マグネタイトの範疇500～600Hvに入る。両者の混晶である可能性が高い（註1）。

滓中にウルボスピネルが晶出することから、当鉄滓は鍛冶原料（製錬鉄塊系遺物）の不純物除去作業で生じた精錬鍛冶滓に分類される。また始発（製鉄）原料は後述の流出溝滓（BAK－4）の特徴などからも砂鉄である。

BAK－2：粒状滓

BAK－2　イ－1　3.8㎜径

(1) 肉眼観察：表面はごく薄く茶褐色の銹化物で覆われる。やや歪な球状で、大きな破面が1面観

察される。滓の地の色調は黒灰色で、非常に微細な気孔が点在する。

(2) マクロ組織：Photo. 2 ①に示す。断面は楕円状で、内部には微細な気孔が多数散在する。

(3) 顕微鏡組織：Photo. 2 ②に示す。最表層の微細な明白色針状はヘマタイト（Hematite：Fe2O 3）、灰褐色多角形結晶はマグネタイト（Magnetite：Fe_3O_4）と推定される。さらに内部には白色粒状結晶ウスタイトが凝集して晶出する。

BAK－2　イ－2　2.4㎜径

(1) 肉眼観察：色調は黒灰色で、歪な球状を呈する。表面には微細な気孔が点在する。

(2) マクロ組織：Photo. 2 ③に示す。断面中央付近に気孔が複数点在している。

(3) 顕微鏡組織：Photo. 2 ④に示す。明白色最表層はヘマタイト、その内側の明灰色層はマグネタイト、その内側の暗灰色部はウスタイトである。

BAK－2　ロ－1　1.6㎜径

(1) 肉眼観察：色調は黒灰色で、やや歪な球状を呈する。表面は比較的平滑で、若干微細な気孔がみられる。

(2) マクロ組織：Photo. 2 ⑤に示す。断面には非常に微細な気孔が少量散在する。

(3) 顕微鏡組織：Photo. 2 ⑥に示す。内部には白色粒状結晶ウスタイトが凝集して晶出する。

BAK－2　ハ－1　3.8㎜径

(1) 肉眼観察：色調は黒灰色で、やや歪な球状を呈する。表面には波状の凹凸があり、1個所棘状の突起がみられる。

(2) マクロ組織：Photo. 2 ⑦に示す。断面には中央付近に不定形の気孔がみられる。その周囲にも、ごく微細な気孔が多数散在する。

(3) 顕微鏡組織：Photo. 2 ⑧に示す。最表層の微細な明白色針状はヘマタイト、灰褐色多角形結晶はマグネタイトと推定される。さらに内部には白色粒状結晶ウスタイトが凝集して晶出する。

分析調査を実施した粒状滓4点は、すべて鉄酸化物であった。鉄材の熱間加工時、表面に生じた鉄酸化物が鍛打に伴い飛散した微細遺物である。

BAK－3：鍛造剥片

BAK－3　イ－1　3.6×2.6×0.4㎜

(1) 肉眼観察：色調は表裏面とも黒褐色である。表面は平滑で、裏面は波状の凹凸がみられる。

(2) マクロ組織：Photo. 3 ①に示す。やや厚手の剥片で、裏面側の凹凸に伴う厚みの変動がみられる。

(3) 顕微鏡組織：Photo. 3 ②に示す。明白色最表層はヘマタイト、その内側の明灰色層はマグネタイト、その内側の暗灰色層は凝集ウスタイトである。

BAK－3　イ－2　3.4×2.1×0.2㎜

(1) 肉眼観察：色調は表裏面とも黒褐色である。表面には筋が2条あり、下面には細かい凹凸が存在する。

(2) マクロ組織：Photo. 3 ③に示す。比較的平坦であるが、表裏面の凹凸に伴う厚みの変動がみられる。

(3) 顕微鏡組織：Photo. 3 ④に示す。明白色最表層はヘマタイト、その内側の明灰色層は肥大マグネタイト、その内側の暗灰色は層亀裂の走るウスタイトである。

BAK－3　イ－3　3.7×2.2×0.1mm

(1) 肉眼観察：色調は表裏面とも青黒～黒褐色である。また表裏面とも波状の凹凸がみられる。

(2) マクロ組織：Photo. 3⑤に示す。薄手で比較的平坦な剥片である。

(3) 顕微鏡組織：Photo. 3⑥に示す。明白色最表層はヘマタイト、その内側の明灰色層はマグネタイト、その内側の暗灰色層は非晶質ウスタイトである。最終仕上げの剥片であろう。

BAK－3　ロ－1　3.3×1.9×0.4mm

(1) 肉眼観察：色調は表裏面とも青黒～黒褐色である。また表裏面ともごく微細な凹凸がみられる。

(2) マクロ組織：Photo. 3⑦に示す。厚手で平坦な剥片である。

(3) 顕微鏡組織：Photo. 3⑧に示す。明白色最表層はヘマタイト、その内側の明灰色層はマグネタイト、その内側の暗灰色層は非晶質に近づくウスタイトである。

BAK－3　ロ－2　2.7×2.2×0.2mm

(1) 肉眼観察：色調は表裏面とも青黒～黒褐色で、平滑である。

(2) マクロ組織：Photo. 4①に示す。やや薄手で平坦な剥片である。

(3) 顕微鏡組織：Photo. 4②に示す。明白色最表層はヘマタイト、その内側の明灰色層はマグネタイト、その内側の暗灰色層は非晶質ウスタイトである。

BAK－3　ロ－3　2.2×1.8×0.1mm

(1) 肉眼観察：色調は表裏面とも青黒～黒褐色で、平滑である。

(2) マクロ組織：Photo. 4③に示す。やや薄手で平坦な剥片である。

(3) 顕微鏡組織：Photo. 4④に示す。明白色最表層はヘマタイト、その内側の明灰色層はマグネタイト、その内側の暗灰色層は非晶質に近づいたウスタイトである。

分析調査を実施した鍛造剥片6点は、すべて薄膜状の鉄酸化物であった。粒状滓（BAK－2）と同様、鉄材の熱間加工時表面に生じた鉄酸化物が、鍛打に伴って飛散した剥片状微細遺物である。

BAK－4：流出溝滓

(1) 肉眼観察：716gの平面不整六角形で盤状の流出溝滓破片である。上面は流動状で、微細な皺状の凹凸がみられる。また下面は全体に微細な炉壁粘土や小礫が固着する。破面にはやや小型の気孔が散在するが、非常に緻密で重量感がある。

(2) 顕微鏡組織：Photo. 4⑤～⑦に示す。淡茶褐色多角形結晶ウルボスピネル、淡灰色柱状結晶ファヤライトが晶出する。砂鉄製錬滓の晶癖である。また滓中にはごく微細な金属鉄粒が散在する。⑥⑦の明白色粒はその拡大である。3％ナイタルで腐食したところ、ほとんど炭素を含まないフェライト（Ferrite：α鉄）単相の組織が確認された。

(3) ビッカース断面硬度：紙面の構成上、硬度を測定した圧痕の写真を割愛したが、淡茶褐色多角形結晶の調査を実施した。硬度値は740Hv、748Hv、765Hvであった。ウルボスピネル（Ulvöspinel：$2FeO \cdot TiO_2$）としては若干硬質であり、ヘーシナイト（Hercynite：$FeO \cdot Al_2O_3$）との固溶体の可能性が高い。

(4) 化学組成分析：Table 2に示す。全鉄分（Total Fe）30.74%に対して、金属鉄（Metallic Fe）0.03%、酸化第1鉄（FeO）33.70%、酸化第2鉄（Fe_2O_3）6.46%の割合であった。造滓成分（$SiO_2+Al_2O_3+CaO+MgO+K_2O+Na_2O$）50.07%と高値であるが、このうち塩基性成分（$CaO+MgO$）

は2.97%と低めである。製鉄原料の砂鉄（含チタン鉄鉱）起源の二酸化チタン（TiO_2）7.37%、バナジウム（V）0.30%と高値であった。また酸化マンガン（MnO）は0.43%、銅（Cu）は<0.01%と低値である。

当鉄滓は砂鉄起源の脈石成分（TiO_2、V）の割合が高く、砂鉄製錬滓に分類される。

BAK－5：羽口

(1) 肉眼観察：熱影響を受けて先端部が黒色ガラス質化した、鍛冶羽口の破片である。内外径ともやや先細りの形状を呈する。胎土は淡褐色の粘土質で、細かい砂粒を含んでいる。

(2) 顕微鏡組織：Photo. 5 ①～③に示す。①は外面表層側の黒色ガラス質部分である。滓中には非常に微細な鉄酸化物（ウスタイトまたはマグネタイト）が晶出する。②③はその拡大である。鉄材を加熱したときの吹き減り（酸化による損失）に伴うものといえよう。

(3) 化学組成分析：Table 2 に示す。胎土分析である。強熱減量（Ig loss）8.64%とやや高めであった。熱影響を受けてはいるが、比較的結晶構造水を保持した状態での分析といえる。鉄分（Fe_2O_3）は4.41%と高めであるが、酸化アルミニウム（Al_2O_3）が20.07%と高値で、耐火性にも有利に働くと考えられる。

(4) 耐火度：1320℃であった。古代の羽口としてはごく一般的で、十分な耐火性状といえる。

当羽口はガラス質滓中の鉱物組成から、鍛冶原料鉄の加熱に用いられたと判断される。

BAK－6：椀形鍛冶滓

(1) 肉眼観察：260g弱で小型の椀形鍛冶滓である。上面は比較的平坦で、外周部に微細な木炭痕が散在する。下面は一部鍛冶炉床土が固着する部分と、細かい木炭痕による凹凸の残る部分とが混在する。側面1面は破面で、細かい気孔が散在するが緻密である。

(2) 顕微鏡組織：Photo. 5 ④～⑥に示す。④は滓部で白色粒状結晶ウスタイト、淡灰色柱状結晶ファヤライトが晶出する。高温沸し鍛接・鍛錬鍛冶滓の晶癖である。

(3) ビッカース断面硬度：紙面の構成上、硬度を測定した圧痕の写真を割愛したが、白色粒状結晶の調査を実施した。硬度値は397Hv、422Hvであった。ウスタイトとしては若干低値傾向を示すが、風化等の影響と推測される。

(4) 化学組成分析：Table 2 に示す。全鉄分（Total Fe）48.75%に対して、金属鉄（Metallic Fe）0.01%、酸化第1鉄（FeO）47.06%、酸化第2鉄（Fe_2O_3）17.34%の割合であった。造滓成分（SiO_2＋Al_2O_3＋CaO＋MgO＋K_2O＋Na_2O）31.93%で、このうち塩基性成分（CaO＋MgO）は4.67%であった。製鉄原料の砂鉄（含チタン鉄鉱）の二酸化チタン（TiO_2）は0.48%、バナジウム（V）<0.01%と低値であった。また酸化マンガン（MnO）も0.10%、銅（Cu）<0.01%と低値である。

当鉄滓は砂鉄起源の脈石成分（TiO_2、V）の低減傾向が顕著であり、鉄材の熱間加工時に生じた高温沸し鍛接・鍛錬鍛冶滓に分類される。

BAK－7：椀形鍛冶滓（含鉄）

(1) 肉眼観察：69g弱と小型の椀形鍛冶滓の破片と推定される。ただし外観的には製錬鉄塊系遺物にも類似する。表面は黄褐色の土砂で覆われており、一部茶褐色の錆膨れや銹化に伴う割れが観

察される。特殊金属探知機のH(○) で反応があることからも、内部に若干金属鉄が残存する可能性が高い。

(2) マクロ組織：Photo. 6①に示す。観察面にはまとまった金属鉄（またはその銹化物）は確認されず、滓中に非常に微細な銹化鉄部が多数散在する状態であった。

(3) 顕微鏡組織：Photo. 6②③に示す。滓中には0.1～0.4㎜径の砂鉄残骸と淡褐色片状結晶シュードブルーカイト（Pseudobrookite：$Fe_2O_3 \cdot TiO_2$）ないしルチル（Rutile：TiO_2）が晶出する。高温下で生じる砂鉄製錬滓の晶癖である（註2）。

また滓中にはごく微細な金属鉄や銹化鉄部が多数確認される。金属鉄部を3％ナイタルで腐食したところ、ほとんど炭素を含まないフェライト単相の組織が確認された。砂鉄から還元された初期鉄粒である。

(4) 化学組成分析：Table 2に示す。全鉄分（Total Fe）47.76%に対して、金属鉄（Metallic Fe）0.13%、酸化第1鉄（FeO）15.66%、酸化第2鉄（Fe_2O_3）50.70%の割合であった。造滓成分（SiO_2＋Al_2O_3＋CaO＋MgO＋K_2O＋Na_2O）は21.59%で、このうち塩基性成分（CaO＋MgO）は1.61%と低値であった。製鉄原料の砂鉄（含チタン鉄鉱）起源の二酸化チタン（TiO_2）は4.04%、バナジウム（V）0.14%であった。また酸化マンガン（MnO）は0.62%と高めで、銅（Cu）は＜0.01%と低値である。

当鉄滓は、当初外観の特徴から椀形鍛冶滓片と製錬鉄塊系遺物の可能性が考えられたが、滓部の鉱物組成から、高温下で生じた砂鉄製錬滓と推定される。チタン（TiO_2）含有率は流出溝滓（BAK－4）と比較すると低めであるが、これは金属鉄とその銹化物の影響を受けたためと判断される。また鉄部は非常に微細で、鍛冶原料となり得る品位ではない。

BAK－8：鉄製品

(1) 肉眼観察：棒状の鍛造品の破片である。端部は緩やかに湾曲しており、反対側の端部は銹化に伴う破面である。鍛冶具の破片の可能性も指摘されているが、全体に銹化が進行しており、表面の剥離や割れも著しい。特殊金属探知機のH(○) で反応があることからも、内部に若干金属鉄が残存する可能性が高い。

(2) マクロ組織：Photo. 6④に示す。観察位置ではほぼ断面全体が銹化している。また銹化鉄には層状の剥離痕跡が多数生じている。これは折り返し鍛錬が施された鍛造鉄器の特徴といえる。断面は長方形状であり、火掻き棒様の破片の可能性を提示しておく。

(3) 顕微鏡組織：Photo. 6⑤～⑦に示す。銹化鉄部には、部分的に亜共析組織（＜0.77％C）痕跡が残存している。これらの組織痕跡が確認される範囲では、炭素含有率は最大でも0.2%以下の軟鉄と推測される。また⑥⑦の銹化鉄中には製鉄原料の砂鉄に起因する非金属介在物で淡茶褐色結晶のウルボスピネル（Ulvöspinel：$2FeO \cdot TiO_2$）が多数点在する。

(4) 化学組成分析：Table 2に示す。全鉄分（Total Fe）61.20%に対して、金属鉄（Metallic Fe）0.12%、酸化第1鉄（FeO）7.62%、酸化第2鉄（Fe_2O_3）78.86%の割合であった。造滓成分（SiO_2＋Al_2O_3＋CaO＋MgO＋K_2O＋Na_2O）は4.41%であるが、これは土砂等の影響も受けた可能性が高い。また製鉄原料の砂鉄（含チタン鉄鉱）起源の二酸化チタン（TiO_2）は0.50%、バナジウム（V）は0.05%であった。また酸化マンガン（MnO）は0.02%、銅（Cu）＜0.01%である。

以上の調査結果から、当製品は軟鉄を折り返し鍛錬して製作されたと判断される。また鉄中非金属介在物からは始発原料は砂鉄であった。在地素材の鍛冶具の破片であろうか。

4．まとめ

博労町から出土した9世紀前半と推定される製鉄・鍛冶関連遺物を調査した結果、以下の点が明らかとなった。

〈1〉出土鉄滓のうち2点は砂鉄製錬滓に分類される。流出溝滓（BAK－4）のチタン含有率はやや高めであり（TiO_2：7.37%）、地域に分布する安山岩質の火山岩起源の砂鉄が主な製鉄原料であったと推定される。また含鉄鉄滓（BAK－7）には、砂鉄残骸とシュードブルーカイト（Pseudobrookite：$Fe_2O_3 \cdot TiO_2$）ないしルチル（Rutile：TiO_2）といった、高温製錬で生じる（鉄）チタン酸化物の結晶が確認された。これらの製鉄関連遺物は地域周辺の製鉄遺跡から、鍛冶原料（製錬鉄塊系遺物）に混じって搬入されたものと判断される。

〈2〉また出土鉄滓中には、精錬鍛冶滓（BAK－1）と高温沸し鍛接・鍛錬鍛冶滓（BAK－6）が確認された。さらに粒状滓（BAK－2）、鍛造剥片（BAK－3）など、熱間での鍛打加工が行われたことを示す微細遺物も存在する。これらの遺物群から、当遺跡では鍛冶原料（製錬鉄塊系遺物）の不純物除去の精錬鍛冶から、鉄材を熱間で鍛打加工する高温沸し鍛接・鍛錬鍛冶まで、一連の鍛冶作業が行われたと推定される。

また鍛冶滓（BAK－1）表層に付着した微細な木炭破片から、広葉樹材が鍛冶炭に用いられたことが指摘できる。

〈3〉羽口（BAK－5）も、先端部の黒色ガラス質滓中に鉄酸化物が晶出しているため、鉄材の加熱に用いられた鍛冶羽口と推定される。耐火度は1320℃で古代の鍛冶羽口としては十分な性状である。

〈4〉鉄製品（BAK－8）は金属組織の痕跡から、軟鉄を折り返し鍛錬して製作された鍛造品と推定される。また非金属介在物としてウルボスピネル（Ulvöspinel: $2FeO \cdot TiO_2$）が多数確認されたことから、始発原料は砂鉄と判断される。

当遺跡の出土製錬滓（BAK－4、7）とともに生成された金属鉄（製錬系鉄塊）が原料であったと仮定しても矛盾はない。

（註）

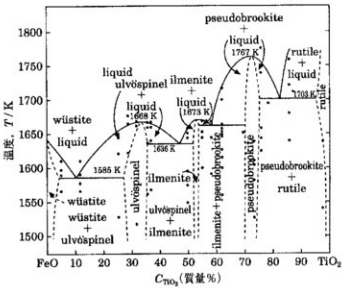
(1) 日刊工業新聞社『焼結鉱組織写真および識別法』1968

ウスタイトは450～500Hv、マグネタイトは500～600Hv、ファヤライトは600～700Hvの範囲が提示されている。またウルボスピネルの硬度値範囲の明記はないが、マグネタイトにチタン（Ti）を固溶するので、600Hv以上であればウルボスピネルと同定している。

それにアルミナ（Al）が加わり、ウルボスピネルとヘーシナイトを端成分とする固溶体となると更に硬度値は上昇する。このため700Hvを超える値では、ウルボスピネルとヘーシナイトの固溶体の可能性が考えられる。

(2) J.B.Mac chesney and A. Murau: American Mineralogist. 46 (1961), 572

〔イルミナイト（Ilmenite: $FeO \cdot TiO_2$）、シュードブルーカイト（Pseudobrookite：$Fe_2O_3 \cdot TiO_2$）、ルチル（Rutile: TiO_2）の晶出はFeO-TiO_2二元平衡状態図から高温化操業が推定される。〕



FeO-TiO_2二元平衡状態図

Table 1　供試材の履歴と調査項目

符号	遺跡名	出土位置	遺物名称	推定年代	計測値 大きさ(cm)	計測値 重量(g)	磁着度	メタル度	ソケット痕	鉄棒痕	調査項目 ビッカース硬度	調査項目 X線回折	調査項目 EPMA	調査項目 化学分析	調査項目 融点	調査項目 カロリー	備考
BAK-1	博多町	鍛造関連遺物堆積土坑下層	楕形鍛造滓（含鉄）	9c前半	35×30×20	191	3	微化(△)	○	○	○						
BAK-2			粒状滓（4点）		—	—	1	なし		○							
BAK-3			鍛造剥片（6点）		—	—	1	なし		○							
BAK-4		D-2　No.801	流出溝滓		115×85×66	715.9	1	なし		○	○			○			
BAK-5		A-2　No.824	刻Li		78×61×23	89.9	1	なし		○				○	○		
BAK-6		A-2　No.3714	楕形鍛造滓		89×92×36	259.8	1	なし		○	○			○			
BAK-7		D-3・4　No.39	楕形鍛造滓（含鉄）		45×62×35	68.6	6	H(○)	○	○				○			
BAK-8		C-1　No.978	鉄製品（鍛造品）		76×12×11	20.2	5	H(○)	○	○				○			

*13点測定

Table 2　供試材の化学組成

符号	遺跡名	遺物名称	推定年代	全鉄分 (Total Fe)	金属鉄 (Metallic Fe)	酸化第一鉄 (FeO)	酸化第二鉄 (Fe_2O_3)	二酸化珪素 (SiO_2)	酸化アルミニウム (Al_2O_3)	酸化カルシウム (CaO)	酸化マグネシウム (MgO)	酸化カリウム (K_2O)	酸化ナトリウム (Na_2O)	酸化マンガン (MnO)	二酸化チタン (TiO_2)	酸化クロム (Cr_2O_3)	硫黄 (S)	五酸化燐 (P_2O_5)	炭素 (C)	バナジウム (V)	銅 (Cu)	二酸化ジルコニウム (ZrO_2)	耐火度 (℃)	造滓成分	遊離成分 Total Fe	TiO_2 / Total Fe	注
				*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	Σ *
BAK-4	博多湾	武出溝浮	9c前半	30.74	0.60	33.70	6.46	35.31	9.27	1.42	1.35	1.96	0.56	0.43	7.37	0.12	0.03	0.13	0.05	0.20	<0.01	0.14	—	50.07	1.629	0.240	
BAK-5		須口		4.62	0.03	1.94	4.41	57.62	20.07	0.81	0.65	1.56	0.61	0.05	0.69	<0.01	0.01	0.43	igloss 8.64	<0.01	<0.01	<0.01	1320	81.32	17.602	0.149	
BAK-6		梶形鍛冶滓		48.75	0.01	47.06	17.39	30.36	4.86	3.13	1.34	1.04	1.00	0.19	0.48	0.02	0.03	0.25	0.17	<0.01	<0.01	<0.01	—	31.93	0.655	0.010	
BAK-7		梶形鍛冶滓(含鉄)		47.76	0.13	15.66	50.79	14.62	4.01	1.17	0.44	0.79	0.56	0.62	4.04	0.02	0.06	0.26	0.27	0.14	<0.01	0.42	—	21.59	0.452	0.085	
BAK-8		鉄製品(鍛造品)		61.29	0.12	7.62	78.86	2.97	0.89	0.29	0.18	0.04	0.14	0.02	0.50	0.08	0.05	0.32	0.51	0.05	<0.01	<0.01	—	4.41	0.072	0.008	

Table 3　出土遺物の調査結果のまとめ

符号	遺跡名	出土位置	遺物名称	推定年代	顕微鏡組織	化学組成（%） Total Fe	Fe_2O_3	造滓成分	TiO_2	V	MnO	遊離成分	Cu	所見
BAK-1	博多湾	鍛冶関連遺物廃棄土坑下層	梶形鍛冶滓（含鉄）	9C前半	岸部：W＋U＋F、水酸鉄片：広葉樹材、鍛造剥片付着、鍛化鉄都市材組織痕跡	—	—	—	—	…	—	—	—	結晶鍛冶滓（鉄鉱原料：砂鉄）
BAK-2			鉄鉄滓（イ点）		イ－1，2，ハ－1：He＋M＋W、ロ－1：W	…	—	—	—	—	—	—	—	鉄関での鍛打加工に伴う鍛剥遺物（鉄酸化物）
BAK-3			鍛造剥片（6点）		He＋M＋W、W は鍛造から非晶質に近い	—	—	—	—	—	—	—	—	熱間での鍛打加工に伴う微細遺物（鉄酸化物）、鍛打最終に近い剥片
BAK-4		D-2　No. 801	流出溝浮		岸部：U＋Ii の固溶体＋F、微小金属鉄粒：フェライト平坦	30.74	6.46	2.97	7.37	0.30	0.43	50.07	<0.01	製鉄滓（原料：火山岩起源の砂鉄）
BAK-5		A-2　No. 824	羽口		外面表層：ガラス質滓、微細W＋M	4.62	4.41	1.46	0.69	<0.01	0.05	81.32	<0.01	耐火度1320℃、鉄材の加熱に用いられた鍛冶羽口
BAK-6		A-2　No. 3714	梶形鍛冶滓		岸部：W＋F、酸化鉄都市材組織痕跡	48.75	17.39	4.67	0.48	<0.01	0.10	31.93	<0.01	高温海上鍛造：結晶鍛冶滓
BAK-7		B-3・4　No. 39	梶形鍛冶滓（含鉄）		岸部：Fa or R、微小金属鉄：フェライト平坦、微小酸化鉄部多孔質状、0.1～0.4mm砂鉄残骸	47.76	50.70	1.61	4.04	0.14	0.62	21.59	<0.01	製錬滓（原料：砂鉄、高温製錬）
BAK-8		C-2　No. 978	鉄製品（鍛造品）		酸化鉄部：皮共形組織痕跡、非金属分析物：U	61.29	78.86	0.37	0.50	0.05	0.02	4.41	<0.01	軟鉄を折り返し鍛接して製作された鍛造品（鉄鉱原料：砂鉄）

U: Ulvospinel (2FeO·TiO_2)、W: Wustite (FeO)、F: Fayalite (2FeO·SiO_2)、He: Hematite (Fe_2O_3)、M: Magnetite (Fe_3O_4)、H: Hercynite (FeO·Al_2O_3)、Pa: Pseudobrookite (Fe_2O_3·TiO_2)、R: Rutile (TiO_2)

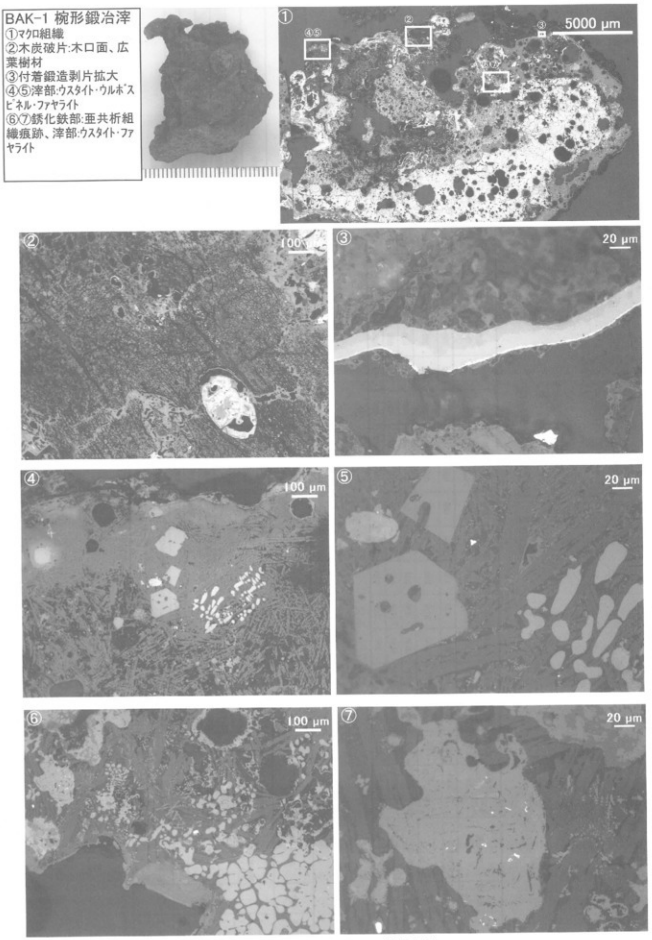
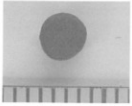
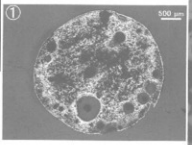
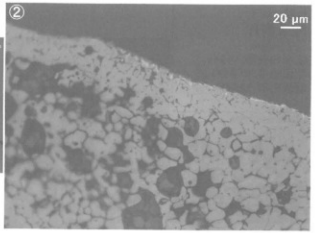


Photo. 1　椀形鍛冶滓の顕微鏡組織

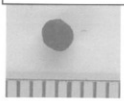
BAK-2 イ-1
粒状滓
①マクロ組織
②針状結晶:ヘマタイト、
多角形結晶:マグネタイト、
粒状結晶:ウスタイト

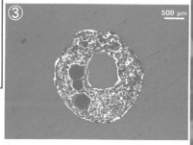


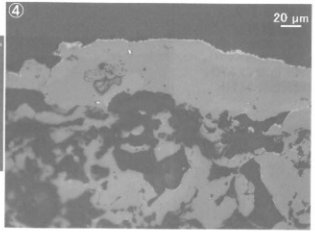




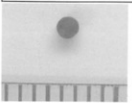
BAK-2 イ-2
粒状滓
③マクロ組織
④明白色層:ヘマタイト、
明灰色層:マグネタイト、
暗灰色層:ウスタイト

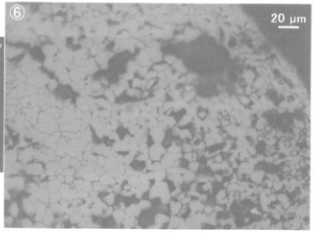




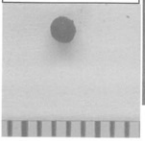


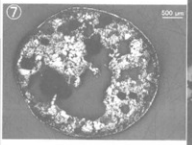
BAK-2 ロ-1
粒状滓
⑤マクロ組織
⑥ウスタイト





BAK-2 ハ-1
粒状滓
⑦マクロ組織
⑧針状結晶:ヘマタイト、
多角形結晶:マグネタイト、
粒状結晶:ウスタイト





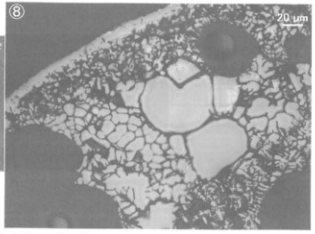
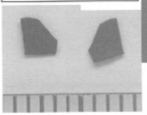
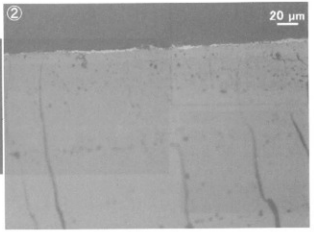


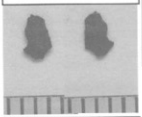
Photo. 2　粒状滓の顕微鏡組織

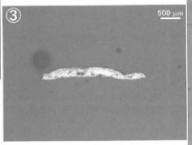
BAK-3 イ-1
鍛造剥片
①マクロ組織
②明白色層:ヘマタイト、
明灰色層:マグネタイト、
暗灰色層:ウスタイト

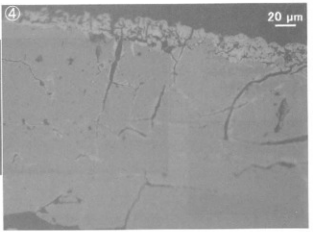




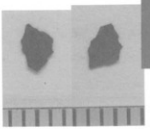
BAK-3 イ-2
鍛造剥片
③マクロ組織
④明白色層:ヘマタイト、
明灰色層:マグネタイト、
暗灰色層:ウスタイト

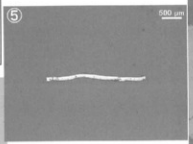


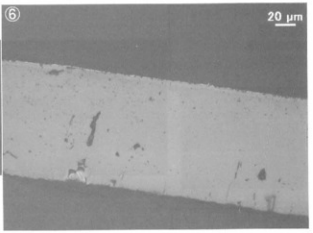




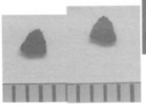
BAK-3 イ-3
鍛造剥片
⑤マクロ組織
⑥明白色層:ヘマタイト、
明灰色層:マグネタイト、
暗灰色層:ウスタイト

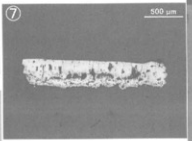






BAK-3 ロ-1
鍛造剥片
マクロ組織
明白色層:ヘマタイト、
明灰色層:マグネタイト、
暗灰色層:ウスタイト





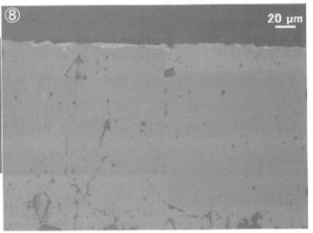
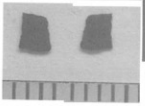
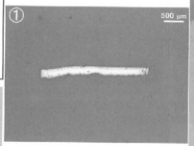
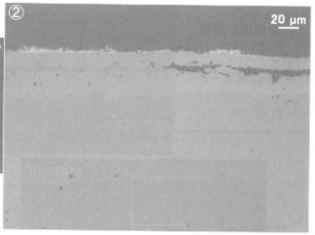


Photo. 3　鍛造剥片の顕微鏡組織

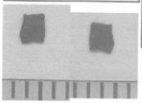
BAK-3 ロ-2
鍛造剥片
①マクロ組織
②明白色層:ヘマタイト、
明灰色層:マグネタイト、
暗灰色層:ウスタイト

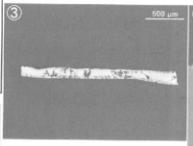


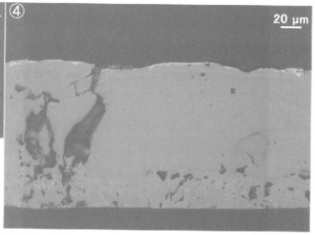




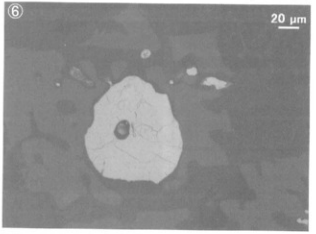
BAK-3 ロ-3
鍛造剥片
③マクロ組織
④明白色層:ヘマタイト、
明灰色層:マグネタイト、
暗灰色層:ウスタイト

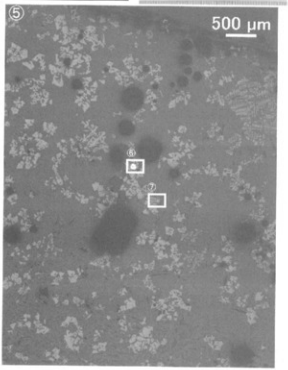






BAK-4 流出溝滓
⑤滓部:ウルボスピネル・ウスタイト、微小金属鉄粒散在
⑥⑦ ⑤の拡大
微小金属鉄粒:ナイタルetch
フェライト単相





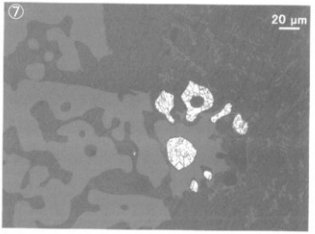
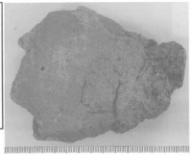
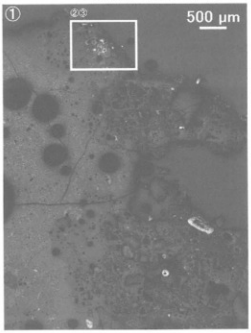
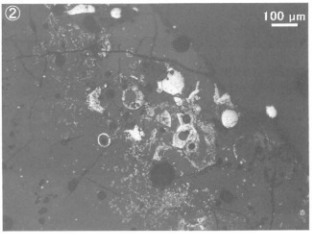


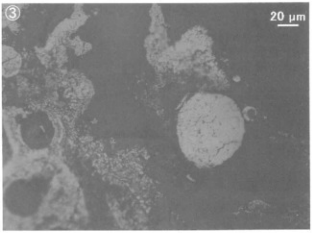
Photo. 4　鍛造剥片・流出溝滓の顕微鏡組織

BAK-5 羽口
①外面表層ｶﾞﾗｽ質
滓、微細ｳｽﾀｲﾄ･ﾏｸﾞﾈﾀｲﾄ晶出
②③ ①の拡大

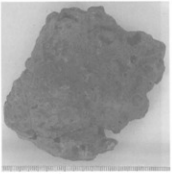


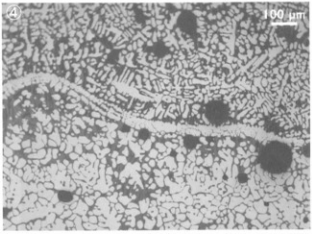


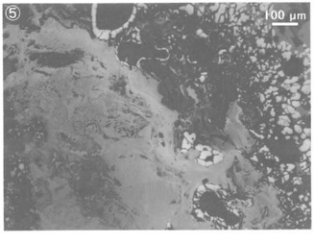




BAK-6 椀形鍛冶滓
④滓部･ｳｽﾀｲﾄ･ﾌｧﾔﾗｲﾄ
⑤⑥銹化鉄部･亜共析組織痕跡







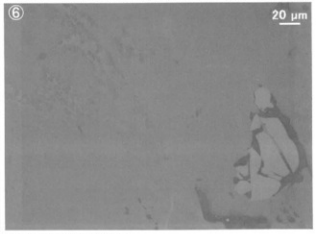
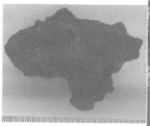


Photo. 5　羽口・椀形鍛冶滓の顕微鏡組織

BAK-7　含鉄鉄滓
①ﾏｸﾛ組織
②③ ①の拡大
滓部:ｼｭｰﾄﾞﾌﾞﾙｰｶｲﾄないしﾚﾙﾁﾙ、微小金属鉄粒ﾅｲﾀﾙetch ﾌｪﾗｲﾄ単相、微小銹化鉄部多数散在



BAK-8　鉄製品
④ﾏｸﾛ組織
⑤～⑦銹化鉄部拡大
亜共析組織痕跡
介在物:ｳﾙﾎﾞｽﾋﾞﾈﾙ

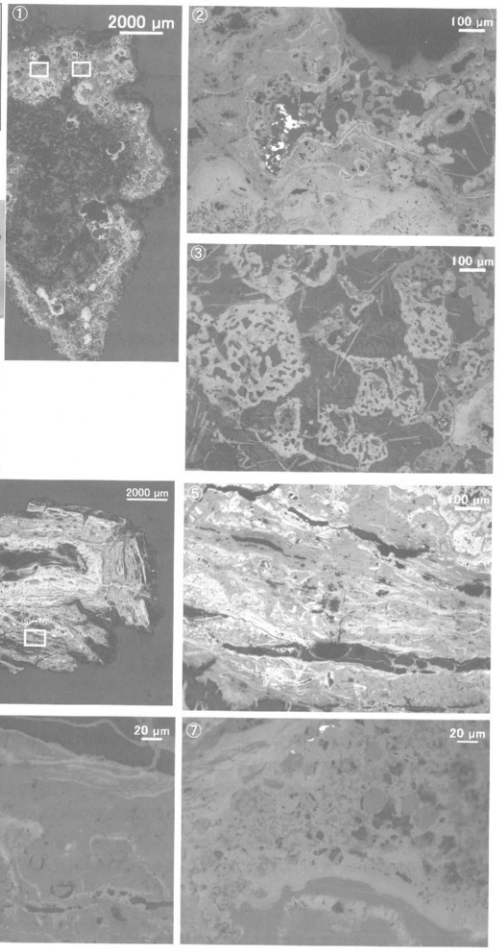


Photo. 6　含鉄鉄滓・鉄製品の顕微鏡組織

第Ⅷ章　特　論

第１節　弥生時代終末～古墳時代前期土器の検討

濵野　浩美

１．はじめに

博労町遺跡では、クロスナ（Ⅲ）層中の遺構及び包含層中から膨大な量の遺物が出土している。遺物は古墳時代のものが最も多く、壺、甕、高坏等集落で一般的に出土する土師器類の他、埴輪片、玉や鏡、石製模造品、土製模造品などの祭祀遺物も出土している。これらの遺物は、滞水砂中という包蔵環境により、遺存状態が非常に良好で、個々の土器から製作過程における成形技法や器面調整に至るまで多くの情報が読み取れた。

この時期の土器に関する研究については、既に多くの研究者によって様々な切り口から編年研究が行われている。近年、渡邊　誠氏は従前の研究に基づき「古墳時代開始期における土器編年研究～山陰地域を素材として～」において当該地域の詳細な編年研究を行っている（渡邊　2009）。

本節では、この渡邊氏の編年研究をもとに、今回出土した弥生時代終末～古墳時代前期の土器について型式分類を行い、その出土傾向及び土器の特色についての検討を行った。なお、本文中に記載した遺物番号は第１分冊掲載の遺物番号に符合するものであり、個々の実測図に関してはそちらを参照されたい。

２．土器の型式分類（第１図）

ここでは、従前の研究などを参考にし、今回出土した土器の分類基準について述べることとする。

(1)　壺

複合口縁壺：やや長胴で、最大径を体部上半に持ち、複合口縁を呈するもの。

Ａ類：口縁部が大きく外反、頸部付け根に突帯が巡るもの。

Ｂ類：口縁部は外反、頸部の突帯はないもの。

Ｃ類：大型で直立ないし内傾する口縁を持つもの。

複合口縁直口壺：扁平気味の体部に、垂直気味に長く伸びる複合口縁を持つもの。

単純口縁直口壺：やや長胴気味の体部に、やや外傾気味に立ち上がる単口縁を持つもの。

装飾壺：肩部から体部にかけて貝殻復縁や竹管等による刺突文、平行沈線などの装飾が施されるもの。

Ａ類：扁平気味の体部最大径に突帯が巡る、いわゆる特殊壺の類のもの。

Ｂ類：突帯を持たないもの。

短頸壺：扁平な体部に、直立した短い口縁部がつくもの。口縁部に穿孔が施されるものがある。

(2)　甕

複合口縁甕：最大径を体部上半に持ち、複合口縁を呈するもの。

A類：丸底を呈し、長胴気味の体部を持つもの。

B類：小型で丸底を呈し、球胴もしくは扁平気味の体部を持つもの。

C類：平底を呈するもの。

装飾甕：口縁部にはナデ消しの櫛描沈線などが施され、肩部から体部にかけて貝殻腹縁や竹管等による刺突文、平行沈線などの装飾が施されるもの。

布留形甕：くの字状を呈する単口縁で、布留式土器に系譜を持つもの。

(3) **小型丸底壺**：小型で丸底を呈し、屈曲する頸部に直線的に外傾する口縁をもつもの。

A類：畿内系の土器に系譜を持つもので、扁平気味の体部に長く直線的に外傾する口縁を持つもの。

B類：球胴気味の体部に、短く外傾する口縁を持つもの。

C類：複合口縁のもの。

D類：球胴ないし扁平気味の体部に、複合口縁部は短く直立ないしは内傾するもの。

(4) **小型丸底鉢**：小型で丸底を呈し、口径もしくは胴部最大径が器高より大きくなるもの

A類：大きく広がる口縁部を持つもの

B類：有段で屈曲する鉢状を呈するもの。

(5) **高坏**

A類：やや深めの皿状の坏部で緩やかに湾曲し口縁端部は外反、脚裾部は緩やかに広がるもの。

B類：布留系の高坏に系譜を持つもので、碗形の坏部に脚部は柱状、裾部は緩やかに広がるもの。

C類：庄内系の碗形高坏に系譜を持つもので、碗形の坏部に大きく開く脚部を持つもの。

D類：有段の大型の坏部を持ち、脚部は低めで大きく開くもの。

E類：有段の坏部を持ち、脚裾部は緩やかに広がるもの。

F類：ブランデーグラス形の坏部を持つもの、大型と小型のものがある。

G類：小型丸底壺A類に脚部が付くもの。

(6) **低脚坏**

A類：深めの碗形の坏部に、短小であまり広がらない脚部を持つもの。

B類：浅めの皿状の坏部に、短小で広がらない脚部を持つもの。

(7) **鼓形器台**

A類：接合部上下に突出部を持ち、受部に最大径を持つもの。

B類：X形を呈し、接合部上下端に突出部を持たないもの。

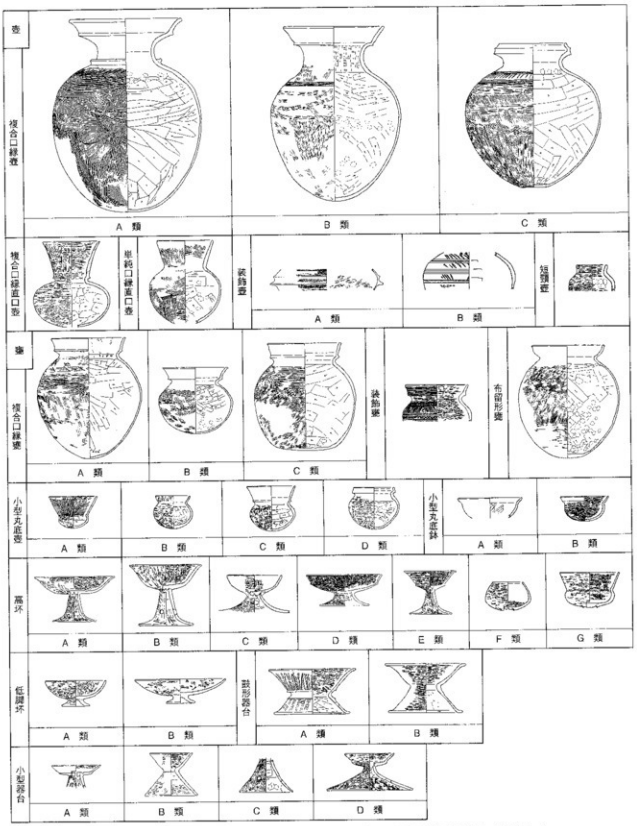
(8) **小型器台**

A類：高坏型の受部に、脚部は柱状、坏・脚接合部は円盤充填後刺突が施されるもの。

B類：布留系の小型器台でX形を呈するもの。坏、脚接合後穿孔が施されるもの。

C類：小型の碗状の受部にハの字状に開く脚部を持つもの。

D類：A類の受部に、ハの字状に開く脚部を持つ折衷型のもの。



第１図　博労町遺跡出土弥生時代終末～古墳時代前期土器型式分類図

第１表　博労町遺跡古墳時代前期出土土器器種別集計表

遺構名	壺								甕					小型丸底壺				小型丸底鉢		高坏							坩				鼓形器台		小型器台			合計
	複合口縁壺		複合口縁直口壺	単純口縁直口壺	装飾壺		短頸壺		複合口縁甕			甕	壺形	有段形																							
	A類	B類	C類		A類	B類			A類	B類	C類			A類	B類	C類	D類	A類	B類	A類	B類	C類	D類	E類	F類	G類	A類	B類	A類	B類	A類	B類	C類	D類		
5 区SD01									2																												2
1 区S101		2	1				1		2																					1							7
1 区S102									1																			1			1						3
1 区S103									2											1								1	2								6
1 区S104		1							9					1			1			3	1			1				2									19
1 区S105		1							8	1				1				1		3	4	2	1					2	1								25
1 区S106									4											3			2				1		3								13
2 区S102									1														1					1									3
2 区S103									11	1	1			1						1		1			1	1		1			2						21
2 区S104	2	2	2		3				73	7			7	1	1		3	2	1	9	7	2	1	3	1	2	4	5	11				2	1		152
4 区S101									2							1				5				1									1				10
4 区S105									5																												5
4 区S102					1				6												1																8
4 区S103		1	1	1					14			1				1				1			1				3		3								27
4 区S104		2	1						5																1			1					1				11
5 区S102		3							10								1			3		1	1				1	1									21
5 区S103			1											1						1										1							4
5 区S104		1							3	1				1							2									1							9
5 区S106									1																					1							2
5 区S107					1				3			2											1							1							8
5 区S108									3				1	1						2	2		1							1							11
5 区S110					1		1		2																					1							5
5 区S111														2					1																		3
5 区S114									5											2	1				1					2							11
5 区S115																																1					1
5 区SI16		1			1		1		3					4							1	1	1					4									17
5 区SI17																											1										1
5 区SI18					1																																1
1 区SK05									1																					1							2
5 区SK18									3											2							2	2	1								10
1 区SD02	6	15	3	4	3	1	2	1	117	9	2		12	7		3		2	2	10	18	3	6	3	1	1	10	21	34	4	2	7				309
1 区包含層		8	3	1		1	2	1	58	1		3	6	7	5	2				6	9	4	2	6			4	4	6	1		1					121
2 区包含層	1		4		1		1	1	13	1			5	5				1	2	5	1	2		1		1	2	2	2	2		3	1				57
3 区包含層							1	1	4																				2								8
4 区包含層									4	1			1					1	1	1							1	3	2		1						16
5 区包含層	2	7	1	2	1		2	1	36				7	1		7		2		5	3	2	1	1	1		4	4	10	1		2		1			104
合　計	11	44	17	8	13	2	11	5	391	22	3	6	39	33	6	14	5	9	7	63	50	18	19	16	6	5	33	55	87	8	7	17	2	1			1033

３．分類結果

以上の分類に基づき、博労町遺跡の古墳時代前期に帰属する土器について、遺構別に集計を行った（第１表）。集計作業においては復元可能な個体を１点としたが、全体の形状が不明な破片資料については膨大な数にのぼるため除外した。

まず、総数で出土量が最も多かったのが甕で、全体の47％と約５割を占める。次いで、高坏の17％、壺の10％と、この３器種が主体を占める。

個別に見ていくと、壺では複合口縁壺が主体的で大型品が多い。中でも複合口縁B類が72点と壺全体の40%を占める。複合口縁部が大きく開き、口縁下端については、水平方向に突出するものと、屈曲が緩やかで頸部にかけて肥厚するものがある。このうち、特徴的なものとしては、壺頸部に沈線区画内にハケ状工具端部を連続して押し引きしたような文様が巡るものがある（２区SI04-13・５区SI03-１）。この他、包含層中では頸部や口縁部に竹管文が巡るものも僅かに見られる。

直口壺については、壺全体の19%と比較的高い出土比率である。複合口縁のものより単純口縁のものが多い。複合口縁直口壺は、精緻な胎土を用い、全体的にシャープな作りである。口縁は粘土を何条も積み上げ非常に長く伸びるものと、短めのものがあり、在地の甕との折衷型のような形状を呈するものもある。単純口縁直口壺は、口径18cm前後の大型のものと、10cm以下の小型のものがあり、いずれも器壁は厚い。大型のものでは口縁端部を逆三角状に肥厚させ、水平に平坦面を作るものもみられる。また、小型のものは体部中央に最大径を持ち肩部から口縁にかけての器壁は非常に厚くぼってりとしている（２区表採-１、２区包含層-31）。

装飾壺は、13点と壺全体の12%である。器壁は薄く、個々の文様体は数条の沈線区画内に施される。A類の装飾壺は胴部中位に断面三角形の突帯を貼り付け、その上位に連続爪形文が施される。

短頸壺は、５点と壺全体の５%である。小型で全体的に器壁が厚く、全体にヘラミガキが施される。

次に甕については、圧倒的に複合口縁甕が多く、甕全体の85%を占める。A類は、口縁端部が丸くおさめるもの、面取りされるもの、平坦部が作られるものがある。また、下端については水平方向に突出するものと、屈曲が緩やかで頸部にかけて肥厚するものがある。主体的なものは器壁が非常に薄く全体的にシャープな作りで、口縁端部は外側に引き出され、下端は水平方向に突出するタイプである。内面は、体部から底部にかけて成形時の指頭圧痕が顕著に認められるものが多い。この圧痕は指頭によるものが主体的であるが、中には棒状工具の小口などで押圧を加えたような痕跡も認められ、製作技法を推測する上で興味深い。肩部の文様については、櫛描直線文、波状文等があり、波状文が途中から直線文になるものや全周しないものなど、退化傾向にあるものが多い。列点文については、一部のみ施文されるもの、ハの字状や三角形に一部分にのみ施文されるものもある。

B類の小型甕は、22点と甕全体の５%である。殆どは外反する複合口縁部が付くタイプである。器壁は薄く全体的にシャープな作りで、胎土も精緻で肩部に装飾が施されるものが殆どである。中には、外面にミガキが施され、成形技法的には小型丸底壺C類に近似するものもみられる（２区SI04-103）。使用痕はほとんど見られないことから、この小型甕は煮沸具などの実用品ではなく、祭祀的な器として使用された可能性が高い。この甕は大型住居跡で祭壇状の施設が検出された２区SI04で７点、大型溝の１区SD02では９点出土しており、遺構の性格を考える上で興味深い。

C類の平底甕は、点数的には３点と非常に少ない。複合口縁の端部が肥厚するものが殆どで、底部内面を指頭により平底に作りだしている。

布留形の甕については、口縁部が外反するもの、端部が内側に折れるもの、口縁中位が肥厚するものなどがある。このうち１区包含層-62など肩部に退化した波状文等の文様が施されるものもある。

この他、表には掲載されていないイレギュラーな土器に甕転用鉢２点がある。１区SI06-５は庄内系の甕体部以下を転用したもので、突出した小型の平底をもつ。内面には細かいハケ目調整が、外面にはナデが施されており、全体に丁寧な作りであるが、口縁端部は歪なまま軽くナデが施されたのみで、焼成し鉢として使用されたものと考えられる。また、１区包含層-66は、内底面は庄内系の甕の

ように底部を尖り底状にして細かいハケ調整が行われているが、外底面は底部を平底にする為かケズリを施した段階でやめている。ただし、口縁はナデが施され、未製品の状態で鉢に転用したようである。いずれも使用痕が顕著である。この２点の土器は胎土や成形技法から、同じ供給地からのものと考えられる。

次に、小型丸底壺は総数で57点と全体の５％である。このうち主体的なものはＡ類で56％を占める。個別に見ていくと、Ａ類は屈曲気味の非常に扁平な体部に、長く直線的に外傾する口縁を持つものが主体的である。その中には底部を欠損するものが多く、脚部を持つ可能性があるものもある。また口縁が長く伸びるものの中には端部がわずかに内湾するものもみられる（１区包含層-98）。器壁は肩部から頸部にかけては肥厚し、口縁部と底部は非常に薄くなる。胎土は赤褐色系で、精緻なものが殆どである。Ｂ類は口縁端部が尖り気味のものと、丸くおさめるものがあるが、いずれもナデにより僅かに内湾する。このタイプはＡ類よりはやや大型のものが殆どである。器壁は底部が比較的厚く、頸部から口縁にかけては非常に薄くなる。胎土は甕や高坏に見られるような粗い黄灰白色を呈し、在地産と考えられる。Ｃ類は、在地的な複合口縁甕Ｂ類と小型丸底壺Ａ類の折衷型で、複合口縁部に縦方向のミガキが施されるものもある。Ｄ類は、比較的灰色に近い胎土を用い、器壁は厚く内湾する口縁端部が肥厚するものが多い。全体的に丁寧なミガキが施されるものが多い。本節では小型丸底壺に含めたが、壺と甕と小型丸底壺との折衷型と考えられる。

高坏は、全体の17％と、甕に次いで出土比率が高い。このうちＡ類が36％、Ｂ類が28％と高坏全体の５割以上を占める。脚部は、柱状を呈し裾部が緩やかに広がるものが多い。接合部は円盤充填法が殆どで、Ｂ類、Ｃ類などの布留系や庄内系のタイプに関しても、接合方法は円盤充填法を用いている。このうち、Ｄ類は、灰白色～黄灰色の胎土を持つものが殆どで、法量的にもほとんど近似していることから、いずれも同じ供給地の土器である可能性が高い。Ｆ類については、口径12cm以上の大型のものと、口径８cm以下の小型のものがあり、口縁端部は内湾するものと外側に引き出されるものがある。このタイプは脚部が遺存するものがなく形状が不明である。高坏は全体的に、内外面に使用痕が顕著なものが多く、中には外面に煤や焦げが付着するものも認められる。さらに脚部を欠損しているものの中には、外面の接合部付近に煤が付着し脚部との破断面も摩耗しているものが一定量出土している。これらは脚部欠損後も坏として使用していたと考えられる。このことから、高坏については供献土器としての使用だけでなく、食器や煮沸具としての使用も当然考えられよう。

その他、イレギュラーなタイプとして、１区包含層-126がある。口径10.0cmと小さく、コップ状の坏部を呈し、底部と口縁の境に段を持ち、口縁はあまり開かず垂直気味に外反する。特異な形状から、搬入品と考えられよう。また、２区包含層-52は高坏の未製品を転用した鉢と思われる。全体に仕上げのナデ調整が施されておらず、外底面中央には脚部接合のための刺突痕が施される。ただし、外面に煤が付着していることから、前述の甕転用鉢と同様に、未製品のまま鉢として使用されたものと考えられる。

低脚坏は、88点と全体の８％の出土比率である。このうちＢ類の皿状のタイプが63％、Ａ類の碗状のタイプが37％を占める。Ｂ類の皿状のものについては、口縁部に輪状に煤が付くものや、外面全体に煤が付着するものがみられることから、蓋としての使用が想定できる。

鼓形器台は、全体の９％で、このうちＡ類が87％と主体を占める。接合部の幅は全体的に狭く、口径が器高より大きいタイプが主流である。口縁及び脚端部は強く外反するものが多く、中には完全に

反り返るのもみられる。比較的小型のものについては、外面に赤彩や外面に縦ヘラミガキが施されるものある。また、ヘラ記号が脚部内面に施されるものが多い。数条単位の斜線、「×」「ハ」などの種類がある。この記号は甕や高坏に施されたものにも通有していることから、製作者集団の印等のようなものと考えられる。この他、煮焦げ状のものが付着しているものや被熱痕などが認められるものが一定量出土している。これについては、五徳等として使用した可能性も考えられよう。また4区包含層-20は坏部外面に墨痕が放射状に描かれている。非破壊による科学分析では原料が判別出来なかったが、墨書であればこの時期のものとして希少な事例と考えられる。

小型器台は、総数で27点、全体の2%を占める。このうちB類が63%を占める。このB類の中には、鼓形器台B類を小型化したような折衷型もみられる。

4．遺構出土の遺物について

次に、今回検出された遺構の中でも特徴的な遺構出土品について検討を行った。全体的な総数としては、大型溝状遺構である1区SD02が309点と突出して多い。住居跡では、当該期の住居跡内で最も大きい2区SI04で総数で152点、うち複合口縁甕80点、布留形甕7点、高坏は全部で25点と一軒の住居跡からの出土量としては最も多い。

以下、特徴的な遺構出土品について述べる。

1区SD02

本遺構は調査区を縦断する大型の溝状遺構で、特に埋砂中下層から中層にかけては整理用コンテナにして86箱分もの大量の遺物が出土している。遺物は何ヵ所かに集中して出土していること、ほぼ完形もしくは完形に近い破片で出土しているものが主体的であることから、断続的に一括廃棄が行われたものと考えられよう。出土比率をみると、最も多いのは甕類の140点（45%）、次いで高坏の42点（14%）、鼓形器台38点（12%）、壺31点（10%）、低脚坏の31点（10%）となり、甕の出土量が突出している。個別に見ていくと、壺では複合口縁壺B類が15点と最も多い。このうち、C類は口径40cm前後の大型のもので、複合口縁壺、口縁は内傾し、下端は突出する。文様については肩部に波状文・羽状文・直線文等の文様が施されるものが多い。複合口縁直口壺は精緻な胎土を用い、全体的にシャープな作りである。191は体部下半に羽状文が施される。また、他より短く外側に引き出される口縁を持つものも認められる。小型甕との折衷型と考えられる。なお、直口壺のうち最下層出土の29は、突出する平底中央が凹み、球胴気味の体部に、屈曲する頸部から口縁は大きく直線的に開く。外面全体にハケ目調整後、丁寧なヘラミガキが施される。胎土は灰白色から淡橙色系で、在地品とは考えにくい。神原神社古墳の墓坑内土器埋納坑出土の直口壺に類似している（松山　2002）。

複合口縁の甕は、A類が117点と全体の中でも38%を占める。いずれも胴部上半に最大径を持つが、球胴に近いものと長胴気味のものがある。底部は丸底が主体的であるが、平底のもの、平底を意識しているものなどもみられる。形状については、口縁が外反するものが主体であるが、内湾するものもある。口唇部は平坦なものが主体的でこのほか丸くおさめるもの、外側に引き出されるものなどがあり、口縁下端については水平方向に突出するものと屈曲が緩やかで頸部にかけて肥厚するものがある。また、52・53の内底面には棒状工具の小口による圧痕が見られる。文様については、肩部が無文のものが主体で、施文されているものについても全周しないものや屈曲の緩い波状文、列点文については

一部のみ施文されるもの等全体的に退化している傾向がある。ただし、少量ではあるが76のように櫛状工具による文様が何条にも亘り丁寧に施されるものもある。また、143は肩部に焼成前の×印が線刻され、151は肩部に米粒形の列点文2個が上下に施文されており、ヘラ記号であると考えられる（註1）。なお、71・124の内面頸部以下は黒色を呈する。焦げや黒斑のような焼けムラは認められず、全体的に均一に黒色であることから、この2点については、何らかの黒色処理を施された可能性も考えられよう。また、体部に焼成後に楕円形の穿孔が施されるもの、使用痕がまったく見られないB類の甕については、祭祀関連の遺物の可能性が考えられよう。

布留形の甕は、溝南側を中心に出土している。口縁が中位で肥厚するもの、口縁が内側に折れるものがある。169は粗いハケ目調整が施され、全体に粗雑な作りである。

小型丸底壺は、192～194は扁平な体部に複合口縁が付く在地系のタイプ、195～202は畿内系の系譜を持つタイプで、精緻な胎土を用い、球胴から扁平気味の体部に直線的に外傾する口縁を持つ。

高坏はA・B類が最も多い。脚部については布留系の高坏に似た、エンタシス状の膨らみを持つ細く柱状脚に細かいヘラミガキが施されるものが多い。脚接合部で破損し坏部だけ遺存しているものの多くにおいて外面に内外面に顕著な使用痕が見られ、外面には破断面を含めて煤が付着していることから、これらの土器は脚部欠損後も坏として使用していた可能性が高い。

低脚坏はB類が主体である。坏部外面や口縁部に煤が付着しているものや口縁部が剥離摩耗しているものが多く、蓋として使用された可能性が考えられる。283・284は脚部に焼成前の穿孔が施される。

鼓形器台はA類が主体である。口径より底径が小さいものが殆どである。294は受部外面に波状文が施される。300は円形透かしが2個一対で開けられている。前面等の印であろうか。また、脚部内外面に1条、4条、逆「く」の字等の線刻が施されるもの（311～314）もあり、ヘラ記号と考えられる。B類も口縁端部は外反する。

小型器台はB類が主体である。328はB類に含めたが、鼓形器台を小型化したような形状で折衷型と考えられる。

以上、1区SD02の出土遺物は弥生時代終末期～古墳時代前期に亘るものが出土しているが、下層～最下層において集中して出土した遺物を見ると、古墳時代前期中葉～後葉が中心であると考えられる。従って、この時期、1区SD02に大量の遺物が断続的に一括廃棄され、溝としての機能を停止していったものと考えられる。一括廃棄遺物は使用痕が顕著なものが主体で、その中に祭祀遺物が僅かに見られることから、想像を逞しくすれば、日常生活で使用されていた土器を豊穣祭などの祭祀後に溝に一括廃棄するといった、集落内の共同祭祀が断続的に行われていたことを示すのではないだろうか。

このような多量の完形を含む遺物が廃棄された溝状遺構は、出雲平野の主要な集落などにおいても発見されている。古志本郷遺跡、下古志遺跡、田畑遺跡では集落を区画する大溝に土器を集中廃棄し、それ以降集落が廃絶している（米田2002）。こうした行為が行われた時期は、博労町遺跡で今回検出された大溝の時期とも重複しており、当該期に出雲地域も含めた広範囲のいわゆる「山陰系土器群」を使用する共同体に通有の祭祀儀礼が存在したのではないだろうか。

1区SK05

土坑底面に、弥生時代終末期の広口鉢と古墳時代初頭頃の甕と鼓形器台が一括して出土した。鉢と

甕・鼓形器台は、胎土や形状も全く異なり、形態的に鉢と他の２点の間には明瞭な時期差が生じる。しかし、出土状況としてはこの３点が同時に埋納されたことが明瞭である。片口鉢は漆による補修が認められ、補修後も使用していた痕跡が認められる。このことから、鉢は弥生時代終末期から伝世的に使用され、最終的に古墳時代前期初頭に一括埋納されたことが推測できる。これは土器の製作から廃棄までの使用期間の問題や、伝世品の可能性を考える上で非常に興味深い事例と考えられよう。

５区SK18

今回の調査において最も多くの遺物が出土した土坑である。多量の破片の他、総数で10点のほぼ完形の遺物が出土している。器高57.4cmの大型品を含む甕Ａ類３点と高坏Ａ類、低脚坏Ａ・Ｂ類が一括埋納された遺物と考えられる。いずれも黄灰白色の胎土を持ち、同じ供給地からの土器と考えられよう。出土遺物から、本遺構の時期は古墳時代前期初頭と考えられ、当該期の一括埋納資料としては良好な事例と考えられる。

５．時期について

博労町遺跡出土の古墳時代前期土器を概観すると、複合口縁壺・甕、鼓形器台といった在地系のいわゆる「山陰系土器群」の中に、小型丸底壺や小型器台といった畿内系の土器群が一定量認められる。畿内系の土器群については搬入品はほとんどなく、いわゆる在地で製作された模倣土器である。さらに、在地の土器の中に畿内系土器の要素が融合した折衷型の土器が多くみられる。これは在地の伝統的製作技法である円盤充填法を用いた布留系の高坏や、複合口縁の小型丸底壺など、胎土の選別から製作技法、調整にいたるまで、当該遺跡の出土土器に普遍的に見られる傾向である。これは在地の集団が積極的に畿内系の要素を取り入れた結果と考えられる。

以上のことから、当該遺跡出土土器の年代観を考えるなら、渡邊編年のⅣa期、即ち弥生時代終末期を上限とし、中心時期としては、Ⅴ期からⅥ期、古墳時代前期中葉頃であろうか。そして下限としてはⅦ期、古墳時代前期末までは降らないものと考えられる。

６．まとめ

以上、博労町遺跡の古墳時代前期の土器について概観してみた。特に、「山陰系土器群」と言われる在来の伝統的な土器様式と搬入系の土器様式の両方の要素が１つの土器に内包される折衷型の土器が多いこと、その中にも畿内系土器群の受容が顕著に見られることは、この遺跡の土器の大きな特徴と考えられる。小型丸底壺の中には、精製した胎土を用いず在地産の粗い胎土で作られたものや、成形技法についても在地系のものが一定量みられ、在地の製作者集団が作成したものと考えられる。これは渡邊氏が既に述べられている、在来系の土器様式に新たな様式が組み込まれた変容型の土器が多く、より畿内的様相が強くなっていく段階といえよう（渡邊2008）。１区SD02出土遺物はまさにそれを裏付ける遺構で、畿内型土器の在地化現象が起こる時期が、当該遺跡における古墳時代前期の集落の中心時期と考えられる。

また斉一的な様相の中にも搬入品や個別の色彩が入り込む余地が少なからず見られることは、今回出土した異形勾玉や土製品などにも言えることであり、当該遺跡の出土遺物における特徴と考えられよう。こうした様相から、推測すると博労町遺跡で使用された土器は畿内系土器群の型式を受容しな

がらもその規制はゆるやかなものであったのではないだろうか。

今回は、床面直上出土遺物など良好な一括資料が少なく、先行研究の編年観に準ずる分類にとどまったため博労町遺跡出土土器の編年を構築するまでには至らなかった。また、搬入品の可能性がある遺物についても詳細な検討ができなかったが、古墳時代前期の米子海浜砂丘域の様相を伝える新知見を提示できたものと思われる。

（註１）米粒形列点文等の文様については畿内の布留形甕にみられる文様パターンであるといわれている（次山 1995）。しかし、今回の出土遺物を見る限りは胎土や形状から在地産のものと考えられる。

（引用・参考文献）

清水真一　1976「第Ⅴ章考察編　土器編年論」『青木遺跡発掘調査報告書Ⅰ』F・J地区　青木遺跡発掘調査団.

清水真一　1978「第Ⅴ章考察編　土器論」『青木遺跡発掘調査報告書Ⅲ』A・B・E・H地区　青木遺跡発掘調査団.

清水真一　1992「因幡・伯耆地域」『弥生土器の形式と編年』山陽・山陰編　木耳社.

高橋　護　1991「土師器の編年　中国・四国」『古墳時代の編年』６　裕山閣出版.

谷口恭子　1991「土器」『岩吉遺跡Ⅲ』鳥取県教育委員会.

次山　淳　1995「波状文と列点文―布留系甕にみられる肩部文様の分類・系譜・分布」『文化財論叢』Ⅱ　同朋社出版.

牧本哲雄　1994「第５章　第１節　土器編年について」『南谷大山遺跡Ⅱ・南谷29号墳』（財）鳥取県教育文化財団・建設省　倉吉工事事務所

牧本哲雄　1999「第９章　第１節　古墳時代の土器について」『長瀬高浜遺跡・園第６遺跡』（財）鳥取県教育文化財団・建設省　倉吉工事事務所

牧本哲雄・八坪　興　1998「第８章　第１節　古墳時代の土器について」『石脇第３遺跡―森末地区・操り地区―石脇８・９号墳　寺戸第１遺跡　寺戸第２遺跡　石脇第１遺跡』（財）鳥取県教育文化財団・建設省　倉吉工事事務所

松井　潔　1997「東の土器、南の土器―山陰東部における弥生時代中期中葉～古墳時代初頭の非在地系土器の動態」『古代吉備』第19集　古代吉備研究会.

松本岩雄　1992「出雲・隠岐地域」『弥生土器の形式と編年』山陽・山陰編　木耳社.

松山智弘　2002「第４節神原神社古墳埋納坑出土の土器について」『神原神社古墳』加茂町教育員会

湯村　功　1997「鳥取県内出土の外来系土器について」『天萬土井前遺跡』（財）鳥取県教育文化財団

米田美江子　2002「第３章　第３節　搬入系遺物」『下古志遺跡』考察編　出雲市教育委員会.

渡邊　誠　2008「土器からみた古墳出現期の地域社会―山陰地方をケーススタディーとして―」『九州と東アジアの考古学』九州大学考古学研究室50周年記念事業実行委員会.

渡邊　誠　2009「古墳時代開始期前後における土器編年研究～山陰地域を素材として～」『島根考古学会誌』第26集　島根考古学会.

第２節　弥生時代終末～古墳時代の遺構の変遷

濵野　浩美

１．はじめに

今回の調査では、腐食化したクロスナ最下層～下層にかけて弥生時代終末～古墳時代前期の掘立柱建物跡１棟、竪穴住居跡29棟、土坑２基の他、大型の溝状遺構（１区SD02）１条等の大規模な集落跡が確認された。当該期の地形は２区南側を頂部として東西方向に延びる尾根状の砂丘列とその周囲の緩斜面部で構成されており、４区南端が最も低位となる。

本節では、前節に述べた出土遺物の検討を基に弥生時代終末期から古墳時代にかけて海浜砂丘域に展開した遺構の変遷について大きく３時期にまとめてみた（第１図）。

２．弥生時代終末～庄内併行期

博労町遺跡に集落が形成されるのは弥生時代終末期からである。近接する錦町第一遺跡では弥生時代前期～中期に遡る遺物も出土しているが、当該遺跡ではその時期の遺物は全く出土していないことから、弥生時代終末期以前は居住し易い環境ではなかったものと推測できる。当該期の遺構として竪穴住居跡８棟、土坑１基があげられる。遺構は砂丘尾根東側の緩斜面上に検出されており、さらに東側調査区外に広がる様相を見せる。従って今回検出された遺構は、その集落域の西側縁辺部に位置するものと考えられる。この時期の特徴的な遺構としては、庄内併行期の５区SI07があげられる。本遺構は円形の平面形を呈し、土堤を敷設した中央ピットが検出されている。

３．古墳時代前期

集落の規模が拡大し、大型住居跡や区画溝などの大型施設が形成され集落の最盛期を迎える。当該期の遺構としては掘立柱建物跡１棟、竪穴住居跡21棟、土坑１基の他、大型の溝状遺構（１区SD02）１条等の遺構があり、前代に比べ急激に増加する。この傾向は前代に引き続き東側緩斜面において最も顕著で、集落はさらに東側の調査区外に続いていくものと考えられる。

このうち、古墳時代前期前葉～中葉のものは掘立柱建物跡１棟、竪穴住居跡８棟で、東側斜面の大型布堀り掘立柱建物跡を中心に遺構が展開する。古墳時代前期中葉～後葉になると最も集落は盛行し、竪穴住居跡13棟、土坑１基、大型の溝状遺構（１区SD02）１条が展開する。中でも砂丘尾根を南北方向に横断する大型溝（１区SD02）はやや弧を描き、溝東側の集落密集域を囲繞するような形状を呈する。さらに溝西側の砂丘尾根北側斜面にも新たに集落が出現する。特に１区北側の砂丘間低地には４棟の竪穴住居跡が確認されており、遷地して居住していたことが推測できる。この北側斜面域では大型竪穴住居跡の２区SI04が主要施設と考えられる。調査区で最も大型の竪穴住居跡で平面形態や出土遺物、祭壇状の施設などから他の住居跡とは異なった性格が考えられよう。この北側斜面の集落と、東側斜面の集落とは大型溝で区画されていることから単位集団が異なる可能性が高い。

以上のように、弥生時代終末期～古墳時代前期にかけて遺跡は尾根状の砂丘頂部の東側緩斜面を中心に展開する。特に１区SK05からは弥生時代終末期～古墳時代前期にかけての連続性が推察される遺物が出土しており、当該期に東側斜面から北側に拡大しながら連綿と集落が営まれていたものと考

えられよう。また、大型溝状遺構（1区SD02）からは大量の一括廃棄遺物が出土しており、集落内祭祀などが行われていたものと推測できる。一方、南傾斜面の3区では当該期には全く遺構が検出されていない。調査区の土層堆積状況を観察すると、3区南端は粘質土が堆積する湿地であったことが分かる。居住に適した環境ではなかったのであろう。

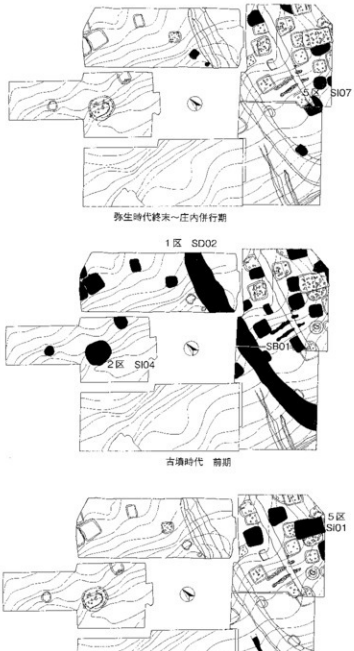
その後、古墳時代中期になると遺構は全く検出されず、遺跡は空白期となる。当該期に集落は周辺域に移動したのか、もしくは砂丘地という性格を勘案すれば、自然環境の変化により居住環境に適さない状況にあったのかも知れない。ただし、堆積土層に変化は見られず断定はし難い。

4．古墳時代後期

古墳時代後期になると、遺跡地に再び集落が形成され始める。検出された遺構は竪穴住居跡4棟、溝状遺構3条と古墳時代前期に較べ規模は小さい。ただし、竪穴住居跡は5区の東側緩斜面に集中しており、調査区外東側に居住域はさらに展開していく可能性も考えられる。検出された竪穴住居跡のうち、5区SI01は床面積86.3㎡と非常に大型のもので、主要施設の一つと考えられよう。また、低位の4区南側には溝状遺構3条が掘り込まれる。この溝は竪穴住居跡の主軸方向と直交・平行関係をもつことから、集落を区画する溝と考えられる。米子市域ではこの時期の集落の検出例は少なく、特に砂丘域においては貴重な事例である。

5．まとめ

以上、博労町遺跡の弥生時代終末期～古墳時代の遺構の変遷を検討した。米子市域では今まで福市遺跡、青木遺跡等の当該期の大型集落は台地上でのみ確認されていた。しかし今回の調査により、海浜砂丘地においても大規模集落が形成されていたということが初めて確認された。目久美遺跡など日野川下流域の低湿地集落は、弥生時代後期初頭の大規模な洪水や、砂丘の発達などにより衰退し廃絶に繋がっていく。そ



第1図 博労町遺跡古墳時代遺構変遷図

のような環境下において、砂丘停滞により安定した砂丘上に生活集団が移動し、海岸域により近接する博労町遺跡に集落が形成され始めたのではないだろうか。そして古墳時代前期になると大型溝状遺構を伴う10棟前後の集落の景観を呈する。この状況は古墳時代前期後半まで続く。この状況はまさに海浜砂丘域において古墳時代前期を通じて営まれた村落が存在したという新知見を得たものである。

この集落は遺跡内では古墳時代中期には断絶するが、古墳時代後期になると再び形成される。そして、この拠点集落の支配勢力が「会見半生郷」の形成などに繋がっていくのではないだろうか。

前述のように、本遺跡は米子海浜砂丘域の腐食砂（クロスナ）層中に展開する遺跡である。このような腐食砂層に形成された遺跡として、県内では中部の湯梨浜町長瀬高浜遺跡、東部の鳥取市身干山遺跡などがある。特に、長瀬高浜遺跡は天神川下流域の砂丘域に形成された拠点集落である。博労町遺跡とは立地環境や遺跡形成過程、集落の中心時期など共通する点が多い。古墳時代前期における海浜砂丘域の拠点集落の形成は、鳥取県内に留まらず広く日本海沿岸域に通有の現象で、当該期に日本海沿岸の平野部や微高地にはこのような拠点的集落が点在している。今回検出された博労町遺跡の集落は、当該期の交易流通を研究していく上でも非常に重要な意味を持つ遺跡であると考えられよう。

（引用・参考文献）

大村雅夫　2010「米子平野の考古学」『新修米子市史第十五巻　資料編　考古補遺』　米子市

岡野雅則　1999「第９章　第２節　古墳時代集落について」『長瀬高浜遺跡・圃第６遺跡』（財）鳥取県教育文化財団・建設省　倉吉工事事務所

三原一将・米田美江子　2002『下古志遺跡』考察編　出雲市教育委員会

第３節　博労町遺跡における古代の遺物と遺構の検討

濵野　浩美

１．はじめに

博労町遺跡の調査では、奈良・平安時代の遺構として掘立柱建物跡55棟、柵列５条、竪穴状土坑３棟、竈１基、溝状遺構30条、井戸２基、土壙墓１基、鍛冶関連遺物廃棄土坑１基、土坑24基、硬化面（道路状遺構）５条が検出されている。これらの遺構及び包含層中からは、７世紀から９世紀にかけての遺物が出土している。

山陰地域の古代土器については、近年岡田裕之氏を中心とした土器検討グループにより、出雲地域の須恵器の型式分類の検討作業が行われ、須恵器編年がまとめられている（岡田ほか　2010）。また、中森　祥氏は因幡・伯耆地域における古代土器の編年を提示されている（中森　2010）。

本節では、これらの編年案を基に博労町遺跡における古代土器の出土傾向を検討し、奈良・平安時代における遺構の変遷について検討を行った。

２．須恵器について

博労町遺跡出土の須恵器については、既に白石　純氏により胎土分析が行われ、大井窯跡群から７世紀後半から９世紀にかけて供給されたとの分析結果が報告されている（白石　2010）。胎土分析に使用された須恵器は、包含層中及び表採資料であるが、遺構出土資料についても肉眼観察の限りでは包含層出土のものと同様の胎土を呈することから、当該遺跡出土の須恵器の殆どは大井窯から供給されたものと考えられる。

岡田編年では、７世紀代から９世紀にかけての須恵器を型式学的変遷からⅠ期からⅤ期の５段階に区分し、編年が行われている。これに基づき当該遺跡出土の須恵器について検討を行った。

全体的な出土量としては、須恵器坏類が圧倒的に多い。これについて概観すると、坏類では無高台で底部が回転糸切りで体部は内湾、口縁は屈曲し外反もしくは外反気味のものが主体である。皿類では、底部が回転糸切りで器壁は厚く底部から体部が丸味を持って立ち上がり、口縁は外傾するものが主体である。高台付のものについては高台があまり高くないものが殆どを占める。

これに対し、殆ど出土していないものは、坏では底径が小さく器壁は薄く体部から口縁にかけて直線的に外傾するものである。皿においても底部ヘラ切り技法のものや器壁が薄く器高が非常に低く稜を持って直線的に外傾するものは遺構からは出土していない。

この他、特徴的なものとして、灯明皿形の坏が一定量出土している。これらの坏にはタール、煤等の付着していないものもみられ、すべてが灯明皿として使用されたとは考えにくい。また、包含層中からではあるが、鉄鉢形の鉢が数点出土している。特筆すべきは、内底面に漆の付着した須恵器壺２点（１区包含層212・242）である。いずれも底部のみの残存で、漆貯蔵具と考えられる。また、１区包含層242の坏内面には科学分析の結果、白色顔料など数種類の成分が付着していることから、パレットとして使用されたものと考えられる。須恵器転用硯では墨の他、ベンガラ、水銀朱などによる朱墨が付着したものが３点（３区包含層82・112、４区包含層106）出土している。

これらの出土須恵器を編年研究に基づき、３期に区分を行った（第１図）。ただし、包含層中から

出土した遺物については、クロスナ層全体から出土するという状況であり、時期決定資料とするには困難であることから除外している。

すなわち、Ⅰ期は坏に内傾する返りが付く段階で、Ⅱ期は底部が回転糸切りで体部は内湾、口縁は屈曲し外反もしくは外反気味の無高台坏を中心とする段階、Ⅲ期は回転台を使用した土師器坏が出現する段階、底部押圧技法のものが見られ、体部は直線的に外傾する。出土量が最も多かったのはⅡ期の丸味を持つ無高台坏の段階で、口縁端部が屈曲して外反するものから緩く内湾するものまでが全般的に出土している。

これを前述の編年観に照らし合わせると、Ⅰ期が7世紀中葉、Ⅱ期が8世紀前半～中葉、Ⅲ期が8世紀後半～9世紀前半頃と考えられよう。従って、奈良・平安時代に本遺跡で遺構が展開するのは7世紀中葉からで、遺構の中心時期としては8世紀中葉から後葉が考えられる。漆付着須恵器や転用硯はⅡ期に帰属する遺物である。

3．土師器について

土師器については、総量的に少ないことから出土傾向を検討することは非常に困難であった。その中でも主体的なものとしては坏・皿類で、薄い赤色塗彩が刷毛塗りで施され、底部はヘラ削り、器高は低く、体部は丸味を持ち、口縁は屈曲気味に外反するものである。また、ヘラミガキ調整は行われるが暗文等は省略され、行われないものもみられる。これに対し、ヘラ切り後底部押圧技法、器高が高く体部が直線的に外傾するものや高台が付くものは、包含層からの出土が殆どである。この他、特徴的なものとして口縁が外反し玉縁状になるものも出土している（2区SK09-7）。これについては、同遺構出土の須恵器において灯明皿形坏が出土していることからその時期のものと考えられよう。

これらを前述の遺構出土須恵器の編年的位置づけを基に、遺構出土のものをⅠ～Ⅲ期に分けてみた（第2図）。ただし、出土総量が少なく、その変遷までは検討できなかった。

4．出土遺構の特徴と変遷

前述の出土土器分類を基に、今回検出された遺構を3期に区分した。ただし、出土遺物が殆どなく、帰属時期が不明な遺構については除外した。すなわち、Ⅰ期に帰属するものが5区SD11・12、Ⅱ期に帰属するものは1区SB01～07・09～11、柵列、2区の掘立柱建物群、Ⅲ期に帰属するものは1区SB08、3区SB01～08、5区SB02である。

当該期の遺構として最も遡るⅠ期の遺構としては、5区SD11・12の2条がある。いずれも東側緩斜面に南北方向に平行して伸びている。このうち、5区SD11については幅300cm、深さ145cm、断面V字状のもので大型の区画溝である可能性が高い。この溝以外に当該期の遺構は検出されていないが、5区SD12が東側に90°近く屈曲していることを考えると、調査区外の東側に当該期の遺構群が存在し、この溝状遺構はその遺構を囲繞している可能性が考えられる。とすると、Ⅰ期の段階では遺構の中心は調査区東側にあると推測できるが、調査区内では一部のみの検出でありその断定はし難い。

Ⅱ期は遺跡の中心時期であり、砂丘尾根頂部から南北斜面に大型の1区SB01を中心とする掘立柱群が展開する。柵列と砂丘頂部に東西方向に検出された溝状遺構（2区SD11～13・5区SD04）は、この建物群を方形に囲繞している。区画内の建物群の主軸方向は、この1区SB01の主軸方向とほぼ平行直交関係を持ち、大型建物を中心とする施設であると思われる。ただし中心的建物以外は、2間

×1間の小型のものが主体であり、その配置も整然としたものではない。

Ⅲ期には、遺構の中心は尾根頂部の東西溝（2区SD11～13）南側に移るようであるが、出土遺物が少なく遺構の詳細な変遷は不明である。ただし、溝南側の空間（3区）で検出された掘立柱建物群は1区よりも密集度が高く時代もやや降ることから、1区SB01を中心とする建物群よりも後発的なものと考えられる。また、最も低位の3区南端では土坑群や鍛冶関連遺物廃棄土坑、土壙墓などが検出されていることから、この周辺域と尾根頂部付近では空間利用の違いがあったものと推測できよう。

なお、2区SD11～13（5区SD04）については、何回もの掘り替えが認められ、8世紀～9世紀前半頃までの遺物が出土している。すなわち、Ⅱ期からⅢ期にかけて踏襲された遺構と考えられる。このことから、Ⅱ期からⅢ期にかけては、遺構の連続性が考えられよう。

すなわち、博労町遺跡における古代の遺構は、7世紀中葉の東側緩斜面部から始まり、8世紀代には当該期の中心時期で砂丘頂部から南北緩斜面にかけて方形区画の建物群を中心に遺構が展開する。その後、9世紀前半までは南側緩斜面を中心に遺構は存続するが、9世紀後半代と考えられる遺構は1区SB08のみであり、以降中世まで生活の痕跡は途絶えるようである。

5．まとめ

以上、出土遺物から、博労町遺跡における古代の様相を検討した。当該時期に帰属する遺構については、本来的にはクロスナ上層から中層にかけて掘り込まれた遺構であるが、遺跡地のクロスナ層が肉眼観察による判別が困難で、古墳時代の遺構検出面まで掘り下げた段階で検出した遺構が多かった。このため、堆積層位による遺構の重複関係を決定することが困難であり、結果的には出土遺物からの時期比定が困難な遺構も多かった。しかしながら、方形区画に囲繞された掘立柱建物群の時期を明らかにできたことは、大きな成果であると思われる。

出土遺物の中で、特筆すべきは墨書・刻書土器28点、銅製帯金具4点（巡方2点、丸鞆2点）、石帯1点、漆貯蔵具2点、転用硯27点、多量の砥石、鍛冶関連遺物などである。この出土量は一般的集落から出土する遺物様相とは考えにくく、官衙的色彩が非常に強いものである。なお灯明皿、鉄鉢形鉢や古代瓦の出土から寺院跡の可能性も想定したが、島根大学の大橋泰夫氏によれば、今回出土した古代瓦は型式的には大寺廃寺のものと似ているが出土点数が少ないこと、平瓦のみで構成されていることから、この遺跡内に古代寺院があったとは考えにくいとのことであった（註1）。

平安時代に編纂された「和名類聚抄」によれば、現在の米子市街地は伯耆国会見郡にあたり、博労町付近は会見郡の十二の郷のうちの一つである半生郷に含まれると推定される。会見郡の郡衙推定地としては、長者原大殿周辺城が挙げられており、実際に長者屋敷遺跡、坂長下屋敷遺跡では8世紀後半～9世紀前半に至る大型掘立柱建物跡が確認され、会見郡衙を構成する施設と考えられている。また、坂長第6遺跡では7世紀末～8世紀代の官営鍛冶工房が検出されている（坂本　2009）。今回検出された遺構は、会見郡衙の遺構年代とも重なっており、その関連性は高いものと考えられよう。近年、全国で郡衙の下部機関にあたる施設の検出例が増えている。奈良時代後半は郷、戸の再編が行われた時期であり、「会見郡半生郷」設立の問題も勘案すると、検出された遺構はこのような政治的動向と非常に関連深い施設の可能性が推測できる。ただし、検出された遺構の配列は国庁域、郡衙城にみられるような整然としたものではなく、1区で検出された大型の掘立柱建物も柱穴の掘り方にばらつきがあり柱筋の通りも悪い。以上のことから、博労町遺跡において検出された古代遺構は官衙関連

の公的施設の中でも、別院や館などの官衙末端施設の一部と考えたい。

より具体的な性格にまで言及するならば、米子市域では会見郡衙関連遺構を含め、広く大井窯産須恵器を受容していることが胎土分析の結果から判明している（岡田　2010）。博労町遺跡出土の須恵器の中には、包含層中等から窯体付着須恵器（図版№52）や焼成不良のもの、焼成時に変形したもの等も少数ながら出土している。こうした生産地に直結する資料を積極的に評価するならば、供給地である大井窯から中海を介して運ばれた後、遺跡内で持ち込まれた須恵器の選別などが行われたという可能性も考えられないだろうか。中海・日本海に近接する海浜砂丘域という立地環境を考慮すると、当該期に遺跡地は海上交易ルートにおける物資供給拠点という公的機関の「津」的な機能を担っていたという推測も出来よう。

今回検出された古代の遺構は米子海浜砂丘域で初めて発見された官衙関連の遺構であり、米子の古代史を解明していく上で貴重な事例と考えられる。

（註１）　調査中、現地にてご教示頂いた。

（引用・参考文献）

岡田裕之・土器検討グループ　2010「出雲地域における古代須恵器の編年」『出雲国の形成と国府成立の研究』　島根県古代文化センター

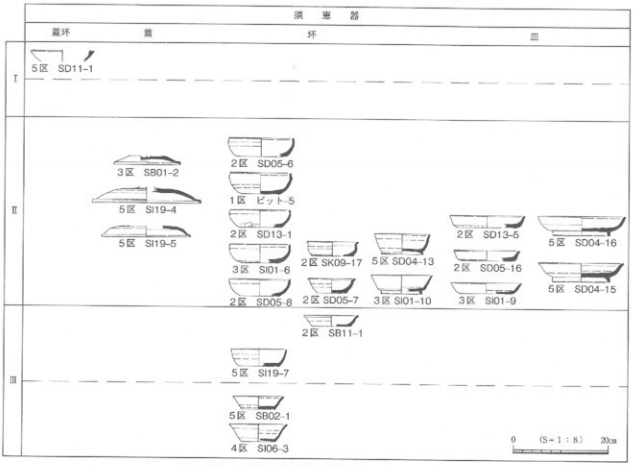
岡田裕之　2010「考古学的に見た大井産須恵器の供給問題」『出雲国の形成と国府成立の研究』　島根県古代文化センター

川原和人　2010「出雲地方における須恵器の特色とその背景」『出雲国の形成と国府成立の研究』　島根県古代文化センター

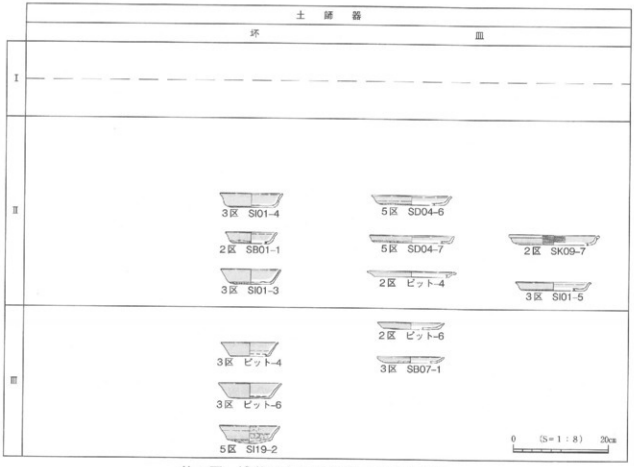
白石　純　2010「出雲地方出土須恵器の胎土分析」『出雲国の形成と国府成立の研究』　島根県古代文化センター

中森　祥　2010「因幡・伯耆における古代土器の編年とその様相」『出雲国の形成と国府成立の研究』　島根県古代文化センター

坂本嘉和　2009「第６章　総括―坂長第６遺跡と会見郡衙―」『坂長第６遺跡』（財）鳥取県教育文化財団



第１図　博労町遺跡遺構出土須恵器変遷図



第２図　博労町遺跡遺構出土土師器変遷図

第４節　出土文字資料からみる博労町遺跡の性格について

高橋　周（出雲市文化財課）

１．はじめに

博労町遺跡では、奈良時代の大小の掘立柱建物跡や溝・柵列が確認されている。なかでも、東西棟SB01（１区）を北に、主軸を同じくする小規模な建物（SB03（１区）・SB10（２区）など）がその南に配され、柵列１～５により方形に区画された建物群が注目される。国府・郡家にみられる建物の配置形式に近い様相を呈し、当該遺跡の中心的な建物群と考えられる。さらに、その周辺には主軸を同じくする小規模な建物群が立地する。少なくとも４つの建物群に分けることができ、時期が異なるものも含むが、それぞれに機能があったとみられる。

墨書土器・刻書土器（以下、文字資料とする。）は28点（記号を含む）見つかっている。その多くが包含層から偏りなく調査区全域で出土する。ただし、中心的な建物群とみられる方形区画内からは、ほとんど出土しない。このような出土状況は、それぞれの建物群の機能を示唆していよう。

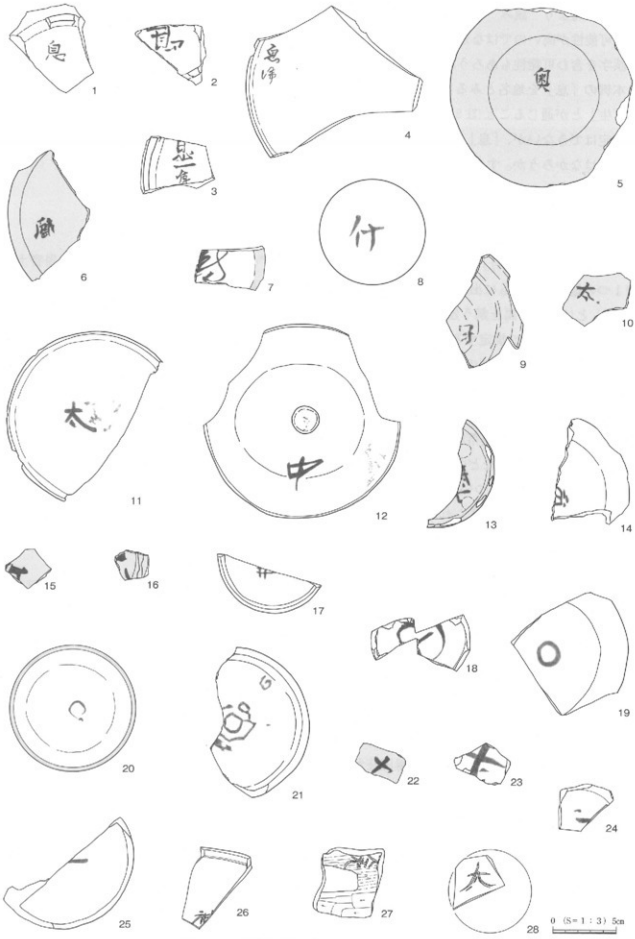
本遺跡出土の文字資料の字句は、施設の名称などを記したものを含み、遺跡の性格を推察するに足るものである。以下、特に注目される字句の意義を考察し、本遺跡の性格について検討を加えたい。

２．「息」（第１図―１～４）

本遺跡出土の文字資料では「息」と記すものが多い。「息」と記す類例としては、息長氏などのウジ名を記したとみられる例がある(註１)。本例の場合、墨書きされる資料が特定の器種に限定されないことから、その所属先を示した可能性が高いとみられる。息に係る祭祀との関連も想定されるが、その祭祀に関わって「息」と記された例は管見の限りにおいてはない。本例の「息」の意義について考えると、一文字では不明とせざるを得ないが、「息一食」「息浄」などとする例が参考となる。すなわち、「息一食」と記す須恵器の坏については、本遺跡の官衙的な遺構・遺物の性格を考え合わせると、糧食を供給する施設に所属する食器を示唆するとみられる(註３)。したがって、「息」とは官衙的な施設の名称もしくはその名称の由来となった地名とみることができよう。また、「息浄」については、「浄」は人名を記した可能性もあるが、本遺跡からは鉄鉢形土器や灯明皿などの仏教関連遺物も多く出土することから、浄処といった祭祀の場に関わる器物を示唆したものと考えられる。

「息」が示す官衙的な施設については後述するが、地名としてはどのように考えられるであろうか。本遺跡は、10世紀に編纂された『和名類聚抄』（以下、『和名抄』）記載の「半生郷」に相当する(註４)。「半生」の“読み”については、一般的には「ハニュウ」とされている(註５)。おそらく、大宝２年御野国戸籍（『大日本古文書』１―58～92）に見える「半布里」を『和名抄』で「埴生」（ハニュウ）とする例から、「半生」に敷延したものとみられる。しかしながら、同郷比定地周辺には「ハニュウ」に由来する地名が存在せず、『和名抄』の「半生」を誤写とみる説があるなど、その“読み”を含めて判然としない部分を残している。

一方、「半生」の遺称地として、本遺跡から南へ約２㎞の美吉地区に残る「飯生」を指摘する説がある(註６)。ただし、その“読み”は「イケ」もしくは「イイケ」とする。「飯生」の字句を直ちに遺称とみることには躊躇するが、その“読み”には注目する必要があろう。すなわち、郷里名の遺称



第１図　博労町遺跡出土の墨書・刻書土器

地には字句より“読み”を残すものが多く、「半生」は「ハニュウ」ではなく、「イケ」などと呼称された可能性が高いのではなかろうか。『和名抄』の郷名表記にはしばしば誤字が見られ(註7)、「半生」が誤字を含む可能性もあろう。

本例の「息」を地名とみるならば、「イキ」と「イケ」とで音が類似すること、語義的にも「息」と「生」とが通じること(註8)など、通用する点があることに注目される。依拠する史料が少ないため断定はできないが、「息」とは郡里名を二字好字とする和銅6年（713）勅以前の地名の可能性があるのではなかろうか。すなわち、上記のことから、「息（イキ）」→「○生」（和銅6年以降）→「半生」（10世紀以降）→「飯生（イケ）」といった字句の変遷が想定されるのである。

3.「厩」「厨」（第1図―6・7）

本遺跡では「厩」「厨」と記した赤彩土師器片が各1点ずつ出土している。「厩」「厨」の墨書土器が1つの遺跡からともに出土する例は、福島県広畑遺跡・大船迫A遺跡に次いで3例目となる(註9)。

「厩」とは本来、馬を飼う建物の意で、厩牧令では厩に使役すべき役丁・種丁の数や馬・乳牛に給すべき飼料について規定する(註10)。「厩」の実例として、福島県・荒田目条里遺跡出土木簡に「厩伝子丈部」と記す伝馬制の「厩家」を示唆するものがある(註11)。一方で、「厨」とは食事の調理・供給などの厨房としての機能だけでなく、食料品の調達・保管・管理、食器類の保管・管理などの機能をもっていたとする（山中1994）。「厨」と記した墨書・刻書土器は全国で800点近くあり、官衙関連遺跡のほか、一般の集落跡からも出土する。したがって、「厨」の活動は官衙だけではなく、部内巡行の国司や往来伝使などのために官衙外での食料供給にも及んだとされる（山中1994）。

本例の「厩」「厨」については、官衙的な性格をもつ遺跡であることから、周辺に立地した施設の機能を示唆するものと考えられる。

4.「神」「奉」「大」（第1図―26～28）

本遺跡では、刻書土器が3点出土している。須恵器に記される「神」は焼成後に、土師器に記される「奉」「大」は焼成前に刻まれている。

「奉」は三本線に人を重ねた字体で、北海道・東北地方などを中心に東日本で多く見られる。「夷」の異体字とする指摘もあるが、本例では「奉」の略字とした。「奉」は土師器甕の頸部内側に倒位で刻まれ、「奉」の上部にさらに一文字認められる。刻まれた意図は判然としないが、興味深い資料である。

「神」は祭祀の対象もしくは関連の器物を表現する例のほか、神人・神部などの氏族名を示唆する例などがある。本遺跡周辺には中世勝田荘が立地したとの指摘もあり、本例との関係で注目される。

5. 博労町遺跡出土の文字資料と遺跡の性格

博労町遺跡から出土した文字資料（記号を含む）は28点を数えるが、決して多い数ではない。しかしながら、その遺構・遺物から官衙的な性格の施設の存在を想定することができ、文字資料にもその想定を裏付ける内容が含まれる。最後に、本遺跡で出土した文字資料を総体的に捉え、遺跡の性格について言及したい。

本遺跡出土の文字資料で、施設の機能を示唆するものに「厩」「厨」がある。「厩」の存在を直接示

唆する遺構・遺物はないが、包含層から同時期の馬具（第１分冊第413図―169）が見つかっている(註12)。また、「厨」については、多量の食器や製塩土器・土製支脚などが出土し、同時期の井戸も認められる。したがって、「厩」「厨」が本遺跡もしくは周辺に立地した施設を示唆する可能性が高いと言える。

地方官衙における「厩」「厨」の存在形態を知り得る史料として、「上野国交替実録帳」（以下、「実録帳」）がある。「実録帳」は長元３年（1030）に国司の任務引継ぎの文書として作成されたもので、上野国各郡の施設や施設毎の建物群の内訳が記される。平安時代の史料であるが、その施設の構成要素は、八世紀以来の郡家の基本的な実態を反映しているとみなせると評価される（山中1994・森2003）。「実録帳」によると、「庁屋」「向屋」「副屋」などの郡家（郡庁）に置かれた建物群とは別に、「館」と表わされる建物群があったことが分かる。「一館」「二館」「三館」「四館」として上野国各郡には複数の館が存在し、館の施設の一部として「厩」や「厨」が記載される。この「館」の性格については、基本的に宿泊機能を主とする施設とされている。ただし、その宿泊の対象について、公使や駅使などの外来者（吉田1973・原1984）、通勤の郡司（青木1990）などとする諸説に分かれる。しかしながら、いずれの諸説も館が郡家に付属した施設であることを前提とする。一方で、館は必ずしも郡家周辺に所在せず、郡内の交通・宿泊に関わる施設とみる説（森2008）もある。また、館とは別に「実録帳」吾妻郡に「長田院」「伊参院」とする施設が記載される。この院については、吾妻郡長田郷・伊参郷に宿泊供給的施設として郡家から別置された館であったとする説（山中1994）、『朝野群載』にみえる「別院」(註13)、いわゆる、郡内の生産・現業の拠点である郡家別院とする説（森2008）がある。

それでは、本遺跡の性格はどのように位置付けることができるのか。本遺跡からは文字資料や転用硯・水滴などに加えて、帯金具・石帯などの官人層の存在をうかがわせるものが多く出土する。また、鍛冶関連遺物の廃棄土坑が認められ、周辺に小鍛冶などの金属工房が存在した可能性が高い(註14)。包含層から見つかった鉄鏃・鉄釘・鉄製紡錘車などは、その工房での製品の可能性がある。なかでも、鉄鏃が注目される。天平六年「出雲国計会帳」(『大日本古文書』１－586～604)に「官器仗帳一巻　伯姓器仗帳一巻」「新造兵器帳一巻」とあるように、律令制下、公私の兵器は国郡により把握され中央へ申上されるべきものであった(註15)。本遺跡出土の鉄鏃については、後述するように有力豪族の家内生産の一部として製作された可能性もあるが、多分に公的な性格をもつものと考えられる。

さらに、遺構についても、大型の東西棟を中心とした方形の囲繞施設をもつ建物群、その東に主軸を揃えた直・並列的な同時期の建物群が認められ、それぞれが何らかの機能をもつ一群として想定される。

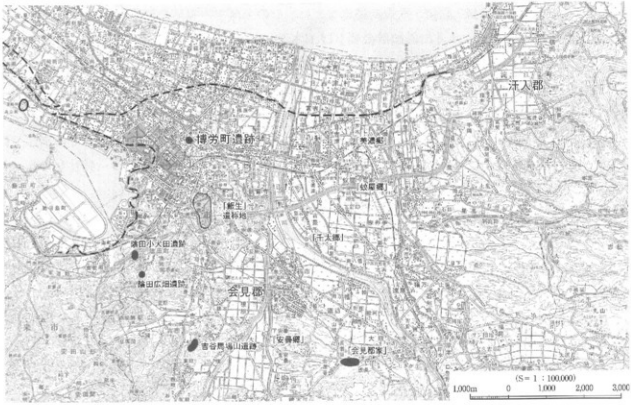
上記のように、本遺跡は官衙的な遺構の様相を呈し、かつ、手工業生産の場としての機能(註16)も想定される。したがって、郡家別院に相当する性格をもつものとみてよいであろう。一方で、大型の東西棟や「厨」「厩」などの施設の存在から、郡内の交通に関わる宿泊施設の機能をもつ館の想定も可能となる。すなわち、本遺跡は郡家別院と館の両様の機能をもつ可能性がある(註17)。

また、「厩」「厨」とともに本遺跡の性格を示唆する文字資料が、「息一食」（第１図―３）である。上述のように「息」を「半生」に先行する郷名とし、本遺跡の性格を郡家別院あるいは館とすると、「息」院の「一屋」あるいは「一館」に供する食器の意と解せることができまいか。このほか、「息」「息浄」の資料についても、「息」院などに所属する食器を示唆するものとみることができよう。

「息一食」をこのように解するならば、本遺跡から南西約3.5㎞離れた除田小犬田遺跡で出土した文

字資料が注目される。同遺跡は狭小な谷底の低湿地に立地するが、本遺跡と同時期の多量の土器類や竈・甑・土製支脚・製塩土器のほか、漆付着土器や鍛冶関連遺物、円面硯などが出土する。これらの遺物とともに「館」「田知」などと記す文字資料が出土するため、付近に「館」の存在が想定されている。ただし、「館」の建物群が立地するためには地形的な制約が大きいことから、報文ではその存在に疑問も呈している（鳥取県教育文化財団1996）。同遺跡では、さらに「□知□」と記す木簡が出土する。木簡の字句については解釈が分かれているが、共伴の墨書土器に「田知」とするものがあり、その図面から判読すると、「田知一」と読むのが妥当とみられる。このように考えると、推測の域を出るものではないが、同遺跡は博労町遺跡と同じ郷に相当することからして、「田知一」と「息一食」とは同じ施設に係る字句の可能性があるのではなかろうか。陰田小犬田遺跡を含む陰田遺跡群では7世紀後葉以降、律令的支配の下で鉄器生産の操業規模の拡大が図られたとされる（註18）（鳥取県教育文化財団　1996）。博労町遺跡においても鍛冶関連遺物が出土しており、その鉄の供給元として同郷内の陰田遺跡群を想定するならば、同じ施設を示唆する文字資料が出土しても矛盾はないであろう。また、「館」などの墨書土器についても、土器の所属先を明記したものであって、必ずしも遺跡の性格を直接的に示すものではない。

上述のように、陰田遺跡群の報文では付近に「館」などの施設を想定しつつも地形的な制約から疑義が呈されている。実際に同遺跡群の建物は急峻な斜面を削平したテラス上に立地し、比較的規模の大きな掘立柱建物も認められるが、現地工房に付随する出先機関レベルの官衙とする方が妥当であろう。同遺跡群の遺物として特徴的な多数の円面硯は律令的な供給関係を想定させ、会見郡あるいは同郷内での有機的な関連の中に位置付けられるべきものである。同遺跡群の一つ、陰田広畑遺跡では「里長」の墨書土器が出土し、陰田に存した工房に係る人的差発が郷里単位で行われたことを示唆する。



第２図　博労町遺跡とその周辺（破線は古代における汀線）

各地で出土の郡符木簡などから窺える律令的な人的並発の実態からすると、会見郡家－「息」郷の院・一館【博労町遺跡】―「息」郷の現地工房の出先機関【除田遺跡群など】といった関係が考えられるのである(註19)。

このように、博労町遺跡は郡家別院あるいは館の機能をもつ「息」郷の施設と捉えることができるが、さらに交通の結節点に位置することも拠点的な性格を示唆している。奈良時代、博労町遺跡の南東には「夜見島」があり、『出雲国風土記』島根郡条に「夜見島」との交通の様相が記される。それによると、蝦蛄島（現在の江島）から干潮時の乗馬での往来、戸江刻を経た粟江埼から船による促戸渡での往来が見られる。このような交通は令制以前からの様相に起因するものとみられ、島根半島部と「夜見島」との関係のみでなく、「夜見島」の"後背地"となる会見郡内との交通としてもみる必要があろう。律令制による地方支配の中で、会見郡家から「夜見島」までのルートが確立していたと考えられ、「夜見島」を介した交通路の存在が想定されるのである。その「夜見島」への交通の結節点として、博労町遺跡を位置付けることができるのではなかろうか(註20)。また、博労町遺跡では窯体付着土器が見つかることも注目される。当該期の会見郡内で使われる須恵器には出雲国島根郡大井浜に所在する窯で製作されたものが多く、博労町遺跡出土須恵器の大半は大井窯に由来することが胎土分析の結果明らかになっている(註21)。すなわち、窯体付着土器の出土は、大井浜からの製品が本遺跡へ選ばれて選別され、会見郡内へ供給されたことを示唆するものである。上記のことから、交通の結節点として、付近に「津」の機能を有する施設の存在も想定することができよう。

6．まとめ

博労町遺跡出土の文字資料を手がかりに、遺跡の性格にまで言及した。史資料的な制約があり、判然としない点も残すが、博労町遺跡は会見郡の郡家別院あるいは館としての機能を有する可能性が高いといえる。全国各地には郡家別院などの末端官衙に比定される遺跡は多くあるが、その全容が分かる例は少ない。博労町遺跡では方形の囲繞区画を有する建物群などの遺構の様相や施設を示唆する文字資料が確認され、末端官衙の一例に加えることができよう。

さらに、古墳時代の大型竪穴住居跡が確認されるなど、令制以前から有力豪族が拠点としていた地であることも注目される。すなわち、古代における地方支配においても、従来からの有力豪族の力が利用されたことを示唆するものである。郡内の支配において、郡司職について複数の有力豪族が輪番的に任命されたとの指摘（須原1996）があるように、本遺跡を拠点とする有力豪族も郡司あるいは郡雑任に任命され、会見郡内の地方支配の一画を担ったと思われる。それは、帯金具や石帯の出土が物語っていよう。このように考えると、方形の囲繞区画などの遺構は公的な性格を示唆するが、その施設の運営や手工業生産の場としての機能は有力豪族の家内生産的な面に包括されていた可能性がある。水晶製辺玉を副葬する奈良後期～平安初めの土壙墓や平安前期の緑釉陶器・黒色土器の出土は、継続的に本遺跡付近を有力豪族が拠点としたことの証左となろう。末端官衙の様相が令制以前から継続的に確認できる遺跡は少なく、本遺跡は古代の地方支配の様相を考える上で全国的にも貴重な遺跡といえよう。

最後に、本遺跡の古代末以降の性格について一瞥したい。承安３年（1173）奉納の大山寺鉄製厨子には紀成盛が「会東郡地主」と称しており(註22)、古代末期には会見郡は"会東郡"と"会西郡"に分かれていたとみられる。伝承などから紀氏の根拠地としては、会見郡家の立地した長者原付近が比

定される。それに従うと、“会東郡”とは日野川右岸及び法勝寺川―小松谷川右岸の地域が相当しよう。さすれば、“会西郡”の拠点として、博労町遺跡周辺を比定することができるのではないか。古代以来、会見郡の郡家別院としての機能の延長として捉えることができる可能性はあろう。本調査では古代末期以降の顕著な遺構・遺物はないが、畑作地としての開発が継続して行われることから、付近に拠点的な集落の存在を想定してよいのではなかろうか。

米子市周辺の会見郡・汗入郡については、史資料的な制約があり、判然としない部分がなお多い。ただし、近年の発掘調査の増加で、出土文字資料を含め多くの注目すべき遺構・遺物が見つかっている。これらの成果を一地方の様相として捉えるのではなく、全国的な視点に立った研究が進められることを期して了としたい。

（主要参考文献）

平凡社『日本歴史地名大系第32巻　鳥取県の地名』1992年

山中敏史『古代地方官衙遺跡の研究』1994年

須原祥二「8世紀の郡司制度と在地―その運用実態をめぐって」『史学雑誌』105―7、1996年

鳥取県教育文化財団『一般国道9号米子道路工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書X　除田遺跡群』1996年

津野仁「古代鉄鏃からみた武器所有と武器政策」『栃木史学』16、2002年

平川南『古代地方木簡の研究』2003年

森公章「郡家の施設と郡署―郡雑任の執務形態との関係から」『弘前大学国史研究』115、2003年

森公章「文献史料から見た郡家の構造と機能」『条里制・古代都市研究』23、2008年

条里制・古代都市研究会編『日本古代の郡衙遺跡』2009年

（註）

1　「息」と記した墨書土器は、全国で10点確認される。「息福」（千葉県滝東台遺跡）、「息家」（千葉県長部山遺跡）などの例はウジ名に関わるとみられる。平城宮跡出土の資料で祭祀に関わる例があるが、習書の可能性もあり、判然としない。

2　息に係る祭祀とは、人面墨書土器や人形木製品などを使用して、自らの息を吹きかけて浄化するものである。宮都や地方官衙で行われた祭祀であるが伯耆国あるいは出雲国における類例は少ない。

3　「食」と記す墨書土器の出土例はほとんどが平城宮跡などの都城で、他に秋田城跡や鴻臚館跡などで報告されている。このことからしても、官衙的な施設に関わるものと考えられる。特に本例と類似するのが、長岡京左京一条三坊六町で出土する「食一」とするものである。

4　『鳥取県史1　原始古代』（1972）では、米子市南西部の旧成実村地区を中心とした地域に比定する。

5　吉田東伍『大日本地名辞書』（1899-1907）では、「ハブ」と読み、埴生・土生とする。

6　景山肅『伯耆志』（1858）などで指摘する。『鳥取藩史』（1933）によると、享保元年（1716）の「上新田村」から「上飯生村」への村名改称が初見。「新田」の地名そのものが新しいものであることから、既に周辺に存在した地名への改称とみられる。

7　例えば、『和名抄』最古の写本とされる高山寺本において、出雲国能義郡の山国郷と母理郷の間に母国郷を記し、意宇郡宍道郷を宮道郷とする。また、半生郷に続く日野郡桑には因幡国高草郡・気多郡の郷名が重複して記されるなどの混乱がみられる。『和名抄』の郷名については、池邊彌『和名類聚抄郡郷里驛名考證』1981に詳しい。

8　『万葉集』では「伊企」あるいは「伊青」との仮名表記が見られるが、『日本書紀』雄略即位前紀には「気息」

との字句が見えており、早くから「息」は「イキ」として通用したとみられる。

また、息の語源についてはいずれも近世の史料ではあるが、貝原益軒『日本釈名』や谷川士清『和訓渠』は「生」の義とする。

本遺跡では「奥」と記した資料も出土しており、「息」を「オキ」と読む可能性も否定できない。『万葉集』には「奥」を「於伎（オキ）」とする例がみえる。しかしながら、本遺跡では「息」が多く見られることや、遺称地に「生」字が含まれることからすると、「息」は「イキ」と読まれたものと考える。

9 『原町市史4　資料編Ⅱ』(2003)

10 厩牧令1厩繊馬条。ただし、同条は中央の左右馬寮の厩を指すものとされる。

11 「厩」と記した木簡・墨書土器の出土例は都城以外では少なく、木簡では上記の1点、墨書土器では「厩」(北中寺遺跡〈三重県〉・広畑遺跡〈福島県〉)、「厩酒坏」(大船迫A遺跡〈福島県〉) の例が知られるのみである。

12 本遺跡より南へ5.5kmに位置する青谷馬場山遺跡では「□牧」と記す墨書土器が出土している。隣接する青谷銭神遺跡では、「目」と記す墨書土器が出土しており、専当官司が牧を巡行した例からすると、官営の牧が存在した可能性が高い。「□牧」が本遺跡の「厩」で飼育された馬の供給源となった可能性があろう。

13 『朝野群載』巻22「国務条々」第20条「択吉日、可波雑公文由牒送前司事」に「次勘官舎〈神社・学校・孔子廟堂并祭器・国庁院、共郡庫院・駅館・厨家、及諸郡院・別院・駅家・仏像・国分二寺塔・経論等)。」とみえる。同史料も古代の地方官衙の様相を示唆するものとしてあげられる。

14 金属工房の最終段階で使用されたとみられる多数の砥石（漆付着を含む）や漆の付着土器が見つかっていることも、その証左となろう。

15 軍防令42従軍甲仗条で、国郡の器仗は年毎に帳簿をまとめ、朝集使により兵部省へ進奏するように規定される。各地に置かれた軍団の兵士の武器は、律令の上では弓や大刀などの武器を自備することとなっている。東日本の集落遺跡での出土例から狩猟用などの生活用具の一部として鉄鏃が使用されたと考えられ、民衆による自備は可能だったとする見解もある（津野2002）。

16 包含層出土の金属製品には、鉄製紡錘車も多く見つかっている。直ちに付近でのその使用を示唆するものではないが、紡績・織機の作業がなされた可能性もあろう。

17 考古学的には遺構・遺物からの郡家別院や館の類型化は困難な現状である。「館」などの施設を示唆する出土文字資料が全国的に増加する中で、文献史料における「館」の議論と考古学的な遺構論・遺物論との整合性が図られることが望まれる。

18 除田遺跡群は、主として鍛錬鍛冶を中心に操業し、集団内で消費するだけの鉄器を作製していたものとする。一方で、長期にわたる鍛冶を行うには製錬鉄が必要であり、同遺跡群周辺に製錬操業を行う製鉄遺跡が存在し、同遺跡群と直接的、継続的な供給ルートをもっていたと想像できるとする（鳥取県1996)。

19 会見郡内における出先機関として、「厨□」と記す墨書土器が出土した八金小清水田遺跡（南部町）もそれに相当しよう。同遺跡は法勝寺川支流の上流部の狭小な谷底に立地し、鍛冶工房に関わる施設が立地したと考えられる。除田遺跡群を含め、会見郡の末端官衙のあり方について再検討する必要があろう。

20 奈良時代における「夜見島」の南端の様相は判然としない。ただし、『出雲国風土記』意宇郡条に伯耆国との境として「門江浜」との地名があり、現在の境水道側と同様な地名があることは注目される。すなわち、「門江」とはある程度閉塞の水域を示唆するとみられ、狭い瀬戸で入海（中海）と北海（日本海）がつながっていたと考えられる。今後の地質的な調査での検討がまたれよう。

21 白石　純　2010「出雲地方出土須恵器の胎土分析」『出雲国の形成と国府成立の研究』島根県古代文化センター

22 錦織　勤　2003「第七章　古代から中世への転換点・平安時代」『新修　米子市史』第一巻　通史編　原始・古代・中世　米子市

第1表　墨書・刻書土器観察表（第1図）

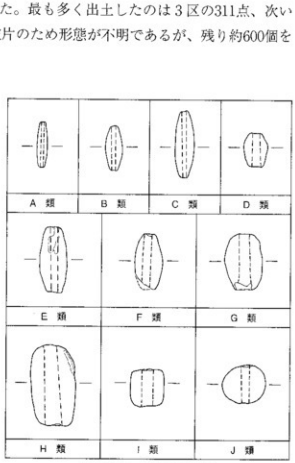
遺物No.	釈文	器種	墨書部位	種類	遺構名	地区 出土層位	法量(cm)	焼成	色調	胎土	掲図No. (第1分冊)
1	息	須恵器 坏	底部外面	墨書	1区 包含層	K-2 Ⅲ-①層	器高(2.5) 底径(9.6)	良好	青灰色	密 白色粒	第392図-200
2	息	須恵器 坏	底部外面	墨書	4区 包含層	A-4 Ⅲ-①層	器高(1.5) 底径(9.4)	良好	灰色	密 白色粒	第416図-62
3	息一食	須恵器 坏	底部外面	墨書	4区 包含層	C-2 Ⅲ-①層	器高(1.4) 底径(10.0)	良好	青灰色	密 白色粒	第416図-63
4	息浄	須恵器 蓋	口縁部内面	墨書	5区 包含層	C-2 Ⅲ-①層	口径(17.1) 器高：3.5	良	青灰色	密 雲母・白色粒	第428図-165
5	奥	赤彩土師器 皿	底部外面	墨書	1区 包含層	W-1 Ⅲ-①層	口径(14.8) 器高：3.7 底径：8.7)	良	灰褐色	密	第391図-167
6	麻	赤彩土師器 皿	底部外面	墨書	1区 包含層	W-5 Ⅲ-②層	口径(15.4) 器高(2.8) 底径(11.9)	良	灰褐色	密	第391図-168
7	餅	赤彩土師器 坏	底部外面	墨書	3区 包含層	B-1 Ⅲ-②層	器高(0.8) 底径(9.2)	良	灰褐色	密 角閃石・雲母	第406図-17
8	什	須恵器 皿	底部外面	墨書	5区 包含層	A-3 Ⅲ-①層	口径(14.8) 器高：2.5 底径：8.4	良	灰色	密 雲母・白色粒	第428図-166
9	□子	赤彩土師器 坏	底部外面	墨書	1区 表採	1層中	口径(13.2) 器高：2.8 底径(9.4)	良	橙褐色	密 砂粒	第441図-35
10	太	赤彩土師器 坏	底部外面	墨書	4区 包含層	B-2 Ⅲ-③層	器高(0.6) 底径(8.0)	良好	橙褐色	密 白色粒	第416図-59
11	太	須恵器 坏	底部外面	墨書	5区 包含層	C-3 Ⅲ-②層	口径(18.7) 器高：4.0 底径：13.7	良	灰色	密 石英・白色粒	第428図-167
12	中	須恵器 蓋	底部外面	墨書	4区 包含層	B-4 Ⅲ-①層	口径(15.0) 器高：2.8 底径：5.9	良	灰色	密 白色粒	第416図-61
13	□	黒色土器 坏	底部外面	墨書	5区 包含層	D-3 Ⅲ-③層	器高(2.3) 底径(8.8)	良	褐色	密 雲母	第428図-164
14	□	須恵器 坏	底部外面	墨書	2区 SK09	埋移中	口径(12.4) 器高：4.1 底径(8.9)	良	青灰色	密 白色粒	第209図-24
15	□	赤彩土師器 坏	底部外面	墨書	3区 ピット	Pit260	—	良	橙褐色	密	第302図-15
16	□□	赤彩土師器 皿	底部外面	墨書	1区 包含層	W-5 Ⅲ-①層	器高(1.0)	良好	灰褐色	密	第391図-169
17	井 (記号)	須恵器 坏	底部外面	墨書	3区 包含層	D-1 Ⅲ-①層	器高(2.6) 底径(8.8)	良	黄灰白色	密	第410図-118
18	日 (記号カ)	須恵器 坏	底部内面	墨書	5区 包含層	A-3 Ⅲ-③層	器高(1.2) 底径(7.2)	良	灰色	密 雲母・石英・ 白色粒	第428図-168
19	○ (記号)	須恵器 皿	底部外面	墨書	1区 包含層	E-4 Ⅲ-①層	口径(13.8) 器高：2.1 底径(9.6)	良好	青灰色	密 白色粒	第392図-201
20	○ (記号)	赤彩土師器 皿	底部外面	墨書	5区 包含層	C-1 Ⅲ-③層	口径(17.4) 器高：4.3 底径：9.9	良	橙褐色	密 石英・白色粒	第428図-162
21	◎ (記号)	須恵器 坏	底部外面	墨書	3区 包含層	C-1 Ⅲ-②層	口径(17.8) 器高：3.7 底径(11.8)	良好	赤褐色	密 白色粒	第410図-117
22	× (記号)	赤彩土師器 坏	底部外面	墨書	3区 包含層	B-1 Ⅲ-②層	—	良	橙褐色	密 白色粒	第406図-18
23	× (記号)	赤彩土師器 坏	底部外面	墨書	3区 包含層	A-1 Ⅲ-②層	—	良	橙褐色	密 石英・白色粒	第406図-19
24	□ (記号カ)	須恵器 坏	底部外面	墨書	5区 包含層	B-1 Ⅲ-①層	器高(0.9) 底径(6.8)	良	灰色	密 白色粒	第428図-169
25	□ (記号カ)	須恵器 皿	底部外面	墨書	5区 包含層	C-3 Ⅲ-①層	口径(17.0) 器高(3.8) 底径(11.4)	良好	灰色	密 砂粒	第428図-170
26	神	須恵器 皿	底部外面	線刻	5区 包含層	D-2 Ⅲ-①層	器高(1.4) 底径(14.8)	良	灰色	密 白色粒	第429図-171
27	□□ (等カ)	土師器 甕	頸部内面 胴位	ヘラ 書き	3区 包含層	D-1 Ⅲ-①層	器高(5.6)	良	褐色	密	第406図-14
28	大	土師器 坏	底部外面	ヘラ 書き	3区 包含層	A-2 Ⅲ-③層	底径(6.0)	良	黄灰白色	密	第406図-20

第５節　博労町遺跡出土の土錘について

平木　裕子

博労町遺跡では約680個の土錘が出土した。米子市内の今までの調査で一度にこれだけの数の土錘が出土した例がないため、今回若干の分類を行ってみた。最も多く出土したのは３区の311点、次いで４区の160点となる。出土した土錘のうち約80個は破片のため形態が不明であるが、残り約600個を形態別に次のようにAからJの10種類に分類を行った。

A類…最大径1.6cmまでの紡身のもの
B類…中央部がやや膨らみを持ち、長さ5.0cmまでの中型のもの
C類…中央部がやや膨らみを持ち、長さ5.0cm以上のやや大型もの
D類…全体的に膨らみがあり、長さ3.5cmまでの小型のもの
E類…全体的に膨らみがあり、長さ6.0cmまでの中型のもの
F類…全体的に膨らみがあり、長さ6.0cm以上のやや大型のもの
G類…最大径と端部の径の差が小さく、やや作りが雑なもの
H類…長さ・最大径共に大型のもの
I類…断面が長方形のもの
J類…球形のもの
Z類…形態不明のもの（破片）



第１図　土錘分類図

この中で、A～F類は大きさからみて刺網・投網用と考えられ、B・C類、D・E・F類は、それぞれ長さの違いだけで同形状のものと考える。

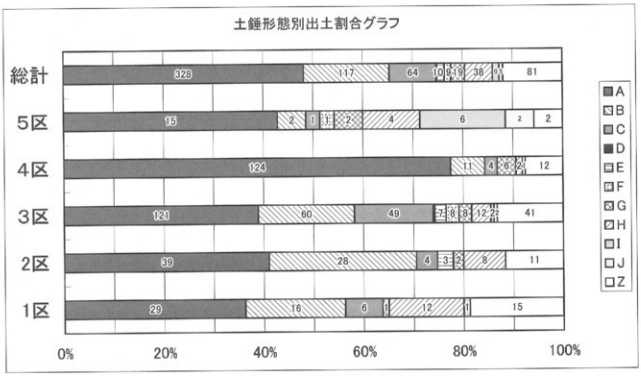
次に出土量（第１表）を見てみるとA類が最も出土量が多く、全体の約55%を占める。区域ごとの出土傾向をみても、各区域ともA類の出土量が最も多く、区域内の約50%をA類が占めるが、中でも４区では特に多く約84%を占める。次いでB・C類が多くみられるが、重量の軽いA～C類が多いのは当然であろう。では投網１枚に対してどの程度の錘が必要なのかは、捕獲する対象物によって、網の大きさも異なり錘の数・大きさも変わってくると思われる。そこで、錘をつけた状態で網が副葬品として埋葬されたと考えられている島根県の小才１号墳を参考に考えてみると、約184個の土錘が出土していることから、例え今回出土した土錘が同時期に使われたものであったとしても２・３枚程度であったと考えられる。この枚数が当時の生活においてどのような意味を持つのかは不明である。さらに博労町遺跡の地理的位置を考えるならば、恐らく漁の中心は美保湾であったと考えるならば、投網以外にも曳網・巻網などの漁も行われていたであろう。これを裏付けるかのように、重量が100gを超える大型寸胴のH類の出土量も比較的多い。

次にＩＪ類であるが、これらは一般的な土錘とは形状の異なるものである。どのように使用されていたかは不明である。内田律雄氏※によると土錘の大きさの違いは時期的なもので、時代が新しくなるにつれて小型化、軽量化しているとあるが、今回の調査では、層位的にみて時期的に大きな違いは見られなかった。漁の種類によって網の大きさ・形態が変わり、それに伴って錘の数、大きさ等は異なってくると思われる。今回の調査では網本体及び魚の骨等の当時の漁撈の様子を知る手がかりを確認することはできなかった。

次に出土分布状況をみると、２区から５区にかけて伸びる尾根の南西側に特に集中し全体の出土量の約70%強を占める。(第２図)。これは浜の陰になる傾斜地を利用して網を乾燥あるいは、補修等をしていたとは考えられないだろうか。

また数は少ないが石錘も50点近く出土していることからまた別の漁撈網の存在も窺える。石錘のほとんどは礫石の両端を打ち掻いたものであるが、５区SI－06・10ではラグビーボール型に成形した石に十字に紐を掛けるための溝を施したものや、４区では隅丸直方体の一方をやや細身にし円孔を施した形態のものもみられる。また軽石製の浮子なども確認されている。今回の調査では、漁の種類・網の大きさ等は不明であるが、地形的にも海に近く、比較的漁が身近なものであったことは想像がつくであろう。

※『古代日本海の漁撈民』 内田律雄　同成社　2009年



第２図　土錘出土状況グラフ

第1表　博労町遺跡出土土錘一覧表(No.1)

1区

No	長さ	最大径	孔径	重さ	種類
5	5	1.4	0.85	0.53	B4
5	4.6	1.4	0.6	0.25	B5
5	3.8	1.4	0.64	0.33	S5
3	3	0.9	0.6	0.15	T7
5	4.6	1.2	0.8	0.42	T9
5-4	1.36	0.86	0.5	0.3	B
5-6	1.28	0.9	0.33	0.3	A
5-7	1.28	0.62	0.4	0.28	A
39-2	1.22	0.73	0.4	0.4	A
669	1.2	-	0.5	0.25	A
671	4.3	1.4	0.5	0.27	S9
681	1.2	0.64	0.32	0.2	A
682	1.5	-	0.3	0.1	A
682	1.68	-	-	0.4	A
1214	1.52	0.83	0.45	5	A
1489	1.5	1.4	0.65	0.4	T7
1791-2	-	1.3	0.6	0.4	S
2950	4.7	1.4	0.73	0.41	B7
2958	4.4	1.3	0.52	0.4	T6
2295	4.5	1.3	0.3	0.4	S1
2972	1.5	-	0.48	0.23	S6
3127	4.3	1.5	0.73	0.47	T
3164	4.6	1.5	0.63	0.56	T8
3440	4.7	1.3	0.4	0.38	B7
3602	4.6	1.6	0.8	0.48	B2
3967	-	1.26	0.7	0.49	A1
3637	4.3	1.2	0.47	0.25	S8
3945	4.2	1.4	0.9	0.52	T
4528	4	1.4	0.62	0.39	T7
3	5.8	1.6	0.7	0.4	B
5	3.7	1.6	1.05	0.54	T2
5	4.5	1.6	0.85	0.55	B8
5	4.2	1.5	0.96	0.55	T9
5	4.2	1.6	0.8	0.53	B5
5	4.3	1.5	0.7	0.57	T2
5	5.6	1.6	0.92	0.5	S6
5	4.84	1.73	0.88	0.34	S8
34	4.25	1.65	1.2	0.55	S2
39	4.2	1.5	0.67	0.4	B7
39	4.3	1.5	0.63	0.4	B
2813	4.37	1.5	0.96	0.48	T6
3144	4.4	1.6	0.72	0.46	B9
3601	3.7	-	-	0.28	S2
3603	4.4	1.7	0.88	0.5	B4
39-1	4.2	1.73	1.16	0.56	A1
5	3.1	1.6	0.74	0.31	B9
5	5.1	1.9	0.8	0.44	T7
605	6.5	1.9	0.85	0.52	B11
2405	5.4	2	0.9	0.5	B1
2562	5.6	1.4	0.7	0.46	B8
3086	5.4	1.8	0.75	0.28	T7
1767	-	2.1	1.4	1.7	B6
5	7.7	4.1	2.25	1.4	B6
5	8.6	4	1.65	1.14	B6
5-1	-	4.41	1.9	1.4	T7,2
1692	-	4.38	-	1.4	B6,3
1785	8.4	4.3	2.1	1.6	T3,9
1795	8.3	4.4	2.28	1.55	T8
1787	9.7	4.2	-	1.5	T3,2
2868	7.3	4.6	-	1.43	B7
2868	-	3.61	2	1.1	B4,6
2862	8.1	3.9	1.9	1.36	T1,4
4368	7.12	4.15	2.03	1.24	B4
3035	8.4	4.2	-	1.35	T1,8
1629	5.9	3.6	1.13	1.26	S1
5-2	-	-	-	3.9,2	T
5-3	-	-	-	1.46	Z
5-5	-	0.8	0.43	0.7	T
5-8	-	-	-	0.4	Z
677	-	-	-	1.27	9
1254	-	-	-	1.01	Z
1692	-	-	-	0.6	T
1314	-	-	-	1.26	Z
1791-1	-	-	-	1.4,5	Z
1787	-	-	-	1.2,9	T
2604	-	-	-	1.4	T
2639	-	-	-	1.4,5	Z
2930	-	-	-	3.3,3	Z
1878	-	-	-	6,2	Z
2684	-	-	-	1.4	T

2区

No	長さ	最大径	孔径	内径	重さ	種類
1-2	3.87	1.28	0.61	0.3	7.5	A
1-2	4.27	1.13	0.7	0.36	5.4	A
1-4	4.32	1.27	0.72	0.4	6.6	A
1-5	3.96	1.26	0.65	0.37	5.5	A

3区

No	長さ	最大径	孔径	内径	重さ	種類
1-6	3.21	1.26	0.78	0.5	4.6	A
1-14	-	1.38	-	0.47	7.1	A
1-15	-	1.3	0.62	0.42	4	A
1-16	-	-	-	0.34	2.8	A
1-17	-	0.78	-	0.27	1.4	A
1-18	3.4	1.27	0.75	0.46	3.9	A
862	-	-	-	0.9	0.4	2.4
1189	-	1.1	0.64	0.34	3.5	A
1866	4.08	1.36	0.73	0.36	7.7	A
2750	-	1.4	0.8	0.3	6.2	A
2845	-	-	-	0.44	2.2	A
2989	3.82	1.44	-	-	3.8	A
3034	-	-	0.82	0.5	4.2	A
3054	-	1.17	-	0.4	4.2	A
3239	-	1.43	1.06	0.4	6.9	A
3445	-	-	0.82	0.42	3.1	A
3421	-	-	0.57	0.4	6.9	A
3606	-	1.38	0.92	0.5	6.9	A
3633	4.36	1.33	0.9	0.48	6.7	A
3681	-	1.46	0.68	0.44	10.3	A
3682	-	-	0.64	0.41	2.7	A
3719	-	1.3	-	0.4	2.5	A
4078	4.5	1.47	0.86	0.5	8.1	A
4134	4.2	1.44	0.84	0.47	7.2	A
-	-	-	-	0.43	0.8	A
4320	4.62	1.36	0.58	0.34	8.4	B
4347	-	1.32	0.6	0.33	7	A
4958	-	-	-	0.3	1.6	A
5671	4.63	1.32	0.65	0.4	7.6	A
5699	4.62	1.33	0.8	0.5	7.4	A
6014	-	1.27	-	0.38	4.3	A
6026	-	-	-	0.35	3.5	A
6028	4.58	1.3	0.58	0.36	6.2	A
3316	4.44	1.56	0.9	0.5	9.5	B
3324	4.4	1.55	0.9	0.4	8.8	B
3350	4.3	1.46	0.8	0.48	7.7	B
3350-2	4.37	1.6	0.8	0.4	8.7	B
3362	4.57	1.62	0.8	0.44	8.9	B
3372	4.3	1.75	0.82	0.47	12.4	B
3440	5.33	1.7	0.87	0.43	14.3	B
3628	3.96	1.46	0.83	0.45	7.3	B
3706-2	-	1.72	-	0.5	5.6	B
3875	-	-	1.7	0.43	8.3	B
3990-1	4.1	1.87	0.95	0.5	8.6	B
3990-2	4.6	1.8	0.96	0.47	9.2	B
3990-3	4.37	1.48	0.92	0.42	8.7	B
3992-2	4.6	1.35	0.84	0.44	9.6	B
4012	5.2	1.92	1.24	0.47	17.4	B
4021	4.3	1.9	1.04	0.5	14.2	B
4041	4.1	1.52	0.86	0.5	8.2	B
4522	-	1.91	1.03	0.42	10.4	B
5966	4.02	1.35	0.95	0.3	8.3	B
3958	3.96	1.64	0.86	0.47	9.2	B
6300	4.35	1.48	0.87	0.38	7.9	B
6001	-	-	0.8	0.47	7.4	B
3045	6.63	1.8	1.02	0.42	19.7	C
4305	5.93	1.7	0.82	0.4	17.1	C
4839	7.1	2.2	0.77	0.44	25.7	C
1-1	5.2	1.42	1.0	0.52	9.9	C
1-2	5.96	2.6	1.25	0.6	38.1	E
4763	5.2	2.45	1.51	0.8	30.1	E
4881	3.7	2	0.66	0.47	9.5	E
3543	-	3.9	-	1.14	48.9	C
4447	-	-	2.15	1.62	84.4	G
1-10	7.9	3.5	1.82	1.75	79.1	H
1-11	-	3.9	1.97	1.36	72.1	H
1-12	-	-	1.58	1.25	66.5	H
1-13	-	-	-	1.1	45.6	H
1361	8.84	4.5	1.93	1.05	144.8	H
2847	-	-	2.2	1.32	73.3	H
3532	-	4.14	-	1.3	91.2	H
3963	-	-	-	1.37	71.5	H
432	-	-	-	-	7.2	Z
1946	-	-	-	-	7.1	Z
2234-1	-	-	-	-	6.8	Z
2234-2	-	-	-	-	10.4	Z
3289	-	-	-	-	21	T
3702	-	-	-	-	1.9	Z

2区

No	長さ	最大径	孔径	内径	重さ	種類
3706-1	-	-	-	-	0.1	Z
3016	-	-	-	-	8.8	Z
4018	-	-	-	-	20.1	B12
6020	-	-	-	-	0.8	T
4901	2.4	1.7	0.92	0.53	3	C1(B)

3区

No	長さ	最大径	孔径	内径	重さ	種類
1-4	4.45	1.44	0.8	0.4	8.6	A
1-3	-	1.43	-	0.36	8	A
1-9	-	1.27	-	0.37	6	A
1-7	4.1	1.44	0.61	0.32	5.6	A
1-8	-	1.28	-	0.36	5	A
1-19	-	1.38	1	0.48	10.5	A
1-20	4.3	1.44	0.75	0.35	8.6	A
13-2	-	0.94	0.52	0.24	2.9	A
59	-	-	0.5	0.28	2.2	A
105	4.1	0.9	0.6	0.16	2.4	A
190-2	-	0.9	0.47	0.35	2.6	A
273	1.03	1.03	1.1	0.74	4.3	A
393	-	-	-	0.34	3.3	A
442	-	1.05	0.58	0.35	4.8	A
452	-	1.2	0.48	0.37	5.9	A
662	-	1.37	0.83	0.42	7.3	A
694	4.3	1.2	0.7	0.25	4.9	A
737	4.3	1.4	0.74	0.4	7.2	A
739	-	1.2	-	0.38	4	A
746	-	1.1	0.57	0.33	3.2	A
756	-	1.14	0.63	0.36	3.4	A
767	4.7	1.15	0.8	0.35	8.8	A
773	4.1	1.1	0.7	0.35	5.3	A
803-1	-	1.8	-	0.35	4.1	A
869	4.35	1.2	0.9	0.45	6.3	A
904	3.35	1.02	0.65	0.33	3.1	A
929	-	1.3	-	0.38	4.5	A
943	-	1.14	0.64	0.3	4.6	A
996	-	-	0.72	0.42	2.9	A
1012-2	-	1.26	0.83	0.45	6.8	A
1157	-	1.05	0.74	0.4	3	A
1174	4.9	1.25	0.7	0.25	7.4	A
1144	2.53	1	0.6	0.2	2.1	A
1168	4.73	1.2	0.65	0.4	6.0	A
1276	3.96	1.38	0.74	0.38	6.6	A
1338	-	-	0.95	0.4	4.6	A
1378	-	-	0.7	0.4	4.6	A
1382	-	-	-	-	3.6	A
1443	4.75	1.1	0.7	0.4	5.3	A
1457	4.2	1.3	0.8	0.42	6.5	A
1461	3.05	1.05	0.57	0.25	2.3	A
1470	-	-	-	0.4	2.5	A
1645	4.9	1.3	0.7	0.27	6.2	A
1658	5.25	1.38	0.77	0.4	8.1	A
1677	4.5	1.24	0.8	0.44	5.8	A
1700	3.7	1.1	0.48	0.3	3.4	A
1745	4.2	1.2	0.6	0.3	5.2	A
1746	-	-	0.75	0.4	5	A
1755	4.6	1.35	0.92	0.3	7.1	A
1814	4.4	0.8	0.65	0.35	4.9	A
1864	-	-	-	0.3	4.9	A
1898	-	-	0.83	0.28	5.3	A
1989	4.33	1.15	0.73	0.4	5.1	A
2101	4.7	1.3	0.9	0.4	7.2	A
2203	4.4	1.15	0.7	0.4	5.1	A
2237	-	1.2	-	0.38	4.6	A
2310	4.3	1.15	0.75	0.35	5.4	A
2347	-	-	0.6	0.3	1.9	A
2248	-	1.37	0.98	0.42	6.6	A
2334	-	1.2	-	0.37	5.2	A
2376-2	-	-	-	0.34	1.5	A
2391	4.6	1	0.7	0.43	3.1	A
2394	-	-	-	0.43	4.7	A
2444	4.45	1.2	0.8	0.63	5.4	A
2557	2.38	1.3	0.84	0.4	5.4	A
2561	-	-	-	0.38	1.4	A
2541	4.3	1.35	0.8	0.3	6.3	A
2545	3.86	1.16	0.78	0.4	4.4	A
2629	4.4	1.12	0.7	0.4	4.7	A
2847	-	1.27	0.76	0.38	5.8	A
2857	4.8	1.5	0.8	0.53	9.5	A
2960	4.4	1.2	0.68	0.36	5.5	A
2796	5.9	1.33	0.9	0.42	8.2	A
2950	-	-	0.82	0.44	2.6	A
2989	-	1.16	0.6	0.28	2.9	A
2990	4.4	1.18	0.55	0.27	4.8	A
3027	4.3	1.25	0.62	0.26	4.5	A
3027	-	1.26	0.9	0.41	5.1	A
3043	4.8	1.27	0.75	0.36	7.2	A

3区

No	長さ	最大径	孔径	内径	重さ	種類
3089	-	1.2	0.7	0.26	4	A
3099	4.55	1.02	0.74	0.4	6.7	A
3112	3.77	1.15	0.8	0.4	3.6	A
3117	-	1.27	0.7	0.32	4.1	A
3130-1	-	-	-	0.64	1.7	A
3130-2	-	-	-	0.4	2.3	A
3149	-	1.3	-	0.32	5.3	A
3154	-	1.27	-	0.4	6.4	A
3204	-	1.4	0.75	0.32	6.8	A
3232	-	1.2	0.7	0.4	6.2	A
3248	-	-	-	0.35	2.6	A
3250	4.46	1.2	0.77	0.28	5.6	A
3253	-	-	0.88	0.36	4.7	A
3256	2.4	1.2	1.02	0.5	6.4	A
3257	4.32	0.94	0.67	0.3	3.6	A
3270	4.43	1.18	0.7	0.33	6.0	A
3277	-	-	0.96	0.56	4.4	A
3289	4.78	1.08	0.68	0.27	6.3	A
3311	4.07	1.03	0.85	0.49	4.6	A
3332	5.23	1.0	0.8	0.33	6.1	A
3373	-	1.24	-	0.4	6.3	A
3373	-	-	-	0.46	2.2	A
3382	4.1	1.22	0.58	0.32	5.7	A
3401-1	-	-	-	-	1.7	A
3401-2	-	1.3	0.7	0.32	6.4	A
3403-1	-	-	0.63	0.32	1.7	A
3403-2	-	-	-	0.33	1.8	A
3407	-	-	0.77	0.4	3.9	A
3439	-	1.15	-	0.28	4.4	A
3487	-	-	0.83	0.4	2.4	A
3532	5.8	1.1	0.6	0.36	6.4	A
3566	4.85	1.1	0.65	0.4	3.7	A
3584	-	-	-	0.36	4.8	A
3591	-	-	-	0.35	2.9	A
3592	4.38	1.25	0.72	0.35	6.3	A
3835	4.9	0.9	0.37	0.3	3.1	A
3947	3.9	1.05	0.76	0.35	4.7	A
4455	-	-	0.8	0.4	3.8	A
4455	3.1	1.23	0.73	0.37	7.4	A
4437	-	-	0.9	0.44	6	A
4437	-	-	0.81	0.36	2.4	A
4-1	4.45	1.75	0.84	0.43	8.9	B
1-10	3.77	1.85	1.1	0.52	11.3	B
325	4.35	1.58	0.9	0.5	8.3	B
495	4.35	1.68	1.05	0.42	12.8	B
586	4.72	1.68	0.9	0.38	12.7	B
599	3.84	1.83	1.5	0.52	14.8	B
611	4.3	1.62	0.86	0.33	11.9	B
790	4.38	1.64	0.83	0.5	9.6	B
887	4.83	1.23	1.45	0.7	20.1	B
983	-	-	0.9	0.4	7.9	B
962	5.18	1.82	1.07	0.4	10.1	B
1256	3.8	1.7	1.1	0.49	10.0	B
1275	5	1.75	1.1	0.41	13.2	B
1287	4.2	1.8	1.02	0.5	11.5	B
1499	2.58	1.93	0.88	0.56	11.1	B
1577	-	1.75	1.13	0.53	13.2	B
1682	4.27	1.75	0.86	0.43	9.6	B
1699	4.97	2.3	1.52	0.46	23.7	B
1703	4.25	1.51	0.83	0.5	7.6	B
1941	4.9	1.45	0.83	0.4	9.8	B
1953	4.36	1.76	0.92	0.41	13.1	B
1969	4.68	1.83	0.92	0.43	13.6	B
1960	4.5	1.8	0.97	0.45	14.3	B
2368	4.35	1.87	0.99	0.5	12.4	B
1999	-	1.7	0.9	0.52	10.6	B
2020	4.4	1.7	0.91	0.46	11.2	B
2032	5.05	1.56	0.7	0.45	10.1	B
2042	4.97	1.61	0.9	0.45	11.6	B
2113	4.8	1.9	1.0	0.46	15.6	B
2210	6.0	1.92	1.0	0.47	21.7	B
2261	-	1.72	0.9	0.52	9.7	B
2285	-	1.3	0.9	0.46	7.6	B
2324	4.75	1.53	0.73	0.44	9.7	B
2325	4.4	1.72	0.8	0.46	11.0	B
2332	4.66	1.57	0.92	0.52	9.4	B
2352-2	4.27	1.8	1.08	0.52	14.5	B
2370	5.34	1.76	0.87	0.5	16.5	B
2446	4.25	1.46	1.0	0.52	8.3	B
2465	4.53	1.5	1.03	0.45	9.6	B
2516	4.02	1.5	0.9	0.46	7.7	B
2511	-	1.52	1	0.5	7.2	B
2614	4.4	1.8	0.96	0.46	13.5	B
2637	4.3	1.72	1.08	0.45	11.6	B
2638	4.3	1.7	1.1	0.5	11.6	B
2677	4.72	1.9	0.87	0.45	9.5	B

博労町遺跡出土土師一覧表(No.2)

3区

No	長さ	最大径	口径	内径	重さ	種類
2701	4.7	1.7	1.03	0.63	8.6	B
2726	4.1	1.54	0.96	0.57	8.2	B
2774	4.58	1.66	1.08	0.38	10.8	B
2812	1.38	0.5	0.3	7.9	B	
2894	-	1.56	-	0.44	6.1	B
2957	3.7	1.74	0.84	0.4	10.2	B
2980	4.6	1.8	1.65	0.4	14.9	B
3023	4.62	1.78	0.9	0.45	13.1	B
3137	-	1.86	-	0.9	7.4	B
3237	4.1	1.66	0.9	0.48	8	B
3343	4.8	1.75	0.8	0.46	8.3	B
3368	4.14	1.9	0.9	0.46	13.1	B
3476	3.9	1.72	0.96	0.53	10.3	B
3522	4.2	1.43	0.75	0.35	7.7	B
3647	4.6	1.6	0.67	0.32	9.9	B
1-1	5.98	1.74	1.2	0.5	17.1	C
1-2	3.05	1.64	1.1	0.4	5.6	C
434	5.36	1.88	1.02	0.47	20.3	C
865	5.61	1.95	0.85	0.46	18.2	C
987	3.03	1.85	0.88	0.4	11.3	C
1133	5.65	1.8	1.15	0.43	17.3	C
1233	5.5	1.85	0.8	0.42	19.5	C
1265	6.24	1.85	1.27	0.45	21.7	C
1271	6.23	2.82	0.93	0.48	19.2	C
1343	6.25	1.96	1.08	0.5	19.9	C
1556	5.1	1.7	1.1	0.4	20.3	C
1594	6.03	1.7	0.86	0.43	15.6	C
1680	-	1.83	1.03	0.43	13.6	C
1731	5.8	1.8	0.93	0.44	18.1	C
1738	5.33	1.97	1.06	0.55	18.4	C
1742	6.57	1.9	0.9	0.44	20.2	C
1760	6.77	2.13	0.9	0.5	21.6	C
1873	5.52	1.77	0.8	0.43	16.6	C
1949	6.63	1.9	0.88	0.45	20.9	C
1954	5.23	1.68	0.85	0.43	19.9	C
1958	5.8	1.54	1.02	0.4	16.7	C
2008	5.18	1.87	0.73	0.42	16.4	C
2027	6.87	1.9	0.9	0.5	21.4	C
2029	5.2	1.7	1.04	0.4	14.4	C
2030	6.77	1.66	0.96	0.4	19.5	C
2032	4.47	1.28	0.6	0.3	9.0	C
2033	6.62	2.04	1.2	0.5	27.3	C
2108	6.44	1.83	1.05	0.46	21.3	C
2112	5.19	1.67	0.9	0.41	14.7	C
2155	6.75	2.3	1.06	0.52	32.5	C
2156	6.63	2.01	0.8	0.46	26.6	C
2191	6.4	1.74	0.98	0.55	17.9	C
2210	5.07	1.8	0.92	0.52	14.9	C
2225	5.22	1.51	1.02	0.38	13.9	C
2325	5.08	1.58	1.0	0.4	16.0	C
2337-1	-	1.9	0.85	0.5	14.4	C
2337-2	5.57	1.6	0.92	0.38	14.7	C
2516	6.67	1.83	1.13	0.5	18.4	C
2605	5.12	1.82	0.88	0.38	17.8	C
2697	5.25	1.38	0.9	0.44	9.6	C
2906	6.94	2.03	0.74	0.5	29.3	C
2907	6.37	1.76	0.88	0.5	19.2	C
2939	6.1	2.0	0.88	0.52	23.0	C
2821	5.16	1.55	0.81	0.47	9.7	C
2928	5.44	1.63	0.8	0.48	14.1	C
3003	5.28	1.92	1.3	0.45	19.0	C
3210	5.21	1.6	0.86	0.4	14.1	C
3381	6.0	1.88	0.87	0.44	19.1	C
3461	6.92	2.0	0.98	0.45	26.3	C
849	3.47	2.43	1.32	0.7	17.9	D
1-11	4.4	2.6	0.85	0.5	22.8	E
122	-	2.5	-	-	14.2	E
848	3.85	2.97	1.2	0.76	26.1	E
1133	6.03	2.65	1.66	0.76	40.7	E
1156	3.1	2.7	0.47	0.62	28.8	E
1177	3.05	2.6	1.9	0.84	28.2	E
1921	-	2.74	1.8	0.94	31.5	E
1923	3.6	2.9	1.64	0.78	34.1	F
1438	3.9	2.23	1.6	0.78	39.9	F
1928	3.48	2.32	1.4	0.77	29.9	F
1920	5.17	2.96	1.23	0.8	37.1	F
1932	3.16	2.56	1.9	0.7	25.3	G
1936	3.12	2.45	1.46	0.76	29.2	F
2230	6.94	2.88	1.5	1.07	45.6	F
3407	4.95	2.67	1.8	0.74	26.0	F
304	5.4	3.68	1.98	0.77	115.5	G
296	6.57	3.78	2.23	1.45	61.6	G
1219	-	-	2.4	1.1	38.8	G
1544	7.25	3.53	1.9	1.04	68.3	G
2395	-	3.84	1.9	1.27	75.3	G
3399	6.3	3.8	2.37	1.55	92.7	G

3区

No	長さ	最大径	口径	内径	重さ	種類
3360	-	-	3.58	1.6	1.3	G2
3636	7.95	3.34	1.45	1.12	83.7	G
223	8.67	4.84	2.12	1.5	151.9	H
617	9.7	4.5	1.44	2.24	165.6	H
1252	8.5	4.28	1.9	1.4	132.5	H
1272	-	4.13	-	1.22	108.1	H
1435	8.7	4.7	3.1	1.66	161.8	H
1753	7.6	4.1	1.48	1.3	101.8	H
2015	9.98	4.26	1.6	1.38	192.7	H
2115	7.85	4.86	2.86	1.9	131.2	H
3065	-	-	-	-	60.6	H
3011	-	-	-	1.31	71.5	H
2621	7.93	4.1	1.7	1.0	84.9	H
345	5.76	3.93	2.64	0.9	54.3	I
3195	3.8	3.57	3.2	1.03	35.7	I
261	5.2	4.72	2.1	1.0	77.6	I
4650	2.53	-	-	-	48.9	J
3	-	-	-	-	1.2	Z
417	3.36	-	-	-	12.8	Z
301	2	-	-	-	419	Z
407	2	-	-	-	407.7	Z
343	-	-	-	-	18.3	Z
531	-	-	0.92	0.5	2.9	Z
680	-	-	-	-	7.3	Z
852-1	-	-	-	-	103.3	Z
809	-	-	-	-	3.7	Z
1042	-	-	-	-	3.8	Z
1042-1	-	-	-	-	12.1	Z
1171	-	-	-	-	26.2	Z
1230	-	-	-	-	25.7	Z
1211	-	-	-	-	12.6	Z
1246	-	-	-	-	33	Z
1270	-	-	-	-	4.3	Z
1270	-	-	-	-	12	Z
1519	-	-	-	-	20.2	Z
1563	-	-	0.9	0.5	7	Z
1585	-	-	-	-	19.6	Z
1786	-	-	-	-	32.6	Z
1771-1	-	-	-	-	19.8	Z
1771-2	-	-	-	-	11.1	Z
2071	-	-	-	-	36.2	Z
2373	-	-	-	-	5.9	Z
2376-1	-	-	-	-	5.4	Z
2378	-	-	-	-	26.7	Z
2387	-	-	-	-	13.7	Z
2842	-	-	1.25	1.3	28	Z
2769	-	-	0.9	1.6	7	Z
2867	-	-	-	-	21.4	Z
2966	-	-	-	-	6.7	Z
3022	-	-	-	0.98	41.2	Z
2965	-	-	-	-	8.9	Z
1493	-	-	-	-	14.8	Z
1624	-	-	0.95	0.43	37	Z
3138	-	-	-	-	21.8	Z
3404	-	-	-	-	3	Z
3416	-	-	-	-	17.2	Z
3418	-	-	-	-	27.8	Z
4321	-	-	-	-	19	Z

4区

No	長さ	最大径	口径	内径	重さ	種類
1-1	-	-	-	0.25	1.7	A
7-2	4.05	1.25	0.67	0.42	5.6	A
11-2	-	-	-	0.32	4.2	A
2-4	3.9	0.8	0.5	0.28	2.7	A
2-2	3.97	0.92	0.5	0.3	3	A
2-3	3.3	1.02	0.37	0.28	2.8	A
27-1	-	1.12	-	0.4	4.3	A
27-2	-	1.12	-	0.35	3.5	A
81	3.9	0.98	0.53	0.3	3	A
86	3.66	1.1	0.57	0.24	4.1	A
101	3.58	1.08	0.7	0.2	4.2	A
121	3.9	1.3	0.8	0.33	6	A
140	-	1.12	0.87	0.33	4.3	A
164	3.95	0.95	0.3	0.2	2	A
178-2	3.48	1.2	0.7	0.3	3.6	A
179	3.5	-	3.5	0.44	2.2	A
196	4.36	1.43	0.96	0.47	7.3	A
196	4.72	1.22	0.7	0.43	7	A
197	1.66	0.88	0.4	8.4	A	
247	3.42	1.3	0.68	0.32	6.1	A
258	4.1	1.15	0.73	0.32	6.2	B
261	2.9	0.93	0.6	0.26	1.6	A
284	-	-	0.75	0.38	5.1	A
316	-	0.97	0.65	0.32	2.9	A
341	4.23	1.13	0.96	0.57	5.7	A
347	3.63	1.26	0.62	0.3	4.3	A
377	3.67	1.34	0.58	0.35	6.1	A
417	3.36	1.18	0.7	0.4	3.9	A
419	4.74	1.28	0.74	0.37	7.1	A
434	4.55	1.2	0.7	0.24	6.5	A
471	-	1.2	0.8	0.3	5.5	A
472	4.2	1.14	0.87	0.15	5.5	A
501	4.5	1.22	0.86	0.37	7	A
-	-	-	-	0.38	2.6	A
545	-	0.84	0.64	0.33	2.2	A
554	4.42	1.3	0.64	0.26	6.3	A
619	4.76	1.1	0.66	0.25	6.2	A
621	4.13	1.3	1.08	0.2	7.7	A
625	-	1.14	0.73	0.23	5.6	A
629	-	-	0.64	0.24	2.2	A
631	-	-	0.68	0.13	2	A
640-1	-	-	0.6	0.23	2.3	A
640-2	-	1.27	-	0.4	3.9	A
672	4.25	1.08	0.74	0.23	4.5	A
690	-	-	0.72	0.36	2.1	A
704	-	-	-	0.34	2.3	A
904	4.64	1.15	0.8	0.23	6.3	A
918	3.23	1.2	0.92	0.3	5.6	A
928	4.18	1.21	0.63	0.33	5.6	A
929	3.66	1.1	0.58	0.3	4.4	A
930	-	1.06	0.5	0.32	3	A
932	-	-	0.75	0.37	2.3	A
942	-	-	-	0.24	2.6	A
1046	-	1.15	-	0.36	2.3	A
1119	4.44	1.22	0.83	0.38	6.1	A
1158	-	-	-	0.34	2.7	A
1167	4.65	1.13	0.78	0.22	5.5	A
1186	-	-	-	0.35	2.6	A
1190	4.67	1.04	0.7	0.33	4.9	A
1192	-	1.26	0.83	0.26	5.4	A
1193	4.33	1.3	0.64	0.3	9.2	A
1424	-	-	0.26	0.2	3.2	A
1721	4.4	1.15	0.73	0.32	5	A
1806	3.44	1.05	0.68	0.31	3.3	A
1278	0.95	0.56	0.52	0.6	1.6	A
1890	4.2	0.97	0.54	0.35	3.2	A
1872	-	-	0.93	0.46	2.8	A
1893	3.6	1	0.72	0.36	2.9	A
1913	-	1.2	-	0.36	3.8	A
1917	-	-	0.78	0.4	2	A
1931	3.1	0.98	0.64	0.33	2.7	A
1968	-	0.92	0.57	0.34	2.7	A
1983	3.85	1.18	0.7	0.36	4.6	A
1984	-	1.25	0.7	0.34	5.2	A
2050	3.68	1.23	0.62	0.38	4.5	A
2085	-	1.24	0.7	0.35	4.9	A
2368	3.9	1.04	0.6	0.38	4.1	A
2382	3.18	1.45	0.8	0.3	6.2	A
2394	-	1.4	-	0.34	5.6	A
2398	-	-	-	0.42	2.7	A
2497	-	0.94	0.7	0.38	2.1	A
2495	-	1.1	0.75	0.44	3.9	A
2576	4.12	1.34	0.66	0.4	7.9	A
2580	3.7	1.25	0.64	0.37	3.9	A
2648	4.73	1.46	0.9	0.46	8.6	A
2686	-	1	0.6	0.38	1.8	A
2702	-	1.13	0.84	0.44	9.3	A
2727	3.8	1.2	0.71	0.3	4.9	A
2750	4.7	1.13	0.75	0.23	5.7	A
2758	4.56	1.28	0.97	0.34	7.3	A
2897	-	-	0.95	0.5	5.5	A
2899	2.24	0.87	0.54	0.35	1.3	A
2906	-	1.1	0.67	0.38	3.8	A
2930	4.45	1.2	0.73	0.3	5.8	A

4区

No	長さ	最大径	口径	内径	重さ	種類
2935	-	0.93	0.6	0.35	1.7	A
2951	-	1.45	0.75	0.26	4.9	A
2972	-	1.25	-	0.4	4	A
2987	0.9	1	0.85	0.2	4.9	A
2997	4.45	1.12	0.75	0.24	5.7	A
3002	3.5	0.88	0.63	0.24	2.2	A
3022-1	4.1	1.07	0.66	0.33	4.9	A
3023	-	-	0.87	0.3	2.4	A
3024	-	1.2	0.92	0.34	6.4	A
3028	3.82	1.41	0.76	0.4	8.3	A
3033	4	1.18	0.6	0.22	5.7	A
3064	4.05	1.1	0.73	0.33	3.4	A
3066	3.84	1.08	0.95	0.4	8.5	A
1	3.67	1.77	0.82	0.37	11.3	B
7-1	4.66	1.7	1.2	0.5	13.6	B
8-1	4.3	1.65	0.88	0.5	7.8	B
479	-	1.2	0.8	0.3	11.7	B
504	4.45	1.5	0.9	0.36	9	B
1337	3.7	1.34	0.92	0.4	10	B
2202	-	2.03	1.25	0.6	16.4	B
2324	-	-	1.05	0.43	8.2	B
2385	4.84	1.53	0.9	0.4	12.2	B
3036	4.92	1.6	0.8	0.42	13.9	B
25-2	4.3	1.67	0.52	0.18	8	C
27-6	8.25	3.33	1.74	1.36	76.6	G
27-7	7.1	3.76	2.4	1.1	88.5	G
513	7.75	4.14	1.9	1.2	108.4	H
591	-	4.6	-	1.04	74.6	H
2390	2.37	0.83	0.65	0.5	10.3	I
18	-	-	-	-	15.5	Z
21	-	-	0.77	0.38	2.6	Z
178-1	-	-	-	-	4	Z
1591	-	-	-	0.7	13.3	Z
1706	-	-	-	-	19	Z
1871	-	-	-	0.45	6.4	Z
2528	-	-	1.1	0.44	2	Z
2701	-	-	-	-	36	Z
2738	-	-	-	-	11	Z
3021	-	-	0.92	0.5	12.1	Z
3081	-	-	-	1.14	18.3	Z
3167	-	-	-	-	18	Z

5区

No	長さ	最大径	口径	内径	重さ	種類
15	3.92	0.83	0.54	0.27	3.4	A
41	1.44	-	-	0.4	4.5	A
49-1	3.1	0.88	0.57	0.3	2.0	A
50	-	1.72	0.9	0.4	6.4	A
57	3.4	-	-	0.4	3.3	A
58	-	-	-	-	1	A
206	4.36	1.3	0.8	0.37	5.7	A
714	-	1.28	0.83	0.4	5.9	A
1	-	1.1	0.8	0.4	4.2	B
500	-	-	0.7	0.18	2.6	A
963	3.66	1.28	0.57	0.22	5.6	A
1829	-	1.1	-	0.36	3.9	A
2477	4	1.07	0.64	0.3	3.9	A
5609	-	-	-	0.36	2.3	A
6364	-	1	-	-	3.1	A
637	4.1	1.36	0.97	0.46	7.2	B
1	-	-	0.83	0.57	10.6	B
130	-	2.32	-	0.74	16.2	C
814	-	2.3	1.18	0.55	25.2	F
11	6.47	3.32	2.17	1.5	84.2	G
49-2	6.12	2.9	2.02	1.3	62.3	G
180	-	-	1.92	1.3	49.1	H
606	7.55	4.4	1.7	1.33	129.0	H
682	8.8	3.2	1.3	1.6	178.9	H
2380	8.67	4.24	1.84	1.27	127.7	H
1612	2.1	3	2.7	0.99	16.8	I
1064	3.4	3.1	2.46	0.7	30.3	I
1194	3.46	2.37	2.18	0.84	10.2	I
2606	2.81	3.03	3.92	0.93	30.3	I
6992	3	3.2	1.94	1.04	28.8	I
7019	3.2	4	2.8	0.93	59.5	I
2673	2.7	3.3	1.3	0.48	27.2	I
139	1.7	2	-	0.47	5.6	J小屋
196	-	-	-	-	7.2	Z
652	-	-	-	0.65	9.2	Z

第6節　博労町遺跡出土の石器について

濱野　浩美

1．はじめに

博労町遺跡では、弥生時代終末期から近世末にいたる土器・陶磁器・石器等膨大な量の遺物が出土している。本節では、今回出土した石器類について従前の分類研究に基づいて組成分類を行い、その様相を述べるとともに、特に出土量の多かった砥石及び石錘について、若干の検討を試み、米子海浜砂丘城における石器出土傾向について考察してみたい。

2．石器組成について

本遺跡から出土した石器類は、総数で497点を数える。その組成について、器種分類を行った（第1表）。なお分類に当たっては、明らかに玉類や鏃類の素材として持ち込まれたとみられる水晶、玉髄、黒曜石等の自然石を原石とし、その他の肉眼では使用痕が全く観察できない自然礫については、採集地から持ち込まれた可能性も当然考慮せねばならない処ではあるが、膨大な量にのぼるため今回は除外した。また、軽石については表面に明瞭に使用痕が認められるものについては砥石、浮子として分類を行ない、その他の肉眼では使用痕が認められないものについても原石素材として持ち込まれた可能性を考慮し、今回は原石の範疇に含め、カウントを行った。

第1表　出土石器組成表

	石鏃	楔形石器	二次加工剥片	剥片・剥離物	石核	原石	磨製石斧	打製石斧	石鍬	砥石	石錘	石錐	浮子	敲石	敲石・凹石	磨石・敲石	磨石	磨石・凹石	凹石	台石	総計
水晶				24	1	2															27
玉髄	1		1	58	4	1															65
石英				23		2															25
黒曜石	2	1	3	5	1							1									13
珪岩										5	1					1				3	10
珪質頁岩														1							1
頁岩					1					5											6
緑泥片岩							1														1
斑糲岩							3														3
玄武岩											1										1
結晶片岩									1												1
サヌカイト	4																				4
閃緑岩							7				2										9
花崗閃緑岩					1														1	1	3
花崗岩										22	2					1				2	27
角閃石安山岩											17			3		7	3	3			33
安山岩							1	2		1	15			1	1	4	2	1	1	1	30
デイサイト							1			5	21			7		9	10	5		4	62
砂岩							1			8	3										12
緑色凝灰岩				13																	13
凝灰岩							1			37	1										39
軽石						93				15			4								112
総計	7	1	4	123	8	98	15	2	1	98	63	1	4	12	1	22	15	9	2	11	497

出土石器の内訳は石鏃7点（1％）、楔形石器1点（0.1％以下）、二次加工剥片4点（0.1％）、剥片・剥離物123点（25％）、石核8点（1％）、磨製石斧15点（3％）、打製石斧2点（0.1％以下）、石鉞1点（0.1％以下）、砥石98点（20％）、石錘63点（13％）、石錐1点（0.1％以下）、浮子4点（0.1％）、敲石12点（0.2％）、敲石・凹石1点（0.1％以下）、磨石・敲石22点（4％）、磨石15点（3％）、磨石・凹石9点（0.2％）、凹石2点、台石11点（0.1％以下）、原石98点（20％）である。これらを概観してみると、剥片・剥離物、原石を除く定形的な器種の中で目立つのは、組成比率が10％を超える砥石98点と石錘63点で、この2種で全体の石器出土量の3割を占めている。

次に石器出土遺構との関連を時代ごとに見ると、古墳時代前期に帰属する1区SI04・06、2区SI03・04、4区SI14・SI16、5区SI04・08・14・16、古墳時代後期の5区SI01・09、奈良時代の2区SK09において出土しており、古墳時代前期の遺構から出土するものが主体的である。なかでも、古墳時代前期の大型竪穴住居跡である2区SI04からは、石錘4点、砥石3点、磨製石斧1点、敲石1点、磨石1点、台石1点と、本遺跡中最も石器が多く出土している。この遺構では、第1分冊　第Ⅳ章において詳述しているように、ベッド状遺構部分に小石の集中区が検出されており、祭壇状の施設に置かれた祭祀具もしくは網具などの可能性が推測できる。出土した石錘4点とも重ね合わせると、この住居における生業との関連性が十分推測できよう。

この他の包含層中の出土石器については、堆積砂層に弥生時代終末期～平安時代の遺物が混在包含されている関係上、出土石器の時代別出土状況まで解明することは困難であった。以上のことも踏まえると、本遺跡における石器組成のみから安易に石器の出土傾向を決定づけることはできない。ただし、剥片・剥離物と石錘、砥石の出土量の多さは、本遺跡の性格の一側面を表すものと推測できる。

3．石器石材について

本遺跡出土の石器石材については、剥片・剥離物を除くと、安山岩、角閃石安山岩、デイサイト等の安山岩類が全体の45％を占めている。

これらの石材産地については、目久美遺跡出土石器の石材産地の推定をされた山名　巌氏によれば、安山岩類は大山北西麓～海岸、花崗岩は日野川水系で産出されている（小原　1986）。また軽石は海岸浮遊物であり、いずれにしても近接する日野川や海岸が主な原石採集地であり、使用目的別に素材を選別し採集利用していたことが推測できよう。

剥片・剥離物の素材については、玉髄58点、水晶24点、緑色凝灰岩13点など、玉類の製作時に生じたとみられる石材が多い。今回出土した玉髄の剥片や石核については、一部に石器作成時の剥片も含まれるが、大半はある程度の厚さを持ち、小型で両極技法を使用していることから、玉作り工程における打割段階の途中品もしくは廃物であると考えられる。以上のことから、今回出土した水晶、玉髄の剥離物は玉作り関連の遺物と考えられよう。同じ砂丘上に立地する錦町第一遺跡では、少し時代は遡るが弥生時代前期とみられる玉作り工房跡が検出されている（平木　1996）。調査区周辺に古墳時代前期頃の玉作り工房跡が存在した可能性は非常に高いと考えられる。

なお、出土した水晶の原石は4cm前後の結晶を主体とし、煙水晶や紫水晶、透明度の非常に高いものなどが多く、玉作りに際して良質の石材を選別して持ち込んでいることが推測できる。水晶に関しては、遺跡地に近接する勝田山でも産出されていることから、近接地からの選別採集が推測されよう。

4．砥石について

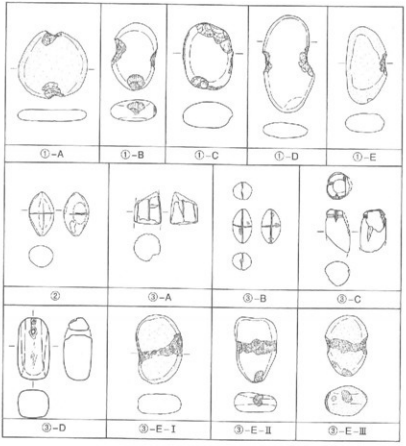
砥石は総数で98点と、本遺跡中最も出土量の多かった石器である。完形のものが少なく、残存重量のみでの分類については限界もあるが、残存形状から出来る限り原形復元すると、大きく100g以下の小型のものと500g前後の中型のもの、800g以上の礫素材をそのまま使用したものとに分けられる。まず、小型のものについては、仕上砥が殆どで、方形に切り出した素材を使用しており、切り出し時の工具痕が残るものもあることから、製品として持ち込まれたものと考えられる。中型のものについては荒砥、中砥、仕上砥のいずれもあり、形状も棒状の素材礫をそのまま利用しているものと、方形に加工されたものとの２種類が認められる。ただし仕上砥に関しては、中型のものについてもその殆どが方形に加工されたものであり、中には１区表採遺物（第１分冊第442図-63）のように非常に丁寧に加工され、上部に穿孔が施されたものもみられることから、製品として持ち込まれたものと考えられる。次に、800g以上のものについては基本的には大型の河原石をそのまま使用しており、側面などに素材面を残すものも多い。被熱しているものもあることから、台石的な使用方法が考えられる。

この他、軽石を砥石として使用しているものも目立つ。軽石砥石には表面全体に鋭利な擦痕が認められるものが主体的であるが、中には３区SI04-171（第１分冊第43図）のような円形の窪みが認められるものもあり、これについては棒状の金属等の端部を研磨したものなのか、もしくは何らかの未製品の可能性も考えられる。

特筆すべきは断面にU字状の溝が認められる砥石（第１分冊　第431図－239・第447図－18）である。素材が軟質であること、溝の形状から鉄製品を研磨する際に使用された砥石の可能性が示唆されている（註１）。また小型の仕上砥の中に漆状の物質が付着したものが出土している（第１分冊第411図-150）。金属製品を加工する過程では、研磨時の最終工程段階で漆を塗布する（註２）。鍛冶関連遺構や遺物が出土している当該遺跡において、これらの砥石はその使用状況が窺えるものであり、奈良時代の官衙関連施設と思われる遺構の存在を裏付けるものと言えよう。

5．石錘について

博労町遺跡では、砥石に次いで、総数63点と、非常に多くの石錘が出土している。鳥取県内出土の石錘については、従前の研究に基づいて坂本嘉和氏により分類が行われている。（坂本　2003）。これを基に、博労町遺跡出土の石錘につ



第１図　博労町遺跡出土石錘類型

いて若干の検討を加えてみたい。

形態分類（第１図）

従前の資料及び坂本分類を基準にし、以下に博労町遺跡出土の石錘について形態分類を行った。

① 打欠石錘

Ａ類　：長軸の両端を打ち欠くもの

Ｂ類　：長軸一端と短軸両端の３箇所を打ち欠くもの

Ｃ類　：長軸と短軸の４箇所を打ち欠くもの

Ｄ類　：短軸の両端を打ち欠くもの

Ｅ類　：短軸一端のみを打ち欠くもの

② 切目石錘　：長軸と短軸の４箇所に切込みを入れるもの

③ 有溝石錘

Ａ類　：長軸のみに溝を施すもの

Ｂ類　：長軸と短軸両方に溝を施すもの

Ｃ類　：中央よりやや上半の短軸に溝１条を施しそれをつなぐ長軸方向の溝を有するもの

Ｄ類　：上部に穿孔と溝を施すもの

Ｅ－Ⅰ類：短軸に幅広の溝を１条施すもの

Ｅ－Ⅱ類：短軸に幅広の溝を１条施し、下端を打ち欠くもの

Ｅ－Ⅲ類：短軸に幅広の溝を１条施し、さらに短軸両端を打ち欠くもの

第２表　博労町遺跡出土石錘分類表

	①-A	①-B	①-C	①-D	①-E	②	③-A	③-B	③-C	③-D	③-E-Ⅰ	③-E-Ⅱ	③-E-Ⅲ	総計
住居跡		1		5	1	1		1			2	1	2	14
溝状遺構	1	1		1										3
井戸							1							1
包含層	7	2	1	24	1				1	1	3		5	45
総計	8	4	1	30	2	1	1	1	1	1	5	1	7	63

これを基に、本遺跡出土の石錘を分類したものが第２表である。これによれば、①類の打欠石錘の出土比率が全体の71％と最も高い。中でも主体的なものは①-Ｄ類の扁平な楕円礫の短軸両端を打ち欠くもので、全体の48％と約５割を占めている。この両端の打ち欠き幅については、両端ほぼ同様の幅に抉りが入っているものが主体的であるが、中には一端の打ち欠き幅が大きく、他方は非常に幅が短く、抉りも非常に僅かで敲打痕のごときものもある。このような石錘については、断面が三角形状を呈するものもあり、甃のようなものや敲石等、石錘以外の用途に使用された可能性も考えられる。

②類の切目石錘については、県東部に見られる長軸両端に短い切り込みを入れるタイプは今回出土していない。僅かに１点のみの出土している切目石錘は、短軸長軸に細長い切り込みが入れられており、布勢第１遺跡出土のものに形状が酷似している（津川　1981）。

有溝石錘については、③－Ａ類～Ｄ類のいわゆる九州型石錘の範疇に入るものが４点、③－Ｅ類の瀬戸内型石錘の範疇に入るものが13点と、Ｅ類が主体的である。特に③－Ｅ－Ⅰ類では、大型で卵倒

形を呈し、上部近くの短軸方向に幅広の溝が掘り込まれるタイプが多くみられる。これらは有頭石錘の区分にも入るものでいわゆる中部型石錘とも呼ばれるものであろう、この他、③－E－Ⅲ類のような打欠石錘との折衷タイプのものなどの在地的なバリエーションも見られる。また、③－D類の有孔石錘については、1点のみの出土であるが、逆台形に面取りを施した後全体を研磨し、上部に穿孔と溝が穿たれた非常に精巧な作りのものである。

まとめ

県内における石錘出土遺跡は、その性格を考慮すれば当然ではあるが、低湿地と大型河川、潟湖周辺に集中している。特に西部では、目久美遺跡において縄文時代の石錘が500点以上出土している（小原　1986）。この他、低湿地に近接する陰田第1・7・9遺跡においても多量の石錘が出土している（坂本　2003）。今回の調査では、出土遺構から考えると、出土石錘の帰属時期は、目久美遺跡よりも時代が下る古墳時代前期が主体であると考えられる。本遺跡における石錘類の出土量の多さは、縄文時代以来続く米子海浜域における生業活動の一端を表すものと考えられる。

本遺跡の出土石錘の形態的傾向は、主体的に出土する打欠石錘と共に、北九州型や、瀬戸内型など他地域に特徴的な形態が混在しており、これは従前言われている鳥取県内出土石錘の出土傾向に追随するものである（坂本　2003）。ただし、今回出土した石錘には、切目石錘が出土していないこと、形態にイレギュラーなものが多く在地色が強いこと、石材採集段階である程度の選別が行われた上で加工が行われたことなどは、本遺跡の立地環境や性格を表すものと考えられる。

このうち最も特徴的なものは、打欠石錘である。打欠石錘は目久美遺跡においても多量に出土しているが、タイプ的には上下端を打ち欠く①－A類が主体である。これに対し、博労町遺跡では短軸両端を打ち欠く①－D類が主体である。①－D類については前項で他の用途の可能性も示唆したが、いずれにしても出土石錘全体の5割と突出した出土量である。これは即ち米子海浜部において、石錘の主体的形態が、弥生時代以前までの①－A類から、古墳時代前期には①－D類へと変化したことを表すものといえるのではなかろうか。

本遺跡は日野川下流域の海浜砂丘域に位置しており、中海、日本海に近接する立地状況にある。今回の調査において検出された土錘・石錘の出土量の多さは、当該遺跡において漁撈というものが、生業のなかで重要な位置を占めていたことを如実に裏付ける資料であると考えられる。ただし、イレギュラーなタイプや、一端の使用痕が僅かな石錘については、漁撈具としての使用のみにかかわらず、工具としての使用、また編み物用錘具などとして、様々な生業活動に使用された可能性も十分考慮していかねばならない（波辺　1981）。

今回の調査では、それらを踏まえたうえで、米子海浜砂丘域での生業を研究していく上での一資料を提示できたものと思われる。今後、近接砂丘域での調査の増加により、更に米子平野下流域における当該期の様相が明らかになっていくことを期待したい。

なお、出土石器の石器・石材鑑定については鳥取県教育文化財団　高橋章司氏に御指導、御教示を頂いた。記して感謝いたします。

（註1）島根県埋蔵文化財調査センター　丹羽野　裕氏の御教示による。

（註2）出雲市文化財課　高橋　周氏の御教示による。

（引用・参考文献）

池野正男ほか　2002『石名田木舟遺跡発掘調査報告書』第１分冊古代以前編　㈶富山県文化振興財団　埋蔵文化財調査事務所

大野左千夫　1991「漁撈」『古墳時代の研究』４　生産と流通Ⅰ　雄山閣

坂本嘉和　2003「第６章　考察　第３節　鳥取県内出土の石錘について」『井図地頃遺跡・井図地中ソネ遺跡』（財）鳥取県教育文化財団・国土交通省倉吉工事事務所

津川ひとみ　1981「２　石器・石製品」『布施第１遺跡発掘調査報告書』㈶鳥取県教育文化財団

平木裕子　1996『錦町第一遺跡』㈶米子市教育文化財団

小原貴樹　1986「第Ⅴ章　第２節　２．石器・土製品・金属製品」『目久美遺跡』米子市教育委員会（加茂川改良工事関係埋蔵文化財発掘調査団）　鳥取県河川課

牧山直樹ほか　2010『寺家遺跡』発掘調査報告書　総括編　羽咋市教育委員会

森　隆　2003「古代北陸の河川漁業に関する若干の考察」『線文化財學論集』第二分冊　文化財学論集刊行会

和田晴吾　1985「土錘・石錘」『弥生文化の研究』５　道具と技術Ⅰ　雄山閣

渡辺　誠　1981「編み物用錘具としての自然石の研究」『名古屋大学文学部研究論集（史学）』27　名古屋大学

第７節　博労町遺跡出土鉄関連遺物の調査

佐伯　純也

１．はじめに

博労町遺跡から出土した鉄関連遺物は、鍛冶関連遺物廃棄土坑から出土したものと、包含層中から出土したものがある。これらの遺物については、穴澤義功氏による詳細な分類作業を経て、構成図並びに一覧表の作成の後に金属学的な分析資料の抽出と記録作成までを行い、ある程度までは概要を把握することができた。

なお、調査の方法とその手順については、鳥取県教育文化財団の坂本嘉和氏の指導と、2005『鉄関連遺物の分析評価に関する研究会報告』㈳日本鉄鋼協会社会鉄鋼工学部会並びに2009『坂長第６遺跡』鳥取県教育文化財団、等の文献を参照した。

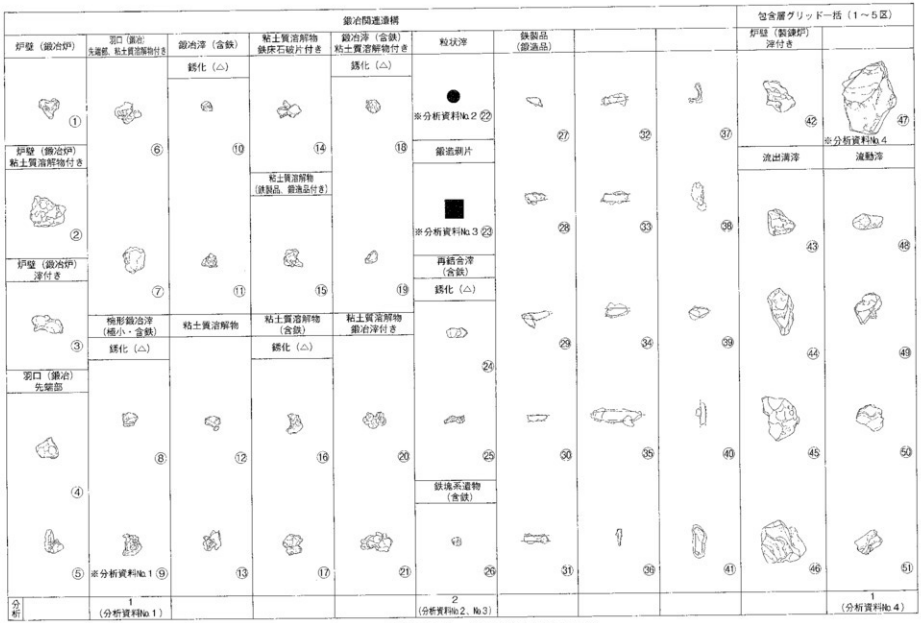
２．遺物観察表の見方

本書90頁から106頁にかけて掲載した鉄関連遺物観察表と分析資料詳細観察表は、坂長第６遺跡の鉄関連遺物の考古学的調査で用いられた記録様式を踏襲している。主な記録項目の見方は、以下のとおりである。

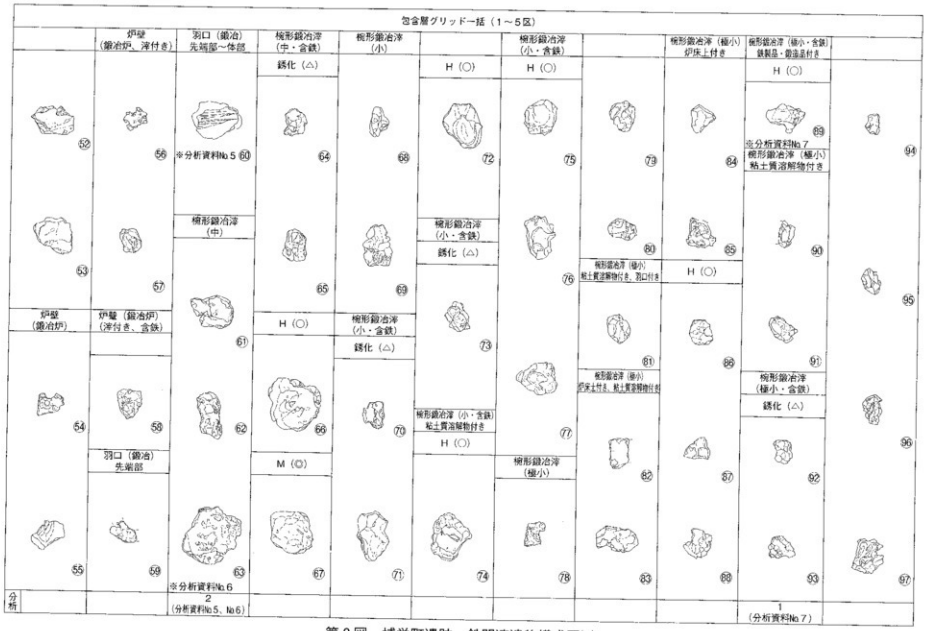
① 遺物種類　金属学的な分析を行う前に、考古学的な観察によって判定された遺物の種である。
② 法　　量　各遺物の長さ、幅、厚さ（各単位とも㎜）、重量（単位g）を計測したものである。
③ 磁 着 度　製鉄関連遺物分類用の「標準磁石」（TOKINフェライト磁石SR-３　寸法30×17×５㎜）を用いて、６㎜を１単位として資料の反応の程度を数字で表現したものである。
④ 遺 存 度　資料が完形か破片かを示す。
⑤ 破 面 数　資料が破片の場合、破面がいくつあるのかを示す。
⑥ メタル度　埋蔵文化財専用に整準された小型特殊金属探知機によって判定された金属鉄の残留の程度を示すもので、基準感度は次のとおりである。

なし：磁着反応がなく、金属鉄が全く含まれていないことを示す。
錆化（△）：磁着反応があるが、感度Hでも反応しない酸化物で、金属鉄が残留しないことを示す。
H（○）：Hは最高感度で、ごく小さな金属鉄（１～2.5㎜）が残留することを示す。
M（◎）：Mは最高感度で、Hの倍以上の金属鉄（４～５㎜）が残留することを示す。
L（●）：Lは低感度でMの倍以上の金属鉄（10～12㎜）が残留することを示す。
特L（☆）：特Lは極低感度で、Lの倍以上の金属鉄（20㎜以上）が残留することを示す。

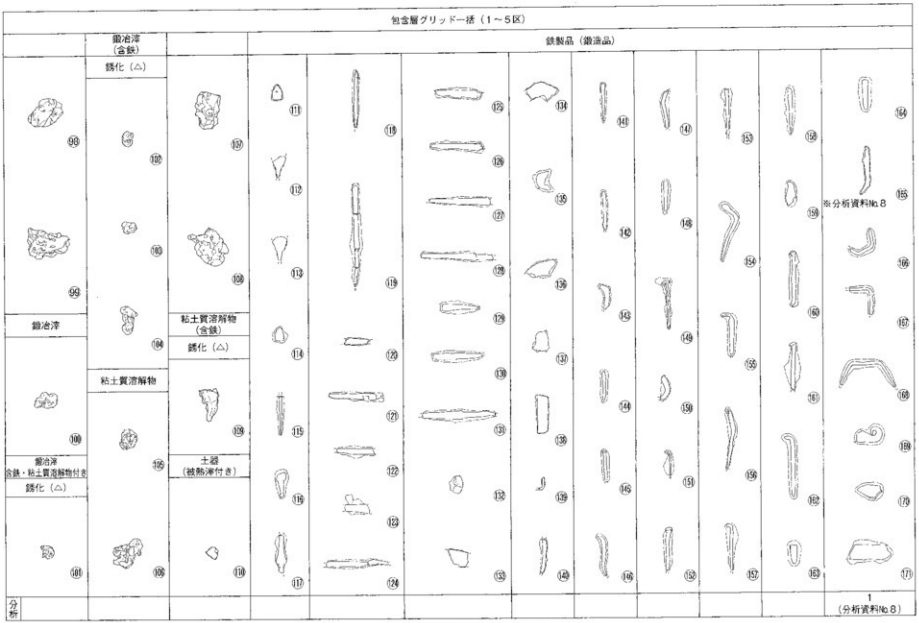
⑦ 分　　析　どの分析を、どの部分について行うのかを○印で示す。
⑧ 所　　見　外見や破面、断面の状況、木炭痕や気孔の有無、および付着物やその他の状況について示す。
⑨ 分析部位　資料の、どのような部分をどのような目的で調査、分析するかを示す。なお、観察表下の実測図の矢印で囲んだ部分は、分析に供した資料の採取位置を示す。
⑩ 備　　考　資料がどのような場所で、どのように生成されたと予想されるか、などについて記している。



第１図　博労町遺跡　鉄関連遺物構成図(1)



第２図　博労町遺跡　鉄関連遺物構成図(2)



第３図　博労町遺跡　鉄関連遺物構成図(3)

3．遺物の概要

3区において検出した鍛冶関連遺物廃棄土坑については、すでに本書（第1分冊第Ⅳ章180頁）で概要を報告した。

なお、遺物の年代としては、鍛冶関連遺廃棄土坑は、出土遺物から平安時代前期頃と想定しているが、それ以外の包含層出土遺物に関しては、博労町遺跡の年代観から、前記の廃棄土坑と同じく、全て9世紀代に納まるものと仮定した。

各遺物の出土地点を見ると、鍛冶関連遺物廃棄土坑が見つかった3区と、製錬系の遺物が多く見つかった5区に集中する傾向があり、本来はこれらの遺構に伴うものであった可能性が高い。しかしながら、どちらも鍛冶炉や製鉄炉などの直接的な遺構を確認することが出来なかったため、博労町遺跡で行われた製鉄、鍛冶作業の操業内容まで考察できる資料ではない。しかしながら、検出された鉄関連遺物の点数は比較的多く、そこで行われた鍛冶作業の一端と、製作、あるいは使用された鉄製品の内容は把握できたものと考える。以下にその概要を記す。

鍛冶関連遺物廃棄土坑（第4・5図）

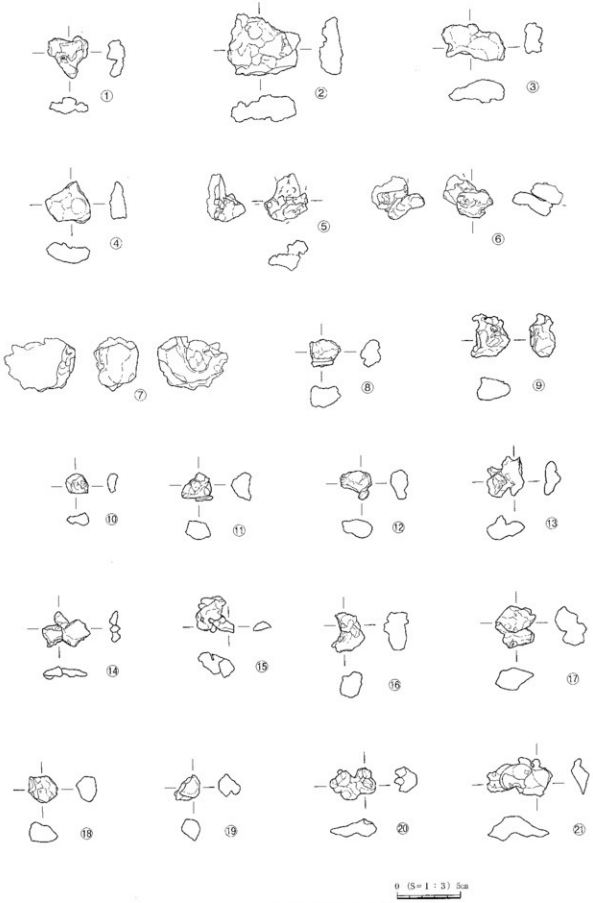
鍛冶関連遺物を一括して廃棄した土坑から出土した遺物は、炉壁、羽口、椀形鍛冶滓、粘土質溶解物、粒状滓、鍛造剥片、再結合滓、鉄塊系遺物、鉄製品である。微細な遺物については、廃棄土坑の内部と周辺の土砂をサンプリングし、篩を用いて選別作業を行い、鍛造剥片を多量に検出した。一方、粒状滓については、検出された点数が極めて少なく、鍛造剥片の出土量とは比較にならないほどの差が見られた。鉄製品は、刀子が多く確認されるが、器種不明の棒状品や釘、絞具も見られる。また、小形の鉄片も多く含まれており、鍛冶素材と考えられる。大型の鍛冶遺物は含まれず、小形品が主体であることと、鍛造剥片が多く含まれていることから、操業中に生じた廃棄物を投棄した土坑と考えられる。

包含層出土鉄関連遺物（第6図～第11図）

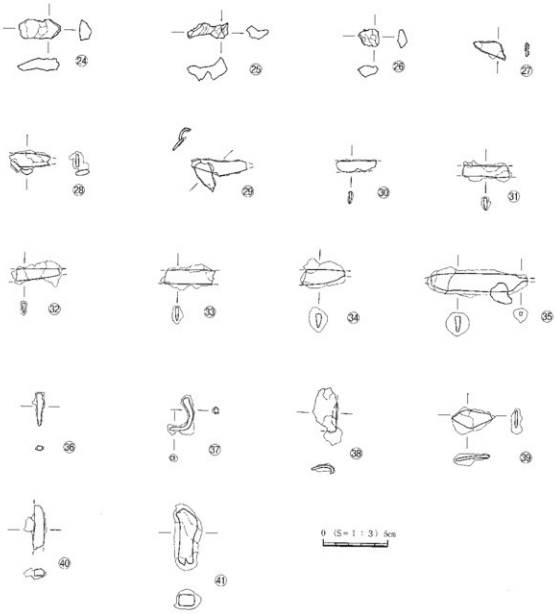
包含層から出土した遺物には、鉄製品のほか、鍛冶関連の遺物と製鉄関連の遺物が見られた。叩石や砥石、鉄床石などの石製品に関しては、全てが鉄関連遺物とは見なせないことや、年代的な裏付けがとれないことから、鉄関連遺物からは除外した。

製鉄関連の遺物は、流出溝滓と流動滓が主体で、1点のみ製錬炉に伴う炉壁片が確認された。42が、製錬炉の炉壁片である。この他の製錬系遺物は、43から47が流出溝滓、48から53が流動滓である。この中で分析資料として抽出した47は、長径11.5cm、重さ715.9gの流出溝滓である。底部に礫岩を噛み込んでおり、炉の設置場所が礫岩の存在する場所であったことを窺わせる。また、金属学的な分析の結果、滓部の鉱物組成から89の椀形鍛冶滓とされた資料が、製鉄系の含鉄製錬滓であることが推測されたが、こうした製錬系の遺物は、鉄関連遺物の中では少数例に止まる。こうしたことから、本調査地点はこれらの遺物を生産した製鉄炉から、やや離れた位置にあるものと推察される。

鍛冶関連の遺物は、炉壁、羽口、椀形鍛冶滓、鍛冶滓、粘土質溶解物、鍛造の鉄製品が出土している。54から58は炉壁で、いずれも小破片となっており、鍛冶炉の全形を窺える資料は少ないが、57は羽口右脇の表面の破片と推測される。59、60は鞴の羽口先端部である。60は残存長7.8cmを測る。先端部に付着するガラス質滓の鉱物組成から、鍛冶原料鉄の加熱に使用されたものと推測されている。



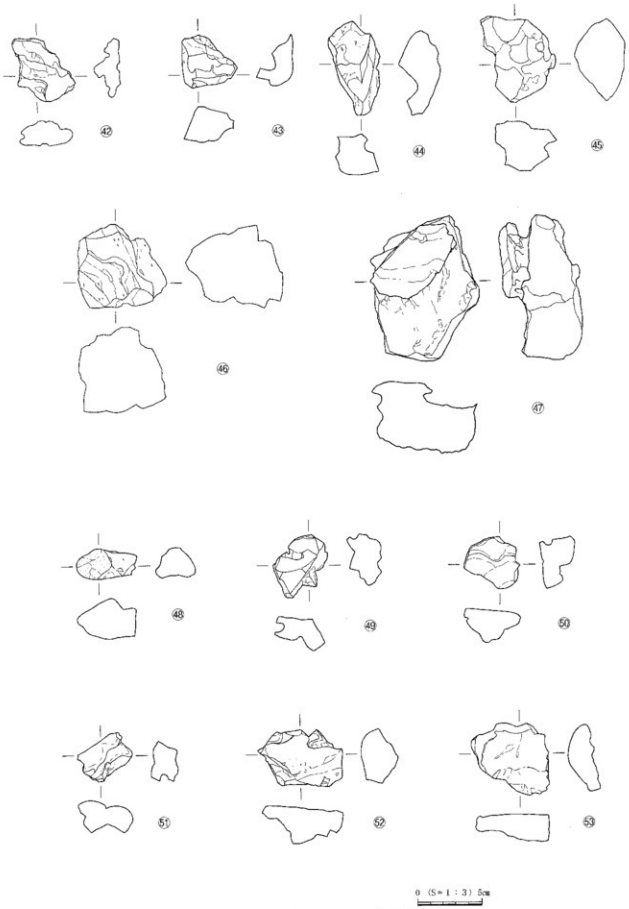
第４図　鍛冶関連遺物廃棄土坑出土遺物(1)



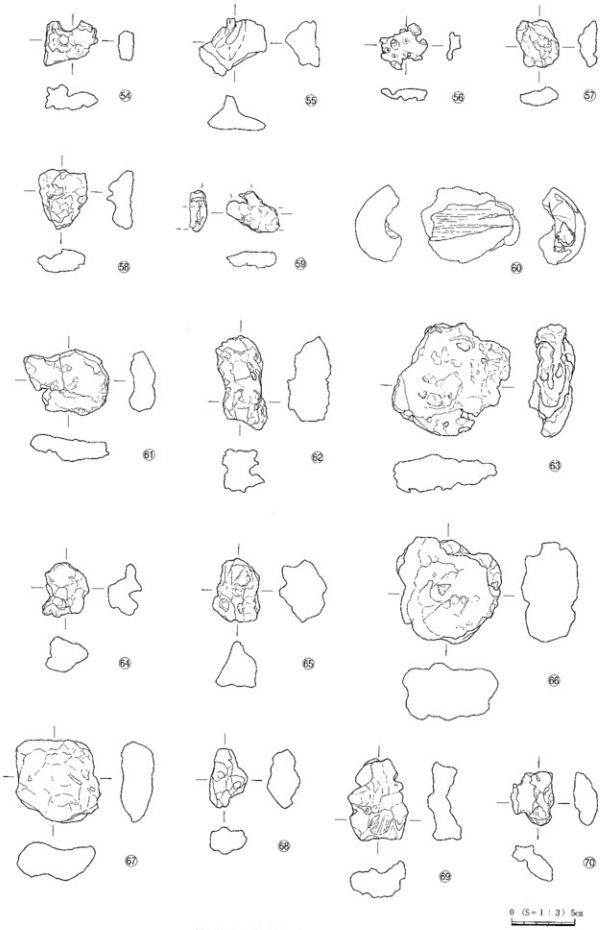
第5図　鍛冶関連遺物廃棄土坑出土遺物(2)

61から99は、椀形鍛冶滓である。椀形鍛冶滓は、中から極小まで確認されているが、全体的には小から極小が主体となる。出土傾向は、鍛冶関連遺物廃棄土坑の存在する3区からの出土が目立ち、それに5区が続く。100から104は、いずれも鍛冶作業に伴って生成された鍛冶滓である。105から109は粘土質溶解物である。3区からの出土が多く見られ、サイズも中・小形のものが主体である。110は、被熱のために滓化した土器片である。

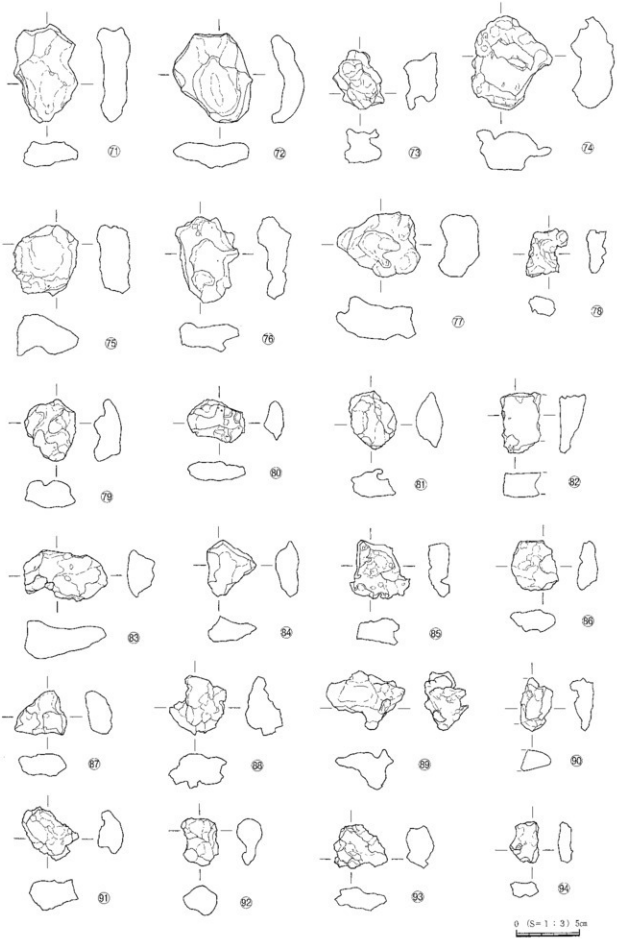
鉄製品は、鉄鏃、刀子、釘、鎹など小形品を中心に多数出土したほか、鎌や鉄製紡錘車、火打金なども見られる。鉄鏃は、111のような有孔の無茎鏃や、112、113のような短茎鏃も出土しているが、多くは119に類似する長頸鏃である。刀子は小形品が多く、研ぎ減りによって、原型をとどめていないものもある。132は、鉄製紡錘車の破片と見られる。133から136は、全て破片であるが、形状から鎌と推測される。137、138は絞具である。137は遺存状態が悪いが、138は完存しており、筒状を呈する形状が読み取れる。



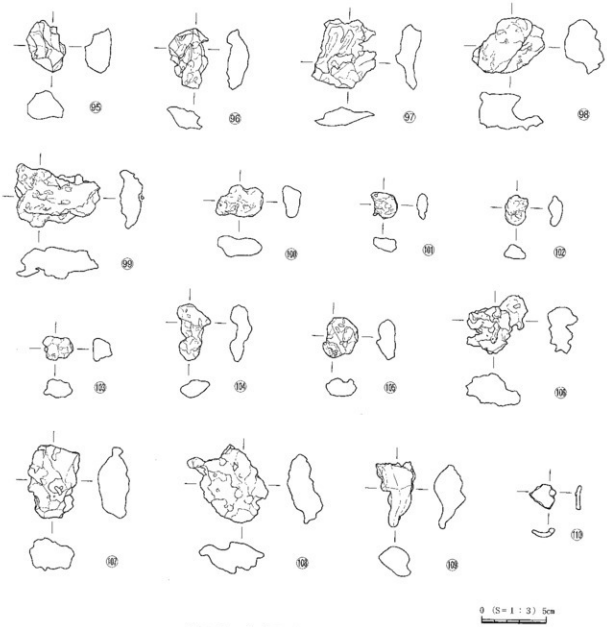
第６図　包含層出土鉄関連遺物(1)



第７図　包含層出土鉄関連遺物(2)

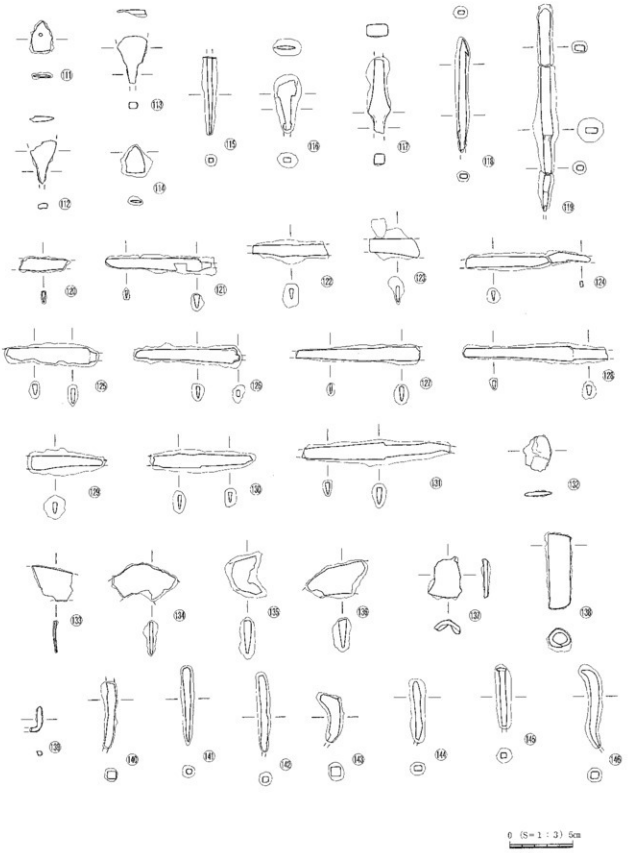


第８図　包含層出土鉄関連遺物(3)

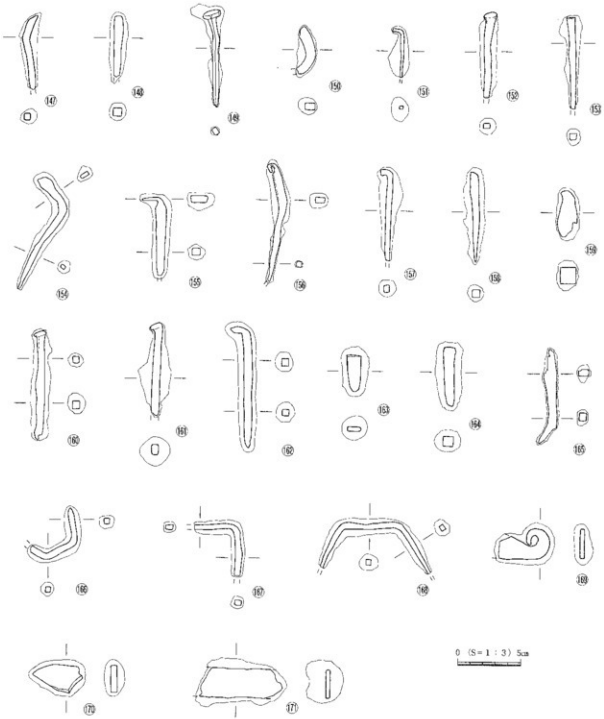


第９図　包含層出土鉄関連遺物(4)

139から162は釘である。頭部を折り返すものが多いが、再利用するために抜き取られたためか、全体に折れた釘が多く、原形を保つ資料が少ない。なお、釘に関しては３区からの出土が目立つが、この地点では建物跡が確認されておらず、建物に直接関連する釘ではない可能性も考えられる。あるいは、この地区で確認された鍛冶関連遺物廃棄土坑との関連が窺われる。163、164は楔状の鉄製品である。164は断面四角形で釘に類似する。165は、端部が跪状に屈曲する棒状の不明品である。鉄鉗や火掻き棒に類似しており、鍛冶具の可能性が考えられる。166は、釘状の鉄製品を折り曲げたものと考えられるが両端部とも欠損しており、性格は不明である。167、168は鏨と見られる、屈曲した棒状鉄製品で、どちらも断面形は角型をなす。169は、火打金の破片と見られ、透過Ｘ線像では、端部が蕨手状に成形されている。170は、表面を厚い酸化土砂で覆われているが、銅合金系の金属製品の可能性を持つ。171は、短軸側の両側部が折り返された薄板状の鉄製品で、飾金具と考えられる。



第10図　包含層出土鉄関連遺物(5)



第11図　包含層出土鉄関連遺物(6)

表 1　博労町遺跡鉄関連遺物観察表(1)

構成番号	遺物名	地区名	グリッド・遺構名 層位名	遺物番号	計測値（cm） 長さ	幅	厚さ	残重（g）	磁着度	メタル度	備考
1	炉壁（鍛冶炉）	3	鉄関連遺物廃棄土坑下層		3.2	3.3	1.4	7.7	3	なし	内面が黒色ガラス質に焼けた沙取小破片。側部から外面は被覆となる。粘土中の石材が目立って認出する。
2	炉壁（鍛冶炉） 粘土質造滓解物付き	3	鉄関連遺物廃棄土坑K-4		5.6	4.9	2.1	36.7	3	なし	内面のガラス質溶化が著しい炉壁破片。内面には触土中の小粒鉄の石粒や石英・長石粒子が混入して、強度状の流れを示している形で広がる。側部3面と外面が破面。石粒部は軟十粘土質の垂れからなる。
3	炉壁（鍛冶炉） 滓付き	3	鉄関連遺物廃棄土坑 後十層		4.9	2.9	1.9	20.0	3	なし	表層が流動気味の滓に覆われた炉壁内部破片。滓部分は薄板状で生、半溶解状態。裏面寄りの炉壁上の側部から外側は被覆となる。滓部はやや硬質や滑め。
4	羽口（鍛冶）　先端部	3	鉄関連遺物廃棄土坑 L-2		3.5	3.3	1.4	13.5	4	純化(△)	鍛冶羽口の先端部が破片。通気孔部は欠落して先端は黒色の滓に覆われる。胴部に羽口片由来の粘土質の滓が混在する。
5	羽口（鍛冶）　先端部 粘土質造滓解物付き	3	鉄関連遺物廃棄土坑 I-2		2.9	3.8	1.3	12.6	2	なし	鍛冶羽口の先端孔小破片。被熱の高い通孔孔縁部の一部が残り、胴部には鍛冶炉の炉壁小破片が混在する。羽口は側身で鉛筆は弱い。
6	羽口（鍛冶）　先端部 粘土質鍛冶解物付き	3	鉄関連遺物廃棄土坑 後十層		4.2	3.5	1.4	20.3	3	なし	側部に粘土質の強い滓が表状に厚く付着する羽口先端部小破片。羽口から見て先端部方下の使用にあたる。通気孔部は欠落する。鍛部の滓は、横形鍛冶滓の断面に相当する。
7	羽口（鍛冶）　先端部	3	鉄関連遺物廃棄土坑下層		3.5	4.3	2.2	51.8	3	なし	先端部から側部に分けて厚く滓化している羽口先端部破片。胴部以下が欠落のため判断のには側身傾に見える。通気孔部は欠落し、粘土の耐力が要求に強。鍛部に含浮い粘土質の滓が形成されたもので、胴部の強みには鍛造剥片が混在する。
8	椀形鍛冶滓（鍛小、含鉄）	3	鉄関連遺物廃棄土坑下層		2.5	2.2	1.7	8.7	2	純化(△)	側部2方が欠けた鍛小の椀形鍛冶滓の冒部小破片。最大厚みは12cm程で、下半側が本体部分となる。含鉄部は上面右寄りの盛り上がった部分。
9	椀形鍛冶滓（鍛小、含鉄）	3	鉄関連遺物廃棄土坑下層		3.0	3.5	2.0	19.1	3	純化(△)	分析資料番号1　分析資料番号鍛冶関連遺物表参照。
10	鍛冶滓（含鉄）	3	鉄関連遺物廃棄土坑 I-4		1.8	1.6	1.0	2.3	3	純化(△)	鍛造剥片を含む再結合滓に覆われた、やや扁平な鍛冶滓小破片。側部3方と下面の平滑面が破面となる。鍛造剥片は表面型と光沢をもつ薄手で薄。
11	鍛冶滓（含鉄）	3	鉄関連遺物廃棄土坑 J-5		2.5	2.3	1.6	7.2	3	純化(△)	側部3面が破面となった鍛冶滓、または椀形鍛冶滓破片。最大厚みは12cm程で、下半側の側部は本底面の残る自然面で、滓全体の流動性は低い。側部の滓からは粉炭や鍛造剥片を混じる複化上砂の付着する。磁着は金体が反応気味。
12	粘土質滓解物	3	鉄関連遺物廃棄土坑下層		2.5	2.3	1.5	4.3	2	なし	表面が灰褐色や黒褐色に滓化した粘土質滓解物。左側部が破面で、下半側には小規模の粘土質滓解物が混在する。
13	粘土質滓解物	3	鉄関連遺物廃棄土坑下層		3.2	2.8	2.0	10.9	2	なし	表皮が黒色ガラス化した粘土質滓解物。下半側に向かって細くなる。右上方のみが破面で、裏側は鉄関連滓様の表層型となっている。
14	粘土質滓解物 金床石破片付き	3	鉄関連遺物廃棄土坑下層		3.8	2.8	0.9	5.2	2	なし	右側に金床石の表面破片様の剥片を巻き込んでいる粘土質滓解物。表面は黒色ガラス質で、裏面はくすんだ破砕面。左半分は中間表面から側離した感覚の粘土質滓解物破片となる。
15	粘土質鉄滓解物 （修製品、鍛造品付き）	3	鉄関連遺物廃棄土坑 底上層		3.0	2.9	2.1	8.8	3	純化(△)	右下手側の側部に鉄の下方向に伸びる再結合滓に覆われた鉄片を固着する粘土質滓解物。鉄結合滓部には滓中の鍛造剥片が多量に含まれている。粘土質滓解物は小滓状の破片が目立 結なしていたもので、表面は凹凸が強い。また鉄関の一部と異質状態に陥る。
16	粘土質滓解物（含鉄）	3	鉄関連遺物廃棄土坑 底上層		2.6	3.1	2.0	12.4	3	純化(△)	表側がくすんだ流動感のガラス質浩に覆われた、含鉄の粘土質滓解物。小粒石英状で、含鉄部は下半側の芯部から、破面は下半側部のこの小断面。
17	粘土質滓解物（含鉄）	3	鉄関連遺物廃棄土坑下層		3.1	3.3	2.5	16.0	3	純化(△)	小粒珪酸石の粘土質滓解物が2個連なった資料。下半側は凹凸由来の可能性があり、下半側は小単位の粘土質滓解物が一体化したものとなる。上部表皮は流動状の滓に覆われ、表面はもとの素材の色調を必要する。含鉄部は下手既やや広。
18	鍛冶滓（含鉄） 粘土質滓解物付き	3	鉄関連遺物廃棄土坑 K-4		2.2	2.1	1.6	6.9	3	純化(△)	扁平な小鍛冶片となった鍛冶滓。左側が表皮状に石粒付着しており、右側は丸みを帯び、鍛冶から温度に乗れが強く、下面右側が印象土に接したためか、砂粒が面的にがさ。右寄りの芯部に合鉄部あり。
19	鍛冶滓（含鉄） 粘土質滓解物	3	鉄関連遺物廃棄土坑 L-3		2.0	2.0	1.7	5.0	3	純化(△)	羽口片様の小片が溶解となったような外観を持つ鍛冶滓。上下2単位からなり、左側部から見ると中間層に陥没あり。含鉄部は下半から中間層の部分から。
20	粘土質流滓解物 （鍛冶炉付き）	3	鉄関連遺物廃棄土坑 K-4		3.6	2.6	1.8	8.5	2	なし	下半分鍛冶滓化した粘土質滓解物。上半部には小規模の羽口片とみられる1cm大以下の鍛冶鉄剥片が混ざりがいる。下面の滓は形状面に覆われ、光沢方向に形成された可能性がある。
21	粘土質滓解物 （鍛冶炉付き）	3	鉄関連遺物廃棄土坑下層		5.0	3.1	1.9	13.4	2	なし	滓表面一同り大きくしたような鍛冶滓様の粘土質滓解物。表面に横方向に延びる層厚状況で、上と半部が粘土質滓解物。右側の突出部はやや強形を全了鍛冶滓部分となる。
22	転炉滓	3	鉄関連遺物廃棄土坑下層					—	1	なし	分析資料No.2　分析資料群鍛冶関連遺物表参照に別表参照。
23	鍛造剥片	3	鉄関連遺物廃棄土坑下層					—	1	なし	分析資料No.3　分析資料群鍛冶関連遺物表参照に別表参照。
24	再結合滓（含鉄）	3	鉄関連遺物廃棄土坑 I-4		3.3	1.6	1.0	5.2	3	純化(△)	厚さ9mm以下の扁平な再結合滓破片。側部は全周破面で、下部は剥離面、または破面とみられる。上部は滓とみられたような平面。破面には粉炭や薄手の鍛造剥片が点々と混出する。鉱床が金体に使いのは鍛造剥片の多さを示す。
25	再結合滓（含鉄）	3	鉄関連遺物廃棄土坑 底十層		3.1	1.2	1.9	4.5	3	純化(△)	小規模の2片が結合したような、やや長形の再結合滓破片。側部から下面は全面破面で、比較的大石り的炭や鍛造剥片が目立っている。磁着も強めで鍛造剥片の多さを物語る。
26	鉄滓流滓物（含鉄）	3	鉄関連遺物廃棄土坑 J-5		1.5	1.4	0.9	1.4	2	純化(△)	扁平な再結合滓の表面系滓物。表面は鍛造剥片を含む再結合滓に覆われており、だ側部を中心に異質状の細ぶくれが発達する。

表２　博労町遺跡鉄関連遺物観察表(2)

遺構番号	遺物名	地区名	グリッド・遺構名 層位名	遺物番号	対面幅(cm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	磁着度	メタル度	備考
27	鉄製品（鍛造品）鉄片（未製品?）	3	鉄関連遺物廃棄土坑 J-4		2.5	1.1	0.2	1.8	4	強化(△)	平面形が不揃辺三角形をした鉄製品。表面は酸化土砂や絶滅くれに覆われている。遺構又廃棄を見ると、鍛造による鉄が保存される。切断が鍛めに断ち落とされているような印象を受ける。切り目の可能性もあり。（三角形鉄片）
28	鉄製品（鍛造品）鉄片（未製品?）	3	鉄関連遺物廃棄土坑 焼土層		3.2	1.1	0.2	5.2	4	強化(△)	形状や鍛造剥片を含む特徴が認められた鉄片。平面不揃辺には鍛造したれが認められる。左右方向に表手の鍛冶の鍛型形で不自然に湾曲している。鍛造痕の痕跡が確認されるが、部分的にうねりが残っており、未製品、またはけりの鍛ち鍛造品。
29	鉄製品（鍛造品）鉄片（未製品?）	3	鉄関連遺物廃棄土坑 焼土層		4.1	1.3	0.2	5.3	5	強化(△)	刀子片様の厚平な鉄製品が２枚重なっている。鍛造剥片の形状で、下手側の鉄片は水平方向にうねりを生じている。透過X線撮影を見ると、鍛造による鉄片が補強鉄製品で、切り目またはは未製品かもしれない。
30	鉄製品（鍛造品）刀子?	3	鉄関連遺物廃棄土坑 J-5		3.1	0.9	0.2	1.8	5	強化(△)	最大幅が9mm全周る薄板状の鉄製品。左側部は明瞭な破断で、刀子の刃部様の鋭面が表出する。透過X線像を見ると同断部とも破断になっており、刃部的に刀子の可能性が。
31	鉄製品（鍛造品）刀子	3	鉄関連遺物廃棄土坑 K-4		3.8	0.9	0.3	5.8	6	H(○)	幅1.2cm前後を測る薄板状の鉄製品。先端部は明らかな破断で、刀子破片の可能性が大。透過X線像によれば、右端の端部も破断となっており、左右で鋭れ方が異なっている。鍛造剥片に薄く、背側と見られる手側の側面は、やや錆化が進む。表面には鉄炭を含む酸化土砂が多のに付属する。
32	鉄製品（鍛造品）刀子	3	鉄関連遺物廃棄土坑 J-4		3.5	1.0	0.2	5.9	5	強化(△)	薄若と全体鋭が よく似た、鍛冶の為板状の鉄製品。表面は鉄滓剥片や鉄炭を多量に含む再結合部に覆われている。透過X線像を見ると、左側が不自然に湾曲しており、右方向は鋭ちに離くなって生ているように見える。刀子の刃先鋭または薄部であろうか。鍛造による鉄片は比較的薄っている。
33	鉄製品（鍛造品）刀子?	3	鉄関連遺物廃棄土坑 J-4		4.3	1.1	0.2	8.2	6	強化(△)	薄平な為板上の鉄製品鉄片。表面は多量の鍛造剥片や鉄炭を含む再結合部に覆われており、右上手側の部位には鋭ぶくれが発達する。透過X線像を見ると本鋭れ刀子と考えられ、両端部が小破断となる。鍛造による鉄目の一部に見える。
34	鉄製品（鍛造品）刀子?	3	鉄関連遺物廃棄土坑 下層		3.3	1.2	0.4	12.5	6	H(○)	外鋭が小破断の扁平鍛造による鉄製品鉄片。表面は鉄炭を多量に含む再結合部で、部分的に鍛造剥片が目立つ。透過X線像には、右側が破断となった刀子鋭形が確認される。鍛造痕がやや見れており、本鋭品かもしれない。左方向に向かい、徐々に鋭まって鋭要する。
35	鉄製品（鍛造品）刀子?	3	鉄関連遺物廃棄土坑 下層		7.6	1.4	0.4	33.3	2	強化(△)	全端い微化土砂に覆われた鉄製品。鍛造上の主体は砂粒で、異色の鍛造剥片も一定量含まれている。右側部が小さ欠けて、やや反刀形部面の中空部が露呈する。透過X線像を見ると、刀子または板様の未製品の可能性あり。中端部の破断で、背厚部に向かい細くなる形状が確認される。また、鉄化土砂中の鍛造剥片も透過X線像には明瞭に写り込んでいる。
36	鉄製品（鍛造品）釘	3	鉄関連遺物廃棄土坑 下層		2.6	0.5	0.3	1.1	4	強化(△)	鍛造剥片や粉炭を含む再結合部に覆われた鉄製品掘型剥片。下手側の端部が細くなって鋭要する形で、上手側が鋭端となっている。刻まれは刀の忍溝部用の可能性あり。鍛造痕は下部で仕上がりは良好。上手鋭の鋭部が幅広の鍛冶に仕上げられている。
37	鉄製品（鍛造品）釘	3	鉄関連遺物廃棄土坑 下層		2.2	0.6	0.3	3.1	5	強化(△)	下手側が逆「L」字形に折れ曲がった形。体部平ぶち「くし」の平状に折れ曲がり、透過X線像には鉄部の内に特有な鍛造痕の繋がる鍛造の変形が確認される。反対先部が小さく欠けている可能性大。表面は鉄滓剥片と粉炭を鉄による再結合部に覆われる。
38	鉄製品（鍛造品）鉄板	3	鉄関連遺物廃棄土坑 J-4		3.4	1.9	0.2	7.1	6	H(○)	右側部の内側に向かい折り返されている鉄製品破片。表面には粉炭や赤片を含む酸化土砂が覆い、透過X線像には鍛造痕の痕跡のはっきりとなり現が少しあるまれに折れ、特徴の為鉄ではなく、小形の鉄製品の端点と推定される。下手側に突出するのは板十貫遺構物。
39	鉄製品（鍛造品）鉄片	3	鉄関連遺物廃棄土坑 下層		3.2	1.3	0.2	6.2	6	H(○)	扁平にやや鋭力整化上鉄の鉄片。透過X線像には幅1.5cmほどの鉄製品の端に込まれており、鍛造痕の鋭は注ぎめて弱い。横断面形もわずかに反り返り状態で、あるいは面者と同一鋭体となる可能性も残されている。例し、その場合は刀剣の鋭端品？。
40	鉄製品（鍛造品）棒状不明品	3	鉄関連遺物廃棄土坑 下層		3.5	0.9	0.5	4.0	4	強化(△)	両端部が破損となって、やや断面長形の棒状不明品。表面は黒粉色の鳥が覆い、下部には粉炭等の酸化土砂が貼り付いている。透過X線像には、やや鍛造痕の切り込しの棒状鉄製品が写し込まれており、未製品の可能性もあり。
41	鉄製品（鍛造品）棒状不明品	3	鉄関連遺物廃棄土坑 下層		4.2	1.6	0.9	19.5	6	H(○)	砂粒主体の分厚い酸化土砂に覆われた、やや大ぶりの棒状不明品。透過X線像には、幅2鍛造痕の明瞭ある鉄製品が写し込まれており、上手部の薄部は明らかに欠けている。下手側は長手が「V」字状の切り込みになっており、全体は錆化による欠損部様。横断面形はやや横長の不整台形か。その意味では鉄鉗造上の未製品の可能性大。
42	炉壁（製炉?）滓付き	3	D-2	347	5.0	5.0	2.1	36.8	1	なし	内部に1cm以上の厚みで鉄滓が内部が付着する鉄鉄炉の炉壁片。外面の炉端十に粉粒を主体とするものでは なく、弱機色の砂十質である。傾斜された17cmの鉄関連遺物の内、唯一の製鉄系の炉壁ということになり、構成内径0.5以下の鉄鉄系の流動滓とセットになる可能性あり。炉部は鉄品が発達している。
43	流出溝滓	3	D-1	3325	4.2	4.2	2.9	47.7	2	なし	幅約２面がシャープな破面となった流出溝滓の先端等り鉄部滓片。上面には半溶な流動単位が完結稚部され、体部子単は スリを長じた方形状が更に開者する鉄滓鉄となっている。滓質は粉質で、成型三部には大形の気孔が水平方向に伸びている。は圧関連いなく製鉄系の発形かに伴う流出溝滓と見られる。

表 3　博労町遺跡鉄関連遺物観察表(3)

構成番号	遺物名	地区名	グリッド・遺構名 最初名	遺物番号	計測値（cm） 反り	幅	厚さ	重量（g）	磁着度	メタル度	備考
44	流出溝滓	4	A 1	161	4.1	7.4	4.3	97.4	1	なし	下面が左右方向に伸びる弟状となった典型的な流出溝滓破片。左右の側面と下手側の下部が欠けており、流動状の破面が露出する。上端は風化が進んでいるが、流動単位の痕跡がかすかに確認される。下面には褐色の砂粒が点々と貼り付く。滓質は比較的緻密で、やや上層に肥大した気孔が横方向に広がっている。流出溝滓としては分析No.4 と上傳皮ほどよりふかりで、やや柔い部位とに区別していたものか、一連の流動系の滓に比べて表面風化が強い。
45	流出溝滓	4	C-3	2788	5.8	6.8	4.0	184.7	2	なし	側部や下面に中小の本炭痕を残す流出溝滓の先端部破片。表面は二次的な酸粒を多量に混じる酸化土粉に覆われている。流所溝滓の先端部のためか、はとんど滓としては薄滓であり、流動方向は不明瞭。右面には青黒の石粉を吹き込んでおり、鉄粒子状の酸粒面は強い酸化となる。滓質は緻密で、やや本炭色が目立つものの、結晶の発達は弱い。
46	流出溝滓	5	B-2	713	7.0	6.6	7.6	403.7	1	なし	側部は縁上面左下手側が欠落した厚手の流出溝滓の中核部分破片。下面は左右方向に伸びる弟状で、点々と用褐色の酸粒の興奮が確認される。破面には中小の気孔がやや密で、下面ふい上下方向に1cm強伸びる気孔が連続する。上部縁は中や但流痕気味で下部縁とは異なりない。
47	流出溝滓	3	D-2	801	8.5	11.6	6.6	715.9	1	なし	分析資料No.4　分析資料評価観察表参照。
48	流動滓	5	B-1	536	4.8	2.4	3.2	49.2	2	なし	平坦な流動単位が連鎖した流動滓または流出溝滓破片。側部3面と下面が観測になっており、反対は切断あり。上部から下手側の側部は3単位の流動単位を数える。滓質は緻密で表皮が風化する。
49	流動滓	5	C-1 クロスナ①	1734	4.4	4.9	2.7	57.3	2	なし	上面に3単位以上の流動単位が積層される、やや薄手な流動滓または流出溝滓破片。側部はほぼ全周が破面となっており、下面にはスサ入りの炉壁粉を抜多く噛み込む。下面表皮の風化色はなく、きれいな状態を保つ。
50	流動滓	5	C 1	686	4.4	4.1	2.8	58.5	3	なし	側部が連続的な破面となった、厚者と似た厚みの流動滓破片。上面は3単位からなる平滑な滓表皮の形層が観察され、色調も青黒と似る。下面は上手部が生きており、スサ入りの炉壁粉や木炭の噛み込みが認められる。滓質は緻密で、一部の気孔が肥大する。
51	流動滓	3	B-2	2783	4.4	3.8	2.5	41.8	2	なし	上面に平滑な流動単位が形層した流動滓破片。側部3面が破面となる。側部下半から下部はやや凹凸が激しく、灰白色の炉壁粉を数多く噛み込んでいる。滓質は緻密で気孔は少ない。表皮の色調は青黒と似る。
52	流動滓	1	W-6	4576	6.7	4.4	3.0	103.0	1	なし	上下面の縁方が炉壁粉を食む薄い酸化土粉に覆われた流動滓、または流出溝滓破片。歪は右方向に成熟しており、上端は緩和に炉壁粉を貼る。下面は上手部が生きており、スサ入りの炉壁粉や木炭の噛み込みが認められる。炉壁粉が点々と貼り付く。右上手側の側部は別単位の滓片の寄き込み。
53	流動滓	2	F-1	1942	6.1	5.7	2.6	112.8	2	なし	全体に扁平な、厚さ2cm強を保る流動滓破片。左右の側部が破面となっており、上面と手側の縁面は上部が平滑な滓表皮となる。一方、下面全体と上部下手側の縁面には、灰褐色に風化した炉壁粉が密に噛着する。滓表皮の色調は暗黒色が強い。
54	炉壁（鍛冶炉）	5	A-4	1459	4.2	3.6	2.0	16.1	2	なし	内側に薄れが確認される表層が剥げた炉壁破片。側部は基本的に破面となっており、鼻面も側部周様の破面。横断面は緩やかな弧状で、鍛冶か内側の丸みを等している。粘土は砂粒が粗い。
55	炉壁（鍛冶炉）	1	W-6	6830	5.3	4.5	2.7	32.5	2	なし	内面の中央部が強烈に変出する炉壁破片。側部は全周が破面で、外面には笑い砂粒が密に高炉する。内面の突角は右方向一部に引出されず小に残されており、剥出部のものの炉羽先の形層により生成や。内面表皮は黒色ガラス質から灰褐色に熱変化する。下端部が強色になっているのは、内熱部ではなく、二次変化による。
56	炉壁（鍛冶炉） 滓付き	3	D-1	1847	3.8	3.2	1.1	7.1	2	なし	内面が不規則な突角や溶融合滓物の付着物に覆われた炉壁内面の小破片。上下の端部には粘土質の溶解物が小規模となる。側部はイガイガした破断で、外面には笑い砂粒が密に表出する。
57	炉壁（鍛冶炉） 滓付き	5	A-1 クロスナ②	6258	3.4	3.8	1.5	12.6	2	なし	内面下半がガラス質に透化して、下端部に垂れが発所する鍛冶炉の炉壁破片。側部から外面は破面になっており、外面には笑い砂粒が全体に基出する。左右方向の弧状が強く、左部は鍛冶が見立つことから、羽口右脇の炉壁表面破片であろう。
58	炉壁（鍛冶炉） 滓付き（含銅）	2	P-149	5615	3.9	4.8	2.0	31.0	3	補化(△)	内面が強く淫化して全体が薄色気味の炉壁破片。側部は基本的に破面で、外面には砂粒が密を出す。比較的淫化部分が多い炉壁で、比重が高く、内部の破壊を進めてなる。磨耗強形は既述が強い。
59	羽口（鍛冶炉）　先端部	3	C 2	945	1.4	3.3	1.3	14.0	4	補化(△)	鍛冶羽口の先端部から鼻部にかけての表面破片。側部から内面は破面となっており、もとの羽口の左側部破片である。熱十は砂粒と同数を交じえた破質で、ひび割れが地用時から生じている。
60	羽口（鍛冶）　先端部～鼻部	3	A-2 クロスナ①	824	7.8	6.1	2.3	89.9	1	なし	分析資料No.5　分析資料鉄関連観察表参照。
61	椀形鍛冶滓（中）	3	D-2	209	6.7	5.2	2.2	117.2	3	なし	中形の椀形鍛冶滓の1／3程度の破片。中核部から側部にかけて残されており、残る側部2方が破断となる。最大厚みは2cm強で、上部中央部が全体に5mm以上盛り形る。滓質は緻密で、左寄りの鼻部から下面には羽口や炉壁に由来する石粒が点々と残る。
62	椀形鍛冶滓（中）?	3	A-1	751	4.1	7.4	3.5	138.5	3	なし	側部3面が破面となった全体的にイガイガした外観を持つ中形の椀形鍛冶滓、または製錬系の炉内滓破片。不規則な気孔が縦面や表面に目立ち、結晶もかなり発達している。上手側は1／3程度の側面は自然気味となる。下面上手側の付着物は砂粒のようにも、あるいは粘土質のようにも見え、かなり扱うわい資料といえる。
63	椀形鍛冶滓（中）	3	A-2	3714	9.2	8.9	3.6	259.8	2	なし	分析資料No.6　分析資料等椀鍛冶滓参照。

表４　博労町遺跡鉄関連遺物観察表(4)

構成番号	遺物名	地区名	グリッド・遺構名等記号	遺物番号	計測値（cm）長さ	幅	厚さ	重量（g）	磁着度	メタル度	備考
64	椀形鍛冶滓（小、含鉄）	5	C-1	315	3.6	4.3	2.8	43.8	4	錆化(△)	小片ながら滑着し似た、結晶の発達した滓組織。側部２面がシャープな破面となっており、上下面が不規則な皺寄とならないことから中部の椀形鍛冶滓の冠部破片と判断した。右側部から上面にかけては中心線寄が強めとなる。
65	椀形鍛冶滓（中、含鉄）	3	B-2	2057	3.8	5.0	3.7	66.3	3	錆化(△)	側部３面が破面となった、厚3.5cmほどの椀形鍛冶滓破片。上下面と下手側の側部が生きており、中形の椀型鍛冶滓と推定される。表面風化が激しく、色調も全体に白っぽくなっている。浮選は微密で、破面には微細な気孔が点々と残る。
66	椀形鍛冶滓（中、合鉄）	3	A-1	3280	8.3	8.4	4.5	389.2	5	H(○)	ほぼ完形の比較的厚みを持った中形の椀形鍛冶滓。上手右側の偶然は中間層部分に大炭痕跡の不規則な側面が並んでいる。上面全体は平坦以外ながら中央部が僅かに突出し、それを取り囲むように浅い溝糸が生じている。側部から下面はやや凹凸の目立つ椀形をなす。金鉄部は上面沿いの突出部を中心にやや広い。
67	椀形鍛冶滓（中、合鉄）	3	C 3	37	6.7	6.6	3.0	168.4	3	M(◎)	全体が砂粒の目立つ厚い錆化十砂に覆われた椀形鍛冶滓。側部図面はない。１面が破面と推定され、上下面と台側の側部が生きている。上面中央のやや凸状部が、ごく僅かに突出し、それに対応するように下面も突出する。金鉄部は上下面に３ヶ所ほど。
68	椀形鍛冶滓（小）	3	B-1	1725	3.9	4.7	2.6	41.8	2	な　し	側部３面と上面の７平側が破面となった椀形鍛冶滓の剥離片。表面には本炭痕が目立つことから、小形、ないしは中形の椀形鍛冶滓と推定される。浮選は微密で、結晶はやや発達気味。右側の剥離から下面にかけては中小の本炭痕が連続的に並ぶ。
69	椀形鍛冶滓（小）	2	F-1	1940	4.7	6.5	2.9	82.5	2	な　し	表面が砂粒の目立つ厚皮状の錆化土砂に覆われた小形の椀形鍛冶滓破片。側部下手側を中心に３面の破面を数える。上手側１/３が発泡する、偏形の椀形鍛冶滓となっている。上側下手側には２cmを超える本炭痕あり。
70	椀形鍛冶滓（小、含鉄）	5	SI-16	7496	3.4	4.3	2.8	34.9	3	錆化(△)	石側部が２段に別れた破断となっている。小形の椀型鍛冶滓の剥離破片。左側の上滓部には別出来の粘土質の滓が確認され、下面全体が小さな丸みを帯った椀形となる。浮選は微密ながら中型部が不規則に散在する。下面の一部に砂粒が残存。
71	椀形鍛冶滓（小、含鉄）	4	A-2	18	5.0	7.7	2.6	71.4	1	錆化(△)	右側部と下手側が破損となった、全体的に薄する椀形鍛冶滓の剥離破片。側部の破断が２段に別れており、複数回の鍛造工程を示すものかもしれない。上下面とも緩やかな弧状で表面の風化も進んでいる。
72	椀形鍛冶滓（小、含鉄）	4	C-4	540	6.2	7.1	2.6	109.2	2	H(○)	上面の中央部が大きく傾んだ椀形鍛冶滓破片。外周部から下面は砂質の錆化土砂に覆われており、右側部を中心に３面が破損となる。従って、滓としては中核部から左側の剥離にかけての範囲であろう。下面は椀形を留まるものの、炉底の緩みのためか、やや凹凸が目立つ。上面中央部に小さな突出部があり、強く粗着する。金鉄、あるいは鉄製品の落ち込みなどが疑われる。
73	椀形鍛冶滓（小、含鉄、重量）	3	A-2	2930	4.0	4.7	2.7	46.1	3	錆化(△)	側部中央に隙間が明瞭に残る、薄型な椀形鍛冶滓の剥離破片。下手の滓は結晶が発達して所々が黄くなっている。上下の滓は半分以上が羽口先出来の粘土質となる。また上下の滓とも部分的に鍛着が強く、鍛練鍛造工程に伴う滓の可能性大。上下面の石側部には細かい本炭痕あり。
74	椀形鍛冶滓（小、含鉄）粘土質解離付き	5	B-1	2239	6.3	7.4	3.4	157.5	3	H(○)	上面右上手側に別に別の破片が付着する、比較的しっかりした小形の椀形鍛冶滓。側部２面が小側面となる以外は、比較的もとの形状を残す。上面は浅く窪み、下面は凹凸の目立つ椀型となる。羽口先方向にはほぼ平であろう。下面には黒鉛がにじみ合鉄部の存在を示す。
75	椀形鍛冶滓（小、含鉄）	4	シロスナ一括	7	5.2	3.6	3.2	106.4	5	H(○)	上面の八角方が砂質の錆化土砂に覆われた小形の椀形鍛冶滓。右上手側の側部が破断となっており、ねじれた厚板状の金属鉄となる。また側部から急激に泣ち上がっており、従前の平板気味になるのは、やはり人為による変形を疑わせる。浮選はほぼ微密で、上側書きに赤鉄部がやや広い。
76	椀形鍛冶滓（小、含鉄）	3	H-2	2361	4.9	6.7	2.6	103.5	4	H(○)	上下面と下手側の側部のみが生きている小形の椀型鍛冶滓。やや板状で側部３方が破損となっている。黒鉛６箇立ち、各部の鍛着状態が強い。下部はやや平坦気味で、中央部が鍛練方向に偏んでおり、工具痕と見られる。
77	椀形鍛冶滓（小、含鉄）	3	D-4	80	6.4	5.1	3.4	116.2	4	H(○)	表面が厚皮状の風化十砂に覆われた小形の椀形鍛冶滓。左寄りの側部３方が破面で、部分的に段を成す。下面中央部はさざ窪み、右方向に向かい滓が流れ気味。金鉄部はこの右側の突出部に広く、少なくとも３ヶ所以上が確認される。
78	椀形鍛冶滓（極小）	5	C-2	8002	3.3	3.8	1.5	16.1	2	な　し	平面、不整台形をした極小の椀形鍛冶滓。左右の剥離に小破断が残るが、欠けは小さい。側部が２段気味の段を持つ。上面中央部はやや粘土質が強い。
79	椀形鍛冶滓（極小）	4	C-2	366	4.0	4.9	2.1	43.0	1	な　し	側部３方が破断となった極小の椀形鍛冶滓。上下面と右寄りの側部が生きている。上面は大きな皮状で中央部が突出する。下面は浅い弧状で面を成す。上側書きに段を残す。
80	椀形鍛冶滓（極小）	5	B-2 クロスナ①	374	4.5	3.1	1.5	24.4	1	な　し	下手側の側部が欠けた、薄型な滓塊が表出する極小の椀形鍛冶滓破片。上面は平滑な流動痕で、炉壁がりに本炭痕が４ヶ所並ぶ。上手側は粘土質解離解離。下面は浅い弧状で砂粒が点在する。極小の椀型鍛冶滓の1/3程度の破片か。
81	椀形鍛冶滓（極小）粘土質解離付き、羽口付き	4	A-2	1795	3.7	4.7	2.2	31.2	1	な　し	左側の剥離に羽口先の側部が残る極小の椀形鍛冶滓の剥離片を紹介。右側部は段を全て破面となっており、上側表皮寄りは流動色の粘土質。下面は浅い赤褐色皮状で砂粒が点在する。羽口先の厚みは約１cmを測る。粘土は相鉄を混じえた粘土質。

表 5　博労町遺跡鉄関連遺物観察表(5)

遺構番号	種　類　名	出土位置	グリッド・遺構名 地区名	遺物番号	計測値(cm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	磁着度	メタル度	備　考
82	椀形鍛冶滓（椀小） 粘土質溶解物付き、炉床上付き	3	B-1 クロス十②	2377	3.1	4.8	2.1	39.0	2	なし	上下面とド手側の側部が生きている椀形鍛冶滓。上面寄り全体が粘土質溶解物に覆われ、下手が縦状に発達する溶融となる。溶融は鉄品が炉床上、気孔が上下方向に伸びる。下面は浅い舟底状で砂粒が若干圧着する。
83	椀形鍛冶滓（椀小） 粘土質溶解物付き、炉床十付き	3	A-2	2538	6.7	4.0	3.0	61.0	1	なし	左寄りの側部3方が破断となった椀形鍛冶滓。上部が粘土質溶解物に覆われ、特に左端が小高くなっている。鍛造には羽口先端付近を組み込む。滓は最大1cm程度と厚く、下部は鍛冶炉の炉床土でとはがれている。
84	椀形鍛冶滓（椀小） 炉床上付き	1	W-6	4376	3.9	4.4	2.0	16.6	1	なし	厚い石粒土体の椀小の椀形鍛冶滓。滓は上下面平平のみで、下手側は上面から下面まで全てが砂質の溶解物となる。下面は浅い舟底状で、全周が砂粒となる。椀形鍛冶滓と同様、水平状態で成形されていなが、滓質の所様は鍛冶炉の砂質からの。
85	椀形鍛冶滓（椀小） 炉床十付き	2	B-1	4479	4.7	4.6	2.1	32.9	2	なし	左右上手側の側部がシャープな鋭角となった椀小の椀形鍛冶滓。上下面と下手側の知面が生きている。上側は木炭底の連続する部凸の様なり面となる。下面は右方向に伸かう丸みをもった舟底状で、全面に細い砂粒が付える。滓質は二層目のみ磁性が強い。
86	椀形鍛冶滓（椀小、含鉄） 炉床十付き	3	B-2	1702	3.7	3.9	1.7	29.5	1	H(○)	通常場色の鉄化土粒に覆われた強小の椀形鍛冶滓。左側部下半に小鉄金属を含む。鉄形に近いる。なお、この椀形下半には鉄が生とから来し込まれた、幅1cm程の鉄品の工具痕あり。小さいながらもまとまった滓で、上手側側部の幅い被覆には溶解が生じている。上面に広く各鉄部あり。
87	椀形鍛冶滓（椀小、含鉄） 炉床十付き	5	C-1	69	4.0	3.4	2.1	35.3	6	H(○)	砂粒土体の鉄化土粒と鉄射剤化の石ころ小椀小の椀形鍛冶滓。鍛造は下手側の鉄鍛と上面の一部で、密着と同様、下面と手側では極1cm部の工具痕が残されている。上面から側部の鉄質は半溶融となり、滓量の少ない部位をなす。含鉄部は右部に広く鉄金属が見かけとなる。
88	椀形鍛冶滓（椀小、含鉄） 炉床土付き	3	C-1	1257	4.4	4.6	2.9	52.5	2	H(○)	鍛造や2面は1cm大以下の木炭点が多く、混入の激しい椀小の椀形鍛冶滓。椀形は上下手側と下面中央部付近のみで、全体の8割方が生きている。鉄粒性に欠ける滓で、下面の炭出部のみ滓化がまばらに確認される。主体となる上手部は炭状の広い小鉄状の部分。
89	鉄分製品（含鉄、含鉄） 鉄鍛造（鍛造品）付き	5	B-3・4 十＋上層	39	6.2	4.6	3.5	68.6	6	H(○)	分析製品No.7　分析資料鉄鍛造製品参照。
90	椀形鍛冶滓（椀小） 粘土質溶解物付き	3	B-1	2376	2.5	4.2	1.9	15.5	1	なし	側部2面が破断となった椀小の椀形鍛冶滓。椀形鍛打。上面は粘土質溶解物に覆われ、浅い舟底状の下面には砂粒が圧着する。滓質は鉄品が発達する。流動推底の後、構成S82の石製品に接合することが判明した。
91	椀形鍛冶滓（椀小） 粘土質溶解物付き	5	A-2 鉄鉄出中	193	4.5	4.2	2.4	31.3	2	なし	粘土質溶解物と滓部が混じり合ったような特異な椀形鍛冶滓。右側部分が小破損な状態で、下手側は中間層に起あり。生きている下面は左側部寄りで、右側は不規則に凸上がる。各鉄部は右下手側の中間層。
92	椀形鍛冶滓（椀小、含鉄）	3	K-2	129	2.9	3.8	2.3	27.0	4	鉄化(△)	砂質の強化土粒に覆われた強小の椀形鍛冶滓。椀形2面が破損で、滓としては鉄鍛が占められる。各鉄とも凹凸が残る。滓量の少ない部位。全体的に鉄質が強く色調も黒鉄色。左側部下手側には炭材痕れも生じている。
93	椀形鍛冶滓（椀小、含鉄）	3	D-2	2080	4.1	3.4	2.1	34.4	2	鉄化(△)	側部2方が破損となった強小の椀形鍛冶滓破打。各面とも木炭底が強多く、鍛造や芯部に木炭底の存在が確認される。外観では含鉄部が確認できず、芯部主体かと予想される。
94	椀形鍛冶滓（椀小、含鉄）	3	B-1	2593	2.3	3.2	1.2	12.7	2	鉄化(△)	右側面が破損となった強小の椀形鍛冶滓。最大の部分は1cm程度。上下面とも浅い舟底状に覆われ、特殊の凹入りも木炭底による。各鉄部は下手寄り芯部が。
95	椀形鍛冶滓（椀小、含鉄） 粘土質溶解物付き	4	C-1	26	3.1	4.1	2.2	23.1	1	鉄化(△)	軟木質溶解鍛造と滓部の混在した椀形鍛冶滓破片。鍛造方が破壊で、上手側の側部は良ななり。下面は半盛状態で小さな鉄材鍛れが見る。含鉄部は下面沿いか。
96	椀形鍛冶滓（椀小、含鉄）	3	A-1	3410	3.2	4.7	1.7	26.2	1	鉄化(△)	小さいながらも完形に近い椀形鍛冶滓。左端部壁平で上面や側面に木炭痕が残る。滓質は青光りする。側部から下面は舟形で、上手側は砂粒の多い舟化上が関係する。含鉄部は上の鉄化土粒の部分。
97	椀形鍛冶滓（椀小、含鉄）	4	表　面	4	5.1	5.4	2.0	41.8	5	鉄化(△)	変形した滓状況の特異な形態の椀形鍛冶滓。下手側の側部2面が破損で、上面は平滑面が主体の強状となる。下面は舟型で上手側が一段突出する。炉壁表面に貼り付いた形で生成したものか。
98	椀形鍛冶滓（強小、含鉄）	3	柄	13	5.6	4.4	3.1	80.8	2	鉄化(△)	左側部が大きな破損となった強小。また小小部の椀形鍛冶滓。厚みがあり、右側部を中心に中間層が残になる。下面はやや小凸状況の同少つ凸状。舟底状、滓の炉床が強く、鉄品が発達実現。含鉄部は上面寄り。
99	椀形鍛冶滓（強小、含鉄）	5	B-1	5258	6.7	5.0	2.5	88.2	4	鉄化(△)	左右方向に長手の強小の椀形鍛冶滓。特殊2方向に小破損が残るほぼ1/3はほぼ完形。上下面と右左方向鍛造特殊の様子あり。下面は左右方向に伸びる浅い舟底状で、別単位の造小片が複数は着する。各鉄部は右寄りの下面沿いで鉄材残れあり。
100	鍛冶滓	4	B-1 クロスナ	173	3.7	2.5	1.7	20.5	1	なし	やや椀形になりかけの鍛冶滓。下手側の側部の破損となる。強度は強い木炭痕に覆われ、下面2ヶ所には青光りする鍛造側外が残される。
101	鍛冶滓（合鉄） 粘土質溶解物付き	3	P-117	4114	2.1	2.1	1.1	5.4	1	鉄化(△)	上下が粘土質溶解物で被覆となった。左側部が破損となり、小さな溶解状の滓で、下側から強面には小さな木炭痕が残存する。
102	鍛冶滓（含鉄）	4	A-2 クロス十②	997	1.8	2.4	1.1	6.9	3	鉄化(△)	鉄痕に覆われた小規模の鍛冶滓。左側部に小鉄滓を残すが、はほ完形。全体形状はかさな椀状となる。含鉄部は芯部か。上下面とも強い木炭痕あり。
103	鍛冶滓（含鉄）	4	C-2	27	2.4	1.9	1.5	8.0	4	鉄化(△)	了手側の側面が破損となった不整小椀状の鍛冶滓。上下面と側面が木炭痕により変形して凹凸が生じている。右端の側部には粘粒土体の鉄化土粒あり。含鉄部は芯部か。

表 6　博労町遺跡鉄関連遺物観察表(6)

掲載番号	遺物名	地区名	グリッド・遺構名 層位名	遺物番号	計測値（cm） 長さ	幅	厚さ	重量（g）	錆度	メタル度	備考
104	鍛造滓（合鉄）	3	C-2	930	2.7	4.5	1.7	15.3	1	錆化(△)	図幅方向に長手の変形となる鍛造滓。小槌状の滓が3個連結したもので、鍛造工程の泥棒としたものか。表面の8割方が赤錆を主とする酸化上部に覆われており、下面右側には鍛造剥片が固着する。破壊痕は白い小金体的。
105	粘土質溶解物	3	C 1 上部鹿ヶ谷ドット	112	2.7	3.2	1.5	15.4	1	なし	やや扁平な小塊状となった粘質溶解物。力下手側の凹部が小塊となるが、ほぼ完形品。上側には、羽口由来の小破片が微々付している。下面は浅い赤黄状で粉状崩れ。
106	粘土質溶解物	2	F 2	1943	4.6	4.6	2.6	18.2	1	なし	一見、炉壁様の粘土質溶解物。大部分から下側にかけて破断になっており、右側面は滑化して薄れが微数ヶ所が剥げする。破断には緑い粉粒が露出して、鍛冶炉の炉壁が伴生となったことを物語る。色調は灰褐色。
107	粘土質溶解物	3	C-1 クロスナ①1	1038	4.0	5.8	2.6	49.3	1	なし	左側部がガラス質溶の鍛造となる粘土質溶解物。表側は軟質部で、下手側の凸部が部となる。上面は黒色ガラス質部が広がり、羽口がしもさ小片が喰いかんでいる。特殊性には羽口端の炉壁由来の可能性大。
108	粘土質溶解物	3	D-2	341	6.4	6.1	2.6	53.7	1	なし	密実とやや虫が持場の造物で、主体は炉壁を対体とする粘土質溶解物。左上手から反復的、鍛造、茶褐色のガラス質溶化している。上面中央部には羽口の製部が喰い込んで残る。左底部に木炭痕の密集する測量用で、上押石側は移植が広がる。
109	粘土質溶解物（合鉄）	3	B-2	2065	3.1	5.2	2.5	21.5	2	錆化(△)	3手側へ向かい赤れが伸びる粘土質溶解物破片。左右の側部平坦には羽口破片が巻き込まれている。上下側の下面には、鍛冶炉の炉壁となる粉粒状部の痕跡が残存する。仕鉄部は右側面上部の先端部。
110	七器（被覆、滓付き）	3	B-1	2584	2.0	1.9	0.4	1.5	1	なし	厚さ3mm程の七器片の表面が緊熱のための被覆状態。上手側が坏の口器部とみられ、小さく外反する。裏面1方が麻糸状の痕跡で、表面は薄皮状のガラス質に溶化して、裏面中央のみ鍛冶滓と但石褐色が広がる。内部器の表面は軟状の粘土質溶解物。特殊的には鍛造炉中に偶然土器が落ち込んだ可能性が高い。
111	鉄製品（鍛造品） 鎹（有孔）	4	A-1	1757	2.5	1.6	0.2	2.9	3	錆化(△)	刃先を海苔形に延ばした円孔が穿たれている鉄軍三角鎹。円孔は中央よりやや左寄りとなる。基部は鍛やかな弧状に湾曲しており、刺激的にはやや歪む。
112	鉄製品（鍛造品） 鎹	5	A-1・2 七手下層	39	3.4	2.0	0.4	3.9	4	H(○)	1.7mmを測る短軍の鉄鎹。刃部は背丁側に広がり、途中で欠けている。つまり、茎部の先端と刃部端が十大となる。透過X線像には放射線が光る。
113	鉄製品（鍛造品） 鎹	5	SD-11	6777	3.7	2.2	0.5	5.2	4	錆化(△)	前者と同じ形態の短軍の鎹。扁い軍部から滑子状部の刃部が伸びている。かなり錆くっており、先端部が欠けて扁に鍛冬蓋されている刃部伸あり。残存する刃部長は2.1cm前後。軍部先も小さく大厚する。刃部的には横切長11.9×5.8×1.5は共明代のものか。
114	鉄製品（鍛造品） 鎹?	5	A-2 クロスナ①	821	2.1	1.5	0.2	6.2	2	錆化(△)	透過X線像が横底版11と似ることから、小形の鉄軍二角鎹の可能性が高い資料として扱っている。但し、表面の酸化不砂が厚く、外観的には不明部分が多い。透過X線像では中軸を持ちは確認されないが、かすかに4×1.5mm人の円孔が中央部に穿たれているようにも見える。円孔が確実なら本資料も共通時代の鎹となる。
115	鉄製品（鍛造品） 鎹?	3	D-2	671	6.1	0.5	0.4	12.6	2	錆化(△)	長鎹鎹の可能性を残す。基部横の鍛製品破片。資料自体は中空の錆化土砂の形として残されており、透過X線像から残存鉄部の様相がかゐる。下手側に向かい強やに細くなり下端で鍛造痕を残す。
116	鉄製品（鍛造品） 鎹?	3	B 1	1822	4.0	1.5	0.4	15.4	5	H(○)	厚い錆化土砂に覆われた鍛製品破片。透過X線像には2.9cmほどの長さを七つ茎部と同関の鍛冶の一部が確認される。刃部は平ばから弱の方向に欠落する。基部先はわずかに緩やかに細くなり欠ける。
117	鉄製品（鍛造品） 鎹	3	B-1	2167	5.8	1.7	1.0	23.6	5	H(○)	茎部の半分以上と刃部先が欠落した短関の鉄鎹破片。作り甘丁寧で鍛造痕も密。茎部長は1.3cmが残存し、刃部側は4.3cmまで確認できる。刃部は、関部から緩やかに幅の細くなる形状で、横底版19などと但る。
118	鉄製品（鍛造品） 鎹（又はヤス）	3	A-1	3151	8.9	0.7	0.4	14.4	4	H(○)	移植誤じりの幅化土砂に覆われた様式の鉄製品。透過X線像には細身で先端部が二角形に作り出された形態が確認される。切先部は片側のみが知覚しているため、ヤス様に見える。長軍で基部は徐々に細くなり、先端部は欠ける。復刻用者はやや長方形。
119	鉄製品（鍛造品） 鎹	5	D-1	2459	15.9	1.0	0.5	35.7	3	錆化(△)	3片に折れている長軍の鎹。横底版117と似て、刃関で3.3cm以上の軍部を持つ。体部は関部から徐々に細くなり、9.8cmほどが確認される。茎部の縦断面形は方形で、体部側はやや長方形。切先背面は欠落する。
120	鉄製品（鍛造品） 刀子	5	A-4 鉄鎹文中	195	3.8	1.0	0.3	3.7	4	H(○)	両薄部が欠けた刀子の刃部破片。表裏面で鍛部には鍛まくれや欠けが残る。刃部側の錆化が進んでおり、透過X線像には鍛造痕が不明瞭。
121	鉄製品（鍛造品） 刀子	5	D-1	740	8.2	1.0	0.4	8.6	3	錆化(△)	3片に砕けている刀子破片。切先と茎部が途中で欠落する。背側の間は明瞭で、茎部から刃部にかけての間は不明瞭。鍛造痕は背部で、背中に沿ってひび割れがある。
122	鉄製品（鍛造品） 刀子	3	C-1	2906	5.9	1.0	0.3	10.9	4	錆化(△)	刀子の刃部破片。切先と刃部がばらら茎部にかけて欠落する。両端部には、刀子の側面形が破損として残出する。左右方向で強に折れ曲がる。
123	鉄製品（鍛造品） 刀子	5	A-4	2290	3.9	1.4	0.3	11.6	4	錆化(△)	両薄部が破断となる刀子の刃部破片。上手側には強化土砂と但る鉄片が混覆する。刃部の最大幅は1.5cmを測り、切先方向に向かい急速に幅が狭くなる。これは「鍛冬減り」によるものか。
124	鉄製品（鍛造品） 刀子?	5	D-2	1794	9.8	0.8	0.3	12.5	3	錆化(△)	2片に断れている薄身の刀子状鉄製品。縦断面は長方形から扁い三角形をなす。切先側と茎部の先端は徐々に欠失する。鍛造痕が部分的に残れており、身部もないことから、刀子としては本製品の可能性を残す。
125	鉄製品（鍛造品） 刀子	3	D-1 クロスナ①	115	7.1	1.3	0.4	16.7	5	H(○)	刀子の手先品。刃部先端側と茎部の3分の2以上が欠失する。両関空間知の関が明瞭。透過X線像では、刃部に欠けがあるようにも見える。錆ぶくれも著しい。

表7　博労町遺跡鉄関連遺物観察表(7)

挿図番号	遺物名	遺構名	グリッド・遺構名 地区名	遺物番号	計測値(cm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	錆度	メタル度	備考
126	鉄製品（鍛造品）刀子	3	A-1	3438	8.2	1.2	0.3	17.3	4	H(○)	錆粒の多い微化十粉に覆われた刀子破片。切先と茎部の3側方が欠け落ちている。関は背側では明瞭で刃形成は不明瞭。比較的丁寧な鍛造製を示すが、鍛炭これも薄い。
127	鉄製品（鍛造品）刀子	3	E-2	386 390	9.7	1.2	0.4	18.0	3	H(○)	2片に割れている鍛着の刀子破片。切先と茎部の3側方が欠けている。背側の関は明瞭で、刃形成には認められない。鍛着となっているのは「鉄」部減りの影響か、鍛炭度は「炭」。
128	鉄製品（鍛造品）刀子	1	W-6	4589	11.5	1.2	0.3	18.4	3	錆化(△)	切先と茎部先が欠落した刀子破片。作りは「平なが ら」低炭減りでのためか身が薄くなり、切先側に向かって徐化が進む。茎部は半ばで割れており、関は両関である。部分的に鍛炭くあり。切先の可能性を持つ小破片が未接合で残る。
129	鉄製品（鍛造品）刀子?	4	B-3	485	5.1	1.1	0.3	22.0	6	H(○)	刀子の基部、または小型鉄鉄製品。生産部が破損部で、わずかに開を加工する定上のような段が背側に確認される。鍛造は高入っているが、やや荒れた鍛造表わ。
130	鉄製品（鍛造品）刀子	5	C-1	1622	7.8	1.2	0.3	22.3	6	錆化(△)	刃部平ばが上方に折れ曲がった状態で欠けている刀子破片。茎部は3側方が欠落し、先端部が欠失する。背側に関が明記されず様く、鍛造表もうねっているため未製品かもしれない。刃部の折れ曲がりは意図的か。
131	鉄製品（鍛造品）刀子	4	C-2	924	11.5	1.4	0.4	30.9	5	H(○)	切先のみが欠けている刀子。身幅が最大で1.4cmを測り、背側の関も明瞭。茎部は上にかの反を持ち、左側部が曲の上方に折れ曲がる。茎が刃方は曲者と似る。1鉄片減り」が比較的少なく、減り方も表鍛状。鍛造表は普通で鉄化によるピンホールが点在する。
132	鉄製品（鍛造品）鉄滓厚	4	C-1 クロスナ①	174	2.2	2.8	0.4	32	2	錆化(△)	鉄鍛造の付着部が鍛鉄片。石質部は鉄状に成形されており、鍛冶方向が欠失する。滓平の川鍛部で、ややくよりの結晶表の可能性あり。
133	鉄製品（鍛造品）鍛	5	D-2	1291	3.2	2.1	0.2	4.1	3	錆化(△)	薄作りの鍛とみられる刃部破片。断面部と刃部を側が欠けている。上面には鍛ふくれの欠けが残る。刃部形手の欠けは円孔状に見えるが、深孔かどうかは不明。厚みがないことから鍛としては薄手の鍛刃か。
134	鉄製品（鍛造品）鍛	4	B-3 クロスナ②	2121	4.8	2.4	0.2	12.0	2	錆化(△)	2片に割れている薄板状の鉄製品破片。身幅は2.5cmを測り、左側内角に折れ曲がっていることから、鍛先の破片の可能性大。鉄化のため内部にはピンホールが多く、鍛面は黒褐色の鍛層が露出する。
135	鉄製品（鍛造品）鍛?	4	A-1	1658	2.4	2.0	0.5	14.1	3	錆化(△)	厚い微化土粉に覆われた薄板状の鉄製品破片。左右の両側部が破面となっており、身幅は最大で3cmを測る。左方向に向かい身幅が狭まることから、鍛の可能性を持つものとしておく。
136	鉄製品（鍛造品）鍛?	5	B-1	6341	4.5	2.4	0.6	18.8	3	錆化(△)	やや曲者と似た鉄化土粉に覆われた鉄製品破片。表裏又鍛痕には身幅が2.2cmを測る板状の鍛造品が確認される。　又、鍛の切先端に見えるが左側の鍛部から1.4cmのところは鍛状で、やや性格不明品。錆化の状態も透過X線撮上では普者と酷似する。
137	鉄製品（鍛造品）鍛片	4	C-1	1097	2.6	3.2	0.3	8.3	5	H(○)	細い鉄状に所々曲げられた棒鉄状鉄製品破片。表位の鍛部と上手鍛鍛部が破断と分る。全体に下手側から上手側に向かい徐まっており、厚みは2mm強を測る。表裏面には鍛跡れ今微化上部あり。
138	鉄製品（鍛造品）鍛鼻	1	B-2	2212	5.8	1.8	1.4	32.5	7	H(○)	鍛着より裏面側の良好な鍛鼻。また江石角鍛の鉄製品。上端幅で径2cmを測り、2箇部では潰れた形の本型と角形となる。幅は8×1.3cm。上端部の厚みは25mm前後。中空部には溶が残っている。
139	鉄製品（鍛造品）（鉄鍛）刻?	2	SK-04	6073	2.0	0.4	0.3	0.7	2	錆化(△)	下手側の端部が這「上」字状に曲がっている鉄棒の鉄製品。横断面形は不整方形で、作りは粗。折れ曲がった足先は徐匠と分る。中空化している。
140	鉄製品（鍛造品）釘	5	C-1	2132	5.1	0.7	0.6	7.7	3	H(○)	わずかに弧状に曲がっている。横鍛には折り返しがなく、平面状態で終わる。横断面形は方形。足部先端部のためにわずかに欠失する。
141	鉄製品（鍛造品）釘?	3	C-2	1007	5.8	0.6	0.4	8.5	3	H(○)	鍛者と似た鍛部に加工の痕跡のない釘。足部先端部は薄かに欠けられ唯で、鍛造表はやや荒れる。横断面形は方形。
142	鉄製品（鍛造品）釘（曲折れ）	3	B-1	2243	6.0	0.6	0.4	10.2	4	H(○)	鍛部が折り返しの状態の釘。足部は曲がで、鍛造面はややうねる。横断面形はわずかに長方形状。
143	鉄製品（鍛造品）釘	3	C-2	932	3.8	1.0	0.8	10.4	4	H(○)	上側部が欠損に空出する釘。また鉄鉄製品相当。薄部が両側とも破損とみられるが、酸化上部が厚く、断定はできない。鍛造は中々粗。
144	鉄製品（鍛造品）釘	3	C-1	1202	4.1	0.6	0.4	10.8	3	H(○)	微かに鍛部の折り返しが確認される釘。足部先端は小さく欠けているようにも見える。鍛造は粗。
145	鉄製品（鍛造品）釘（曲折れ）	3	D-2	702	4.6	0.8	0.4	11.1	3	H(○)	関部の折り返しが明瞭な釘鍛片。足部先端は薄匠となる。鍛部は水平に小さく曲り折り。横断面形は方形。
146	鉄製品（鍛造品）釘	3	B-2	2633	6.1	0.7	0.6	11.7	4	H(○)	鍛着方向と鍛部先が折れ曲がった釘。鍛部には加工部は残されないが、折れ目部の可能性大。足部先も生さており、鍛造面は普通。横断面形は方形。
147	鉄製品（鍛造品）釘	3	B-2	2081	5.9	0.6	0.6	12.8	3	H(○)	鍛者と同程、鍛部身後は見とれていない釘。若折れ釘の可能性を持つ。体部上半が「く」の字状に折れ曲っており、足部先は緩や。横断面形は方形で、鍛造表は普通。
148	鉄製品（鍛造品）釘?	3	C-2	1637	4.8	0.7	0.7	13.8	2	錆化(△)	足部先端が錆化して欠落した釘。鍛部は折り返しが少な平頭となる。横断面形はわずかに長方形状味。鍛造表は普通。
149	鉄製品（鍛造品）釘	3	E-2	292	7.7	1.5	0.6	14.1	3	H(○)	2片に割れている前り釘様の鉄製品。鍛身の体部の先に厚さ3.5mm程の潰丸方形先端の平面形をもつ鍛部が残存しているる。足部先端は横化によりわずかに欠失先端。鍛造表は普通で鉄化が進む。横断上方には鍛跡れあり。
150	鉄製品（鍛造品）釘?	3	C 2 クロスナ③	1372	3.7	0.9	0.6	14.2	5	H(○)	弧状に折れ曲がった鍛折れ釘様の鉄製品。鍛部方向が斜めに平面化しており、体部半ばは下は欠落する。鍛造表は比は丁寧。
151	鉄製品（鍛造品）釘	5	B-3	2796	3.9	0.3	0.3	14.4	5	H(○)	鍛部が左側に折り曲げられている方形釘様の鉄製品。足部側は体部半ばから欠落する。横断面形は長方形で、表面の酸化上砂が厚い。

表 8　博労町遺跡鉄関連遺物観察表(8)

掲載番号	遺物名	地区名	グリッド・遺構名 層位名	遺物番号	材質値(cm) 長さ	幅	厚さ	重量(g)	錆度	メタル度	備考
152	鉄製品（鍛造品）　釘	3	C-2	755	6.6	1.0	0.4	15.2	3	H(○)	頭部が明瞭に折り返されている釘状の板。横断面形は方形からやや長方形で、足部先は成形となる。鍛造はやや雑で、体部が曲がりに折れ曲がっている。
153	鉄製品（鍛造品）　釘?	5	B-I	1080	7.3	0.7	0.5	16.0	5	H(○)	頭部が小さく折り返されたやや細身の釘。横断面形は方形で、足部先が尖頭となる。鍛造度は雑かに乱れている。
154	鉄製品（鍛造品）　釘	3	C-1	1389	9.0	0.9	0.3	17.7	4	H(○)	頭部の折り返しが明いてしまった薄板状。体部上半が近「くの字状に折れ曲がり、足部先が小さな尖頭となる。横断面形は頭部方向が長方形で、体部側は方形。鍛造品ではは雑。
155	鉄製品（鍛造品）　釘	1	W-6	4322	6.2	0.9	0.6	17.8	5	H(○)	頭部から棒方向に22.5cmほどが曲がった釘状。足部側は体部寸法から欠落する。頭部は体部に比べて薄く加工されている。横断面形はやや長方形か。
156	鉄製品（鍛造品）　釘(投折れ)	1	K-1	2906	9.3	0.7	0.5	18.1	5	H(○)	頭部の折り返しが透過X線像に明瞭な投折れ釘。体部半ばで、浅い「く」の字状に折れ曲がっており、足部先端がごくわずか欠けている。横断面形は、頭部方向が長方形で、足部側は方形となる。鍛造は「雑。
157	鉄製品（鍛造品）　釘?	3	A-1	3264	7.2	0.5	0.6	18.5	4	H(○)	頭部が小さく折り返されている薄い板状の鉄製品。足部先端は左側が欠落する。体部半ばは、ひび割れから民間は気味。厚い酸化土砂に覆われる。
158	鉄製品（鍛造品）　釘?	4	C-1	655	7.2	0.7	0.6	19.1	3	H(○)	頭部が不明瞭な釘。足部先端は生きて尖り、鍛造度はやや荒れ気味。厚い酸化土砂に覆われている。
159	鉄製品（鍛造品）　釘	3	B-2	2293	3.6	1.6	1.3	24.6	5	H(○)	外観的には厚い酸化土砂に覆われた棒状となった鉄製品。透過X線像によれば、頭部の加工がされている太身の釘様。体部途中で足部側が大きく欠けている。鍛造度は普通で、錆化のため内部にひび割れが観多い。
160	鉄製品（鍛造品）　釘	1	W-6	4302	8.2	1.0	0.6	26.7	3	H(○)	頭部が小さく作り出されている細身の釘。足部先端に明瞭な鍛造。鍛造度は普通で、錆度は酸化土砂が厚い。
161	鉄製品（鍛造品）　釘	3	D-1 上層面	435	7.4	1.0	0.9	28.9	4	H(○)	頭部が明瞭に加工されている釘。横断の平面形は半円状で、斜め左下に折り返されている。足部先端は欠落し、外周部には無数の砂が厚い。鍛造度は良好。
162	鉄製品（鍛造品）　折曲釘	3	B-1	2141	9.5	0.7	0.6	43.8	4	L(●)	厚い酸化土砂に覆われた折り釘状の鉄製品。頭部の水平方向に1.0cmほど突出しており、頭部と足部先端端が酸化により小さく欠失気味。体部半ばから足部方向の酸化が強い。鍛造度は普通で、体部半ばにやや折れが見られる。
163	鉄製品（鍛造品）　釘	5	SI-08	7941	2.9	1.2	0.4	20.1	2	H(○)	頭部が平面に成形されたハトの釘、または釘状の鉄製品。頭部が水平に曲切れて、足部方向に向かい直線状に幅が狭まる。厚い酸化土砂に覆われ、頭部が付着によるものか、切断によるものか判別できない。
164	鉄製品（鍛造品）　鋲又は釘	4	C-2	2316	4.7	1.0	0.8	28.3	2	錆化(△)	前者を一回り大きくした形の鋲、または釘状の鉄製品。頭部が水平に曲切れており、鋲で断ち落としたような透過X線像となる。錆かに無部が開き気味で、足部は錆化。鍛造度はやや荒れ。
165	鉄製品（鍛造品）　輪状不明品	3	C-1	973	7.5	1.1	0.7	20.2	5	H(○)	分析資料No.8　分析資料詳細報告参照。
166	鉄製品（鍛造品）　棒状不明品	3	A-1	3381	4.1	0.5	0.5	13.6	3	M(◎)	「コ」字状に折れ曲がった棒状不明品。透過X線像で見る限り、曲り曲げられた紙状で、折り返しの縁い方が顕著で、長い方が足部と明瞭に成される。錆度となる。頭部の折り返しは薄身状で、外周部の錆化が強み、芯部は比較的健全。
167	鉄製品（鍛造品）　鏃?	3	C-2	1600	3.9	0.6	0.5	8.5	4	H(○)	「工」字状に折り曲がった棒状の鉄製品破片。先側の端部は明らかな鍛面で、右下の足部端の部分はは生きている。角の部分がしっかりと90度方向に折り曲げられ、太平に伸びる体部の中央方向がたわんでいることから、鏃としての使用による変形と推定される。鍛造度はやや雑。
168	鉄製品（鍛造品）　鏃	1	W-2	1033	8.7	4.0	0.4	27.6	3	H(○)	体部2ヶ所が折り曲げられた鏃、または掛け金状鉄製品。両端部が細くなって尖度する形で、上部の水平部分の中央がたわんでいることから、鏃の可能性がより高い。鏃とすれば、先部がやや欠ってやや水平部分が5cm前後と、やや厚い形部となる。足部方が「ハ」の字形に開いているのは、当初から、二次的な変形かは不明。鍛造度にはうなりがあり、やや雑な作りと見られる。
169	鉄製品（鍛造品）　火打金?	3	B-1	1746	4.4	2.4	0.4	27.8	2	錆化(△)	右端の端部が直手状に成形されている火打金状の鉄製品破片。透過X線像を見ると、火打金とすれば、右側の端部と上方に伸びる山形の辺中まで中央付近である。透過X線像から見ても全体が板状の鉄製品であることを読み取れる。厚手状の部分は左色さで、中央の中空部は縦7mm前後。
170	鉄製品（鍛造品）　薄板状不明品(朱体金属付き)	3	D-1 クロスナ③	326	4.0	2.9	0.5	25.5	3	錆化(△)	外周部が全周にわたり薄板状の縁面となった不明鉄製品破片。透過X線像によれば、表面のも手側に鉄部とは異なる金属の可能性を示つけ者物が読み取れる。錆金属の金属の可能性あり。但し、分厚い酸化土砂に覆われているため、実態は不明。
171	鉄製品（鍛造品）　鋲金具?	3	C-2 クロスナ①	1045	6.5	2.3	0.3	81.2	3	H(○)	分厚い酸化土砂に覆われ、一見、鋲形鍛造体かと見えがち鉄製品破片。透過X線像によれば、板幅の表面部が折り返されている者板状の鉄製品で、幅2.5cm前後、長さ7.5cm前後を測る。右側の端部は斜めに欠け落ちており、左側の端部は内側に縁ち込まれている。内幅2.0cm前後の木部の内表用の錆金具か。鍛造面からは下表不明物のような羽根と鍛造面は認められない。

表9　博労町遺跡　鉄関連遺物分析資料一覧表

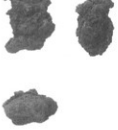
（滓：メタル又は胎土）

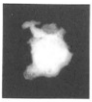
資料番号	地区名及びグリッド名	遺跡名及び遺物番号	構成番号	遺物種類	重量(g)	磁着度	メタル度	分析コメント	マクロ	検鏡	硬度	EPMA	X線回折	化学分析	強熱減量	カロリー	炭素化分析	断面観察	分析位置指定	採取方法	観察	集合写真	モノクロ	カラー	実測図	断面図	X線透過
1	3区	鉄関連遺物廃棄土坑　下層	9	椀形鍛冶滓（極小、含鉄）	19.1	4	鉄化（△）	滓部を中心に	○	◎	—	○	—		—	—	—	—	○	長軸縦部　1/2	直線状の切断	○		○	○	○	—	○
2	3区	鉄関連遺物廃棄土坑　下層	22	粒状滓（4点）	—	1	なし	粒状滓として	—	○	—	—	—		—	—	—	—	—	必要品	選択	○		○	○	—	—	—
3	3区	鉄関連遺物廃棄土坑　下層	23	鍛造剥片（6点）	—	1	なし	鍛造剥片として	—	○	—	—	—		—	—	—	—	—	必要品	選択	○		○	○	—	—	—
4	3区・D-2	No801	47	流出滓	715.9	1	なし	滓部を	—	○	—	○	—		○	—	—	—	—	短軸縦部　1/10	直線状の切断	○		○	○	○	—	○
5	5区・A-2	No824	60	羽口（鍛冶、先端部一体部）	89.3	1	なし	羽口として	—	○	—	—	—		—	○	○	—	—	短軸縦部　1/2	直線状の切断	○		○	○	○	—	○
6	3区・A 2	No3714	63	椀形鍛冶滓（小）	259.8	1	なし	滓部を	—	○	—	○	—		○	—	—	—	—	長軸縦部　1/6	直線状の切断	○		○	○	○	—	○
7	5区・B-3、4	No39	89	椀形鍛冶滓（極小、含鉄、鉄製品鍛造品付き）	68.6	6	1(○)	メタル部を中心に	○	—	◎	○	—		○	—	—	—	—	長軸縦部　1/3	直線状の切断	○		○	○	○	—	○
8	3区・C 1	No973	165	鉄製品（鍛造品）棒状不明品	20.2	5	1(○)	メタル部を中心に	○	—	◎	○	—		—	○	—	—	—	短軸端部　1/2	直線状の切断	○		○	○	○	—	○

分析資料番号　1

出土状況	遺跡名	博労町遺跡　3区			構成No	9			分析	項目	滓	メタル
	出土位置	鉄関連遺物廃棄土坑　下層			時期：模拠	9世紀前半：出土土器				マクロ		○
試料記号	検鏡：BAK-1	計測値	長径	3.5 cm	色調	表：茶褐色～濃茶褐色	遺存度	破片?		検鏡	◎	
	化学：—		短径	3.0 cm						硬度	○	
						地：濃茶褐色～黒褐色	破面数	1		EPMA		
	放射化：—		厚さ	2.0 cm						X線回折		
										化学		
										耐火度		
遺物種類（名称）	椀形鍛冶滓（極小・含鉄）		重量	19.1 g	磁着度	3	前含浸	—		☆ロリー放射化		
					メタル度	錆化（△）	所面樹脂	○		X線透過	○	

観察所見	平面、不整半円形をした極小の椀形鍛冶滓。左側部が直立気味に途切れており、もとの母体となる椀形鍛冶滓の破面の可能性を残す。表面は酸化土砂や濃茶褐色の錆色に覆われており、付着物中には粉炭が目立つ。下面の右下手側には青光りする薄手の鍛造剥片が固着している。上面右手の肩寄りは粉炭痕らしき細かい凹凸のある滓の自然面が露出し、部分的に青光りする。上手側の側部は不規則な突出部で、端部が小さな破面となっている。この破面の下面は浅い軸状に窪み、一見、工具痕様となる。見かけの割には滓の磁着が弱いが、上面、上手側肩部の錆膨れ部分のみ磁着が強めとなる。色調は表面の酸化土砂が茶褐色で、滓部は濃茶褐色となる。地は淡茶褐色から黒褐色。
分析部分	長軸端部1/2を直線状に切断し、滓部を中心に分析に用いる。残材断面に樹脂塗布。残材返却。
備考	完形品か破片か紛らわしい資料である。左側部を破面と見て記録をしている。どちらであっても、滓量が少ない最終工程に近い段階の鍛冶滓であろう。付着する鍛造剥片や粉炭の痕跡は本資料が残されていた窪間の状況を物語るものである。分析資料No.1からNo.3は、現場調査の時点では鍛冶炉中心部として取り扱われており、微細遺物を含めて50cmメッシュで土砂ごと回収された後に水洗・分離されたものである。しかし、整理過程で鍛冶遺構としての検討を加えた結果、遺構名としては「鉄関連遺物廃棄土坑、下層」として報告することになった。





分析資料番号　2

出土状況	遺跡名	博労町遺跡　3区			構成No.	22			分析	項目	滓	メタル
	出土位置	鉄関連遺物廃棄土坑　下層			時期：根拠	9世紀前半：出土土器				マクロ		
試料記号	検鏡：BAK-2	計測値	長径　—　(m)		色調	表：　—	遺存度	—		検鏡硬度 EPMA	○	
	化学：　—		短径　—　(m)							X線回折 化学 耐火度		
	放射化：　—		厚さ　—　(m)			地：　—	破面数	—				
遺物種類（名称）	粒状滓（4点）		重量　—　(g)		磁着度	1	前含浸	—		カロリー 放射化		
					メタル度	なし	断面樹脂	—		X線透過		

観察所見　現地調査の段階に於いて焼土や鉄滓の集中区を鍛冶遺構と仮定して、50cmメッシュで土砂ごと採取の後、水洗・分離された資料である。分離された粒状滓に似た外観の資料は計8点程と極めて微量で、その中から大きさや磁着傾向をもとに大から極小サイズまでに属する4点を分析資料として選択した。分析資料No.2－イ－1・2と、分析資料No.2－ロ－1・2である。このうち、イ－1・2は表皮が剥落気味でやや比重が高いことから真正な粒状滓ではなく、内部が中実の粒状滓様遺物とすべきかも知れない。また、ロ－2は粒径が0.8mm大と一段と微細で、粒状滓とすべきかどうか、やや路躇する資料である。いずれにしても、鍛造剥片の回収量に比べて粒状滓に類似する資料は数百分の一以下と極めて少ない。評価は別表参照。

分析部分　必要品を選択し、粒状滓として分析に用いる。残材返却。

備考　鉄関連遺物廃棄土坑下層の覆土から回収された粒状滓は鍛造剥片量に比べて極めて少ない。その原因には遺構の性格が反映されている可能性もあり。可能性①　鍛錬鍛冶工程中で粒状滓生成の原因となる粘土汁が用いられていない。可能性②　廃棄土坑にもたらされた鉄関連遺物の由来が鍛冶工房床面等から選択的に移動されている。（掃除作業等に由来）　可能性③　水洗分離時に磁選を行ったため、磁石に比較的反応しやすい鍛造剥片類が回収されたのに対して、一般的に磁着反応の弱い傾向を持つ粒状滓が選択的に除外されてしまった。以上のどれかに由来するのかも知れない。

分析資料　No.2　　粒状滓（4点）

番号	直径(mm)	色調	形状及び表面	磁着	気孔
2－イ－1	3.8	濃茶褐色	表皮の半分ほどが剥落した粒状滓様の遺物。表面にはクレーター状の気孔が目立つ。	やや強	多く点在
2－イ－2	2.4	黒褐色	表皮が全て剥落した粒状滓様の遺物。形はややいびつで、気孔点在する。	やや強	点在する
2－ロ－1	1.6	黒褐色	正円の粒状滓。表面にはやや光沢をもち、微細な付着物あり。	やや弱	なし
2－ハ－1	1.8	やや青光りする青灰色	ほぼ正円で、一方の側部に小さな突出部あり。表面はわずかな波状を呈す。	やや弱	なし

分析資料番号　3

出土状況	遺跡名	博労町遺跡　3区	構成No.	23				分析	項目	滓	メタル
	出土位置	鉄関連遺物廃棄土坑　下層	時期：根拠	9世紀前半：出土土器					マクロ		
試料記号	検鏡：BAK-3	計測値	長径　—　cm	色調	表：—	遺存度	—		検鏡 硬度 EPMA	○	
	化学：—		短径　—　cm		地：—	破面数	—		X線回折 化学 耐火度		
	放射化：—		厚さ　—　cm	磁着度	1	消磁度	—		カロリー 放射化		
遺物種別（名称）	鍛造剥片（6点）		重量　—　g	メタル度	なし	断面開孔	—		X線透過		

観察所見	現地調査の段階に於いて焼土や鉄滓の集中区を鍛冶遺構と仮定して、50cmメッシュで十砂ごと採取の後、水洗・分離された資料である。分析資料№2の詳細観察でも触れているとおり、鉄関連遺物廃棄土坑、下層の十砂から水洗・分離された鍛造剥片は量が際立って多い。資料化にあたっては、簡目の違いにより、大きさ別に荒区分したのち、まず標準磁石を用いて磁着傾向の強弱に二分した。この母資料から代表厚みの資料3点を選んで、合わせて6点の分析資料にした。鍛造剥片全体の傾向は中厚から薄手にまたがっており、表面が本来の酸化色ではなく、周辺からの影響の強い二次的な錆色に覆われていることも特色となる。詳細は別表参照。
分析部分	必要品を選択し、鍛造剥片として分析に用いる。残材返却。
備考	分析資料№2の詳細観察でも触れているとおり、粒状滓に比べて数百倍以上の量を測る鍛造剥片が分離されている。検出遺構そのものは、廃棄土坑と考えられるため、周辺に本来の鍛冶遺構が存在した可能性があるが、明瞭な遺構としては検出されていない。その理由は、①鍛冶遺構が調査範囲外となった。②鍛冶遺構が削平等で消失した。こうした二つの可能性を持っている。鉄関連遺物廃棄土坑の東側には未調査の空間地があり、あるいはここに鍛冶遺構が含まれている可能性があるかも知れない。なお、廃棄土坑の北側には大形の掘立柱建物と溝（道？）が検出されており、これらとの関係も検討課題であろう。

分析資料　№3　　鍛造剥片（6点）

番号	計測値(mm) 長軸	短軸	厚さ	色調	表	裏	磁着	気孔
3-イ-1	3.6	2.6	0.4	表裏　黒褐色	表面は平滑で端部がそり返る。	弱いが細かい波状の剥離面。	やや弱	ややあり
3-イ-2	3.4	2.1	0.2	〃	表面は平滑で筋が二条あり。	弱いチリメン状の剥離面あり。	〃	ややあり
3-イ-3	3.7	2.2	0.1	表裏 青黒～黒褐色	平滑で、ゆるやかな波状となる。	弱いが細かい波状の剥離面。	〃	なし
3-ロ-1	3.3	1.9	0.4	〃	平滑ながらややざらつく。	〃	やや強	ややあり
3-ロ-2	2.7	2.2	0.2	〃	平滑で、一部に小さなキズあり。	〃	〃	なし
3-ロ-3	2.2	1.8	0.1	〃	平滑で、僅かにキズあり。	〃	〃	なし

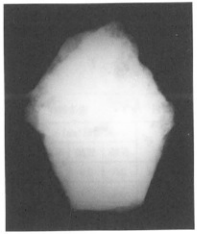
分析資料番号　4

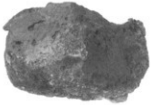
出土状況									分析	項目	滓	メタル
	道跡名	博労町遺跡　3区		標成No.	47					マクロ		
	出土位置	D−2　No.801		時期：概括	9世紀前半：出土土器					検鏡	○	
試料記号	検鏡：BAK−4	計測値	長径　11.5 cm	色調	表：淡茶褐色～黒褐色	造存度	破片			硬度	○	
	化学：BAK−4		短径　8.5 cm							EPMA		
	放射化：—		厚さ　6.6 cm		地：明褐色・黒褐色	破面数	11			X線回折		
										化学	○	
										耐火度		
遺物種類（名称）	流出滓溜（製錬系）			磁着度	1	前含浸	—			カロリー		
										放射化		
			重量　715.9 g	メタル度	なし	断面樹脂	—			X線透過	○	

観察所見　平面、不整六角形をした塊状の流出滓溜破片。側部は直線状の連続的な破面に覆われており、破面数は11を数える。上面は上下二段に分かれた流動する平滑面で、上面側の表皮にはチリメン状の流れ襞を生じている。下面は左右方向に向かうごく緩やかな弗波状になっており、全体に2cm大以下の炉壁殻や礫岩の小片を噛み込んでいる。なお、破面から見ると噛み込みの厚さは、最大1.5cmほどになる。炉壁片の胎土は短いスサを含む密度の高い粘土質で、被熱のためか明褐色から白色気味。滓質は緻密で、破面の結晶はやや肥大する。色調は表面の微化した土砂が淡茶褐色で、滓部は表面地とも黒褐色となる。

分析部分　短軸端部1/10を直線状に切断し、滓部を分析に用いる。残材返却。

備考　ゆったりと右方向に流れる製錬系の流出滓溜の中核部破片の可能性が高い。本遺跡全体としては、鍛冶系の椀形鍛冶滓の出土量が多いが、製錬系の流出滓溜や流動滓も22点ほど確認されている。これらのうち、比較的大ぶりの滓の底面には、本資料と同様、炉壁殻や礫岩の破片を噛み込んでいる。本遺跡自体は砂丘上に位置しているもので、礫岩の露出している地点で製錬炉の操業（箱形炉）が実施されていたことを予想させる。なお、炉壁土にスサを一定量含み、9世紀代前半の鍛冶系の滓や土器片と共に出土していることから、製錬炉の操業時期は、古代（9世紀前半以前）に属するものと見ておきたい。従って、砂丘上の集落遺跡からの出土品とはいえ、古代の製鉄炉の存在を窺わせる手がかりとなる情報が得られたものと評価されよう。





分析資料番号　5

出土状況	遺跡名	博労町遺跡　5区	棚成№	60
	出土位置	A－2　№824	時期：根拠	9世紀前半：出土土器

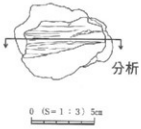
試料記号								
検鏡：BAK－5	計測	長径	7.8 cm	色調	表：褐色～灰色～黒褐色	造存度	破片
化学：BAK－5		短径	6.1 cm		地：淡茶褐色～黒褐色	破面数	7
放射化：—		厚さ	2.3 cm	磁着度	1	前含浸	—
遺物種類（名称）：羽口（鍛冶、先端部～体部）	観	重量	89.9 g	メタル度	なし	断面剪断	—

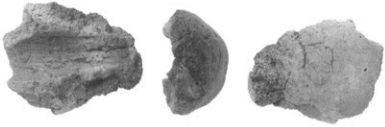
分析	項目	滓	メタル
	マクロ		
	検鏡 硬度 EPMA	◎	
	X線回折 化学 耐火度		○ ○
	カロリー 放射化		
	X線透過		○

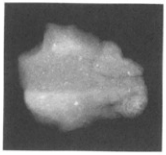
観察所見　鍛冶羽口の先端部破片。先端部方向に向かって直線的に先細りとなる羽口で、正面から見て、径の2/5ほどの破片である。側部2面と基部側が連続する小破面となっており、破面数は7を数える。通風孔部の径も外形と相似する先細り気味になる。先端から5cmほど基部側に向かった部位での通風孔部径は2.4cmを測る。先端部外面は密直に被熱し、最大厚み1cmほどが発泡気味に溶化する。続いて基部側に向かい3cm程度の灰色被熱帯、1cm程程度の灰褐色被熱帯、さらに淡赤褐色被熱帯の順に熱変化する。外面の整形は、基部側から先端方向に向かう丁寧なヘラケズリによる。通風孔部の穿孔方法は、やはり先端方向に向かうもので、穿孔具の荒れのためか不規則な筋目が窪面に明瞭に残されている。胎土は砂粒を一定量含む粘土質で、スサ等は含まれていない。外面の色調は前記各部のとおり。地は淡赤褐色から赤褐色となっており、溶化した部分の一部が黒褐色を示す。

分析部分　短軸端部1/2（径の1/2）を直線状に切断し、羽口として分析に用いる。残材返却。

備考　本遺跡出土の羽口破片は小片を含めてごく僅かで、本資料が最大破片となる。出土位置は5区A－2となっており、3区出土の分析資料№1から№4との位置関係は未調査の空間を挟んだ南東側に位置する。そのため、分析資料№1から№4とセットとなるかどうかは不明。なお、遺跡全体的な傾向は3区出土品が鍛冶関連遺物主体で、5区出土品が鍛冶関連遺物に加えて製錬系の滓が比較的目立っている。また、本資料と分析資料№7は、出土位置がやや離れてはいるが、同じ5区出土品になる。







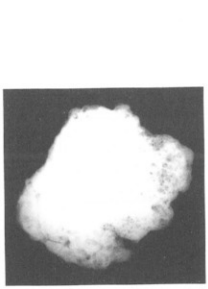
分析資料番号　6

出土状況	遺跡名	博労町遺跡　3区			構成No.	63			分析	項目	滓	メタル
	出土位置	A−2　№3714			時期：根拠	9世紀前半：出土土器				マクロ		
試料記号	検鏡：BAK−6	計測値	長径	8.9 cm	色調	表：茶褐色〜黒褐色	造存度	破片		検鏡	○	
	化学：BAK−6		短径	9.2 cm		地：淡茶褐色〜黒褐色	破面数	1		硬度	○	
	放射化：—		厚さ	3.6 cm	磁着度	1	前含浸	—		EPMA		
遺物種類（名称）	椀形鍛冶滓（小）		重量	239.8 g	メタル度	なし	断面樹脂	—		X線回折 化学 耐火度	○	
										カロリー 放射化		
										X線透過	○	

観察所見　左上手側の側部が欠落したほぼ全形の分かる小形の椀形鍛冶滓。全体に板状の滓で、左側がやや厚く、右方向に向かい徐々に薄くなる特色を持つ。破面数は1を数える。上面は中央やや左寄りが僅かに高まっており、外周部には浅い木炭痕が点々と残されている。肩部や側部には僅かに出入りがあり、いずれも木炭痕による。下面は左下手側のみが鍛冶炉の炉床に接した丸みを持った椀形の底面で、残る右側は木炭痕が目立つ凸凹した自然面となる。破面に露出する滓質はほぼ緻密で、中間層には植方向に伸びる隙間が残る。滓は全体的に磁着が弱いが、上面右寄りのみやや磁着反応が強い。色調は表面の酸化土砂が茶褐色で、滓部は風化した破面が淡茶褐色。地は黒褐色となる。

分析部分　長軸端部1/6を直線状に切断し、滓部を分析に用いる。残材返却。右下手側の肩部付近の二破片がセメダインで接合されていることに留意。

備考　扁平な、標準的な小形の椀形鍛冶滓である。鍛冶掘建遺物を多出した廃棄土坑と同じ3区の中でも10mほど南東に離れたA−2区からの出土品である。従って生成された鍛冶工房自体は、廃棄土坑出土品と同一かも知れない。いずれにしても、羽口片が少なく、金床石の破片等も全く出土していないことから、鍛冶工房からの一括廃棄品としては種類が偏っている。博労町遺跡全体としてはむしろ、かなり広範囲に鍛冶関連遺物が散在しており、比較的集中するのが3区の鉄関連遺物廃棄土坑となる。



分析資料番号　7

出土状況	遺跡名	博労町遺跡　5区				構成No.	89			分析	項目	滓	メタル
	出土位置	B-3・4　No.39				時期：根拠	9世紀前半：出土土器				マクロ		○
試料記号	検鏡：BAK-7	計測	長径	4.6 cm	色調	表：茶褐色～濃茶褐色	遺存度	完形?			検鏡硬度 EPMA	○	◎
	化学：BAK-7		短径	6.2 cm		地：濃茶褐色～黒褐色	破面数	0?			X線回折 化学 蛍光度	○	
	放射化：—		厚さ	3.5 cm							カロリー 放射化		
遺物種類（名称）	椀形鍛冶滓（椀小、含鉄、鉄製品鍛造品付き）	他	重量	68.6 g	延着度	6	前含浸	—			X線透過	○	
					メタル度	H(○)	断面樹脂	○					

観察所見

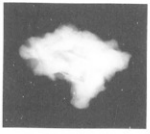
表面が酸化土砂や濃茶褐色の着色に覆われた含鉄の椀形鍛冶滓様破片。但し、外観的には通常の椀形鍛冶滓とは異なり、側部や下面が不規則に突出する。そのため、完形品か破片かの区別も厳密には出来ない資料である。注目されるのは、下面の下手側に小さな鉄製品（鍛造品）の端部が突出する点にある。幅は約1cm、厚みは1mm前後を測り、刀子の刃部様。加えて、透過X線像には直線状に伸びる筋様の影が他に3ヶ所以上確認されるため、内部の主体は複数の鉄製品破片かもしれない。外周部が滓化した故鉄処理途上の鉄塊系遺物の可能性もあり。外観上確認される鉄製品の突出は一ヶ所のみとなっているが、滓としては不自然な凹凸に覆われており、延着も全体に強い。表面には部分的に小さな亀れや剥脱れの欠けも生じており、僅かに放射側れも生じ始めている。色調は表面の酸化土砂が茶褐色で、含鉄部は表面、地とも濃茶褐色から黒褐色となる。

分析部分

長軸端部1/3を直線状に切断し、メタル部を中心に分析に用いる。残材断面に樹脂塗布。残材返却。切断指定位置となる下面下手側に刀子刃部様の小さな鉄製品の端部が突出していることに特に注意を要する。

備考

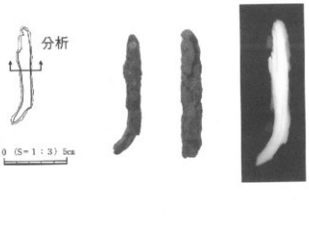
外観的には製錬系の鉄塊系遺物にも類似しており、透過X線像に見られる直線状の筋目が木炭痕由来という感じも受けるが、下面下手側に突出する鉄製品の存在から、故鉄処理途上の含鉄の滓の可能性がどちらかと言えば高そうである。出土位置自体は、5区の北西側に位置するB-4区で、分析資料No.5の羽口と比較的近い位置関係にある。また、3区の鉄関連遺物廃棄土坑、下層出土品の中にも分析対象外ではあるが、小鉄や刀子破片等が複数含まれており、全体傾向としては、本資料とかなり類似する印象を受ける。従って、故鉄の再処理（おろし作業）工房の存在が想定されることになる。また、残る課題としては、こうした鍛冶作業と分析資料No.4のような製錬系の鉄遺物の存在との関わりであろう。鉄に関わる一連の作業工程の中でも、最初と最後の工程を示す資料のため、連続性を示す証拠には欠けるとまでは言える。



分析資料番号　8

出土状況	遺跡名	博分町遺跡　3区			構成No.	165			分析	項目	溶	メタル
	出土位置	C-1　№978			時期：根拠	9世紀前半：出土土器				マクロ		○
試料記号	検鏡：BAK-8	計測値	長径	7.6 cm	色調	表：茶褐色～濃茶褐色	遺存度	破片		検鏡		○
	化学：BAK-8		短径	1.2 cm		地：濃茶褐色	破面数	5		硬度		○
	放射化：—		厚さ	1.1 cm	磁着度	5	前含浸	—		EPMA		
遺物種類（名称）	鉄製品（鍛造品、棒状不明品）		重量	20.2 g	メタル度	H(○)	断面便覧	○		X線巨折化学耐火度		○
										カロリー放射化		
										X線透過		○

観察所見	下手側の端部が緩やかに折れ曲がった鉄製品破片。表面全体が銹化して、表皮の剥落や筋状のひび割れが長手方向に走っており、性格のはっきりしない資料である。上手側の端部はやや丸みを持って収束気味で、一見、完形のようにも見えるが、左側の表皮は欠落して、全体としては舟の舳先状に小さく反り返っている。透過X線像には鍛造品を示す細い筋状の伸展層や、ひび割れが数多く確認される。含鉄部は僅かで、銹化範囲の方が広い。横断面形は方形ではなく、裏表方向にやや長手の長方形となっている。色調は表面の微化土砂が一部、茶褐色で、大半は濃茶褐色となる。
分析部分	短軸端部1/2を直線状に切断し、メタル部を中心に分析に用いる。残材断面に樹脂塗布。残材返却。
備考	本遺跡から出土した鉄関連遺物の中から構成した171点のうちのひとつである。このうち遺構に伴わないグリッド出土の鉄製品が60点を数える。本資料を分析資料として選択した理由は、鉄関連遺物廃棄土坑と同C3区出土品であるということと、一見、鍛冶具の一種である鉄鉗、あるいは火掻き棒様の鉄製品破片であることによる。出土位置は鉄関連遺物廃棄土坑のすぐ東側に位置するグリッドになる。銹化の激しさや、表層の脱落が通常の鉄製品より進んでおり、また、下手側の端部が不自然に折れ曲がった状態で欠けていることから、鍛冶具破片の可能性の有無を目的として分析資料の中に加えられている。



4．まとめ

博労町遺跡から出土した鉄関連遺物についての調査成果は、海浜部に近い砂丘上において製錬炉の操業を行っている可能性が推察された点にある。これまで、鳥取県内の鉄製錬遺跡は、やや内陸の丘陵部に位置するものが知られていたが、今回の調査により、立地について、新知見を提供したものと考えられる。従来は、素材となる砂鉄や燃料となる木炭の入手に適した場所として、丘陵地が選択されていたものと考えられて来たが、想像をたくましくすれば、むしろ海浜部に近い場所は浜砂鉄の入手が容易で、還元剤となる炭材も海浜の樹木帯で比較的容易に調達できるとも考えられよう。従って、遺跡の性格としては、整然とした区画施設の存在から、官衙類似遺跡の一種とも見られ、製錬や鍛冶作業を行う施設が付属していたものと推察される。

但し、残念ながら直接的な証拠である製錬炉の跡は検出できなかったが、製錬工程の遺物である流動性の滓の分布範囲は５区に集中しており、この５区の東側の隣接地付近で製錬炉の操業が行われていた可能性が高いものと考えられるに到った。また、この事実から、博労町遺跡の性格が単なる遺跡内での鉄器製作のみに留まらず、鉄生産にまで関与していたことを示し、より、公的な施設であった可能性を伺わせるものである。

鍛冶関連の遺物では、鉄製品が主体となるが、鉄滓や羽口などの直接的な遺物も出土している。また、鍛冶関連遺物廃棄土坑からは、小さく割れた鉄製品の破片が多数出土しており、故鉄を利用したリサイクル鍛冶の存在を示すものと考えられる。鉄製品の中では大型品が少なく、古代会見郡の郡工房と見られる坂長第６遺跡周辺で見つかったような、鋤先等が出土していないことも、博労町遺跡内で行われた鉄器製作の実態を表しているのかも知れない。

鉄製品の中で目立ったのは、鉄製紡錘車の出土量の多さである。博労町遺跡からは、７点の鉄製紡錘車が出土したが、周辺の遺跡でもこれほどまとまって出土する例は珍しい。鎌倉期には、米子平野一帯の長砂周辺に「布美荘」の存在が知られているが、この博労町遺跡周辺が古代から布生産に関わりのある地域であったことと、これらの鉄製紡錘車の存在にまで言及するのは、やや過大評価しすぎであろうか。

また、今回の構成遺物には収録されなかったが、鍋・釜類の破片と見られる、鋳造によって製作された鉄片もいくつか出土しており、古代にまで遡る鋳鉄資料が存在した可能性も否定できない。今回は遺構に伴う確実な年代資料が得られなかったため、明確にすることは出来なかったが、今後の調査において鋳鉄製品の存在がどこまで遡れるのか、注意すべき点と考えられる。

表10　博労町遺跡(鉄関連遺物廃棄土坑及び包含層出土鉄滓、鉄製品)の主要要素一覧表　(まとめ表)

項目	主要素	博労町遺跡（ばくろうまちいせき）					
調査	調査概要	平成19年度(2007年度)～平成20年度(2008年度)　調査組織：米子市埋蔵文化財調査室					
遺構情報	主要鉄関連遺構	(1)鉄関連遺物廃棄土坑　1基					
	鍛冶関連遺構の情報	鉄関連遺物廃棄土坑	時期	9世紀	立地・規模	砂丘上・標高4.4m前後	
					施設	廃棄土坑・2.45m×1.62m	
遺物情報	鉄関連遺物全体構成	**全鉄関連遺物171点：6.6915kg**/流出溝滓5点：1.4594kg、流動滓6点：0.4226kg、炉壁（製錬炉）1点：0.0368kg、椀形鍛冶滓41点：2.9116kg、鍛冶滓9点：0.0775kg、鉄塊系遺物1点：0.0014kg、再結合滓2点：0.0097kg、鉄製品76点：1.1662kg、炉壁（鍛冶炉）8点：0.1637kg、粘土質溶解物13点：0.2396kg、土器（被熱滓付）1点：0.0015kg、羽口（鍛冶）6点：0.2015kg、粒状滓、鍛造剥片					
	鉄製品構成	鉄製品総数76点：1.1662kg 鉄片（未製品を含む）4点：0.0185kg、刀子18点：0.2604kg、釘26点：0.391kg、紡具3点：0.0479kg、棒状不明品4点：0.0573kg、鎌9点：0.1199kg、紡錘車1点：0.0032kg、鏃4点：0.0493kg、楔2点：0.0484kg、鋲2点：0.0361kg、火打金1点：0.0275kg、薄板状不明品1点：0.0255kg、飾金具1点：0.0812kg					
分析	分析点数	●金属学的分析：8点 ◎椀形鍛冶滓（3点）、粒状滓（1セット4点）、鍛造剥片（1セット6点）、流出溝滓（1点）、羽口（1点）、鉄製品（1点） ◎分析項目/マクロ組織・顕微鏡観察・ビッカース断面硬度・化学組成分析・耐火度 分析（解析）/㈱九州テクノリサーチ（大澤正己・鈴木瑞穂）					
分析資料8点中 （　）内はTiO2値。 (－)は分析せず。	工程／遺物種類	鉄製錬～鍛錬（TiO2）					
		遺構名	製錬系	精錬鍛冶	鍛錬鍛冶（前半）	鍛錬鍛冶（後半）	
	包含層	(4)流出溝滓(7.37) (7)製錬滓（4.04）		(5)羽口(0.69) (6)椀形鍛冶滓（0.48）		(8)鉄製品（0.50）	
	鉄関連遺物廃棄土坑			(1)椀形鍛冶滓（—）	(2)粒状滓（—）	(3)鍛造剥片（—）	
総括	遺構	・検出された鉄関連の遺構は、9世紀前半頃と推測される鍛冶関連遺物の廃棄土坑1基のみである。 ・製錬系の遺構は未検出。					
	整理・解析	・整理方法は、保存・活用までを視野に入れたA～Dの4ランク、個票付け方式で行い、全体量34.0515kgの中から、A保存（分析資料）を8点1.1735kg、B保存（報告書掲載資料）を162点5.518kg、C保存（展内管理資料）を27.36kg、D保存（展外管理資料）を0kgとした。A～D保存の比率は、4:16:80となる。 ・金属学的な分析の結果、本遺跡周辺で行われた作業工程としては、製錬から鍛錬鍛冶に至る一連の作業が行われていたものと推定される。					
	製錬関係	・流出溝滓や流動滓と共に、製錬炉の炉壁片が出土しており、調査地点の周辺に製錬炉が存在した証拠と考えられる。					
	鍛冶関係	・鍛冶関連遺物廃棄土坑の存在から、調査地点3区の周辺に鍛冶工房が存在するものと考えられる。また、出土した鉄製品は、鉄片や刀子片、皆折釘などの小形品が主体である。					
	時期	・出土土器による年代観は、9世紀前半と見られる。					
	評価と課題	・発掘調査では工房跡は確認できなかったが、製錬炉に伴う炉壁や流出溝滓に加えて、鍛冶関連遺物を廃棄した土坑が検出されたことから、本遺跡周辺では製錬から鍛錬鍛冶に至る工程が行われていたことが判明した。 ・周辺部の鉄関連遺跡の調査例としては、陰田広畑遺跡や新山山山遺跡、坂長第6遺跡等が上げられるが、いずれも丘陵上や斜面に位置しており、砂丘上に立地している本遺跡とは異なる環境にある。これまでは、海浜部に近い場所での製錬遺跡の存在についてはほとんど注目されてこなかったが、本遺跡例は製錬炉の立地についても新知見を提供したものと考えられる。 ・本遺跡は古代半生郷の範囲に属するものと推測され、検出された遺物跡や遺物から、官衙末端施設の可能性が高い。ただし、出土した鉄製品は小形品が主体で、大形の鉄製品を製作していた郡衙工房である坂長第6遺跡とは、工房の性格が違うものと推測される。あるいは、遺跡内で行われた鍛冶作業は、皆折釘などの存在から、故鉄を利用したリサイクル鍛冶を含んだものであったのかも知れない。					

（作表:穴澤義功・佐竹純也）

第８節　博労町遺跡出土中世遺物の検討

―錦町第一遺跡出土中世資料と比較して―

濱野　浩美

１．はじめに

今回の調査では、クロスナ最上（第Ⅲ-①）層において、中世前期の畠が検出された。畠は調査区全体に亘っており、水路、畦、畝等耕作関係の遺構が検出されている。言うまでもなく耕作地は生産遺跡であり、常に堆積土の移動がつきものであることから、良好な一括遺物資料は出土していない。それ故に畝や畦の新旧関係や、耕作土中の出土遺物を、単純に遺構の帰属時期と結び付けることはできない。更に、本遺跡のような砂丘地の場合飛砂の問題もあり、埋砂の累重状況が単純に遺構の新旧関係に繋がらない場合もあり得る。こうした問題が、本遺跡の中世前期の遺構の時期決定を困難なものにしている。ただし、そうした中でも、畠出土中世資料及び包含層出土資料の集計を行い、組成表を作成することにより、遺構の中心時期やその出土傾向を探ることは十分可能であると考えた。

1995年に調査が行われた錦町第一遺跡は、博労町遺跡に近接する市街地の砂丘上に立地する遺跡である。この遺跡においても、クロスナ（第Ⅲ-①）層最上面から中世前期の畠が検出されている（平木　1996）。本節では、この錦町第一遺跡出土の中世遺物についても、中世資料全体の組成表を作成し、その出土傾向を探ってみた。その上で、立地条件や出土遺構の性格も近似する両遺跡の中世資料を相互比較することにより、米子海浜砂丘域における、中世前期の出土遺物の傾向について検討してみたい。

２．博労町遺跡出土中世資料

博労町遺跡出土の中世資料の集計に際しては、基本的には破片点数を１点として集計を行った。ただし、土師質鍋については、破片資料全体としては遺物整理用コンテナ約半箱分と、最も出土量が多かったが、元の個体の大きさを考慮して、口縁の形態で個体別にカウントを行った。また、各畠で出土したものについては、遺構別に表を作成したが、包含層出土のものについては、グリッドごとに集計すると、出土点数が細分され過ぎてその傾向が掴みにくいこと、区一括で取り上げられたものもあることから、区ごとに集計を行った。なお、比較検討の利便性を考えて、各遺構出土遺物についても表中に出土区を記載している。

その結果をまとめたものが第１表である。7,500㎡の調査区から、総数で295点の中世遺物が出土している。全体的には、舶載陶磁器が184点と、国産製品よりも多いことが分かる。個別の比率をみていくと、白磁が53％と全体の半数以上を占め、このうちⅣ類碗が77点（26％）、Ⅴ類碗が36点（12％）とその主体を占めている。青磁は25点（８％）と少ないが、他の国産製品と比較すると決して低い比率ではない。

国産製品で最も多いのは、土師質土器の坏・皿で60点（20％）、次いで土師質鍋が19個体分（６％）となっている。次いで瓦質の擂鉢が13点（４％）、壺甕類が８点（２％）、瀬戸・美濃製品３点（１％）が出土している。この他、東播系の鉢が１点、石製品で４区包含層から滑石製の石鍋１点が出土している。

各遺構別の出土状況比率は、畠８が21点（23％）、畠７が17点（19％）、次いで畠９が16点（18％）、

畠６が13点（15%）と続く。特に畠９では、面積に対しての出土密度が最も高かった。これに対し、畠３では３点（３%）、畠４では１点（１%）畠５では０点（０%）と出土遺物が少ない。これを区ごとにみると、南斜面低位の３・４区の畠では出土遺物が多く、砂丘尾根頂部の２区の畠では出土遺物が最も少ない。この傾向は包含層出土遺物においても同様で、４区が90点（43%）と半数近くを占め、次いで３区が65点（32%）となる。これに対し、２区では10点（４%）と遺物出土量が最も少ない。

この差異の原因としては、畠の立地環境による耕作期間の違いが考えられる。２区は砂丘尾根上に位置しており、標高としては最も高く自然環境の影響を受け易かったと思われる。耕作面も１面のみで、出土遺物から見ても、時期幅はあまり長くない。これに対し、３・４区は調査区南側の緩斜面の低位部分に位置しており、水溜状遺構などの灌漑施設もあり、耕作面も３面以上検出されている。出土遺物にもある程度の時期幅がみられることから、耕作期間は当然長く、結果的に出土遺物も多かったと考えられる。

次に、これらの出土遺物から遺構の時期について検討を試みた。全体的な畠の帰属時期としては、最も出土量の多い白磁碗Ⅳ類、Ⅵ類皿、土師質土器坏・皿類の形状から、11世紀末～12世紀前半が中心と考えられる。ただし、畠６～８では白磁Ⅸ類の皿など、13世紀代から14世紀前半まで時期が降る遺物が出土している。瀬戸・美濃製品では、畠８で古瀬戸前Ⅱ期の合子が出土し、また、畠７・11では大窯期の皿や擂鉢など16世紀代の遺物が出土しているが、これについては各１点ずつの細片でもあり、混じり込みの可能性も否定できない。

第１表　博労町遺跡出土中世遺物集計表

種別			中国製品															国産製品													総計
			龍泉窯系青磁			白磁								青白磁	褐釉陶器	小計	瀬戸・美濃	備前		瓦質土器			東播系	土師質土器		滑石製				
器種			碗	碗		碗				皿				合子蓋	壺			壺・甕	擂鉢	竈・甕	擂鉢	鍋	鉢	擂鉢	鍋	皿・坏	石鍋			
			Ⅰ類	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅳ類	Ⅴ類	Ⅵ類	Ⅴ類	Ⅵ類	Ⅶ類	Ⅸ類																		
畠１	1,144㎡	１・５区	2			2	3									7											3			10
畠２	235㎡	１区														0														0
畠３	1,176㎡	１・２区	2			1										3														3
畠４	672㎡	１・２区														0											1			1
畠５	37㎡	２区														0														0
畠６	919㎡	３区		1		1	2						1			5											8			13
畠７	728㎡	３区			3	1	4	1	1				1		1	12	1										4			17
畠８	1,252㎡	４・５区	1	2	1		7			1			1	1		14	1			2	1		1				2			21
畠９	535㎡	４区		1				1								2					2		1				11			16
畠10	220㎡	５区														0														0
畠11	42㎡	５区														0	1				1						1			3
畦10		５区								1						1				1	1					1				4
小計			5	4	4	1	15	7	1	2	0	0	3	1	1	44	3	0	0	3	5	0	2	0	0	1	30	0		88
包含層		１区		2	1		7	1								11											6	3		20
		２区														0												10		10
		３区	5			1	30	5		3	9					53		1	2	3							2	4		65
		４区	3		1		17	22		1	19	3	1			67				2	5		1	1			3	11	1	91
		５区					8	1								9					3						7	2		21
総計			13	6	6	2	77	36	1	6	28	3	4	1	1	184	3	1	2	8	13	0	3	1	0	19	60	1		296

これら14世紀以降まで時代が降る遺物が出土している畠は、いずれもクロスナ上面に、0面としたシロスナ混じりの畠が検出された部分で、そこでは14世紀代まで耕作が行われた可能性が考えられる。

以上のことから、出土遺物から見ると、本遺跡で畠が構築され始めたのは11世紀後半以降で、中心は12世紀代、そして14世紀前半頃には遺構が廃絶していったものと考えられよう。

3．錦町第一遺跡出土中世資料

錦町第一遺跡は、博労町遺跡の西700mの砂丘上に位置する遺跡である。この遺跡では、中世前期に属する遺構として畠、土手、道路状遺構、土器溜り等が検出されている。これらの遺構は、クロスナ最上層から検出されたものであり、堆積層位から博労町遺跡と同一面に確認された遺構であると考えられる。

なお、錦町第一遺跡出土中世遺物については、第1・2図に掲載している。第1図については、報告書未掲載のもののうち、今回実測した遺物である。第2図は既出の報告書掲載遺物で、遺物番号は掲載時のものに準じている。詳細については観察表（第5表）を参照いただきたい。

今回、図示し得なかった微細遺物を含め、全資料を集計したものが第2表である。集計作業においては、博労町遺跡と同様に基本的には破片点数を1点としてカウントしたが、土師質鍋については破片資料としては遺物整理用コンテナ1箱分と量的に最も多かったが、元の個体の大きさを考慮して、口縁の形態で個体別に集計作業を行った。また、土師質土器の皿・坏類については、600点以上出土しているが、土器溜り以外の出土遺物の大半は非常に小片化し、散乱していたようである（平木1996）。細片はいずれも摩耗した状態であったため、口径、底径、器高や形態が復元できるもののみを集計し、形状復元が不可能な微細片については除外した。また、形状復元ができるものの内、同様の胎土、形状を呈する破片資料については、同一個体の可能性を考え、8/8を1個体としてカウントを行った。

その結果、当該遺跡では、総数で262点の中世遺物を確認した。1000m²という調査面積を考慮すると、この出土量は博労町よりはるかに多い出土比率である。博労町遺跡と比較して、まず特徴的なのは、舶載陶磁器の少なさで、白磁皿Ⅵ類が4点、中国製褐釉陶器壺1点が出土しているのみである。これは全体の僅か2％であり、舶載陶磁器類が最も多かった博労町遺跡とは、正反対の様相を呈している。これに対し、出土比率が最も多いのは土師質土器の皿・坏類の228点で、全体の87％を占めている。土師質土器皿・坏類に関しては、破片資料も含めると、出土量は全体の9割以上を占めると考えられる。次いで、土師質鍋が16個体分（6％）あり、調査面積に対して土師質土器の出土量が非常

第2表　錦町第一遺跡出土中世遺物集計表

種別	中国製品														国産製品												総計
	同安窯系青磁	龍泉窯系青磁	白磁									青白磁	褐釉陶器	小計	瀬戸・美濃	備前		瓦質土器				東播系	土師質土器			
器種	碗	碗	碗					皿				合子蓋	壺			壺・甕	擂鉢	壺・甕	擂鉢	鍋	火鉢	擂鉢	鍋	皿・坏		
	Ⅰ類	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅱ類	Ⅳ類	Ⅴ類	Ⅵ類	Ⅴ類	Ⅵ類	Ⅶ類	Ⅸ類															
総計	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	5	0	1	2	1	7	2	0	0	16	228	262

に多いことが分かる。その他の国産製品では、瓦質の擂鉢が7点（3％）、備前の擂鉢が2点（1％）と擂鉢類の出土比率が比較的高い。

これらの出土遺物の時期については、白磁や土師質土器の形態から12世紀代と考えられ、博労町遺跡出土の中世遺構と同時期性が高い資料といえよう。

4．出土土師質土器の比較

次に、同時期性の高い両遺跡出土の中世遺物の中でも、出土量の最も多かった土師質土器の皿・坏類について、形態分類を行い、総数を集計した上で、その出土傾向について比較検討を試みた。

鳥取県内出土の中世前期の土師質土器の皿・坏類については、八埼　興氏により検討が行われている（八埼　1997ほか）。その後、中森　祥氏により、形態分類が行われ、その変遷案が検討されている（中森　2005）。

今回は中森分類を基に以下のように形態分類を行った。

〈小皿〉

口　径　Ⅰ類：7.6cm前後のもの。
Ⅱ類：8.2cm前後のもの。
Ⅲ類：8.8cm前後のもの。

口縁形態　a類：内湾気味のもの。
b類：直線的に外傾、外反するもの。

底部形態　回転糸切りで平底のもの。
回転糸切りで平高台のもの。
回転糸切りで柱状高台のもの。
静止糸切りで平底のもの。
静止糸切りで平高台のもの。
静止糸切りで柱状高台のもの。
ヘラ切りで平底のもの。
ヘラ切りで平高台のもの。
ヘラ切りで柱状高台のもの。
手捏ね成形のもの。

〈坏〉

器　高　Ⅰ類：4cm前後のもの。
Ⅱ類：5cm前後のもの。

口縁形態　a類：体部中位で「く」字状に屈曲するもの。
b類：体部から口縁にかけて直線的に外傾、外反するもの。
c類：体部が丸味を持つもの。

底部形態　回転糸切りで平底のもの。
回転糸切りで平高台のもの。
回転糸切りで柱状高台のもの。
静止糸切りで平底のもの。
静止糸切りで平高台のもの。
静止糸切りで柱状高台のもの。
ヘラ切りで平底のもの。
ヘラ切りで平高台のもの。
ヘラ切りで柱状高台のもの。
手捏ね成形のもの。

これを基に分類集計し、第3表に博労町遺跡、第4表に錦町第一遺跡出土の土師質土器皿・坏類をまとめた。

まず、博労町遺跡出土の土師質土器については、総数で42点、このうち小皿類が41点（98％）、坏類が1点（2％）と小皿類が圧倒的に多い。その小皿類については、底部は回転糸切りが殆どで、ヘラ切りのものはなく、手捏ね成形のものは1点のみの出土である。口径については、Ⅰ類が41％、Ⅱ類が34％、Ⅲ類が24％と最も小型のⅠ類が多い。全体的にみると、Ⅰ・Ⅱ－b類の回転糸切りで平底

第３表　博労町遺跡出土土師質土器集計表

器種	口径	形状				個数
皿	I	a	糸切り	回転	平板	7
					平高台	
					柱状高台	
				静止	平底	
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	
					平高台	
					柱状高台	
			手捏ね			1
		b	糸切り	回転	平底	9
					平高台	
					柱状高台	
				静止	平底	
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	
					平高台	
					柱状高台	
			手捏ね			
	II	a	糸切り	回転	平底	2
					平高台	
					柱状高台	
				静止	平底	
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	
					平高台	
					柱状高台	
			手捏ね			
		b	糸切り	回転	平底	10
					平高台	2
					柱状高台	
				静止	平底	
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	
					平高台	
					柱状高台	
			手捏ね			
	III	a	糸切り	回転	平底	6
					平高台	1
					柱状高台	
				静止	平底	
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	
					平高台	
					柱状高台	
			手捏ね			
		b	糸切り	回転	平底	2
					平高台	1
					柱状高台	
				静止	平底	
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	
					平高台	
					柱状高台	
			手捏ね			
	総計					41

器種	口径	形状				個数
坏	I	a	糸切り	回転	平底	
					平高台	1
					柱状高台	
				静止	平底	
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	
					平高台	
					柱状高台	
			手捏ね			
		b	糸切り	回転	平底	
					平高台	
					柱状高台	
				静止	平底	
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	
					平高台	
					柱状高台	
			手捏ね			
	II	c	糸切り	回転	平底	
					平高台	
					柱状高台	
				静止	平底	
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	
					平高台	
					柱状高台	
			手捏ね			
	III	a	糸切り	回転	平底	
					平高台	
					柱状高台	
				静止	平底	
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	
					平高台	
					柱状高台	
			手捏ね			
		b	糸切り	回転	平底	
					平高台	
					柱状高台	
				静止	平底	
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	
					平高台	
					柱状高台	
			手捏ね			
		c	糸切り	回転	平底	
					平高台	
					柱状高台	
				静止	平底	
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	
					平高台	
					柱状高台	
			手捏ね			
	総計					1

第４表　錦町第一遺跡出土土師質土器集計表

器種	口径	形状				個数
皿	I	a	糸切り	回転	平底	
					平高台	
					柱状高台	
				静止	平底	
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	19
					平高台	8
					柱状高台	
			手捏ね			7
		b	糸切り	回転	平底	3
					平高台	
					柱状高台	
				静止	平底	
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	36
					平高台	10
					柱状高台	
			手捏ね			3
	II	a	糸切り	回転	平底	2
					平高台	1
					柱状高台	
				静止	平底	
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	6
					平高台	3
					柱状高台	
			手捏ね			4
		b	糸切り	回転	平底	5
					平高台	6
					柱状高台	
				静止	平底	
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	25
					平高台	7
					柱状高台	
			手捏ね			2
	III	a	糸切り	回転	平底	9
					平高台	2
					柱状高台	1
				静止	平底	
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	2
					平高台	1
					柱状高台	
			手捏ね			4
		b	糸切り	回転	平底	7
					平高台	1
					柱状高台	
				静止	平底	2
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	5
					平高台	2
					柱状高台	
			手捏ね			1
	総計					184

器種	口径	形状				個数
坏	I	a	糸切り	回転	平底	1
					平高台	
					柱状高台	
				静止	平底	
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	3
					平高台	
					柱状高台	
			手捏ね			
		b	糸切り	回転	平底	4
					平高台	
					柱状高台	
				静止	平底	
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	3
					平高台	2
					柱状高台	
			手捏ね			
	II	c	糸切り	回転	平底	1
					平高台	
					柱状高台	
				静止	平底	
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	3
					平高台	1
					柱状高台	
			手捏ね			
	III	a	糸切り	回転	平底	1
					平高台	
					柱状高台	
				静止	平底	
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	
					平高台	
					柱状高台	
			手捏ね			
		b	糸切り	回転	平底	
					平高台	
					柱状高台	
				静止	平底	
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	
					平高台	
					柱状高台	
			手捏ね			
		c	糸切り	回転	平底	
					平高台	
					柱状高台	
				静止	平底	
					平高台	
					柱状高台	
			ヘラ切り		平底	
					平高台	
					柱状高台	
			手捏ね			
	総計					22

を呈するものが46%と最も多い。

坏については、形態復元できたものが１点のみと非常に少なく、その傾向を捉えることはできなかった。

続いて、錦町第一遺跡出土の土師質土器については、形態復元できたものが総数で206点、このうち小皿類が184点（89%）、坏類が22点（11%）と小皿類が博労町遺跡と同様に多い。

小皿類についてみてみると、底部については糸切り、ヘラ切り、手捏ね成形のいずれもが出土している。このうち主体的なものはヘラ切りのもので全体の67%を占める。特に、小型のⅠ類に関しては、糸切り底のものは１点も出土していない。これに対し、Ⅲ類については、底部糸切りのものが多くなる。口径については、Ⅰ類が47%、Ⅱ類が33%、Ⅲ類が20%と、博労町遺跡と同様に小型のⅠ類が多い。全体的にみると、錦町第一遺跡ではⅠ・Ⅱ－ｂ類の底部ヘラ切りで平底を呈するものが33%と最も多い。また、手捏ね成形のものが11%と、一定量占めるのも特徴的である。

坏については、底部の形態に糸切りとヘラ切りがあるが、手捏ね成形のものはない。このうち主体となるのはヘラ切りのもので全体の64%を占める。この点については、皿と同様の出土傾向である。器高については、Ⅰ類が91%とその主体を占める。全体的にみると、Ⅰ－a類の底部ヘラ切り、平底のものが23%、次いでⅠ－ｂ類の底部回転糸切りで平底を呈するものが18%となる。

この他、形態復元できず、図化や表には掲載できなかったが、錦町第一遺跡では柱状高台の底部のみ遺存しているものが20個体分出土していることも大きな特徴である。

なお、錦町第一遺跡では夥大な量の細片遺物が出土している。磨耗した細片の形状を見ると、近接地から客土として持ち込まれた可能性や、飛砂と共に運ばれた可能性も考慮せねばならない(註１)。ただし、この遺跡では土器溜りから一括資料が出土しており、この一括遺物と細片遺物とを比較しても形態差はみられない。従って、細片遺物についても、基本的には同時期に使用されたものが耕作土に包含されたものと考えたい。

以上、両遺跡出土の土師質土器皿・坏類について概観してみた。

両遺跡を比較すると、土師質土器の小皿Ⅰ類の出土量の多さについては共通している。これは先行研究で示された西伯耆における12世紀代の土師質土器の出土傾向と大過ないものと考えられる（中森2005)。これに対し、その成形技法については、両遺跡間でかなり大きな違いが生じている。即ち、博労町遺跡では、底部は回転糸切りが殆どであるのに対し、錦町第一遺跡ではヘラ切りが主体である。また、博労町遺跡では手捏ね成形の、いわゆる京都系土師器皿の類は１点のみの出土であるが、錦町第一遺跡では一定量出土していることも大きな違いである。この他、博労町遺跡で１点も出土していない柱状高台の土師質土器が、錦町第一遺跡では20点以上出土しているのも大きな特徴であろう。また、坏の出土量も博労町では１点、錦町では22点と大きく異なる。

ただし、いずれの土師質土器も胎土に大きな違いはなく、同じ12世紀代の近接する遺跡間でこのように成形技法の違いが生ずるのはいかなる要因によるものか、その原因を明らかにすることはできなかった。あるいは、在地の工人集団の違いによるものであろうか。

６．まとめ

以上、博労町遺跡と錦町第一遺跡の中世資料の検討を試みた。調査面積が異なることや、破片資料

のカウントが困難であったことなどから、このデータのみで単純に両遺跡を比較することは安易な部分もあるが、近接する遺跡で同様な性格を持つ遺構が検出されているということは、十分比較検討の材料になり得ると思われる。

この検討を通じて判明したことは、出土遺物の中心時期から、明らかに両遺跡が同時期性を持つ遺跡であることである。中世遺物の上限については、両遺跡とも11世紀後半代と同時期で、中心時期も12世紀代と同一である。ただし、下限については、錦町第一遺跡は12世紀代に留まるが、博労町遺跡では時期幅があり、下限は14世紀前半頃まで降る。組成については、両遺跡とも瓦器碗や吉備系土師器碗がなく、舶載陶磁器類が一定量出土する傾向は、従前から言われている山陰の中世遺物の出土傾向に追随するものである（中森　2005）。

ただし、今回検討した資料は一括資料がなく、耕作地という遺跡の性格も、その時期的変遷を捉えることを困難にしている。また、土師質土器は復元不可能な細片資料が多く出土量全体の中での傾向を把握することが非常に困難であった。しかしながら、出土資料すべてを数量的に検討していくことにより、遺跡の出土傾向をある程度は掴むことが出来たものと思われる。

即ち、今回の調査では、生産域のみの検出であり、遺跡の中心部分である屋敷跡などの集落遺構は確認できなかったが、出土遺物を見ると、貿易陶磁器の出土量が国産製品を凌駕すること、国産製品にも瀬戸・美濃製品や東播系須恵器、滑石製石鍋などの広域流通品が出土しており、当該期の遺跡地の交易流通の実態を十分裏付ける資料であると考えられる。地理的に考えてもこの遺跡が海浜部に近い砂丘上に位置しているということが、中世における日本海海運の動向を考える上で重要な意味合いを持つと思われよう。

中世考古学において東シナ海を内海とする交流交易に関する研究は盛んに行われている（井上　1991）。そのなかで、北部九州や山口県など日本海沿岸域の中世対外交易の拠点と考えられる遺跡も増加している。

今回検討した博労町遺跡出土の中世資料も同様に、日本海域における中世前期の交易の活況を物語る、重要な一資料であると考えられよう。

（註１）中世鎌倉の遺跡の地業層等では、大量の客土を持ち込んでの版築地業を行っている例がみられるが、その際その土の中から破片土師質土器が出土する。また、多量の土師質土器の坏・皿類を破砕して地業面を構築している例もあり、必ずしも遺跡地で使用された土師質土器類が出土するわけではない。また、県中央部湯梨浜町の海浜砂丘域に立地する長瀬高浜遺跡では奈良・平安時代の遺構面に、斜面上から吹き飛ばされた古墳時代の遺物が出土している（牧本　1999）。このように、人為的要因や、自然的要因で遺物が二次堆積する可能性は十分考慮すべきことである。

（引用・参考文献）

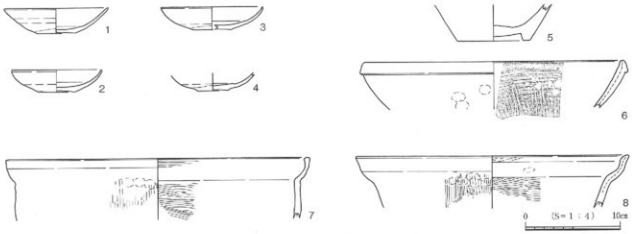
井上寛司　1991「中世日本海地域の水運と交流」『日本海と出雲世界』海と列島文化第２巻　小学館

小野正敏ほか編　2006『中世の対外交流』高志書院

中森　祥　2005「中世前期の遺物について」『門前上屋敷遺跡』第５章　第１節　㈶鳥取県教育文化財団　国土交通省倉吉河川国道事務所

森田　勉　1982『14～16世紀の白磁の分類と編年』『貿易陶磁研究』No.2　日本貿易陶磁研究会

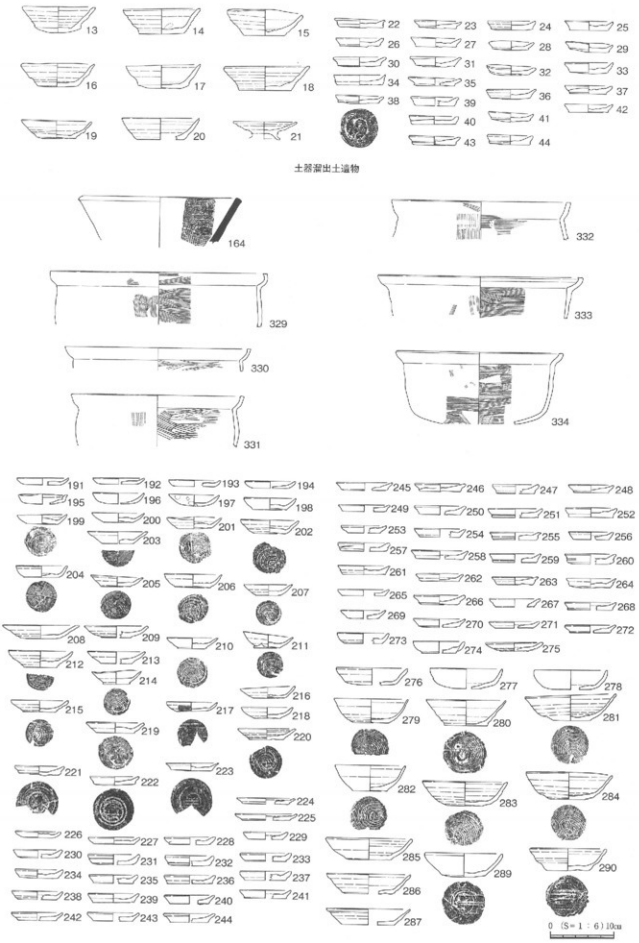
橋本久和・市村高男編　2004『中世西日本の流通と交易』高志書院
平木裕子　1996『錦町第一遺跡』㈶米子市教育文化財団
牧本哲雄　1999『長瀬高浜遺跡Ⅷ』㈶鳥取県教育文化財団　国土交通省倉吉河川国道事務所
八峠　興　1997「鳥取県における土師器皿の展開について」『立命館大学考古学論集』Ⅰ　立命館大学
　　1998「山陰における中世土器の変遷について」『中近世土器の基礎研究』ⅩⅢ　日本中世土器研究会
　　2004「山陰の中世土器に関する覚書」『中近世土器の基礎研究』ⅩⅧ　日本中世土器研究会
山本信夫　2000『大宰府条坊跡』ⅩⅤ　太宰府市教育委員会



第１図　錦町第一遺跡出土中世資料(1)（今回実測分）

第５表　錦町第一遺跡出土陶磁器・土器観察表

遺物No.	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	釉	調整・文様	備考
1	白磁皿	1/2	口径(10.9) 器高：2.6 底径(4.0)	良好	灰白色	密	灰白色	外面：体部下半～底面露胎、貫入 内面：貫入	見込使用痕跡著 白磁皿Ⅳ-1b類
2	白磁皿	1/3	口径(9.3) 器高：2.4 底径：3.9	良好	灰白色	密	灰白色	外面：底面露胎、貫入 内面：貫入	見込使用痕跡有 白磁皿Ⅳ-1b類
3	白磁皿	1/4	口径(10.7) 器高：2.4 底径(4.0)	良好	灰白色	密	淡黄色	外面：体部下半～底面露胎 内面：―	見込使用痕跡著 白磁皿Ⅳ-1b類
4	白磁皿	破片	器高(1.9) 底径(3.3)	良好	灰白色	密	灰白色	外面：体部下半～底面露胎、貫入 内面：貫入	見込使用痕跡著 白磁皿Ⅳ-1b類
5	陶器甕	底部1/2	器高(3.9) 底径(7.7)	良好	灰褐色	密	黒褐色 被熱後灰黄色	外面：高台部内面露胎、削り出し高台 内面：―	中国製褐釉陶器 13c代？
6	瓦質土器鉢	破片	口径(27.3) 器高(5.0)	良好	暗灰色	密	―	外面：指頭調整→回転ナデ 内面：口縁部回転ナデ、体部横目	
7	土器鍋	破片	口径(31.4) 器高(6.5) 胴径(30.3)	良好	黒茶色～灰褐色	密	―	外面：口縁部ナデ、頸部指頭調整、体部縦ハケメ 内面：口縁端部横ハケメ、口縁部横ナデ、体部横ハケメ	外面炭化物・煤付着
8	土器鍋	破片	口径(28.5) 器高(5.6)	良好	黒茶色～褐色	密 石英・白色粒	―	外面：口縁部ナデ、頸部以下指頭調整→縦ハケメ 内面：口縁端部横ハケメ→ナデ、口縁部指頭調整→ナデ、体部横ハケメ	外面炭化物・煤付着



第２図　錦町第一遺跡出土中世資料(2)　(平木1996を改編)

第９節　博労町遺跡の中世畠跡の検討

濱野　浩美

１．はじめに

博労町遺跡では、砂丘停滞期の腐食砂（クロスナ）最上層において調査区全域の7500㎡に亘る畠跡が検出された。この畠跡は調査区全体に広がり、さらに周辺域に広がる様相を呈する。検出された遺構は畠跡11区画、畦10条、土坑１基、溝状遺構10条、水溜状遺構４基である。砂丘尾根緩斜面を利用した区画内に整然と作られた畠や灌漑施設からは広範囲に亘って計画的な耕作が行われていた様相が窺える。個々の畝は埋砂の状況から何回かの作り替えが認められ、ある程度の期間ここで生産活動が行われたことが分かる。これらの畠はいずれも風成砂と見られるシロスナ（Ⅱ層）に被覆されていることから、砂丘発達期による多量のシロスナ堆積の直前まで生産活動が続けられていたと考えられる。

市域では、遺跡西側700mに位置する錦町第一遺跡においても腐食砂（クロスナ）最上層に中世の畠跡が検出されている。本節では、今回検出された畠跡の変遷をまとめるとともに、錦町第一遺跡に検出された畠跡とも比較し、当該期の砂丘域における生産活動について検討を行った。

２．畠の形態

畠跡は、標高3.9～5.5mの東西方向の砂丘列のトップから南北にかけて緩やかに傾斜する緩斜面に検出された。遺構は調査区全体に広がるが、畝の方向性や畦、空閑地により11区画に分けられる。ここでいう区画とは畦、水路、空閑地などで区画された単位、もしくは明瞭に方向軸の異なる畝列を１区画としてとらえたもので、各区画は基本的には方形単位を基本としている。

これらの畠の方向性は、南北方向の畝はN-11～18°-E、東西方向の畝はN-72～87°-Wに統一されている。この主軸方向は砂丘列の方向に対し平行・直交関係を保っており、米子平野の法勝寺川流域に復元された条理の方向に対しては東に10°以上振れている（註１）。海浜砂丘域では砂丘列に即した空間利用が、地形利用の上で最も効率的であったものと考えられる。それを裏付けるように、砂丘尾根頂部付近の畠11・５・６では畝は砂丘列に平行し、斜面部の畝は斜面に直交する南北方向に構築されている。この軸線の違いは地形環境による排水の利便性を考慮して畠が作られた結果と考えられる。

地形環境は空間利用において最も考慮されていたようである。畠４南側に検出された空閑地は東西方向の砂丘尾根部にあたることから、風等自然環境の影響を考慮してこの部分を耕作地とすることを避けた可能性も考えられる。この空閑地は３区畠３の中央部や畠５と畠６の間の硬化した空閑地と合わせると東西方向に長いＴ字形となる。面上はいずれも非常に硬化していることから、通路としての使用が考えられる。また、この畠４南側の空閑地では土壙１基（SX01）が検出された。砂丘頂部の畠境界地を選地して土壙は掘り込まれたものと考えられる。また、砂丘南斜面に当たる３区畠６・７、４区畠８では傾斜面をそのまま利用し比較的長い畝を作っているのに対し、東斜面の５区では畦を境に畠に高低差を作り、いわゆる棚田状にし、平坦に耕作面を作る配慮がなされている。日照条件や自然環境の差に対する工夫であろうか。

溝については埋砂の状況から水路である可能性が高い。特に畦の周囲には溝がめぐらされているものは区画と排水の両側面を担っていたものと考えられる。また、１区北端の畠２では東西方向の溝１

が検出された。この付近は砂丘間低地のような窪地になっており、この部分を利用して水路が作られている。また南斜面の4区溝3～7は南端低位の水溜状遺構に続くことから、導水目的の溝と考えられる。この水溜状遺構4条はさらに大きな落ち込みにつながっている。この部分については調査区外に広がる為不明な点もあるが、南側調査区外には池などの灌漑施設が設けられていた可能性が高い。このように、遺跡地では地形や立地を巧みに利用し畦や灌漑施設を計画的に設けて、広範囲に整然と耕作地を展開させていたことがわかる。

次に、これらの畠の変遷であるが、各畠では2回～3回の作り替えが認められる。畠1では畝→畦3・4への作り替えや、畠2では溝1を畦6として作り替え、畦10も畝が作られた後再び畦への作り替えが認められる。特に畠4では東側では畝の作り替えが頻繁に行われているのに対し、西側では畝の幅も比較的広くまばらで畝の作り替えは全く行われていない。面上は比較的硬化していることから西側は休耕地となっていた可能性が考えられよう。この他、畠7東側、畠9においても畝の状況から最終段階では休耕地になっていた可能性が考えられる。このように個々の畠の変遷が認められ、それによる隣接地との新旧関係についても第1分冊の各項で既に明らかにしている。ただし、耕作地の場合、生産遺跡であるが故に個々の畠の新旧が判明しても、細かい畝の作り替えなども行われており、隣接地の切り合い関係が遺構全体の変遷に直結するとは限らない。また、中世の段階では既に連作障害などの問題から、当然休耕地と耕作地が隣接している可能性が高く、長瀬高浜遺跡では耕作面の偶蹄目の足跡から輪換農法に伴う休閑放牧の可能性も示唆されている（岩崎　1999）。

3．耕作物について

この畠における耕作物については第Ⅶ章　自然科学分析の項に詳述されている。分析の結果、砂丘北側斜面の畠1～4では、ヒエを中心にイネ科、ムギ類が耕作されていたことが判明している。また、砂丘尾根頂部の2区ではイネの他、アワ、ヒエ、ムギ等の雑穀類が作られ、全般的に乾燥した環境であったことが示唆されている。これに対し、砂丘南斜面の畠6～8ではイネ科のプラントオパールが高い密度で検出された。また、畠9-2面に見られるように畝幅、畝間の形状が大きく異なる部分では根菜類が栽培されていた可能性が高いが、自然化学分析結果ではイネ以外の花粉が検出されず断定はできなかった。

これを畠の立地環境に即して概観すると、砂丘北斜面ではヒエ、ムギなどの雑穀と共にイネを栽培し、南～東斜面では主にイネを栽培していたことを示している。当然、輪作栽培が行われていたであろうが、基本的にはイネは南斜面中心に栽培されていたようである。4区南端には水溜状遺構があることから、日照条件や水利などを考慮した上での選地と考えられよう。なお、水溜状遺構底面から出土したウリ科の種は一ヶ所に集中しており、自然科学分析の結果では一個体からのものであるとのことであるが、溝に食物残滓を廃棄した痕跡とも考えられ、当該期の生活の痕跡が如実に窺える。また、畝面上には人間の足跡と共に偶蹄目の足跡が非常に多く検出された。中には規則正しく牛と人間が一緒に歩いている痕跡も認められたことから、耕作のための労働手段として牛が使用されていたことが考えられる。また、畝が壊されている所に検出された多数の偶蹄目の足跡は、休耕地の放牧などの可能性も考えられる。

4．畠の耕作時期とその廃絶

この畠の耕作時期であるが、これについては特論第８節　中世遺物の項に詳述しているように、出土遺物からは12世紀代が中心であると考えられる。これは面上の炭化物の放射性炭素年代測定によって得られたAD1020～1160年の数値とも符合する。ただし、各畠に何枚かの面が検出されていることから、耕作期間にある程度の時期幅は当然あると考えられる。特に、畠６～10では出土遺物から12世紀代を中心としながらも、下限は14世紀前半位までと考えられることから、砂丘南側斜面では14世紀代まで耕作が行われていたことが窺える。これはおそらく北側の海岸付近から吹き付けたであろう飛砂を避ける為や、日照条件の上でも南側斜面が適していたことが推測できよう。

これらの畠はいずれも直上に風成砂とみられるシロスナが厚く堆積している。畠跡はシロスナ直下のクロスナ層直上において検出されていることから、シロスナ堆積の直前まで生産活動が行われていたと考えられる。さらに南側の低位の畠８・９ではクロスナ最上層の上にクロスナ混じりのシロスナで作られた畝（０面）も検出されていることから、飛砂の堆積する環境下でもある程度の期間は耕作が続けられていたことが推測できる。海岸から吹き付ける砂が比較的遮断され易い砂丘南斜面低位という地理的な優位性を生かしたものであろうか。

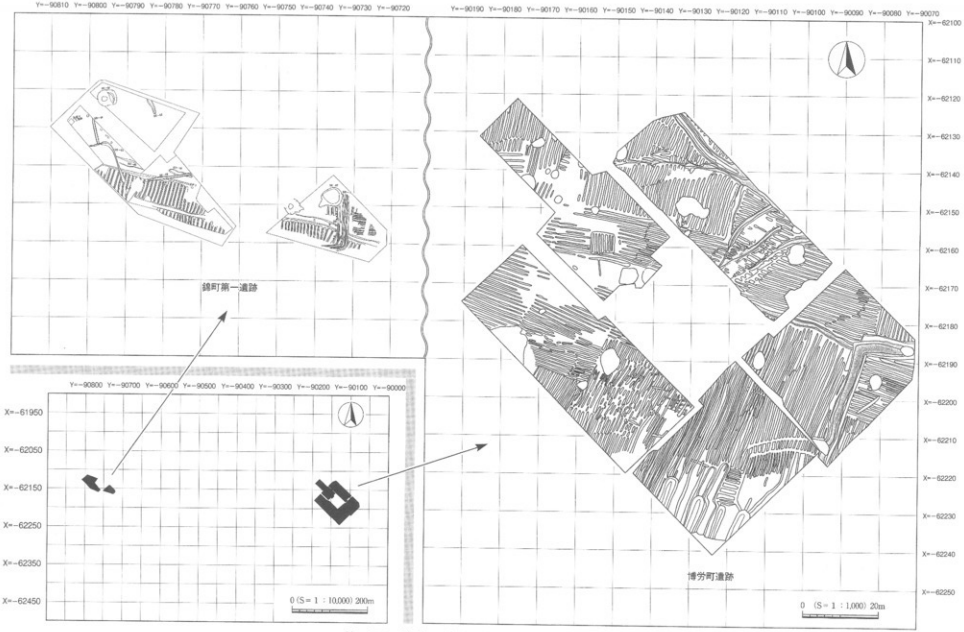
5．錦町第一遺跡との比較

米子市域では、同じ内浜砂丘上に立地する錦町第一遺跡においてもクロスナ最上面から中世期の畠跡が検出されている。特論　第８節でも述べているように、出土遺物から博労町遺跡の畠跡と錦町第一遺跡の畠跡は同時期性の高い遺構と考えられる。また、シロスナの堆積による廃絶状況も博労町遺跡と同様である。この両遺跡の畠について、相互の位置関係を国土座標上に落とし比較検討を試みた（第１図）。その結果、博労町遺跡から錦町第一遺跡までの距離は西側に700m離れているが、緯度的には32°26′08″（X＝－62150）とほぼ同一位置に存在することが判明した。

錦町第一遺跡の畠を見ると、検出された畝の主軸方向はN-14°-Eで、砂丘列に直交している。この方向軸は博労町遺跡の畠の南北方向軸とほぼ符合している。錦町第一遺跡では砂丘頂部から南側斜面に構築されており、検出された遺構は博労町遺跡の畠７や畠８の形状と同様であると考えられる。さらに東西方向に延びる畦の方向性もN-76°-Wと、博労町の東西方向の畝の方向軸とほぼ平行している。錦町砂第一遺跡において検出された畠は畝の長さ約７m、幅20～70cm、畝間の幅20～30cmを測る。これは博労町遺跡の畝に比較するとかなり短い。ただし、博労町遺跡より急斜面であるという立地環境も考慮すると、短い畝しか作り得なかった可能性が高い。

以上、同緯度に位置する両遺跡の畠跡は方向軸も非常に酷似しており、時期的にも同時期性が高いことから、同一の遺構と考えられる。このことから、当該期に博労町から錦町にかけての砂丘域一帯が畠という生産域であった可能性は非常に高いと考えられる。

県中部湯梨浜町の海浜砂丘域に発見された長瀬高浜遺跡においても、砂丘上に中世の畠跡が検出されている（岩崎　1999）。この遺跡では4500㎡以上に亘る畠跡がクロスナ上に検出されている。出土遺物から、時期的には９世紀から15世紀頃まで断続的に畠が営まれていたと考えられている。この遺構はシロスナ直下の黒灰褐色砂層（クロスナ）最上層で検出されていること、直上にはシロスナが堆積していることなど、全体的には博労町遺跡や錦町第一遺跡における畠の在り様と同様である。中世期には、海浜砂丘地帯においても耕作地としての開発が広範囲に行われていたことが窺えよう。



第１図　博労町遺跡と錦町第一遺跡の畠跡

6．まとめ

博労町遺跡は中世期に古代以来の居館域から大規模な耕作地に転換する。米子市域の中世における荘園耕作地の範囲がどの程度の規模であったかは現在のところ不明であるが、博労町遺跡から錦町第一遺跡にかけての範囲がすべて耕作地であるとすれば、当然その土地全体を支配していた権力層の存在が想定できよう。今回の調査では、平安時代後期に帰属する遺構は検出されていないが、空白期を挟みながらも居住域がすべて耕作地に転換していくには大きな社会背景の変化というものを考えていかねばならない。

周知のように、11世紀後半以降、在地領主層による新田開発が盛んとなり、「保」や「別名」といった所領が出現する。開発後は国衙に一定量の官物を納付せねばならないことから、この開発は律令体制が崩壊した後非常に推進された。その中で荘園もこのような開発を前提に再編されていき、12世紀代には荘園公領制として確定していく。こうした背景が砂丘のような未開の微高地においても耕地化が促進され中世的村落景観が成立する要因となった。奇しくも『民経記』天福元（1233）年五月巻の紙背文書には、勝田庄が六代に亘る相伝の土地であったが、去年地頭が新補されたという記述がある（陶山　2003）。勝田庄については比定地の問題も当然考慮せねばならないが（佐伯　2009）、13世紀前半から溯って六代前から勝田庄が荘園田畑であったとすれば、時期的には博労町遺跡の畠の時期に符合するものと思われる。このような動きは平安時代末から鎌倉時代初期における荘園開発に伴うものであり、今回検出された遺構はまさに条里水田に代表される古代的景観から荘園制度の拡大に伴う中世村落的景観への転換を如実に示している遺跡であると考えられよう。

前述の長瀬高浜遺跡においても、古代には官衙的性格の施設が存在した後、10世紀～12世紀末まで断絶した後、13世紀代には畠地となる。時期的には前後するが、官衙的性格の集落域から断絶期を挟み農耕地へ転換していくという大きな流れは、博労町遺跡も同様である。また、当該地でイネ以外にもヒエやアワなどの雑穀が作られていたことは、中世の荘園社会において文献に見られるように米以外に雑穀をも盛んに収取していたという実態を裏付けるものである（木村　1996）。

しかし、その耕作地は14世紀後半以降大量の白砂の堆積とともに廃絶していく。近接する錦町第一遺跡や県中部の長瀬高浜遺跡の中世畠跡においても時期は前後するが同様の廃絶状況を示している。さらにこの現象は日本海沿岸域の中世遺跡に通有の現象であり、石川県羽咋市寺家遺跡では14世紀後半の大規模な風成砂による砂丘移動が遺跡廃絶の原因とされている（牧山・中野　2010）。今回検出された畠跡は、このクロスナ層の廃絶時期とその要因を検討していく上でも重要な資料である。さらに、大規模に開拓された畠の廃絶は自然環境の激変だけによるものではなく、中世荘園制の崩壊といった社会背景ともリンクしていくものであると考えられよう。

このように、博労町遺跡において検出された中世の畠跡は、古代から中世にかけての村落景観の質的転換とその崩壊を如実に示すものと考えられ、当該期の米子海浜砂丘域の歴史を解明していく上で、非常に多くの新知見を得られたものと思われる。今後、周辺域の調査により居館跡など生産遺跡以外の遺構が検出されることにより、当該期の様相がさらに解明できることに期待したい。

（註１）　米子市史によれば、米子平野の条理は法勝寺川流域でN-４°-W、佐陀川流域でN-５°-Wと推定されている（内田　2003）。

（引用・参考文献）

岩崎康子　1999「第９章　第５節　畠跡の検討」『長瀬高浜遺跡Ⅷ』（財）鳥取県教育文化財団・建設省　倉吉工事事務所

内田律雄　2003「第６章　律令国家と米子平野・奈良時代」『新修米子市史』第１巻通史編　米子市.

木村茂光　1996『ハタケと日本人』　中公新書

佐伯純也　2009「加茂川下流域における集落の動向と博労町遺跡の性格について」『伯耆文化研究』第11号　伯耆文化研究会

陶山　徹　2003「第一章　鎌倉時代の米子」『新修米子市史』第１巻通史編　米子市

平木裕子　1996『錦町第一遺跡』（財）米子市教育文化事業団

遺　物　観　察　表

第１表　５区SB01出土土器観察表（第15図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	Pit1	土師器甕	口縁～体部1/3	口径(13.9) 器高(12.9) 胴径(17.3)	良	褐色	密 石英・白色粒	外面：口縁部横撫工具による蓋跡文→ヘラミガキ、頸部強ヘラミガキ、体部横・斜めハケメ、胴部横状工具による蓋跡文・貝殻腹縁による刺突文 内面：口縁部横ヘラミガキ、体部横ヘラケズリ	外面炭化物・煤付着 内面口縁部炭化物付着
2	Pit1	土師器甕	口縁～胴部1/8	口径(19.2) 器高(6.4)	良	橙褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、胴部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	内外面茶系赤彩

第２表　１区SI01出土土器観察表（第18図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	掘形中層	土師器甕	破片	口径(17.4) 器高(7.5)	良	灰褐色～暗灰白色	密 砂粒	内外面：横ナデ	
2	掘形中層	土師器甕	破片	口径(15.8) 器高(3.2)	良好	灰褐色	密	外面：口縁部横ナデ、胴部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	外面口縁部煤付着
3	掘形上層	土師器甕	破片	口径(16.6) 器高(2.8)	良好	黄灰白色	やや密	外面：口縁部ヘラ状工具による回線5条→ヘラミガキ 内面：縁・縁ヘラミガキ	内面口縁部～外面赤彩 雲母系胎入品？
4	掘形上層	土師器鉢形器台	体部破片	器高(5.6) 脚径(14.0)	良	黄灰白色～黒茶色	密 砂粒	外面：ナデ→竹管文・貝殻腹縁による刺突文・ヘラ状工具による蓋跡文・竹管文 内面：横ヘラケズリ	
5	掘形下層	土師器甕	底部破片	器高(1.4) 底径(7.6)	良	褐色	やや密 砂粒	外面：指頭調整→ナデ 内面：ヘラケズリ	底部中心部焼成後穿孔
6	埋設上層	土師器甕	破片	口径(19.3) 器高(5.5)	良	灰褐色	密 砂粒	外面：口縁部・胴部横状工具による蓋跡文→ナデ、頸部横ナデ 内面：口縁部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ	外面煤付着
7	埋設上層	土師器鉢	口頸部1/3	口径(16.0) 器高(5.6)	良	灰褐色	密	外面：口縁部横ナデ、頸部縦状工具による蓋跡文 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	外面煤付着
8	埋設中層	土師器鉢形器台	脚部破片	器高(5.4) 底径(22.8)	良	褐色	密 雲母	外面：横ナデ 内面：脚部横ヘラケズリ、脚部縦ナデ	

第３表　１区SI02出土土器観察表（第20図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	掘形中	土師器甕	破片	口径(16.4) 器高(3.1)	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	外面煤付着
2	埋設中	土師器小型器台	脚部破片	器高(3.6) 底径(11.8)	良好	灰褐色	密	外面：横ナデ→縦ヘラミガキ 内面：脚柱部縦ヘラケズリ、脚部縦ハケメ→縦ナデ	
3	埋設中	土師器鉢形	2/3	口径(15.5) 器高：3.8 底径：4.1	良好	赤褐色	密	外面：口縁部・縦ヘラミガキ、胴部横ナデ 内面：口部横・縦ヘラミガキ、胴部横ナデ	内面煤付着 底部剥離

第４表　１区SI03出土土器観察表（第22図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	掘形中	土師器甕	破片	口径(11.6) 器高(6.1)	良好	黄灰白色	密	外面：口縁部横ナデ、胴部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	
2	掘形中層	土師器甕	破片	口径(13.4) 器高(5.9)	良	褐色	密	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	
3	掘形東上層	土師器鉢	破片	口径(16.0) 器高(5.4)	良好	橙褐色	密	外面：口縁端部横ナデ、球胴横ヘラミガキ	内面赤彩
4	埋設器上層	土師器鉢形	2/3	口径(14.4) 器高(3.1)	やや良	褐色	やや密	外面：横・縦ヘラミガキ 内面：砂粒調整不明	
5	埋設上層	土師器鉢形器台	楕円形	口径(16.0) 器高：9.2 底径(14.4)	良	橙褐色	密 石英	外面：口縁部端部・接合部・脚端部横ナデ、受部・脚部縦ヘラケズリ 内面：受部横ヘラミガキ・ナデ、接合部ヘラケズリ→ナデ、脚部斜めヘラケズリ	内外面赤彩
6	掘形上層	土師器鉢形器台	脚部破片	器高(5.2) 底径(14.6)	良好	灰褐色	密	外面：横ナデ 内面：受部横ナデ、接合部ヘラケズリ→横ナデ、脚部斜めヘラケズリ、脚端部横ナデ 脚部円形透し	

第５表　１区SI04出土土器観察表（第24図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋設中	土師器小型甕	体部破片	口径：5.1 器高：8.8 胴径：8.3	良好	暗灰白色	密	外面：口縁部横ナデ、体部縦・斜めハケメ 内面：口縁部～胴部横ナデ、体部指頭調整→ヘラケズリ→ナデ	
2	埋設上層	土師器甕	口縁部1/3	口径(10.1) 器高(6.5)	良	褐色	密	外面：口縁部横ナデ、頸部縦ハケメ・指状工具痕による押圧 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	
3	埋設上層	土師器甕	口縁～胴部1/3	口径(17.4) 器高(4.2)	良好	黄灰白色	密	外面：口縁部端部工具による蓋跡文→ナデ、胴部以下蓋跡痕による押引文 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横・縦ヘラケズリ	
4	埋設中	土師器甕	破片	口径(15.0) 器高(7.0)	良	暗灰白色	密 砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下横・縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	外周口縁部煤付着
5	埋設中層	土師器甕	破片	口径(15.8) 器高(3.4)	良	黄灰白色	密	内外面：横ナデ	
6	埋設中	土師器甕	破片	口径(14.2) 器高(4.9)	良	褐色	密	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	

7	埋葬中期	土師器 甕	口縁～胴部1/3	口径(13.6) 器高(6.5)	良好	褐色	密	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ		
8	埋葬中期	土師器 甕	口縁～胴部破片	口径(13.8) 器高(8.5)	良	黒茶色～橙褐色	密	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ		外面煤付着
9	埋葬上層	土師器 甕	口縁～胴部破片	口径(17.8) 器高(6.6)	良	明黄白色	密 砂粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ		内面一部煤付着
10	埋葬中	土師器 甕	底片	口径(14.2) 器高(5.5)	良好	橙褐色	密	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ		外面煤付着
11	埋葬中層	土師器 甕	破片	口径(15.1) 器高(8.7)	良	黄灰白色	密 角閃石・石英	外面：口縁部横ナデ、胴部ヘラ状工具による斜縦文、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ		外面煤付着
12	埋葬中	土師器 小型壺底	破片	口径(10.1) 器高(3.7)	良好	褐色	密	外面：横ヘラミガキ 内面：縦・横ヘラミガキ		
13	埋葬中層	土師器 高坏	坏部	口径：14.6 器高：(4.3)	良好	褐色	密	内外面：縦・横ヘラミガキ		外面接合部付近煤付着 破断面磨耗
14	埋葬中	土師器 高坏	破片	口径(13.4) 器高：(4.3)	良好	黄灰白色	密	内外面：ハケメ→ヘラミガキ		
15	埋葬中	土師器 高坏	破片	口径(19.8) 器高：(5.5)	良	橙褐色	密	外面：縦ヘラミガキ 内面：横ヘラミガキ		内外面赤彩
16	埋葬上層	土師器 高坏	破片	口径(16.2) 器高：(5.2)	良好	灰褐色	密	外面：交叉縦・横ヘラミガキ、脚台部ナデ 内面：交叉横・縦ヘラミガキ		
17	埋葬中	土師器 高坏	脚部	脚高：(7.0) 底径：(9.8)	良好	橙褐色	密	外面：縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面：脚柱部横ヘラケズリ、脚裾部：横ハケメ、脚裾部ナデ 脚部二次内面透し		
18	埋葬中	土師器 高坏	2/3	口径(9.3) 脚高：6.3 底径：5.8	良好	褐色	密	外面：円形～脚柱部横・縦ヘラミガキ、脚部ナデ 内面：坏部横・縦ヘラミガキ、脚部ナデ、横ヘラミガキ		
19	埋葬中期	土師器 低脚坏	破片	脚高：(3.7) 底径：(4.2)	良	黄灰白色	密	外面：横ナデ 内面：坏部ヘラミガキ、脚部横ナデ		
20	埋葬下層	土師器 低脚坏	破片	脚高：(3.7) 底径：(4.4)	良好	橙褐色	密	外面：坏部縦ハケメ→ナデ、脚部横ナデ 内面：坏部ナデ、脚部横ナデ→ヘラミガキ		

第６表　１区SI04出土石器観察表（第24図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種　類	重　量	遺存状況	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	石　材	備　考
21	埋葬中層	石鏃	凹基	完形	148	98	41	866.6	安山岩	石錘46.38mm 石錘43.5mm
22	埋葬中	ハンマーストーン	楕円	完形	116	42	32	202.9	安山岩	

第７表　１区SI05出土土器観察表（第25図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器　種	部位	残存率	法　量（cm）	胎　成	色　調	胎　土	特　徴　・　文　様	備　考
1	埋葬最下層	土師器 壺	口縁部	3/4	口径：23.9 器高：(9.5) 復元：(20.5)	良好	黄灰白色	密	外面：口縁部横ナデ、頸部広範を有する胴状下膨部にある羽状文、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部胴部調整、体部横ヘラケズリ、体部下半部欠損	内外面口縁部～頸部煤付着
2	埋葬上層	土師器 壺	破片	口径(20.0) 器高：(5.9)	良	褐色	密	外面：口縁部～頸部横ケズリ、口縁部ヘラ状工具による波状文 内面：口縁部横ナデ、頸部ヘラケズリ→横ヘラミガキ		内面口縁部煤付着
3	埋葬最下層	土師器 壺	破片	口径(14.4) 器高：(7.8)	良	黄灰白色	密 砂粒	外面：口縁部～頸部横ナデ、胴部ヘラ状工具による波状文 内面：口縁部ナデ、胴部横ヘラケズリ		外面胴部煤付着
4	埋葬上層	土師器 壺	破片	口径(13.4) 器高：(9.7)	良好	褐橙色～黒色	密 角閃石	外面：口縁部～頸部横ナデ、体部ハケメ 内面：横ヘラケズリ		内外面一部煤付着
5	埋葬中層	土師器 壺	破片	口径(13.0) 器高：(7.9)	良	黄灰白色	密	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ		外面煤付着
6	埋葬下層	土師器 壺	破片	口径(13.0) 器高：(5.8)	良	黄灰白色	密	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ		外面煤付着
7	埋葬中層	土師器 壺	破片	口径(12.0) 器高：(6.0)	良	褐灰白色	密	外面：横ケズリ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ		
8	埋葬上層	土師器 壺	破片	口径(13.6) 器高：(8.1)	良	黄灰白色	密	外面：口縁部横ナデ、頸部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		外面口縁部煤付着
9	埋葬下層	土師器 壺	口縁部1/2	口径(15.0) 器高：(9.6)	良好	橙褐色～灰褐色	密 砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		外面口縁部煤付着
10	埋葬上層	土師器 壺	破片	器高：(4.7) 復元：(9.8)	良好	褐灰色	密 海綿	外面：頸部～胴部横ナデ、体部縦ハケメ→ナデ 内面：頸部横ナデ、胴部以下縦・横ヘラケズリ、胴部指跡調整		
11	埋葬上層	土師器 小型鉢	破片	口径：(8.4) 器高：(4.5)	良	黒茶色	密	内外面：横・縦ヘラミガキ		
12	埋葬上層	土師器 小型丸底壺？	1/2	口径：(11.0) 器高：(6.8)	良好	灰褐色	密	外面：ハケメ→横・縦ヘラミガキ 内面：横ケズリ		
13	埋葬中層	土師器 高坏	破片	口径：(11.7) 器高：(4.1)	良	橙褐色	密	外面：横ヘラミガキ 内面：横・縦ヘラミガキ		内外面赤彩
14	埋葬中層	土師器 高坏	破片	口径：(18.8) 器高：(5.1)	良好	黄灰白色	密	外面：横ヘラミガキ 内面：横ヘラミガキ		外面接合部煤付着 破断面磨耗
15	埋葬上層	土師器 高坏	破片	口径：(14.0) 器高：(3.9)	良好	橙褐色	密	外面：縦ハケメ→ナデ 内面：縦ヘラミガキ		
16	埋葬中	土師器 高坏	破片	口径：(13.0) 器高：(2.6)	良好	橙褐色	密	外面：横ヘラミガキ 内面：縦ヘラミガキ		
17	埋葬下層	土師器 高坏	1/4	口径：(15.0) 器高：(5.1)	良	黄灰白色	密	外面：ヘラミガキ 内面：坏部～脚部ヘラミガキ		内面脚部裾部1箇所煤付着破断面磨耗
18	埋葬下層	土師器 高坏	破片	口径：(14.0) 器高：(3.7)	良	灰茶色	密	内外面：横ヘラミガキ		内外面煤付着 破断面磨耗
19	床面直上	土師器 高坏	破片	口径：(13.8) 器高：(6.2)	良	明黄白色	密	外面：横ケズリ 内面：ハケメ		外面接合部煤付着 破断面磨耗
20	埋葬中	土師器 高坏	坏部	口径：(16.7) 器高：(4.8)	良	褐灰色	密	外面：ハケメ→横・縦ヘラミガキ 内面：横・縦ヘラミガキ		内外面赤彩

21	埴輪直上	土師器 高坏	1/3	LI径(15.0) 器高(3.9)	良好	黄灰白色	密 石英	外面：ハケメ→ヘラミガキ 内面：横・縦ヘラミガキ	外面一部煤付着
22	埴輪中層	土師器 高坏	脚部	脚径(3.33) 底径(10.0)	良	黄灰白色	密	外面：ハケメ→ナデ 内面：脚柱部縦ヘラケズリ、脚部横ハケメ→ナデ	
23	埴輪上層	土師器 高坏	脚部	脚高(5.54) 底径：8.0	良	黄灰白色	密	外面：縦ハケメ→ナデ 内面：脚柱部縦ヘラケズリ、脚部横ハケメ→ナデ	外面一部煤付着
24	埴輪上層	土師器 高坏	脚部	脚高(4.9) 底径(17.0)	良	橙褐色	密	外面：縦ハケメ→ナデ 内面：脚柱部ヘラケズリ、脚部ナデ 接合部周囲充填痕	
25	埴輪上層	土師器 低脚坏	1/3	器高：2.9 底径：5.3	良好	黄灰 褐色	密	外面：坏部縦ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部ヘラミガキ、脚部横ナデ	
26	埴輪上層	土師器 低脚坏	1/4	口径(17.6) 器高(7.1)	良好	黄色～灰褐色 黄褐色～橙色	密 角閃石・雲母	外面：受部縦ヘラミガキ、接合部ヘラケズリ 内面：受部ヘラケズリ→ヘラミガキ、接合部以下横ヘラケズリ	内面口縁部～外面煤付着
27	埴輪中	手焙形 上器	把手部	幅：10	良	灰褐色	密	外面：ヘラミガキ	

第８表　１区SI06出土土器観察表（第27図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埴輪直上	土師器 壺	LI縁～体部1/4 HI底1/3	LI径(12.2) 器高(11.0)	良	褐橙色	密 砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部斜・縦ハケメ 内面：LI縁部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ	
2	埴輪直上	土師器 壺	LI縁～胴部1/3 HI底1/4	LI径(16.4) 器高(8.6)	良	黄灰白色	密	外面：口頸部横ナデ、胴部縦ハケメ→横状工具端部による刺立て文様LI上 内面：LI縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	外面煤付着
3	埴輪中層	土師器 壺	LI頸部 1/4	LI径(15.8) 器高(13.9)	良	暗灰白色	密	外面：口頸部横ナデ、胴部縦ハケメ 内面：LI頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	
4	埴輪中	土師器 壺	頸片	LI径(14.2) 器高(5.7)	良	灰色	密	外面：口頸部横ナデ、胴部以下縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部以下横ハケメ	
5	埴輪上層	土師器 鉢？	3/4	口径：17.0 器高：5.9 底径：3.2	良好	暗灰白色	密	外面：指頭圧痕→ハケメ→ナデ 内面：ハケメ	黒斑 内外面一部煤付着
6	埴輪中	土師器 壺	体部1/3	器高(17.9)	良	黄灰白色	密	外面：ハケメ 内面：ヘラケズリ	外面下半煤付着 内底黄灰化物付着
7	埴輪直上	土師器 高坏	坏部	LI径：29.6 器高(7.4)	良	灰色	密	外面：口縁部ヘラミガキ、坏底部横ヘラミガキ 内面：縦・横ヘラミガキ	内面煤付着
8	埴輪直上	土師器 高坏	脚部	器高(7.2) 底径(20.8)	良	黄灰白色	密	外面：脚柱部ハケメ→ナデ、脚部ナデ 内面：脚柱部ヘラケズリ、脚部横ハケメ→ナデ 脚部穿孔4箇所	
9	埴輪上層	土師器 高坏	脚部	器高(7.5) 底径：10.2	良	黄灰白色	密	外面：脚柱部縦ハケメ→ヘラミガキ、脚部横ハケメ→ナデ 内面：脚柱部縦ハケメ→ヘラミガキ、脚部横ハケメ→ナデ	
10	埴輪中	土師器 高坏	脚部	器高：7.2 底径：12.4	良	黄灰白色	密 砂粒	外面：脚柱部縦ハケメ→ヘラミガキ、脚部横ハケメ→ナデ 内面：脚柱部縦ハケメ、脚部横ハケメ→ナデ	
11	埴輪中	土師器 高坏	坏部1/4	LI径(16.2) 器高(4.5)	良好	橙褐色	密	外面：LI縁部部横ナデ、坏底部・縦ヘラケズリ 内面：坏部縦・横ヘラミガキ	内底四一部煤残
12	埴輪中	土師器 低脚坏	1/2	LI径(15.2) 器高：5.3 底径：5.5	良	橙色	密	外面：坏部横・斜めハケメ、脚部横ナデ 内面：坏部縦・横ヘラミガキ、脚部横ナデ	内面脚部ヘラ状工具による線刻3条
13	埴輪中	土師器 脚部器台	口縁部欠損	LI径：19.6 器高：9.6 底径：16.3	良	黄灰白色	密	外面：受部縦ヘラミガキ、接合部～脚部横ナデ 内面：受部横ナデ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横ヘラケズリ	外面受部煤付着 内面受部煤付着
14	埴輪中	土師器 脚部器台	口縁部欠損	LI径：19.9 器高：9.1 底径：16.8	良	黄灰白色	密 石英	外面：ナデ 内面：受部横ナデ、接合部横ヘラケズリ→縦ナデ、脚部横ヘラケズリ→縦ナデ	
15	埴輪上層	土師器 脚部器台	破片	LI径(22.4) 器高：5.3	良好	灰褐色	密 石英	外面：ナデ 内面：横ヘラミガキ	
16	埴輪上層	土師器 鉢	底片部 1/5	脚径(12.6) 器高(10.2)	良	黄灰白色	密 砂粒	外面：底部縦ナデ、体部ヘラケズリ→ナデ 内面：底部部ナデ、体部ヘラ状工具痕・横ヘラケズリ	内面煤付着

第９表　１区SI06出土石器観察表（第27図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種器	遺存状態	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	石材	備考
17	埴輪中	台石	完形	149	82	49	832.0	角閃石安山岩	表打欠幅53mm・裏打欠幅42mm
18	埴輪中	砥石	完形	70	54	46	320	砥石	

第10表　２区SI02出土土器観察表（第30図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埴輪上層	土師器 壺	口縁1/4	口径(13.8) 器高(5.9)	良	褐色	密 石英・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	
2	埴輪中層	土師器 小型丸底壺	胴部1/3	LI径：7.0 胴径(10.0)	良	褐色	密 雲母・石英	外面：LI縁部横ナデ、胴部以下縦ヘラミガキ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ、体部ナデ	
3	埴輪中	土師器 低脚坏	1/5	LI径(16.5) 器高(3.7)	良好	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部部横ナデ、坏部横ヘラミガキ 内面：坏部縦・横ヘラミガキ	
4	埴輪下層	土師器 高坏	脚部破片	器径(1.7) 底径(14.6)	良好	灰褐色	密	外面：脚部縦・横ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：脚柱部縦ヘラケズリ、脚部指頭圧痕・横ナデ	
5	埴輪中層	土師器 器形器台	脚部破片	脚径(1.5) 底径(14.6)	良	橙褐色	密	外面：裏部横ナデ 内面：脚柱部縦ヘラケズリ、脚部横ナデ	

第11表　2区SI03出土土器観察表（第32図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堀跡中層	土師器甕	1/3	口径:13.0 器高:19.9 胴径:18.0	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部縦状工具痕による列点文6条、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部縦・横ヘラケズリ、体部下半指頭調整	
2	堀跡中層	土師器甕	1/2	口径:13.6) 器高:20.3 胴径:21.0)	良	橙色	密 雲母・砂粒	外面：口縁～胴部横ナデ、胴部縦状工具による斜線文、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→横ヘラケズリ	内外面一部煤付着
3	堀跡中層	土師器甕	完形	口径:16.2 器高:19.4 胴径:20.4	良	黄灰白色	密	外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部縦状工具による斜線文1重、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→横ヘラケズリ	外面体部煤付着
4	堀跡中層	土師器甕	1/3	口径:14.0) 器高:16.7) 胴径:19.4)	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、胴部縦状工具による斜線文、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部下半横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→横ヘラケズリ	外面体部ヘラによる線刻2箇
5	堀跡上層	土師器甕	2/3	口径:12.0) 胴径:13.1 胴径:13.8)	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁～胴部横ナデ、胴部縦状工具による斜線文、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→横ヘラケズリ	外面体部下半炭化物付着
6	堀跡中層	土師器甕	破片	口径:16.0) 器高:(7.1)	良好	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、胴部縦状工具による波状文2条 内面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	
7	堀跡中下層	土師器甕	破片	口径:(14.2) 器高:(4.1)	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面：横ナデ 内面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	
8	堀跡中層	土師器壺	口縁～胴部破片	口径:(16.6) 器高:(9.8)	良	灰褐色	密 雲母	外面：口頸部横ナデ、胴部以下横・縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ	内外面口頸部煤付着
10	堀跡中層	土師器甕	破片	口径:12.6 器高:(9.2)	良	黄灰白色	密 雲母・石英	外面：口縁～胴部横ナデ、胴部縦状工具による斜線文→波状文、体部横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ	
11	堀跡上層	土師器甕	破片	口径:(14.2) 器高:(5.2)	良好	橙色	密 砂粒	外面：横ナデ 内面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	外面・内面頸部煤付着
11	堀跡中層	土師器甕	口縁部破片	口径:(14.5) 器高:(4.7)	良好	橙褐色	密	外面：横ナデ 内面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	外面煤付着
12	堀跡上層	土師器甕	破片	口径:(17.0) 器高:(5.4)	良	灰褐色	密	外面：横ナデ 内面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	外面口縁部煤付着
13	堀跡中層	土師器甕	口縁～胴部破片	口径:(15.8 器高:(5.5)	良	灰褐色	密	外面：口頸部横ナデ、胴部以下横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ	内面頸部以下煤付着
14	堀跡中層	土師器甕	口縁～胴部破片	口径:(9.0) 胴径:(14.1)	良	灰褐色	密 白色粒	外面：縦・横ヘラミガキ 内面：体部下半横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→横ヘラケズリ	
15	堀跡中層	土師器小型丸底鉢	体部破片	器高:(2.7) 胴径:(10.0)	良	黒茶色	密 砂粒	外面：横ヘラミガキ 内面：頸部横ナデ、胴部縦ヘラケズリ→ナデ、体部ナデ	内外面煤付着
16	堀跡中層	土師器高坏	坏部	口径:19.6 器高:(5.8)	良好	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：坏部縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面：坏部横・縦ヘラミガキ 接合部円盤充填法	
17	堀跡中層	土師器高坏	接合部	器高:(2.5)	良	淡褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横ハケメ、坏部縦ナデ 内面：坏部横ヘラミガキ、脚部横ナデ 接合部円盤充填法	
18	堀跡下層	土師器高坏	1/3	口径:(11.4) 器高:(7.8)	良	橙色	密	外面：坏部横ヘラミガキ、脚部縦・横ヘラミガキ 内面：口縁部横ナデ、坏部縦・横ヘラミガキ、脚部横ヘラケズリ、脚部縦ナデ 接合部円盤充填法	
19	堀跡中層	土師器高坏	坏部1/2	口径:(8.2) 器高:(7.1) 脚径:(11.0)	良	橙褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横撫ナデ、坏部縦ヘラミガキ 内面：口縁部横撫ナデ、坏部ヨコ方向調整→ナデ、坏部下半ナデ	ブランデーグラス形
20	堀跡中層	土師器高坏	坏部1/2	器高:(2.1) 脚径:(7.6)	良	橙色	密 石英・砂粒	外面：坏部縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面：坏部縦・横ナデ、坏底部ナデ	
21	堀跡上層	土師器鉢脚部	坏部1/4	口径:(15.6) 器高:(3.0)	良	橙褐色	密 石英	外面：口縁部撫ナデ、坏部縦・横ヘラミガキ 内面：坏部横ヘラミガキ	内外面赤彩
22	堀跡中層	土師器鼓形器台	2/3	口径:(12.9) 器高:(7.0) 底径:12.3	良好	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、受部縦ヘラミガキ、接合部ナデ、脚部縦ハケメ 内面：受部横・横ヘラミガキ、接合部ナデ、脚部横ヘラケズリ、脚端部横ナデ	
23	堀跡中層	土師器鼓形器台	完形	口径:19.8 器高:10.0 底径:16.7	良好	橙褐色	密 雲母・石英	外面：横ナデ、受部上半布目状圧痕 内面：受部横ヘラミガキ、接合部ナデ、脚部横ヘラケズリ、脚端部横ナデ	

第12表　2区SI03出土金属製品観察表（第33図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	部位残存率	材質	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	錆度	メタル度	ランク	重量(g)	備考
24	堀跡上層	刀子	ほぼ完形	鉄	全長:(23) 刃部:37 茎部:(16)	刃部:11 茎部:6	刃部:3 茎部:3	4	錆化(A)	5	6.6	茎部木質付着
25	堀跡中層	板状不明品	—	鉄	53	4	4	5	錆化(A)	3	29	
26	堀跡上層	釘	完形	鉄	37	3	2	2	錆化(A)	3	14	
27	堀跡上層	帯状構状不明品	—	鉄	40	8	2	5	錆化(A)	2	49	

第13表　2区SI03出土石器観察表（第33図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	遺存状態	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	石材	備考
28	堀跡上層	石錘	1/2	(123)	82	60	968.2	玄武岩	芯打欠幅51mm 石打欠幅41mm
29	堀跡中層	円石	1/2	(81)	62	33	237.6	花崗閃緑岩	

第14表　2区SI04出土土器・土製品観察表（第35～42図）

図版No.	遺構・地区出土層位	器種	成形・調整法	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	溝跡上層	土師器 皿	口縁部 1/2	口径:(28.0) 器高:(7.7)	良好	橙色	密 砂粒	外面：口縁部横ナデ、広い縦ヘラミガキ、底部上半横ヘラミガキ、脚部下半縦ハケメ→石状工具による刺突文 内面：口縁部縦→横ヘラミガキ、脚部指頭調整→ナデ	外面口縁部・内面底付着
2	溝跡上層	土師器 皿	口縁～胴部 1/4	口径:(20.0) 器高:(3.7)	良好	黄灰白色～黒茶色	密 滑石	外面：口頸部横ナデ、頸部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整→ナデ、胴部横ヘラケズリ	内外面煤付着
3	溝跡下層	土師器 坩	口縁～体部 1/2	口径:(24.2) 胴部径:(29.5) 器高:(28.7)	良	灰黄白色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、頸部方形突帯貼付、体部横・斜のハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整→ナデ、体部横ヘラケズリ→ヘラ状工具によるナデ	
4	溝跡上層	土師器 壺	口縁部	口径:(23.3) 器高:(10.8)	良	淡紅色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部縦ハケメ・方形突帯貼付 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整、頸部下半ナデ	
5	溝跡上層	土師器 小型甕	口縁～体部	口径:17.6 器高:(20.0) 胴径:(20.8)	良	灰褐色	密 白色砂	外面：口縁部横ナデ、頸部縦・横ハケメ、肩部横状工具による刺突文、胴部縦・横ヘラミガキ 内面：口縁部ナデ、口縁下半～胴部指頭調整→ナデ、体部横ヘラケズリ	
6	溝跡上層	土師器 皿	口縁～体部 1/2	口径:(15.1) 器高:(6.6)	良	黄灰白色	密 石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ、肩部横状工具による刺突文3条 内面：口縁部横ナデ、胴部指頭調整、体部横ヘラケズリ	
7	溝跡下層	土師器 皿	口縁部 1/8	口径:(14.4) 器高:(4.2)	良	黄灰白色	密	外面：口頸部横ナデ 内面：口縁部横ナデ、口縁部下半指頭調整→ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	
8	溝跡上層	土師器 皿	口縁部 1/8	口径:(16.2) 器高:(6.9)	良	黄色	密 砂粒	外面：口頸部横ナデ、口縁部ヘラ状工具による刺突4条、頸部以下指頭押による刺突文 内面：口頸部横ナデ	内外面一部煤付着
9	溝跡上層	土師器 坩	口縁部 1/3	口径:(15.8) 器高:(3.4)	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面：口頸部横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	
10	溝跡中	土師器 小型壺	破片	口径:(10.2) 器高:(4.5)	良	灰褐色	密	外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部縦ハケメ→肩状工具刺突による刺突文1箇所、口縁部ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	
11	溝跡最上層	土師器 小型甕	口縁部 1/8	口径:(10.8) 器高:(4.9)	良好	黒茶色	密 雲母	外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部縦ハケメ→ナデ、胴部横ヘラケズリ	
12	溝跡上層	土師器 小型甕	口縁～胴部 1/3	口径:(10.4) 器高:(4.5)	良	灰茶色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	外面胴部一部煤付着
13	溝跡上層	土師器 皿	胴部	器高:(6.9)	良	黄色	密 石英・白色粒	外面：胴部横ハケメ→北端区画の箆状工具による連続刺突文 内面：指頭圧痕調整、胴部以下横ヘラケズリ	外面一部煤付着
14	溝跡上層	土師器 小型丸底鉢	破片	口径:(13.4) 器高:(4.3)	良好	橙褐色	密 石英	外面：横ナデ 内面：横ナデ	外面一部煤付着
15	溝跡下層	土師器 小型丸底鉢	破片	口径:(13.7) 器高:(3.3)	良	橙色～灰黒色	密 石英	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、体部粗い斜めヘラミガキ	
16	溝跡上層	土師器 小型丸底鉢	1/2	口径:(10.0) 器高:(3.5)	良好	橙褐色	密 雲母	外面：口縁部横ナデ、体部縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面：口縁端部横ナデ、口縁部以下横ヘラミガキ	
17	溝跡上層	土師器 小型丸底鉢	1/2	口径:(9.7) 器高:(7.6) 胴径:(9.4)	良好	橙色～灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、口縁～手以下縦ハケメ→横ヘラミガキ、底部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→横ヘラミガキ	外面体部煤付着
18	溝跡上層	土師器 小型丸底鉢	1/2	口径:(7.2) 器高:(4.1)	良	橙褐色	密 雲母・砂粒	外面：体部縦ハケメ→横ヘラミガキ、底部縦・横ハケメ 内面：頸部横ナデ、体部指頭調整→ヘラミガキ	
19	溝跡上層	土師器 小型丸底鉢	1/3	口径:(11.5) 器高:(5.3)	良好	橙褐色	密 雲母	外面：口縁部横ナデ、口縁部縦ハケメ→ヘラミガキ、底部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	
20	溝跡上層	土師器 甕	口縁部 破片	口径:(15.3) 器高:(8.0) 胴径:(20.0)	良	灰茶色～褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口頸部横ナデ、体部上半指頭調整→縦・横ヘラケズリ、体部下半横・斜ヘラケズリ 内面：口頸部横ナデ、体部指頭調整→横ヘラケズリ	単独 外面体部下半煤・炭化物付着
21	溝跡下層	土師器 甕	1/2	口径:(16.0) 器高:(20.3) 胴径:(19.0)	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部縦・横・斜のハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ、体部指頭調整→斜めヘラケズリ	外面体部煤付着
22	溝跡上層	土師器 甕	1/2	口径:(12.3) 器高:(8.7) 胴径:(16.1)	やや良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→斜めヘラケズリ	外面一部煤付着
23	溝跡上層	土師器 甕	2/3	口径:(15.0) 器高:(9.1) 胴径:(23.9) 底径:(4.0)	良	灰色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→斜めヘラケズリ	外面体部煤付着
24	溝跡下層	土師器 甕	ほぼ完形	口径:14.2 器高:23.2 胴径:19.8	良	黄灰白色	密	外面：口頸部横ナデ、体部縦ハケメ・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→斜めヘラケズリ	外面体部煤付着
25	溝跡下層	土師器 甕	ほぼ完形	口径:13.8 器高:22.5 胴径:19.2	やや良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部指頭調整、体部上半横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→斜めヘラケズリ	外面体部煤付着
26	溝跡下層	土師器 甕	1/2	口径:(12.3) 器高:(20.0) 胴径:(18.0)	良好	橙褐色	密 雲母・石英	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部縦ハケメ 内面：口縁部～胴部横ナデ、体部横ヘラケズリ、底部指頭調整	外面体部下半炭化・煤付着
27	溝跡下層	土師器 甕	1/2	口径:(14.2) 器高:(23.7) 胴径:(20.6)	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦ハケメ・横ハケメ、胴部横状工具痕跡による刺突文5度ヘラ状工具端部による刺突文3箇所 内面：口頸部横ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→斜めヘラケズリ	外面体部煤付着
28	溝跡上層	土師器 甕	2/3	口径:(14.8) 器高:(24.5) 胴径:(23.6)	良	灰茶色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部縦・斜の・縦ハケメ、胴部横状工具による刺突文（石刃状） 内面：口頸部横ナデ、胴部指頭調整→強ヘラケズリ、体部斜めヘラケズリ	外面体部下半炭化物付着
29	溝跡中	土師器 甕	破片	口径:(15.4) 器高:(4.7)	良	橙色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部・胴部箆状工具による直線文→ナデ 内面：横ナデ	外面煤付着

30	厚鉄上層	上鉄器 甕	鉄片	口径(19.4) 器高(-)	良	黒茶色	密 角閃石・雲母 ・石英・砂粒	外面：口縁部横伏工具による直線文→ナデ、頸部ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部横ヘラミガキ	外面口縁部煤付着		
31	厚鉄上層	土鉄器 蓋	口鉄器 1/5	口径(15.6) 撮高(5.5)	良	黄灰白色	密 雲母	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頂部無調整、摩滅端ヘラケズリ	外面煤付着		
32	厚鉄上層	土鉄器 蓋	口は 完形	口径(14.6) 撮高(3.7) 側径(21.7)	良	褐色	密 砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケナデ 内面：口縁部横ナデ、頂部無調整、摩滅端ヘラケズリ、体部横ヘラケズリ、底部無調整	外面煤付着		
33	厚鉄上層	土鉄器 蓋	口は 完形	口径(15.1) 撮高(23.4) 側径(23.8)	良好	明褐色	密 雲母・石英	外面：口縁部→頂部横ナデ、体部上半横ハケナデ、体部下半縦回転ヘラ削り 内面：口縁部→頂部横ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半縦回転ヘラ削り	外面煤付着		
34	厚鉄上層	土鉄器 蓋	1/2	口径(14.8) 撮高(24.9) 側径(23.8)	良	褐色	密	外面：口縁部→頂部横ナデ、体部縦・斜め・縦ハケナデ 内面：口縁部横ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部中位以下指頭調整→斜めヘラケズリ	外面体部煤付着		
35	厚鉄下層	土鉄器 蓋	2/3	口径(14.0) 撮高(23.3) 側径(21.6)	良	褐色	密	外面：口縁部→頂部横ナデ、体部縦・斜め・縦ハケナデ 内面：口縁部横ナデ、体部上半指頭調整→横ヘラケズリ、体部斜めヘラケズリ、底部指頭調整→ヘラケズリ			
36	厚鉄下層	土鉄器 蓋	口縁一部	口径(14.7) 撮高(25.7) 側径(22.8)	良	灰褐色	密 雲母・石英 白色粒	外面：口縁部→頂部横ナデ、体部指頭調整→横・斜めハケナデ 内面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→横・斜めヘラケズリ	外面煤・炭化物付着		
37	厚鉄下層	土鉄器 蓋	2/3	口径(14.7) 撮高(21.9) 側径(23.0)	良	黄灰白色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横・斜めハケナデ 内面：口縁部横ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部中位以下指頭調整→斜めヘラケズリ	外面煤付着		
38	厚鉄下層	土鉄器 蓋	口縁一部	口径(13.0) 器高(-)(9.5)	良	橙褐色	密 雲母・石英	外面：口縁部横ナデ、肩部以下横・縦ハケナデ 内面：口縁部横ナデ、肩部以下横ヘラケズリ	外面煤付着		
39	厚鉄上層	土鉄器 蓋	口縁一部 1/8	口径(12.1) 器高(-)(8.6)	良	灰褐色	密 白色粒	外面：口縁部横ナデ、肩部以下横・縦ハケナデ→ヘラ状工具による直線文1条・縦方向による刺突文3個以上 内面：口縁部横ナデ、肩部以下横ヘラケズリ			
40	厚鉄上層	土鉄器 蓋	口縁一部 1/8	口径(15.8) 器高(-)(6.8)	良	灰褐色	密 砂粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頂部以下横ヘラケズリ	内外面口縁部煤付着		
41	厚鉄上層	土鉄器 蓋	口縁一部 1/2	口径(13.6) 器高(-)(7.2)	良	黄灰白色	密 砂粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頂部以下横ヘラケズリ			
42	厚鉄下層	土鉄器 蓋	口縁一部 2/3	口径(14.0) 器高(-)(7.2)	良	黄灰白色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横ナデ、肩部以下横・縦ハケナデ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ			
43	厚鉄下層	土鉄器 蓋	口縁一部 1/3	口径(14.5) 器高(-)(7.1)	良	暗灰白色	密 雲母・石英・ 砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケナデ 内面：口縁部横ナデ、頂部以下横ヘラケズリ	外面煤付着		
44	厚鉄下層	土鉄器 蓋	口縁一部 2/3	口径(14.3) 器高(-)(7.1)	良	黄灰白色	密 砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケナデ 内面：口縁部横ナデ、肩部以下横ヘラケズリ			
45	厚鉄下層	土鉄器 蓋	口縁一部 1/3	口径(15.0) 器高(-)(7.7)	良	灰褐色	密 白色粒・砂粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頂部以下横ヘラケズリ	外面煤付着		
46	厚鉄上層	土鉄器 蓋	口縁一部 1/6	口径(14.0) 器高(-)(7.1)	良	褐色	密 角閃石・雲母 ・砂粒	外面：口縁部横ナデ、肩部横ハケナデ 内面：口縁部横ナデ、頂部以下横ヘラケズリ	外面煤付着		
47	厚鉄下層	土鉄器 蓋	口縁一部 鉄部片	口径(15.5) 器高(-)(8.9)	良	赤褐色	密 白色粒	外面：口縁部横ナデ、肩部横ハケナデ 内面：口縁部横ナデ、頂部指頭調整、摩滅端ヘラケズリ			
48	厚鉄上層	土鉄器 蓋	口縁一部 1/4	口径(13.0) 器高(-)(7.5)	良	赤褐色	密	外面：口縁部横ナデ、肩部横ハケナメ→頂部上半部による刺突文3個 内面：口縁部横ナデ、肩部横ヘラケズリ			
49	厚鉄上層	土鉄器 蓋	口縁一部 2/3	口径(15.6) 器高(19.4) 側径(25.1)	良	褐色	密	外面：口縁部横ナデ、体部縦・斜めハケナデ 内面：口縁部横ナデ、頂部以下横ヘラケズリ			
50	厚鉄上層	土鉄器 蓋	2/3	口径(14.7) 器高(20.8) 側径(22.3)	良	褐色	密 雲母・石英・ 砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・斜めハケナデ 内面：口縁部横ナデ、頂部下半指頭調整、体部横ヘラケズリ			
51	厚鉄上層	土鉄器 蓋	口縁一部	口径(15.1) 器高(16.3) 側径(22.0)	良	褐色	密 雲母・石英・ 砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・斜めヘラケズリ 内面：口縁部横ナデ、頂部下半指頭調整、体部横ヘラケズリ	外面頂部煤付着		
52	厚鉄上層	土鉄器 蓋	口縁一部 1/2	口径(14.2) 器高(14.3) 側径(20.7)	良	褐色	密 雲母・石英・ 砂粒	外面：口縁部→頂部横ナデ、体部縦・斜めハケナメ、頂部ヘラ状工具痕部による刺突文3個以上 内面：口縁部横ナデ、頂部以下横ヘラケズリ→ナデ			
53	厚鉄下層	土鉄器 蓋	口縁一部 1/2	口径(14.0) 器高(20.0) 側径(22.8)	良	褐色	密 白色粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケ 内面：口縁部横ナデ、頂部以下横ヘラケズリ	外面煤付着		
54	厚鉄上層	土鉄器 蓋	1/4	口径(14.4) 器高(17.4) 側径(21.3)	良	灰褐色	密 雲母・石英・ 砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・斜めハケ 内面：口縁部横ナデ、肩部以下横ヘラケズリ	表面 外面煤付着 内面体部下半一部 炭化物付着		
55	厚鉄下層	土鉄器 蓋	口縁一部	口径(16.0) 器高(14.5) 側径(23.6)	やや良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケ 内面：口縁部横ナデ、頂部→肩部指頭調整→ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着		
56	厚鉄下層	土鉄器 蓋	1/2	口径(13.6) 器高(20.0) 側径(20.0)	良	褐色	密 雲母・石英 砂粒	外面：口縁部→肩部横ナデ、体部横ハケ 内面：口縁部横ナデ、肩部以下横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→横ヘラミガキ	外面煤付着		
57	厚鉄下層	土鉄器 蓋	1/3	口径(12.8) 器高(10.7)	良	褐色	密 雲母・石英・ 砂粒	外面：口縁部→肩部横ナデ、体部横ハケ 内面：口縁部横ナデ、肩部以下横ヘラケズリ	外面煤付着		
58	厚鉄上層	土鉄器 蓋	口縁一部 鉄1/3	口径(16.6) 器高(7.8)	良	褐色	密 砂粒	外面：口縁部横ナデ、肩部横ハケ 内面：口縁部横ナデ、頂部以下横ヘラケズリ			
59	厚鉄下層	土鉄器 蓋	口縁一部 7/8	口径(14.0) 器高(-)(5.3)	良	黄灰白色	密 雲母・白色粒	外面：内面口縁部横ナデ、肩部横ハケ 内面：口縁部横ナデ、頂部横ヘラケズリ			
60	厚鉄上層	土鉄器 蓋	口縁部 1/4	口径(14.4) 器高(-)(4.7)	良	褐色	密	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頂部以下横ヘラケズリ	内外面煤付着		
61	厚鉄下層	土鉄器 蓋	口縁一部 鉄1/4	口径(14.4) 器高(-)(7.1)	良	灰褐色	密 雲母・白色粒 ・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケ 内面：口縁部横ナデ、頂部以下横ヘラケズリ			
62	厚鉄上層	土鉄器 蓋	口縁一部 鉄1/8	口径(13.4) 器高(-)(8.4)	良	黄灰白色	密 白色粒・砂粒	外面：口縁部→肩部横ナデ、体部縦・斜めハケ 内面：口縁部横ナデ、頂部以下横ヘラケズリ			
63	厚鉄上層	土鉄器 蓋	口縁一部 鉄1/2	口径(14.4) 器高(-)(9.5)	良好	灰色	密 雲母	外面：口縁部横ナデ、体部横ハケ 内面：口縁部横ナデ、肩部以下横ヘラケズリ			

64	埋設上層	土師器 甕	口縁一胴部1/3	口径(14.2) 器高(7.8)	良	褐色～黒褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケ 内面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ		内外面煤付着
65	埋設下層	上師器 甕	口縁一胴部5/8	口径:13.4 器高:(7.8)	良	褐色	密 角閃石・石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、胴部以下縦ハケ 内面：口頸部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ		
66	埋設下層	土師器 甕	口縁一胴部1/8	口径(13.4) 器高:(7.5)	良好	褐色	密 砂粒	外面：口頸部横ナデ、頸部以下縦・縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ		外面口縁部煤付着
67	埋設上層	上師器 甕	口縁一体部	口径:17.5 器高:(16.1) 胴径:(21.3)	良	灰褐色	密	外面：口頸部横ナデ、体部横・斜めハケメ、胴部ヘラ状工具による波状文1条 内面：口頸部横ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半指圧痕整一斜めヘラケズリ		外面煤付着
68	埋設上層	土師器 甕	口縁一胴部1/2	口径:14.6 器高:(12.1)	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部横・縦ハケメ、胴部櫛状工具部による斜凹文1個以上 内面：口頸部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ		
69	埋設下層	土師器 甕	口縁一胴部1/2	口径:(13.8) 器高:(11.3)	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部横ハケメ、胴部櫛状工具部による列点文4個以上 内面：口頸部横ナデ、胴部以上縦ヘラケズリ		
70	埋設上層	土師器 甕	口縁一体部2/3	口径:(14.4) 器高:(14.9) 胴径:(22.4)	良好	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部横ハケ 内面：口頸部横ナデ、胴部指頭圧痕～横ヘラケズリ、体部横ヘラケズリ		外面煤付着
71	埋設下層	土師器 甕	口縁一胴部2/3	口径:(16.4) 器高:(8.8)	良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、胴部横ハケメ～縦状工具による波状文 内面：口頸部横ナデ、胴部以下縦ヘラケズリ		
72	埋設下層	土師器 甕	口縁一胴部2/3	口径:15.0 器高:(7.8)	良好	黄灰白色	密 砂粒	外面：口頸部横ナデ、胴部以下縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ		
73	埋設上層	土師器 甕	口縁一体部1/3	口径:(16.4) 器高:(12.8)	良好	褐色	密 雲母・砂粒	外面：口頸部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ		
74	埋設上層	上師器 甕	口縁一体部	口径(14.6) 器高:(13.2)	良	褐色	密 雲母・石英	外面：口頸部横ナデ、胴部ヘラ状工具による波状文1条、体部縦・斜めハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		外面煤付着
75	埋設上層	上師器 甕	口縁一胴部	口径:14.0 器高:(7.3)	良	黄灰白色	密	外面：口頸部横ナデ、胴部縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		
76	埋設上層	上師器 甕	口縁一体部1/8	口径:(14.8) 器高:(12.5)	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面：口頸部横ナデ、胴部部以下横・斜めハケメ、口縁部～口縁部ヘラ状工具による波状文1条 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ		口縁部部煤付着
77	埋設下層	上師器 甕	1/2	口径:14.2 器高:(15.6) 胴径:(21.2)	良	褐色	密 雲母・石英	外面：口頸部横ナデ、体部横・斜めハケメ、胴部櫛状工具痕跡による列点文6個 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ→ナデ		
78	埋設下層	上師器 甕	口縁一体部2/3	口径:14.3 器高:(15.4) 胴径:(22.3)	良好	褐灰色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ		
79	埋設上層	土師器 甕	口縁一体部	口径:16.2 器高:(12.4) 胴径:(21.4)	良好	橙褐色	密 角閃石・石英・小石粒・白色粒	外面：口頸部横ナデ、胴部縦ハケ～櫛状工具痕部による列点（～6個）、体部指頭圧痕整～ナデ、体部横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部指頭圧痕～ナデ、体部横ヘラケズリ		外面煤・炭化物付着
80	埋設下層	土師器 甕	口縁一体部	口径:(16.6) 器高:(13.8) 胴径:(20.0)	良	灰褐色	密 白色粒	外面：口頸部～胴部横ナデ、体部縦・斜め・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		外面煤付着
81	埋設下層	土師器 甕	口縁一体部1/3	口径:(15.1) 器高:(16.1) 胴径:(21.4)	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ		外面体部下半煤付着
82	埋設下層	土師器 甕	1/5	口径:(16.6) 器高:(8.8)	良	灰褐色	密 雲母・白色粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		外面一部煤付着
83	埋設上層	上師器 甕	口縁一胴部1/2	口径:(13.3) 器高:(9.8)	良好	橙褐色	密 石英	外面：口頸部横ナデ、胴部以下縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		外面煤付着
84	埋設上層	土師器 甕	口縁一胴部2/3	口径:(15.6) 器高:(10.0)	良	淡赤色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、胴部縦・横ハケメ～櫛状工具部による列点文2列以上 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		
85	埋設上層	土師器 甕	口縁一胴部2/3	口径:(15.8) 器高:(9.5)	良好	褐色	密 雲母・砂粒	外面：口頸部横ナデ、胴部以下縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ		外面口縁部～頸部付着
86	埋設下層	土師器 甕	口縁一胴部3/3	口径:(15.0) 器高:(9.2)	良好	橙褐色	密 雲母・砂粒	外面：口頸部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ、口頸部櫛状工具による波状文～ヘラ状工具による列点文1個以上 内面：口頸部横ナデ、頸部指頭圧痕整～ナデ、口頸部横ヘラケズリ		外面煤付着
87	埋設下層	土師器 甕	口縁一体部1/2	口径:(13.8) 器高:(13.3) 胴径:(22.6)	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部横ハケ・斜め・縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下指頭圧痕整～横ヘラケズリ		外面煤付着
88	埋設上層	土師器 甕	口縁一胴部1/4	口径:(16.6) 器高:(13.5)	良	褐色	密 雲母・砂粒	内外面：剥離・摩耗不明		
89	埋設上層	土師器 甕	口縁一胴部1/4	口径:202 器高:(12.3)	良	黄灰白色	密 雲母・砂粒	外面：口頸部横ナデ、口頸以下縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ		
90	埋設上層	上師器 甕	口縁一胴部1/3	口径:(18.8) 器高:(9.5)	良	褐色	密 石英	外面：口頸部横ナデ、胴部以下縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部指頭圧痕、胴部以下横ヘラケズリ		外面煤付着
91	埋設上層	上師器 甕	口縁一体部1/4	口径:(15.0) 器高:(10.7)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口頸部～胴部横ナデ、胴部櫛状工具による波状文、体部横・縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部下半指頭圧痕整～ナデ、胴部横ヘラケズリ		外面煤・炭化物付着
92	埋設上層	上師器 甕	口縁一体部1/3	口径:12.4 器高:(8.2)	良好	褐色	密 砂粒	外面：口頸部～胴部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		内面・外面口縁部煤付着
93	埋設上層	土師器 甕	口縁一胴部1/8	口径:(14.4) 器高:(4.9)	良好	褐色	密 石英	外面：横ナデ 内面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ		
94	埋設上層	土師器 甕	口縁一胴部1/2	口径:13.7 器高:(8.5)	良好	褐色	密 雲母・石英	外面：横ナデ 内面：口頸部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ		外面煤付着
95	埋設上層	土師器 甕	口縁一胴部1/8	口径:12.6 器高:(4.7)	良	褐色	密 雲母	外面：口頸部横ナデ、胴部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ		
96	埋設上層	土師器 甕	口縁一体部1/2	口径:(16.8) 器高:(13.7) 胴径:(20.0)	良	灰褐色	密 角閃石・砂粒	外面：口頸部～胴部横ナデ、体部斜め・横・縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横・縦ヘラケズリ		外面煤付着
97	埋設上層	土師器 甕	口縁一胴部1/3	口径:(20.0) 器高:(7.1)	良	褐色	密 雲母・白色粒	外面：口頸部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ		外面煤付着

98	堀砂上層	上部器蓋	口縁一層部1/4	口径(16.2) 器高(6.6)	良	灰褐色	密 石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、胴部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部横調整→横ヘラケズリ		
99	堀砂上層	土師器蓋	1/8	口径(13.6) 器高(3.4)	良	黒茶色	密 雲母	外面：口縁部下端面一横ナデ、胴部横ナデ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ		
100	堀砂下層	土師器蓋	2/3	口径(13.2) 器高(14.4) 脚径(15.1)	良	褐色	密 角閃石・雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→横ヘラケズリ	外面体部煤・民化物付着	
101	堀砂下層	土師器蓋	口縁完形	口径：92 器高：9.9 脚径：10.2	良	黄灰白色	密 白色粒	外面：口縁部横ナデ、体部以下縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→横ヘラケズリ		
102	堀砂上層	土師器蓋	口縁一層部1/2	口径(10.8) 器高(11.7) 脚径(15.8)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部縦ヘラミガキ、胴部横ナデ、体部横ヘラミガキ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面体付煤	
103	堀砂上層	土師器蓋	完形	口径：11.2 器高：13.5 脚径：14.3	良	褐色	密	外面：口縁部横ナデ→縦ヘラミガキ、胴部横ナデ、体部上半縦ヘラミガキ、体部下半指頭調整→ヘラケズリ 内面：口縁部横ヘラミガキ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→ヘラケズリ		
104	堀砂下層	土師器皿	2/3	口径：11.2 器高：15.4 脚径(14.0)	良	橙褐色	密 砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部下半斜め・縦ハケメ、胴部横状L貝殻縦に2列点文4段 内面：口縁部横ナデ、胴部ヘラケズリ→ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部2～3段部調整→横ヘラケズリ	外面体部煤付着	
105	堀砂上層	土師器皿	1/3	口径(10.8) 器高(1.95) 脚径(12.2)	良好	褐色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部横ナデ、体部横・縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ハケメ		
106	堀砂上層	土師器皿	口縁一層部1/10	口径(10.0) 器高(1.75)	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横ナデ、口縁部縦・縦ヘラミガキ、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ		
107	堀砂下層	上師器高坏	口縁完形	口径：16.4 器高：12.1 脚径：9.8	良好	橙褐色	密 角閃石・石英・白色粒	外面：坏部横ヘラミガキ、坏底部ハケメ、脚柱部縦・横ヘラミガキ、裾部横ナデ 内面：坏底部ヘラケズリ、脚柱部横ヘラケズリ、裾部ハケメ後全部円錐充填法	内面坏部赤彩	
108	堀砂下層	土師器高坏	口縁完形	口径：16.6 器高：11.4 脚径(10.3)	良好	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：坏部縦・横ヘラミガキ、坏底部ハケメ、脚部上半縦・横ヘラミガキ、脚部下半縦・横ハケメ 内面：坏部横・縦ヘラミガキ、脚柱部横ヘラケズリ、裾部ハケメ 脚部三方円形透し		
109	堀砂下層	上師器高坏	2/3	口径(17.8) 器高：12.5 脚径(10.3)	良好	坏部：橙褐色 脚部：褐色	密 雲母・石英	外面：坏部縦ハケメ→横ヘラミガキ、脚柱部横ヘラミガキ、裾部横ナデ 内面：坏部縦ヘラケズリ、脚柱部横ヘラケズリ、裾部ハケメ後全部円錐充填法		
110	堀砂下層	土師器高坏	口縁完形	口径：15.6 器高：11.5 脚径：9.8	良	褐色	密 角閃石・雲母・砂粒	外面：坏部・脚部縦・横ヘラミガキ、脚端部横ナデ 内面：坏底部・脚柱部横ヘラケズリ、脚柱部横ヘラケズリ、脚部ハケメ 接合部円錐充填法、脚部円形透し		
111	堀砂下層	土師器高坏	坏部1/4	口径(17.6) 器高(3.8)	良	橙褐色	密 砂粒・白粒	外面：坏部横ヘラミガキ 内面：坏部横・縦ヘラミガキ		
112	堀砂下層	土師器高坏	坏部1/4	口径(16.6) 器高(4.3)	良	黄灰白色	密 石英	外面：口縁端部横ナデ、坏部横ヘラミガキ 内面：坏部横ヘラミガキ	内外面煤付着	
113	堀砂下層	上師器高坏	坏部	口径：16.4 器高(4.6)	やや良	褐色	密 雲母・石英	外面：坏部横ヘラミガキ 内面：坏部縦ハケメ 接合部円錐充填法		
114	堀砂上層	上師器高坏	坏部	口径(14.6) 器高(3.37)	良	褐色	密	外面：口縁端部横ナデ、坏部縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面：坏部横ハケメ→横ヘラミガキ		
115	堀砂下層	土師器高坏	坏部1/4	口径(26.6) 器高(7.3)	良	黄灰白色	密 石英	外面：坏部縦・横ヘラミガキ 内面：坏部横・縦ヘラミガキ	外面坏部煤付着	
116	堀砂最下層	上師器高坏	坏部1/4	口径(16.8) 器高(5.2)	良好	褐色	密 砂粒	外面：坏部縦・横ヘラミガキ 内面：坏部横・縦ヘラミガキ		
117	堀砂下層	上師器高坏	坏部	口径：17.7 器高(4.9)	やや良	橙褐色	密 白色粒	外面：坏部横ハケメ 内面：坏部縦・横ヘラミガキ 接合部円錐充填法	外面一部煤付着 内面被熱痕	
118	堀砂下層	上師器高坏	坏部1/3	口径(14.8) 器高(5.3)	良	灰褐色	密 雲母・石英	外面：口縁端部横ナデ、坏部縦・横ヘラミガキ 内面：坏部横ヘラミガキ 接合部円錐充填法		
119	堀砂上層	上師器高坏	坏部	口径：10.0 器高：4.4	良	橙褐色	密 雲母・砂粒	外面：坏部縦・横ヘラミガキ 内面：坏部縦・横ヘラミガキ 接合部円錐充填法		
120	堀砂上層	土師器高坏	坏部1/4	口径(5.9) 器高(4.5)	良	褐色	密	外面：坏部縦・横ヘラミガキ→ナデ 内面：坏部縦・横ヘラミガキ	内外面一部煤付着	
121	堀砂上層	土師器高坏	坏部	口径：6.4 器高：5.9 脚径：9.5	良	褐色	密 雲母	外面：坏部縦・斜めヘラミガキ 穴底：上端部周縁調整不明、坏底部ハケメ→ヘラミガキ 接合部円錐充填法	外面坏部煤付着 ブランデーグラス形	
122	堀砂下層	土師器高坏	坏部2/3	口径(12.2) 器高(7.6) 脚径(10.4)	やや良	橙褐色	密	外面：坏部ハケメ→縦・横ヘラミガキ 内面：坏部縦ハケメ、坏底部指頭調整→縦ハケメ 接合部円錐充填法	外面一部煤付着	
123	堀砂上層	土師器高坏	坏部1/2	器高：4.7) 脚径：8.2)	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：坏部ハケメ→横ヘラミガキ 内面：坏底部ヘラミガキ、坏脚柱部調整→縦・横ヘラミガキ、坏底部ナデ	外面一部煤付着	
124	堀砂上層	土師器高坏	脚部	器高：8.6) 底径：10.3	良好	褐色	密 砂粒	外面：脚柱部縦ハケメ→縦ヘラミガキ、裾部縦・横ハケメ、脚端部横ナデ 内面：坏底部ナデ、脚柱部上半ナデ、脚柱部下半縦ヘラケズリ、裾部脚端調整→ナデ 脚部三方円形透し		
125	堀砂最下層	上師器高坏	脚部	器高：7.4) 底径：9.5	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：脚部上半縦ヘラミガキ、脚部下半縦ヘラケズリ→ナデ 内面：脚柱部横ヘラケズリ、脚部縦ハケメ	内外面赤彩	
126	堀砂上層	土師器高坏	脚部	脚高：7.9) 底径：12.4	良	褐色	密	外面：脚部縦・横ヘラミガキ→横ヘラミガキ 内面：脚柱部横ヘラケズリ、脚部縦ハケメ		
127	堀砂上層	土師器高坏	脚部	器高：8.4) 底径：9.8	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：脚部縦・横ヘラミガキ 内面：脚柱部横ヘラケズリ、脚柱部下半指頭調整→横ヘラケズリ、裾部縦ハケメ→ナデ		
128	堀砂下層	土師器高坏	脚部	脚高：7.4) 底径：10.6	良	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：脚柱部ヘラケズリ→縦・横ヘラミガキ 内面：脚柱部横ヘラケズリ、脚部横ナデ		

129	埋秒下層	十知器 高坏	脚部	脚高（7.7） 底径：9.8	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：脚部縦ヘラケズリ→横ヘラミガキ、脚縁ハケメ→ヘラミガキ 内面：脚杯部横ヘラケズリ、脚部ハケメ→ヘラミガキ		
130	埋秒上層	十師器 高坏	脚部	脚高（7.1） 底径：10.8	良	褐色	密 砂粒	外面：脚部縦ハケメ→横ヘラミガキ、脚縁部横ナデ 内面：脚杯部縦・横ヘラケズリ、脚部縦・横ハケメ 脚部二方円形透し		
131	埋秒上層	十知器 高坏	脚部	脚高（3.2） 底径：15.6	良	橙褐色	密 雲母・砂粒	外面：脚部ハケメ→縦・横ヘラミガキ、脚縁部横ナデ 内面：脚杯部縦ヘラケズリ、脚部横ナデ		
132	埋秒中	十知器 鉢脚坏	2/3	口径（13.6） 脚径：6.1 底径：3.4	良	灰褐色	密 雲母	外面：坏部ハケメ→横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部ハケメ→横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ		
133	埋秒下層	十知器 鉢脚坏	2/3	口径（13.6） 脚高：5.7 底径：8.3	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面：坏部ハケメ→横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部ハケメ→横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ		
134	埋秒上層	十師器 低脚坏	2/3	口径（13.6） 脚高：5.1 底径：9.1	良好	橙褐色	密 雲母・石英	外面：坏部ハケメ→縦ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部縦・横ヘラケズリ、脚部横ナデ		内外面口縁部煤付着
135	埋秒上層	十師器 鉢脚坏	2/3	口径（13.5） 脚高：4.5 底径：3.6	良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面：坏部上半横ヘラミガキ、坏部下半横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部縦・横ヘラミガキ、脚部横ナデ		外面坏部煤付着
136	埋秒下層	十知器 脚部坏	坏部1/2	口径（14.6） 脚高（2.8）	良好	褐色	密 雲母・石英	外面：坏部縦・横ヘラミガキ 内面：坏部縦ヘラミガキ		
137	埋秒上層	十師器 低脚坏	7/8	口径：16.4 脚高：5.0 底径：8.2	良	灰褐色～橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：坏部縦・横ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部縦・横ヘラミガキ、脚部横ナデ		外面一部煤付着
138	埋秒下層	十知器 低脚坏	1/3	口径（12.9） 脚高：5.0 底径：6.0	良好	橙褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：坏部上半横ナデ、坏部下半横ハケメ、脚部横ナデ 内面：坏部ハケメ→横ヘラミガキ、脚部横ナデ		外面坏部煤付着
139	埋秒上層	十知器 低脚坏	2/3	口径：10.8 脚高：4.2 底径：4.6	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：坏部縦・横ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部縦ヘラミガキ、脚部横ナデ		内面坏底部沙多量付着
140	埋秒下層	十知器 低脚坏	ほぼ完形	口径：15.8 脚高：4.3 底径：4.5	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：坏部縦・横ヘラミガキ、脚部縦ナデ 内面：坏部縦ヘラミガキ、脚部横ナデ		内面焼きムラ有
141	埋秒下層	十師器 鉢形器台	2/3	口径：15.5 脚高：10.0 底径：13.4	良好	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：横ナデ 内面：受部縦・横ヘラミガキ、接合部ナデ、脚部横・斜めヘラケズリ、脚端部横ナデ		
142	埋秒上層	十師器 鉢形器台	5/8	口径：17.9 脚高：9.9 底径：15.6	良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面：横ナデ 内面：受部横・斜めヘラミガキ、接合部ナデ、脚部横・斜めヘラケズリ、脚端部横ナデ		内面脚部ヘラによる線刻
143	埋秒上層	十師器 鉢形器台	2/3	口径（18.1） 脚高：9.9 底径：14.3	良好	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：横ナデ、脚部縦状工具痕による列点文多数 内面：受部横ヘラミガキ、接合部ナデ、脚部横・斜めヘラケズリ、脚端部横ナデ		内面口縁部～部煤付着
144	埋秒下層	十師器 鉢形器台	1/4	脚高（6.9） 底径：15.2	良	褐橙色	密 雲母・石英・砂粒	外面：横ナデ 内面：受部横ヘラミガキ、接合部ナデ、脚部横ヘラケズリ、脚端部横ナデ		
145	埋秒下層	土師器 鉢形器台	5/8	口径（17.4） 脚高：9.6 底径：15.3	良好	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：横ナデ 内面：受部横・斜めヘラミガキ、接合部縦ヘラケズリ、脚部斜めヘラケズリ、脚端部横ナデ 脚部三方円形透し		
146	埋秒下層	土師器 鉢形器台	ほぼ完形	口径：17.5 脚高：10.1 底径：15.2	良好	橙褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：受部斜め・横ヘラミガキ、接合部～脚部横・斜めヘラケズリ、脚端部横ナデ 脚部三方円形透し		
147	埋秒上層	十知器 鉢形器台	完形	口径：15.5 脚高：9.9 底径：13.8	良好	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁端部横ナデ、受部縦ヘラミガキ、接合部横ナデ、脚部横ヘラミガキ、脚端部横ナデ 内面：受部横ヘラミガキ、接合部ナデ、脚部横ヘラケズリ、脚端部横ナデ		
148	埋秒下層	土師器 鉢形器台	ほぼ完形	口径（17.2） 脚高：9.3 底径：15.4	良好	褐色	密 砂粒	外面：口縁端部横ナデ、受部横ナデ→縦ヘラミガキ、接合部横ナデ、脚部横ナデ→縦ヘラミガキ、脚端部横ナデ 内面：受部横ヘラミガキ、接合部ナデ、脚部横ヘラケズリ、脚端部横ナデ		
149	埋秒下層	土師器 鉢形器台	ほぼ完形	口径：18.5 脚高：9.9 底径：15.1	良好	橙褐色	密	外面：口縁端部横ナデ、受部縦ヘラミガキ、接合部横ナデ、脚部縦ヘラミガキ、脚端部横ナデ 内面：受部横ヘラミガキ、接合部ナデ、脚部斜めヘラケズリ、脚端部横ナデ		
150	埋秒下層	十知器 鉢形器台	3/4	口径（17.0） 脚高：10.0 底径：15.6	やや良	橙褐色	密 角閃石・雲母・白色粒	外面：口縁端部横ナデ、受部縦ヘラミガキ、接合部横ナデ、脚部横ヘラミガキ、脚端部横ナデ 内面：口縁端部横ヘラミガキ、受部～脚部横ヘラケズリ、脚端部横ナデ 脚部四形透し		
151	埋秒下層	十師器 器台	破片	口径（19.0） 脚高（4.8）	良	橙褐色	密	外面：口縁部ヘラ状工具による刻線3条→ナデ 内面：口縁部横ナデ		内面一部煤付着
152	埋秒上層	土師器 小型器台	脚部1/8	脚高（2.4） 底径（4.8）	良	褐色	密 砂粒	外面：縦・横ヘラミガキ 内面：受部縦ヘラケズリ、脚部横ハケメ→ナデ		
153	埋秒下層	土師器 小型器台	ほぼ完形	口径：10.2 脚高：8.2 底径：6.6	良好	褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁端部横ナデ、受部縦ヘラミガキ、脚部縦・横ヘラミガキ、脚端部横ナデ 内面：受部縦・横ヘラミガキ、接合部～脚部横ヘラミガキ		
154	埋秒下層	土師器 鉢形器台	脚部	脚高（7.6） 底径：11.0	良	黄灰白色	密 黄母・石英	外面：脚部縦・横ヘラミガキ、脚端部横ナデ 内面：脚部上半横ヘラケズリ、脚部下半内面斜面→ナデ 脚部三方円形透し		
155	埋秒上層	土師器 鉢	脚口部破片	脚口径（17.8） 脚高（10.6）	良	橙褐色	密 角閃石・雲母・砂粒	外面：沈口部横ナデ、体部縦・縦ハケメ 内面：沈口部横ナデ、体部横ヘラケズリ		
156	埋秒上層	土師器 甕	広口部破片	脚高（16.1） 底径（37.6）	良	褐色	密 黄母・砂粒	外面：縦・横ハケメ 内面：体部上半横ヘラケズリ、体部下半縦ナデ		
157	埋秒下層	建物	破片	脚高（6.6） 底径（12.6）	良	灰褐色	密 石英	外面：縦ハケメ 内面：指頭痕整→横ハケメ		内外面一部煤付着
158	埋秒下層	土製品	鹿角	幅角（1.4） 幅（2.5）	良	灰褐色	密 角閃石・白色粒	外面：ハケメ一部ヘラケズリ 内面：木材小口部を整形し成型		内面煤付着

159	堀移下層	土師	1/2	長さ：42 幅（13） 厚さ：26	やや良	灰褐色	密 石英・白色粒・赤色粒			重量：34.7g
160	床面直上	土師	完形	長さ：25 幅：28 厚さ：29	良	褐色	密			重量：18.6g

第15表　2区SI04出土石器観察表（第43図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種　類	遺存状態	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	石　材	備　考
161	堀移上層	敲製石斧	破片	(50)	(19)	(24)	20.6	閃緑岩	刃部内湾度
162	堀移下層	石石	1/2	(178)	(201)	43	2024.6	安山岩	
163	堀移上層	磨石	1/2	(96)	(87)	41	517.3	デイサイト	
164	堀移下層	石錘	完形	161	87	40	708.6	デイサイト	両打欠幅40mm
165	堀移下層	石錘	1/2	(113)	88	40	511.1	安山岩	左打欠幅31mm・右打欠幅（45）mm
166	堀移下層	石錘	完形	139	89	41	677.5	安山岩	左打欠幅18mm・右打欠幅30mm 煤付着
167	堀移上層	石錘	完形	168	91	61	1130.2	デイサイト	右潰幅31mm・右潰幅45mm
168	堀移下層	ハンマーストーン	完形	145	76	52	850.3	デイサイト	
169	堀移上層	砥石	破片完形	(183)	(113)	(92)	1634.1	粗粒	
170	堀移下層	砥石	破片完形	77	72	55	30.6	細石	
171	堀移上層	砥石	1/2	(94)	58	(37)	25.1	細石	

第16表　4区SI01出土土器観察表（第45図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器　種	部位・残存率	法　量（cm）	焼成	色　調	胎　土	調　整　・　文　様	備　考
1	堀移中層	上師器壺	口縁～体部1/2	口径（15.1） 器高（14.8） 胴径（23.2）	良	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着
2	堀移下層	上師器壺	口縁～体部	口径：14.6 器高（13.2）	良	灰茶色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ→胴部縦状工具痕部による列点文3個以上 内面：口縁部横ナデ、体部縦横調整→横ヘラケズリ	外面煤付着
3	堀移中層	土師器小型丸底鉢	口縁部1/2	口径（11.4） 器高（5.3）	良	橙褐色	密 白色粒・赤色粒・砂粒	外面：口縁部横ナデ、口縁部横ナデ→縦ミガキ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	
4	堀移中層	土師器高坏	口縁～完形	口径：16.9 脚高：13.8 高径：11.1	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横調整ナデ、坏部縦ハケメ→縦ヘラミガキ、脚部横ハケメ 内面：坏部板・縦ヘラミガキ、脚柱部ヘラケズリ、脚部横ハケメ 接合部円盤充填法	内面黒色処理による墨書 脚部内外面・脚端付着
5	堀移中層	上師器高坏	口縁～完形	口径（15.6） 器高：11.4 径径：11.0	良	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、坏部縦・縦ヘラミガキ、脚部ヘラケズリ→ハケメ→縦・横ヘラミガキ 内面：坏部縦ヘラミガキ、脚柱部横ヘラケズリ、脚部ハケメ 接合部円盤充填法	
6	堀移中層	土師器高坏	坏部2/3	口径：14.8 脚高（5.6）	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：縦ヘラミガキ 内面：縦ヘラミガキ→縦ヘラミガキ 接合部円盤充填法	
7	堀移下層	土師器高坏	坏部2/3	口径：15.3 脚高（5.7）	良	橙褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、坏部横ナデ→縦・横ヘラミガキ 内面：縦・横ヘラミガキ	
8	堀移中層	土師器高坏	坏部	口径：15.1 脚高（3.2）	良	橙褐色	密	外面：口縁部横ナデ、坏部横・縦ヘラケズリ 内面：縦ヘラミガキ 接合部円盤充填法	外面煤付着
9	堀移中層	土師器高坏	脚部	器高（10.6） 裾径：11.6	良	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：脚部ヘラケズリ→縦ヘラミガキ 内面：坏底部縦横調整不明、脚柱部ヘラケズリ、脚端横ハケメ 接合部円盤充填、脚部三方円形透し	
10	堀移中層	土師器小型壺か	2/3	口径：7.8 胴径：6.3 底径（11.2）	良	橙褐色	密 白色粒・赤色粒・砂粒	外面：横ナデ→縦ヘラミガキ 内面：受部・胴部横ヘラミガキ	

第17表　4区SI01出土石器観察表（第45図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種　類	遺存状態	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	石　材	備　考
11	堀移中層	石錘	2/3	(113)	(83)	(37)	474.4	花崗岩	穿孔欠幅43mm・両打欠幅43mm

第18表　4区SI05出土土器観察表（第46図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器　種	部位・残存率	法　量（cm）	焼成	色　調	胎　土	調　整　・　文　様	備　考
1	堀移上層	土師器壺	1/4	口径（18.6） 器高（39.5） 胴径（17.8） 底径：2.4	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、口縁部横以工具による直線文、体部縦・横ハケメ、底部ナデ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	内外面煤付着
2	堀移下層	土師器壺	口縁～体部1/3	口径（20.8） 器高（17.6） 胴径（32.6）	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、口縁部横以工具による直線文→ナデ、胴部斜横調整不明、体部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	内面黒色処理以下煤付着
3	床面直上	土師器壺	口縁部破片	口径（19.0） 器高（4.2）	良	橙色	密 砂粒	外面：口縁部横ナデ、口縁部横以工具による直線文→ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下ヘラケズリ	外面煤付着
4	堀移下層	土師器壺	口縁部破片	口径（18.0） 器高（5.8）	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、口縁部横以工具による直線文→ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	外面口縁部煤付着
5	堀移下層	土師器壺	口縁部破片	口径（18.6） 器高（6.2）	良	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	外面煤付着

6	埋砂中	十部巻 巻	南部	器高(19) 底径(20)	良	黒部色	密 砂粒	外面：ヘラケズリ 内面：指頭調整			外面煤付着
7	埋砂上層	十加岩 注口土器	注口部	口径：20 注口長(6.6)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面：長鎖方向のヘラケズリ→ナデ 内面：注口ヘラケズリ、体部ヘラケズリ			
8	埋砂最下層	十部巻 片	2/3	器高：6.0 底径：4.6	良	褐鳴色～黄灰白色	密	外面：口縁部横位ヘラ磨き、口縁部～体部横位ヘラミガキ 内面：縦・横ヘラミガキ			外面底部煤付着

第19表　4区SI02出土土器観察表（第48図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様		備考
1	埋砂下層	十部巻 ミ口型	破片	口径(127) 器高(5.5)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、胴部縦ハケメ 内面：口縁部指頭圧痕→ナデ、胴部横ヘラケズリ		胴部外面～胴部内面以下煤付着
2	表土直上	十加岩 英	口頸部 1/3	口径(24.0) 器高(4.3)	良好	褐色	密 砂粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下指頭調整→ヘラケズリ		外面・頸部内面以下煤付着
3	埋土直上	十加岩 英	口頸部 1/3	口径：115 器高：39	良	褐色	密 砂粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		外面煤付着
4	表層直上	土師器 坩	口頸部	口径(19.6) 器高(5.2)	良	黄灰白色	密 石英	外面：横ナデ、口縁部横ヘラ磨き、頸部以下横ヘラケズリ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		外面煤付着
5	埋砂下層	土師器 坩	口縁部 破片	口径(16.2) 器高(5.1)	良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ→部位工具による直線文→ナデ、胴部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		胴部内面以外煤付着
6	表層直上	土師器 坩	口縁部 破片	口径(15.0) 器高(6.0)	やや良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ→部位工具による直線文→ナデ、胴部以下ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		胴部外面以下煤付着
7	埋砂下層	十加岩 坩	口頸部 1/2	口径(16.2) 器高(4.5)	良	灰褐色	密 白色粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		
8	埋砂中	十加岩 高坏	坏部・脚台部 破片	口径(18.8) 器高(6.6)	良	褐鳴色	密 白色粒・砂粒	外面：口縁部横ナデ、口縁部横位工具による直線文→ナデ、坏部下半ヘラミガキ、脚部縦・横ヘラミガキ 内面：坏部横・縦ヘラミガキ、脚部縦ヘラケズリ		脚部内面以外煤付着

第20表　4区SI03出土土器観察表（第50・51図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様		備考
1	埋砂下層	十部巻 巻	口縁～胴部1/2	口径(21.8) 器高(10.4)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整→ナデ、胴部横ヘラケズリ		頸部外面～胴部煤付着
2	埋砂下層	十部巻 蓋口縁	口縁～胴部2/3	口径：9.6 器高(11.9)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整→ナデ、胴部横ヘラケズリ		
3	埋砂下層	十加岩 壺	口縁～胴部1/3	口径(15.2) 器高：5.1)	良	灰褐色	密 石英・赤色粒・砂粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、胴部指頭調整→横ヘラケズリ		
4	埋砂下層	十部巻 壺	口縁～体部1/3	口径(21.8) 器高(8.9) 頸径(21.0)	良	黄灰白色	密 石英・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部縦位工具による直線文？、体部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ		胴部外面煤付着
5	埋砂最下層	土師器 坩	完形	口径：16.3 器高：25.7 頸径：22.7	良	褐鳴色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ、胴部横位工具渦部による列点文6個 内面：口縁部横ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半指頭調整		山陰部内外煤炭化物付着
6	埋砂中層	土師器 坩	口径完形	口径：15.8 器高：23.9 頸径：22.1	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ、胴部横位工具渦部による列点文6個 内面：口縁部横ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→ヘラケズリ		内外問一部煤付着
7	埋砂下層	十部巻 壺	口径完形	口径：14.4 器高：21.5 頸径：20.8	良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ、胴部横位工具渦部による列点文7個 内面：口縁部横ナデ、口頸部指頭調整→ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→ヘラケズリ		外面煤付着
8	埋砂最下層	土師器 壺	口径完形	口径：15.0 器高：22.2 頸径：20.0	良	黄灰白色	密 雲母	外面：口縁部～頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ、胴部横位工具渦部による列点文6個 内面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→縦・横ヘラケズリ		外面煤付着
9	埋砂下層	土師器 壺	口径完形	口径：16.3 器高：24.7 頸径：21.5	やや良	灰褐色	密 石英・白色粒	外面：口縁部～頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ、胴部横位工具による直線文 内面：口縁部横ナデ、体部縦・横ヘラケズリ、底部指頭調整		外面体部一部煤付着
10	埋砂下層	土師器 壺	口径完形	口径：14.0 器高：22.3 頸径：19.8	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下粗い縦・横ハケメ、胴部横位工具渦部による列点文6個 内面：口縁部横ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→横ヘラケズリ		外面体部下半煤付着
11	埋砂中層	土師器 壺	完形	口径：13.8 器高：20.2 頸径：18.1	やや良	黄灰白色	密	外面：口縁部横ナデ、体部縦ハケメ、胴部横位工具による直線文、頸部直線による列点文9個 内面：口縁部横ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→横ヘラケズリ		口縁部煤付着
12	埋砂下層	土師器 壺	口径完形	口径：13.2 器高(20.0) 頸径：18.3	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部縦位工具による波状文、体部縦ハケメ、体部上半横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ		全体に煤付着
13	埋砂下層	土師器 壺	口縁～体部	口径(16.2) 器高(13.2) 頸径(22.8)	良好	褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部縦ハケメ、胴部横位工具渦部による列点文2個以上 内面：口頸部横ナデ、胴部指頭調整、体部横ヘラケズリ		内外問煤付着
14	埋砂下層	土師器 小型壺	完形	口径：8.6 器高：12.7 頸径：14.0	良	灰褐色～褐鳴色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部指頭調整→ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→ヘラケズリ		
15	埋砂下層	土師器 壺	口縁～体部	口径(25.4) 器高(18.6) 頸径(34.8)	良	灰褐色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部縦位工具による直線文、体部縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部以下縦ヘラケズリ→縦ハケメ		外面全体煤付着
16	埋砂下層	二重壺	口縁～胴部	口径(16.7) 器高(7.1)	良	黄灰白色	密 石英・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部縦状工具による波状文 内面：口頸部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ		外面煤付着
17	埋砂下層	土師器 壺	口縁～頸部1/3	口径(16.3) 器高(9.7)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部縦位工具による波状文、体部縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ		内外問全体煤付着

18	堀移中層	土師器 甕	口縁部 1/3	口径(15.6) 器高(4.5)	良	橙色	密 砂粒	外面：横ナデ→北縁上部→ナデ消し 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ				外面煤付着
19	堀移下層	土師器 甕	体部 破片	器高(2.27)	良好	黒茶色	密 雲母・石英・砂粒	外面：貫板痕残る連続刷毛文 内面：横ヘラケズリ				
20	堀移下層	土師器 高杯	1/8	口径(30.2) 器高(6.9)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部縦位ナデ、坏部横・縦ヘラミガキ 内面：坏部縦・横ヘラミガキ				
21	堀移下層	土師器 高杯	脚部	脚高(7.1) 底径:11.0	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面：脚部縦ハケ、脚部横ナデ 内面：脚柱部横ヘラケズリ、裾部脚面調整→横ハケメ 脚部二方切孔透し				
22	堀移下層	土師器 低脚杯	完形	口径:11.9 器高:5.3 底径:6.1	良	明灰白色～黄灰白色	密 砂粒	外面：坏部縦ハケメ、脚部横ナデ 内面：坏部横ヘラ、脚部横ナデ				
23	堀移最下層	土師器 低脚杯	完形	口径:10.2 器高:7.0 底径:3.6	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面：坏部横位ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：口縁端部横ナデ、坏部横・縦ヘラミガキ、脚部ハケメ・ナデ				
24	堀移最下層	土師器 低脚杯	完形	口径:14.3 器高:6.8 底径:6.6	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部縦撫ナデ、坏部指頭調整→縦横ハケメ、脚部横ナデ 内部：坏部横・縦ヘラミガキ、脚部ハケメ・ナデ				
25	堀移最下層	土師器 鼓形器台	完形	口径:20.6 器高:10.5 底径:18.2	良好	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：横ナデ 内面：受部横・縦ヘラミガキ、脚部上半横ヘラケズリ、脚部下半横ナデ 脚部四方透し				
26	堀移最下層	土師器 鼓形器台	完形	口径:20.9 器高:11.4 底径:19.2	良	橙色	密 雲母・石英・砂粒	外面：横ナデ 内面：受部横・縦ヘラミガキ、接合部ナデ、脚部上半横ヘラケズリ、脚部下半横ナデ 脚部四方透し				受部内面・脚部内外煤煙付着
27	堀移最下層	土師器 鼓形器台	はけ 完形	口径:20.8 器高:11.6 底径:19.4	良	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：縦ハケ 内面：受部横・縦ヘラミガキ、接合部ヘラケズリ→ナデ、脚部上半斜めヘラケズリ、脚部下半横ナデ				脚部内面ヘラによる線刻

第21表　4区SI03出土石器観察表（第51図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	遺存状態	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	石材	備考
28	堀移下層	砥石	1/2	(73)	(57)	(56)	207.9	凝灰岩	

第22表　4区SI04出土土器観察表（第53図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	器位・残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堀移中層	土師器 甕	口縁部	L径(24.6) 器高(9.9)	良	橙褐色	密 角閃石・白色粒	外面：口縁部横撫ナデ、口縁部縦状工具による波状文・直線文→下縦上下2段半位の波状文、胴部以下縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下ヘラケズリ	
2	堀移下層	土師器 鉢	口縁部 破片	L径(16.6) 器高(4.7)	良	橙褐色	密	外面：口縁部横ナデ、口縁部縦状工具による波状文 内面：口縁部横ナデ、頸部横撫調整	
3	堀移下層	土師器 甕	口縁部 破片	L径(16.6) 器高(3.4)	良	橙褐色	密 雲母・石英	外面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	外面煤付着
4	堀移下層	土師器 甕	はけ 完形	口径:14.9 器高:20.6 胴径:19.1	良	黄灰白色	密 雲母・石英	外面：L頸部横ナデ、胴部縦状工具による直線文・波状文、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→縦ヘラケズリ	受部焼成後穿孔 全面煤付着
5	堀移中層	土師器 甕	口縁～体部1/3	口径(13.6) 器高(30.3)	良	橙色	密 砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部縦状工具による直線文、体部上半横ハケメ、上半横ハケメ 内面：L底部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着
6	堀移下層	土師器 甕	口縁～体部1/3	口径(19.1) 器高(11.0)	良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部縦状工具による直線文→ナデ 内面：L底部横ナデ、体部横ヘラケズリ	
7	堀移下層	土師器 甕	口縁部 破片	口径(16.2) 器高(4.1)	良	橙色	密 砂粒	外面：口頸部横ナデ、口縁部縦状工具による直線文→ナデ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	全面煤付着
8	堀移下層	土師器 甕	口頸部 1/8	L径(17.6) 器高(3.5)	良	灰褐色	密 砂粒	外面：L頸部横ナデ、口縁部縦状工具による直線文→ナデ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着
9	堀移下層	土師器 甕	底部1/4	器高(3.6) 底径(3.6)	良	灰褐色	密 砂粒	外面：体部縦ハケメ、底部ナデ 内面：横ヘラケズリ	
10	堀移下層	土師器 高杯	坏部1/2	口径(9.7) 器高(7.7)	良	橙色～灰褐色	密 砂粒	外面：坏部縦ハケ、底部ナデ 内面：口縁端部横ナデ、坏部縦ハケ→横ヘラミガキ	ブランデー・グラス形
11	堀移下層	土師器 小型器台	脚部 破片	脚高(4.8) 底径(11.6)	良	明色	密 石英	外面：横ヘラミガキ、脚部縦ヘラケズリ、脚端部横ナデ 内面：受部ヘラミガキ、脚部横ヘラケズリ、脚端部横ナデ	
12	堀移中層	土師器 鉢脚杯	脚部	脚高(3.6) 底径:5.4	良	橙褐色	密 角閃石・石英	外面：横ナデ 内部：坏底ナデ、脚部指頭調整→ナデ	脚部上端穿孔1個
13	堀移下層	土師器 土器	口縁部 1/8	口径(20.4) 器高(4.2)	良	橙色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→ナデ 内面：横ヘラケズリ	

第23表　4区SI04出土石器観察表（第53図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	遺存状態	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	石材	備考
14	堀移下層	砥石	1/2	134	62	70	661.7	砂岩	被熱
15	堀移下層	磨石	はけ完形	190	(106)	64	1750.0	デイサイト	煤付着
16	堀移下層	台石	1/2	(242)	(183)	(127)	7000.0	デイサイト	煤付着

第24表　5区SI01出土土器観察表（第55図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	器位・残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堀移下層	土師器 甕	口頸部 1/4	L径(17.5) 器高(8.0)	良好	褐色	密 角閃石・白色粒	外面：L頸部横ナデ 内面：L口縁部横ナデ、頸部指頭調整、肩部横ヘラケズリ	内面煤付着

2	掘形中	土師器 皿Ⅰ類	口部欠 1/5	口径(9.0) 器高(1.8)	良好	橙色	密 角閃石・白色粒	外面：口縁部横・縦ヘラミガキ、脚部ナデ 内面：指頭調整→縦・横ヘラミガキ	
3	溝形中	土師器 高Ⅰ類	口縁部 1/4	口径(10.2) 器高(10.2)	良好	淡橙色	密 角閃石・石英・白色粒・小石粒	外面：口縁部横ハケメ→縦ヘラミガキ、脚部ナデ、底部下半横ヘラケズリ 内面：口縁部横調整ナデ→縦ヘラミガキ、脚部ナデ、脚部下半横ヘラケズリ	
4	床面直上	土師器 鍋	口縁～胴部2/3	口径(24.5) 器高(12.0)	良	橙色	密 雲母・小石粒	外面：口頸部横ナデ、胴部縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	
5	床面直上	土師器 鍋	破片	口径(19.4) 器高(10.4)	良好	橙色	密 角閃石・白色粒	外面：口頸部横ナデ、胴部縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	
6	掘形下層	土師器 鍋	破片	口径(21.6) 器高：(9.6)	良	橙色	密 雲母・石英・白色粒・小石粒	外面：口頸部横ナデ、胴部縦ハケメ→ナデ 内面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	
7	床面直上	土師器 鍋	破片	口径(17.2) 器高：(7.3)	良好	黒色	密 白色粒	外面：口頸部横ナデ、胴部縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、口頸横ヘラケズリ	二次被成？
8	床面直上	土師器 鍋	破片	口径(16.2) 器高：(8.0)	良	橙色	密 角閃石・白色粒	外面：横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部ヘラケズリ	外面口縁部　煤付着
9	掘形下層	土師器 小型丸底壺	体部	胴径：(5.4) 器高：(8.0)	良好	橙色	密 石英・白色粒	外面：縦・横ヘラミガキ 内面：横ヘラケズリ	外面黒部剥離
10	掘形中	土師器 脚形器台	1/2	口径(25.0) 器高：(9.0) 脚径(13.0)	良好	橙色	密 石英・白色粒	外面：受部縦ヘラミガキ、接合部ナデ、脚部縦ヘラミガキ 内面：受部横ヘラミガキ、接合部ナデ、脚部横ヘラケズリ、脚端部横ナデ	
11	掘形下層	土師器 高杯ｆ	脚部	器高：(5.5) 底径(11.4)	良好	橙色	密 角閃石・白色粒	外面：脚部縦ハケメ→ヘラミガキ、脚部脚端ナデ 内面：受部ヘラミガキ、脚部横ヘラケズリ、脚部脚端ナデ	
12	掘形下層	土師器 脚無杯	脚部	器高：(2.8) 底径：8.0	良	橙色	密 雲母・白色粒	外面：脚部横ヘラミガキ、脚端部横ナデ 内面：脚部ヘラミガキ、脚部ヘラケズリ・横ヘラミガキ	
13	掘形中	須恵器 壺蓋Ⅰ	1/2	口径：7.8) 器高：(3.1) 宝径(14.0)	中や良	灰色	密	外面：上段部～体部回転ナデ、体部ホキ目、体部下半回転ヘラケズリ 内面：回転ナデ	
14	掘形中	須恵器 短頸壺	口縁～胴部4/5	口径：8.5) 器高：3.4)	良好	灰色	密 白色粒	内外面：回転ナデ	外面胴部自然釉付
15	掘形中	須恵器 甕	体部	胴径：(6.5) 底径：(2.4)	良好	青灰色	密	外面：胴部回転ナデ、底部以外の横状下具による列点文、体部下半回転ヘラケズリ 内面：頸部～体部回転ナデ、底部ナデ	
16	床面直下	須恵器 鉢	体部	胴径：(6.3) 胴径：(8.5)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：体部カキ目→ヘラ状工具による斜線文1条・横状工具による列点文、体部下半回転ヘラケズリ 内面：胴部～体部回転ナデ、体部下半ヘラケズリ	
17	掘形中	須恵器 平底	1/3	胴径(13.1) 胴径(24.4) 底径(9.8)	良好	青灰色	角閃石・白色粒	外面：体部カキ目、肩部縦ナデ、底部回転ナデ 内面：体部回転ナデ、内面による同心円文	外面自然釉付
18	掘形中	須恵器 高杯	脚部	脚径：(5.5) 底径：(9.4)	良好	灰色	密 白色粒	外面：脚部カキ目、脚端部回転ナデ 内面：回転ナデ 脚部方形透し2個以上	
19	掘形中	須恵器 鉢	破片	口径(15.8) 器高：3.6)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：回転ナデ→ヘラ状工具による斜状文 内面：回転ナデ	
20	床面直上	須恵器 坏	1/2	口径(13.6) 器高：4.3 底径(5.6)	良好	灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半～底部回転ヘラケズリ 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
21	床面直上	須恵器 坏	1/2	口径(12.6) 器高：4.7 底径：(5.7)	良好	灰色	密 白色粒	外面：口縁部横ナデ、体部ナデ、体部下半～底部回転ヘラケズリ 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
22	床面直上	須恵器 坏	口縁部完形	口径：13.2 器高：4.8	不良	橙色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半部回転ヘラケズリ 内面：回転ナデ	内底面火ぶくれ
23	床面直上	須恵器 坏	2/3	口径(11.3) 器高：3.9 底径：(5.4)	良	灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半～底部回転ヘラケズリ 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	外面黒色部剥 内面火ぶくれ

第25表　5区SI01出土金属製品観察表（第56図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	種　類	法　量 最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	錆進度	メタル度	ランク	重量 (g)	備　考
24	掘形中層	刀子	刃部	鉄	全長(59) 刃部(30) 茎部(29)	刃部：8 茎部：4	刃部：2 茎部：2	4	酸化(△)	2	23
25	掘形中	鏃？	刃部	鉄	21	22	2	3	酸化(△)	—	27
29	床面直上	鉄状鉄製	口径完形	鉄	64	鍔部：27 刃部：37	鍔部：10 刃部：2	2			50.3

第26表　5区SI01出土石器観察表（第56図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	種　類	法量状態	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	石　材	備　考
26	床面直上	紡錘	口径完形	78	34	23	87.2	緑泥片	
27	床面直上	石臼	完形	129	90	62	911.5	安山岩	左行欠幅50mm・右行欠幅36mm
28	床面直上	石臼	完形	114	75	44	492.0	安山岩	右行欠幅58mm・右行欠幅48mm

第27表　5区SI02出土土器観察表（第58図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器　種	部　位 残存率	法　量 (cm)	成　形	色　調	胎　土	調　整　・　文　様	備　考
1	掘形中	土師器 壺	口縁～胴部1/2	口径(21.6) 器高(35.3) 胴径(30.2)	良	橙褐色	密 雲母・石英・白粒	外面：口縁部横ナデ、頸部近接を有する箆状工具撫圧による羽状文、体部横・縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部下半横調整、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→横ヘラケズリ	

2	埋砂中層	上部器壁	口頸部1/3	口径(20.4) 器高(8.4)	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：胴ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整・ナデ	黒斑 口縁部・胴部付着		
3	埋砂中	上部器壁	口頸部1/4	口径(15.8) 器高(6.7)	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：胴ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整・ナデ、胴部横ヘラケズリ	内面二次焼成		
4	埋砂中	上部器壁	口縁一胴部1/3	口径(20.0) 器高(12.2)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下横・斜めハケメ、胴部横状工具による列点文 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ			
5	埋砂中	上部器壁	口縁一体部1/3	器高(13.0) 胴径(27.6)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部ヘラ状工具による波状文1条、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横・斜めヘラケズリ	外面体部煤付着		
6	埋砂中	上部器壁	口頸一胴部1/3	口径(13.8) 器高(9.4)	良	橙褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部指頭調整→横ヘラケズリ	外面一部煤付着		
7	埋砂中層	上部器壁	口縁一胴部1/3	口径(17.0) 器高(7.2)	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部横ハケメ→横状工具による波状文 内面：口頸部横ナデ、頸部下半指頭調整、胴部横ヘラケズリ			
8	埋砂中	上部器壁	口縁一胴部1/5	口径(16.4) 器高(7.5)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・白色粒・砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部横状工具による波状文 内面：口縁部横ナデ、頸部下半指頭調整、胴部横ヘラケズリ			
9	埋砂中	上部器壁	口縁一胴部1/4	口径(13.0) 器高(6.7)	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部横状工具による波状文・ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	外面煤付着		
10	埋砂中層	上部器壁	口縁一胴部1/5	口径(14.4) 器高(10.2)	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部横・縦ハケメ、胴部ヘラ状工具による波状文 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着		
11	埋砂中	上部器壁	口縁一胴部3/3	口径(15.4) 器高：5.9	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部以下横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ			
12	埋砂下層	上部器壁	口頸部	口径(13.2) 器高(6.5)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒・砂粒	外面：口頸部横ナデ、胴部横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	外面胴部二箇所、外面口縁部煤付着		
13	埋砂中層	上部器壁	口縁一胴部	口径(10.3) 器高(6.7)	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：口頸部横ナデ、胴部横・縦ハケメ→横状工具連続による列点文手法 内面：口頸部横ナデ、胴部指頭調整→横ヘラケズリ	外面煤付着		
14	埋砂中層	上部器小型丸底壺	完形	口径：7.0 器高：7.5 胴径：8.9	良	褐色	密 雲母・白色粒・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部横ヘラミガキ 内面：口頸部横ナデ、体部指頭調整・横ヘラケズリ			
15	埋砂中層	土師器高坏	口縁完形	口径(14.8) 器高：13.4 底径(11.6)	良	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：体部縦・横ヘラミガキ、坏底部→脚部下半縦ハケメ、脚部下半横ヘラミガキ 内面：坏底部・横ヘラミガキ、脚部横ヘラケズリ、脚部指頭調整・ハケメ 接合部円盤充填法			
16	埋砂中層	土師器高坏	坏部2/3	口径：16.1 器高(5.3)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：横ヘラミガキ 内面：縦・縦ヘラミガキ 接合部円盤充填法			
17	埋砂中層	土師器高坏	坏部2/3	口径：15.0 器高(5.3)	良	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：板ヘラミガキ、坏底部縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面：板・縦ヘラミガキ 接合部円盤充填法	内外面煤付着		
18	埋砂中	土師器高坏	坏部1/4	口径(19.0) 器高(4.2)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：調整痕跡不明 内面：横・縦ヘラミガキ	内外面口縁部煤付着		
19	埋砂中	土師器高坏	坏部1/3	口径(12.8) 器高(3.8)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面：坏底部ハケメ 内面：坏部横・縦ヘラミガキ			
20	埋砂中	土師器鉢脚部	2/3	器高(4.0) 裾径：5.1	良	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：坏部縦・横ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部横ヘラミガキ、脚部横ナデ	内面脚部縦間3条		
21	埋砂中層	土師器鉢脚部	2/3	器高(4.0) 裾径：6.7	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	内外面：横ナデ	内面坏部縦間2条		

第28表　5区SI02出土金属製品観察表（第59図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	部位残存率	材質	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	総重量	メタル度	ランク	重量 (g)	備考
22	埋砂中	刀子？	1/2	鉄	全長：(46) 刃部：(30) 茎部：(16)	刃部：8 茎部：4	刃部(2) 茎部：2	3	錆化(△)	—	27	
23	埋砂下層	鏃	完形	鉄	110	24	2	6	錆化(△)	5	262	

第29表　5区SI02出土石器観察表（第59図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	遺存状態	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	石材	備考
24	埋砂中	石錘	完形	13	8	5	667.8	デイサイト	左打欠幅20mm 右打欠幅33mm

第30表　5区SI03出土土器観察表（第61図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋砂中層	土師器壺	口縁一胴部	口径：16.6 器高(11.3)	良	灰褐色	密 砂粒	外面：口頸部横ナデ→縦状工具による波状文、頸部縦ハケメ、胴部縦ハケメ→ヘラ状工具による列点文 内面：口頸部横ナデ、頸部下半指頭調整、胴部横ヘラケズリ	
2	埋砂中	土師器壺	胴部破片	器高：(4.5)	良	黒茶色	密 砂粒	外面：頸部指頭調整→ヘラミガキ・瓦敷痕跡による列行文・横ハケメ 内面：胴部ヘラミガキ、底部下半横ヘラケズリ	内外面煤付着
3	埋砂中	土師器小型丸底壺	口頸部1/4	口径：(9.6) 器高：4.8	良	黒茶色	密 砂粒	外面：横ヘラミガキ 内面：口頸部縦ハケメ→縦ヘラミガキ・横ナデ、体部以下横ヘラケズリ	外面煤付着

4	P24・15・ 埋砂中	土師器 高杯	坏部1/4	口径（25.0） 器高（5.2）	良	橙色	密 雲母・砂粒	外面：摩ナデ 内面：横ヘラミガキ					内外面部付着
5	床面直上	土師器 鉢形器台	坏部 1/2	器高（4.5）	良	灰茶色	密 砂粒	外面：口縁部横ハケメ、脚部縦・斜ヘラミガキ 内面：口縁部横ヘラミガキ、脚部下半縦ヘラケズリ					内面赤彩

第31表　5区SI03出土金属製品観察表（第61図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	種　類	部位 残存率	材質	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	断面形	メタル度	ランク	重量（g）	備考
6	埋砂中	鉄鏃	茎部	鉄	25	18	1	3	錆化（△）	5	17	刃部角切形
7	埋砂中	用途不明品	—	鉄	(52)	5	3	1	錆化（△）	3	106	

第32表　5区SI04出土土器観察表（第63図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器　種	部位 残存率	法　量 （cm）	焼　成	色　調	胎　土	調　整　・　文　様	備　考
1	埋砂中層	土師器 壺	口縁～胴部1/8	口径（12.4） 器高（4.0）	良	灰褐色	密 石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、胴部横ハケメ→横以上長による波状文 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	
2	埋砂下層	土師器 壺	2/3	口径（24.0） 器高（21.1） 胴径（20.0）	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ、胴部縦以上長端部による刺突文 内面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→斜めヘラケズリ	外面煤付着
3	埋砂最下層	土師器 壺	2/3	口径（13.6） 器高（12.5） 胴径（13.8）	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→横ヘラケズリ	外面煤付着
4	埋砂中層	土師器 壺	口縁部 1/2	口径（16.4） 器高（6.4）	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ハケメ、頸部横ナデ、胴部縦民工具による波状文 内面：口縁部横ナデ、胴部指頭調整→横ヘラケズリ	
5	埋砂最下層	土師器 壺	口縁部	口径（14.8） 器高（6.5）	良	橙褐色	密 雲母・砂粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、胴部指頭調整・横ヘラケズリ	黒斑
6	埋砂最上層	土師器 小型丸底壺	口縁～体部1/3	口径（13.8） 器高（6.1）	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・斜めヘラミガキ 内面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→横ヘラケズリ	
7	埋砂中層	土師器 高坏	脚部2/3	器高（6.7） 底径（11.2）	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：脚部縦・横ヘラミガキ、脚端部横ナデ 内面：脚柱部横ヘラケズリ、脚部指頭調整→横ハケメ 脚端部内側面凹線	
8	埋砂中	土師器 高坏	5/8	口径（13.8） 器高（10.9） 底径（10.1）	良	灰褐色	密 雲母・白色粒	外面：坏部指頭調整→横ナデ、坏部下半以下縦ヘラミガキ 内面：横ヘラミガキ、脚柱部ヘラケズリ→ナデ、脚部指頭調整→ナデ 接合部内面黒色処理	内外面一部煤付着
9	埋砂中層	土師器 低脚坏	脚部	器高（2.0） 底径（5.6）	良	黄灰白色	密 雲母・白色	外面：横ナデ 内面：坏底部ナデ、脚部指頭調整・横ナデ	
10	埋砂中	土師器 低脚坏	脚部	器高（2.3） 底径（5.2）	やや良	灰色	密 角閃石・雲母・白色粒	外面：横ナデ 内面：坏底部ナデ、脚部指頭調整・横ナデ	二次焼成
11	埋砂下層	土師器 鉢形器台	受部	口径（20.9） 器高（6.0）	良	黄灰白色	密 雲母・石英・白色粒	外面：受部横ナデ、口縁部部横ヘラミガキ 内面：横ヘラミガキ	内面赤彩
13	埋砂下層	土師器 鉢	底部	底径（28.8） 器高（35.6）	良	暗灰白色	密 雲母・砂粒	外面：体部縦ハケメ、底部横ナデ 内面：体部横ヘラケズリ→横・縦ハケメ、底部周縁ナデ	内面煤付着

第33表　5区SI04出土石器観察表（第63図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	種　類	遺存状態	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	石　材	備　考
12	埋砂中	浮子	完形	83	28	28	11.9	軽石	

第34表　5区SI05出土土器観察表（第65図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器　種	部位 残存率	法　量 （cm）	焼　成	色　調	胎　土	調　整　・　文　様	備　考
1	床面直上	土師器 壺	口縁～体部1/4	口径（20.6） 器高（14.3）	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部形い・縦・斜ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部縦・横ヘラケズリ	外面煤付着
2	埋砂中	土師器 壺	底片	口径（20.0） 器高（4.6）	良	褐色	密 砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部指頭調整、胴部横ヘラケズリ	
3	埋砂最上層	土師器 鉢形器台	脚部	器高（8.4） 底径（10.6）	良	橙色	密	外面：横ナデ 内面：坏底部横ナデ、脚部横ヘラケズリ、脚端部横ナデ	内面脚部一部煤付着
4	埋砂中	手捏ね土器	1/4	口径（5.4） 器高（4.2） 底径（5.6）	良	褐色	密 砂粒	外面：体部指頭調整、底部板状圧痕 内面：指頭調整	
5	埋砂中	須恵器 壺	口縁部1/4	口径（12.4） 器高（4.0）	良好	青灰色	密	外面：口縁部回転ナデ、頸部横状工具による波線文 内面：回転ナデ	
6	埋砂中	須恵器 坏	1/2	口径（12.2） 器高（4.1） 底径（6.5）	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転ヘラケズリ 内面：回転ナデ	外面底部自然釉灰
7	床面直上	須恵器 坏	1/2	口径（12.6） 器高（3.9）	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半回転ヘラケズリ 内面：回転ナデ	

第35表　5区SI06出土土器観察表（第67図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器　種	部位 残存率	法　量 （cm）	焼　成	色　調	胎　土	調　整　・　文　様	備　考
1	埋砂中	土師器 壺	胴片	口径（18.0） 器高（4.8）	良	灰褐色	密 砂粒	外面：口縁部横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部右斜胴部、頸部下半横ヘラケズリ	内外面赤彩
2	埋砂中	土師器 壺	底部	器高（3.3） 底径（5.6）	良	褐色	密 雲母	外面：体部～底部縦ハケ 内面：体部～底部指頭調整・横ヘラケズリ	黒斑
3	埋砂中	土師器 鉢形器台	脚部脚片	器高（5.5） 底径（19.6）	良	橙色	密 砂粒	外面：横ナデ 内面：脚部横ヘラケズリ、脚端部横ナデ	

第36表　5区SI06出土金属製品観察表（第67図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	器種	残存率	材質	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	遺存度	メタル度	ランク	重量（g）	備考
4	東排中	刀子	切込形		鉄	全長(123) 刃部(60) 茎部(61)	刃部:13 茎部:7	刃部:4 茎部:3	6	錆化(ハ)	5	11.5	

第37表　5区SI07出土土器観察表（第69図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量（cm）	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堀跡下層	土師器 高台皿	底片	口径(12.4) 器高（4.7）	良	褐色	密 石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頂部離状工具による直線文 内面：横ヘラミガキ	内外黒色彩
2	堀跡中層	土師器 甕	破片	口径(19.2) 器高（5.9）	良	褐色	密 白色粒・砂粒	外面：口縁部横ハケメ→ナデ、口縁下半以下横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頂部下半横ヘラケズリ	外面一部煤付着
3	馬場中層	土師器 甕	口縁～体部2/3	口径(15.9 器高(12.6)	良	褐色	密 角閃・石英	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面体部一部煤付着
4	堀跡中層	土師器 鉢形	口縁～体部1/4	口径(13.0) 器高（7.7）	良	橙褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横ナデ、口縁直下箆状具による直線文、頂部以下横ヘラミガキ→縦状工具による沈線区画の竹管文3条・斜位刷毛による刺突文 内面：横ヘラミガキ	内外黒斑彩
5	堀跡中	土師器 鉢形壺	体部破片	器高（2.8）	良	褐色	密 石英・白色粒・雲母	外面：横ヘラミガキ→竹管による刺突文、横状工具による直線文・円形文 内面：横ヘラケズリ	外面煤付着
6	堀跡上層	土師器 甕	破片	口径(33.6) 器高（5.5）	良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、胴部下半縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部下半横ヘラケズリ	
7	堀跡上層	土師器 鉢形器台	受部2/3	口径(22.5) 器高（6.2）	良好	灰褐色	密 角閃・石英・砂粒	外面：口縁端部横ナデ、受部縦ヘラミガキ 内面：横・縦ヘラミガキ	
8	堀跡下層	土師器 甕形	2/3	口径(31.5) 器高(13.0) 底径(20.3)	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部～胴部ハケメ→縦・横ヘラミガキ 内面：口縁部横ヘラミガキ、胴付部横ヘラケズリ、底部横ナデ 輪台部付側先端部	外面口縁部一部煤付着

第38表　5区SI07出土金属製品観察表（第69図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	器種	残存率	材質	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	遺存度	メタル度	ランク	重量（g）	備考
9	堀跡下層	小型鉄鉄形	切込形		鉄	(40)	袋部:25 刃部(28)	袋部:14 刃部:2	5	錆化(ハ)	5	19.0	

第39表　5区SI08出土土器観察表（第71図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量（cm）	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堀跡中層	土師器 甕	口縁完形	口径(17.8) 器高(32.9) 胴径(26.2)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・斜ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部縦・横ヘラケズリ、体部中位・底部指頭圧痕→ヘラケズリ	外面・内面底部煤付着
2	堀跡中層	土師器 甕	口縁～体部	口径(15.5 器高(14.5) 胴径(23.0)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着
3	馬場上層	土師器 甕	口縁～頸部	口径(15.1 器高(9.0)	良	灰茶色	密 雲母・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着
4	堀跡中層	土師器 小型丸底壺	口縁～頸部1/3	口径(11.0) 器高（3.4）	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：横ヘラミガキ 内面：横ナデ	外面煤付着
5	堀跡下層	土師器 小型丸底壺	体部	器高（8.3） 胴径(10.3	良	褐色	密 芯母・石英	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ヘラケズリ 内面：胴部横ヘラ横→縦ヘラケズリ	外面煤付着
6	堀跡中層	土師器 壺	1/2	口径(11.8) 器高(16.6 胴径(16.0) 高台径（2.6）	良	褐色	密 芯母・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ヘラケズリ 内面：口頸部横ナデ、頸部下半指頭調整、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭圧痕→ヘラケズリ	外面煤付着
7	馬場上層	土師器 鉢形	口縁完形	口径(17.6) 器高(14.6 底径(10.8)	良	橙褐色	密 雲母・砂粒	外面：体部ハケメ→横ヘラミガキ、頸部縦・横ヘラミガキ 内面：頸部横ヘラミガキ、胴付部横ヘラケズリ、頸部指頭圧痕→ハケメ 接合円盤充填法、胴部二方円形透し	内面煤付着
8	馬場上層	土師器 鉢形	1/3	口径(17.2) 器高（6.1）	良	赤褐色	密 雲母・白色粒	外面：口縁端部横ナデ、頸部横ヘラミガキ 内面：頸部横・縦ヘラミガキ、胴部ヘラケズリ 接合補円盤充填法	内外黒斑彩
9	馬場上層	土師器 鉢形	1/3	口径(14.8) 器高（5.9）	良	褐色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部横ヘラミガキ、頸部縦ハケメ→ヘラミガキ 内面：頸部横ヘラミガキ 接合補円盤充填法	口縁端部煤付着
10	馬場中層	土師器 鉢形	頸部1/4	口径(13.0) 器高（3.9）	良	褐色	密 雲母・石英	外面：ハケメ→横ヘラミガキ 内面：ハケメ→縦・横ヘラミガキ	外面煤付着
11	堀跡上層	土師器 鉢形	頸部1/4	口径(13.4) 器高（2.6）	良	灰褐色	密 雲母・石英	外面：横ハケメ 内面：頸部横ナデ→縦・横ヘラミガキ	外面一部煤付着
12	堀跡中層	土師器 鉢形台	脚部	器高（3.1） 底径（8.6）	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：横ナデ 内面：体部ナデ→ヘラミガキ、脚部指頭調整・横ナデ	外面一部煤付着
13	堀跡上層	土師器 鉢形器台	1/2	口径(22.0) 器高：9.0 底径(18.6)	良	灰褐色	密 雲母・石英	外面：横ナデ 内面：受部縦・横ヘラケズリ、脚台部ナデ、脚部横ヘラケズリ、脚端部横ナデ	内面脚部一部煤付着

第40表　5区SI08出土金属製品観察表（第71図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種　類	器存残存率	材質	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	遺存度	メタル度	ランク	重量（g）	備考
14	埋砂中	刀子？	1/4	鉄	全長（33） 刃部（16） 茎部（17）	刃部：15 茎部：10	刃部：2 茎部：1	6	II(○)	2	4.5	
15	埋砂中層	棒状不明品	—	鉄	（45）	7	3	5	II(○)	3	4.4	
16	埋砂下層	棒状不明品	—	鉄	（40）	4	3	3	錆化(△)	2	1.5	
17	床面直上	棒状不明品	完形	鉄	135	10	6	5	I(●)	5	31.5	

第41表　5区SI08出土石器・石製品観察表（第71図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種　類	遺存状態	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	石　材	備　考
18	埋砂下層	砥石	破損完形	118	87	45	672.3	凝灰岩	
19	埋砂中	不明石製品	完形	44	37	20	64	緑石	中心部穿孔
20	埋砂下層	管玉未製	完形	92	53	46	255.8	角閃石安山岩	
21	埋砂上層	石製品	完形	31	10	2	0.4	黒曜石	石器転用

第42表　5区SI09出土土器観察表（第73図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器　種	部位残存率	法　量	焼成	色調	胎土	調整・文様	備　考
1	床面直上	土師器 坏	口縁一体 部1/4	口径（25.4） 器高（5.7）	良	橙褐色～灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面一部黒付着
2	埋砂下層	土師器 坏	口頸部 1/3	口径（29.2） 器高（5.6）	良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面：指頭調整→ナデ 内面：口頸部横調整→ナデ、頸部下半横ヘラケズリ	外面煤付着
3	埋砂中	須恵器 甕	口頸部 1/4	口径（9.8） 器高（3.6）	良	青灰色	密	外面：口縁部回転ナデ、頸部ヘラ状工具による直線文2条 内面：口頸部回転ナデ	
4	埋砂中	須恵器 無頸小壺	口縁一体部1/8	口径（6.0） 器高（2.9） 胴径（9.9）	良	青灰色	密	内外面：回転ナデ	外面胴部自然釉灰
5	埋砂中	須恵器 無頸小壺	口縁一体部1/2	口径（6.9） 器高（2.6） 胴径（9.8）	良	灰色	密	内外面：回転ナデ	
6	埋砂中	須恵器 坏	1/8	口径（12.0） 器高（3.1）	良	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転ヘラケズリ 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
7	埋砂上層	須恵器 高坏	脚部 完形	口径（12.0） 脚高（8.2） 底径（7.9）	良	青灰色	密	外面：回転ナデ 内面：坏部回転ナデ、坏底部ナデ、脚部回転ナデ 脚部二方方形透し	
8	埋砂最上層	須恵器 高坏 脚周縁？	坏底部	器高（1.7）	良	青灰色	密	外面：回転ナデ 内面：坏底部回転、脚部回転ナデ	
9	埋砂上層	手捏ね 十器	脚部 完形	口径：4.2 器高：4.4	良	黒茶色	密 白色粒	内外面：指頭調整	
10	埋砂最上層	土師器 甕	胴部破片	厚さ：1.6	良	灰褐色	密	ヘラケズリ	一部煤付着

第43表　5区SI09出土金属製品観察表（第73図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種　類	器存残存率	材質	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	遺存度	メタル度	ランク	重量（g）	備考
11	埋砂中	棒状不明品	—	鉄	（22）	3	3	3	錆化(△)	2	0.6	

第44表　5区SI09出土石器観察表（第73図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種　類	遺存状態	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	石　材	備　考
12	埋砂中	紡錘車	1/2	（25）	（45）	22	6.7	凝灰岩	
13	埋砂中	磨製石斧	破片	（35）	（34）	(9)	11.8	硬質砂岩	刃部当初欠
14	埋砂中	砥石	完形	48	35	48	39.1	緑石	

第45表　5区SI10出土土器観察表（第75図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器　種	部位残存率	法　量	焼成	色調	胎土	調整・文様	備　考
1	埋砂上層	土師器 坏	口縁一体部1/2	口径（14.7） 器高（13.6） 胴径（20.8）	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部下半以下指頭調整→横・斜めヘラケズリ	内外面煤付着
2	床面直上	土師器 甕	体部破片	器高（9.3） 胴径（20.0）	良	褐色～灰茶色	密 石英・砂粒	外面：胴部縦ハケ工具による直線文・波状文、体部縦ハケメ 内面：横ヘラケズリ	外面煤付着
3	埋砂下層	土師器 鉢口縁	破片	口径（11.8） 器高（4.2）	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、口頸部縦状工具による直線文・貝殻腹縁による刺突文 内面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	
4	埋砂中	土師器 十器	破片	口径（13.8） 器高（2.5）	良	橙色	密 角閃石・雲母・白色粒	内外面：横状工具による波状文→ナデ	
5	埋砂中層	土師器 坏	底部1/2	器高（2.6） 底径（3.0）	良	黒茶色	密 石英・砂粒	外面：体部縦ハケメ、体部下半～底部ナデ 内面：指頭調整→ナデ	
6	埋砂中	土師器 甕	体部破片	器高（2.6）	良	灰褐色	密 石英・白色粒	外面：貝殻腹縁による刺突文2条・櫛状工具による直線文 内面：ヘラケズリ	
7	埋砂下層	土師器 壺形器台	1/5	口径（19.6） 器高（14.7）	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁端部縦ナデ、受部・脚部横状工具による直線文、接合部へ斜状工具による直線文5条・貝殻腹縁による刺突文・直線文3条・刺突文・沈線文3条 内面：受部横ヘラミガキ、接合部ナデ、脚部横ヘラケズリ	外面赤彩

第46表　5区SI10出土金属製品観察表（第75図）

遺物No.	遺構・地区 所土層位	種　類	部位 残存率	材質	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	錆着度	メタル度	ランク	重量 (g)	備考
8	住居覆土	鏃	破片	鉄	(37)	(23)	2	6	酸化(△)	2	7.5	

第47表　5区SI10出土石器観察表（第75図）

遺物No.	遺構・地区 所土層位	種　類	遺存状態	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	石　材	備　考
9	住居床上	有茎石鏃	完形	72	41	37	13.1	珪質	

第48表　5区SI11出土土器観察表（第76図）

遺物No.	遺構・地区 所土層位	器　種	部位 残存率	法　量 (cm)	焼成	色　調	胎　土	調　整　・　文　様	備　考
1	床直床上	上師器 小型丸底壺	口縁～胴 片/3	口径(11.0) 器高(5.5)	良	褐色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部横・縦ヘラミガキ、胴部以下縦ハケメ→ナデ 内面：口縁部横ナデ、口部部横・斜ヘラミガキ、胴部横ヘラケズリ	
2	埋郭上層	上師器 小型丸底壺	口縁～体 部1/4	口径(10.3) 器高(6.0) 胴径(6.3)	良	赤褐色	密 石英・白色粒	外面：口縁部横・ヘラミガキ、胴部以下斜ハケメ→横ヘラミガキ 内面：口縁部斜めのハケメ、体部横ヘラケズリ→ナデ	
3	埋郭下層	上師器 甕	底部1/2	器高(3.6) 底径(5.0)	良	黒茶色	密 石英・砂粒	外面：ハケメ 内面：横ヘラケズリ	外面煤付着
4	埋郭中	上師器 小型甕	破片	口径(8.0) 器高(2.6)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、口縁下端ヘラ状工具による波線文、体部横ヘラミガキ・底部放射による線刻文 内面：横ヘラミガキ	内外面口縁部赤彩

第49表　5区SI13b出土土器観察表（第79図）

遺物No.	遺構・地区 所土層位	器　種	部位 残存率	法　量 (cm)	焼成	色　調	胎　土	調　整　・　文　様	備　考
1	埋郭下層	土師器 甕	破片	口径(24.8) 器高(5.7)	良	褐色～黒灰白色～褐色	やや密 石英・砂粒	外面：板ナデ 内面：口部部横ナデ、胴部下半横ヘラケズリ	
2	埋郭下層	土師器 小型丸底鉢	ほぼ 完形	口径(13.4) 器高：6.6	やや良	黒灰白色～褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部横ハケメ、底部部放射横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラミガキ、底部ヘラケズリ	
3	埋郭中層	土師器 低脚杯	脚部	器高(1.2) 底径：3.8	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	内外面：横ナデ	
4	埋郭下層	土師器 低脚杯	脚部	器高(2.5) 底径：7.9	良	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：脚部部裾廣整、脚端部破ナデ 内面：横ナデ	内面脚部ヘラ状工具による波刻線 外面横刷毛目痕
5	埋郭下層	須恵器 蓋	完形	口径：12.9 器高：5.0	良好	灰色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部回転ナデ、天井部回転ヘラケズリ 内面：口縁部回転ナデ、天井部ナデ	外面は体部及び天井部ヘラ切
6	埋郭下層	須恵器 坏	完形	口径：11.7 器高：3.2	良好	灰色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半回転ヘラケズリ 内面：回転ナデ	外面体部底部ヘラ切
7	埋郭下層	須恵器 坏	完形	口径：12.0 器高：5.3	良好	灰色	密 石英・砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半回転ヘラケズリ 内面：回転ナデ	外面体部底部ヘラ切

第50表　5区SI14出土土器観察表（第81図）

遺物No.	遺構・地区 所土層位	器　種	部位 残存率	法　量 (cm)	焼成	色　調	胎　土	調　整　・　文　様	備　考
1	埋郭中層	土師器 皿	口縁部 1/2	口径(28.2) 器高(4.3)	良	褐色	密 雲母・石英	外面：口縁部横状工具による波線文 内面：横ナデ	
2	埋郭中層	土師器 皿	口縁～胴 部1/4	口径：28.7 器高(15.2) 胴径(35.0)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒・砂粒	外面：口部部横ナデ、胴部横状工具による直線文、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラミガキ、体部横ヘラケズリ→横ハケメ	外面煤付着
3	埋郭上層	土師器 皿	口縁～胴 部1/2	口径(15.4) 器高：8.8	良	黄灰白色～褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部横状工具による直線文、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	
4	埋郭上層	土師器 皿	口縁～胴 部1/8	口径(15.8) 器高：9.2	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部横状工具による直線文、体部横ハケメ 内面：口部部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面体部煤付着
5	埋郭下層	土師器 皿	口縁～胴 部2/5	口径(13.9) 器高(7.0)	やや良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部下半部調整、体部指頭調整→横ヘラケズリ	外面煤付着
6	埋郭下層	土師器 坏	底部2/3	器高(1.9) 底径(5.2)	良	黒茶色	密 雲母・砂粒	外面：体部縦ハケメ、底部ヘラケズリ 内面：指頭調整→ナデ	外面煤付着
7	埋郭上層	土師器 高坏	坏部1/4	口径(22.8) 器高(5.2)	良	褐色	密 雲母・砂粒	内外面：横・縦ヘラミガキ	
8	埋郭中層	上師器 高坏	坏部1/4	口径(11.6) 器高：8.0 脚径(15.0)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面：横・縦ヘラミガキ 内面：指頭調整→横ヘラミガキ	プランテーグラス形 外面煤付着
9	埋郭上層	上師器 高坏	脚部5/8	器高(5.2) 底径(12.8)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：脚柱部縦ヘラケズリ、脚部横ハケメ 内面：脚柱部横ヘラケズリ、脚部横ハケメ	
10	埋郭上層	上師器 高坏	脚部5/8	器高(6.3) 底径：9.8	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：脚部縦ハケメ→縦・横ヘラミガキ 内面：脚柱部横ヘラケズリ、脚部横ハケメ	
11	埋郭中層	土師器 鼓形器台	2/3	器高(9.7)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：受部横状工具による波線文、脚台部縦ナデ、脚部裾広がりによる波線文、脚部下半横ヘラミガキ 内面：受部部横調整→ナデ、脚部横ヘラケズリ	
12	埋郭上層	土師器 鼓形器台	受部1/3	口径(22.4) 器高(5.2)	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：受部横ナデ 内面：受部縦・横ヘラミガキ	
13	埋郭上層	土師器 注口土器？	把手部	幅：2.6	良	赤褐色	密	ヘラミガキ・ナデ	

第51表　5区SI14出土石器観察表（第81図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	遺存状態	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	石材	備考
14	堀跡中層	砥石	SI14完形	(96)	(70)	62	918	粗石	
15	堀跡中層	磨石・敲石	完形	170	102	96	938.8	変質岩	

第52表　5区SI15出土土器観察表（第83図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量(cm)	成形	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堀跡下層	土師器 小型器台	2/3	LJ径(9.4) 器高(7.7)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、杯底部→脚部ハケメ→縦・横ヘラミガキ、脚柱部ヘラ状工具痕跡による刺突文（ほぼ全周） 内面：杯部横ヘラミガキ、脚部横ヘラケズリ 接合部円盤充填法	接合部未穿孔

第53表　5区SI16a・b出土土器観察表（第85図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量(cm)	成形	色調	胎土	調整・文様	備考
1	SI16a 堀跡中層	土師器 壺	口縁部 1/4	LJ径(16.6) 器高(5.3)	良	橙色	密 白色粒	外面：口縁部横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整	内外面煤付着
2	SI16a 堀跡中層	土師器 壺	口縁部	LJ径(18.0) 器高(6.3)	良	橙色	密 雲母・石英・白色粒	内外面：横ヘラミガキ	外面煤付着
3	堀跡中	土師器 鉢底部	体部破片	器高(7.2) 底径(16.3)	良	黒褐色→灰茶色	密 雲母・石英・白色粒	外面：ヘラ状工具による4条の波線区画内の粗ケズリ後ヘラ状工具による円弧文・竹管による同心円文2次・円弧文 内面：横ヘラケズリ	
4	SI16a 床面直上	土師器 壺	口縁部 1/4	LJ径(17.6) 器高(6.65)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、胴部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ハケメ	外面煤部煤付着
5	堀跡中	土師器 壺	口縁部 1/8	LJ径(15.2) 器高(4.5)	良	褐色	密 石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	内面赤彩
6	堀跡中	土師器 壺	口縁→体部1/4	口径(10.8) 器高(8.0) 胴径(12.0)	良	黄灰白色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部横ナデ、口縁部→体部横・斜のハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整、体部指頭調整→横ヘラケズリ	外面赤彩
7	SI16b 床面直上	土師器 小型丸底壺	口縁→体部1/4	口径(11.8) 器高(3.8)	良	褐色	密 石英・白色粒	外面：横ヘラミガキ 内面：口縁部横ヘラミガキ、体部指頭調整→横ヘラケズリ	
8	堀跡中	土師器 小型丸底壺	口縁→体部1/4	口径(10.4) 器高(5.0) 胴径(8.8)	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横ヘラミガキ、体部縦ハケメ 内面：口縁部横ハケメ、体部横ヘラケズリ	
9	堀跡中	土師器 小型丸底壺	口縁部 1/8	口径(12.9) 器高(4.6)	良	黄灰白色	密 石英・白色粒	外面：縦ハケメ 内面：口縁部横ハケメ、体部横ヘラケズリ	
10	堀跡中	土師器 小型丸底壺	口縁部 1/4	口径(11.6) 器高(3.8)	良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面：横ヘラミガキ 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整、体部横ヘラケズリ	内面煤付着
11	堀跡中	土師器 甕	口縁部 1/4	LJ径(8.4) 器高(3.8)	良	茶褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：横・縦ヘラミガキ 内面：横ヘラミガキ	LJ段部穿孔1個
12	堀跡中	土師器 高杯	杯部1/2	LJ径(18.4) 器高(7.0)	良	褐灰色	密 石英・白色粒・赤色粒	外面：口縁部横ヘラミガキ、杯底部横ナデ 内面：縦ヘラミガキ 接合部円盤充填法	内外面赤彩
13	SI16a 堀跡下層	土師器 高杯	脚部1/3	器高(5.4)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・白色粒	外面：脚部縦ヘラミガキ 内面：杯部→ヘラミガキ、脚部指頭調整→縦ハケメ 脚部切方法透し	
14	堀跡中	土師器 高杯	脚部1/2	脚部(5.3) 底径(8.8)	良	黄灰白色	密 石英・白色粒	外面：脚柱部横ヘラミガキ、脚部縦ヘラナデ→ナデ 内面：脚柱部横ヘラケズリ→指頭調整、脚部縦ハケメ	
15	SI16a 堀跡下層	土師器 低脚坏	脚部	器高(3.7) 底径(6.8)	良	褐灰色	密 角閃石・雲母・石英・白色粒	外面：坏部→脚部縦・縦ヘラミガキ、脚端部横ナデ 内面：坏部横ヘラミガキ、脚部縦ヘラミガキ	外面脚部→内面脚部赤彩
16	SI16b 堀跡下層	土師器 低脚坏	坏部→脚部	器高(3.7) 底径(6.4)	良	黄灰白色	密 雲母・砂粒	外面：横ヘラミガキ 内面：坏部ハケメ→横ヘラミガキ、脚部横ナデ	
17	堀跡中	土師器 低脚坏	坏部→脚部	器高(2.8) 底径(6.0)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：横ナデ 内面：坏部ヘラミガキ、脚部横ナデ	
18	SI16b 堀跡下層	土師器 低脚坏	脚部	器高(2.3) 底径(6.0)	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：横ナデ 内面：坏部ヘラミガキ、脚部横ナデ	
19	SI16b 堀跡下層	土師器 低脚坏	脚部	器高(2.5) 底径(6.2)	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：横ナデ 内面：坏部ナデ、脚部横ナデ	
20	堀跡中	土師器 脚部坏	脚部	器高(1.9) 底径(5.8)	良	灰褐色	密 角閃石・石英・白色粒	外面：指頭調整→ヘラミガキ 内面：坏部ヘラミガキ、脚部指頭調整→ナデ	
21	SI16a 堀跡中層	土師器 低脚坏	脚部	器高(3.6) 底径(12.6)	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：縦・横ヘラミガキ 内面：坏部ヘラミガキ、脚部ハケメ→ヘラミガキ→黒色処理→横ヘラミガキ	脚部内面黒色
22	堀跡中	手捏ね 土器	破片	LJ径(5.6) 器高(3.1)	やや良	灰赤色	密 雲母・石英・白色粒	内外面：指頭調整→ナデ	
23	堀跡中	手捏ね 土器	破片	器高(2.0) 底径(3.8)	やや良	灰褐色	密 白色粒	内外面：指頭調整	

第54表　5区SI16a・b出土金属製品観察表（第85図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	部位・残存率	材質	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	錆層度	メタル度	ランク	重量（g）	備考
24	SI16a 堆砂上層	刀子	1/2	鉄	全長(63) 刃部(56) 茎部(7)	刃部:10 茎部:5	刃部:2 茎部:1	3	錆化(A)	2	54	
25	SI16b 堆砂上層	刀子	1/2	鉄	全長(50) 刃部(32) 茎部(18)	刃部:(9) 茎部:5	刃部:2 茎部:1	4	錆化(A)	2	52	
26	柱穴中	刀子？	—	鉄	全長(47) 刃部(32) 茎部(36)	刃部:(6) 茎部:4	刃部:1 茎部:1	4	錆化(A)	2	27	

第55表　5区SI16a出土石器観察表（第85図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	残存状態	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	石材	備考
27	柱穴中	砥石	完形	151	62	26	421.3	黒灰岩	
28	堆砂中	磨石	完形	73	44	46	331	軟石	
29	堆穴中	焼子	完形	56	41	42	25.8	粗石	
30	SI16a 堆砂下層	台石	完形	278	132	81	3900.0	花崗岩	煤付着
31	SI16a 堆砂上層	ハンマー・ストーン	完形	172	76	52	1036.0	ケイサイト	

第56表　5区SI17出土土器観察表（第87図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位・残存率	法量（cm）	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堆砂中	土師器 坩脚坏	脚部	脚高(4.6) 高径:6.9	良	黄灰白色	密 長石・石英・砂粒	外面：坩部横ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坩部横・斜めヘラミガキ、脚部横ナデ	外面煤付着

第57表　5区SI18出土土器観察表（第88図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位・残存率	法量（cm）	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堆砂中	土師器 皿口坏	口縁部 1/4	口径(12.4) 器高(5.2)	良	明色	密 雲母・石英	外面：指跡調整→ナデ 内面：口縁部ナデ、底部下半横ヘラケズリ	墨書 外面：煤付着

第58表　1区SK05出土土器観察表（第90図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位・残存率	法量（cm）	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堆砂下層	土師器 甕	完形	口径:19.9 器高:33.2 最径:26.8 底径:8.6	良	黄灰白色	密	外面：口頸部横ナデ、胴部以下縦・横ハケメ、胴部横状上具による波状文・横状工具痕跡による列点文（全面） 内面：口頸部横ナデ、胴部以下斜めヘラケズリ、体部下半指頭調整→斜めヘラケズリ	外面煤付着 外面体部下半・内面底部炭化物付着
2	堆砂下層	土師器 鉢形器台	1/4 完形	口径:25.0 器高:12.9 底径:20.6	良好	灰茶色	密 外周石・雲母	外面：ナデ 内面：受部ヘラケズリ→ナデ、接合部→指頭痕ヘラケズリ	内外面煤付着 受部炭化物付着
3	堆砂下層	土師器 片口鉢	1/2 完形	口径:34.2 器高:20.5 胴径:32.1 底径:7.8	良好	灰茶色	密 雲母・石英	外面：口縁部横状工具による波状文、体部ハケメ→ヘラミガキ、底部ヘラケズリ→ミガキ 内面：板・縦ハケメ→横・縦ヘラミガキ	外面煤付着 内面炭化物付着 注口を補修痕

第59表　5区SK18出土土器観察表（第92図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位・残存率	法量（cm）	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堆砂上層	土師器 甕	5/8	口径:(38.4) 器高:57.4 胴径:(49.4) 底径:(8.4)	良好	褐色	密 角閃石・石英・白色粒	外面：口縁部→胴部横ナデ、体部→底部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部指跡調整、体部横ヘラケズリ	次焼成 外面体部煤付着 内外底部炭化物・漆付着
2	堆砂上層	土師器 壺	1/2 完形	口径:27.2 器高:(34.4) 胴径:34.1	やや良	灰褐色	密 石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦ハケメ、胴部横状工具による波状文 内面：口縁部横ナデ、体部指頭調整、体部横・縦ヘラケズリ	内外面体部煤付着
3	堆砂上層	土師器 鉢	1/2 完形	口径:16.9 器高:27.1 胴径:22.7	良	褐色	密 雲母	外面：口縁部横ナデ、胴部以下縦・横ハケメ、胴部横状工具による波状文 内面：口縁部横ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→斜めヘラケズリ	外面・内面口縁部・胴部煤付着
4	堆砂上層	土師器 高坏	1/2 完形	口径:25.6 器高:16.0 底径:13.7	良	黄灰白色～褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：坏部横ヘラミガキ、脚部横・縦ヘラミガキ 内面：坏部ハケメ→縦・横ヘラミガキ、脚柱部横ハケメ、脚部横・縦ヘラミガキ 接合部円盤充填法	次焼成 外面煤付着
5	堆砂上層	土師器 高坏	1/2 完形	口径:25.6 器高:16.8 底径:15.2	良	褐色～褐灰色	密 雲母・石英・砂粒	外面：坏部横ハケメ→横ヘラミガキ、脚柱部縦ハケメ、脚部横・縦ヘラミガキ 内面：坏部横ヘラミガキ、脚柱部横ヘラケズリ、脚部ハケメ 接合部円盤充填法	
6	堆砂上層	土師器 低脚坏	完形	口径:21.6 器高:11.4 底径:11.8	やや良	黄灰白色	やや密 角閃石・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、坏部縦ハケメ、坏部指跡調整、脚部横ナデ 内面：口縁部横ナデ、ヘラによる沈線、坏部横ヘラミガキ、脚部横ナデ	
7	堆砂上層	土師器 低脚坏	1/2 完形	口径:12.9 器高:(4.9)	良	褐色	密 雲母・石英	外面：坏部横ハケメ→横ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部指跡調整→横ヘラミガキ、脚部横ナデ	

8	壺形上層	土師器 壺形甕	完形	口径:21.6 器高:8.7 底径:5.8	良	褐色	密 雲母・石英	外面:球形縦ハケ→縦・横ヘラミガキ、胴部横ナデ 内面:球形縦ハケ→縦・横ヘラミガキ、胴部横ナデ		溝都内溝跡北3箇	
9	壺形上層	土師器 壺形甕	球形底	口径:20.0 器高:5.3	良	黄灰白色	密 雲母・石英	内外面:ハケメ→縦ヘラミガキ		内外面赤部属付着	
10	壺形上層	土師器 壺形器台	完形	口径:22.8 脚径:12.7 高:19.2	良	黄灰白色	密 雲母・白英・砂粒	外面:横ナデ 内面:口縁部横ナデ、受部縦・横ヘラミガキ、胴部横ヘラケズリ、脚裾部横ナデ			

第60表　1区SD02出土土器・土製品観察表（第95～115図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	器位 或形中	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	壺形中層	土師器 壺	口径完形	口径:27.8 器高:45.6 胴径:34.6	良好	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面:口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ、頸部近接を有する頸状工具痕部による羽状文、胴部横状工具による矛頭文→風状工具痕部による列点文（全周） 内面:口縁部横ナデ、頸部指頭調整、体部横ヘラケズリ、底部指頭調整	
2	壺形中層	土師器 壺	1/2	口径:35.4) 器高:37.1 胴径:31.1)	良	灰茶色	密 雲母・石英・白色粒	外面:口縁部横ナデ、頸部縦状工具痕部による羽状文（全周）、体部縦・横ハケメ 内面:口縁部横ナデ、頸部指頭調整、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→縦ヘラケズリ	
3	壺形中	土師器 壺	口頸部 1/8	口径:21.4) 器高:(9.2)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面:口縁部横ナデ、頸部沈線を有する頸状工具痕部による羽状文 内面:口縁部横ナデ、頸部指頭調整	
4	壺形中層	土師器 壺	口径完形	口径:21.7 器高:35.2 胴径:27.4	良好	橙褐色	密 砂粒	外面:口縁部横ナデ、頸部沈線を有する頸状工具痕部による羽状文（全周）、体部縦・横ハケメ 内面:口縁部横ナデ、頸部指頭調整、体部指頭調整→横・縦ヘラケズリ	
5	壺形中層	土師器 壺	口径完形	口径:20.7 器高:36.8 胴径:27.0	良	橙褐色	密	外面:口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ、胴部横状工具による羽状文 内面:口縁部横ナデ、頸部横ハケメ、体部上半横ヘラケズリ、体部中位以下指頭調整→ヘラケズリ	
6	壺形中層	土師器 壺	1/2	口径:(22.2) 器高:(21.5) 胴径:(28.0)	良好	黄灰白色	密 砂粒	外面:口縁部ハケメ、頸部以下縦・横ハケメ、胴部横状工具痕部による羽状文（全周） 内面:口縁部横ナデ、底部指頭調整、体部横ヘラケズリ	黒斑 外面赤部・部属付着
7	壺形中層	土師器 壺	1/2	口径:21.3 器高:(35.0) 胴径:(30.7)	良	灰褐色	密 角閃石・黄母・石英・白色粒	外面:口縁部横ナデ、頸部縦ハケメ→ナデ、体部斜め・横ハケメ 内面:口縁部横ナデ、頸部指頭調整、体部縦ヘラケズリ	黒斑 外面赤部・部属付着
8	壺形下層	土師器 壺	口頸部完形	口径:(19.7) 器高:34.5 胴径:(25.5)	良好	褐色	密 角閃石・白色粒・スバル石	外面:口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ、胴部横状工具による列点文（3/4周） 内面:口縁部横ナデ、頸部指頭調整、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→ヘラケズリ	黒斑
9	壺形下層	土師器 壺	口縁一体 部1/2	口径:(19.3) 器高:(22.5) 胴径:(27.8)	良好	褐色	密 角閃石・白色粒	外面:口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ、胴部縦状工具による羽状文（全周） 内面:口縁部横ナデ、頸部横ヘラケズリ→指頭調整、胴部以下横ヘラケズリ	外面赤付着
10	壺形下層	土師器 壺	口径完形	口径:21.3 器高:38.0 胴径:28.2	やや良	灰褐色	密 角閃石・雲母・白色粒	外面:口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ 内面:口縁部横ナデ、頸部指頭調整、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→ヘラケズリ	
11	壺形中層	土師器 壺	1/3	口径:(23.2) 器高:40.5 胴径:(31.4)	良好	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面:口頸部横ナデ、頸部方形突帯貼付、体部縦・横ハケメ→一部ヘラミガキ、胴部横状工具痕部による羽状文 内面:口頸部横ナデ、胴部指頭調整→横ヘラケズリ、体部横・縦ヘラケズリ	
12	壺形下層	土師器 壺	口縁一胴 部1/3	口径:(15.4) 器高:(12.0)	良好	灰褐色	密 砂粒	外面:口縁部横状工具による波状文、頸部胴部工具による波状文、頸部以下ヘラミガキ 内面:口縁部横ナデ、胴部ヘラケズリ、胴部横ヘラケズリ	
13	壺形中層	土師器 壺	1/2	口径:(24.8) 器高:(39.9) 胴径:(34.4)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面:口頸部横ナデ、頸部方形突帯貼付、体部縦・横ハケメ、胴部縦状工具痕部による羽状文 内面:口縁部横ナデ、頸部指頭調整、体部横ヘラケズリ、底部指頭調整・ナデ	内面黒斑・部属付着
14	壺形中層	土師器 壺	口頸部完形	口径:(25.6) 器高:(34.8) 胴径:(30.0)	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面:口縁部一胴部横ナデ、頸部方形突帯貼付・刺青部横状工具痕部による列点文、体部縦・横ハケメ、胴部横状工具痕部による羽状文（全周） 内面:口縁部横ナデ、頸部指頭調整、体部横・縦ヘラケズリ、底部指頭調整→ヘラケズリ	
15	壺形中層	土師器 壺	底片	口径:(25.4) 器高:(10.0)	良	灰茶色	密 角閃石・雲母・石英・砂粒	外面:横ナデ、頸部方形突帯貼付 内面:口縁部横ナデ、頸部指頭調整→ナデ、胴部ヘラケズリ	
16	壺形中層	土師器 壺	口縁一体 部1/3	口径:(25.2) 器高:(25.0) 胴径:(31.7)	良好	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面:口頸部横ナデ、頸部方形突帯貼付、体部縦・横ハケメ、胴部縦状工具痕部による羽状文（全周） 内面:口縁部横ナデ、頸部指頭調整、体部横ヘラケズリ	外面胴部・部赤彩
17	壺形最下層	土師器 壺	口縁一体 部	口径:(26.2 器高:(22.6) 胴径:(32.8)	良好	灰褐色	密 雲母・石英	外面:口頸部横ナデ、頸部縦ハケメ→ナデ、ヘラ状工具による直線文・三角突帯貼付、胴部縦状工具による羽状文（全周）、体部縦・横ハケメ 内面:口頸部横ナデ、頸部指頭調整→ナデ、体部横ヘラケズリ	
18	壺形中層	土師器 壺	頸片	口径:(21.0) 器高:(11.6)	良好	灰褐色	密 雲母・白色粒・砂粒	外面:口頸部横ナデ、胴部横ハケメ 内面:口頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	
19	壺形中層	土師器 壺	2/3	口径:(29.9) 器高:(22.6)	良好	黄灰白色	密	外面:口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ、胴部竹管文 内面:口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ	
20	壺形下層	土師器 壺	1/2	口径:(15.8) 器高:(13.4)	良好	褐色	密 雲母	外面:口縁部一胴部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面:口縁部横ナデ、頸部指頭調整、体部横ヘラケズリ	内面黒付着
21	壺形中層	土師器 壺	口縁一胴 部	口径:(20.0) 器高:(5.2)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面:口頸部横ナデ、胴部縦・横ハケメ 内面:口縁部横ナデ、頸部指頭調整→ナデ、胴部横ヘラケズリ	内外黒部付着
22	壺形中層	土師器 底口縁	2/3	口径:(14.4) 器高:(16.7 胴径:(16.4)	良	褐灰色	密 角閃石・雲母・白色粒	外面:口縁部横ハケメ→ヘラミガキ、頸部ナデ、体部縦・横ハケメ 内面:口縁部横ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半ハケメ→指頭調整・ナデ	内外黒一部部？付着

23	堀砂下層	土師器 内口縁	L字型～体部	口径:10.2 器高:11.2	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁～胴部横ナデ、胴部横位工具による底状文、体部斜め・縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部指頭調整、体部横ヘラケズリ	底部		
24	堀砂中層	土師器 内口縁	ほぼ完形	口径:10.5 器高:14.5 胴径:10.8	良	褐色	密 雲母・白色砂・砂粒	外面：口縁部横ヘラミガキ、底部ナデ、胴部横位工具による底状文（全周）、体部縦・横ハケメ、体部横ヘラケズリ 内面：口縁部横ヘラミガキ、胴部指頭調整、体部横ヘラケズリ			
25	堀砂中層	土師器 壺	口頸部～胴部	口径:14.6 器高:15.1	良好	褐色	密 雲母・石英・白色砂	外面：口縁部横ナデ、胴部横ハケメ、頸部沈線を有する横位工具痕都による羽状文2条 内面：口縁部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ	内面口頸部煤付着		
26	堀砂中層	土師器 壺	口頸部～胴部	口径:12.4 器高:（9.6）	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部横位工具痕都による羽状文 内面：器表面摩耗不明	内面煤付着		
27	堀砂中層	土師器 壺	L字型～体部	口径:19.2 器高:17.0 胴径:16.4	良	淡茶色～褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部横位工具痕都による羽状文2条→羽状文1条、体部縦・横ハケメ、体部下半指頭調整→ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半ハラケズリ→ハケメ、指頭調整	内面体部下半黒化物付着		
28	堀砂中層	土師器 壺	体部 2/3	器高:(5.0) 胴径:11.2	やや良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：体部縦・横ハケメ、胴部ハラケズリによる底状文1条 内面：体部横ヘラケズリ	黒鉛		
29	淳原下層	土師器 直口壺	ほぼ完形	口径:18.4 器高:34.4 胴径:31.9 底径:6.4	やや良	黄灰白色～褐色	密 砂粒	外面：口縁部～体部ハケメ→縦・横ヘラミガキ、体部下半指頭調整、底部ハラケズリ 内面：口縁部横ヘラミガキ、体部指頭調整→縦ハケメ、底部ヘラケズリ→ナデ	口縁部補孔 黒鉛		
30	堀砂中層	土師器 無口壺	1/2	口径:13.4 器高:(14.3)	良	灰褐色～褐色	密 雲母・砂粒	外面：口頸部横ナデ、胴部横位工具による底状文→口頸部砂による調整、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、底部指頭調整、体部横ヘラケズリ			
31	堀砂中層	土師器 無口壺	ほぼ完形	口径:11.6 器高:(17.5) 胴径:15.2	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ→ヘラミガキ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ハケメ、頸部ナデ、体部指頭調整→ヘラケズリ	外面煤付着		
32	堀砂中	土師器 椀底部	破片	口径:(5.6) 器高:(1.7)	良好	褐色	密	外面：縦・横ヘラミガキ 内面：縦ヘラミガキ	上縁部2重一対穿孔		
33	堀砂下層	土師器 装飾壺	破片	器高:(4.6) 胴径:(2.6)	良	黄灰白色	密 雲母・石英	外面：三角突帯2条、櫛状工具による直線文→指頭波文、瓜形文2条、横ハケメ 内面：横ヘラミガキ	内外面赤彩		
34	堀砂下層	土師器 装飾壺	破片	器高:(3.5)	良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面：波状原列の口縁部押による刺突文 内面：雑部ナデ、胴部ヘラケズリ			
35	堀砂中層	土師器 装飾壺	破片	器高:(1.0)	良好	黒茶色	密 石英・砂粒	外面：羽状縄疵による羽状文 内面：ハケメ(?)			
36	堀砂中層	土師器 甕	ほぼ完形	口径:29.6 器高:42.2 胴径:36.9	良好	褐色	密 雲母・白色砂	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横・縦ヘラケズリ、底部指頭調整	外面胴部～体部黒色煤付による格子状文		
37	堀砂下層	土師器 甕	1/2	口径:18.4 器高:(22.9) 胴径:28.2	良	黄灰白色	密 雲母・石英	外面：口縁部横ナデ、頸部～体部縦・縦ハケメ、胴部横位工具による底状文・羽状文 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→ヘラケズリ	外面体部下半煤付着		
38	堀砂下層	土師器 甕	ほぼ完形	口径:17.8 器高:(32.5) 胴径:(30.2)	良	黒茶色～黄灰白色	密 砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→横・縦ヘラケズリ	黒鉛 外面体部煤付着 内面胴部黒鉛		
39	堀砂下層	土師器 甕	ほぼ完形	口径:15.6 器高:(26.0) 胴径:27.5	良好	褐色	密 白色粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ、胴部横位工具による斜線文（全周） 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整、体部横ヘラケズリ、底部指頭調整→ヘラケズリ	外面煤付着 内面頸部～胴部黒鉛物付着 内面上縁部横煤黒		
40	堀砂下層	土師器 甕	ほぼ完形	口径:13.8 器高:(32.0) 胴径:29.6	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦ハケメ、胴部横位工具による直線文（2段） 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着		
41	堀砂中層	土師器 甕	1/2	口径:17.4 器高:(26.5) 胴径:29.6	良	褐色	密 石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ、胴部横位工具による羽状文（全周）、体部下位横位工具痕都による刺突文2段 内面：口縁部横ナデ、頸部以下指頭調整→横・縦ヘラケズリ	黒鉛 外面体部煤付着		
42	堀砂中層	土師器 壺	2/3	口径:18.4 器高:(29.4) 胴径:(23.5)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦ヘラケズリ、体部下半指頭調整→縦ハケメ	外面煤付着		
43	堀砂下層	土師器 壺	ほぼ完形	口径:18.8 器高:(30.8) 胴径:(27.8)	良好	灰褐色	密	外面：口縁～胴部横ナデ、胴部横状工具痕都による羽状文（全周）、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部以下指頭調整→横・縦ヘラケズリ	黒鉛		
44	堀砂中層	土師器 壺	ほぼ完形	口径:17.4 器高:(26.9) 胴径:(24.0)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒・小石粒	外面：口頸部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ、胴部横状工具による羽状文（全周） 内面：口縁部横ナデ、頸部以下指頭調整→ヘラケズリ	黒鉛 外面～胴部化物・煤付着		
45	堀砂下層	土師器 壺	ほぼ完形	口径:16.2 器高:25.1 胴径:21.6	やや良	褐色	密 角閃石・雲母・石英・白色粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦ハケメ、胴部ハラケズリ、底部横位工具痕都による刺突文（全周） 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整	外面体部煤付着 内面底部煤付着		
46	堀砂中層	土師器 壺	ほぼ完形	口径:15.4 器高:24.5 胴径:20.6	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面：口頸部横ナデ、胴部横状工具による変線文・波状文、体部横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ、体部下半指頭調整	内外面体部黒鉛物 外面体部黒鉛煤		
47	堀砂下層	土師器 壺	ほぼ完形	口径:14.4 器高:25.0 胴径:22.5	良好	褐色	密 雲母・石英	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→縦ヘラケズリ	外面体部煤付着		
48	堀砂中層	土師器 甕	ほぼ完形	口径:16.6 器高:25.1 胴径:22.3	良	褐色	密	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ、胴部横状工具痕都による刺突文 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ハケメ→ヘラケズリ、胴部下半指頭調整→ヘラケズリ	外面体部煤付着		
49	堀砂下層	土師器 甕	ほぼ完形	口径:15.1 器高:25.5 胴径:22.1	良	褐色	密 石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ、胴部横状工具痕部による刺突文 内面：口頸部ハケメ→ナデ、胴部以下縦・横ヘラケズリ、底部ヘラ状工具痕都による圧痕	外面～胴部煤付着		

50	堀跡下層	上層器類	口縁～体部1/3	口径(18.3) 器高(11.0) 測値(19.6)	良好	良	褐色	密 砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ、胴部以下横強調による列点文 内面：口縁部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ	内面炭部付着
51	堀跡下層	上層器類	2/3	口径(14.8) 器高(11.5)	良	褐色	密 小石粒・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ	外面煤付着	
52	堀跡下層	上層器類	完形	口径(12.2) 器高(15.9) 測値(15.5)	良	褐色	密	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ、胴部横状工具による束線文（全周） 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部上半ヘラ状工具指圧による圧痕	胴部破損後穿孔1箇 内外面煤付着	
53	堀跡下層	上層器類	口縁完形	口径(13.1) 器高(18.0) 測値(17.4)	良	褐色	密 白色粒	外面：口縁部横ナデ、胴部横状工具による束線文、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半ヘラ状工具指圧による圧痕	外面一部煤付着	
54	堀跡下層	土師器類	完形	口径(12.9) 器高(17.4) 測値(16.9)	良	黄灰白色	中々密	外面：口頸部横ナデ、胴部ヘラ状工具調整による列点文15箇、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半指圧調整	外面体部煤付着	
55	堀跡中層	上層器類	完形	口径(13.5) 器高(13.9) 測値(15.6)	良	灰褐色	密 雲母・石英	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ、胴部横状工具による束線文（全周） 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部上半指圧調整	外面一部煤付着	
56	堀跡中層	土師器類	口縁完形	口径(12.5) 器高(14.3) 測値(15.8)	良好	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ、胴部ヘラ状工具調整による列点文（11箇） 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部中位以下指圧調整→ヘラケズリ	外面煤付着 内面底部炭化物付着	
57	堀跡中層	土師器類	1/2	口径(13.0) 器高(15.6) 測値(21.6)	良	灰褐色～橙色	密	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：上部部横ナデ、体部ヘラケズリ、体部中位以下指圧調整→ヘラケズリ	内外面煤付着	
58	堀跡上層	上師器類	口縁完形	口径(14.7) 器高(15.4) 測値(22.6)	良	灰褐色	密 角閃石・雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部横状工具による束線文→口縁部横ナデによる列点文（全周）、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部指圧調整→横・縦ヘラケズリ→ナデ	外面作成下半炭化物付着 外面煤付着	
59	堀跡上層	土師器類	口縁完形	口径(13.2) 器高(17.8) 測値(22.4)	良好	褐色	密 角閃石・白色粒・小石粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ、体部下半指圧調整→ヘラケズリ	外面体部炭化物付着	
60	堀跡下層	土師器類	1/2	口径(15.7) 器高(25.4) 測値(22.5)	良	黄灰白色	密 雲母	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ、胴部横状工具胴部による列点文 内面：上部部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ、体部中位以下指圧調整→ヘラケズリ	内外面煤付着	
61	堀跡上層	土師器類	口縁完形	口径(14.2) 器高(22.9) 測値(20.8)	良好	黄灰白色	密 砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ、体部中位以下指圧調整→ヘラケズリ	黒斑 底部炭成後穿孔 外面一部煤付着	
62	堀跡下層	上師器類	1/2	口径(15.1) 器高(24.2) 測値(21.7)	良	灰褐色	密 雲母・白色粒	外面：口頸部横ナデ、胴部横状工具による束線文、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部強・縦ヘラケズリ、底部指頭圧→ナデ	外面・内面底部煤付着	
63	堀跡下層	上師器類	2/3	口径(14.0) 器高(25.3) 測値(19.8)	良	褐色	密 砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→ヘラケズリ	外面体部煤付着	
64	堀跡下層	土師器類	完形	口径(15.0) 器高(23.1) 測値(20.6)	良	褐色	密	外面：口頸部横ナデ、胴部横状工具による束線文、体部横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→ヘラケズリ	外面煤付着	
65	堀跡下層	土師器類	完形	口径(14.2) 器高(21.0) 測値(20.0)	良	黄灰白色	中々密	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ、胴部ヘラ状工具胴部による列点文（6箇） 内面：口頸部横ナデ、強圧以下横ヘラケズリ、体部下半指頭調整	外面煤付着	
66	堀跡中層	土師器類	口縁部	口径(14.4) 器高(4.8)	良	灰茶色	密 雲母・砂粒	外面：口頸部横ナデ、頸部以下縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部横ヘラケズリ		
67	堀跡中層	土師器類	口縁～胴部1/2	口径(19.8) 器高(9.6)	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面：口頸部横ナデ、胴部縦ハケメ→ヘラ状工具による波状文 内面：口頸部横ナデ、頸部横ヘラケズリ	外面煤付着	
68	堀跡中層	土師器類	口縁～胴部	口径(15.4) 器高(8.0)	良	黄灰白色	密 白色粒	外面：口頸部横ナデ、胴部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ		
69	堀跡上層	土師器類	1/2	口径(14.5) 器高(25.7) 測値(22.4)	良好	褐色	密 雲母・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦ハケメ、胴部横状工具による波状文 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調	外面・内面底部煤付着	
70	堀跡下層	土師器類	1/2	口径(15.6) 器高(25.1) 測値(23.5)	中々良	褐色	密 雲母・石英	外面：口頸部横ナデ、体部縦・縦ハケメ、胴部横状工具による波状文・束線文 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ、底部指頭調整	内外面煤付着 内面底部黒斑付着	
71	堀跡中層	土師器類	1/2	口径(13.5) 器高(22.7) 測値(21.4) 底径(11.1)	良	灰褐色	密 雲母・石英	外面：口頸部横ナデ、体部縦・縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ、底部指頭調整	内面黒色 外面煤付着	
72	堀跡下層	土師器類	1/2	口径(15.6) 器高(22.3) 測値(21.6)	中々良	黄灰白色	密 雲母・石英	外面：口頸部～胴部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部指頭調整→強ヘラケズリ	体部焼成後穿孔 外面・内面底部煤付着	
73	堀跡上層	土師器類	体部～底部	器高(13.2) 測値(21.0) 底径(10.6)	良	褐色	密 白英・小石粒・砂粒	外面：体部縦・横ハケメ、胴部横状工具による束線文 内面：体部横ヘラケズリ、底部指頭調整	内外面煤付着	
74	堀跡中層	土師器類	口縁～体部1/2	口径(14.8) 器高(12.8)	良好	褐褐色	密 雲母・石英	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ	内面一部煤付着	
75	堀跡上層	土師器類	口縁～体部1/2	口径(13.4) 器高(14.5) 測値(20.2)	良	黒茶色	密 雲母・石英	外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部横状工具による波状文、体部縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	内外面煤付着	
76	堀跡下層	土師器類	口縁～体部1/2	口径(16.3) 器高(14.0)	良好	褐褐色	密 雲母・白色粒	外面：口頸部横ナデ、胴部横状工具による束線文・波状文、体部縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ	内面口縁部～外胴体部炭化物付着	
77	堀跡下層	土師器類	口縁～体部1/8	口径(21.4) 器高(9.6) 測値(20.8)	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部横状工具による波状文、体部縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	外面体部煤付着	

78	埋葬中層	十部器壁	口縁～胴部1/3	口径(18.4) 器高(7.9)	良	灰褐色	密 白色粒	外面：口部部横ナデ、胴部横状工具端部による刷毛文 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ		
79	埋葬中層	十部器壁	2/3	口径：8.4 器高(13.0) 胴径(15.6)	良	灰褐色	密 砂粒	外面：口部部横ナデ、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整	内面頂部工具痕 外面体部煤付着	
80	埋葬中層	土師器 壺	口縁壺部	口径：10.2 器高(20.6) 胴径：21.9	良	黄灰白色	密	外面：口縁部横ナデ、体部横・横ハケメ、胴部見附痕跡による刷毛文（全面） 内面：口縁部横ナデ、頸部以下指頭調整→横・横ヘラケズリ		
81	埋葬下層	土師器 甕	完形	口径：14.4 器高：20.8 胴径：19.2	良	褐色	密 雲母・白粒 砂粒	外面：口縁～胴部横ナデ、体部斜ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部中位以下指頭調整→ヘラケズリ	外面体部焼成後穿孔土器 外面体部煤付着	
82	埋葬中層	土師器 甕	口縁～胴部1/2	口径(13.8) 器高：(8.5)	良好	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部縦・横ハケメ 内面：口部部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	外面煤付着	
83	埋葬中層	土師器 甕	口縁～体部1/3	口径(14.7) 器高(11.8) 胴径(21.2)	良好	褐色	密 角閃石・白色粒	外面：口縁部横ナデ、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		
84	埋葬上層	土師器 甕	口縁～体部	口径：(16.4) 器高(22.0) 胴径(28.6)	良	黄灰白色～灰褐色	密 砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：指ナデ調整不明	外面煤付着	
85	埋葬上層	土師器 甕	口縁～体部1/3	口径(21.0) 器高(11.7)	良	灰茶色	密 石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部縦・横ハケメ→頸部工具による波状文・波状文 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ		
86	埋葬上層	土師器 甕	口縁～体部1/2	口径：15.6 器高(12.2)	良	褐色	密 雲母・小石粒 砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部縦・横ハケメ→黄状工具による波状文 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	外面煤付着	
87	埋葬中層	土師器 甕	1/2	口径(16.4) 器高(22.4) 胴径(21.8)	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口部部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→斜めヘラケズリ	外面煤付着	
88	埋葬上層	土師器 甕	1/2	口径：(14.7) 器高(19.7) 胴径(22.0)	良	黄灰白色	密 石英・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部ヘラ状工具による波状文、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→ヘラケズリ	外面体部一部煤付着	
89	埋葬上層	土師器 甕	1/2	口径：(14.0) 器高(18.3) 胴径(21.0)	良好	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口部部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	内外面煤付着	
90	埋葬上層	土師器 甕	1/2	口径：14.5 器高(22.8) 胴径(21.9)	良好	褐色～橙褐色	密 白色粒	外面：口部部横ナデ、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部指頭調整、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整		
91	埋葬中層	土師器 甕	口縁～体部1/4	口径(13.0) 器高(23.4) 胴径(22.8)	良好	褐色	密 雲母・白色粒	外面：口部部横ナデ、胴部縦状工具による縦状文、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	内外面煤付着	
92	埋葬下層	土師器 甕	口縁～体部	口径(16.6) 器高(17.3) 胴径(20.0)	良	黄灰白色	密 石英・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部ヘラ状工具端部による刷毛文5条以上、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	外面煤付着	
93	埋葬最下層	土師器 甕	口縁～体部1/3	口径(14.4) 器高(10.0)	良	褐色	密 砂粒	外面：口部部横ナデ、胴部縦状工具による波状文、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	外面煤付着	
94	埋葬中層	土師器 甕	口縁～体部	口径：15.0 器高(12.0) 胴径(21.9)	良好	灰褐色	密 雲母・石英	外面：口部部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ、横部横状工具による波状文 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	内面二次焼成 外面煤付着	
95	埋葬上層	土師器 甕	口縁～体部1/3	口径(12.6) 器高(10.6) 胴径(17.2)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・斜めヘラケズリ		
96	埋葬下層	土師器 甕	口縁～胴部1/3	口径(13.6) 器高(：8.6)	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下横ハケメ 内面：口部部横ナデ、胴部横ヘラケズリ		
97	埋葬上層	土師器 甕	口縁～胴部	口径：14.6 器高：(6.1)	良	黄灰白色	密 白色粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ		
98	埋葬中層	土師器 甕	口縁～胴部2/3	口径(14.0) 器高(：8.4)	良	黄灰白色	密 白色粒	外面：口縁部横ナデ、胴部横状工具による波状文 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	外面煤付着	
99	埋葬中層	土師器 甕	1/2	口径：(16.9) 器高(21.4) 胴径(26.9)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ		
100	埋葬上層	土師器 甕	口縁～頸部1/2	口径(20.8) 器高(：8.5)	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、頸部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ		
101	埋葬上層	土師器 甕	1/5	口径：(18.6) 器高(17.8) 胴径(25.4)	良	灰褐色	密	外面：口縁部横ナデ、頸部横状工具による波状文・波状文、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ、体部中位指頭調整→横ヘラケズリ		
102	埋葬上層	土師器 甕	2/3	口径：(16.4) 器高(21.9) 胴径(22.2)	やや良	黄灰白色	やや密 雲母・石英	外面：口縁部横ナデ、胴部横状工具による波状文、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下斜めヘラケズリ、体部下半指頭調整、底部ヘラ状工具端部による圧痕	外面体部煤付着	
103	埋葬上層	土師器 甕	1/3	口径：(15.0) 器高(23.9) 胴径(22.6)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下斜・斜めヘラケズリ、体部中位以下指頭調整→ヘラケズリ		
104	埋葬中層	土師器 甕	1/3	口径：(13.3) 器高(17.6) 胴径(20.0)	良好	灰茶色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→縦・横ハケメ、口部ヘラ状工具端部による刷毛文3条以上 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ、体部下半指頭調整		
105	埋葬上層	土師器 甕	口縁～体部1/2	口径：(17.6) 器高(12.6) 胴径(21.5)	やや良	灰褐色	やや密 砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部横状工具端部による刷毛文、体部ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		
106	埋葬中層	土師器 甕	口縁～胴部1/2	口径：(15.4) 器高：(10.4)	良	灰褐色	密 角閃石・雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→縦・横ハケメ、胴部ヘラ状工具端部による刷毛文3条以上 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	外面炭化物・煤付着	
107	埋葬中層	土師器 甕	口縁～体部2/2	口径(15.7) 器高(13.4) 胴径(24.6)	良好	褐色	密 砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部横ハケメ 内面：口部部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着	
108	埋葬中層	土師器 甕	口縁～胴部3/4	口径(14.2) 器高：(9.2)	良	黄灰白色	密 砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		

109	堀跡中層	十間廊下	上部一部	口径:148	良	灰褐色	密	雲母・白色粒・砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、屈部横ヘラケズリ	
		発	部2/3	器高(92)			雲母・石英・砂粒			
110	堀跡中層	十間廊下	上部一部	口径:118	良	灰褐色	密	雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	
		発	部2/3	器高(91)						
				胴径:141)						
111	堀跡上層	十間廊下	4/5	径不明	良	灰褐色	密	雲母・白色粒・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→縦ヘラケズリ	外面体部下半煤付着
		発		胴径:(98)						
112	堀跡中層	土師器	口縁一部	口径:(141)	良	褐色	密	角閃石・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以上横ヘラケズリ	外面口縁部煤付着
			部1/2	器高(14)						
				胴径:(172)						
113	堀跡中層	土師器	1/2	口径:164	良	黒茶色～灰褐色	密	雲母・石英	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部縦・横ハケメ→縦ヘラ磨による表面処理（全面） 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	内外面煤付着
		坏		器高(126)						
				胴径:(200)						
114	堀跡中層	土師器	口縁部	口径:(152)	良	黄灰白色	密	白色粒	外面：口縁部横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	
		坏	1/5	器高(1.5)						
115	堀跡下層	土師器	口縁一部	口径:(145)	良	灰褐色	密	雲母・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部指頭圧痕による表面処理、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→横・斜めヘラケズリ	
		坏	部2/3	器高(21.7)						
				胴径:(21.0)						
116	堀跡上層	土師器	1/2	口径:(136)	良	褐色	密	雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、体部横・縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面：口縁部横ナデ、頸部下半指頭調整、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→縦ヘラケズリ	外面体部一部煤付着
		坏		器高(21.3)						
				胴径:(21.0)						
117	堀跡下層	土師器	1/3	口径:(152)	良	灰赤色	密	雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、屈部粗状工具による表面処理（全周）、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ、体部下半指頭調整	外面煤付着 外面体部風化物付着
		坏		器高(188)						
				胴径:(211)						
118	堀跡下層	土師器	2/3	口径:(132)	良	灰褐色	密	砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横・縦ヘラケズリ、体部下半指頭調整	外面体部煤付着
		坏		器高(200)						
				胴径:(198)						
119	堀跡中層	土師器	1/3	口径:(174)	良	灰褐色	密	雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	
		坏		器高(175)						
				胴径:(242)						
120	堀跡中層	土師器	口縁一部	口径:17.8	良	灰褐色	密	砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ、肩部ヘラ状工具痕による縦刻文 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	
		坏	部	器高(12.8)						
121	堀跡中層	土師器	口縁一体部	口径:15.9	良	黄灰白色	密	石英	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ→ナデ、胴部ヘラ状工具による波状文 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	外面煤付着
		坏		器高(147)						
				胴径:(256)						
122	堀跡下層	土師器	口縁一部	口径:16.6	良	灰褐色	密	砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ、胴部櫛状工具による波状文 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ→ナデ	外面一部煤付着
		坏	部2/3	器高(15.8)						
				胴径:(22.2)						
123	4区南端	土師器	口縁一体部1/2	口径:(18.0)	良	黄灰白色	密	雲母・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ、肩部櫛状工具痕による列点文 内面：口縁部横ナデ、頸部下半指頭調整、肩部横ヘラケズリ	外面煤付着
		坏		器高(8.9)						
124	堀跡下層	土師器	口縁一体部	口径:18.7	良	黄灰白色～褐色	密	雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	内面黒色 外面煤付着
		坏		器高(10.0)						
125	堀跡下層	土師器	口縁一部	口径:11.0	良	黄灰白色	密	雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	
		坏	部	器高(8.6)						
126	堀跡中層	土師器	口縁一部	口径:(14.6)	良	灰褐色	密	雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ、肩部櫛状工具による波状文 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	
		坏	部1/4	器高(5.2)						
				胴径:(20.1)						
127	堀跡中層	土師器	口縁一体部	口径:(14.6)	良	褐色	密	雲母・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ、肩部櫛状工具による波状文 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	外面煤付着
		坏		器高(10.0)						
128	堀跡七層	土師器	口縁一部	口径:(13.4)	良	灰褐色	密	石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、肩部横ハケメ→頸部下端部記による列点文3箇以上 内面：口縁部横ナデ、頸部横ヘラケズリ	
		坏	部2/3	器高(6.2)						
129	堀跡中層	土師器	口縁一部	口径:(13.8)	良	灰茶色	密	雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ、肩部以下指頭調整による列点文 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面一部煤付着
		坏	部2/3	器高(8.5)						
130	堀跡中層	土師器	口縁一部	口径:14.2	良	灰茶色	密	雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、肩部横状工具による波線文 内面：口縁部横ナデ、肩部横ヘラケズリ	外面煤付着
		坏	破	器高(8.5)						
131	堀跡下層	土師器	口縁一部	口径:13.4	良	灰褐色	密	角閃石・雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、肩部横状工具による波状文 内面：口縁部横ナデ、肩部横ヘラケズリ	外面煤付着
		坏	部2/3	器高(6.3)						
132	堀跡中層	土師器	口縁一部	口径:14.0	良	灰褐色	密	砂粒	外面：板ナデ 内面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→縦ヘラケズリ	外面煤付着
		坏	破	器高(7.1)						
133	堀跡中層	土師器	口縁一体部	口径:15.4	良	灰褐色	密	石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ、肩部櫛状工具痕による列点文（1は全面） 内面：口縁部横ナデ、肩部以下指頭調整→横ヘラケズリ	外面煤付着
		坏		器高(20.7)						
				胴径:(20.6)						
134	堀跡表上層	土師器	口縁一部	口径:(14.8)	良	褐色	密	雲母・石英	外面：口縁部横ナデ、体部横・斜めハケメ 内面：口縁部横ナデ、肩部以下横ヘラケズリ、体部中位以上指頭調整	外面煤付着
		坏	部	器高(22.2)						
				胴径:(19.5)						
135	堀跡中層	土師器	口縁一部	口径:15.0	良	灰褐色～黄灰白色	密	砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、肩部以下横ヘラケズリ	黒煤
		坏	部1/2	器高(13.8)						
				胴径:(22.6)						
136	堀跡中層	土師器	口縁一部	口径:15.2	良	黄灰白色	密	砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、肩部下半指頭調整、体部横ヘラケズリ	外面体部煤付着
		坏	部1/2	器高(13.5)						
				胴径:(22.8)						
137	堀跡中層	土師器	口縁一部	口径:15.5	良	黄灰白色	密	雲母・石英	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	
		坏	部1/2	器高(13.2)						
				胴径:(22.0)						
138	堀跡下層	土師器	口縁一体部1/4	口径:(18.7)	良好	灰褐色	密	石英	外面：口縁部～頸部横ナデ、体部縦ハケメ→ナデ 内面：口縁部横ナデ、体部横ハケメ	外面体部一部煤付着
		坏		器高(12.5)						
				胴径:(21.0)						

139	廃棄物層	上部第 類	1/2	口径:17.8 器高(18.5) 重量(24.8)	良	褐色	壺	外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部ヘラ状工具横結による列点文、体部横・縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横状刷毛目→横ヘラケズリ	内面口縁部縦熱痕
140	廃棄物下層	上部第 類	口縁～体部	口径:15.9 器高(11.7)	良	黄灰白色	壺 器種:石英	外面：口縁部横ナデ、体部横ハケメ、胴部ヘラ状工具胴部による刺突文（1列） 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	内外面一部炭化物
141	廃棄物中層	上部第 類	口縁～体部	口径:14.4 器高(10.6)	良	灰褐色	壺 器種:石英	外面：口縁部～肩部横ナデ、胴部縦状工具による波状文、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着
142	廃棄物中層	上部第 類	1/2	口径:14.2 器高(13.2) 重量(20.8)	良	黄灰白色	壺 器種:石英	外面：口縁部横ナデ、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着
143	廃棄物上層	上部第 類	口縁～胴部	口径:15.2 器高(12.5) 重量(22.8)	良	灰褐色	壺 器種:砂粒	外面：口縁～肩部横ナデ、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面胴部ヘラによる線刻「×」
144	廃棄物上層	上部第 類	2/3	口径:11.2 器高(7.75)	良	灰褐色	壺 砂粒	外面：口縁～肩部横ナデ、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	
145	廃棄物最上層	上部第 類	1/3	口径:(11.1) 器高(11.7) 重量:(17.6)	良	褐色	壺 器種:砂粒	外面：口縁～肩部横ナデ、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	頸部 外面体部一部煤付着
146	廃棄物中層	上部第 類	口縁～体部	口径:14.8 器高(13.2) 重量:(22.8)	良	暗灰白色	壺 器種:石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→横ヘラケズリ	頸部 外面煤付着
147	廃棄物中層	上部第 類	1/5	口径:(15.8) 器高:(10.6)	良	黄灰白色	壺 器種:石英・砂粒多量	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ、胴部櫛状工具による波状文 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	
148	廃棄物中層	上部第 類	1/3	口径:14.7 重量:(10.3)	良	黄灰白色	壺 器種:石英・砂粒多量	外面：口縁部横ナデ、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着
149	廃棄物中層	上部第 類	2/3	口径:(14.0) 器高:(10.4)	良好	褐色	壺 砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部櫛状工具部分による列点文、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着
150	廃棄物上層	上部第 類	口縁～体部	口径:(16.0) 器高:(13.4) 重量:(22.6)	良	褐色	壺 器種:白色粒・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	
151	廃棄物中層	上部第 類	口縁～胴部	口径:(17.2) 器高:(9.5)	良	褐色	壺 砂粒	外面：横ナデ、胴部ヘラ状工具による櫛状文列（上下） 内面：口縁部横ナデ、胴部指頭調整→横ヘラケズリ	外面煤付着
152	廃棄物下層	上部第 類	口縁～体部1/2	口径:15.2 器高(13.2) 重量:(22.6)	良	褐色	壺 器種:石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下横・縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着
153	廃棄物中層	上部第 類	1/4	口径:(14.8) 重量:(11.0)	良	黄灰白色	壺	外面：口縁部横ナデ、胴部櫛状工具による直線文、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	
154	廃棄物中層	上部第 類	口縁～胴部1/2	口径:(15.6) 器高:(10.0)	良	褐灰色	壺 器種:白色粒・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	胴部低成後穿孔1個 外面強付着
155	廃棄物中層	上部第 類	口縁～体部1/3	口径:(15.6) 器高:(13.0)	良好	褐色	壺 器種:石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦ハケメ、胴部櫛状工具横結による列点文 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着
156	廃棄物中層	上部第 類	口縁～体部	口径:13.7 器高:(13.8) 重量:(21.0)	良	黄灰白色	壺 砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面体部縦付着
157	廃棄物下層	上部第 類	口縁～体部1/2	口径:(15.8) 器高:(22.0) 重量:(26.0)	良	赤褐色	壺 砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・斜めハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→横ヘラケズリ	外面煤付着
158	廃棄物最下層	上部第 類	口縁～胴部1/3	口径:(13.6) 器高:(7.8)	良	灰色	壺 器種:石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、頸部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ナデ	
159	廃棄中層	上部第 類	1/3	口径:(10.3) 器高:(12.5) 重量:(14.8)	良	褐色	壺 器種:石英・砂粒	外面：口縁～頸部横ナデ、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整	外面体部炭化物付着
160	廃棄中層	上部第 類	口縁～胴部2/3	口径:(12.6) 器高:(6.3)	良	灰褐色	壺 器種:石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、打刷胴・縦ハケメ→横状工具による波状文 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	外面煤付着
161	廃棄下層	上部第 類	口縁～体部3/3	口径:(11.5) 器高:(7.0) 重量:(12.4)	良	灰褐色	壺 砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→横ヘラケズリ	
162	廃棄中層	上部第 類	口縁部破片	口径:10.1 器高:(5.9) 重量:(11.2)	良好	褐色	壺 石英	外面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整→ナデ、体部縦・斜ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下ヘラケズリ	
163	廃棄最下層	上部第 類	口縁～胴部1/4	口径:(14.2) 重量:(5.1)	良	灰褐色	壺 白色粒	外面：口縁部横ナデ、胴部縦ハケメ→ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	外面煤付着
164	廃棄中層	上部第 類	1/2	口径:(11.0) 器高:(19.3) 重量:(18.6)	良	灰褐色	壺 器種:石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ、胴部見殺風格による列点文4例以上 内面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→横ヘラケズリ	
165	廃棄中層	上部第 類	2/3	口径:10.4 器高:(11.1) 重量:(13.8)	良	灰褐色	壺 白色粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	
166	廃棄上層	上部第 類	1/3	口径:9.8 器高(7.5) 重量:(14.0)	良好	黒茶色	壺 器種:石英・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	内外面煤付着
167	廃棄中層	上部第 類	2/3	口径:12.4) 器高:17.3 重量:(17.0)	良	黒茶色	壺	外面：口縁部～底部結めハケメ、頸部横ナデ、胴部櫛状工具による波状文 内面：口縁部指頭調整→ナデ、頸部以下指頭調整→横ヘラケズリ	内外面煤付着
168	廃棄上層	上部第 類	1/2	口径:14.4 器高:(17.3) 重量:(21.6)	良	褐色～橙褐色	壺 器種:石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下指頭調整、体部横ヘラケズリ	
169	廃棄上層	上部第 類	口径部破片	口径:(13.6) 器高:(20.8) 重量:(20.8)	良	褐色	壺 器種:砂粒	外面：指頭調整→粗いハケメ→ナデ 内面：口縁部横ナデ、体部ヘラケズリ→指頭調整	外面体部一部煤付着
170	廃棄中層	上部第 類	口縁～胴部	口径:13.4 器高:(7.1)	良	灰褐色～褐色	壺	外面：口縁部横ナデ、胴部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	外面煤付着

171	堺砂上層	上部器類	口縁～胴部/3	口径(14.0) 器高(7.5)	良好	灰褐色	密 雲母	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦ハケメ→ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部下半指頭調整→ナデ、体部横ハケ→ナデ		
172	堺砂上層	上部器類	口縁～体部/2	口径(16.2) 器高(10.6)	良	灰褐色	密 石英多量	外面：口縁～肩部横ナデ、肩部ヘラ状工具端部による列点文2箇以上、体部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着	
173	堺砂上層	上部器類	口縁～胴部	口径(13.2) 器高(6.2)	良	褐褐色	密	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		
174	堺砂上層	上部器類	口縁完形	口径(11.7) 器高(23.5) 胴径(21.3)	良	褐色	密 石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→縦・斜めヘラケズリ	外面薄部下半炭化物付着 外面煤付着	
175	堺砂上層	上部器類	1/3	口径(13.2) 器高(12.8) 胴径(19.4)	良好	褐色～黄褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	黒斑 外面煤付着	
176	堺砂上層	上部器類	口縁～胴部	口径(20.2) 器高(13.9)	良好	灰褐色	密 角閃石・白色粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		
177	堺砂中層	上部器類	2/3	口径(20.2) 器高(35.3) 胴径(32.9)	良	灰褐色	密 雲母・石英	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部ド半指頭調整→ヘラケズリ	外面体部煤付着	
178	堺砂上層	上部器類	口縁～体部1/3	口径(17.6) 器高(22.0) 胴径(28.0)	良	灰茶色	密 角閃石・雲母・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部斜めハケ 内面：口縁部横ナデ、体部横・斜めヘラケズリ	外面体部煤付着	
179	堺砂下層	土師器類	口縁～胴部	口径(19.6) 器高(13.7)	良	灰褐色	密 雲母・石英・長石	外面：口縁部横ナデ、頸部以下粗い縦ハケ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	外面煤付着	
180	堺砂東上層	土師器類	口縁部1/4	口径(19.4) 器高(5.6)	良	褐色	密 雲母・白色粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、肩部横ヘラケズリ	内面口縁部～外面煤付着	
181	堺砂上層	土師器類	口縁部1/2	口径(18.1) 器高(5.8)	良好	灰褐色	密 石英・砂粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、肩部横ヘラケズリ		
182	堺砂上層	土師器類	口縁部1/2	口径(16.6) 器高(4.1)	良	褐色	密	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	外面煤付着	
183	堺砂上層	土師器類	口縁部	口径(14.7) 器高(5.0)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒・砂粒	外面：口縁薄部横ナデ、口縁部横ハケメ 内面：口縁部横ハケメ、頸部以下横ヘラケズリ	外面煤付着	
184	堺砂中層	土師器類	口縁～胴部/2	口径(15.4) 器高(8.0)	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横ナデ、肩部縦ハケメ→ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下指頭調整→横ヘラケズリ		
185	堺砂下層	土師器類	破片	口径(14.4) 器高(13.3)	良	褐色	密 石英・砂粒	外面：指頭調整→粗い縦ハケメ→ナデ 内面：口縁部横ハケメ、頸部以下横・斜めヘラケズリ	外面煤付着	
186	堺砂上層	土師器類	口縁部1/2	器高(12.0)	良	灰褐色	密 雲母・石英	外面：口縁部横ナデ、頸部粗い縦ハケメ→横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		
187	堺砂中層	土師器類	1/2	口径(28.2) 器高(25.2) 胴径(23.1)	良	暗灰白色	密 石英・白色粒・砂粒	外面：口縁部～頸部指頭調整→粗い縦・横ハケメ 内面：口縁部指頭調整→横ハケメ、頸部以下指頭調整→横ヘラケズリ	外面煤付着	
188	堺砂中	土師器類	口縁完形	口径(14.7) 器高(19.6) 胴径(20.4)	良	褐色	密 雲母・石英・小石粒	外面：口縁部指頭調整→ナデ、頸部以下指頭調整→粗いハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→ヘラケズリ→丁寧にナデ	外面体部煤付着	
189	堺砂上層	土師器類	1/2	口径(9.0) 器高(16.1) 脚径(13.4)	やや良	褐褐色～黒色	やや密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部粗い縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ		
190	堺砂上層	土師器類	口縁完形	口径(13.2) 器高(18.2) 脚径(16.8)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・斜めハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	外面体部一部煤付着	
191	堺砂中層	土師器鉢口台	1/2	口径(11.8) 器高(15.5) 脚径(14.5)	良	黄灰白色	密 砂粒	外面：口縁部～頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整、体部指頭調整→横ヘラケズリ		
192	堺砂中層	土師器小型丸底壺	口縁完形	口径(9.0) 器高：9.5 脚径：9.6	良好	灰褐色	密 砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦ハケメ、肩部横状工具端部による列点文(沒線)、体部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ		
193	堺砂中層	土師器小型丸底壺	2/4	口径(10.0) 器高(4.8) 脚径(10.5)	良	灰色	やや密	外面：口縁部横ナデ、胴部ヘラ状工具端部による列点文(1/3箇)、体部縦ハケメ 内面：口縁部～胴部横ナデ、体部横ヘラケズリ		
194	堺砂下層	土師器小型丸底壺	口縁完形	口径：8.6 器高：6.8 脚径：8.3	良	灰茶色～灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ハケ→ナデ、頸部横ナデ、体部指頭調整→縦ハケメ→横ヘラケズリ 内面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→ヘラケズリ→ナデ		
195	堺砂下層	土師器小型丸底壺	口縁完形	口径：6.3 器高：4.3 脚径：3.9	良好	褐褐色	密 石英・砂粒	外面：ハケメ→指ナデ→横ヘラミガキ 内面：口縁部横ナデ→横ヘラミガキ、体部横ヘラケズリ		
196	堺砂下層	土師器小型丸底壺	口縁～体部	口径：8.2 器高：5.5 脚径：7.8	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面：横ナデ→横ヘラミガキ 内面：口縁部横ナデ、肩部指頭調整、体部横ヘラケズリ	黒斑	
197	堺砂中層	土師器小型丸底壺	破片	口径(9.5) 器高(3.5) 脚径(7.8)	良好	褐褐色	密	外面：口縁部ハケメ→横ナデ→縦ヘラミガキ、体部屈・横ハケメ 内面：口縁部横ハケメ→ナデ、頸部横ヘラケズリ、体部横ハケメ		
198	堺砂上層	土師器小型丸底壺	口縁完形	口径：10.0 器高：6.0 脚径：3.9	良好	暗褐色	密	外面：口縁部横ナデ→縦ヘラミガキ、頸部以下ハケメ→横ヘラミガキ 内面：口縁部横・横ヘラミガキ、肩部指頭調整、体部ハケメ→横ヘラミガキ		
199	堺砂中層	土師器小型丸底壺	5/8	口径：10.6 器高：7.6 脚径：4.2	良	褐褐色	密 雲母・石英多量	外面：口縁部～体部横ナデ→横ヘラミガキ、体部下半縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部指頭調整		
200	堺砂上層	土師器小型丸底壺	体部	器高(3.9) 脚径(8.2)	良好	暗褐色	密	外面：粗ナデ→横ヘラミガキ 内面：胴部指頭調整、体部横ヘラケズリ		
201	堺砂下層	土師器小型丸底壺	3/4	口径：11.2 器高(7.7) 脚径(7.6)	良好	灰褐色	密	外面：ハケメ→縦ヘラミガキ 内面：口縁部ハケメ→縦ヘラミガキ、体部指頭調整→横ヘラケズリ		
202	堺砂上層	土師器小型丸底壺	3/4	口径：8.9 器高(7.5) 脚径：6.8	良好	褐褐色	密	外面：口縁部横ヘラミガキ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、肩部指頭調整、体部横ヘラケズリ		

203	埴砂上層	上部器 小型丸底鉢	破片	L径(15.7) 器高(4.3)	良	褐色	密	外面：横ナデ 内面：横ナデ→縦ヘラミガキ		
204	埴砂下層	上部器 小型丸底鉢	破片	口径(10.8) 器高(5.6) 胴径(10.1)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ，体部縦ハケメ→ナデ 内面：口縁部横ナデ，胴部以下指頭調整→横ヘラケズリ		
205	埴砂中	上部器 小型鉢	破片	L径(18.2) 器高(4.5)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ，体部横ハケメ 内面：横ヘラケズリ		外面煤付着
206	埴砂下層	上部器 小型鉢	1/2	口径(11.6) 器高(7.8) 胴径(9.1)	やや良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：指頭調整→横ナデ→縦・横ヘラミガキ 内面：口縁部指頭調整，体部横ヘラケズリ		内面黒色
207	埴砂下層	土師器 高坏	5/8	L径(25.7) 器高(14.4) 脚径(13.8)	良	黄灰白色～褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：杯部→脚部縦ヘラミガキ，脚部ハケメ→ヘラミガキ 内面：杯部横・縦ヘラミガキ，脚柱部横ヘラケズリ，裾部ハケメ 接合部円盤充填法，三方円形透し		内外面一部煤付着
208	埴砂中層	土師器 高坏	2/3	口径(20.3) 器高(13.8) 脚径(11.3)	良好	明灰白色	密	外面：杯部縦・横ヘラミガキ，脚部縦ハケメ 内面：杯部ヘラミガキ，脚柱部横ヘラケズリ，裾部縦ハケメ		内面黒色顕著
209	埴砂中層	土師器 高坏	3/4	口径(15.0) 器高(12.8) 脚径(11.4)	良好	褐色	密	外面：杯部縦ハケメ→横ヘラミガキ，脚部縦ヘラケズリ→ナデ，裾部ヘラミガキ→ナデ 内面：杯部ヘラミガキ，脚柱部横ヘラケズリ，裾部縦ハケメ→ヘラミガキ 接合部円盤充填法，円形透し２個		内面褐部黒斑２条
210	埴砂中層	土師器 高坏	口縁完形	L径(21.6) 器高(13.8) 脚径(13.5)	良	黄灰白色	やや密	外面：杯部横ナデ 内面：杯部横ナデ→縦ヘラミガキ，脚柱部横ヘラケズリ，裾部ハケメ 接合部円盤充填法		
211	埴砂最下層	土師器 高坏	2/3	口径(22.2) 器高(13.3) 脚径(13.4)	良	灰茶色	密 雲母・砂粒	外面：杯部横ナデ→縦ヘラミガキ，脚部縦ハケメ，裾部ナデ 内面：杯部ハケメ→縦ヘラミガキ，脚柱部横ヘラケズリ，脚部縦ハケメ		
212	埴砂中層	土師器 高坏	2/3	口径(16.0) 器高(12.3) 脚径(10.4)	良好	橙褐色	密 砂粒	外面：杯部ハケメ→横ヘラミガキ，脚柱部横ヘラケズリ，ハケメ→ヘラミガキ，脚部横ナデ 内面：杯部ヘラミガキ，脚柱部横ヘラケズリ，脚部ナデ 接合部円盤充填法		
213	埴砂中層	土師器 高坏	2/3	L径(24.8) 脚径(16.5) 裾径(17.2)	良好	橙褐色	密	外面：杯部→脚部縦ナデ→縦・横ヘラミガキ 内面：杯部横ヘラミガキ，脚柱部横ヘラケズリ，脚部横ハケメ 接合部円盤充填法，脚部三方円形透し		
214	埴砂中層	土師器 高坏	口縁完形	口径(17.4) 器高(13.2) 脚径(14.3)	良好	黄灰白色	密	外面：杯部横ナデ→縦・横ヘラミガキ，脚部縦ハケメ，裾部ハケメ→ヘラミガキ 内面：杯部横ヘラミガキ，脚柱部横ヘラケズリ，裾部横ハケメ 接合部円盤充填法		
215	埴砂中層	土師器 高坏	口縁完形	口径(16.5) 器高(13.7) 脚径(13.2)	良好	灰褐色	密	外面：杯部横ナデ→縦ヘラミガキ，脚部縦ヘラケズリ→ヘラミガキ 内面：杯部横・縦ヘラミガキ，脚柱部横ヘラケズリ，裾部ハケメ 接合部円盤充填法，脚部四方円形透し		
216	埴砂中層	土師器 高坏	口縁完形	口径(21.6) 器高(10.5) 脚径(13.2)	良好	褐色	密	外面：杯部→脚柱部縦ナデ→縦・横ヘラミガキ，裾部縦ハケメ 内面：杯部横・縦ヘラミガキ，脚柱部横ヘラケズリ，裾部横ハケメ 接合部円盤充填法，脚部四方円形透し		外面煤付着
217	埴砂上層	土師器 高坏	口縁完形	口径(16.2) 器高(13.5) 脚径(12.4)	良好	橙褐色～褐色	密	外面：杯部横ナデ→縦ヘラミガキ，脚柱部縦ヘラケズリ，ハケメ→縦ヘラミガキ，脚部横ナデ 内面：杯部横・縦ヘラミガキ，脚柱部横ヘラケズリ，裾部横ハケメ 接合部円盤充填法，脚部円形透し２箇		
218	埴砂中層	土師器 高坏	3/4	口径(16.1) 器高(15.8) 脚径(14.4)	良好	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ→縦ヘラミガキ，体部ハケメ→縦ヘラミガキ，脚部縦ヘラケズリ→縦ヘラミガキ 内面：杯部横・縦ヘラミガキ，脚柱部横ヘラケズリ，裾部ハケメ		
219	埴砂上層	土師器 高坏	3/4	L径(14.8) 器高(13.6) 脚径(10.7)	良	黄灰白色	密	外面：受部→脚柱部縦ヘラミガキ，脚部指頭調整・縦ハケメ 内面：杯部縦・横ヘラミガキ，脚柱部横ヘラケズリ，裾部指頭調整・ハケ目		
220	埴砂中層	土師器 高坏	5/8	口径(14.9) 器高(13.6) 脚径(11.6)	良	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ヘラミガキ，体部ハケメ→ヘラミガキ，脚部縦ヘラケズリ→縦ヘラミガキ 内面：杯部横・縦ヘラミガキ，脚柱部横ヘラケズリ，裾部ハケメ 脚部三方円形透し		
221	埴砂下層	土師器 高坏	5/8	口径(17.8) 器高(11.0) 脚径：8.9	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：磨耗調整不明 内面：杯部横ヘラミガキ，脚部縦ヘラケズリ		全面赤彩 内面受部一部煤付着
222	埴砂中層	土師器 高坏	坏部	L径：17.4 器高(4.6)	良	褐色	密 砂粒	外面：坏部縦ナデ→縦・横ヘラミガキ 内面：坏部ハケメ→縦・横ヘラミガキ 接合部円盤充填法		黒段
223	埴砂中層	土師器 高坏	坏部	L径：16.0 器高(4.9)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面：坏部縦ヘラミガキ 内面：坏部縦ヘラミガキ 接合部円盤充填法		内外面口縁部煤付着 内面底部剥離
224	埴砂下層	土師器 高坏	坏部	口径：14.8 器高(5.3)	良	灰褐色	密	外面：坏部ハケメ→縦ヘラミガキ 内面：坏部ハケメ→縦ヘラミガキ		内外面煤付着
225	埴砂中層	土師器 高坏	坏部 2/3	L径(13.4) 器高(4.8)	良	橙色～灰褐色	密	外面：坏部縦ハケメ→縦ヘラミガキ 内面：坏部縦ヘラミガキ 接合部円盤充填法		内面底部炭化物・煤付着 外面周部強熱痕
226	埴砂中層	土師器 高坏	坏部 2/3	L径：16.9 器高(5.2)	良	褐灰色	密	外面：坏部縦ヘラミガキ 内面：坏部縦・横ヘラミガキ 接合部円盤充填法		外面煤付着
227	埴砂中層	土師器 高坏	坏部 2/3	L径：16.4 器高(3.3)	良	褐色	密	外面：坏部縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面：横・縦ヘラミガキ		
228	埴砂上層	土師器 高坏	坏部 1/3	L径(15.6) 器高(4.8)	良好	灰褐色	密	外面：坏部横ヘラミガキ 内面：坏部横・縦ヘラミガキ，坏底部指頭調整→ヘラミガキ		内面底部剥離

229	埋炒上層	上部器 森坪	坏部	口径:10.6 器高:4.6)	良好	橙褐色	密		外面：口縁部横ヘラミガキ、坏底部縦ハケメ 内面：坏部横ヘラミガキ		内面底部-外面-墨跡痕
230	埋炒中層	上部器 森坪	坏部 1/3	口径:16.6) 器高:(4.0)	良好	橙褐色	粗		外面：口縁部横ヘラミガキ、坏底部縦ハケメ→ヘラミガキ 内面：坏部縦・横ヘラミガキ		
231	埋炒下層	上部器 森坪	坏部	口径:13.8 器高:(4.7)	良好	橙褐色	密		外面：坏部横ヘラミガキ 内面：坏部横ヘラミガキ 黒谷紀行報文挿図		金属痕跡
232	埋炒中層	上部器 森坪	坏部～脚 柱部	器高:(7.2)	良	黄灰白色	粗		外面：口縁部横ヨコナデ、坏底部～脚柱部ヘラミガキ・ハケメ 内面：坏部ヘラミガキ、脚柱部横ヘラケズリ 黒谷紀行報文挿図		
233	埋炒中層	上部器 森坪	坏部	口径:(17) 器高:(7.7)	良好	橙褐色	密 雲母・白色粒		内外面：坏部横ハケメ→横ヘラミガキ 黒谷紀行報文挿図		外面煤付着 坏部温存痕
234	埋炒最下層	上部器 高坪	坏部 1/3	口径:(18.0) 器高:(7.2)	良好	橙褐色	密 白色粒		外面：坏部横・斜めヘラミガキ 内面：坏部横ヘラミガキ、坏底部布目痕		金属赤彩
235	埋炒中層	上部器 高坪	坏部	口径:13.1 器高:(11.6) 脚径:19.0	良好	灰褐色	密		外面：坏部縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面：坏部指頭調整→横・縦ハケメ		ブランデーグラス形 外面煤部温存痕 坏部温存痕
236	埋炒下層	上部器 森坪	脚部 3/4	器高:(5.1) 底径:9.0	良	黄灰白色	粗		外面：脚柱部縦ハケメ→横ヘラミガキ、裾部横ナデ 内面：脚柱部横ヘラケズリ、裾部指頭調整→ハケメ・横ナデ		
237	埋炒上層	上部器 森坪	脚部 1/2	器高:(6.9) 底径:(11.6)	良好	灰褐色	密 雲母		外面：脚柱部縦ハケメ→横ヘラミガキ、裾部横ナデ 内面：脚柱部横ヘラケズリ、裾部ハケメ・横ナデ 脚部三方円形透し		
238	埋炒中層	上部器 森坪	脚部	器高:(8.5) 底径:(13.0)	良	橙褐色	粗		外面：脚部縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面：脚柱部縦・横ヘラケズリ、裾部ハケメ→指頭調整・横ナデ 脚部三方円形透し		
239	埋炒中層	上部器 森坪	脚部	器高:(8.2) 底径:14.1	良好	橙褐色	密		外面：脚部縦ハケメ→横ヘラミガキ、裾部横ナデ 内面：脚柱部横ヘラケズリ、裾部ハケメ・横ナデ 脚部三方円形透し		外面煤部温存痕
240	埋炒中層	上部器 高坪	脚部	器高:(8.2) 底径:(11.8)	良	褐色	密		外面：脚部横ヘラミガキ 内面：脚柱部横ヘラケズリ、裾部横ナデ 脚部三方円形透し		
241	埋炒上層	上部器 高坪	脚部	器高:(7.7) 底径:10.0	良好	褐色	密		外面：脚部縦ヘラケズリ→横ヘラミガキ 内面：脚柱部横ヘラケズリ・指頭調整、裾部横ハケメ→ナデ 脚部円形透し		
242	埋炒下層	上部器 高坪	脚部	器高:(9.1) 底径:10.3	良	褐色	密 白色粒・砂粒		外面：脚柱部縦ヘラケズリ→横ヘラミガキ、裾部横ナデ 内面：脚柱部横ヘラケズリ、脚部横ハケメ・横ナデ		
243	埋炒中層	上部器 高坪	脚部	器高:(10.3) 底径:(15.4)	良好	褐色	密		外面：脚部縦ヘラケズリ→縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面：脚柱部横ヘラケズリ、裾部横ハケメ		
244	埋炒中層	上部器 高坪	脚部	器高:(8.6) 底径:(13.8)	良好	褐色	密		外面：脚部横ハケメ 内面：脚柱部横ハケメ、裾部横ハケメ→横ナデ		
245	埋炒中層	上部器 高坪	脚部	器高:(8.0) 底径:13.2	やや良	明灰白色	やや粗		外面：脚部縦・横ハケメ・横ナデ 内面：柱部部横ヘラケズリ、裾部横ハケメ→横ナデ		
246	埋炒下層	上部器 高坪	脚部	器高:(8.8) 底径:12.2	良	黄灰白色	密		外面：脚柱部縦ハケメ→縦ヘラミガキ→ヘラ状工具痕部による列点文（全周）、裾部横ナデ 内面：脚柱部横ヘラケズリ、裾部横ハケメ→横ナデ		
247	埋炒中層	上部器 高坪	脚部 2/3	器径:(5.3) 底径:(9.6)	良	黄灰白色	密 砂粒		外面：脚部縦ハケメ・横ナデ 内面：脚柱部横ヘラケズリ、裾部横ナデ		
248	埋炒上層	上部器 高坪	脚部	器高:(3.3) 底径:8.7	良	褐色	密 雲母		外面：脚部縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面：脚柱部横ヘラケズリ、裾部横ナデ		内外面煤付着
249	埋炒中層	上部器 高坪	脚部	器高:(6.0) 底径:(7.1)	良	黄灰白色～褐色	密 砂粒		外面：坏底部～脚部ナデ 内面：坏底部指頭調整→ナデ、脚部ナデ 脚部円形透し1 例以上		
250	埋炒上層	上部器 高坪	脚部破片	器高:(4.8)	良	橙褐色	密 石英・白色粒		外面：脚部縦・横ハケメ・縦ヘラミガキ・貝殻腹線による列点文3 条 内面：脚部横ヘラケズリ→横ナデ		
251	埋炒下層	上部器 脚付鉢	完形	口径:14.8 脚高:8.7 底径:7.6	やや良	橙褐色	密 角閃石・雲母・白色粒		外面：坏部～脚部指頭調整→ナデ 内面：坏部指頭調整→ナデ、脚部ナデ 脚		黒斑
252	埋炒下層	上部器 脚付鉢	5/8	口径:(12.2) 脚高:7.9 脚径:(13.0) 底径:7.4	良好	茶褐色	密 白色粒		外面：坏部横ナデ→横ヘラミガキ、坏底部指頭調整、脚部横ナデ 内面：坏部横ナデ→縦ヘラミガキ、脚部横ナデ		全面赤彩
253	埋炒上層	上部器 脚付鉢	1/4底部	口径:14.4 脚径:8.8 底径:8.0	良	褐色	密 石英・白色粒・砂粒		外面：坏部縦・斜めヘラミガキ、坏底部～脚部指頭調整 内面：坏部縦・横ヘラミガキ、脚部横ナデ		
254	埋炒上層	上部器 低脚坏	1/4底部	口径:13.2 脚高:5.7 底径:5.6	良好	灰褐色	密		内外面：坏部縦・横ヘラミガキ、脚部横ナデ		
255	埋炒下層	上部器 低脚坏	3/4	口径:16.6 脚高:6.5 底径:7.6	良	黄灰白色	密		外面：坏部縦ハケメ、脚部横ナデ 内面：坏部縦ハケメ、坏底部指頭調整、脚部横ナデ		
256	埋炒中層	上部器 低脚坏	1/4底部	口径:16.6 器高:8.3 底径:8.3	良	黄灰白色	やや密		外面：坏部横ハケメ、脚部横ナデ 内面：坏部縦ハケメ→ナデ、脚部横ナデ		内外面口縁部煤付着
257	埋炒中層	上部器 低脚坏	1/4底部	口径:14.9 脚高:6.8 底径:8.8	良	黄灰白色	やや粗		外面：口縁部横ヘラミガキ、坏底部縦ハケメ→横ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部横ナデ、脚部横ナデ		
258	埋炒上層	上部器 低脚坏	1/4底部	口径:12.2 器高:5.4 底径:5.2	良好	褐色	密 雲母・砂粒		内外面：横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ		全面赤彩
259	埋炒最下層	上部器 低脚坏	1/2	口径:(13.0) 器高:5.6 底径:5.7	やや良	灰褐色	密 雲母・石英		外面：坏部指頭調整→縦ハケメ→横ヘラミガキ、脚部指頭調整→粗ヘラミガキ 内面：指頭調整→横・縦ヘラミガキ、脚部横ヘラケズリ		黒斑
260	埋炒中層	上部器 低脚坏	3/4	口径:(12.6) 器高:5.4 底径:(5.0)	良好	褐色	密		外面：坏部横ハケメ、口縁部～坏底部ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ		

261	堆砂敷上層	土師器 低脚坏	1/4完形	口径:15.3 器高:(6.6)	良	橙色	密 砂粒	内外面：坏部横ヘラミガキ、脚部横ナデ		内外面坏部煤付着
262	堆砂中層	土師器 低脚坏	2/3	口径:(19.7) 脚径:6.6 高径:5.9	良	明灰白色	密	内外面：坏部縦ハケメ→横ヘラミガキ、脚部横ナデ		内面底部・外面脚裾部煤
263	堆砂中層	土師器 低脚坏	完形	口径:19.6 器高:6.0 底径:5.5	良好	灰褐色	密	外面：坏部縦ハケメ→横ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部縦ハケメ→横ヘラミガキ、脚部横ナデ		内外面口縁部煤付着
264	黒砂中層	土師器 低脚坏	1/2	口径:19.6 器高:5.9 底径:5.8	良	灰赤色	密	外面：坏部縦ハケメ→横ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部色調整不明、脚部横ナデ		外面坏部煤付着
265	堆砂中層	土師器 低脚坏	1/4完形	口径:19.6 器高:6.4 底径:6.1	良	褐色	密 雲母・石英・ 砂粒	外面：坏部縦ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部横・縦ヘラミガキ、脚部横剥離調整不明		内面底部剥離剥離
266	堆砂上層	土師器 低脚坏	2/3	口径:19.0 器高:5.4 底径:(5.8)	良	灰赤色	密	外面：坏部横・縦ハケメ→ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部横ハケメ→縦ヘラミガキ、脚部横ナデ		
267	堆砂上層	土師器 低脚坏	3/4	口径:19.0 器高:5.1 底径:5.5	良好	黄灰白色	密	外面：坏部縦・縦ハケメ→横ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部横ハケメ→縦ヘラミガキ、脚部横ナデ		
268	堆砂中層	土師器 低脚坏	完形	口径:19.2 器高:4.7 底径:4.4	良好	灰褐色	密 砂粒	内外面：坏部横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ		黒斑
269	堆砂下層	土師器 低脚坏	1/4完形	口径:20.7 器高:4.9 底径:5.7	良	灰褐色	密 雲母・白色粒	外面：坏部縦ハケメ→横ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部横ヘラミガキ、脚部横ナデ		黒斑
270	堆砂中層	土師器 低脚坏	1/4完形	口径:18.5 器高:5.5 底径:5.5	良好	黄灰白色	密	内外面：坏部縦ヘラミガキ、脚部横ナデ		内面口縁部・器底付着
271	堆砂中層	土師器 低脚坏	1/4完形	口径:13.8 器高:4.9 底径:3.6	良好	褐橙色	密	内外面：坏部横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ		
272	堆砂中層	土師器 低脚坏	3/4	口径:15.0 器高:4.4 底径:(4.3)	良	灰褐色	密	外面：坏部横ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部縦ヘラミガキ、脚部横ナデ		全面赤彩 内面煤付着 内外面口縁部煤剥離
273	堆砂中層	土師器 低脚坏	2/3	口径:(13.0) 器高:4.5 底径:(3.5)	良	褐色	密	内外面：坏部横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ		内面脚部付着
274	堆砂敷上層	土師器 低脚坏	1/2	口径:13.6 器高:4.7 底径:4.0	良	褐色	密	内外面：坏部横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ		
275	堆砂中層	土師器 低脚坏	1/3	口径:(13.2) 器高:4.0 底径:(3.4)	良	褐色	密	外面：坏部縦ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部縦ヘラミガキ、脚部横ナデ		
276	堆砂中層	土師器 低脚坏	1/4完形	口径:13.3 器高:4.8 底径:5.7	良好	黄灰白色	密	内外面：坏部横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ		
277	堆砂中層	土師器 低脚坏	完形	口径:11.6 器高:3.7 底径:2.9	良好	褐色	密	外面：坏部横ハケメ→横・縦ヘラミガキ・赤目焼、脚部横ナデ 内面：坏部横ハケメ→縦・横ヘラミガキ、脚部横ナデ		内面底部剥離
278	堆砂中層	土師器 低脚坏	完形	口径:13.8 器高:4.6 底径:3.4	良好	橙褐色～黄 灰白色	密	内外面：坏部横ハケメ、縦ヘラミガキ、脚部横ナデ		
279	堆砂中層	土師器 低脚坏	1/4完形	口径:13.3 器高:4.5 底径:3.2	良	黄灰白色	密	内外面：坏部横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ		
280	堆砂上層	土師器 低脚坏	完形	口径:11.7 器高:3.9 底径:3.6	良好	灰褐色	密	外面：坏部ハケメ→横・縦ヘラミガキ、坏部横ナデ 内面：坏部縦・横ヘラミガキ、脚部横ナデ		
281	堆砂上層	土師器 低脚坏	2/3	口径:(13.4) 器高:(4.0)	良	褐色	密	内外面：坏部横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ		
282	堆砂上層	土師器 低脚坏	1/4完形	口径:13.5 器高:4.0 底径:4.0	良好	褐色	密	内外面：坏部横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ		内外面口縁部煤付 底部
283	堆砂中層	土師器 低脚坏	坏部～脚部	器高:(3.0) 脚径:(5.6)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・ 砂粒	外面：坏部～脚部ナデ 内面：坏部ヘラミガキ、脚部横ナデ		内面底部剥離 脚部穿孔1個以上
284	堆砂中層	土師器 低脚坏	坏部～脚部	器高:(2.2) 底径:3.9	良	灰褐色	密	内外面：坏部ヘラミガキ、脚部横ナデ		脚部穿孔1個
285	堆砂中層	土師器 鼓形器台	脚片	口径:(22.0) 器高:(3.8)	良	橙褐色	密 雲母・石英	外面：口縁部横ナデ、受部横ヘラミガキ 内面：受部横ヘラミガキ		内外面赤彩 外面煤付着
286	堆砂下層	土師器 鼓形器台	接合部 1/4	器高:5.4	やや良	灰褐色～黄 灰白色	やや密 砂粒	外面：受部横状工具による波状文→縦ナデ、接合部横ナデ 内面：接合部横ヘラケズリ→ナデ、脚部横ヘラケズリ		
287	堆砂下層	土師器 鼓形器台	接合部 1/3	器高:(6.7)	良	灰茶色	密 雲母・白色粒	外面：縦ヘラミガキ、脚部ナデ 内面：接合部ヘラケズリ→ナデ、脚部ナデ		内面赤彩
288	堆砂上層	土師器 鼓形器台	3/5	器高:(6.3) 底径:(14.6)	良好	灰褐色	密	外面：横ナデ 内面：接合部ナデ・指頭調整、脚部横ヘラケズリ		
289	堆砂下層	土師器 鼓形器台	1/3	器高:(9.3)	良好	褐色	密	外面：横ナデ 内面：受部横ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ		
290	堆砂中層	土師器 鼓形器台	5/8	口径:16.9 器高:9.4 底径:15.7	良好	橙褐色	密	外面：横ナデ、受部・脚部横ヘラミガキ 内面：受部横ヘラケズリ→ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横ヘラケズリ		
291	堆砂上層	土師器 鼓形器台	3/4	口径:13.9 器高:9.8 底径:15.2	良好	橙褐色	密	外面：横ナデ 内面：受部横ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横ヘラケズリ、脚端面横ナデ		
292	堆砂下層	土師器 鼓形器台	2/3	口径:20.3 器高:10.8 底径:18.7	良	橙褐色	密 雲母・砂粒	外面：横ナデ 内面：受部横ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横ヘラケズリ		内外面一部赤付着
293	堆砂上層	土師器 鼓形器台	1/2	口径:17.8 器高:10.5 底径:16.1	良好	橙褐色	密 雲母・石英・ 砂粒	外面：横ナデ、受部・脚部横ヘラミガキ 内面：受部横・斜めヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横ヘラケズリ		内面口縁部～脚部煤付着

294	埋砂敷下層	土師器 敷形器台	1/2	口径(22.0) 器高:10.8 底径(20.0)	良	褐色	密 砂粒	外面:横ナデ、受部横位工具による放射文 内面:受部横ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部縦ヘラケズリ、脚端部横ナデ		
295	埋砂下層	土師器 鉢形器台	口径完形	口径:21.8 器高:10.7 底径:18.5	良	灰褐色	密 黒雲・石英・白色粒	外面:横ナデ 内面:受部横ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部縦・斜めヘラケズリ、脚端部横ナデ	穴並一部煤付着	
296	埋砂中層	土師器 鉢形器台	1/3	口径(21.0) 器高(12.0) 底径(17.2)	良	灰褐色～橙褐色	密	外面:横ナデ 内面:受部縦刷毛目、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部縦ヘラケズリ、脚端部横ナデ	内面一部煤付着	
297	埋砂中層	土師器 鉢形器台	1/3	口径(20.5) 器高:11.7 底径:18.4	良	黄灰白色	やや密 砂粒	外面:横ナデ 内面:受部縦ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部縦ヘラケズリ、脚端部横ナデ		
298	埋砂上層	土師器 鉢形器台	1/2	口径:15.9 器高:9.1 底径:13.9	良好	橙褐色	密	外面:横ナデ 内面:受部縦ヘラケズリ→横ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横ヘラケズリ、脚端部横ナデ		
299	埋砂中層	土師器 鉢形器台	3/4	口径:21.0 器高:10.4 底径:18.0	良好	暗灰白色	密	外面:横ナデ 内面:受部縦ヘラケズリ→横ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横ヘラケズリ、脚端部横ナデ	内面脚部ヘラによる線刻1条	
300	埋砂下層	土師器 鉢形器台	口径完形	口径:(21.2) 器高:9.5 底径:(17.8)	やや良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面:横ナデ 内面:受部横・縦ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部縦ヘラケズリ 脚部内面逆しぼり痕		
301	埋砂下層	土師器 鉢形器台	口径完形	口径:17.9 器高:9.5 底径:15.7	良	黄灰白色	密 雲母	外面:横ナデ、受部・脚部縦ヘラミガキ 内面:受部横・縦ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横ヘラケズリ 脚部二方円形透し		
302	埋砂中層	土師器 鉢形器台	口径完形	口径:18.9 器高:9.6 底径:15.6	良	灰褐色	密	外面:横ナデ 内面:受部横ヘラケズリ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部縦ヘラケズリ、脚端部横ナデ	内外面煤付着	
303	埋砂最上層	土師器 鉢形器台	1/2	口径:16.4 器高:9.0 底径:15.4	良好	灰褐色	密 砂粒	外面:受部縦ヘラミガキ、接合部以下横ナデ 内面:受部横・縦ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部縦ヘラケズリ、脚端部横ナデ		
304	埋砂中層	土師器 鉢形器台	3/4	口径:17.1 器高:9.3 底径:15.3	良	黄灰白色	密 砂粒	外面:横ナデ 内面:受部横・斜めヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横ヘラケズリ、脚端部横ナデ	内面脚部ヘラによる線刻1条	
305	埋砂最上層	土師器 鉢形器台	口径完形	口径:16.0 器高:9.9 底径:14.8	良	橙褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面:横ナデ、受部・脚部縦ヘラミガキ 内面:受部横ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部縦ヘラケズリ、脚端部横ナデ	外面赤彩	
306	埋砂上層	土師器 鉢形器台	1/2	口径:(17.1) 器高:9.7 底径:(8.0)	良好	赤褐色	密	外面:横ナデ 内面:受部ヘラケズリ→横ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横ヘラケズリ	内面被熱痕	
307	埋砂中層	上師器 鉢形器台	3/4	口径(16.0) 器高:9.2 底径:14.6	良好	橙褐色	密	外面:横ナデ、受部縦ヘラミガキ 内面:受部縦ヘラケズリ→縦・横ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部縦ヘラケズリ、脚部横ナデ		
308	埋砂下層	上師器 鉢形器台	受部一部 台部	口径:21.3 器高:8.8	良	灰褐色	密 石英・白色粒・砂粒	外面:横ナデ 内面:受部縦・縦ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部縦ヘラケズリ		
309	埋砂中層	上師器 鉢形器台	1/2	口径:17.8 器高(7.2)	良好	灰褐色	密	外面:横ナデ 内面:受部縦・縦ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横ヘラケズリ		
310	埋砂上層	上師器 鉢形器台	2/3	口径:16.1 器高(7.9)	良好	橙褐色	密	外面:横ナデ、接合部縦・横ヘラミガキ 内面:受部縦・縦ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横ヘラケズリ		
311	埋砂中層	上師器 鉢形器台	3/5	器高(8.6) 底径(18.8)	良	灰褐色	密 砂粒	外面:横ナデ 内面:受部ヘラケズリ→縦ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横ヘラケズリ	外面脚部ヘラによる線刻1条 内面脚部ヘラによる線刻4条以上	
312	埋砂下層	上師器 鉢形器台	2/3	器高(7.7) 底径:14.7	良	黄灰白色	密	外面:横ナデ、接合部縦ヘラミガキ 内面:受部ナデ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横ヘラケズリ	内面脚部ヘラによる線刻1条	
313	埋砂中層	土師器 鉢形器台	脚部 2/3	器高(3.8) 底径(16.6)	良	黄灰白色	密 砂粒	外面:横ナデ、脚部上部竹管文1段 内面:受部横ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横ヘラケズリ	内面脚部ヘラによる線刻1条	
314	埋砂上層	土師器 鉢形器台	2/3	器高(4.7) 底径(15.4)	良好	橙褐色	密	外面:横ナデ 内面:受部ナデ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横ヘラケズリ	外面脚部ヘラによる線刻1条	
315	埋砂中層	土師器 鉢形器台	1/2	器高(7.5) 底径:17.0	良	橙褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面:横ナデ 内面:受部横ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横・斜めヘラケズリ		
316	埋砂最上層	土師器 鉢形器台	脚部 1/3	器高(7.1) 底径(16.6)	良	橙褐色	密 角閃石・雲母・石英・白色粒	外面:横ナデ 内面:受部横ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横ヘラケズリ、脚端部横ナデ		
317	埋砂上層	土師器 鉢形器台	脚部 1/4	口径(16.8) 器高(3.9)	良	灰褐色	密	外面:横ナデ 内面:受部縦ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横ヘラケズリ		
318	埋砂下層	土師器 鉢形器台	脚部 1/4	器高(4.8) 底径(15.6)	良好	灰褐色	密 砂粒	外面:横ナデ 内面:受部ナデ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横ヘラケズリ 脚部円形透し		
319	埋砂下層	土師器 鉢形器台	脚部 1/4	器高(5.5) 底径(18.8)	良好	橙褐色～灰褐色	密	外面:横ナデ 内面:脚部横ヘラケズリ、脚端部横ナデ		
320	埋砂上層	土師器 鉢形器台	1/2	口径(14.0) 器高(8.8) 底径(12.8)	良	灰褐色	密	外面:横ナデ、受部縦・横ヘラミガキ、脚部横ヘラミガキ 内面:受部縦・横ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部斜めヘラケズリ、脚端部横ナデ	外面赤彩	
321	埋砂中層	土師器 鉢形器台	2/3	口径(14.8) 器高:7.9 底径(13.6)	良好	橙褐色	密 砂粒	外面:横ナデ、受部・脚部縦・横ヘラミガキ 内面:受部縦・横ヘラミガキ、脚部横ヘラケズリ、脚端部横ナデ	内面一部煤付着	
322	埋砂上層	土師器 鉢形器台	受部 1/3	口径(16.2) 器高(6.3)	良	黄灰白色	密	外面:受部海綿圧痕→縦ヘラミガキ 内面:受部縦・横ヘラミガキ、脚部横ヘラケズリ		
323	埋砂上層	土師器 小型器台	3/4	口径(8.8) 器高:9.9 底径:10.9	良好	灰褐色	密	外面:縦・横ヘラミガキ 内面:受部縦ハケメ→横ヘラミガキ、脚部縦ヘラケズリ、脚部下半指頭圧痕→横ハケメ		

324	鉈形下層	上部器 小型器台	1/3	口径(8.7) 器高：7.9 底径(12.2)	良好	受部色	密	外面：受部縦ヘラミガキ、脚部横ハケメ→縦ヘラミガキ 内面：受部縦ハケメ→横→縦ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横ヘラケズリ、脚部下半横ナデ 接合部受部から脚	内外面受部赤彩
325	鉈形上層	七段器 小型器台	3/4	口径：8.5 脚径：7.6 底径(12.5)	良	灰褐色	密	外面：受部縦ヘラミガキ、脚部縦ハケメ→縦ヘラミガキ 内面：受部縦→横ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部縦ヘラケズリ、脚部下半横ナデ 接合部受部から脚	
326	鉈形中層	上部器 小型器台	1/4	口径(9.0) 器高：7.4 底径(11.0)	良	褐色	密 砂粒	外面：受部横ヘラミガキ、脚部縦ヘラミガキ→ナデ 内面：受部横ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部縦ヘラケズリ、脚部下半指頭調整→ハケメ 接合部受部から脚。脚部三方孔穿通し	
327	鉈形上層	上部器 小型器台	1/3	口径(8.4) 器高(4.7)	良好	灰褐色	密	外面：受部縦→横ヘラミガキ、脚部縦ハケメ→縦ヘラミガキ 内面：受部縦→横ヘラミガキ、接合部ナデ、脚部横ハケメ 接合部受部から脚	
328	鉈形上層	上部器 小型器台	受部 1/3	口径(10.7) 器高(4.9)	良好	褐色	密	外面：縦ヘラミガキ 内面：受部横ヘラミガキ、脚部横ヘラケズリ	
329	鉈形最下層	上部器 小型器台	受部→脚部	口径：10.2 器高(4.8)	やや良	褐色	密 長石・石英	外面：丹彩縦ナデ、脚部縦ハケメ 内面：丹彩縦ハケメ、脚部横ヘラケズリ 接合部円盤充填→穿孔	内面受部器杯痕跡 ・次段成
330	鉈形下層	上部器 小型器台	脚部	口径：10.8 器高(3.5)	良	褐色	密	外面：口縁部横ナデ、受部ハケメ→ヘラミガキ 内面：受部赤彩痕跡不明 接合部円盤充填→穿孔	内面受部器杯痕跡 内面口縁部→外面赤彩
331	鉈形最下層	上部器 小型器台	脚部 1/3	脚径(6.0) 底径(10.8)	良好	灰褐色	密	外面：縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面：脚部横ヘラケズリ、脚部下半ハケメ 脚部二方孔穿通し	
332	鉈形上層	中段器 坏	1/3	口径：12.0 器高：5.1 脚径：5.5	良	橙褐色	密 砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部以下横ヘラケズリ 内面：器底調整不明	
333	鉈形中層	上型品 支脚	脚部破片	脚径(3.8) 底径(12.5)	良	褐色	密 石英・砂粒	外面：縦ヘラケズリ 内面：縦ヘラケズリ	
334	津野上層	上部壺 甕	狭口部破片	狭口径(23.4) 器高(17.5)	良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面：狭口部ナデ、体部ハケメ→ナデ、肩部指頭調整→ナデ 内面：狭口部ナデ、体部指頭調整→縦ヘラケズリ	内面煤付着
335	鉈形中層	上部器 甕	1/3	狭口径(13.6) 器高(32.6)	良好	灰褐色	密 長石・石英・砂粒	外面：狭口部ナデ、体部縦ハケメ、把手部：指頭調整→ナデ 内面：狭口部ナデ、体部縦・横ヘラケズリ	外面 内外器狭口部煤付着
336	津野下層	上部壺 移動式竈	左袖部	器高(26.5)	良	灰褐色	密 白色粒・砂粒	外面：体部縦・横ハケメ→一部指頭調整 内面：体部ヘラケズリ→部指頭調整	内面煤付着
337	鉈形上層	土師器 鉢?	把手部	幅：3.4～1.8	良	褐色	密 石英	外面：縦ヘラケズリ、把手：横ナデ	穿孔穿彩 中央穿孔径6mm
338	鉈形中層	手捏ね 土器	脚部	器高(3.8) 底径(3.6)	良	赤褐色	密 雲母・白色粒	外面：指頭調整	
339	鉈形下層	土錘	完形	長さ：5.2 幅：3.6 厚さ：3.6	良	灰褐色	密 白色粒		重量：67.1g
340	鉈形上層	土錘	完形	長さ：5.3 幅：3.4 厚さ：3.4	良	褐色	密 雲母・白色粒		外面二次焼成 重量：66.1g
341	鉈形中層	土錘	1/2完形	長さ(3.1) 幅：3.9 厚さ：3.4	やや良	灰茶色	密 雲母・白色粒		重量：33.9g
342	鉈形上層	土錘	完形	長さ：3.2 幅：3.9 厚さ：4.0	やや良	灰褐色	密 角閃石・雲母・白色粒		重量：50.5g

第61表　1区SD02出土金属製品観察表（第116図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	種類	形態	材質	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	稲葉度	メタル度	ランク	重量（g）	備考
343	鉈形上層	刀子	1/2完形	鉄	全長(152) 刃部(96) 茎部(56)	刃部：12 茎部：7	刃部：2 茎部：2	4	錆化（△）	5	11.6	
344	鉈形中	鉄鏃	1/2完形	鉄	全長(89) 刃部(14) 頭部：68 茎部(：7)	刃部：11 頭部：6 茎部：5	刃部：2 頭部：3 茎部：2	4	錆化（△）	4	6.0	
345	鉈形中層	刀子	刃部	鉄	(25)	(12)	1	4	錆化（△）	2	1.7	
346	鉈形中層	種類不明品	—	鉄	(75)	4	4	3	錆化（△）	3	8.1	
347	鉈形中層	小刀?	茎部	鉄	(50)	(15)	(7)	6	錆化（△）	2	12.6	
348	鉈形中層	種類不明品	—	鉄	(37)	6	5	4	錆化（△）	2	4.0	

第62表　1区SD02出土石器観察表（第116図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	種類	遺存状態	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	石材	備考
349	鉈形中層	磨製石斧	破片	(90)	(38)	(12)	18.1	閃緑岩	刃部角刃状
350	鉈形中層	磨製石斧	1/2	(94)	(75)	(44)	401.7	安山岩	一部煤付着
351	鉈形中層	砥石	1/2完形	81	80	37	312.7	砂岩	荒砥
352	鉈形上層	砥石	1/2完形	(63)	32	28	63.6	凝灰岩	
353	鉈形上層	砥石	破片	(32)	66	18	30.4	砂岩	
354	鉈形中層	砥石	1/2完形	40	36	25	5.8	粘石	
355	鉈形最下層	砥石	1/2完形	86	51	35	291	砥石	
356	鉈形上層	砥石	1/2完形	71	55	50	36.7	粘石	
357	鉈形上層	砥石	1/2完形	121	65	79	284.1	砥石	
358	鉈形中層	砥石	1/2完形	137	72	72	280.2	砥石	
359	鉈形最下層	石錘	完形	143	116	25	754.4	安山岩	上打欠幅12mm・下打欠幅23mm
360	鉈形中層	石錘	完形	103	72	36	276.4	アイサイト	上打欠幅12mm・下打欠幅41mm

361	縄紋中期	石錐	完形	142	96	40	786.5	デイサイト	左打欠幅52mm・右打欠幅38mm
362	薄手中期	磨石・凹石	完形	94	90	39	428.8	デイサイト	
363	縄紋中期	石錘	完形	148	62	56	553.8	デイサイト	
364	縄紋中期	台石	4/4完形	(181)	(135)	82	3100.0	花崗岩	

第63表　4区SD04出土土器観察表（第118図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	縄紋下層	上部器要	口縁～体部1/2	口径(18.0) 器高(21.0) 胴径(22.8)	良	褐色	密 石英・小石粒多量	外面：口縁部横ナデ、体部櫛・横・縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部縦・横ヘラケズリ	黒斑
2	縄紋下層	十能器要	口縁～体部1/2	口径(18.8) 器高(10.6)	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部ヨコハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面一部煤付着
3	薄手上層	土師器坏	4/5	口径(13.1) 器高(4.9)	やや良	褐色	密 石英・小石粒・砂粒	外面：指頭調整→横ヘラミガキ 内面：横ヘラミガキ	全面赤彩
4	縄紋下層	口縁部	口縁部	口径(10.8) 器高(2.0)	良好	青灰色	密 白色粒・黒色粒	内外面：回転ナデ	口縁端部・外面肩部自然釉灰
5	縄紋下層	須恵器蓋	2/3	口径(13.8) 器高(4.6)	良好	黄灰白色	密 白色粒・砂粒	外面：天井部回転ヘラケズリ、口縁部回転ナデ 内面：口縁部回転ナデ、天井部ナデ	
6	縄紋下層	須恵器坏	2/3	口径(10.5 器高(3.2	良好	灰色	密	外面：口縁部一体部回転ナデ、底部ヘラケズリ 内面：口縁部一体部回転ナデ、底部ナデ	

第64表　4区SD05出土土器観察表（第120図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	縄紋中	上部器要	破片	口径(20.4) 器高(2.7)	良	黄灰白色	密 石英・砂粒	内外面：横ナデ	外面煤付着
2	縄紋中期	上部器要	破片	口径(17.4) 器高(3.2)	良	褐色	密 砂粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	
3	縄紋下層	須恵器坏	破片	口径(11.6) 器高(2.5)	良好	灰色	密 白色粒	内外面：回転ナデ	

第65表　4区SD05出土石器観察表（第120図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	遺存状態	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	石材	備考
4	縄紋晩下層	打製石斧	完形	168	93	21	418.6	硬質安山岩	

第66表　4区SD07出土土器観察表（第122図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	縄紋中期	上部器要	破片	口径(17.4) 器高(4.0)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	

第67表　1区SB01出土土器観察表（第130図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	Pit65	十能器要	破片	口径(25.0) 器高(3.1)	良	明褐色	密 砂粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部横ヘラケズリ	
2	Pit62	須恵器蓋	破片	口径(17.4) 器高(1.7)	良好	暗赤灰色	密	内外面：回転ナデ	
3	Pit62	須恵器坏	破片	口径(19.8) 器高(3.5)	良好	暗赤灰色	密	内外面：回転ナデ	
4	Pit62	須恵器坏	破片	器高(1.4) 底径(6.6)	良好	青灰色	密	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：回転ナデ	
5	Pit62	土錘	1/4	長さ(4.3) 幅 (4.0)	良	青灰白色	密		重量：36.5g

第68表　1区SB02出土土器観察表（第132図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	Pit21	須恵器皿	破片	口径(15.6) 器高(2.3)	良	灰色	密	内外面：回転ナデ	

第69表　1区SB04出土土器観察表（第135図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	Pit262	上部器底	破片	器高(1.9) 底径(11.6)	良	褐色	密	外面：ナデ、指付痕有 内面：ナデ	全面赤彩

第70表　1区SB08出土土器観察表（第140図）

遺物No	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	Pit164	土師器壺	破片	口径(21.2) 器高(3.7)	良	褐色	密 砂粒	外面：口部部ナデ→ハケメ 内面：口縁部ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	
2	Pit164	土師器坏	1/2	口径(14.0) 器高：4.7 底径：(7.0)	良	灰褐色	密	外面：横ヘラミガキ 内面：黒色処理→横ヘラミガキ	黒色土器

第71表　2区SB01出土土器観察表（第145図）

遺物No	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	Pit35	土師器坏	破片	口径(10.8) 器高：2.4 底径：(7.6)	良	橙褐色	密 砂粒	外面：口縁部～体部横ナデ、体部下半～底部ヘラケズリ 内面：横ナデ	内外面青い赤彩

第72表　2区SB11出土土器観察表（第156図）

遺物No	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	Pit136	須恵器坏	1/8	口径(11.2) 器高：2.3 底径：(8.2)	良好	青灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	内面口縁部～体部に黒縁状

第73表　2区SB16出土土器観察表（第162図）

遺物No	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	Pit149	須恵器甕	破片	器高：(2.5)	良好	青灰色	密	外面：口縁部ナデ、天井部横ヘラケズリ 内面：口縁部回転ナデ、天井部ナデ	

第74表　3区SB01出土土器観察表（第168図）

遺物No	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	Pit5	須恵器坏	底部	器高：(1.0) 底径：(12.6)	やや良	灰色	密	外面：回転ナデ、底部回転糸切り 内面：ナデ	外面底部へラ描き
2	Pit5	須恵器甕	ほぼ完形	口径(13.8) 器高：(2.0)	良	青灰色	密 石英・白色粒・黒色粒・砂粒	内外面：回転ナデ	外面口縁部自然釉状
3	Pit5	須恵器壺	破片	口径(12.6) 器高：(2.4) 底径：(9.2)	やや良	灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	

第75表　3区SB03出土土器観察表（第171図）

遺物No	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	Pit250	縄文土器	破片	口径(11.2) 器高：2.2	やや良	褐色	やや粗	内外面：撚糸圧痕	

第76表　3区SB04出土土器観察表（第173図）

遺物No	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	Pit287	須恵器坏	破片	器高：(2.4) 底径：(7.0)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	
2	Pit810	須恵器坏	底部	器高：(2.5) 底径：(9.8)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り・貼付高台 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	
3	Pit810	土師器坏	破片	器高：(2.9)	良	褐色	密 雲母・白色粒	外面：横ヘラケズリ 内面：黒色処理→横ヘラミガキ	黒色土器

第77表　3区SB04出土金属製品観察表（第173図）

遺物No	遺構・地区出土層位	種類	器種	材質	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	絶看度	メタル度	ランク	重量(g)	備考
4	Pit840	刀子	茎部	鉄	38.6	11	2	5	錆化（ふ）	2	2.9	目釘穴1個

第78表　3区SB05出土土器観察表（第175図）

遺物No	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	Pit399	須恵器坏	破片	口径(11.2) 器高：(2.5)	良好	青灰色	密 砂粒	内外面：回転ナデ	

第79表　3区SB07出土土器観察表（第178図）

遺物No	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	Pit884	土師器皿	破片	口径:13.9 器高:1.3 底径:10.2	良	橙褐色	密	外面：口縁部～体部横ナデ、体部下半～底部ヘラケズリ 内面：ナデ	赤彩
2	Pit880	須恵器壺	破片	口径:19.7 器高:1.6	良	暗赤灰色	密	外面：回転ナデ 内面：縁部回転ナデ、口縁部回転ヘラケズリ	

第80表　3区SB08出土土器・土製品観察表（第180図）

遺物No	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	Pit534	土師器皿	破片	口径:14.8 器高:2.2 底径:11.6	良	橙褐色	密 石英・砂粒	外面：口縁部～体部横ヘラミガキ、底部ヘラケズリ 内面：横ヘラミガキ	赤彩

第81表　5区SB02出土土器観察表（第193図）

遺物No	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	Pit4	須恵器坏	1/2	口径:10.5 器高:2.8 底径:7.0	良	灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：回転ナデ	

第82表　3区SI01出土土器観察表（第201図）

遺物No	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堀砂上層	土師器甕	破片	口径:31.0 器高:6.1	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下縦ヘラケズリ	
2	堀砂最上層	土師器甕	破片	口径:25.0 器高:5.8	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下縦ヘラケズリ	
3	堀砂最上層	土師器坏	ほぼ完形	口径:12.6 器高:3.2 底径:7.2	良	橙褐色	密 砂粒	外面：口縁部～体部横ナデ、体部下半～底部ヘラケズリ 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ	外面底部以外赤彩
4	堀砂上層	土師器坏	完形	口径:13.4 器高:3.0 底径:8.0	良	橙褐色	密 砂粒	外面：口縁部～体部横ナデ、体部下半～底部ヘラケズリ 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ	全面赤彩
5	堀砂中層	土師器皿	破片	口径:15.4 器高:1.8 底径:13.0	良	橙褐色	密 砂粒	外面：口縁部～体部横ナデ、体部下半～底部ヘラケズリ 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ	赤彩
6	堀砂最上層	須恵器坏	1/4	口径:12.6 器高:4.0 底径:7.4	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半ヘラケズリ、底部回転糸切り 内面：口縁部～底部回転ナデ	内面墨付着
7	堀砂上層	須恵器坏	1/3	口径:11.4 器高:4.0 底径:8.4	良好	青灰色	密 砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：回転ナデ	
8	堀砂中層	須恵器坏	1/2	口径:12.6 器高:4.0 底径:6.2	良好	青灰色	密 砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半横ナデ、ヘラケズリ、底部回転糸切り 内面：回転ナデ	
9	堀砂最上層	須恵器皿	1/3	口径:14.8 器高:2.3 底径:11.2	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半ナデ、底部回転糸切り 内面：回転ナデ	
10	堀砂上層	須恵器坏	1/2	口径:12.9 器高:4.1 底径:8.6	良好	灰色	密	外面：回転ナデ、貼付高台 内面：回転ナデ	焼きムラあり
11	堀砂最上層	須恵器水瓶	口頸部	口径:5.9	良好	暗赤灰色	密 石英・砂粒	内外面：回転ナデ	

第83表　3区SI02出土土器観察表（第203図）

遺物No	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堀砂中層	土師器甕	破片	口径:28.2 器高:9.1	良	褐色	密 石英・砂粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下縦ヘラケズリ	外面胴部煤付着
2	堀砂中層	土師器甕	破片	口径:28.4 器高:6.5	良	橙褐色～褐色	密 砂粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下縦ヘラケズリ	内面頸部煤付着
3	堀砂中層	土師器坏	破片	口径:15.6 器高:2.0	良	橙褐色	密 砂粒	内外面：ナデ	赤彩
4	堀砂上層	須恵器坏	完形	口径:11.1 器高:3.8 底径:8.7	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
5	堀砂最上層	須恵器皿	底部	器高:1.9 底径:13.6	良	橙褐色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り・貼付高台 内面：ナデ	
6	堀砂最上層	須恵器坏	破片	口径:12.6 器高:2.7	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半ヘラケズリ 内面：回転ナデ	
7	堀砂上層	手捏ね土器	破片	口径:4.5 器高:2.0	良	灰褐色	密	内外面：指頭調整→ナデ	

第84表　4 区SI06出土土器・土製品観察表（第205図）

遺物No	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	床面直上	土師器壺	破片	口径(18.8) 器高：2.8	良	灰茶色	密 雲母・白色粒	内外面：横ナデ	内面煤付着
2	床面直上	土師器壺	破片	口径(20.6) 器高：3.2	良	橙褐色	密 雲母・白色粒・砂粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	内面頸部以下煤付着
3	床面直上	須恵器ミニ	1/2	口径(12.0) 器高：3.7 底径(4.6)	良	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：ナデ	
4	埋移中	須恵器坏	破片	口径(17.4) 器高：2.2	良	青灰色	密	内外面：回転ナデ	
5	埋移中層	土錘	ほぼ完形	長5.(3.6) 幅：1.1 厚3：1.1	良	灰褐色	密 雲母		34g

第85表　5 区竈出土土器観察表（第207図）

遺物No	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	焼焚部	土師器支脚	脚部	器高(4.5) 底径(11.2)	良	褐色	密 雲母・砂粒	内外面：縦・横ヘラケズリ	

第86表　5 区竈出土石器観察表（第207図）

遺物No	遺構・地区出土層位	種類	遺存状態	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	石材	備考
2	焼焚部	紡石	1/2欠損	149	90	71	960.9	凝灰岩	

第87表　2 区SK09出土土器・土製品観察表（第209図）

遺物No	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋移上層	土師器壺	口縁～胴部	口径(31.4) 器高：(8.0)	やや良	橙褐色	密 石英・白色粒	外面：縦ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	外面炭化物付着
2	埋移上層	土師器壺	破片	口径(32.2) 器高：4.2)	良	橙褐色	密 雲母・白色粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	内面一部煤付着
3	埋移上層	土師器壺	口縁～胴部	口径(31.8) 器高：6.1)	良	橙褐色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	内面・胴部煤付着
4	埋移上層	土師器壺	破片	口径(20.4) 器高：(6.0)	やや良	橙褐色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ 内面：口縁部横ナデ、口縁部直線状調整、頸部以下横ヘラケズリ	黒斑 外面・胴部煤付着
5	埋移上層	土師器坏	破片	口径(10.3) 器高：(2.9)	良好	灰茶色	密 白色粒	内外面：回転ナデ	内外面赤彩
6	埋移上層	土師器坏	1/8	口径(13.6) 器高：3.4)	良好	橙褐色	密 白色粒	内外面：回転ナデ	内外面赤彩
7	埋移上層	土師器皿	破片	口径(16.6) 器高：2.1)	良好	橙褐色	密 白色粒	外面：口縁部～体部横ヘラミガキ、体部下半横ヘラケズリ 内面：横ヘラミガキ	内外面赤彩
8	埋移中	土師器皿	破片	口径(13.5) 器高：1.7)	良好	橙褐色	密 石英・白色粒	内外面：横ナデ	内外面口縁部赤彩
9	埋移中	土製品羽子玉型	脚部	器高(10.8) 幅：(8.2)	良	褐色	密 雲母・白色粒	外面：縦・横ヘラケズリ	一部煤付着 底部穿孔
10	埋移最上層	須恵器壺	口縁～胴部	口径(18.8) 器高(11.6) 頸径(20.0)	良好	青灰色	密	外面：口縁部回転ナデ、胴部以下平行叩き目 内面：口縁部回転ナデ、胴部以下直具による青海波文	焼成時煤付着 外面～内面口縁部一部自然釉付
11	埋移下層	須恵器壺	破片	口径(10.9) 器高(2.2)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：回転ナデ 内面：ナデ	外面口縁部一部自然釉付
12	埋移下層	須恵器壺	底部	器高：(4.4) 底径：(6.3)	やや良	灰色	密 白色粒	外面：体部横ナデ、体部下半～底部ヘラケズリ 内面：ナデ	焼成時大割れ
13	埋移中	須恵器蓋転用硯	破片	口径(16.5) 器高：2.5)	良	灰色	密	外面：口縁部回転ナデ、天井部ヘラケズリ 内面：口縁部回転ナデ、天井部墨痕	内面八角形墨付着
14	埋移上層	須恵器坏	1/4	口径(13.2) 器高：3.5 底径：(9.5)	良好	赤褐色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
15	埋移中	須恵器坏	4/5	口径：11.7 器高：4.0 底径：7.6	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
16	埋移下層	須恵器坏	1/4	口径(13.0) 器高：2.6 底径(11.1)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半横ヘラケズリ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
17	埋移中	須恵器坏	1/5	口径(10.6) 器高：3.6 底径：(8.8)	良好	青灰色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：回転ナデ	
18	埋移中	須恵器坏	1/4	口径(12.8) 器高：3.6 底径：(8.0)	良好	灰色	密 白色粒・砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
19	埋移上層	須恵器坏	底部1/3	器高：(2.1) 底径：(7.8)	不良	灰色	密 砂粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	
20	埋移中	須恵器皿	1/4	口径(17.8) 器高：4.0 底径(11.2)	良	灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
21	埋移上層	須恵器坏	1/4	器高：(3.5) 底径：(6.6)	良好	青灰色	密 白色粒・黒色粒・砂粒	外面：体部回転ナデ、底部ヘラ切り、貼付高台 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	
22	埋移中層	須恵器坏	1/4	器高：(3.7) 底径：(6.5)	良好	赤褐色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	

23	掘形上層	土師器坏	破片	器高（2.3） 底径（7.8）	良	橙褐色	密 白色粒	外面：体部横ナデ、底部ヘラケズリ 内面：ナデ			内外面赤彩 内面赤彩段階別
24	埋砂中	須恵器坏	1/3	口径（12.4） 器高：4.1 底径：8.9）	良	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、高台貼付底糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ			外面底部墨書
25	埋砂中	土師	完形	長径：6.4 幅：2.0 厚さ：2.2	良	橙色	密				重量：22.6g

第88表　2区SK09出土石器観察表（第209図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	遺存状態	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	石材	備考
26	埋砂上層	石錘石錘	1/4	(51)	(42)	(42)	80.5	砂岩	

第89表　5区SI19出土土器観察表（第211図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	器位残存率	法量（cm）	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋砂中	土師器鉢口縁	1/2	口径：11.6 器高：17.9 胴径：17.1	良	淡橙色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部以下縦ハケメ、胴部横位工具による直線文～波状文 内面：口縁部指頭調整～横ナデ、体部以下縦ヘラケズリ、体部中位～底部指頭調整～ヘラケズリ	外面煤付着
2	掘形中	土師器坏	2/3	口径：12.6 器高：3.8 底径：9.2	良	橙色	密 雲母・石英	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部ヘラ切り→指頭押圧 内面：指頭押圧→回転ナデ	内外面薄い赤系赤彩
3	埋砂中	須恵器鉢	破片	口径（21.8） 器高：6.0）	良	青灰色	密	外面：口縁部回転ナデ、口唇部平行叩き目 内面：口縁部回転ナデ、胴部篠目による青海波文	
4	掘形中	須恵器鉢	1/2	口径（22.8） 器高（3.5）	良	青灰色～灰色	密 石英・白色粒	外面：回転ナデ 内面：口縁部回転ナデ、人形紙ナデ	
5	掘形中	須恵器壺	1/4	口径（18.8） 器高（2.3）	良	青灰色	密	内外面：回転ナデ	外面自然釉薬
6	掘形最下層	須恵器坏	1/2	口径：12.1 器高：4.4 底径：8.7	良	青灰色～灰褐色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
7	掘形中	須恵器坏	1/4	口径（11.6） 器高：3.6 底径（8.7）	良	青灰色～赤褐色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	

第90表　5区SI19出土金属製品観察表（211図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	器位残存率	材質	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	錆青度	メタル度	ランク	重量（g）	備考
8	掘形下層	刀子	—	鉄	刃部(35) 茎部(25)	刃部(15) 茎部：5	刃部：2 茎部：1	5	錆化（△）	3	9.3	
9	埋砂下層	鉄平板状不明品	—	鉄	(55)	7	4	3	錆化（△）	3	6.3	
10	掘形下層	釘	頭部完形	鉄	(82)	7	7	2	錆化（△）	5	35.5	
11	掘形下層	釘	頭部完形	鉄	(61)	6	8	3	錆化（△）	5	13.0	曲折釘剥 木質付着
12	埋砂最下層	板状不明品	—	鉄	(57)	5	5	3	錆化(△)	3	13.9	
13	埋砂下層	釘	2/3	鉄	(43)	5	5	2	錆化（△）	4	5.9	木質付着

第91表　鍛冶関連遺物廃棄土坑出土土器観察表（第213図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	器位残存率	法量（cm）	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	掘形下層	須恵器鉢	破片	口径(18.8) 器高（1.5）	良好	青灰色	密 長石・石英	外面：回転ナデ 内面：口縁部横位回転ナデ、口縁部ヘラケズリ→ナデ	
2	掘形上層	須恵器蓋	破片	口径（17.8） 器高（3.5）	良好	青灰色	密 雲母・石英	外面：回転ナデ 内面：回転ナデ	
3	埋砂下層	須恵器坏	底部	器高（1.8） 底径（9.1）	良	青灰色	密 黒色粒	外面：体部ヘラケズリ、底部糸切り 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	
4	掘形下層	須恵器坏	底部	器高：1.9 底径（7.4）	良	青灰色	密 黒色粒	外面：体部ヘラケズリ、底部糸切り 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	

第92表　3区土壙墓出土土器観察表（第215図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	器位残存率	法量（cm）	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋砂中	須恵器短頸壺	口縁～底部	口径（10.0） 器高（20.0） 頸径（24.8） 底径（13.0）	良好	青灰色	密 石英・砂粒	外面：押ぶ→回転ナデ、貼付高台 内面：回転ナデ	
2	埋砂中	土師器坏	底部	器高（1.5） 底径（4.6）	良	橙褐色	密	外面：貼付高台	赤彩

第93表　3区土壙墓出土石製品観察表（第215図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	遺存状態	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	石材	備考
3	底面直上	紡錘球（土玉）	1/2	19	16	(17)	5.7	水晶	孔径1.5mm

第94表　3区土壙墓出土金属製品観察表（第215図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	部位 残存率	材質	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	指数度	メタル度	ランク	重量(g)	備考
4	底面	人刀子	柄部完形	鉄	全長(204) 刃部(125) 茎部(79)	刃部:19 茎部:11	刃部:3 茎部:3	8	酸化(△)	5	606	目釘穴1個

第95表　3区SK04出土土器観察表（第217図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位 残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堆積中	土師器甕	破片	口径(21.9) 器高(3.3)	良	黒茶色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部横位ヘラケズリ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	L1線部外面一部煤付着
2	堆積中	弥生時代小皿	破片	器高(2.3)	良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面：ナデ→ヘラ状工具による列点文2条 内面：ヘラケズリ	

第96表　3区SK08出土土製品観察表（第222図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位 残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋移中	土錘	完形	長さ:5.3 幅 :1.9 厚さ:1.7	良	黒茶色	密 白色粒		重量：15.5g

第97表　4区SK08出土土器観察表（第231図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位 残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋移中	土師器甕	破片	口径(14.4) 器高(3.2)	良	桜褐色	密	内外面：横ナデ	内外面薄い赤彩

第98表　4区SK09出土土器観察表（第233図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位 残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堆積中	須恵器坏	破片	口径(12.3) 器高(2.6)	良好	青灰色	密	内外面：回転ナデ	

第99表　5区SK05出土土器観察表（第235図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位 残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堆積中	土師器甕	破片	口径(24.3) 器高(2.3)	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	内外面：横ナデ	内外面炭化物付着
2	堆移最下層	土師器坩	破片	口径(14.6) 器高(1.8)	良	灰褐色	密	内外面：回転ナデ	内外面赤茶彩
3	埋移中	須恵器瓶	体部1/4	器高(4.4) 胴径(10.8)	良好	灰色	密	外面：胴部回転ナデ、体部カキ目 内面：胴部ヘラケズリ、体部回転ナデ	

第100表　5区SK06出土土器観察表（第237図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位 残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堆移中	須恵器坏	1/3	口径(11.2) 器高: 4.1 底径(8.2)	良好	青灰色	密	外面：体部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：回転ナデ	

第101表　5区SK07出土土器観察表（第239図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位 残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋移下層	土師器甕	破片	口径(26.1) 器高(6.1)	良	褐色	密 角閃石・雲母	外面：横ナデ 内面：L1線部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	内面L1線部一部炭化物付着
2	埋移上層	土師器甕	破片	L1径(14.6) 器高(5.9)	やや良	黄灰白色	密 石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	外面L1線部煤付着
3	堆移上層	須恵器甕	1/4	口径(12.2) 器高(2.6)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：回転ナデ 内面：L1線部回転ナデ、天井部ナデ	

第102表　5区SK08出土土器観察表（第241図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位 残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋移中	須恵器坏	底部破片	器高(2.2) 底径(8.5)	良	暗灰白色	密	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	

第103表　5区SK09出土土器観察表（第243図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位 残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堆移中層	土師器甕	L1線部1/3	口径(28.7) 器高(8.3)	良	灰褐色	密	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	内外面胴部炭化物付着

2	縄文中層	須恵器 坏	1/4	口径(11.1) 器高：3.6 底径(8.1)	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	

第104表　5区SK09出土金属製品観察表（第243図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位 残存率	材質	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	錆者度	メタル度	ランク	重量(g)	備考
3	縄文中層	釘	1/2以上残	鉄	124	3	4	5	錆化(△)	5	16.1	折れ釘
4	縄文中	釘	1/2	鉄	(32)	5	5	3	錆化(△)	3	12.2	曲げれ釘

第105表　5区SK11出土土器観察表（第245図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位 残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	縄文上層	土師器 鉢	把手部	器高(12.8)	良	灰褐色	密 角閃石・雲母・石英・白色粒	把手部：ナデ 外面：ヘラケズリ・ハケメ・ナデ 内面：指頭調整・ヘラケズリ・ハケメ	

第106表　5区SK12出土土器観察表（第247図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位 残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	縄文中	手捏ね土器	破片	口径(12.9) 器高(3.8)	良	橙褐色	密	外面：指頭調整→ヘラケズリ 内面：ハケ→ヘラケズリ→ナデ	

第107表　5区SK15出土土器観察表（第249図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位 残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	縄文中	土師器 甕	底部破片	器高(2.1) 底径(5.6)	良	橙褐色	密 石英・雲母・白色粒	外面：ハケメ 内面：横ヘラケズリ	

第107表　5区SK15出土土器観察表（第249図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位 残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	縄文中	土師器 甕	底部破片	器高(2.1) 底径(5.6)	良	橙褐色	密 石英・雲母・白色粒	外面：ハケメ 内面：横ヘラケズリ	黒斑

第108表　2区SD05出土土器観察表（第258図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位 残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	縄文中層	土師器 鉢	破片	口径(21.6) 器高(7.20)	良	橙褐色	密 角閃石・白色粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横撫ナデ、口縁部横ハケメ	外面・部厚付着
2	縄文上層	土師器 坏	破片	口径(11.8) 器高(2.8)	良	灰茶色	密 石英	外面：回転ナデ 内面：ナデ	
3	縄文上層	土師器 坏	破片	口径(11.6) 器高(1.9)	良好	橙褐色	密	内外面：横ナデ	
4	縄文上層	土師器 坏	破片	口径(10.0) 器高(2.4)	良	橙褐色	密	内外面：横ナデ	内外面赤彩
5	縄文上層	須恵器 蓋	破片	口径(32.8) 器高(13.0)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部ナデ→ヘラ状工具による波状文2条、胴部平行叩き目 内面：口縁部ナデ、胴部当具による青海波文	外面胴部内外黒炭
6	縄紋中層	須恵器 坏	破片	口径(13.6) 器高：3.9 底径(11.6)	良好	青灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
7	縄紋中層	須恵器 坏	破片	口径(9.6) 器高：3.1 底径(6.2)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
8	縄紋中層	須恵器 坏	破片	口径(12.8) 器高：3.6 底径：8.3	良好	暗赤灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
9	縄紋中層	須恵器 坏	破片	口径(12.4) 器高(3.1)	良好	暗赤灰色	密 白色粒	内外面：回転ナデ	
10	縄紋中層	須恵器 坏	破片	口径(11.0) 器高(2.4)	良好	暗赤灰色	密 白色粒	内外面：回転ナデ	
11	縄紋上層	須恵器 坏	破片	口径(13.6) 器高：1.5	良好	青灰色	密 白色粒	内外面：回転ナデ	
12	縄紋中層	須恵器 坏	破片	口径(18.0) 器高(2.3)	良好	赤褐色	密	内外面：回転ナデ	
13	縄紋中層	須恵器 坏	破片	口径(13.2) 器高(2.4)	良好	青灰色	密 白色粒	内外面：回転ナデ	
14	縄紋中層	須恵器 坏	破片	口径(15.9) 器高(1.9)	良好	青灰色	密 白色粒	内外面：回転ナデ	
15	縄紋上層	須恵器 坏	破片	器高：2.4 底径：6.2	良好	青灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：回転ナデ	
16	縄紋下層	須恵器 鉢	破片	口径(13.6) 器高：2.5 底径(11.6)	良好	灰黒色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
17	縄紋上層	須恵器 坏	破片	器高：2.6 底径(8.7)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	

18	堀砂上層	須恵器坏	破片	器高(1.9) 底径(11.0)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：回転ナデ	
19	堀砂最上層	須恵器坏	破片	器高(2.4) 底径(8.0)	良好	暗赤灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	
20	堀砂上層	須恵器坏	破片	器高(1.4) 底径(6.2)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	
21	堀砂下層	須恵器坏	破片	器高(2.5) 底径(9.2)	良好	青灰色	密	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	
22	堀砂最下層	須恵器坏	破片	器高(3.0) 底径(10.0)	良	青灰色	密	外面：体部回転ナデ、貼付高台 内面：ナデ	

第109表　２区SD05出土石器観察表（第258図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	遺存状態	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	石材	備考
23	堀砂中層	ハンマーストーン	完形	117	58	40	3313	デイサイト	

第110表　２区SD06出土土器観察表（第260図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位・残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堀砂最下層	土師器坏	底部	器高(1.9) 底径(6.0)	良	黄灰色	密	外面：体部ナデ、底部回転糸切り 内面：ナデ	
2	堀砂最上層	土師器坏	底部	器高(2.5) 底径(8.0)	良	褐色	密	外面：体部ナデ、底部回転糸切り 内面：ナデ	
3	堀砂中層	土師器坏	底部	器高(0.9) 底径(7.1)	良好	黒褐色	密	外面：体部ナデ、底部回転糸切り 内面：ナデ	
4	堀砂最上層	土師器坏	底部	器高(0.6) 底径(4.8)	良	灰褐色	密 砂粒	外面：体部ナデ、底部回転糸切り 内面：ナデ	
5	堀砂上層	土師器甕	口縁部	口径(31.0) 器高(2.1)	良	橙褐色	密	内外面：横ナデ	
6	堀砂中層	土師器甕	口縁部	口径(26.0) 器高(2.5)	良	黒褐色	密	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	一部煤付着
7	堀砂上層	土師器甕	口縁部	口径(19.6) 器高(2.9)	良	褐色	密 石英・砂粒	内外面：横ナデ	内面煤付着
8	堀砂上層	須恵器坏	底部	器高(2.7)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：体部ナデ、底部回転糸切り→ナデ、貼付高台 内面：当具による青海波文	内面自然釉灰
9	堀砂下層	須恵器坏	底部	器高(1.0) 底径(9.6)	良好	青灰色	密	外面：体部回転ナデ、底部ヘラ切り→貼付高台 内面：回転ナデ	
10	堀砂最上層	須恵器坏	破片	口径(12.8) 器高(2.3)	良好	暗赤灰色	密 白色粒	内外面：回転ナデ	
11	堀砂下層	須恵器坏	破片	口径(17.8) 器高(4.0)	良	青灰色	密 白色粒	内外面：回転ナデ	
12	堀砂最下層	須恵器坏	破片	口径(13.0) 器高(2.0)	良好	灰色	密 砂粒	内外面：回転ナデ	
13	堀砂上層	須恵器坏	破片	口径(12.8) 器高(2.5)	良	灰色	密	内外面：回転ナデ	
14	堀砂下層	須恵器坏	破片	器高(3.3) 底径(12.2)	良	青灰色	密	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	
15	堀砂下層	土師器底	把手部	器高(8.7)	良	褐灰色	密 雲母・石英・砂粒	外面：ヘラケズリ・ハケメ 内面：ヘラケズリ	
16	堀砂下層	須恵器底部七器	完形	長さ：3.4 幅：3.3 厚さ：1.1	良好	青灰色	密	遺体部底面	重量：15.0g

第111表　２区SD07出土土器観察表（第262図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位・残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堀砂中層	須恵器鉢	破片	口径(12.8) 器高：2.3 底径(9.0)	良	暗赤灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：回転ナデ	

第112表　２区SD08出土土器観察表（第264図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位・残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堀砂上層	土師器坏	破片	口径(11.6) 器高(2.3)	良	橙褐色	密	内外面：横ナデ	内外面薄い赤彩
2	堀砂下層	須恵器器	破片	口径(9.0) 器高(2.1)	やや良	褐色	やや粗 石英・砂粒	外面：指頭調整→ナデ 内面：ヘラケズリ→ナデ	

第113表　２区SD11出土土器観察表（第267図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位・残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堀砂中層	土師器甕	破片	口径(27.6) 器高(3.3)	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	
2	堀砂下層	手捏ね土器	破片	口径(8.2) 器高：1.8 脚径(6.0) 底径(3.8)	良	灰褐色	密 白色粒	外面：指頭調整→ナデ 内面：指頭調整→横ヘラミガキ	
3	堀砂最上層	土師	完形	長さ：7.1 幅：2.2 厚さ：2.0	良	褐色	密		重量：25.7g

4	堆砂上層	土師	1/2	長さ(37) 幅 : 2.0 厚さ(1.6)	良	黄灰白色	密		重量 : 9.5g
5	堆砂最上層	須恵器 上師	破片	長さ(24) 幅 (1.7) 厚さ(0.8)	良好	灰色	密		重量 : 3.0g
6	堆砂中層	土師	1/2	長さ(2.1) 幅 (0.8) 厚さ(1.0)	良	灰褐色	密		重量 : 1.6g
7	押部最上層	須恵器 高台部	把手部	器高(6.5) 胴径(21.8)	良好	灰色	密 角閃石・白色粒	外面 : 体部回転ナデ、把手部ヘラケズリ 内面 : 回転ナデ	把手部欠損
8	押部最上層	須恵器 坏	1/5	口径(16.2) 器高 5.4 底径(10.6)	良好	青灰色	密	外面 : 回転ナデ、貼付高台 内面 : 回転ナデ	
9	堆砂中層	須恵器 坏	破片	器高(4.2) 底径(10.0)	良	青灰色	密	外面 : 体部回転ナデ、底部回転糸切り→ナデ、貼付高台 内面 : 体部回転ナデ、底部ナデ	
10	堆砂下層	土師器 灯明皿	底部	器高(2.8) 底径(8.0)	良	褐色	密 石英・雲母	外面 : ナデ、貼付高台 内面 : ナデ	土師器研磨用 底台部内側タール付着
11	堆砂下層	土師器 坏	底部	器高(2.6) 底径(7.4)	良好	褐灰色	密	外面 : 体部ナデ→ヘラミガキ、底部ヘラ切り→指頭押圧→ナデ、貼付高台 内面 : 体部ナデ→ヘラミガキ、底部押圧→ナデ	

第114表　2区SD11出土石器観察表（第267図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種　類	遺存状態	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	石　材	備　考
12	堆砂中層	礫石	完形	53	41	27	157	礫片	
13	堆砂中層	石鏃	2/3	(88)	(60)	36	232.6	安山岩	左行欠損10mm・右行欠損(12)mm
14	堆砂下層	石鏃	完形	80	66	24	192.0	安山岩	左行欠損26mm・右行欠損37mm

第115表　2区SD12出土磁器・土器・土製品観察表（第268図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器　種	部位 残存率	法　量 (cm)	焼　成	色　調	胎　土	調　整　・　文　様	備　考
1	堆砂上層	須恵器 甕	破片	口径(38.8) 器高(4.1)	良	青灰色	密	外面 : 回転ナデ 内面 : 口縁部横ハケ、胴部内面による青海波文	
2	堆砂中層	須恵器 甕	口縁～胴部1/2	口径(18.0) 器高(3.9)	良好	青灰色	密	外面 : 回転ナデ 内面 : 口縁部横ハケ、胴部内面による青海波文	
3	堆砂中層	土師器 甕	破片	口径(15.4) 器高(3.4)	良	橙褐色	密 砂粒	外面 : 横ナデ 内面 : 口縁部横ナデ、胴部以下縦ヘラケズリ	
4	堆砂中層	土師器 甕	破片	口径(24.0) 器高(4.1)	良	褐色	密 雲母	外面 : 横ナデ 内面 : 口縁部横ハケメ、胴部以下縦ヘラケズリ	
5	堆砂下層	土師器 鉢	数口縁破片	口径(15.4) 器高(4.7)	良	褐色	密 雲母・白色粒	外面 : 横打刷毛ナデ、体部縦ハケメ 内面 : 口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面焼口部黒変
6	堆砂中層	須恵器 蓋	破片	口径(15.6) 器高(1.8)	良好	青灰色	密	内外面 : 回転ナデ	
7	堆砂中層	須恵器 坏	破片	口径(13.4) 器高(3.8)	良好	灰色	密 白色粒・黒色粒	内外面 : 回転ナデ	
8	堆砂中層	須恵器 坏	破片	口径(16.0) 器高(4.7)	良好	青灰色	密 白色粒	内外面 : 回転ナデ	
9	堆砂上層	須恵器 坏	底部	器高(1.2) 底径(6.4)	良	青灰色	密	外面 : 体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面 : 体部回転ナデ、底部ナデ	
10	堆砂中層	須恵器 坏	底部	器高(1.9) 底径(11.0)	良好	暗赤灰色	密 雲母	外面 : 体部回転ナデ、底部静止糸切り 内面 : 回転ナデ	
11	堆砂上層	須恵器 坏	底部	器高(2.6) 底径(10.0)	良好	青灰色	密 白色粒・黒色粒	外面 : 体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面 : 体部回転ナデ、底部ナデ	
12	堆砂中層	須恵器 坏	底部	器高(1.3) 底径(1.2)	良好	暗赤灰色	密 白色粒	外面 : 体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面 : 体部回転ナデ、底部ナデ	
13	堆砂上層	須恵器 坏	底部	器高(1.7) 底径(12.2)	良好	暗赤灰色	密	外面 : 体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面 : 体部回転ナデ、底部ナデ	底部煤付着
14	堆砂下層	須恵器 坏	底部	器高(2.2) 底径(14.6)	良	青灰色	密	外面 : 体部回転ナデ、底部回転糸切り→ナデ、貼付高台 内面 : ナデ	
15	堆砂中層	須恵器 坏	1/2	口径(11.8) 器高 4.1 底径(7.8)	良好	青灰色	密	外面 : 体部回転ナデ、底部回転糸切り→ナデ、貼付高台 内面 : ナデ	外面高台内墨痕状 線刻「x」
16	堆砂上層	白磁 皿	破片	器高(1.2) 底径(2.2)	良好	灰白色	密	外面 : 体部下半～底部露胎、貫入 内面 : 貫入	白磁遺構 : 1類
18	堆砂下層	土師	1/2	長さ(32) 幅 : 1.4 厚さ : 1.2	良	褐色	密 白色粒		重量 : 4.3g
19	堆砂中層	土師	口縁完形	長さ(43) 幅 : 1.8 厚さ : 1.7	良	灰褐色	密		重量 : 11.9g

第116表　2区SD12出土石器観察表（第268図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種　類	遺存状態	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	石　材	備　考
17	堆砂下層	黒曜石剥片	完形	141	48	45	437.6	硬質	

第117表　2区SD12出土金属製品観察表（第268図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種別	部位残存率	材質	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	錆層度	メタル度	ランク	重量（g）	備考
20	埋砂下層	刀子	2/3	鉄	全長(94) 刀部(35) 茎部(39)	刀部:11 茎部: 7	刀部:3 茎部:2	5	錆化（△）	4	83	
21	埋砂下層	釘	1以下完形	鉄	54	3	4	5	錆化（△）	2	39	

第118表　2区SD13出土土器・土製品観察表（第269図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量（cm）	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋砂中層	須恵器坏	1/8	口径(12.4) 器高: 3.7 底径(8.6)	良	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半横ヘラケズリ、底部回転糸切り→ナデ 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
2	埋砂下層	須恵器坏	破片	器高(1.9) 底径(11.2)	良好	青灰色	密	外面：体部回転ナデ、体部下半横ヘラケズリ、底部回転糸切り 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	
3	埋砂中層	須恵器坏	破片	器高(0.9) 底径(7.8)	良好	青灰色	密	外面：体部ナデ、底部回転糸切り 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	
4	埋砂上層	須恵器坏	破片	器高(2.4) 底径(9.0)	良好	赤褐色	密	外面：体部ナデ、底部回転糸切り 内面：ナデ	
5	埋砂最下層	須恵器坏	破片	口径(15.8) 器高: 2.5 底径(12.6)	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半横ヘラケズリ、底部回転糸切り 内面：ナデ	
6	埋砂中層	土錘	1以下完形	長さ(5.1) 幅 : 1.6 厚さ: 1.6	良	灰赤色	密 雲母・砂粒		重量：11.5g
7	埋砂中層	土錘	1以下完形	長さ(4.7) 幅 : 1.3 厚さ: 1.3	良	明灰白色	密 砂粒		重量：6.4g
8	埋砂中層	土錘	1/2	長さ(2.5) 幅 : 1.3 厚さ: 1.2	良	灰褐色	密		重量：3.7g

第119表　3区SD01出土土器観察表（第272図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量（cm）	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋砂最上層	土師器皿	1/8	口径(15.4) 器高: 1.5) 底径(12.0)	良	橙褐色	密	外面：口縁部～体部横ナデ、体部下半～底部ヘラケズリ 内面：横ナデ	赤彩
2	埋砂上層	土師器皿	1/2	口径(15.6) 器高(1.2) 底径(11.0)	良	褐色	密 砂粒	外面：口縁部～体部横ナデ、体部下半～底部ヘラケズリ 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ	
3	埋砂最上層	須恵器坏	底部	器高: 2.2 底径(12.4)	良	青灰色	密 砂粒	外面：ナデ、貼付高台 内面：ナデ	

第120表　3区SD03出土土器・土製品観察表（第274図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量（cm）	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋砂中層	土師器坏	1/8	口径(13.8) 器高: 2.7 底径(9.0)	良	橙褐色	密 砂粒	外面：口縁部～体部横ナデ、底部ヘラケズリ 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ	赤彩
2	埋砂中層	須恵器坏	破片	口径(12.6) 器高(3.4)	良好	青灰色	密 砂粒	内外面：回転ナデ	
3	埋砂最上層	須恵器皿	底部	器高(2.6) 底径(12.6)	良好	青灰色	密 砂粒	外面：体部横ナデ、底部ヘラケズリ・貼付高台 内面：ナデ	
5	埋砂最上層	土錘	1/2	長さ(7.6) 幅 (3.8) 厚さ(3.8)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒		重量：84.8g

第121表　3区SD03出土石器観察表（第274図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	遺存状態	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	石材	備考
4	埋砂最下層	砥石	1以下完形	42	40	16	41	粗石	

第122表　3区SD04出土土器観察表（第276図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量（cm）	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋砂中層	土師器皿	破片	口径(22.6) 器高(3.2)	良	褐色	密 砂粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頂部以下縦ヘラケズリ	
2	埋砂中	土師器坏	1/2	器高(4.6) 底径(6.2)	良	灰褐色～橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	

第123表　5区SD03出土土器観察表（第282図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量（cm）	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋砂下層	土師器壺	破片	口径(25.7) 器高(1.6)	良	橙色	密 石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、頸部以下縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下縦ヘラケズリ	外面一部煤付着

2	埋砂中層	上部器 底	つまみ部	底径：6.0 器高：2.0	良	褐色	密 石英・砂粒	外面：指頭調整→縦ナデ 内面：つまみ部指頭調整→ヘラケズリ、天井部ヘラナズリ	つまみ相当孔2個 一部穿孔途	

第124表　5区SD03出土金属製品観察表（第282図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	部位残存率	材質	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	文様	重量（g）	備考
3	鏡背面部	小刀柄	1/4弱完形	青銅	34	34	3	鏡背：三重の圏線文	2.7	鏡背赤彩

第125表　5区SD06出土土器観察表（第283図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量（cm）	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋砂下層	須恵器 壺	胴部 1/8	器高（5.1） 底径（11.5）	良	灰色	密	外面：体部回転ヘラケズリ・底面1条 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	
2	埋砂最下層	須恵器 坏	1/8	口径（11.6） 器高：3.8 底径（10.0）	良	灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	

第126表　5区SD04出土土器観察表（第285図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量（cm）	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋砂上層	土師器 甕	2/3	口径（19.0） 器高：17.7 胴径（20.0） 底径：8.0	良	褐色	密 砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部縦状工具による斜状文、体部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半指圧調整→ヘラケズリ	外面煤付着
2	埋砂最下層	土師器 甕	破片	口径（18.6） 器高（6.4）	良	橙褐色	密 石英（0.5mm）	外面：口縁部横ナデ、胴部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部以下縦ヘラケズリ	
3	埋砂下層	土師器 鉢	坏部 1/6	口径（19.6） 器高（4.6）	良	褐色	密 石英・砂粒	外面：ハケメ→横ヘラミガキ 内面：指ナデ・横ヘラミガキ	内外面煤付着
4	埋砂下層	須恵器	破片	口径（19.6） 器高（3.4）	やや良	灰色	粗 小石粒	内外面：指頭調整→ナデ	
5	埋砂下層	須恵器	破片	口径（10.8） 器高（5.2）	やや良	灰色	粗 石英・砂粒	内外面：指頭調整→ナデ	
6	埋砂下層	土師器 皿	1/10	口径（16.6） 器高：2.0 底径（12.0）	良	橙褐色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半ヘラケズリ、底部回転糸切り 内面：回転ナデ	内外面赤彩
7	埋砂下層	土師器 皿	破片	口径（17.6） 器高：1.5 底径（15.4）	良	橙褐色	密 砂粒	外面：口縁部～体部横ナデ、体部下半～底部ヘラケズリ 内面：板ナデ	内外面赤彩
8	埋砂下層	土師器 皿	1/8	口径（17.6） 器高（2.2）	良	橙褐色	密 砂粒	外面：口縁部～体部横ナデ、体部下半～底部ヘラケズリ 内面：板ナデ	内外面赤彩
9	埋砂下層	土師器 坏	破片	口径（16.9） 器高（3.2）	良	褐色	密 砂粒	内外面：回転ナデ	内外面赤彩 内外面煤熱痕
10	埋砂下層	須恵器 蓋口縁	1/2	口径（9.4） 器高（10.1） 胴径（13.0）	良好	青灰色	密 砂粒	内外面：回転ナデ	外面胴部・内面口縁部赤熱痕
11	埋砂上層	須恵器 坏	1/2	口径（12.6） 器高（4.7）	良好	青灰色	密 砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半回転ヘラケズリ 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
12	埋砂上層	須恵器 坏	完形	口径：11.2 器高：4.5 底径：7.3	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
13	埋砂下層	須恵器 坏	完形	口径：11.8 器高：4.3 底径：8.5	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
14	埋砂上層	須恵器 皿	1/2	口径（17.6） 器高：4.1 底径（12.0）	やや良	灰色	密 砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
15	埋砂下層	須恵器 皿	1/2	口径（17.6） 器高：4.1 底径（12.0）	良	青灰色	密 砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
16	埋砂下層	須恵器 皿	5/8	口径（16.8） 器高：4.1 底径：11.7	良	褐色	密 砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	内外面煤付着

第127表　5区SD04出土石器観察表（第285図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	造作状態	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	石材	備考
17	埋砂下層	石鏃	完形	131	81	33	444.0	安山岩	左打欠幅26mm・右打欠幅30mm

第128表　5区SD04出土金属製品観察表（第285図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	部位残存率	材質	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	錆進度	メタル度	ランク	重量（g）	備考
18	埋砂中層	刀子	1/4弱完形	鉄	全長(85) 刃部(42) 茎部(41)	刃部:12 茎部：6	刃部:3 茎部:2	5	錆化（△）	3	10.4	
19	埋砂下層	刀子	1/2	鉄	全長(85) 刃部(25) 茎部(60)	刃部:10 茎部：6	刃部:3 茎部:2	5	H(○)	4	8.4	
20	埋砂上層	環状木製品	完形	銅	直径:31	5	5	4	錆化（△）	3	9.1	
21	埋砂下層	釘	1/4弱完形	鉄	(41)	4	4	4	錆化（△）	4	2.1	錆析石釘
22	埋砂下層	棒状木製品	—	鉄	(38)	3	3	3	錆化（△）	3	1.1	
23	埋砂中層	刀子	茎部	鉄	(43)	(14)	2	4	錆化（△）	3	3.7	日紙穴1個

第129表　5区SD08出土土器観察表（第286図）

遺物No	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋砂最下層	土師器 甕	口頸部 1/4	口径(24.6) 器高(7.6)	良	褐橙色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、胴部以下縦・斜めハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	
2	黒砂最下層	土師器 鉢	脚部	器高(6.6) 底径(5.2)	良	褐色	密 石英・砂粒	外面：脚部横ヘラミガキ、脚端部横ナデ 内面：脚部ナデ、脚部ヘラケズリ、脚端部横ナデ	外面・坏内面黒色赤彩
3	種砂中	土師器 壺	破片	器高(5.3)	良	褐色	密 雲母・石英	外面：ナデ 内面：ヘラケズリ	内面線状 外面一部赤彩
4	堀砂下層	手捏ね土器	胴部破片	胴径(3.1) 底径(3.9)	良	褐色	密	内外面：指頭調整	
5	埋砂下層	須恵器 坏	1/10	口径(10.2) 器高(4.1)	良	青灰色	密	内外面：回転ナデ	
6	埋砂下層	須恵器 蓋	1/8	口径(12.6) 器高(2.1) 底径(9.0)	良	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半ヘラケズリ、頂部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、頂部ナデ	
7	埋砂下層	土師器 皿	1/4	器高(2.3) 底径(11.8)	良	褐色	密	外面：ナデ、指付痕台 内面：ナデ	高台内側以外全面赤彩
8	堀砂下層	須恵器 壺坏	胴部 1/2	器高(4.7) 底径(8.4)	良	青灰色	密	内外面：回転ナデ 胴部二方方形透し	
9	堀砂最下層	須恵器 壺坏	脚部	器高(9.8)	良	青灰色	密	外面：回転ナデ 内面：坏底部ナデ、脚付部ナデ・ヘラケズリ、脚部回転ナデ	

第130表　5区SD08出土金属製品観察表（第286図）

遺物No	遺構・地区 出土層位	種類	部位 残存率	材質	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	磁着度	メタル度	ランク	重量 (g)	備考
10	堀砂中	刀子？	—	鉄	(35)	9	2	3	錆化（△）	2	5.1	
11	堀砂上層	釘	ほぼ完形	鉄	(56)	4	5	3	錆化（△）	3	3.0	断面長方形
12	堀砂中層	釘	ほぼ完形	鉄	(50)	4	4	6	錆化（△）	4	3.5	断面円形
13	堀砂上層	鉄状不明品	—	鉄	(39)	5	4	6	錆化（△）	3	5.9	
14	堀砂中層	鉄状不明品	—	鉄	(38)	5	5	5	錆化（△）	2	2.5	
15	堀砂上層	鉄状不明品	—	鉄	20	5	5	4	錆化（△）	2	2.2	鉄手状，釘？

第131表　5区SD09出土土器観察表（第287図）

遺物No	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堀砂最上層	須恵器 壺	1/8	口径(14.4) 器高(16)	良	青灰色	密	外面：回転ナデ 内面：口縁部回転ナデ、天井部ナデ	

第132表　5区SD15出土土器観察表（第288図）

遺物No	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堀砂中	須恵器 坏	ほぼ完形	口径:11.2 器高:3.7 底径:8.3	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半ヘラケズリ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
3	堀砂中	土師器 壺	破片	器高(2.8)	良	褐色	密 砂粒	内外面：横ナデ	内面口縁部横線

第133表　5区SD15出土石器観察表（第288図）

遺物No	遺構・地区 出土層位	種類	遺存状態	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	石材	備考
2	堀砂中	鉄石	1/2	(111)	(52)	(51)	320.0	花崗岩	

第134表　5区SD15出土金属製品観察表（第288図）

遺物No	遺構・地区 出土層位	種類	部位 残存率	材質	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	磁着度	メタル度	ランク	重量 (g)	備考
4	堀砂上層	鉄状不明品	—	鉄	(121)	6	6	5	錆化（△）	4	32.7	釘？

第135表　5区SD05出土石器観察表（第290図）

遺物No	遺構・地区 出土層位	種類	遺存状態	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	石材	備考
1	堀砂中層	砥石	1/2	(78)	(74)	(54)	150.5	花崗岩	

第136表　5区SD07出土土器観察表（第292図）

遺物No	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋砂下層	土師器 甕	破片	口径(29.4) 器高(2.9)	良	灰褐色	密	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部ヘラケズリ	
2	種砂中	土師器 底口壺	破片	口径(13.9) 器高(6.8)	良	黄灰白色	密 石英・砂粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下縦ヘラケズリ	

第137表　5区SD11出土土器観察表（第295図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	溝跡中	須恵器 坏	破片	器高(2.5)	良	灰色	密	内外面：回転ナデ	
2	溝跡中	須恵器 坏	破片	口径(10.0) 器高(2.0)	良	灰色	密	内外面：回転ナデ	
3	溝跡上層	須恵器 坏	破片	口径(15.6) 器高(4.1)	良	灰色	密	内外面：回転ナデ	

第138表　5区SD11出土金属製品観察表（第295図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	種類	部位 残存率	材質	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	磁着度	メタル度	ランク	重量 (g)	備考
4	溝跡中層	鉄鏃	ほぼ完形	鉄	29	29	3	5	錆化（△）	5	2.9	刃部角状変
5	溝跡下層	錆状不明品	—	鉄	(71)	5	5	6	錆化（△）	3	9.2	穿孔3箇
6	溝跡中層	錆状不明品	—	鉄	(27)	3	3	3	錆化（△）	2	1.1	

第139表　5区SD11出土石器観察表（第295図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	種類	遺存状態	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	石材	備考
7	溝跡中	剥片	1/2	(52)	(38)	28	830	凝灰岩	
8	溝跡上層	敲石	1/2	(37)	27	18	18.7	凝灰岩	

第140表　5区SD12出土土器観察表（第297図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	溝跡上層	土師器 甕	破片	口径(13.8) 器高(4.3)	良	灰褐色	密	外面：口縁部横ナデ、頸部以下斜めハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラミガキ	外面一部煤付着

第141表　5区SD12出土金属製品観察表（第297図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	種類	部位 残存率	材質	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	磁着度	メタル度	ランク	重量 (g)	備考
2	溝跡最上層	鉄鎌	2/3	鉄	全長(62) 刃部(28) 基部(34)	刃部:16 茎部:4	刃部:1 茎部:1	4	錆化（△）	5	5.3	刃部欠損

第142表　5区SD12出土石器観察表（第297図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	種類	遺存状態	最大長 (cm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	石材	備考
3	溝跡上層	台石	破片	(190)	(80)	(60)	708.8	粗粒	
4	溝跡中層	石鏃	完形	127	94	61	810.9	安山岩	左刃欠損25mm・右刃欠損50mm

第143表　1区ピット出土土器観察表（第300図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	Pit241	製塩土器	破片	口径(7.0) 器高(3.4)	やや良	黄灰白色	粗	内外面：指頭調整→ナデ	
2	Pit103	土師器 甕	破片	口径(19.2) 器高(3.2)	良好	褐橙色	密	内外面：回転ナデ	内外面赤彩
3	Pit249	土師器 皿	破片	口径(21.2) 器高(1.8)	良好	橙褐色	密	内外面：ナデ	内外面赤彩
4	Pit249	須恵器 坩	破片	器高(4.5) 胴径(9.0)	良好	青灰色	密	外面：回転ナデ、粘付着台 内面：ナデ	
5	Pit249	須恵器 坏	4/5	口径(12.6) 器高(4.5) 底径(8.0)	良好	灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
6	Pit249	須恵器 坏	底部 2/3	口径(13.8) 器高(3.6)	良好	灰色	密	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	
7	Pit196	須恵器 坏	破片	器高(3.0) 底径(6.2)	良好	灰色	密	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	
8	Pit225	須恵器 坏	破片	器高(2.2) 底径(8.8)	良好	暗赤灰色	密	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り→ナデ、粘付着台 内面：ナデ	

第144表　2区ピット出土土器観察表（第301図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	Pit5	土師器 壺	破片	口径(23.4) 器高(2.0)	良	灰褐色	密	内外面：擦ナデ	
2	Pit345	土師器 壺	破片	口径(23.4) 器高(4.4)	良	黒褐色	密 炭粒・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部横ヘラケズリ	
3	Pit314	土師器 壺	破片	口径(21.2) 器高(3.8)	良	褐色	密	外面：口縁部横ナデ、頸部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部横ヘラケズリ	黒斑 内面口縁部煤付着
4	Pit161	土師器 皿	破片	口径(18.0) 器高(1.2) 底径(15.6)	良	橙褐色	密	外面：口縁部～体部横ナデ、底部ヘラケズリ 内面：口縁部～体部横ナデ	内外面赤彩

5	Pit385	土師器坏	底部	器高(1.4)	良	橙褐色	密	外面：体部横ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：ナデ		内外面赤彩
6	Pit321	土師器皿	破片	口径(13.0) 器高(1.6) 底径(10.6)	良	橙褐色	密 石英	外面：口縁部～体部横ナデ、底部ヘラケズリ 内面：ナデ		内外面薄い赤彩
7	Pit140	手捏ね土器	破片	口径(8.4) 器高(4.1)	良	灰茶色	密 雲母・石英・砂粒	内外面：指頭調整		
8	Pit3	製塩土器	破片	口径(10.0) 器高(2.7)	やや良	橙色	やや粗 砂粒	外面：指頭調整→ヘラケズリ→ナデ 内面：指頭調整		
9	Pit3	製塩土器	破片	口径(8.2) 器高(1.9)	やや良	灰褐色	やや粗 砂粒	外面：指頭調整 内面：ヘラケズリ		
10	Pit190	土師器坏	破片	口径(16.0) 器高(3.8)	良	橙褐色	密	内外面：横ナデ		
11	Pit314	須恵器坏	破片	口径(11.4) 器高(1.6)	良好	暗赤灰色	密 白色粒	内外面：回転ナデ		
12	Pit6	須恵器坏	破片	器高(1.9) 底径(8.4)	良	暗赤灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：体部回転ナデ、高部ナデ		
13	Pit23	須恵器坏	1/3	口径(12.2) 器高(4.6) 底径(9.0)	良好	青灰色	密 黒色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
14	Pit1	須恵器坏	破片	口径(12.9) 器高(3.2)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：回転ナデ 内面：ナデ		
15	Pit183	須恵器坏	破片	口径(13.2) 器高(3.2)	良好	青灰色	密	内外面：回転ナデ		
16	Pit431	須恵器坏	破片	口径(12.4) 器高(2.1)	良好	青灰色	密	内外面：回転ナデ		

第145表　2区ピット出土金属製品観察表（第301図）

遺物No	遺構・地区出土層位	器種	残存	材質	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	断面形	メタル度	ランク	重量(g)	備考
17	Pit242	釘	1/2	鉄	(37)	4	4	4	錆化（△）	3	21	骨折れ釘
18	Pit242	釘	1/2	鉄	(28)	3	4	3	錆化（△）	2	13	骨折れ釘

第146表　3区ピット出土土器・土製品観察表（第302図）

遺物No	遺構・地区出土層位	器種	遺存	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	Pit18	土師器皿	破片	口径(14.8) 器高(2.1) 底径(10.0)	良	橙褐色	密	外面：口縁部～体部横ナデ、体部下半ヘラケズリ→ナデ 内面：横ナデ	赤彩
2	Pit560	土師器皿	破片	口径(13.6) 器高：1.7 底径：8.4)	良	橙褐色	密 石英・砂粒	外面：口縁部～体部横ナデ、底部ヘラケズリ→ナデ 内面：横ナデ	薄い赤彩
3	Pit538	土師器坏	1/8	口径(12.8) 器高：2.8 底径：8.4)	良好	橙褐色	密	外面：口縁部～体部指頭調整→横ナデ、底部ヘラケズリ→ナデ 内面：横ナデ	赤彩
4	Pit660	土師器坏	破片	口径(12.6) 器高：1.9 底径：8.0)	良	橙褐色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部ヘラ切り→ナデ 内面：回転ナデ	薄い赤彩
5	Pit885	土師器坏	1/8	口径(12.8) 器高：3.2 底径：4.0)	良	橙褐色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部ヘラ切り→ナデ 内面：回転ナデ	赤彩
6	Pit584	土師器坏	1/2	口径(13.0) 器高：3.3 底径(8.6)	良	橙褐色	密 石英・砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部ヘラ切り→指頭押圧 内面：回転ナデ	赤彩
7	Pit553	土師器皿	1/8	口径(21.8) 器高：3.3 底径(16.8)	良好	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：横ナデ、貼付高台 内面：横ナデ	赤彩
8	Pit498	土師器坏	底部	器高：3.0) 底径：9.4	良	橙褐色	密	外面：体部回転ナデ、底部ヘラ切り→ナデ、貼付高台 内面：指頭押圧→ナデ	外底面以外赤彩 内底面顔料
9	Pit669	製塩土器	破片	口径(9.3) 器径(3.4)	やや良	橙褐色	やや粗 砂粒	内外面：指頭調整	
10	Pit188	須恵器	1/8	口径(11.8) 器高：3.9 底径(8.2)	良好	灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
11	Pit620	須恵器坏	1/2	口径(11.8) 器高：4.0 底径(8.0)	やや良	灰色	密 黒色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
12	Pit141・143・144	須恵器坏	破片	器高(3.3) 底径(7.8)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り・貼付高台 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	
13	Pit239	須恵器皿	底部	器高(2.2) 底径(12.0)	良	灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り・貼付高台 内面：ナデ	
14	Pit148	須恵器皿	底部	器高(2.5) 底径(14.0)	良	灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り→ナデ・貼付高台 内面：ナデ	
15	Pit260	土師器坏	破片	—	良	橙褐色	密	外面面：ヘラケズリ 内底面：ナデ	内外面赤彩 外底面顔料
16	Pit394	土錘	完形	長5：4.9 幅：1.2 厚3：1.2	良	橙褐色	密		重量：7.4g
17	Pit251	土錘	完形	長3：4.6 幅：1.6 厚3：1.4	良	明灰白色	密		重量：9.0g
18	Pit788	土錘	完形	長3：8.8 幅：4.6 厚3：4.3	良	灰褐色	密 石英・砂粒		重量：132.9g

第147表　4区ピット出土土器観察表（第303図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	Pit84	須恵器 杯	口1/2 完形	口径(14.2) 器高：5.6 底径：7.0	良好	灰褐色	密 雲母・白色粒・赤色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ，底部回転糸切り 内面：口縁部～体部横ナデ，底部ナデ	

第148表　5区ピット出土土器観察表（第304図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	Pit93	土師器 甕	破片	口径(17.5) 器高：6.4)	良	灰褐色～灰褐色	密 石英	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ，胴部横ヘラケズリ	
2	Pit187	土師器 甕	胴部破片	器高：(5.6)	良	黒茶色～灰褐色	密 石英・白色粒	外面：胴部1段叩締による羽状文，体部縦ハケメ 内面：横ヘラケズリ→ナデ	外面炭化物・煤付着
3	Pit101	十師器 甕	破片	口径(23.2) 器高：1.9)	良	黒茶色～灰褐色	密 石英・白色粒	内外面：横ナデ	外面炭化物付着
4	Pit71	十師器 椀	1/3	口径(8.2) 器高：4.1	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：つまみ部ヘラ切ナデ，口縁部ナデ 内面：つまみ部ヘラケズリ，口縁部ナデ，天井部ヘラケズリ→ナデ	黒斑
5	Pit101	赤焼土師	破片	口径(14.2) 器高：5.2)	やや良	灰褐色	石英・雲母	内外面：回転調整→ナデ	

第149表　5区ピット出土金属製品観察表（第304図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	種類	部位 残存率	材質	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	錆層度	メタル度	ランク	重量 (g)	備考
6	Pit229	鉄鏃	4/5以上完形	鉄	全長(149) 刃部(46) 茎部(103)	刃部(27) 茎部：2	刃部：3 茎部：3	4	銹化（△）	5	42.0	刃部欠損
7	Pit290	刀子	茎部	鉄	33	7	4	4	銹化（△）	2	1.6	
8	Pit18	鉄鏃？	—	鉄	全長(30) 刃部(26) 茎部(4)	刃部(9) 茎部(4)	刃部：4 茎部：3	4	銹化（△）	3	1.7	

第150表　1区畠跡出土磁器・土製品観察表（第308図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	釉	調整・文様	備考
1	畠1	青磁 碗	破片	口径(13.5) 器高(4.2)	良好	灰白色	密	灰オリーブ色	外面：細かい蓮弁文 内面：沈線・片彫花文・輪花による直線文	龍泉窯系椀Ⅰ-1b類
2	畠1	白磁 碗	破片	口径(13.5) 器高：2.5)	良好	灰白色	密	灰白色	外面：貫入 内面：貫入	白磁椀Ⅴ-3a類
3	畠1 1層	白磁 皿	破片	口径(17.4) 器高(3.5)	良好	灰白色	密	灰白色	外面：— 内面：—	白磁皿Ⅴ-4a類
4	畠1	白磁 椀	底部破片	器高(1.7) 底径：5.0)	良好	灰白色	密	灰白色	外面：露胎，削り出し高台 内面：貫入	白磁椀Ⅴ類
5	畠3 2層以下	土錘	完形	長さ：4.6 幅：1.6 厚さ：1.5	良	灰褐色	密	—		重量：9.0g
6	畠2	土錘	完形	長さ：4.2 幅：1.5 厚さ：1.5	良	褐色	密	—		重量：9.3g
7	畠3	土錘	1/2以上完形	長さ(4.9) 幅：1.4 厚さ：1.3	良	灰褐色	密	—		重量：6.8g
8	畠1 1層	土錘	1/2以上完形	長さ(4.5) 幅：1.5 厚さ：1.5	良	灰褐色	密	—		重量：7.8g
9	畠2	土錘	1/2以上完形	長さ：4.2 幅：1.4 厚さ：1.3	良	褐色	密	—		重量：6.9g
10	畠1	土錘	完形	長さ：4.3 幅：1.1 厚さ：1.0	良	褐色	密	—		重量：3.3g
11	畠3	土錘	1/2	長さ(2.8) 幅：1.4 厚さ：1.3	良	灰褐色	密	—		重量：4.9g
12	畠3	土錘	2/3	長さ(3.0) 幅：1.2 厚さ：1.2	良	灰茶色	密	—		重量：3.4g

第151表　1区畠跡出土金属製品観察表（第308図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	種類	部位 残存率	材質	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	その他特徴事項			重量 (g)	備考
13	畠1	鏡？	1/2	銅	全長(90) 刃部(80) 茎部(10)	刃部：11 茎部：7	刃部：10 茎部：6	錆層度 5	メタル度 銹化（△）	ランク 4	17.1	
14	畠3 W-5	古銭	完形	銅	外径：24.0	穿径：6.0	銭厚：0.8				2.3	開元通寶 960年初鋳
15	畠3 W-5	古銭	完形	銅	外径：23.0	穿径：6.0	銭厚：0.5				1.2	祥符元寶 1009年初鋳
16	畠3 W-5	古銭	完形	銅	外径：23.0	穿径：6.0	銭厚：0.5				2.2	元祐通寶 1086年初鋳
17	畠3 W-5	古銭	完形	銅	外径：25.5	穿径：6.5	銭厚：0.9				2.0	政和通寶 1111年初鋳

18	第3 W-5	大石子	ほぼ完形	鉢	口径:(27) 底径:(10.2) 高台:(1.2) 高:(6.8)	良好	灰白色	密	白色	外面:体部下半～底部露胎、削り出し高台 内面:見込段	内面:鉄釉痕跡 白磁胴下類	2103	耕耕六1層

第152表　2区Bm跡出土磁器・土器観察表（第312図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	胎土 特徴等	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	釉	調整・文様	備考
1	第3 F-2	谷底 層	破片	口径:(21) 底径:(6.8)	良好	灰白色	密	白色	外面:体部下半～底部露胎、削り出し高台 内面:見込段	内面:鉄釉痕跡 白磁胴下類
2	第3 F-4	谷底 層	破片	器高:(3.0)	良好	灰色	密	灰オリーブ色	外面:一 内面:刷毛目	同安窯系碗I類
3	第3 G-2	谷底 層	破片	器高:(2.4)	良好	灰色	密	灰オリーブ色	外面:体部下半露胎 内面:櫛状刷毛文	同安窯系碗I類
4	第4 C-2	土師質 上層 遺構	ほぼ 完形	口径:8.0 器高:1.7 底径:4.3	良	灰褐色	密母-石英-白色粒	-	外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り～板状圧痕 内面:口縁部～体部横撫回転ナデ、底部ナデ	

第153表　2区SX01出土石器観察表（第314図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	種類	遺存状態	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	石材	備考
1	掘削下層	白石	ほぼ完形	(130)	96	72	1879.9	珪岩	

第154表　3区Bm跡出土陶磁器・土器観察表（第317図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	胎土 特徴等	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	釉	調整・文様	備考
1	第7 A-1	青磁 碗	破片	口径:(19.1) 器高:4.2	良好	灰色	密	オリーブ色	外面:蓮弁文、貫入 内面:貫入	龍泉窯系碗I-a類
2	第6 C-1	青磁 碗	破片	口径:(17.6) 器高:(2.8)	良好	灰白色	密	灰オリーブ色	外面:一 内面:刻花文	龍泉窯系碗I-2類
3	第7 A-2	青磁 皿	破片	器高:(2.3)	良好	灰白色	密	灰オリーブ色	外面:蓮華弁文、貫入 内面:貫入	龍泉窯系碗II-b類
4	第7 B-1	青磁 碗	破片	器高:(2.7)	良好	灰白色	密	灰オリーブ色	外面:鎬蓮弁文 内面:一	龍泉窯系碗II-b類
5	第6 E-1	白磁 碗	破片	器高:(3.2)	良好	灰白色	密	灰白色	外面:体部下半露胎 内面:櫛目文、見込段	白磁碗V類
6	第7 C-2	白磁 碗	破片	器高:(2.5)	良好	灰白色	密	灰白色	外面:体部下半露胎、削り出し高台 内面:刻花文、見込段	白磁碗V類
7	第7 B-2	白磁 碗	破片	口径:(15.7) 器高:(3.5)	良好	灰白色	密	浅黄色	内外面:貫入	白磁碗V-3a類
8	第7 A-1	白磁 碗	破片	口径:(15.7) 器高:(2.8)	良好	黄灰白色	密	浅黄色	内外面:貫入	白磁碗II-3・4類
9	第7 B-2	白磁 皿	破片	器高:(5.4)	良好	黄白色	密	灰白色	外面:体部下半露胎、削り出し高台、貫入 内面:見込波紋、貫入	白磁碗IV類
10	第7 A-1	白磁 碗	破片	口径:(15.9) 器高:(2.7)	良好	灰白色	密	灰白色	内外面:一部貫入	白磁碗IV類
11	第7 A-2	白磁 碗	破片	口径:(17.0) 器高:(2.6)	良好	黄灰白色	密	灰白色	内外面:貫入	白磁碗IV類
12	第6 C-2	白磁 皿	破片	口径:(16.0) 器高:(3.1)	良好	灰白色	密	灰白色	内外面:貫入	白磁碗IV類
13	第7 A-2	白磁 碗	底部 破片	器高:(2.8) 底径:(7.4)	良好	白色	密	灰白色	外面:高台内部拭、削り出し高台、貫入 内面:一	白磁碗IV類
14	第6 C-1	白磁 皿	底部 破片	器高:(2.9) 底径:(6.3)	良好	白色	密	灰白色	外面:高台内部拭、削り出し高台、貫入 内面:貫入	白磁碗V類
15	第6 C-2	白磁 皿	底部 破片	器高:(1.8) 底径:(7.6)	良好	白色	密	灰白色	外面:底面一部露胎 内面:一	白磁型皿-1類
16	第7 A-1	白磁 碗	底部 破片	器高:(2.0) 高台:(7.6)	良好	灰白色	密	灰白色	外面:底面一部露胎 内面:一	白磁皿IX 1類
17	第7 A-2	陶器 壺	破片	口径:(9.6) 器高:(3.3)	良好	灰褐色	密	灰オリーブ色	外面:胴部に沈線3条 内面:一	白磁内部陶付系 中区類
18	第7 B-2	陶器 丸皿	1/8	口径:(10.5) 器高:2.5 底径:(4.0)	良好	灰白色	密	浅黄色	外面:高台部露胎、削り出し高台、貫入 内面:貫入	鄭州-朱仙鎮 大窯2類
19	第6 E-2	土師質 土器 小皿	1/2	口径:(8.6) 器高:1.9 底径:(5.6)	良	橙褐色	密 石英-白色粒-赤色粒	—	外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面:口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
20	第7 C-1	土師質 土器 小皿	1/2	口径:(8.8) 器高:1.6 底径:(5.4)	良	橙褐色	密 赤粒	—	外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面:口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
21	第7 A-2	土師質 土器 小皿	1/8	口径:(8.6) 器高:2.1 底径:(4.8)	良	橙色	密 赤粒	—	外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面:回転ナデ	
22	第7 A-2	土師質 土器 小皿	完形	口径:8.8 器高:2.0 底径:5.3	良	橙色	密	—	外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面:口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
23	第6 C-1	土師質 土器 小皿	5/8	口径:(8.2) 器高:1.3 底径:(4.7)	良	橙色	密	—	外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面:口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
24	第6 E-2	土師質 土器 小皿	1/2	口径:(8.6) 器高:1.5 底径:(5.6)	良	橙褐色	密	—	外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面:口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
25	第6 E-2	土師質 土器 小皿	1/3	口径:(8.6) 器高:1.3 底径:(5.6)	良	橙褐色	密	—	外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面:口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
26	第6 C-2	土師質 土器 小皿	1/2	口径:8.6 器高:2.2 底径:(4.8)	良	橙褐色	密	—	外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面:口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	

27	墓6 C-1	土師質 土器 小皿	1/4	口径(9.4) 器高:1.2 底径(6.4)	良	橙褐色	密 雲母・黒色粒・白色粒	—	外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面:口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ				
28	墓6 D-1	土師質 土器 小皿	1/6	口径(9.0) 器高:1.7 底径(6.4)	良	褐色	密 雲母・白色粒	—	外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面:回転ナデ				
29	墓7 B-1	土師質 土器 小皿	3/8	口径(8.2) 器高:1.7 底径(5.6)	良	橙褐色	密 黒色粒・赤色粒	—	外面:口縁部～体部回転ナデ、底部静止糸切り 内面:口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ				
30	墓6 E-1	土師質 土器 小皿	1/4	口径(8.8) 器高:1.6 底径(5.6)	良	橙褐色	密 雲母・石英	—	外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面:回転ナデ	赤彩			

第155表　3区墓跡出土金属製品観察表（第317図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	種類	部位 残存率	材質	最大長(cm)	最大巾(cm)	最大厚(cm)	錆着度	メタル度	ランク	重量(g)	備考
31	墓6 C-1	鏡状不明品	—	鉄	直径(26)	6	6	5	銹化(△)	3	4.5	

第156表　4区墓跡出土陶磁器・土器観察表（第322図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	釉	調整・文様	備考
1	墓8・1面 C-4	青磁 椀	破片	器高(3.7)	良好	灰色	Wl	灰オリーブ色	外面:弦都下半露胎、貫入 内面:片彫花文、蓮弁による表現文、貫入	同安窯系陶C-1a類
2	墓8 C-3	青磁 椀	破片	口径(17.9) 器高(2.2)	良好	灰色	密	灰オリーブ色	外面:蓮華弁文、貫入 内面:貫入	龍泉窯系椀E-b類
3	墓8 A-4	青磁 皿	破片	口径(16.0) 器高:4.2	良好	灰色	密	緑灰色	外面:蓮華弁文、貫入 内面:貫入	龍泉窯系皿E-b類
4	墓9 B-3	青磁 椀	破片	器高(3.6)	良好	灰色	Wl	緑灰色	外面:蓮華弁文 内面:—	龍泉窯系椀E-b類
5	墓8 C-1	白磁 椀	破片	口径(17.2) 器高(3.2)	良好	灰白色	密	白色	外面:— 内面:—	白磁椀D類
6	墓8 B-2・3	白磁 椀	破片	口径(15.4) 器高(4.6)	良好	淡黄色	密	淡黄色	内外面:貫入	越州窯 白磁椀D類
7	墓8 B-1	白磁 椀	破片	口径(15.4) 器高(5.1)	良好	灰白色	Wl	灰白色	外面:弦都下半露胎、貫入 内面:貫入	白磁椀D類
8	墓9 A-4	白磁 皿	破片	口径(15.3) 器高(2.0)	良好	灰白色	密	灰白色	外面:— 内面:—	白磁椀V-4類
9	墓8 B-2	白磁 椀	破片	口径(16.0) 器高(4.5)	良好	灰白色	密	淡黄色	外面:体部下半露胎、貫入 内面:貫入	白磁椀V-3a類
10	墓8 C-1	白磁 椀	破片	器高(3.7) 底径(5.8)	良好	灰白色	密	灰白色	外面:体部下半～底部露胎、削り出し高台、貫入 内面:絵の目描割、貫入	白磁椀IV類
11	墓8・1面 A-1	陶器 台子	破片	口径(3.2) 器高(2.6) 脚径(5.4)	良好	灰黄色	密	灰オリーブ色	外面:貫入 内面:体部下半露胎、貫入	古瀬戸前Ⅱ期
12	墓8・0面 H-3・C-1	瓦質土器 火鉢	破片	口径(46.2) 器高(6.1) 脚径(48.6)	良	黒灰色	密	—	外面:回転ナデ、Wl都毎花文スタンプ4個以上 内面:回転ナデ	内外面黒漆ナ
13	墓9 A-2	瓦質土器 火鉢	底部 破片	器高(3.3) 底径(30.0)	やや良	淡灰色～黒灰色	粗	—	外面:回転ナデ、底部砂付着 内面:回転ナデ	
14	墓8 B-1	瓦質土器 擂鉢	破片	口径(34.8) 器高(3.4)	良	灰色	密 砂粒	—	外面:回転ナデ 内面:口縁部回転ナデ、体部5条単位の櫛目	
15	墓9 A-4	瓦質土器 擂鉢	破片	口径(22.9) 器高(4.5)	良	明灰白色	密	—	外面:回転ナデ 内面:口縁部回転ナデ、体部5条単位の櫛目	
16	墓9 A-3	瓦質土器 擂鉢	破片	口径(23.0) 器高(4.1)	良	淡灰色～黒灰色	密	—	外面:回転ナデ 内面:口縁部回転ナデ、体部5条単位の櫛目	
17	墓8 A-2・D-1・2	瓦質土器 擂鉢	破片	口径(34.0) 器高(4.3)	良	暗灰白色	密	—	外面:回転ナデ 内面:口縁部回転ナデ、体部8条単位の櫛目	
18	墓8 B-2	土師質 土器 耳皿	2/3	口径:8.3 器高:3.4 底径:4.5	良	黄灰白色	密 砂粒	—	外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面:回転ナデ	内底面煤？付着
19	墓9 A-2	土師質 土器 小皿	2/3	口径:8.1 器高:1.7 底径:5.0	良	灰褐色	密 石英・砂粒	—	外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面:口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
20	墓9 A-2	土師質 土器 小皿	2/3	口径:7.6 器高:1.3 底径:4.1	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	—	外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面:口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
21	墓9 A-2	土師質 土器 小皿	2/3	口径:8.1 器高:1.5 底径:4.4	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	—	外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面:口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
22	墓9 A-2	土師質 土器 小皿	1/4ほど 完形	口径:7.8 器高:1.6 底径:5.0	良	灰褐色	密 石英・白色粒	—	外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面:回転ナデ	
23	墓9 A-2	土師質 土器 小皿	完形	口径:7.5 器高:1.4 底径:4.6	良	黄灰白色	密 雲母・砂粒	—	外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り～板状圧痕 内面:口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
24	墓9 A-1	土師質 土器 小皿	2/3	口径(7.1) 器高:1.5 底径:4.3	良	灰褐色	Wl 雲母・石英・砂粒	—	外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面:回転ナデ	
25	墓9 A-2	土師質 土器 小皿	完形	口径:7.5 器高:1.6 底径:4.9	良	灰褐色	密 石英・白色粒	—	外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面:口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
26	墓9 A-2	土師質 土器 小皿	2/3	口径(7.7) 器高:1.7 底径:5.2	やや良	灰褐色	Wl 雲母・石英・白色粒	—	外面:口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面:口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	

27	品9 A-2	上部貫 十器 小黒	1/2	口径(7.2) 器高:1.1 底径(5.3)	良	灰褐色	密 砂粒	—	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底ハケナデ	
28	品9・2面 A-2	上部貫 十器 小黒	口縁部 完形	口径:7.7 器高:1.4 底径:3.0	良	黄灰白色	密 雲母・石英・白色粒	—	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：回転ナデ	
29	品9 A-2	上部貫 十器 小黒	口縁部 完形	口径:7.7 器高:1.5 底径:4.5	良	橙褐色～黄灰白色	密 砂粒	—	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：回転ナデ	

第157表　4区鳥跡出土金属製品観察表（第322図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	器位残存率	材質	外径(mm)	厚径(mm)	幅厚(mm)	その他計測値(mm)	重量(g)	備考
30	品9 B-3	古銭	完形	銅	23	7	1		1.9	熙寧元寶 北宋1068年初鋳
31	品9 B-3	古銭	完形	銅	23	6	1		2.7	元豊通寶 北宋1078年初鋳
32	品9 B-3	古銭	完形	銅	24	6	1		2.4	紹聖元寶 北宋1094年初鋳 模鋳銭？

第158表　5区鳥跡出土陶磁器・土器観察表（第327図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	器位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	釉	装飾・文様	備考
1	品8・2面 D-4	古代須恵器	完形	口径：41 器高：13	良好	灰白色	密	明緑灰色	外面：過ガス状態焼し、口縁端部踏ん張り、貫入 内面：口縁部～体部踏ん張り、貫入	
2	品8・2面 C-4	白磁 皿	破片	口径(9.2) 底高(2.4)	良好	灰白色	密	灰白色	外面：貫入 内面：口縁部釉掻き取り(口元)	白磁第II区類
3	品1・2面 B-3	青磁 碗	破片	器高(3.2)	良好	灰白色	密	灰オリーブ色	外面：貫入 内面：劃花文、貫入	同底面無釉型青磁皿底糸底1-2類
4	品8・1面 C-3	青磁 碗	底部 1/2	器高(1.6) 底径(4.3)	良好	灰色	密	灰オリーブ色	外面：雑方文？、高台内露胎、削り出し高台 内面：一	龍泉窯系碗II類
5	粗10 構成砂土層	白磁 皿	底部破片	器高(0.9) 底径(2.6)	良好	灰白色	密	灰白色	外面：体部下半～底部露胎、貫入 内面：貫入	白磁使用痕 白磁皿V類
6	品8・1面 D-2	白磁 皿	底部破片	器高(1.6) 底径(4.0)	良好	灰白色	密	灰白色	外面：体部下半～底部露胎、貫入 内面：貫入	白磁皿V類
7	品8・2面 C-3	白磁 坏	破片	口径(16.0) 器高(2.4)	良好	灰白色	密	灰白色	内外面：貫入	白磁碗II類
8	品1・1面 A-4	白磁 碗	破片	口径(16.3) 器高(2.2)	良好	灰白色	密	灰白色	内外面：一	白磁碗II類 白磁碗II類
9	品1・1面 B-4	白磁 碗	破片	口径(15.6) 器高(2.7)	良好	灰白色	密	浅黄色	内外面：貫入	白磁碗II類
10	品8・2面 D-4	白磁 碗	破片	口径(17.0) 器高(2.4)	良好	灰白色	密	灰白色	内外面：貫入	白磁碗II類
11	品11・1面	陶器 壺体	破片	口径(31.1) 器高(4.1)	良好	黄灰白色	密	暗褐色	外面：櫛物 内面：鉢輪、6条単位の器目	瀬戸大窯1後期
12	品8・1面 C-3	瓦質十器 鍋	底部破片	器高(1.5) 底径(5.6)	良	灰色～灰褐色	密	—	外面：回転ナデ、貼付高台 内面：回転ナデ	
13	粗10 構成砂土層	瓦質土器 鍋	底部破片	器高(3.8) 底径(9.2)	良	暗灰色～灰褐色	密	—	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	内外面底部一部煤付着
14	品8・2面 B-3	瓦質土器 鍋	底部破片	器高(1.9) 底径(12.7)	良	暗灰色	密	—	外面：体部回転ナデ、貼付高台 内面：回転ナデ	
15	品11・1面	瓦質土器 鍋体	破片	口径(19.8) 器高(4.8)	良	灰褐色～暗灰色	密	—	外面：回転ナデ 内面：口縁部間伐工具による沈線、体部5条単位の櫛目	
16	粗10 構成砂1層	瓦質十器 鍋	底部破片	器高(2.6) 底径(12.0)	やや良	暗灰白色	密	—	外面：体部指頭調整ナデ、高台ナデ 内面：体部5条単位の櫛目、底部ナデ	
17	粗10 構成砂 最下層	上部貫 十器 小黒	1/2	口径:30.6 器高(14.2) 胴径:26.6	良	灰褐色	密	—	外面：縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部以下横ハケメ	外周炭化物・煤付着 内面底部炭化物付着
18	品1・2面 A-4	上部貫 十器 小黒	完形	口径：7.7 器高：1.9 底径：4.8	良	灰褐色	密 小石粒	—	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	外面底部墨上段付着
19	品1・1面 A-4	上部貫 十器 小黒	完形	口径：8.1 器高：1.9 底径：5.3	良	灰褐色	密 石英・白色粒	—	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転ハケナデ	
20	品1・2面 A-4	上部貫 十器 小黒	完形	口径：7.7 器高：1.6 底径：5.0	良	灰褐色	密 白色粒	—	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
21	品11・2面 A-1	上部貫 十器 小黒	完形	口径：8.0 器高：1.8 底径：4.1	良	灰褐色	密	—	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	内面一部煤付着
22	品8・2面 D-3	上部貫 十器 小黒	破片	口径(7.3) 器高：1.1 底径(6.0)	良	褐灰色	密	—	外面：口縁部～体部ナデ、底部指頭押圧→ナデ 内面：口縁部～体部ナデ、底部指頭押圧	手捏ね皿

第159表　5区鳥跡出土金属製品観察表（第327図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	器位残存率	材質	最大長(mm)	最大厚(mm)	最大厚(mm)	相対度	メタル度	ランク	重量(g)	備考
23	粗10 構成砂下層	鞍又鏃	114/完形	鉄	全長(31) 刃部:29 茎部:(2)	刃部:40 茎部:5	刃部:3 茎部:3	5	錆化(A)	4	68	

24	縄10	縄文時代	貝	完形	鉄	76	6	6	5	鉄化(Ca)	4	98	

第160表　1区SK01出土陶磁器・土器観察表（第335図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	縄砂層下層	鉢器 染付碗	底部	器高(1.5) 底径(3.4)	良好	白色	密	外面：高台内 重圏線内「大明年製」銘れ、高台部露付露胎、削り出し高台 内面：一	肥前 18c後半
2	縄砂層下層	鉢器 染付皿	底部	器高(2.5)	良好	白色	密	外面：畳草文？、削り出し高台 内面：重圏不明	肥前　柴野5型 18c後半
3	縄砂層下層	鉢器 染付皿	1/2	口径(10.5) 器高 3.2 底径(5.9)	良好	黄灰白色	密	外面：青華文、高台内：重圏線内「大明年製」銘れ、高台部露付露胎・砂付着、貫入、削り出し高台 内面：青花文、貫入	肥前 18c代～幕末
4	縄砂層下層	陶器 碗	破片	口径(9.8) 器高(3.8)	良好	黄灰白色	密	外面：貫入 内面：貫入	肥前　京焼風 18c
5	縄砂下層	土師質 土鍋 小皿	1/4	口径(10.3) 器高 1.9 底径(6.4)	やや良	灰褐色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	

第161表　1区SK02出土陶磁器・土製品観察表（第337図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	縄砂下層	鉢器 瀬戸徳利	破片	胴高(3.2)	良好	灰色	密	外面：口縁文 内面：胴部露胎	肥前 18c代
2	縄砂下層	鉢器 染付碗	破片	器高(3.1) 底径(4.1)	良好	灰白色	密	外面：碗底文、高台部露付露胎・砂付着、貫入、削り出し高台 内面：貫入	肥前 18c代
3	縄砂下層	鉢器 染付皿	破片	器高(2.1) 底径(4.0)	良好	白色	密	外面：高台内露胎、削り出し高台 内面：蛇の目釉剥・砂付着	肥前 18c後半
4	縄砂下層	鉢器 染付皿	破片	器高(2.0) 底径(4.0)	良好	灰白色	密	外面：底部～底部露胎、削り出し高台 内面：蛇の目釉剥・砂付着	肥前 18c後半
5	縄砂下層	鉢器 染付皿	破片	器高(2.3) 底径(4.70)	良好	黄灰白色	密	外面：切形文、圏線、高台部露付露胎・砂付着、削り出し高台 内面：圏線区画内雷紋文	肥前
6	縄砂下層	鉢器 染付猪口	破片	口径(5.50) 器高(3.11)	良好	白色	密	外面：菊唐草 内面：四方雅文	伊万里 18c前半
7	縄砂下層	鉢器 染付菊皿	破片	口径(7.2) 器高(1.6) 底径(4.8)	良好	白色	密	外面：風景文、高台部露付露胎、削り出し高台 内面：一	在地産 19c前半幕末
8	縄砂下層	鉢器 染付皿	破片	—	良好	灰白色	密	外面：意匠不明、体部露胎、貫入 内面：露胎	
9	縄砂下層	鉢器 染付仏飯器	1/3	器高(3.0) 底径：3.4	良好	灰白色	密	外面：圏線、高台部露付露胎、削り出し高台	肥前
10	縄砂下層	陶器 碗	破片	器高(3.8) 底径(4.2)	良好	灰色	密	外面：鉄釉、高台内無釉胎、高台部露付露胎、削り出し高台 内面：鉄釉、体部下半露胎	在地産 18c後半以降
11	縄砂下層	陶器 鍋	破片	器高(4.0) 底径(4.3)	良好	茶色	密	外面：灰白色釉、意匠不明、高台部露付露胎、削り出し高台 内面：暗灰色釉、貫入	陶胎染付 肥前　18c
12	縄砂下層	陶器 大皿	破片	器高(4.6) 底径(10.6)	良好	暗赤灰色	密	外面：鉄釉、高台全付露胎、削り出し高台 内面：鉄化粧掛	肥前 17c後半
13	縄砂下層	陶器 碗	破片	器高(6.8) 胴径(10.8)	良好	暗赤灰色	密	外面：鉄釉、口縁端部施釉 内面：口縁部鉄釉、胴部鉄釉、体部鉄釉	在地産 18c後半以降
14	縄砂下層	陶器 石明皿 受皿	破片	口径(11.9) 器高(1.4)	良好	茶色	密	外面：鉄釉 内面：鉄釉、口縁部～胴部鉄	内外面一部腰付近 在地産 18c後半以降
15	縄砂下層	陶器 石明皿 受皿	1/3	器高(2.0) 底径：3.3	良好	暗赤灰色	密	外面：鉄釉 内面：鉄釉	内外面鉄付着 在地産
16	縄砂下層	陶器 鍋蓋	破片	器高(5.1) 底径(9.60)	良好	灰褐色	密	外面：鉄釉、体部下半～底部露胎、削り出し高台 内面：鉄釉、接合	在地産 明治？
17	縄砂下層	陶器 鍋蓋	破片	器高(4.5) 底径(12.6)	良好	灰褐色	密	外面：鉄釉、高台全付露胎、削り出し高台 内面：鉄釉、8桑華紋の環目	在地産 18c後半以降
18	縄砂下層	土錘	完形	長さ：4.5 幅：1.6 厚さ：1.6	良	褐色	密 白色粒		重量：10.5g

第162表　1区SK02出土石製品観察表（第337図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	機種	遺存状態	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	石材	備考
19	縄砂下層	勾玉	3/5	(19)	(9)	(4)	0.7	硬玉	

第163表　1区SK03出土陶磁器・土器観察表（第339図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	縄砂下層	鉢器 染付碗	破片	口径(11.6) 器高(5.0)	良好	白色	密	外面：草花文、貫入 内面：四方雅、貫入	肥前 18c後半～19c
2	縄砂下層	鉢器 染付小皿	破片	口径：8.2 器高(3.6)	良好	灰白色	密	外面：雨降り文 内面：一	肥前 18c前半
3	縄砂下層	鉢器 染付小皿	破片	口径(9.8) 器高：2.7 底径：5.2	良好	白色	密	外面：雪輪、高台部露付露胎・砂付着、削り出し高台 内面：青華文、見込：重圏線	肥前 18c後半
4	縄砂下層	鉢器 碗	破片	器高(1.5)	良好	白色	密	外面：青磁 内面：青磁	肥前？

5	埋蔵下層	陶器 小皿	破片	口径(12.9) 器高(2.4)	良好	暗赤灰色	密	外面：鉄釉、体部下半露胎 内面：鉄釉、一部露胎		肥前？ 18c代？
6	埋蔵下層	陶器 小皿	1/2	口径(8.8) 器高：1.4 底径(3.8)	良好	灰褐色	密	外面：口縁部鉄釉、体部～底部露胎 内面：鉄釉		在地産
7	埋蔵下層	陶器 大皿	破片	器高(4.1) 高台径(10.6)	良好	灰褐色	密	外面：体部下半～底部露胎、削り出し高台 内面：二彩ガラス、鉄釉、貫入		肥前系 17c後半
8	埋蔵下層	土師質 土器 小皿	口縁完形	口径(7.2) 器高：1.6 底径：3.9	良	灰褐色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り→ナデ 内面：回転ナデ		L1層部様付着
9	埋蔵下層	土器 鉢底	破片	L1径(34.0) 器高：5.0	良	橙黄色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部横ヘラケズリ 内面：回転ナデ		外面煤付着

第164表　1区SK03出土金属製品観察表（第339図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	部位残存率	材質	外径(mm)	穿径(mm)	厚(mm)	その他計測値(mm)	重量(g)	備考
10	埋蔵下層	銭	完形	銅	123	2	2		4.3	二段足 基部耳接き

第165表　2区SK02出土陶磁器観察表（第343図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋蔵中	磁器 染付碗	底部	器高(3.0) 底径(4.2)	良好	灰白色	密	外面：唐草、高台内角線、高台部素付露胎、削り出し高台 内面：見込二本圏線内コンニャク印四方寄有	肥前 18c後半
2	埋蔵中	磁器 染付小碗	破片	口径(8.2) 器高：5.2 底径(3.8)	良好	白色	密	外面：菊花に蝶文、高台部素付露胎、削り出し高台 内面：見込：重圏線	肥前 幕末
3	埋蔵中	磁器 染付菊皿模口	縁片	口径(7.7) 器高(3.7)	良好	白色	密	外面：風景文・蝶蝶 内面：四方襷	肥前 幕末
4	埋蔵上層	磁器 染付皿	破片	器高(1.8) 高台径(6.4)	良好	白色	密	外面：高台部素付露胎、削り出し高台 内面：蛇目文	17c後半
5	埋蔵中	磁器 染付皿	高部	器高(2.3) 底径(4.3)	良好	灰白色	密	外面：体部下半～高台部素付～内部露胎、削り出し高台 内面：見込～重圏線、蛇の目釉剥	砂目積み 肥前 18c前半
6	埋蔵中	陶器 皿	底部	器高(2.3) 底径(4.1)	良好	黄色	密	外面：体部下半～底部露胎、削り出し高台、貫入 内面：鉄絵、蛇の目釉剥、貫入	砂目積み 唐津 17c後半

第166表　2区SK04出土陶磁器観察表（第346図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋蔵中	磁器 染付皿	底部	器高(2.0) 高台径(7.6)	良好	灰白色	密	外面：高台部素付露胎・砂付着、削り出し高台 内面：見込～重圏線内唐草文？	砂目積み 肥前 17c中ば
2	埋蔵中	陶器 皿	底部	器高(2.1) 高台径(3.2)	良好	淡灰褐色	密	外面：体部下半～高台部～内面底部、削り出し高台、貫入 内面：貫入	砂目積み 唐津 17c中ば
3	埋蔵中	陶器 大皿	破片	器高(3.6)	良好	淡灰褐色	密	外面：貫入 内面：貫入	砂目積み 唐津 17c代

第167表　2区SK04出土木製品観察表（第346図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	木取り	特徴	備考
4	埋蔵中	漆器 椀	縁片	口径(11.3) 器高(4.2)		外面：黒漆、梅花文(銀) 内面：朱漆	

第168表　2区SK08出土陶磁器観察表（第351図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋蔵中	青磁 碗	底部	器高(2.5) 底径(5.5)	良好	白色	密	外面：高台部素付露胎、削り出し高台 内面：一	砂目積み 肥前 幕末？
2	埋蔵中	陶器 鉢小鉢	破片	器高(4.1) 底径(4.2)	良好	褐色	密	外面：黒内色釉、体部下半～高台部内側露胎、削り出し高台 内面：灰白色釉	肥前 17c中ば頃
3	埋蔵中	陶器 擂鉢	縁片	器高(4.3) 高台径(12.0)	良好	赤褐色	密	外面：体部下半～高台部回転糸切り 内面：6条単位の櫛目	肥前系 17c

第169表　3区SK01出土陶磁器観察表（第353図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋蔵上層	磁器 染付碗	1/3	L1径(8.4) 器高：5.3 側径(8.8) 高台径(3.5)	良好	白色	密	外面：平菊花文、高台部露胎、削り出し高台、貫入 内面：見込～重圏線、貫入	肥前 18c前
2	埋蔵下層	磁器 碗底	破片	L1径(28.8) 器高(6.0)	良好	灰褐色	密	外面：鉄釉 内面：鉄釉、重ね	在地産 18c後半以降

第170表　3区SK02出土陶磁器・土器・土製品観察表（第355図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	器位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋砂最上層	陶器 染付皿	3/4	口径:21.6 器高:4.9 底径:12.8	良好	白色	密	外面：底部文、高台部露胎、削り出し高台、貫入 内面：見込松竹梅文、貫入	絵付白磁 ガラス焼継 伊万里 18c後～19c幕末
2	埋砂最上層	磁器 染付皿	破片 楽形	口径:13.8 器高:2.7 底径:8.6	良好	白色	密	外面：唐草文、高台部露胎、削り出し高台 内面：花文、見込五弁花	ガラス焼継 高台内(イマリヤ) 伊万里、19c幕末
3	埋砂最上層	磁器 染付鉢	完形	口径:14.4 器高:9.6 底径:4.8	良好	白色	密	外面：唐草文、高台部～底部不手露胎、蛇の目高台、貫入 内面：見込松竹梅文、貫入	伊万里 19c幕末
4	埋砂最上層	陶器 染付皿	底部 破片	器高:(4.5) 底径:(4.9)	良好	白色	密	外面：平底文、高台部露胎、削り出し高台 内面：見込～蛇目文	肥前 19c前
5	埋砂中	陶器 染付小杯	底部 破片	器高:(2.4) 底径:2.7	良好	白色	密	外面：高台部露胎、削り出し高台 内面：蛇目文	肥前 18c後～19c
6	埋砂中	青磁 皿	底部 破片	器高:1.3 底径:(4.9)	良好	灰緑色	密	外面：高台内～部露胎、削り出し高台、貫入 内面：貫入	16c中頃
7	埋砂最上層	陶器 鉢	口縁 完形	口径:8.7 器高:5.2 底径:3.0	良好	黄灰白色	密	外面：灰白色釉、高台～高台内部露胎、貫入 内面：灰白色釉、貫入	外面高台内墨書「元」 高台張り出ト付着 京焼風 18c後半以降
8	埋砂最上層	陶器 碗	破片	口径:(9.7) 器高:7.8 胴径:(10.4) 底径:(4.4)	良好	灰色	密	外面：胴灰白色釉、体部下端～底部露胎、削り出し高台 内面：胴灰白色釉	小瀬系・唐津系陶器 18c後～19c
9	埋砂最上層	陶器 碗	底部 破片	器高:1.9 底径:(4.4)	良好	淡緑色	密	外面：露胎 内面：緑灰色釉	肥土目跡痕 19c間
10	埋砂中	陶器 碗	底部 破片	器高:(1.4) 底径:(4.4)	良好	灰褐色	密	外面：高台部露胎、削り出し高台、貫入 内面：貫入	外面高台部沙器 砂目痕
11	埋砂最上層	陶器 皿入	体部～底部	器高:(10.5) 底径:(6.3)	良好	灰色	密	外面：鉄釉、端部鉄釉	18c後～19c
12	埋砂最上層	陶器 片口鉢	口縁 完形	口径:17.4 器高:9.5 底径:6.8	良好	灰褐色	密	外面：鉄釉、一部露胎、削り出し高台 内面：鉄釉、一部露胎、見込み に3箇のトチン痕	肥前系 18c後半以降
13	埋砂最上層	陶器 建水蓋	1/4	口径:(25.6) 器高:2.6 底径:(4.1)	良好	褐色～灰褐色	密	外面：草花文釉付、鉄泥、底部中央穿孔	焼締陶器 丹後焼 19c中頃
14	埋砂上層	土器 灯明皿受皿	土器 完形	口径:6.6 器高:4.3 底径:4.1	良	黒色	密	底部中央刺突痕	
15	埋砂最上層	土器 油受皿	完形	口径:8.2 器高:1.5 底径:3.8	良	黒色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部静止糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	内外面煤付着
16	埋砂最上層	土器 油受皿	完形	口径:8.2 器高:1.5 底径:4.0	良	黒茶色	密 雲母	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部静止糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	煤付着
17	埋砂最上層	土器 火所金の蓋？	1/3	口径:(13.8) 器高:3.9	良	灰褐色	密	外面：回転ナデ、つまみ部ナデ 内面：口縁部回転ナデ、天井部ナデ	内面煤付着
18	埋砂上層	土器 火消し壺	底部 破片	器高:(7.2) 底径:(20.4)	良	黒茶色	密	外面：体部回転ナデ、体部下半～底部ナデ、脚3足 内面：体部回転ナデ、体部下半～底部横位調整→ナデ	内外面煤付着 18c後半以降
19	埋砂下層	土錘	完形	長さ:6.6 幅：2.1 厚さ:2.0	良	褐色	密 黒母		重量：35.1g
20	埋砂下層	土錘	完形	長さ:6.0 幅：1.8 厚さ:1.8	良	暗灰白色	密 雲母・砂粒		重量：19.2g
21	埋砂下層	土錘	完形	長さ:4.8 幅：1.0 厚さ:1.0	良	黒灰色	密 白砂粒		重量：5.3g

第171表　3区SK02出土石器観察表（第355図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	種類	遺存状態	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	石材	備考
22	埋砂上層	火打石	破損	26	26	22	16.3	玉髄	

第172表　3区SK02出土木製品観察表（第356図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	器位 残存率	広量 (cm)	木取り	特徴	備考
23	埋砂上層	割り下駄	破損 完形	長さ:19.7 幅：7.3 厚さ:3.5	柾目		
24	埋砂上層	漆器 椀	1/2	器高:(3.2) 底径:4.6	—	外面：黒茶褐色漆「丸に瓶」紋（銀）3ヶ所？ 内面：赤茶漆	

第173表　4区SK01出土陶磁器・土器観察表（第359図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	器位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋砂中	陶器 染付皿	破片	口径:(11.8) 器高:3.1 底径:(7.0)	良好	灰白色	密	外面：型唐文、高台内露胎、口縁部鉄釉、高台部釉付着 内面：砂書文、見込二重圏線	肥前 18c後半
2	埋砂中	陶器 碗	底部 破片	器高:(1.8) 底径:(8.1)	良好	灰白色	密	内外面：貫入	志野 17c前半

3	堆積中	十器 塗膜	破片	口径(20.8) 器高(5.4) 胴径(21.2)	良好	褐色	密	外面：口縁部～体部調帳ナデ、体部下半ヘラケズリ 内面：回転ナデ	L1線部検光1個	

第174表　4区SK02出土陶磁器・土製品観察表（第361図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堆積中	磁器 碗	1/4	口径(9.8) 器高：3.3 底径(4.2)	良好	灰褐色	密	外面：青磁、貫入 内面：回方縁・二重圏線、貫入	肥前 18c後半
2	堆積中	十錦	2/3	長さ：2.9 幅　：0.9 厚さ：0.9	良	褐鉄色	密		重量：1.5g

第175表　4区SK02出土木製品観察表（第361図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	木取り	特徴	備考
3	堆積中	漆器 皿	1/6	器高(4.9)		外面：黒漆、「丸に木瓜」紋（銀） 内面：朱漆	
4	堆積中	木製品 盤	1/2	直径:37.6 幅　(21.6) 厚さ：1.4	柾目	中央部45×65cmの方形切れ込み	

第176表　4区SK03出土陶器観察表（第363図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堆積中	陶器 鍋	底部 1/2	胴径(32) 高台径(4.9)	良好	灰色	密	外面：意匠不明、両台部露付露胎、削り出し高台、貫入 内面：貫入	岡阪染付 肥前 18c前半

第177表　4区SK04出土陶器観察表（第365図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堆積中	陶器 鍋	底部 1/2	胴径(27) 高台径(4.9)	良好	灰色	密	外面：意匠不明、両台部露付露胎、削り出し高台、貫入 内面：貫入	岡阪染付 肥前 18c前半

第178表　5区SK02出土陶磁器観察表（第368図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堆積中	磁器 染付碗	底部	胴径(1.3) 高台径：4.2	良好	白色	密	外面：高台部露付露胎・砂付着、削り出し高台 内面：見込二重圏線内五弁花	肥前 18c代
2	堆積中	磁器 染付碗	1/3	口径(13.6) 器高：3.8	良好	白色	密	外面：高台部露付、高台内一部露胎・砂付着、削り出し高台 内面：意匠不明、絵の具飛沫・砂付着	肥前 18c前半
3	堆積中	磁器 染付皿	1/3	口径(11.6) 器高：3.5 底径：4.0	良好	白色	密	外面：体部下半～高台部露胎、削り出し高台 内面：意匠不明、絵の具飛沫・砂付着	肥前 18c前半
4	堆積中	磁器 染付碗	破片	口径(7.9) 器高(5.8) 底径(8.6)	良好	白色	密	外面：青磁 内面：回方縁、見込二重圏線	肥前 18c後半
5	堆積中	磁器 染付皿	1/4	口径：(8.5) 器高：6.7 底径：(6.0)	良好	白色	密	口縁端花 外面：竹軍文、底部露胎 内面：回方縁、見込二重圏線	在地肥前系 19c
6	堆積中	磁器 染付猪口碗形	陽部	胴径(2.2) 高台径：3.6	良好	白色	密	外面：染付露胎・砂付着、削り出し高台	肥前
7	堆積中	陶器 擂鉢	破片	口径(37.3) 器高(6.1)	良好	灰色	密	外面：回転ナデ 内面：口縁部調帳ナデ、体部8条単位の櫛目	関西系

第179表　5区SK03出土陶磁器・土器観察表（第370図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	堆積中	磁器 染付碗	底部	胴径(19) 高台径：(4.3)	良好	淡黄灰白色	密	外面：胴部、高台内角線、露付露胎、削り出し高台、貫入 内面：見込コンニャク印刑五弁花、貫入	伊万里 18c後半
2	堆積中	磁器 染付碗	底部1/2	胴径(20) 底径：(8.6)	良好	淡灰白色	密	外面：丸文、露付露胎、削り出し高台 内面：見込唐草文？	佐賀有 伊万里 18c後半
3	堆積中	磁器 染付碗	底部1/3	胴径(7.8) 底径：(4.1)	良好	白色	密	外面：青磁、露付露胎、削り出し高台 内面：見込二重圏線内五弁花	伊万里 18c後半
4	堆積中	磁器 染付碗	破片	口径(10.2) 器高：(1.6)	良好	淡灰色	密	外面：無紋部り 内面：蓋紋部り	19c後半
5	堆積中	磁器 染付皿	破片	器高：(1.6) 高台径：(9.7)	良好	白色	密	外面：意匠不明、高台内一部露胎、絵の具滴台 内面：花文？	伊万里 18c後半～幕末
5	堆積中	磁器 染付皿	底部破片	器高：(1.6) 底径：(7.5)	良好	淡灰白色	密	外面：畳付露胎、高台内一重の圏線、削り出し高台、貫入 内面：雑草	伊万里 関西？
7	堆積中	磁器 染付皿	口縁部	口径：(8.6) 器高：(3.8)	良好	淡灰白色	密	外面：雷龍文 内面：一	伊万里・肥前 18c代
8	堆積中	磁器 染付小杯	底部	器高：(1.6) 底径：(3.2)	良好	淡灰白色	密	外面：意匠不明、畳付露胎・砂付着、削り出し高台、貫入 内面：貫入	肥前系 18c後半以降
9	堆積中	磁器 碗	体部～底部破片	器高：(3.5) 底径：(5.5)	良好	灰色	密	外面：意匠不明、畳付露胎、削り出し高台、貫入 内面：貫入	陶器染付 肥前　18c後半

10	埋砂中	陶器 盤	破片	口径(35.0) 器高(5.5) 底径(36.7)	良好	暗赤灰色	密	外面：灰白色釉、貫入 内面：口縁部灰白色釉、貫入	唐津 17c後半
11	埋砂中	陶器 瓶類	底部破片	器高(3.1) 底径(10.6)	良好	赤褐色	密	外面：鉄釉、指ヶ月、高台 内面：鉄釉、8条単位の櫛目	在地窯 18c後半以降
12	埋砂中	土器 焙烙	破片	口径(29.7) 器高(5.8)	良好	橙色	密	外面：山陽部figure ナデ、体部ヘラケズリ 内面：指頭ナデ	内外面煤付着

第180表　2区SD01出土陶器・土製品観察表（第372図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋砂中	陶器 瓶	破片	胴径(32.7) 底径(5.2)	良好	明灰色	密	外面：緑灰色釉、高台部露付部鉄、削り出し高台、貫入 内面：明灰色釉、貫入	陶器染付 肥前　18c
2	埋砂中	鳴笛	破片	長さ(5.0) 高さ(3.7) 厚　2.6	良	白褐色	密	型合わせ→手捻り成形	中空

第181表　2区SD02出土磁器・土製品観察表（第373図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋砂中	碗型 染付鉄	破片	口径(15.5) 器高(3.1)	良好	白色	密	口縁釉化、外面：草花文？ 内面：重ね不明	肥前系 18c後半以降
2	埋砂中	十錠	2/3	長さ(4.9) 幅　(2.1) 厚さ(1.9)	良	灰色	密		重量11.4g

第182表　2区SD03出土陶磁器観察表（第375図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋砂中	碗型 染付皿	破片	口径(9.6) 器高(1.8)	良好	白色	密	外面：輪花文 内面：四方襷	肥前系 18c後半以降幕末
2	埋砂中	陶器 鉢	破片	口径(12.2) 器高(3.2)	良	灰褐色	密	外面：灰白釉 内面：灰色・褐桃色釉	18c後半以降

第183表　2区SD04出土陶磁器観察表（第377図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋砂中	碗型 染付鉄	1/3	口径(7.9) 器高(5.5) 底径(3.2)	良好	白色	密	外面：草文、高台部露付部鉄、削り出し高台 内面：四方襷、見込：重圏線内横状形櫛文	肥前系 幕末
2	埋砂中	碗型 染付皿	破片	口径(9.5) 器高(1.7) 底径(5.0)	良	白色	密	外面：草文？、高台部露付部鉄、削り出し高台、貫入 内面：芝櫛単位文、見込二巡無線、貫入	肥前 幕末
3	埋砂中	陶器 瓶類	破片	口径(3.9) 底径(12.6)	良	黄灰白色	密	外面：鉄釉、ケズリ、削り出し高台 内面：鉄釉、6条単位の櫛目	

第184表　4区SD01出土陶器観察表（第379図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋砂中	陶器 壺	1/4	口径(26.6) 器高(3.2	良好	灰茶色	密	外面：鉄釉 内面：轆轤、かえり部鉄釉	外国産焼締陶 在地窯 18c後半以降

第185表　5区SD01出土陶磁器製品観察表（第381図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	埋砂中	陶器 大皿	底部破片	器高(3.5) 底径(27.)	良好	灰茶色	密	外面：鉄釉、体部-高台内部露胎、削り出し高台 内面：鉄釉、見込鉄釉-砂付着	肥前 17c後半～18c前半
2	埋砂中	陶器 染付皿	破片	器高(1.6)	良好	黄灰白色	密	外面：鉄釉削り、貫入 内面：貫入	肥前系 幕末以降？

第186表　石列出土磁器・土製品観察表（第383図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	北側	碗型 染付皿	破片	口径(10.2) 器高(3.5)	良好	白色	密	外面：風景文 内面：草文	遠反南 肥前系　幕末
2	北側	碗型 花皿	底部	器高(3.3) 底径　2.9	良好	白色	密	外面：窓無線、高台部付露胎-砂付着 内面：露胎	幕末-明治 19c
3	南側	土錘	1/2	長さ(2.3) 幅　1.0 厚さ　0.9	良	橙褐色	密		重量：17g

第187表　1区弥生時代～古代包含層出土陶器・土器・土製品観察表（第384～395図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	E-3・W-5 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 甕	口縁部 1/4	口径(28.2) 器高(7.1)	良	灰褐色	密 角閃石・雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ→横ハケ工具による波状文2条 内面：口縁端部横ナデ、口縁部横ヘラケズリ	
2	E-3 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 甕	口縁部 1/2	口径(25.2) 器高(13.9)	やや良	黄灰白色	密 石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部横ハケメ・横状工具痕部による押引文 内面：口縁部ナデ、頸部指頭調整→ナデ、胴部横ヘラケズリ	
3	W-1 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 甕	口縁～胴部 1/2	口径(20.6) 器高(14.1)	良	褐色～橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部ヘラ状工具による圧痕、胴部横ヘラケズリ	
4	E-2 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 甕	口縁部 1/2	口径(21.3) 器高(9.8)	良	淡褐色	密	外面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整→ナデ、胴部横ハケメ 内面：口縁部ナデ、頸部指頭調整→ナデ、胴部横ヘラケズリ	外面煤付着
5	E-5・6 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 甕	口頸部 1/2	口径(24.7) 器高(11.8)	良	灰褐色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部横ナデ、頸部縦ハケメ→ナデ、突帯貼付 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整	黒斑
6	E-5 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 甕	口縁～胴部1/2	口径(15.6) 器高(10.4)	やや良	黄灰白色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、胴部ヘラ状工具痕部による列点文 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整、胴部横ヘラケズリ	内外面煤状付着
7	W-2 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 鉢	口縁部 1/6	口径(16.9) 器高(7.9)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整	
8	E-3 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 鉢	口縁部 1/2	口径(14.8) 器高(7.9)	良	灰褐色	密 砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部横状工具痕部による羽状文 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整→ナデ、胴部横ヘラケズリ	
9	E-3 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 甕	口頸部 1/3	口径(12.2) 器高(4.4)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	内外面：横ナデ	内面口縁部一部煤付着
10	E-1 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 甕	口頸部 1/3	口径(13.0) 器高(7.7)	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面：口頸部横ヘラミガキ、胴部横ヘラケズリ→横ヘラミガキ	黒斑
11	E-2 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 高杯脚	口縁～体部1/2	口径(11) 器高(14.6) 脚径(17.3)	良	灰褐色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部横ナデ、口縁部縦状工具痕部による波状文 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整	
12	W-2 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 鉢or壺	破片	器高(6.3) 脚径(16.0)	良	灰褐色～黒茶色	密 雲母・白色粒	外面：ハケメ→横状工具による波状文2条、貫通孔穿孔による列点文2条・沢状文2条 内面：横ハケメ	黒斑
13	E-1 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 鉢	口頸部 1/3	口径(17.0) 器高(7.7)	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：横ヘラミガキ 内面：口頸部横ヘラミガキ、胴部以下指頭調整→横ヘラケズリ	
14	E-2 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 鉢or壺	破片	器高(3.5)	良	褐色	密 白色粒	外面：指状工具による波状文3条・爪形文・貫通孔文・櫛状工具による列点文 内面：横ハケメ	内外面赤彩
15	E-3 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 鉢	破片	口径(21.6) 器高(3.0)	良	灰褐色	密	外面：口縁部ナデ→竹管文施文の円形浮文貼付 内面：横ナデ→横ヘラミガキ	
16	W-6 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 鉢	破片	器高(3.6)	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	内外面：横ナデ	外面煤付着 墨入品？
17	W-2 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 壺	底部破片	器高(4.7) 底径(10.7)	良	褐色	密 角閃石・石英・白色粒	外面：ヘラケズリ→ナデ 内面：ヘラケズリ	
18	W-6 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 壺	底部破片	器高(6.3) 底径(8.0)	良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面：縦ハケメ 内面：横ヘラケズリ	
19	E-2 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 壺	口縁～体部2/3	口径(15.2) 器高(15.6) 脚径(21.1)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ、胴部横状工具痕による列点文3段以上 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整、体部横ヘラケズリ	外面煤付着
20	E-2 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 壺	口縁～体部1/2	口径(13.0) 器高(13.5) 脚径(18.1)	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横ハケメ、頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→横ヘラケズリ	外面煤付着
21	E-4 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 壺	口縁～体部1/2	口径(14) 器高(12.6)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁～胴部横ナデ、体部横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	外面煤付着
22	E-5 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 壺	完形	口径:15.7 器高:29.6 脚径:24.5	良	黄灰白色	密 砂粒	外面：口縁～胴部横ナデ、体部縦・斜ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下指頭調整→横・斜ハケメ→ヘラケズリ	外面煤全量付着
23	K-4 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 壺	ほぼ完形	口径(16.6) 器高(25.8) 脚径(23.0)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→ヘラケズリ	外面炭化物・煤付着
24	E-2 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 壺	ほぼ完形	口径:14.3 器高:22.9 脚径(20.1)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ、胴部横状工具痕による列点文3段以上 内面：口頸部横ナデ、体部指頭調整→横ハケメ	内面体部・外面煤付着
25	E-5 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 壺	1/2	口径:13.8 器高(22.6) 脚径(20.4)	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部指頭調整→横・縦ヘラケズリ	外面煤付着
26	E-4 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 壺	ほぼ完形	口径:14.4 器高(24.0) 脚径(24.2)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部指頭調整、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→横ヘラケズリ	外面体部下半煤付着
27	E-2 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 壺	口縁～体部1/4	口径(15.4) 器高(23.3) 脚径(21.6)	良	灰褐色	密 雲母・白色粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ、胴部横状工具痕による波状文 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部中位以下指頭調整→縦ヘラケズリ	内面底部・外面煤付着
28	K-4 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 壺	口縁～体部1/3	口径(13.0) 器高(13.0) 脚径(19.6)	良	褐色	密 砂粒	外面：口頸部横ナデ、頸部以下指頭調整→縦・横ハケメ、胴部ヘラ状工具痕部による列点文2段 内面：口頸部横ナデ、体部縦ヘラケズリ	
29	K-6 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 壺	口縁～体部2/3	口径(15.2) 器高(15.2) 脚径(21.2)	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ、胴部ヘラ状工具による波状文 内面：口頸部横ナデ、胴部指頭調整、胴部以下縦ヘラケズリ	外面煤付着
30	K-1 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 壺	口縁～体部1/2	口径(10.8) 器高(7.5)	良	褐色	密 砂粒	外面：口縁部～頸部横ナデ、体部縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部指頭調整→横ヘラケズリ	外面煤付着

31	E-6 Ⅲ-③海	土師器 壺	口縁～体 部1/2	口径(11.2) 器高：8.7	良	褐色	密 砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ		外面煤付着	
32	E-2 Ⅲ-③海	土師器 壺	口縁～体 部2/3	口径：11.1 器高：8.4 胴径(14.0)	良	灰褐色	密 雲母・石英・ 砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ、胴部ヘラ状工具による刺突を1箇以上 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ		外面煤付着	
33	E-1 Ⅲ-③海	土師器 壺	口頸部 2/3	口径(10.9) 器高：3.9	良	褐色	密	外面：横ナデ 内面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ		内外面煤付着	
34	E-5 Ⅲ-③海	土師器 壺	口縁～胴 部1/2	口径(14.6) 器高：9.9	良	灰褐色	密 雲母・白色粒	外面：口頸部横ナデ、胴部以下縦・横ハケメ、胴部横状工具による波状文 内面：口頸部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ→ナデ		外面体部～胴部付着	
35	K-3 Ⅲ-③海	土師器 壺	口縁～胴 部1/2	口径(15.8) 器高：9.3	良	褐色	密 雲母・石英・ 白色粒	外面：口頸部横ナデ、胴部以下縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ		外面煤付着	
36	E-2 Ⅲ-③海	十師器 壺	口縁～胴 部1/2	口径(14.4) 器高：7.4	良	黄灰白色	密 雲母・石英・ 白色粒	外面：口頸部横ナデ、胴部横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ			
37	E-4 Ⅲ-③海	土師器 壺	口縁～胴 部1/2	口径(14.0) 器高：9.5	良	褐色	密 雲母・石英・ 砂粒	外面：口頸部横ナデ、胴部縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ		外面煤付着	
38	E-4 Ⅲ-③海	土師器 壺	頸片	口径(13.8) 器高：6.0	良	明灰白色	密	外面：口頸部横ナデ、胴部横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ		口縁部煤付着	
39	E-2 Ⅲ-③海	土師器 壺	口縁～体 部1/2	口径(21.7) 器高(26.7) 胴径(30.3)	良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部中位指頭調整→ヘラケズリ		外面体部下半煤付着	
40	W-1 Ⅲ-③海	土師器 坩	1/3	口径(17.4) 器高(24.5) 胴径(26.8)	良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→ヘラケズリ		口縁部・外面体部～胴部付着	
41	W-5 Ⅲ-③海	土師器 壺	口縁～胴 部1/3	口径(22.0) 器高(20.1)	良	褐色	密 雲母・石英・ 砂粒	外面：口頸部横ナデ、胴部縦・横ハケメ→胴状工具による波線文・波状文 内面：口頸部指頭調整→ナデ、胴部横ヘラケズリ		外面煤付着	
42	E-5 Ⅲ-③海	土師器 壺	口縁～体 部1/3	口径(25.2) 器高(16.5) 胴径(36.4)	良	灰褐色	密 雲母・石英・ 白色粒・赤色 粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部指頭調整→横ヘラケズリ		黒斑	
43	E-2 Ⅲ-③海	土師器 坩	口辺完形	口径(25.0) 器高(19.9) 胴径(19.6)	良	褐色	密 雲母・石英・ 白色粒・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→ヘラケズリ		外面煤付着	
44	W-5 Ⅲ-②海	土師器 壺	口頸部 1/2	口径(18.2) 器高：6.3	良	灰褐色	密 雲母・石英・ 白色粒	外面：横ナデ、口縁部横状工具による波線文→ナデ、胴部横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		外面煤付着	
45	W-5 Ⅲ-③海	土師器 壺	口頸部	口径(16.0) 器高：3.7	良	褐灰色	密 雲母・砂粒	外面：横ナデ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		内外面煤付着	
46	E-1 Ⅲ-①海	土師器 壺	口縁～体 部1/4	口径(17.0) 器高(15.0) 胴径(22.2)	良	褐色	密 角閃石・雲母 ・石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、頸部以下縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		外面煤付着	
47	E-4 Ⅲ-③海	土師器 壺	頸片	口径(16.4) 器高(15.0)	良	灰褐色	密	外面：口頸部横ナデ、体部横ハケメ、胴部横状工具潰部による波状文 内面：口頸部横ナデ、胴部指頭調整、体部横ヘラケズリ		外面煤付着	
48	E-3 Ⅲ-③海	土師器 壺	口縁～体 部3/4	口径(14.0) 器高(17.9) 胴径(20.0)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・ 砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→横ヘラケズリ		外面煤付着	
49	K-2 Ⅲ-③海	土師器 小壺	口縁～体 部1/4	口径(14.1) 器高(17.8) 胴径(20.3)	良	褐色	密 雲母・石英・ 白色粒	外面：口頸部横ナデ、体部横ハケメ、胴部横状工具による波線文 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ			
50	K-4 Ⅲ-③海	土師器 壺	口縁～体 部1/2	口径(14.8) 器高(14.2) 胴径(23.2)	良	灰茶色	密 雲母・石英・ 白色粒	外面：口頸部横ナデ、頸部以下横ハケメ、胴部横状工具潰部による刺突文2箇以上 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		外面：煤付着	
51	E-5 Ⅲ-③海	土師器 壺	口縁～胴 部1/2	口径(14.2) 器高：6.0	良	黄灰白色	密 雲母・白色粒	外面：口頸部横ナデ、頸部以下横ハケメ、胴部横状工具潰部による刺突文2箇以上 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ			
52	E-5 Ⅲ-③海	土師器 壺	口縁～頸 部1/2	口径(15.0) 器高：7.4	良	灰褐色	密 雲母・石英・ 白色粒	外面：口頸部横ナデ、胴部横ハケメ→胴状工具潰部による刺突文3箇以上 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整、胴部横ヘラケズリ			
53	E-1 Ⅲ-③海	土師器 壺	口縁～体 部1/4	口径(14.7) 器高：8.5	良	灰褐色	密 石英・白色粒	外面：口縁部～頸部横ナデ、胴部横状工具潰部による刺突文2箇以上、体部横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ		内面口縁部～外面煤付着	
54	E-1 Ⅲ-③海	土師器 壺	口頸部 1/4	口径(23.2) 器高：7.1	良	灰褐色	密 雲母・石英・ 白色粒	外面：横ナデ、口縁部横状工具による波線文→ナデ 内面：口頸部横ナデ→横ヘラミガキ、頸部以下横ヘラケズリ		外面一部煤付着	
55	E-1 Ⅲ-②海	土師器 壺	口頸部 1/2	口径(19.8) 器高：7.1	良	褐色	密 雲母・石英・ 砂粒	外面：横ナデ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		外面口縁部煤付着	
56	E-6 Ⅲ-③海	土師器 小壺	口縁～体 部	口径：16.6 器高(10.0) 胴径(20.0)	良	褐色	密 雲母・石英 ・砂粒・赤色 粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整、頸部以下横ヘラケズリ		内面口縁部～外面煤付着	
57	W-4 Ⅲ-②海	土師器 壺	口縁～胴 部1/2	口径(14.8) 器高：9.2	良	灰褐色	密 石英・白色粒	外面：横ナデ 内面：口頸部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ		外面煤付着	
58	E-1 Ⅲ-②海	土師器 壺	口縁～胴 部2/3	口径(15.6) 器高(11.5)	良	黄灰白色	密 砂粒	外面：口頸部横ナデ、頸部以下縦・斜ハケメ 内面：口頸部横ハケメ→横ナデ、頸部以下指頭調整→横ヘラケズリ		外面煤付着	
59	K-2 Ⅲ-②海	土師器 壺	口縁～体 部1/2	口径(13.4) 器高(11.4)	良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ		外面煤付着	
60	E-4 Ⅲ-②海	土師器 壺	口頸部 1/2	口径(16.6) 器高：4.9	良	灰褐色	密 雲母・石英・ 白色粒	外面：横ナデ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		外面煤付着	
61	W-4 Ⅲ-①海	土師器 壺	口頸部 1/2	口径(16.6) 器高：3.6	良	褐色	密 雲母・石英・ 白色粒	外面：横ナデ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ		外面口縁部工具痕	
62	K-1 Ⅲ-②海	土師器 壺	口縁～胴 部1/2	口径(11.4) 器高(8.3)	良	褐色	密 雲母・石英・ 砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ、胴部ヘラ状工具による波状文 内面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ			

63	W-3 II-3類	上部器 美	LI脚部 1/3	口径(16.4) 器高(4.7)	良	橙褐色	密 長石・石英	外面：指頭調整→ナデ 内面：口縁部指頭調整→ナデ、胴部横ヘラケズリ			
64	E 2 II-2層	十部器 美	はほ完形	口径(15.1) 器高(13.5) 脚径(10.5)	良	褐色	密 角閃石・長石 ・石英	外面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→ナデ 内面：口縁部横ナデ、脚部以下横ヘラケズリ			内外面煤付着
65	W-6 II-2層	十部器 美	LI脚一部 残1/4	口径(18.0) 器高(7.1)	良	橙褐色	密 雲母・白色粒	外面：指頭調整→ナデ 内面：口部部横ナデ、胴部指頭調整→ナデ			外面煤付着
66	E-6 II-3層	十部器 鉢?	はほ完形	口径(16.4) 器高：5.0	良	灰褐色	密 角閃石・雲母 ・石英・砂粒	外面：口縁部ハケメ→ナデ、体部指頭調整→ナデ、底面ヘラケズリ 内面：ハケメ			内外面煤付着
67	K-2 II-3層	上部器 壺	はほ完形	口径：14.4 器高：19.5 脚径：18.9	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：指頭調整→ハケメ→ナデ 内面：口頸部指頭調整→ナデ、体部横ヘラケズリ→指頭調整			内外面底部煤付着
68	E-2 II-3層	上部器 壺	はほ完形	口径(20.6) 器高(30.0) 脚径(32.2)	良	褐色	密 雲母・石英（φ8mm）・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横・縦ヘラケズリ、底部指頭調整→ヘラケズリ			外面煤付着
69	K-1 II-3層	上部器 壺	1/2	口径(23.8) 器高(27.5) 脚径(34.0)	やや良	褐色	密 雲母・石英（φ5mm）・小石粒・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ			外面煤付着
70	E-2 II-2層	十部器 壺	はほ完形	口径(24.4) 器高：33.2 脚径(34.8)	良	褐色	密 角閃石・雲母・石英・白色粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横・縦ヘラケズリ、高脚指頭調整			
71	E-2 II-2層	上部器 壺	はほ完形	口径(26.2) 器高：34.3 脚径(28.2)	良	褐色	密 角閃石・雲母・石英・白色粒	外面：口頸部横ナデ、胴部以下粗い縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ			外面　部煤付着
72	W-3 II-2層	十部器 鉢	はほ完形	口径：20.5 器高(13.8) 脚径：19.8	良	黒褐色	密 雲母・多量・石英・砂粒	外面：指頭調整→ヘラケズリ→ナデ 内面：口部部指頭調整→ナデ、体部指頭調整→横ヘラケズリ			外面煤付着
73	K-2 II-3層	上部器 壺	はほ完形	器高(21.5) 脚径(22.9)	良	褐色	密 雲母多量・石英・砂粒	外面：胴部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ 内面：頸部横ナデ、胴部以下横・縦ヘラケズリ			内外面体部煤付着
74	W-2 II-2層	上部器 壺	口縁一体 部1/3	口径：19.9 器高(15.5) 脚径(25.0)	やや良	褐色	密 石英・白色粒・小石粒	外面：口頸部横ナデ、体部粗い縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ			内外面煤付着
75	E 4 II-2層	上部器 壺	LI脚一体 部1/3	口径(35.2) 器高(13.4)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ			内外面煤付着
76	W-2 II-3層	十部器 壺	LI脚一体 部1/4	口径(26.0) 器高(9.1)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、頸部以下縦ハケメ 内面：口部部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ			
77	W-4 II-2層	上部器 壺	口縁一体 部1/2	口径(35.4) 器高(14.4)	良	褐色	密 長石・石英・白色粒	外面：口頸部横ナデ、頸部以下縦ハケメ 内面：口縁部ナデ、胴部指頭調整、頸部以下横ヘラケズリ			外面煤付着
78	K-5 II-3層	上部器 壺	口縁一体 部1/2	口径(28.4) 器高(12.0)	良	橙色～黒茶色	密 砂粒	外面：縦ナデ 内面：口部部横ナデ、体部指頭調整→縦・横ヘラケズリ			内面煤付着 鍛入品
79	K-2 II-3層	上部器 鉢	口縁一体 部1/2	口径(26.7) 器高(13.0)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口部部横ナデ、体部縦ハケメ、把手部指頭調整→ナデ 内面：口部部横ナデ、体部横ヘラケズリ			
80	E-5 II-3層	上部器 壺	破片	器高(10.3) 脚径(20.5)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：縦・横ハケメ 内面：横ハケメ→ヘラ状工具潰紙による調整			外面煤付着 鍛入品？
81	E-2 II-3層	上部器 鉢脚裾	破片	器高(3.0)	良	褐色	密 石英・砂粒	外面：竹管文2条→ヘラ状工具施部による列点文3条・櫛状工具による波線文2条 内面：横ハケメ?			
82	W-1 II-3層	上部器 鉢脚裾	破片	器高（2.6）	良	黄灰白色	密 白色粒	外面：ヘラ状工具による直線文・櫛状工具による列点文 内面：ヘラケズリ			
83	E 1 II-3層	上部器 鉢脚裾	破片	器高（4.5）	良	褐色	密	外面：櫛状工具による直線文・櫛状工具による列点文 内面：ヘラケズリ			
84	E-3-W-1 II-2層	上部器 鉢脚裾	体部破片	器高（1.8）	良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面：櫛歯二角突帯、十字一爪形文2条 内面：ナデ			外面赤彩
85	E-6 II-2層	上部器 鉢	底部1/2	器高(4.0) 底径(5.4)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：ナデ 内面：指頭調整→ヘラケズリ			
86	E-6 II-2層	上部器 鉢	底部	器高(4.3) 底径(3.2)	良	黒褐色	密 雲母	外面：底部指頭調整、底面ヘラケズリ 内面：指頭調整→ハケメ			黒塗 内外面煤付着
87	E-1 II-2層	上部器 鉢	底部	器高（2.5） 底径（3.6）	良	灰褐色	密 雲母・石英	外面：ハケメ 内面：指頭調整→ヘラケズリ			外面煤付着
88	W-2 II-3層	上部器 注口土器	注口部	LI径：14 注口長(4.7)	良	茶褐色～褐色	密 砂粒	外面：長軸方向のハケメ 内面：ヘラケズリ			
89	K-2 II-3層	上部器 注口土器	注口部	LI径：12 注口長(5.3)	良	褐色	密 石英・砂粒	外面：長軸方向のヘラミガキ 内面：ヘラケズリ			外面一部煤付着
90	E-5 II 3層	上部器 小型丸底鉢	はほ完形	口径(9.4) 器高：8.4 脚径(10.4)	良	橙褐色	密 角閃石・雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、胴部以下縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、短胴部指頭調整、体部横ヘラケズリ、底部指頭調整→ヘラケズリ			
91	W-6 II-3層	上部器 小型丸底鉢	はほ完形	口径（7.2） 器高：7.9 脚径：8.2	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口頸部横ヘラミガキ、体部縦・横ハケメ、底部指頭調整→ナデ 内面：口頸部横ナデ、体部指頭調整→ヘラケズリ			
92	E-4 II-3層	上部器 小型丸底鉢	1/3	器高(8.8) 器高(4.6) 脚径(8.5)	良	灰茶色	密 砂	外面：指頭調整→ハケメ→横ヘラミガキ 内面：口縁一部部指頭調整→横ヘラミガキ、体部指頭調整→横ヘラケズリ			
93	W-6 II-3層	十部器 小型丸底鉢	1/3	口径(8.0) 器高（5.2） 脚径(8.8)	良	褐色	密 砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部斜めハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ・指頭調整			外面煤付着
94	W-3 II-3層	上部器 小型丸底鉢	1/3	口径(10.8) 器高（8.2） 脚径(12.0)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：ハケメ→縦・横ヘラミガキ 内面：口頸部横ヘラミガキ、体部指頭調整→縦ヘラケズリ			

95	W-5 Ⅲ-②層	土師器 小型丸底壺	1/4	口径(6.6) 胴径(5.3) 底径(7.5)	良	黒茶色	密 雲母・砂粒	外面：縦ハケメ→横・横ヘラミガキ 内面：口頸部横ヘラミガキ、体部横ヘラケズリ		
96	E-4 Ⅲ-②層	土師器 小型丸底壺	1/3	口径(8.7) 器高(6.0) 脚径(8.0)	良	灰褐色	密 石英・砂粒	内外面：指頭調整→横ヘラミガキ		
97	E-3 Ⅲ-②層	土師器 小型丸壺状	1/3	口径(8.6) 器高(7.8) 脚径(8.1)	良	褐色	密 雲母・石英多量	外面：口頸部横ナデ、体部強い縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部指頭調整→横ヘラケズリ		
98	W-4 Ⅲ-③層	土師器 小型丸底壺	1/4	口径(10.8) 器高(8.3) 脚径(8.7)	やや良	灰茶色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部雑状調整不明、頸部以下縦ハケメ 内面：口頸部雑状調整不明、体部横ヘラケズリ		
99	E-4 Ⅲ-③層	土師器 小型丸底壺	2/3	口径(8.8) 器高(6.4) 脚径(6.5)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒多量	外面：縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面：口縁部指頭調整→縦ハケメ、体部横ヘラケズリ		
100	E-2 Ⅲ-③層	土師器 小型丸底壺	完形	口径：9.3 器高：6.9 脚径：5.5	良好	褐色～橙褐色	密	外面：縦・横ヘラミガキ 内面：口頸部横ナデ、体部指頭調整		
101	E-4 Ⅲ-③層	土師器 小型丸底壺	1/4	口径(5.8) 器高：4.7 脚径：4.1	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：縦・横ヘラミガキ 内面：横ヘラケズリ・横ナデ		
102	W-5 Ⅲ-③層	土師器 短脚壺	1/3	口径(4.4) 器高(4.0) 脚径(7.0)	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部～胴部横ヘラミガキ、体部強ハケメ→横ヘラミガキ 内面：口頸部横ヘラミガキ、体部指頭調整→縦ヘラミガキ		
103	E-2 Ⅲ-③層	土師器 鉢	破片	口径(15.2) 器高(3.8)	良	褐色	密 雲母・白色粒	内外面：横ヘラケズリ	口縁部穿孔	
104	W-6 Ⅲ-③層	土師器 小型丸底鉢	1/4	口径(8.8) 器高(3.6)	良	橙褐色	密 雲母・白色粒	内外面：横ヘラミガキ		
105	E-4 Ⅲ-③層	土師器 小型丸底鉢	1/4	口径(12.6) 器高(5.0)	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部～胴部横ヘラミガキ、体部縦ヘラケズリ→横ヘラミガキ 内面：口頸部横ヘラミガキ、体部指頭調整→縦ヘラミガキ	外面体部煤付着	
106	E-6 Ⅲ-③層	土師器 皿	つまみ部	直径(3.6) 器高(3.3)	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：指頭調整→ヘラケズリ→ナデ 内面：指頭調整→ヘラケズリ	内外面煤付着	
107	E-6 Ⅲ-③層	土師器 椀	1/4	口径(7.4) 器高：3.1	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：天井部縦ハケメ、つまみ部ナデ 内面：入子部指頭調整	つまみ部中心穿孔1個 外底煤付着	
108	E-4 Ⅲ-③層	土師器 高坏	5/8	口径(14.6) 器高：14.7 脚径：11.5	良	褐色	密 雲母多量・石英・砂粒	外面：口縁部～脚柱部横・縦ヘラミガキ、裾部指頭調整→横ハケメ・横ナデ 内面：坏部横・縦ヘラミガキ、脚柱部横ヘラケズリ、裾部横ハケメ・横ナデ 接合部円盤充填法、脚柱部二方円形透し	内外面坏底部剥離	
109	W-3 Ⅲ-③層	土師器 高坏	5/8	口径(16.8) 器高：12.3 底径：10.4	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：ハケメ→横ヘラミガキ 内面：坏部横ヘラミガキ、脚柱部横ヘラケズリ、裾部横ハケメ 接合部円盤充填法、脚部二方円形透し	内面脚部以外赤彩	
110	E-1 Ⅲ-③層	土師器 高坏	2/3	口径(15.6) 器高(9.2) 底径：13.2	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒多量	外面：ハケメ→縦・横ヘラミガキ 内面：坏部横・縦ヘラミガキ、脚柱部横ヘラケズリ、裾部沿頭調整→横ハケメ・横ヘラミガキ 接合部円盤充填法	外面煤付着	
111	E-4 Ⅲ-③層	土師器 高坏	1/2	器高(10.9) 底径(11.0)	良	褐色	密 雲母・石英	外面：ハケメ→縦ヘラミガキ 内面：坏部横ヘラミガキ、脚柱部横ヘラケズリ、裾部指頭調整・ハケメ→横ナデ 接合部円盤充填法	黒斑	
112	E-6 Ⅲ-③層	土師器 高坏	坏部1/4	口径(14.4) 器高(4.1)	良	黒茶色	密 雲母・白色粒	外面：縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面：縦・横ヘラミガキ	黒斑 内外面煤付着	
113	E-4 Ⅲ-③層	土師器 高坏	坏部2/3	口径(15.6) 器高：5.8	やや良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：縦ハケメ→横・横ヘラミガキ 内面：横・縦ヘラミガキ 接合部円盤充填法		
114	E-4 Ⅲ-③層	土師器 高坏	坏部1/2	口径(15.8) 器高(5.3)	良	褐色	密 雲母多量・石英・白色粒	外面：縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面：縦ヘラミガキ 接合部円盤充填法		
115	E-4 Ⅲ-②層	土師器 高坏	坏部	口径：14.8 器高(5.9)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面：縦ヘラミガキ 接合部円盤充填法	内面口縁部・外面煤付着 底部穿孔	
116	E-1 Ⅲ-②層	土師器 高坏	坏部1/2	口径：18.2 器高(5.1)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面：ハケメ→横・縦ヘラミガキ 接合部円盤充填法	全面赤彩 内外面煤付着	
117	E-6 Ⅲ-②層	土師器 高坏	坏部1/2	口径：11.8 器高(4.3)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：縦ハケメ→横・縦ヘラミガキ 内面：横・縦ヘラミガキ 接合部円盤充填法	内面縁・外面胴部黒斑面剥落	
118	E-4 Ⅲ-②層	土師器 高坏	坏部1/4	口径(14.8) 器高(5.8)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面：縦ヘラミガキ	内面口縁部・外面煤付着 底面剥落	
119	W-4 Ⅲ-②層	土師器 高坏	坏部1/4	口径(11.6) 器高(2.7)	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：坏部縦ナデ、坏底部ヘラケズリ→ナデ 内面：坏ナデ・放射		
120	E-6 Ⅲ-②層	土師器 高坏	坏部5/8	口径(29.2) 器高(11.4)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ハケメ→縦ヘラミガキ、坏底部ハケメ→横ヘラミガキ 内面：坏部縦・横ヘラミガキ、脚柱部横ヘラケズリ 接合部円盤充填法		
121	E-4 Ⅲ-②層	土師器 高坏	坏部5/8	口径：17.8 器高(6.2)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ハケメ→縦ヘラミガキ、坏底部ハケメ→横ヘラミガキ 内面：坏部縦・横ヘラミガキ 接合部円盤充填法	外面・内面煤付着 底面剥落部穿孔	
122	E-5 Ⅲ-③層	土師器 高坏	坏部1/4	口径(17.0) 器高(5.0)	良好	褐色	密	外面：縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面：横・縦ヘラミガキ		
123	E-6 Ⅲ-②層	土師器 高坏	坏部1/3	口径(13.5) 器高(4.3)	良	褐色～黒茶色	密 雲母・石英・砂粒	外面：指頭調整→ヘラケズリ→ナデ 内面：指頭調整→ハケメ→ナデ	黒斑	
124	W-1 Ⅲ-②層	土師器 高坏	坏部1/2	口径：12.9 器高：5.8	良	褐色	密 雲母・石英	外面：口縁部横ナデ、坏部指頭調整→ヘラケズリ 内面：ナデ→縦ヘラミガキ	内面一部煤付着	
125	E-3 Ⅲ-②層	土師器 高坏	坏部1/4	口径(21.0) 器高(4.4)	良	褐色	密 雲母・白色粒	内外面：横ヘラミガキ	内外面煤付着	

126	E-2 Ⅲ-③層	土師器 高坏	坏部	口径:10.0 器高(9.1)	良好	淡褐色	密 角閃石・黒母・石英・小石粒・砂粒	外面:口縁部縦ヘラミガキ、坏底部縦ハケメ→ナデ 内面:坏部ヘラケズリ→ナデ、口縁部上半横ヘラミガキ 接合部円盤充填法	
127	K-4 Ⅲ-③層	土師器 高坏	脚部	器高(8.5) 底径:11.2	良	褐色	密 白色粒	外面:縦ハケメ→横・縦ヘラミガキ 内面:脚柱部ヘラケズリ、脚部縦ハケメ 脚部二方円形透し	
128	W-3 Ⅲ-②層	土師器 高坏	脚部1/2	復元径(9.6) 現存径(15.8)	やや良	褐色	密 角閃石・白色粒	外面:ハケメ→縦・横ヘラミガキ 内面:脚柱部ヘラケズリ、脚部横ハケメ 接合部円盤充填法、脚部二方円形透し	外面一部煤付着
129	E-5 Ⅱ-②層	土師器 高坏	脚部2/3	脚高(8.3) 底径(10.4)	良	褐色	密 雲母多量・石英	外面:縦ヘラケズリ→横ヘラミガキ 内面:脚柱部横ヘラケズリ、脚部横ナデ 脚部三方円形透し	
130	K-4 Ⅲ-③層	土師器 高坏	脚部5/8	器高(9.2) 底径(10.7)	良	褐色	密	外面:縦・横ヘラミガキ 内面:脚柱部横ヘラケズリ、脚部横ハケメ 脚部二方円形透し	
131	E-4 Ⅲ-②層	土師器 高坏	脚部2/3	器高(7.9) 底径(11.5)	良	褐色	密 雲母・石英	外面:ハケメ→縦・横ヘラミガキ 内面:脚柱部横ヘラケズリ、脚部縦ハケメ 脚部三方円形透し	
132	E-4 Ⅲ-③層	土師器 高坏	脚部5/8	器高(8.0) 底径:10.6	良	褐色	密 石英・砂粒	外面:縦・横ヘラミガキ 内面:脚柱部横ヘラケズリ、脚部横ハケメ	
133	E-5 Ⅲ-③層	土師器 高坏	脚部	器高(6.8) 底径:9.2	良	黄灰白色	密 雲母・砂粒	外面:ハケメ→横ヘラミガキ 内面:脚柱部横ヘラケズリ、脚部横ハケメ	
134	E-3 Ⅲ-③層	土師器 高坏	脚部	器高(5.5) 底径(10.3)	良	黄灰白色	密 雲母・砂粒	外面:縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面:横ヘラケズリ、脚部ナデ	内面脚部赤彩? 内外面一部煤付着
135	W-3 Ⅲ-③層	土師器 高坏	脚部	器高(5.2) 底径(15.6)	良	黄灰白色	密 雲母	外面:縦横ハケメ→横ヘラミガキ 内面:脚柱部横ヘラケズリ、脚部横ハケメ	
136	E-3 Ⅲ-②層	土師器 低脚坏	1/3	口径(14.5) 器高:3.7 底径(7.0)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面:坏部横ハケメ、坏底部一脚部横ナデ 内面:坏部横ハケメ、坏底部中心部刷毛痕、脚部横ナデ	外面坏部煤付着
137	E-6 Ⅲ-②層	土師器 低脚坏	1/3	口径(12.9) 器高:5.9 底径(5.1)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面:坏部指頭調整→縦ハケメ→横ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面:坏部横ヘラミガキ、脚部横ナデ	内外面煤付着
138	E-4 Ⅲ-②層	土師器 低脚坏	口縁完形	口径:12.2 器高:5.2 底径:4.1	良	橙褐色	密 石英・砂粒	外面:坏部横ヘラミガキ、脚部指頭調整→ナデ 内面:坏部ハケメ→横ヘラミガキ、脚部横ナデ	
139	K-4 Ⅲ-③層	土師器 低脚坏	1/3	口径(13.6) 器高:4.1 底径(4.0)	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面:坏部横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面:坏部ヘラミガキ、脚部横ナデ	全面赤彩 内面脚部縦刷毛痕 内面坏部被熱痕
140	E-5 Ⅲ-②層	土師器 低脚坏	1/3	口径(11.8) 器高:4.2 底径:4.2	良	桜褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面:坏部縦ハケメ→横ヘラミガキ、脚部ヘラミガキ 内面:坏部縦ヘラミガキ、脚部指頭調整→ナデ	脚部内面以外赤彩
141	E-1 Ⅲ-①層	土師器 低脚坏	5/8	口径:14.2 器高:4.1 底径:4.7	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	内外面:坏部横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ	内外面坏部被熱痕
142	W-3 Ⅲ-②層	土師器 低脚坏	口縁完形	口径:14.3 器高:4.3 底径:3.9	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面:坏部縦ハケメ→横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面:坏部横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ	
143	W-3 Ⅲ-②層	土師器 低脚坏	1/3	口径(17.6) 器高:4.1 底径(5.9)	良	褐色	密 雲母・石英	外面:坏部横ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面:坏部横ヘラミガキ、脚部横ヘラミガキ・ナデ	外面煤付着
144	W-2 Ⅲ-①層	土師器 鼓形器台	脚部1/5	器高(7.2) 底径(17.5)	やや良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面:横ヘラミガキ、脚部指状工具による直線文2条 内面:横ヘラケズリ、脚部指頭ナデ	
145	E-2 Ⅲ-②層	土師器 鼓形器台	破片	器高(7.3)	良好	褐色	密 角閃石・石英・白色粒	外面:接合部縦・横ヘラミガキ→櫛状工具による波線区画の格狭下長方形孔と刻点文、脚部縦ハケメ 内面:接合部一脚部横ヘラミガキ、脚部横ヘラケズリ	外面赤彩 黒斑
146	E-4 Ⅲ-③層	土師器 鼓形器台	1/2	口径(16.4) 器高:10.3 底径(15.6)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面:横ナデ 内面:受部横ヘラミガキ、接合部一脚部横ヘラケズリ、脚部横横ナデ	
147	E-5 Ⅲ-②層	土師器 鼓形器台	1/2	口径(16.7) 器高:10.2 底径(14.7)	良	橙褐色	密 雲母・石英・白色粒・砂粒	外面:横ナデ 内面:受部横・縦ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横ヘラケズリ、脚部横ナデ	
148	E-6 Ⅲ-②層	土師器 鼓形器台	受部～脚部	口径:17.5 器高(6.3)	良	褐色	密 石英・砂粒	外面:横ナデ、受部縦・横ヘラミガキ 内面:受部ヘラケズリ、接合部横ナデ、脚部横ヘラケズリ	
149	E-6 Ⅲ-②層	土師器 鼓形器台	1/2	口径(11.0) 器高(6.4)	良	灰褐色	密 砂粒	外面:横ナデ、受部・脚部縦ヘラミガキ 内面:受部横・斜めヘラミガキ、接合部以下横ヘラケズリ	
150	E-4 Ⅲ-②層	土師器 鼓形器台	脚部破片	脚部(5.1) 底径(12.0)	良	灰褐色	密 雲母・白色粒	外面:横ナデ 内面:受部横ナデ、脚部斜めヘラケズリ、脚端部横ナデ	
151	E-3 Ⅲ-③層	土師器 小型台付	脚部1/2	器高(4.7) 底径(11.4)	良	黄灰白色	密 砂粒	外面:縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面:受部ナデ、脚部横ヘラケズリ・横ハケメ	内外面赤彩
152	W-3 Ⅲ-②層	土師器 小型鼓台	5/8	口径(8.2) 器高:5.0 底径(5.3)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒多量	外面:縦ハケメ 内面:受部指頭調整・横ハケメ→ナデ、脚部指頭調整→ヘラケズリ 接合部円盤充填法	黒斑 接合部本葉孔
153	E-6 Ⅱ-②層	製塩土器	U字型 1/4	口径(10.0) 器高(6.9)	やや良	褐色	やや粗 雲母・石英・砂粒	外面:指頭調整→ナデ 内面:指頭調整	
154	E-3 Ⅲ-①層	製塩土器	破片	口径(12.0) 器高(3.1)	やや良	黄褐色	やや粗 砂粒	外面:指頭調整 内面:指頭調整・布目痕	
155	W-3 Ⅲ-②層	製塩土器	破片	口径(10.0) 器高(4.0)	やや良	灰褐色	やや粗 砂粒	内外面:指頭調整→ナデ	
156	E-2 Ⅲ-③層	製塩土器	破片	口径(10.0) 器高(2.2)	やや良	褐色	やや粗 砂粒	内外面:指頭調整→ナデ	
157	W-3 Ⅲ-②層	製塩土器	破片	口径(7.8) 器高(3.0)	やや良	灰褐色	やや粗	内外面:指頭調整→ナデ	
158	E-4 Ⅲ-③層	土師器 小皿	2/3	口径(4.5) 器高:10.4 脚径(4.0) 底径(2.9)	良好	赤褐色	密 雲母・白色粒	外面:口縁部一体部縦ハケメ→ヘラケズリ、底面ナデ 内面:体部縦ヘラケズリ	鏡面 内外面赤彩

159	E-2 Ⅲ-③層	手捏台 上部	完形	口径: 34 器高: 28 底径: 10	良好	褐色	密	内外面: 指頭調整			外面一部煤付着
160	E-2 Ⅲ-②層	手捏台 上部	底部1/3	器高(20) 底径(26)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	内外面: 指頭調整→ナデ			
161	E-1 Ⅲ-②層	手捏台 上部	胴部1/2	胴径(20) 底径(4.8)	良	橙褐色	密	内外面: 指頭調整→ナデ			
162	E-2 Ⅲ-②層	手捏台 下部	脚部1/2	脚径(20) 底径(24)	良	橙褐色	密	内外面: 指頭調整→ナデ			
163	E-1 Ⅲ-②層	手捏台 下部	脚部1/4	脚高(1.7) 底径(24)	良	黄灰白色	密	外面: ナデ 内面: 煤状黒鉛不明			
164	W-3 Ⅲ-②層	土師器 鉢形器台	鍔片	器高(4.2)	良	灰褐色	密 石英・白色粒	外面: 横ナデ、受口鍔状下端による鉢成→ナデ 内面: 横ハケミガキ			接合痕摩耗 2 個以上
165	E-2 Ⅲ-②層	土師器 鉢?	把手部	幅: 2.5~2.0	良	橙褐色	密	外面面縦ヘラミガキ、上面・内面面ナデ			全周赤彩 孔(孔径3mm) 刺突孔(孔径5mm)
166	K-4 Ⅲ-③層	土製品 管玉	1/2	径: 0.8 厚: 0.8	やや良	赤褐色	密	外面: ナデ			重量: 0.6g 孔径3cm
167	W-1 Ⅲ-①層	土師器 甕	5/8	口径(14.8) 器高: 37 底径: 6.7	良	灰褐色	密	外面: 口縁~体部上転ナデ、体部下半ヘラケズリ、底部回転糸切り 内面: 口縁部~体部横位ナデ、底部ナデ			内外面赤彩 外面底部墨痕(黒) 内外面赤彩
168	W-5 Ⅲ-②層	土師器 甕	1/4	口径(15.4) 器高(28) 底径(11.9)	良	茶褐色	密	外面: 口縁部~体部横ナデ、底部ヘラケズリ 内面: 横ナデ			内外面赤彩 外面底部墨痕(黒)
169	W-3 Ⅲ-①層	土師器 甕	破片	器高(1.0)	良好	灰褐色	密	外面: ナデ、指付痕有 内面: ナデ			内外面赤彩 外面黒色内黒色
170	E-2 Ⅲ-②層	土師器 壺	破片	器高(4.6)	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面: 横ハケメ 内面: 横ヘラケズリ			外面界線赤彩
171	W-1 Ⅲ-②層	土師器 壺	破片	—	良好	橙褐色	密	外面: 底部回転糸切り 内面: ナデ			外面底部墨痕(×)
172	E-4 Ⅲ-①層	土師器 坏	底部	器高(1.5) 底径(6.6)	良	橙褐色	密 雲母・白色粒	外面: 指頭調整→ナデ、貼付高台 内面: 指頭調整→ナデ			内外面赤彩 内外面底面墨痕
173	E-4 Ⅲ-①層	土師器 皿	2/3	口径(14.4) 器高(2.6) 底径(11.8)	良	橙褐色	密 雲母・白色粒	外面: 口縁部~体部横ヘラミガキ、底部ヘラケズリ→ヘラミガキ 内面: 口縁~体部横ナデ→指文、底部指頭調整→ナデ→指文			内外面赤彩
174	W-2 Ⅲ-①層	土製品 支脚	脚部1/2	器高(7.2) 底径(10.0)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒多量	外面: 脚部縦・横ヘラケズリ→指目痕、脚部部ナデ、底面ヘラケズリ			
175	E-3 Ⅲ-①層	土師器 支脚	脚部1/3	器高(8.6) 底径(13.2)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面: 脚部縦ヘラケズリ・指頭調整→ナデ、底面有指痕			
176	E-3 Ⅲ-②層	土師器 鉢	口縁完形	器高(59.0) 口径: 根: 37.8	良	灰褐色	密 砂粒	外面: 体部縦ハケメ、把手部ナデ 内面: 体部横・縦ヘラケズリ、底口部縦ハケメ			
177	W-4 Ⅲ-②層	土師器 壺頸部	口縁部 1/4	口径(9.4) 器高(2.8)	良	赤褐色	密 雲母・砂粒	外面: 横ヘラミガキ 内面: 口縁部横ヘラミガキ、胴部横ヘラケズリ			内外面赤彩
178	E-5 Ⅲ-②層	土師器 鉢	破片	口径(19.8) 器高(5.1)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面: 縦ハケメ→ヘラミガキ 内面: 横・縦ヘラミガキ			外面赤彩
179	W-5 Ⅲ-②層	土師器 高坏	接合部	器高(2.9)	良	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面: 坏部ナデ、脚部縦ヘラケズリ 内面: 坏部ナデ、脚部ナデ・ヘラケズリ			
180	W-4 Ⅲ-②層	土師器 鉢	1/8	口径(15.6) 器高(6.4)	良	橙褐色	密 雲母・砂粒	内外面: 横ヘラミガキ			内外部赤彩
181	E-4 Ⅲ-②層	土師器 鉢	1/6	口径(9.6) 器高(3.0)	良	黒褐色	密 雲母・石英	内外面: 指頭調整→ナデ			
182	E-3 Ⅲ-①層	土師器 鉢	口縁完形	口径: 13.4 器高: 5.5	良	灰褐色	密 砂粒	外面: 口縁部~体部ヘラミガキ、底部ヘラケズリ 内面: 縦・横ヘラミガキ			内外面赤彩 内底面黒鉛
183	E-5 Ⅲ-②層	土師器 坏	1/4	口径(15.8) 器高(4.6)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面: 口縁~体部横ナデ、体部下半横ヘラケズリ 内面: 横ナデ			内外面赤彩 内外面一部煤付着
184	W-6 Ⅲ-①層	土師器 坏	1/8	口径(22.0) 器高(3.7)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	内外面: 横ヘラミガキ			内外面赤彩
185	K-4 Ⅲ-②層	土師器 坏	1/3	口径(16.6) 器高(3.5)	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面: 口縁部~体部横ナデ、底部ヘラケズリ 内面: 口縁部~体部横ナデ			内外面赤彩
186	K-5 Ⅲ-①層	土師器 坏	破片	口径(14.8) 器高(3.0)	良好	褐色	密	外面: 口縁部~体部横ナデ、底部ヘラケズリ 内面: 口縁~体部横ヘラミガキ、底部ナデ			内外面赤彩
187	K-1 Ⅲ-①層	土師器 皿	1/3	口径(13.7) 器高: 2.4 底径(13.0)	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面: 口縁部~体部横ナデ、底部指頭調整→ヘラケズリ→ナデ 内面: 口縁部~体部横ナデ、底部ナデ			内外面赤彩赤彩
188	W-3 Ⅲ-①層	土師器 坏	3/4	口径(12.5) 器高(3.0) 底径(9.3)	良	橙褐色	密	外面: 口縁部~体部回転ナデ、底部ヘラ切り→指頭押圧 内面: 口縁部~体部回転ナデ、底部ナデ			内外面黒い赤彩
189	W-4 Ⅲ-①層	土師器 坏	2/3	口径(11.6) 器高(3.6) 底径(8.0)	良	橙褐色	密 雲母・白色粒	外面: 口縁部~体部回転ナデ、底部ヘラ切り→指頭押圧 内面: 口縁部~体部回転ナデ、底部指頭押圧→ナデ			
190	W-4 Ⅲ-①層	土師器 坏	2/3	口径(13.0) 器高: 3.1 底径(8.6)	良	橙褐色	密 雲母・白色粒	外面: 口縁部~体部回転ナデ、底部ヘラ切り→指頭押圧 内面: 口縁部~体部回転ナデ、底部指頭押圧→ナデ			
191	E-1 Ⅲ-①層	土師器 坏	2/3	口径(11.8) 器高: 3.7 底径(7.3)	良	橙褐色	密 角閃石・雲母・(石英・白色粒)	外面: 口縁部~体部回転ナデ、底部ヘラ切り→指頭押圧 内面: 口縁部~体部回転ナデ、底部指頭押圧→ナデ			
192	K-1 Ⅲ-①層	土師器 坏	1/3	口径(11.7) 器高: 2.6 底径(8.0)	良	褐色	密	外面: 口縁部~体部回転ナデ、底部ヘラ切り→指頭押圧 内面: 指頭押圧→ナデ			黒斑

193	E-4 Ⅲ-①層	土師器 坏	1/6	口径(13.2) 器高(3.4)	良好	灰褐色	密	内外面：回転ナデ		
194	W-4 Ⅲ-①層	土師器 坏	2/3	口径(12.4) 器高：3.7 底径(5.8)	良	橙褐色	密 底付・白色粒	外面：口縁部～体部横撫ナデ，底部ヘラ切り→指頭押圧 内面：口縁部～体部横撫ナデ，底部指頭押圧→ナデ		
195	E-2 Ⅲ-①層	土師器 皿	1/3	口径(11.7) 器高：2.4 底径(6.6)	良	橙褐色	密 砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ，底部ヘラ切り→指頭押圧 内面：口縁部～体部回転ナデ，底部指頭押圧→ナデ		
196	W-4 Ⅲ-①層	土師器 坏	1/4	口径(13.8) 器高：2.7 底径：(9.0)	良	灰褐色	密 黒母・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ，底部ヘラ切り→指頭押圧 内面：口縁部～体部回転ナデ，底部指頭押圧→ナデ		
197	W-4 Ⅲ-①層	土師器 皿	1/8	口径(12.8) 器高：2.4 底径：(7.0)	良	灰褐色	密 黒母・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ，底部ヘラ切り 内面：口縁部～体部回転ナデ，底部指頭押圧→ナデ		
198	W-4 Ⅲ-①層	土師器 皿	1/8	口径(12.8) 器高：2.5 底径：(7.0)	良	褐橙色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ，底部ヘラ切り 内面：口縁部～体部回転ナデ，底部指頭押圧→ナデ		
199	E-5-6 Ⅲ-① 表土層	緑釉陶器 碗	灰部破片	器高：(1.5) 高台：(5.9)	良好	赤灰色	密	外面：底部ヘラ切り，平高台 内面：ナデ	唐崎色粒	
200	E-2 Ⅲ-①層	須恵器 坏	底部破片	器高：(2.5) 底径：(9.6)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ，底部回転糸切り，貼付高台 内面：体部回転ナデ，底部ナデ	外面高台内墨書「丞」	
201	E-4 Ⅲ-①層	須恵器 皿	1/3	口径(13.8) 器高：2.1 底径：(9.6)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ，底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ，底部ナデ	外面底部墨書「○」	
202	E-4 Ⅲ-①層	須恵器 蓋	1/3	器高：(2.0)	良	青灰色	密 雲母・白色粒	外面：体部回転ナデ，天井部回転ヘラケズリ・ナデ 内面：体部回転ナデ，天井部ナデ	外面天井部刻目	
203	W-1 Ⅲ-①層	須恵器 皿	1/2	口径(20.0) 器高：4.2 底径：(14.4)	良	褐色	密 砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ，底部回転糸切り→ナデ，貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ，底部ナデ	外面内内面刻	
204	W-6 Ⅲ-②層	須恵器 壺	1/5	口径(9.0) 器高(7.0) 胴径(76.0)	良	青灰色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部回転ナデ→櫛状工具による波状文→櫛状文、体部平行叩き目 内面：口縁部回転ナデ，体部当具による丸撫状文		
205	W-3 Ⅲ-①層	須恵器 壺	破片	器高(9.2)	良好	灰色	密 白色粒	外面：回転ナデ→ヘラ状工具による沈線区画の波状文2条 内面：回転ナデ		
206	W-1 Ⅲ-②層	須恵器 壺	破片	器高：(9.3)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：回転ナデ→ヘラ状工具による沈線区画の波状文2条 指具原 内面：回転ナデ	内面口縁端部内側線状	
207	W-1 Ⅲ-②層	須恵器 壺	破片	器高：(5.2)	良好	暗赤灰色	密	外面：回転ナデ→ヘラ状工具による沈線区画の波状文2条 内面：回転ナデ		
208	W-1 Ⅲ-②層	須恵器 壺	破片	器高：(5.5)	良好	暗赤灰色	密	外面：回転ナデ→櫛状工具による波状文→ヘラ状工具による直線文 内面：回転ナデ	内外面口縁端部内側線状	
209	W-2 Ⅲ-②層	須恵器 壺	破片	器高：(5.6)	良好	灰色	密 白色粒	外面：回転ナデ→ヘラ状工具による沈線区画の波状文3条 内面：回転ナデ	内外面口縁部自然釉状	
210	W-3 Ⅲ-①層	須恵器 壺	体部～底部破片	器高(122) 胴径:21.1 底径:165	良	青灰色	密 白色粒	外面：体部平行叩き目→カキ目 内面：指頭調整→ナデ	外面体部中位～底部自然釉状	
211	E-2 Ⅲ-①層	須恵器 甕	底部1/3	器高(:89) 底径(100)	良好	灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：体部回転ナデ，貼付高台 内面：回転ナデ	外面高台部工具痕	
212	W-4 Ⅲ-①層	須恵器 甕	底部1/2	器高(:97) 底径：(8.6)	良好	青灰色	密	外面：体部回転ナデ，底部回転糸切り、貼付高台 内面：回転ナデ	内面体部下半～底部黒色付着物付着	
213	W-4 Ⅲ-①層	須恵器 甕	底部1/3	器高：(46) 底径：(9.2)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ，底部回転糸切り、貼付高台 内面：回転ナデ		
214	W-3 Ⅲ-①層	須恵器 甕	口頸部 1/4	口径(25.8) 器高：(6.3)	良好	暗赤灰色	密	外面：口縁部回転ナデ，肩部平行叩き目→ナデ 内面：口頸部回転ナデ，肩部当具による青海波文	内面口縁部自然釉状	
215	W-1 Ⅲ-①層	須恵器 甕	口縁～肩部1/4	口径(12.8) 器高(7.4)	良好	灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：口縁部回転ナデ，肩部平行叩き目→ナデ 内面：口頸部回転ナデ，肩部当具による青海波文	内面口縁部自然釉状	
216	W-2 Ⅲ-①層	須恵器 甕	口縁～肩部1/3	口径(17.0) 器高(5.7)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部回転ナデ，櫛状以下平行叩き目 内面：口頸部回転ナデ，肩部当具による青海波文	内面口縁部自然釉状	
217	W-6 Ⅲ-①層	須恵器 甕	口縁部	口径(11.6) 器高(:55)	良好	青灰色	密 白色粒	内外面：回転ナデ		
218	W-1 Ⅲ-①層	須恵器 鉢	1/2	口径(12.0) 器高:(2.6) 胴径(40.0)	良	赤褐色	密	外面：口縁部回転ナデ，肩部以下平行叩き目 内面：口頸部回転ナデ，肩部以下当具による青海波文		
219	W-2 Ⅲ-①層	須恵器 鉢	破片	口径(16.4) 器高：(4.8)	良好	灰色	密	外面：口縁部回転ナデ，櫛状工具による麻痺文2条→平行叩き目 内面：回転ナデ→当具による放射状文？	鉢土分析№134	
220	W-4 Ⅲ-②層	須恵器 高坏	坏部1/2	口径(12.2) 器高：(5.5)	良好	灰色	密 白色粒	外面：回転ナデ，坏底部回転ヘラケズリ 内面：口縁部回転ナデ，坏底部ナデ，脚部回転ナデ		
221	E-4 Ⅲ-①層	須恵器 高坏	脚部1/2	器高：(35) 底径：(7.9)	良	青灰色	密	外面：回転ナデ，坏底部回転ヘラケズリ 内面：坏底部ナデ，脚部回転ナデ 脚部三方へ切り込み窓		
222	E-2 Ⅲ-①層	須恵器 高坏	脚部	器高：(3.9)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：ナデ，坏底部回転ヘラケズリ 内面：坏底部・脚部ナデ 脚部三方円形透し		
223	E-2 Ⅲ-①層	須恵器 高坏	脚部	器高(112)	不良	黄灰白色	密	外面：回転ナデ 内面：脚柱部結十指入上げ痕，脚部回転ナデ		
224	E-2 Ⅲ-①層	須恵器 壺	1/4	口径(13.2) 器高：3.4	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部回転ナデ，天井部回転ヘラケズリ 内面：口縁部回転ナデ，天井部ナデ		
225	E-2 Ⅲ-①層	須恵器 壺	1/2	口径(13.2) 器高：3.1	良好	青灰色	密	外面：口縁部回転ナデ，天井部回転ヘラケズリ 内面：口縁部回転ナデ，天井部ナデ		
226	E-6 Ⅲ-②層	須恵器 壺	1/3	口径(18.2) 器高：(2.6)	良好	青灰色	密	外面：口縁部回転ナデ，天井部回転ヘラケズリ 内面：回転ナデ		
227	E-1 Ⅲ-①層	須恵器 壺	1/2	口径(18.0) 器高：(3.2)	良好	青灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：口縁部回転ナデ，天井部回転ヘラケズリ 内面：口縁部回転ナデ，天井部ナデ		
228	W-1 Ⅲ-①層	須恵器 壺	2/3	口径(17.4) 器高(37)	良好	灰色	密 白色粒	外面：口縁部回転ナデ，天井部回転ヘラケズリ 内面：口縁部回転ナデ，天井部ナデ		

229	E-4 Ⅲ-②層	須恵器 高杯	坏部1/2	口径(17.0) 器高(2.5)	良好	暗赤灰色	密 白色粒	外面：回転ナデ、 内面：口縁部回転ナデ、外底部ナデ	
230	E-2 Ⅲ-②層	須恵器 蓋	5/8	口径：13.0 器高：5.0)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部回転ナデ、天井部回転ヘラケズリ 内面：口縁部回転ナデ、天井部ナデ	外面自然降灰
231	W-1 Ⅲ-②層	須恵器 蓋	1/2以上残存	口径(14.2) 器高(4.8)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部回転ナデ、天井部回転ヘラケズリ 内面：口縁部回転ナデ、天井部ナデ	内外面一部煤付着
232	E-2 Ⅲ-②層	須恵器 蓋	1/2	口径(13.8) 器高：4.6	良好	灰色	密	外面：口縁部回転ナデ、天井部回転ヘラケズリ 内面：回転ナデ	
233	W-2 Ⅲ-①層	須恵器 蓋	1/2	口径(14.4) 器高(4.0)	良好	青灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：口縁部回転ナデ、天井部回転ヘラケズリ 内面：口縁部回転ナデ、天井部ナデ	
234	E-2 Ⅲ-②層	須恵器 坏	5/8	口径(12.8) 器高：3.6 底径：11.0	良好	灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転ヘラケズリ 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	外面体部自然降灰 外底墨書土器痕
235	E-4 Ⅲ-②層	須恵器 坏	1/2	口径(13.2) 器高：4.0 底径：8.8)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
236	E-4 Ⅲ-②層	須恵器 坏	1/3	口径(12.8) 器高：4.9 底径(9.2)	良	灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
237	W-3 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/2	口径(12.2) 器高：4.0 底径(7.2)	良好	青灰色～赤黒色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
238	W-5 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/3	口径(12.6) 器高：4.0 底径：8.8)	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
239	W-2 Ⅲ-②層	須恵器 坏	1/2	口径(14.4) 器高：3.6 底径(9.0)	良好	暗赤灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
240	W-6 Ⅲ-②層	須恵器 坏	1/3以上残存	口径：13.0 器高：4.0 底径：9.5	良好	暗赤灰色～赤褐色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
241	W-5 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/2	口径(12.2) 器高：4.3 底径(7.6)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
242	E-2 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/2	口径(11.8) 器高：4.6 底径：8.0)	良好	灰色	密 黒色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	内面底部白色付着物
243	E-3 Ⅲ-②層	須恵器 坏	1/3	口径(8.8) 器高：3.0 底径：5.0)	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：回転ナデ	内面自然降灰
244	E-3 Ⅲ-②層	須恵器 坏	1/3	口径(13.8) 器高：4.5 底径(9.8)	良好	灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
245	E-4 Ⅲ-②層	須恵器 坏	1/2	口径(13.6) 器高：3.6 底径(8.4)	良好	灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部静止糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
246	W-6 Ⅲ-①層	須恵器 鉢	2/3	口径(14.0) 器高：24 底径(20.6)	良好	灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
247	W-6 Ⅲ-①層	須恵器 皿	1/8	口径(14.8) 器高：2.0 底径(11.0)	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
248	W-5 Ⅲ-①層	須恵器 皿	1/8	口径(15.6) 器高：2.5 底径(9.4)	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
249	E-4 Ⅲ-①層	須恵器 皿	5/8	口径(14.2) 器高：2.8 底径(11.0)	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
250	W-6 Ⅲ-①層	須恵器 皿	1/2	口径(15.5) 器高：2.5 底径(12.4)	良好	灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、底部外周ヘラケズリ 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
251	W-3 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/3	口径(11.4) 器高：4.1 底径：6.6)	良好	灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	内面口縁部一部煤付着
252	W-5 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/3以上残存	口径：11.8 器高：3.5 底径：8.4	良好	灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	内面口縁部一部煤付着
253	W-1 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/2	口径(10.8) 器高：4.1 底径(7.4)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
254	E-2 Ⅲ-①層	須恵器 坏	5/8	口径(14.8) 器高：5.8 底径：7.4	良	灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
255	W-5 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/8	口径(10.8) 器高：3.4 底径(7.0)	良好	灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
256	W-5 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/8	口径(10.8) 器高：4.0 底径(6.8)	良好	青灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
257	E-4 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/2	口径：17.8 器高：5.9 底径：10.6	良好	灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半～底部ナデ	
258	E-6 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/4	口径(15.4) 器高：5.3 底径(10.0)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
259	W-1 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/2	口径(16.2) 器高：6.0 底径(11.2)	良好	青灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	

260	W-3 Ⅱ-①層	須恵器 坏	2/3	口径(12.6) 器高 4.6 底径(9.6)	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
261	E-5 Ⅱ-①層	須恵器 皿	1/3	口径(19.4) 器高 3.7 底径(11.6)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
262	E-4 Ⅱ-②層	須恵器 皿	2/3	口径 18.6 器高 3.5 底径 10.2	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り→ナデ、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
263	W-2 Ⅱ-②層	須恵器 皿	底部	器高：3.0 底径(12.0)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：体部回転ナデ、底部ナデ		
264	E-2 Ⅱ-①層	須恵器 皿	1/4	口径(16.0) 器高 1.7 底径(9.4)	良好	灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
265	W-6 Ⅱ-①層	須恵器 坏蓋形態	底部	器高(1.9) 底径：6.4	良好	灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：体部回転ナデ、底部ナデ		
266	W-4 Ⅱ-②層	須恵器 坏蓋形態	底部	器高：(2.4) 底径：7.4	良好	暗青灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：体部回転ナデ、底部ナデ		
267	E-3 Ⅱ-①層	須恵器 坏蓋形態	底部	器高(1.0)	良好	青灰色	密 角閃石粒	外面：回転糸切り 内面：ナデ		
268	W-1 Ⅱ-①層	須恵器 高ﾅ	破片	—	良好	青灰色	密 白色粒	外面：横ナデ、強区突帯上に円形浮文3個 内面：横ハケナズリ		
269	R-2 Ⅱ-③層	平瓦	1/4	厚さ(2.1)	良	橙色	密 白色粒	凸面：縄状工具による叩き目 凹面：布目状圧痕 側面：ヘラ切り→ナデ		
270	E-5 Ⅱ-①層	平瓦	1/4	厚さ(2.4)	やや良	明灰白色	密	凸面：格子目状工具による叩き目 凹面：布目状圧痕 側面：ヘラ切り→ナデ		
271	W-6 Ⅲ-①層	平瓦	1/6	厚さ(2.0)	良	灰色	密 白色粒	凸面：格子目状工具による叩き目 凹面：布目状平滑		
272	W-5 Ⅲ-①層	平瓦	1/6	厚さ(2.1)	良	灰色	密 白色粒	凸面：格子目状工具による叩き目 凹面：布目状圧痕 側面：ヘラ切り→ナデ		
273	W-3 Ⅲ-②層	平瓦	破片	厚さ(2.1)	良	黒茶色	密	凸面：縄状工具による叩き目 凹面：布目状圧痕 側面：ヘラ切り→ナデ		
274	W-4 Ⅱ-①層	平瓦	破片	厚さ(1.7)	良	青灰色	密 白色粒	凸面：縄状工具による叩き目 凹面：布目状圧痕 側面：ヘラ切り→ナデ		

第188表　1区弥生時代～古代包含層出土金属製品観察表（第396図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	部位残存率	材質	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	腐蝕度	メタル度	ランク	重量 (g)	備考
275	E-1 Ⅱ-①層	刀子	1/2	鉄	全長(65) 刃部(56) 茎部(9)	刃部:14 茎部:6	刃部:2 茎部:3	5	H(○)	5	8.6	残元金具 長径：11mm 幅　：5mm
276	E-1 Ⅱ-①層	刀子	1/2	鉄	全長(33) 刃部(20) 茎部(13)	刃部：8 茎部：4	刃部:2 茎部:1	4	錆化（△）	2	2.2	
277	E-3 Ⅱ-②層	鏃？	刃部	鉄	(42)	(24)	2	6	錆化（△）	2	16.3	
278	E-6 Ⅱ-②層	鉄状不明品	—	鉄	(34)	6	3	4	錆化（△）	2	1.8	
279	W-6 Ⅱ-②層	釘	1/2	鉄	(25)	4	4	3	錆化（△）	2	2.0	曲折釘か

第189表　1区弥生時代～古代包含層出土石器・石製品観察表（第396・397図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	遺存状態	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	石材	備考
280	W-6 Ⅲ-①層	石斧 蛤方	完形	42	41	8	33.0	結晶片岩	磨り穴4例
281	E-6 Ⅱ-②層	石錘石錘	2/3	(33)	(18)	(21)	10.3	凝灰岩	
282	E-6 Ⅱ-②層	砥石	完形	67	53	40	141.1	安山岩	ベンガラ付着
283	E-5 Ⅱ-②層	異形石製品	完形	23	27	8	5.3	滑石	穿孔2箇（孔径2mm）
284	W-5 Ⅱ-②層	石鏃	完形	22	16	3	0.9	チャート	刃部角度鋭
285	E-1 Ⅱ-②層	敲石石錘	完形	16	33	12	3.7	凝灰岩	
286	W-6 Ⅲ-②層	磨製石斧	1/2	(130)	(58)	(34)	216.4	閃緑岩	刃部角欠損
287	E-3 Ⅱ-②層	砥石	1/4完形	113	52	44	382.5	花崗岩	
288	E-6 Ⅱ-②層	砥石	1/2	(194)	(77)	(35)	361.2	花崗岩	
289	W-3 Ⅲ-①層	砥石	4/4完形	165	46	44	433.5	凝灰岩	被熱
290	W-2 Ⅱ-②層	石錘	完形	104	78	41	424.9	角閃石安山岩	上打欠幅70mm・下打欠幅52mm
291	E-6 Ⅱ-②層	石錘	完形	130	89	98	696.7	デイサイト	左打欠幅16mm・右打欠幅43mm
292	E-6 Ⅲ-②層	石錘	完形	145	98	50	968.5	角閃石安山岩	左打欠幅28mm・右打欠幅40mm
293	E-1 Ⅱ-②層	石錘	完形	136	76	42	628.4	角閃石安山岩	左打欠幅17mm・右打欠幅31mm

294	W-1 Ⅲ-③層	石鏃	完形	133	87	37	638.2	黒曜	左打欠幅24mm・右打欠幅61mm	
295	K-6 Ⅲ-②層	石鏃	完形	125	82	55	766.7	角閃石安山岩	左打欠幅25mm・右打欠幅19mm	
296	W-1 Ⅲ-③層	剥片	完形	105	89	44	488.2	安山岩		

第190表　2区弥生時代～古代包含層出土陶器・土器・土製品観察表（第398～403図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	F-G-2 Ⅱ-③層	土師器 壺	口縁～胴 部1/2	口径(26.4) 器高(13.0)	良	黄灰白色	密 W 雲母・石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、頸部方形突帯貼付、胴部横ハケメ→横状工具縦配による刷毛 内面：口縁部段差調整→横ナデ、頸部段差調整→ナデ、胴部横ヘラケズリ	
2	D-4 Ⅲ-①層	赤彩土師器 鉢	口頸部	口径(18.2) 器高(6.1)	良	橙褐色	密 角閃石・白色粒	外面：口縁端部横ナデ、口縁部横状沢文貼付 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	黒斑
3	B-1 Ⅲ-②層	土師器 鉢	破片	口径(15.8) 器高(3.8)	良	灰褐色	密	外面：口縁部横ナデ、胴部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	黒斑 外面　部煤付着
4	C-1 Ⅲ-②層	土師器 鉢	口縁～胴 部1/8	口径(11.0) 器高(5.5)	良	褐灰白色	密 石英・白色粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	
5	F-1 Ⅲ-②層	土師器 壺	破片	口径(10.8) 器高(2.8)	良好	褐色	密 角閃石・雲母・石英	外面：口縁部横ナデ、頸部縦ヘラミガキ 内面：口縁部横ナデ、頸部以ハケ後ヘラミガキ	頸部穿孔
6	A-1 Ⅲ-③層	土師器 壺	口縁～胴 部1/8	口径(11.0) 器高(4.0)	良	灰褐色	密 白色粒	外面：口縁部横ナデ、胴部縦ハケ 内面：口頸部横ナデ、頸部横ハケ	
7	C-3 Ⅲ-①層	土師器 皿	口頸部 1/8	口径(14.4) 器高(2.7)	やや良	黄灰白色	密 雲母・石英・白色粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横調整→横ナデ、胴部横ヘラケズリ	
8	F-1 Ⅲ-③層	土師器 甕蓋	破片	口径(10.0) 器高(4.9) 頸径(13.4)	やや良	褐色	密 角閃石・白色粒	外面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラミガキ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ	口縁部穿孔2個
9	C-2 Ⅲ-③層	十師器 杏	底部	器高(2.1) 底径(2.6)	やや良	褐色	密 白色粒	外面：縦ハケメ 内面：指頭調整→ヘラケズリ	底部穿孔1個・穿孔途中1個 内外底部付着
10	D-2 Ⅲ-③層	土師器 鉢蓋壺	体部	器高(5.2) 頸径(17.5)	良好	灰褐色	密 角閃石・石英・白色粒	外面：頸部器状工具による斜線文、体部具縦櫛状による刷毛文 内面：横ヘラケズリ	黒斑
11	G-2 Ⅲ-①層	土師器 壺	1/2	口径(13.6) 器高(25.0) 頸径(20.4)	良	褐色	密 砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部横ヘラミガキ 内面：口頸部横ナデ、胴部指頭調整→横ヘラケズリ、体部横ヘラケズリ、頸部下半指頭調整→縦ヘラケズリ	外面体部煤付着
12	F-1 Ⅲ-③層	土師器 壺	口縁～体 部1/2	口径(19.1) 器高(16.5) 頸径(16.6)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、頸部胴状工具縦配による刷毛文、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面一部煤付着
13	C-3 Ⅲ-②層	土師器 壺	口縁～体 部1/3	口径(16.8) 器高(12.8) 頸径(21.4)	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部横状工具による直線文、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部下半指頭調整、体部横ヘラケズリ	外面煤付着
14	C-3 Ⅲ-③層	弥生土器 壺	口頸部 1/8	口径(16.0) 器高(5.6)	やや良	灰褐色	密 石英・白色粒・砂粒	外面：横ナデ 内面：口縁端部横ナデ、口頸部横ハケメ、頸部以下横ヘラケズリ	外面口縁部煤付着
15	G-2 Ⅲ-②層	土師器 壺	口縁～胴 部	口径(16.4) 器高(4.97)	良	橙褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下横・縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部下半指頭調整、胴部横ヘラケズリ	
16	H-2 Ⅲ-②層	十師器 壺	口縁～胴 部1/2	口径(13.6) 器高(13.0) 頸径(18.5)	良好	褐褐色	密 角閃石・雲母・石英・白色粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部横・斜めハケメ、胴部横状工具縦配による刷毛文1段 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面頸部以下煤付着
17	G-2 Ⅲ-③層	土師器 壺	口縁～体 部1/3	口径(14.6) 器高(12.1) 頸径(20.0)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口頸部横ナデ、体部横ハケメ、胴部横状工具縦配による刷毛文2段以上 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着
18	C-3 Ⅲ-③層	土師器 壺	口縁～体 部1/8	口径(13.6) 器高(10.9) 頸径(18.0)	良	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ、胴部横状工具縦配による刷毛文4段以上 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着
19	D-2 Ⅲ-③層	土師器 壺	破片	口径(15.7) 器高(8.5)	良	茶褐色	密 雲母・白色粒	外面：口頸部横ナデ、頸部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着
20	D-3 Ⅲ-①層	土師器 壺	口縁～体 部	口径(15.3) 器高(16.6) 頸径(22.1)	良	褐褐色	密 角閃石・白色粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ、胴部横状工具縦配による刷毛文4段 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整、体部横ヘラケズリ	黒斑 外面煤付着
21	D-2 Ⅲ-①層	土師器 壺	1/8	口径(13.2) 器高(11.1)	良好	褐色	密 雲母・白色粒	外面：口頸部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着
22	C-2 Ⅲ-②層	土師器 壺	口縁～胴 部1/5	口径(14.4) 器高(7.5)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：縦ナデ 内面：口頸部横ナデ、頸部下半指頭調整、胴部横ヘラケズリ	内外面煤付着
23	F-1 Ⅲ-②層	十師器 壺	口縁～胴 部1/4	口径(13.1) 器高(7.1)	良	褐褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、胴部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部下半指頭調整、胴部横ヘラケズリ	
24	C-3 Ⅲ-②層	十師器 壺	口頸部 7/8	口径(14.5) 器高(6.4)	良	灰褐色	密 砂粒・白色粒	外面：口縁部横ナデ、口縁部以下横ヘラミガキ 内面：口縁端部横ナデ、口縁部以下横ヘラミガキ	外面煤付着
25	F-2 Ⅲ-②層	土師器 壺	口縁～胴 部1/8	口径(13.8) 器高(6.9)	良	褐褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部ヘラ状工具による直線文4条、体部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部下半指頭調整、胴部横ヘラケズリ	
26	G-1 Ⅲ-②層	土師器 壺	口縁～胴 部1/4	口径(11.8) 器高(5.2)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	
27	G-2 Ⅲ-②層	土師器 壺	口縁～胴 部1/4	口径(14.0) 器高(8.0)	良	灰茶色	密 雲母・石英・白色粒	外面：縦ナデ 内面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	内外面煤付着

28	D-1 Ⅱ-②層	土師器 甕	口縁一体部	口径:12.5 器高:(10.9) 最径:(16.8)	良	橙褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面:口部部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面:口部部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着	
29	C-2 Ⅱ-②層	土師器 鉢	底片	底径:(16.6) 器高:4.3	良	褐色	密 砂粒・雲母	外面:横ナデ 内面:口部部横ナデ、胴部部横ヘラケズリ	内部口縁部破損	
30	D-1 Ⅱ-③層	土師器 甕	口縁一体部	口径(8.4) 器高(5.3)	良	褐色	密 雲母・白色粒	外面:口縁部横ナデ、胴部以下縦・斜め・横ハケメ 内面:口部部横ナデ、胴部部横調整、体部指頭調整→横ヘラケズリ		
31	F-1 Ⅱ-⑦層	土師器 甕	2/3	口径(8.8) 胴径:11.3 最径:(11.2)	良	褐色	密 石英・小石粒・雲母	外面:口縁部一胴部横ナデ、胴部横位工具痕部による羽状文2段、体部縦・横ハケメ 内面:口部部横ナデ、体部指頭調整→横ヘラケズリ		
32	F-2 Ⅱ-②層	土師器 甕	完形	口径:7.8 器高:7.6 底径:4.5	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面:口縁部横・斜めヘラミガキ、体部横ハケメ→横・斜めヘラミガキ 内面:口部部横ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半指頭調整		
33	H-2 Ⅱ-③層	土師器 甕	口縁一体部	口径(19.8) 器高(10.5) 胴径(19.7)	良	褐色	密 雲母・石英多量・砂粒	外面:口縁部横ナデ、頸部以下縦・斜め・横ハケメ 内面:口部部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ	内外面煤付着	
34	D-3 Ⅱ-①層	土師器 甕	口部破片1/8	口径(31.2) 器高:(2.9)	良	橙褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面:口縁部横ナデ、頸部縦ハケメ 内面:口部部横ナデ、頸部下半横ヘラケズリ		
35	F-1 Ⅱ-③層	土師器 小型丸底壺	2/3	口径:10.7 器高:7.8 胴径:8.1	良	褐色	密 角閃石・雲母・石英・砂粒	外面:口部部横ヘラミガキ、体部縦・横ハケメ 内面:口縁部横ナデ、口縁部横ハケメ→指頭調整、頸部横ナデ、体部指頭調整	内外面煤付着	
36	H-2 Ⅱ-②層	土師器 小型丸底壺	1/3	口径:(11.4) 器高:6.9 胴径:(7.6)	良	褐色	密 雲母・石英多量・砂粒	外面:口縁部横ヘラミガキ、体部縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面:口部部横ナデ、胴部横ハケメ、体部横ヘラケズリ	外面体部張熱痕	
37	B-2 Ⅱ-②層	土師器 小型丸底壺	1/2	口径:(8.8) 器高:(6.9) 胴径:(7.4)	良	褐色	密 雲母・石英多量	外面:口縁部横・斜めヘラミガキ、体部横ハケメ→横ヘラミガキ 内面:口部部横ナデ、体部指頭調整		
38	F-2 Ⅱ-②層	土師器 小型丸底壺	1/2	口径:(11.0) 器高:(6.8) 胴径:(9.2)	良	褐色	密 角閃石・白色粒	外面:口部部横ヘラミガキ、体部横ヘラミガキ 内面:口部部横ヘラミガキ、頸部ナデ、体部横ヘラミガキ	黒斑	
39	I-3 Ⅱ-②層	土師器 小型丸底壺	1/2	口径:(10.9) 器高:(7.5) 胴径:(8.6)	やや良	橙褐色	密 角閃石・石英・白色粒	外面:口縁部横ナデ→横ヘラミガキ 内面:口縁部横ナデ、頸部一胴部指頭調整、体部横ハケメ・横ヘラケズリ、底部指頭調整	内外面口縁部焼熱痕	
40	G-1 Ⅱ-②層	土師器 小型丸底鉢	完形	口径:11.5 器高:6.8	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面:口縁部横ナデ、体部縦ハケメ 内面:口部部横ナデ、体部横ヘラケズリ→指頭調整	内外面煤付着	
41	G-1 Ⅱ-②層	土師器 小型丸底鉢	破片	口径:(11.3) 器高:(3.6)	良	褐色	密	内外面:横ヘラミガキ		
42	H-2 Ⅱ-②層	土師器 小型丸底鉢	破片	口径:(11.8) 器高:(3.6)	やや良	橙褐色	密 雲母・石英・白色粒	内外面:横ヘラミガキ		
43	F-2 Ⅱ-③層	土師器 高坏	2/3	口径:(13.6) 器高:9.3 高坏:(6.0)	やや良	黄灰白色	密 角閃石・雲母・石英・白色粒	外面:坏部縦ハケメ→横ヘラミガキ、坏底部ヘラケズリ、脚柱部縦ヘラミガキ、脚部指頭調整→横ナデ 内面:坏部横・縦ハケメ→横ヘラミガキ、脚柱部縦・横ヘラケズリ、脚部指頭調整→ハケメ→横ナデ 接合部内壁充填法		
44	G-2 Ⅱ-③層	土師器 高坏	口縁一脚部1/4	口径:(15.1) 器高:(11.3)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面:縦・横ヘラミガキ 内面:坏部横・縦ハケメ、脚柱部横ヘラケズリ 接合部内壁充填法		
45	G-2 Ⅱ-②層	土師器 高坏	2/3	口径:(14.5) 脚径:(12.8)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面:坏部縦ハケメ→横ヘラミガキ、坏底部ハケメ、脚柱部縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面:坏部横・縦ハケメ→横ヘラミガキ、脚柱部横ヘラケズリ 接合部内壁充填法		
46	D-3 Ⅱ-③層	土師器 高坏	坏部	口径:(15.0) 器高:(4.9)	良	褐色	密 滑石・石英・砂粒	内外面:坏部横・縦ハケメ 接合部内板充填法	内外面煤熱痕	
47	F-2 Ⅱ-②層	土師器 高坏	坏部2/3	口径:(15.0) 器高:(5.5)	良	黄灰白色	密	外面:横ヘラミガキ、底部縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面:横・縦ハケメ 接合部内板充填法	内外面口縁部煤付着	
48	A-2 Ⅱ-②層	土師器 高坏	坏部1/2	口径:(15.2) 器高:(6.3)	良	褐色	密 雲母・石英	外面:縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面:横・縦ヘラミガキ 接合部内板充填法		
49	F-2 Ⅱ-②層	土師器 高坏	坏部1/3	口径:(12.4) 器高:(4.1)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面:坏部斜のハケメ、脚柱部縦ヘラミガキ 内面:横・縦・斜ヘラミガキ		
50	G-2 Ⅱ-②層	土師器 高坏	坏部2/3	口径:(17.2) 器高:(4.2)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面:坏部横ヘラミガキ、坏底部縦ハケメ 内面:坏部横・縦ヘラミガキ 接合部内板充填法		
51	G-2 Ⅱ-②層	土師器 高坏	坏部2/3	器高:(5.6)	良	褐色	密 石英・砂粒多量	外面:坏部横ヘラミガキ、坏底部ハケメ 内面:口縁部横ヘラミガキ・屯倉状土痕、坏部横ナデ 接合部内板充填法	内外面部黒斑部	
52	D-1 Ⅱ-③層	土師器 高坏 未製品	坏部1/3	口径:(14.4) 器高:(4.7)	良	褐色	密 滑石・石英・白色粒	外面:坏部ヘラケズリ→ナデ、脚柱部ヘラケズリ、脚穴(未穿孔) 内面:横ハケメ	外面煤付着	
53	C-3 Ⅱ-②層	土師器 低脚坏	完形	口径:14.4 器高:4.3 底径:4.5	良	橙褐色	密 石英・白色粒・砂粒	外面:坏部一脚部縦ハケメ→縦・縦ヘラミガキ、脚端部横ナデ 内面:坏部横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ		
54	D-2 Ⅱ-②層	土師器 低脚坏	1/3	口径:(16.2) 器高:3.6 底径:(4.7)	良好	灰黒色	密 雲母・白色粒	外面:坏部横ハケメ、脚部横ナデ 内面:坏部縦ヘラミガキ、脚部横ナデ	内外面一部黒付着	
55	D-1 Ⅱ-③層	土師器 低脚坏	1/2	口径:(12.7) 器高:7.4 底径:6.0	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面:口縁部横ナデ、坏部一脚部横・縦ヘラミガキ・赤目状坏痕、脚端部横ナデ 内面:坏部横ヘラミガキ、脚部横ナデ	脚部内面穿孔並中2箇	
56	D-1 Ⅱ-③層	土師器 低脚坏	器部	器高:(3.8) 底径:(5.6)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面:坏部横ハケメ→横ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面:内面坏部横ヘラミガキ、脚部横ナデ		

57	G-2 Ⅲ-②層	土師器 製形器台	ほぼ完形	口径:16.5 器高:9.5 底径:14.8	良	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁端部横ナデ、受部縦・縦ヘラミガキ、接合部板ナデ、脚部横・縦ヘラミガキ、脚端部横ナデ 内面：受部横ヘラミガキ、脚部横ヘラケズリ、脚端部横ナデ		
58	C-2 Ⅲ-③層	十師器 製形器内	脚部2/3	器高:(5.2) 底径:(14.6)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：受部～脚全部横ナデ、脚部縦ヘラミガキ 内面：受部縦・縦ヘラミガキ、脚部横ヘラケズリ、脚端部横ナデ 脚部以外は橙色		
59	G-2 Ⅲ-②層	土師器 長形器台	1/8	口径:16.6 器高:10.0 底径:15.2	良好	橙褐色	密 角閃石・黄母・石英・白色粒	外面：受部～脚部横ヘラミガキ、脚端部横ナデ 内面：受部横ヘラミガキ、接合部板ナデ、脚部横ヘラケズリ、脚端部横ナデ		
60	F-2 Ⅲ-②層	土師器 製形器台	脚部1/4	器高:(5.6) 底径:(16.4)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：接合部横ナデ、脚部縦・縦ヘラミガキ・布目圧痕、脚部横ナデ 内面：受合部横ナデ、脚部縦ヘラケズリ、脚端部横ナデ	内外面赤彩	
61	F-2 Ⅲ-②層	土師器 小型器台	1/2	口径:(7.7) 器高:6.6 底径:(9.4)	良	橙色	密 石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、受部縦間隔調整→縦ヘラミガキ、脚部縦ハケメ→縦ヘラミガキ、脚端部横ナデ 内面：受部指頭痕跡→縦ヘラミガキ、脚端部横ナデ 接合部受部・脚部から剥離		
62	G-1 Ⅲ-③層	十師器 小型器内	1/2	口径:8.6 器高:(6.1)	良	黄色	密 雲母・石英・砂粒	外面：縦・横ヘラミガキ 内面：受部横ヘラミガキ、接合部～脚部横ヘラケズリ 接合部受部から分離	外面口縁部煤付着	
63	D-2 Ⅲ-③層	土師器 小型器台	1/2	口径:(8.0) 器高:(5.0)	良	淡褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：横ヘラミガキ 内面：受部横ヘラミガキ、接合部～脚部横ヘラケズリ→ナデ		
64	G-2 Ⅲ-②層	土師器 小型器台	脚部1/4	器高:(6.7) 底径:(10.8)	良好	淡橙色	密 角閃石・石英・白色粒	外面：ハケメ→縦・横ヘラミガキ 内面：接合部ナデ、脚部上半ヘラケズリ、脚部下半指ハケメ 脚部指痕2個所残存		
65	A-2 Ⅲ-①層	十師器 器台？	接合部	器高:(2.5)	良好	褐色	密 角閃石・白色粒	外面：製成横太工具による直線文2条以上、ヘラ状工具による斜格子文 内面：受部～接合部ナデ、脚部ヘラケズリ		
66	G-2 Ⅲ-②層	土師器 鉢	つまみ部	高径:(2.6) 器高:(3.1)	良	黒灰色	密 雲母・砂粒	内外面：ナデ		
67	G-2 Ⅲ-③層	製塩土器	破片	口径:(7.6) 器高:(6.6)	やや良	黄灰白色	やや粗 石英・白色粒・砂粒	内外面：指頭調整→ナデ		
68	F-1 Ⅲ-②層	製塩土器	1/2	口径:(11.0) 器高:(7.3)	不良	褐色	粗 石英・小石粒・砂粒	内外面：指頭痕整・布目跡		
69	F-2 Ⅲ-①層	製塩土器	破片	口径:(10.6) 器高:(4.1)	やや良	褐色	密 石英・砂粒	内外面：指頭調整→ナデ	口縁部一部煤付着	
70	C-3 Ⅲ-①層	製塩土器	破片	口径:(11.8) 器高:(4.2)	やや良	褐色	密 石英・白色粒	内外面：指頭調整		
71	G-1 Ⅲ-①層	製塩土器	破片	口径:(13.4) 器高:(2.0)	やや良	黄灰白色	やや粗	内外面：指頭痕整→ナデ		
72	H-2 Ⅲ-①層	製塩土器	破片	口径:(8.4) 器高:(3.2)	やや良	褐色	やや粗 石英・砂粒	外面：指頭痕整 内面：指頭調整・布目跡		
73	E-1 Ⅲ-①層	手捏ね 土器	破片	口径:(11.6) 器高:(1.8)	良	黄灰白色	密	内外面：口縁端部横ナデ、指頭調整		
74	H-2 Ⅲ-①層	手捏ね 土器	破片	口径:(12.0) 器高:(2.0)	良	褐色	密	内外面：口縁端部横ナデ、指頭調整		
75	E-1 Ⅲ-①層	手捏ね 土器	破片	口径:(11.8) 器高:(2.0)	良	褐色	密	内外面：指頭調整→ナデ		
76	G-2 Ⅲ-①層	手捏ね 土器	破片	口径:(6.8) 器高:(1.8)	やや良	褐色	密	内外面：口縁端部横ナデ、指頭調整		
77	D-1 Ⅲ-②層	手捏ね 土器	破片	口径:(13.2) 器高:(1.6)	やや良	褐色	密	内外面：口縁端部横ナデ、指頭調整		
78	D-1 Ⅲ-②層	壺棺	破片	口径:(12.2) 胴径:(21.1)	良	褐色	密 角閃石・砂粒	外面：斜めハケメ、縦格子 内面：斜めヘラケズリ		
79	C-2 Ⅲ-②層	土師器 鉢	口縁部 1/4	口径:(18.2) 器高:(10.4)	良	褐色	密 石英・砂粒	外面：横ハケメ、縦格子 内面：横ヘラミガキ、横格子		
80	C-2 Ⅲ-②層	土師器 鉢	把手部	器高:(16.6) 底径:(17.0)	良	褐色	密 石英・砂粒	外面：体部縦・横ハケメ、把手部ヘラケズリ→指頭調整 内面：体部横ヘラケズリ・縦・横ハケメ	内面広口部煤付着	
81	G-2 Ⅲ-②層	手捏ね 土器	破片	器高:(2.0) 底径:(2.3)	良	褐色	密 雲母・白色粒	内外面：指頭痕→ナデ		
82	D-4 Ⅲ-②層	土師器 注口土器	把手部	幅：1.6 厚さ：1.8	良	褐色	密 角閃石・白色粒	外面：ヘラミガキ	外面煤付着	
83	D-1 Ⅲ-②層	土師器 注口土器	把手部	幅：2.0 厚さ：1.6	良	褐色	密 白色粒	外面：竹管文2条		
84	C-4 Ⅲ-②層	土師器 坩	破片	—	良	褐色	密	外面：ヘラケズリ 内面：ナデ	外底面線刻「×」 内外面赤彩	
85	B-1 Ⅲ-②層	土師器 坩	口縁 完形	口径:(16.0) 器高:32 底径:(7.6)	良好	橙褐色	密	外面：口縁端部横ナデ、口縁部～底部縦ヘラミガキ 内面：口縁端部横ナデ、口縁部～底部横ナデ	内外面赤彩	
87	H-2 Ⅲ-②層	土師器 加彩用皿	1/6	口径:(15.6) 器高:2.7 底径:(16.8)	良好	赤褐色	密	外面：ナデ、筆付着痕 内面：口縁部～体部ナデ、底部筆痕	内面底部筆付着	
88	B-1 Ⅲ-③層	土師器 鉢	5/8	口径:14.7 器高:2.9 底径:11.0	良	橙褐色	密 白色粒	外面：口縁部部横ナデ、口縁部横ヘラミガキ、体部下半横ヘラケズリ、底部ヘラケズリ→ヘラミガキ 内面：ナデ	内外面赤彩	
89	F-1 Ⅲ-①層	土師器 杯	1/8	口径:(12.6) 器高:(3.1) 底径:(7.4)	良	褐色	密 石英・砂粒	外面：口縁部～体部横ナデ、底部ヘラ切り→指頭押圧 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部指頭押圧→ナデ	口縁部外面1箇所内外面赤彩	
90	A-4 Ⅲ-②層	須恵器 転用土師	完形	長さ：2.7 幅：2.6 厚さ：0.7	良好	黄灰色	密	身体部転用	重量：4.2g	

91	F-2 Ⅲ→①層	須恵器 底部焼成	1/6	器高(2.1)	良好	赤褐色	密 砂粒	外面：体部回転ナデ、底部周転糸切り、周付高台 内面：体部ナデ、底部静止	外周底部墨書？	
92	D-K-F 1 Ⅱ→①層	須恵器 提瓶	体部	器高(17.8) 胴径(16.6) 頸5(11.0)	良好	灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：頸部ナデ、体部回転ヘラケズリ 内面：頸部ナデ、体部回転ナデ・ナデ	外面自然降灰	
93	F-2 Ⅲ→①層	須恵器 甕	破片	口径(39.0) 器高(8.2)	良好	青灰色	密 石英	外面：口縁部横ナデ・櫛状工具による波状文2条→ヘラ状工具による波線2条→叩き→ナデ 内面：横ナデ		
94	G-H-2 Ⅲ→②層	須恵器 甕	口縁～体部	口径(19.5) 器高(20.1) 胴径(30.7)	良好	暗赤灰色	密	外面：口縁部回転ナデ、頸部以下斜行叩き目 内面：口縁部回転ナデ、体部当て具による同心円文		
95	F-1 Ⅲ→①層	須恵器 甕	破片	口径(22.0) 器高(1.60)	良好	暗赤灰色	密	外面：口縁部回転ナデ、頸部以下斜行叩き目 内面：口縁部回転ナデ、肩部以下当て具による青海波文		
96	H-2 Ⅲ→①層	須恵器 甕	底部	器高(7.3) 胴径(15.4)	良好	青灰色	密 小石粒・砂粒	外面：体部平行叩き目、体部下半静止調整→斜めハケメ、底部ヘラケズリ 内面：体部静止調整→横・縦ナデ、底部ナデ		
97	G-1 Ⅲ→①層	須恵器 壺	1/3	器高(5.8) 高台径(8.6)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部周転糸切り→ナデ、貼付高台 内面：体部回転ナデ、底部ナデ		
98	F-1 Ⅲ→①層	須恵器 蓋	1/4	口径(12.8) 器高(2.4)	良好	赤褐色	密 砂粒	外面：回転ナデ 内面：ナデ		
99	D-1 Ⅱ→②層	須恵器 器種不明	1/8	口径(14.8) 器高(2.1)	良好	褐色	密 石英(φ5.5mm) 砂粒	外面：上端笠部回転ナデ、天井部回転ヘラケズリ 内面：口縁部回転ナデ、天井部静止	内面天井部墨付書	
100	D-1 Ⅲ→②層	須恵器 鉢	坏部～脚部	器高(9.2)	良好	青灰色	密 石英・砂粒	外面：受皿～脚部回転ナデ 内面：受部ナデ、脚部回転ナデ		
101	F-2 Ⅲ→②層	須恵器 坏	1/2	口径(12.4) 器高：3.9 底径：8.0	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
102	B-2 Ⅲ→②層	須恵器 坏	1/2	口径(12.4) 器高：4.9 底径：9.6	良好	暗赤灰色	密 雲母・小石粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：回転ナデ		
103	G-1 Ⅲ→②層	須恵器 坏	1/2	口径(12.8) 器高：4.1 底径：8.6	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
104	B-1 Ⅲ→①層	須恵器 坏	5/6	口径：12.1 器高：3.7 底径：9.3	良好	灰色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部周転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
105	H-2 Ⅲ→②層	須恵器 坏	1/2	口径(12.0) 器高：3.5 底径：8.2)	良好	青灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
106	F-2 Ⅲ→③層	須恵器 坏	1/2	口径(13.6) 器高：3.8 底径：9.2)	良好	青灰色	密 砂粒・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部静止糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
107	H-1 Ⅲ→③層	須恵器 坏	口径定形	口径(11.2) 器高：4.3 底径：8.4	良好	灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
108	H-2 Ⅲ→②層	須恵器 坏	1/3	口径(12.5) 器高：3.7 底径：9.4)	良好	赤褐色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部周転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
109	E-2 Ⅲ→②層	須恵器 坏	口径定形	口径(11.6) 器高：4.4 底径：7.6	良	暗赤灰色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
110	H-2 Ⅲ→③層	須恵器 坏	口径定形	口径(11.6) 器高：3.6 底径：7.4	良好	赤褐色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
111	H-2 Ⅲ→①層	須恵器 坏	1/2	口径(9.7) 器高：2.6 底径：6.6	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部周転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	内面口縁部～外面体部自然降灰	
112	D-C-1 Ⅲ→①層	須恵器 坏	1/2	口径(10.4) 器高：3.0 底径：7.0	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部周転糸切り 内面：周転ナデ	内外面自然降灰	
113	A-2 Ⅲ→①層	須恵器 坏	1/2	口径(8.8) 器高：2.9 底径：5.0)	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部周転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	外面底部墨上書付書	
114	B-2 Ⅲ→①層	須恵器 坏	1/2	口径：9.1 器高：2.3 底径：6.6	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	内面口縁部タール付着	
115	H-1 Ⅲ→①層	須恵器 坏	3/4	口径：8.9 器高：2.2 底径：6.1	良好	青灰色	密 砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
116	H-2 Ⅲ→①層	須恵器 蓋	1/4	口径(14.0) 器高：2.9 底径：9.4)	良好	青灰色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
117	F-2 Ⅲ→①層	須恵器 鉢	1/3	口径(13.2) 器高：2.9 底径：9.0)	良好	青灰色	密 砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
118	F-2 Ⅲ→①層	須恵器 坏	1/3	口径：9.8) 器高：2.7 底径：6.9)	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部下半ヘラケズリ、底部周転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
119	B-1-2 Ⅲ→①層	須恵器 坏	1/3	口径(10.0) 器高：2.2 底径：6.4)	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部周転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
120	A-B-1-1-2 Ⅲ→①層	須恵器 坏	1/3	口径：9.8) 器高：2.8 底径：6.4)	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部周転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
121	F-2 Ⅲ→①層	須恵器 坏	1/8	口径：9.8) 器高：2.4 底径：7.0)	良好	青灰色	密 砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部周転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、体部～底部ナデ	外面自然降灰	
122	E-1 Ⅲ→①層	須恵器 蓋	1/4	口径(14.0) 器高：2.9 底径(10.0)	良好	青灰色	密 砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部周転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		

123	C-1 Ⅲ ①層	須恵器 皿	1/3	口径(15.5) 器高：2.0 底径(10.6)	良好	灰白色	密 雲母・白色粒・黒色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
124	C-3 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/4	口径(12.8) 器高：4.6 底径：(8.2)	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部ヘラ切り、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
125	F-2 Ⅲ-①層	須恵器 坏	2/3	口径(14.9) 器高：6.4 底径(11.4)	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	内外面に線部一部煤付着
126	H-2 Ⅲ-①層	須恵器 皿	1/3	口径(15.3) 器高：2.4 底径(11.4)	良好	灰色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
127	F-2 Ⅲ-①層	須恵器 坩	1/3	口径(17.4) 器高：3.2 底径(11.8)	良好	青灰色	密 砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
128	G-2 Ⅲ-①層	須恵器 皿	破片	口径(14.2) 器高：2.2 底径(12.2)	やや良	褐色	密 小石粒・砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半～底部ヘラ切り 内面：回転ナデ	
129	G-2 Ⅲ-②層	須恵器 皿	1/8	口径(18.0) 器高：3.4 底径(13.4)	良好	青灰色	密 砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
130	T-1 Ⅲ ①層	須恵器 硯転用品	1/3	口径(13.6) 器高：2.0 底径：9.4)	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部磨耗	内面墨付着
131	E-1 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/3	器高(3.7) 底径(11.0)	良好	青灰色	密 雲母・白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：回転ナデ	外面底部線刻 底部中央穿孔
132	F-2 Ⅲ-①層	須恵陶器 鉢	底部	器高(1.2) 底径：6.1	良好	青灰色	密	外面：底部ヘラ切り、平高台 内面：ナデ	硯民色痕 底部底焦跡？
133	A-4 Ⅲ ①層	平瓦	1/8	厚さ(2.3)	良	灰白色	密 石英・白色粒	凸面：格子目状工具による叩き目 凹面：布目状平痕、模骨痕	
134	A-4 Ⅲ ①層	平瓦	破片	厚さ(2.1)	良	灰白色	密 石英・白色粒	凸面：格子目状工具による叩き目 凹面：布目状平痕、模骨痕	

第191表　2区弥生時代～古代包含層出土金属製品観察表（第403図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種　類	器　位残存率	材　質	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	その他計測値			重量（g）	備　考
135	K-2 Ⅲ-②層	小型鏡	完形	青銅	32	32	5				7.7	
136	B-1 Ⅲ-②層	鏡破片	1/4ほど完形	銅	動部(27)	円盤径：42	鈕部：4 円盤部：4	総合度 4	メタル度 錆化（八）	ランク 5	91.6	
137	F-1 Ⅲ-①層	帯金具 丸鞆	1/4ほど完形	銅	25	36	7				6.5	銅板3層 重化

第192表　2区弥生時代～古代包含層出土石器・石製品観察表（第403～405図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種　類	遺存状態	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	石　材	備　考
138	G-1 Ⅲ-①層	石鏃	完形	22	14	3	0.4	黒曜石	刃部角28度
139	H-2 Ⅲ-①層	石鏃	1/4ほど完形	(21)	16	4	1.0	サヌカイト	刃部欠損
140	C-1 Ⅲ-①層	石鏃	1/3ほど完形	(21)	(23)	3	1.3	黒曜石	刃部欠損
141	G-1 Ⅲ-②層	二次加工剥片	完形	23	22	10	4.6	黒曜石	
142	A-2 Ⅲ-①層	二次加工剥片	完形	21	29	8	4.4	玉髄	
143	H-2 Ⅲ-①層	二次加工剥片	完形	14	24	7	2.0	黒曜石	
144	G-1 Ⅲ-②層	石核	完形	30	22	13	6.5	玉髄	
145	A-1 Ⅲ-②層	石核	完形	26	26	16	10.9	玉髄	
146	H-1 Ⅲ-②層	石核	完形	26	21	23	12.9	玉髄	火打石？
147	G-2 Ⅲ-②層	石核	完形	23	32	15	10.8	水晶	
148	H-1 Ⅲ-②層	不明石製品	1/2	(13)	(20)	(8)	2.5	真岩	中央に穿孔
149	H-2 Ⅲ-③層	勾玉	未製品	44	14	5	6.1	頁岩	
150	D-1 Ⅲ-②層	磨製石斧	1/2	(84)	57	37	257.9	蛇紋岩	刃部角70度
151	F-1 Ⅲ-②層	鉄石製品	不明	(99)	56	38	344.5	砂岩	
152	A-1 Ⅲ-①層	打製石斧	未製品	129	(73)	(36)	314.9	安山岩	
153	F-1 Ⅲ-①層	砥石	1/2ほど完形	74	47	32	165.5	凝灰岩	砥石痕
154	D-1 Ⅲ-②層	砥石	1/3	(50)	(46)	(40)	106.5	凝灰岩	
155	G-2 Ⅲ-③層	砥石	2/3	(73)	(76)	(40)	334.9	花崗岩	
156	C-2 Ⅲ-②層	砥石	1/2	(32)	30	17	22.3	凝灰岩	
157	A-2 Ⅲ-②層	砥石	1/2	(37)	(27)	(20)	20.7	凝灰岩	仕上砥

158	C-2 Ⅲ-②層	鼠石	楕円定形	(81)	(80)	(45)	35.9	緑石		
159	D-4 Ⅲ-②層	浮子	1/2	55	59	26	14.5	緑石		
160	C-4 Ⅲ-③層	石錘	完形	86	83	40	358.7	角閃石安山岩	上打欠幅26mm・下打欠幅25mm	
161	C-3 Ⅲ-③層	石錘	1/2	104	(87)	(35)	324.3	デイサイト	上打欠幅(23)mm・下打欠幅(20)mm	
162	C-2 Ⅲ-③層	石錘	完形	120	75	48	607.7	角閃石安山岩	左打欠幅46mm・右打欠幅21mm	
163	B-2 Ⅲ-②層	石錘	完形	112	76	39	362.1	安山岩	左打欠幅32mm・右打欠幅14mm	
164	C-2 Ⅲ-③層	石錘	楕円定形	(215)	112	64	1580.1	デイサイト	左打欠幅(10.0)mm	
165	E-2 Ⅲ-②層	石錘	完形	158	82	35	594.5	デイサイト	左打欠幅25mm・右打欠幅15mm	
166	A-1 Ⅲ-③層	石錘	完形	131	81	36	573.4	デイサイト	左打欠幅21mm・右打欠幅18mm	
167	A-1 Ⅲ-②層	石錘	完形	113	60	17	176.4	デイサイト	左打欠幅30mm・右打欠幅33mm	
168	A-1 Ⅲ-③層	石錘	完形	110	80	37	378.1	角閃石安山岩	左打欠幅24mm・右打欠幅44mm	
169	C-4 Ⅲ-②層	石錘	楕円定形	(80)	54	33	193.8	角閃石安山岩	左打欠幅13mm・右打欠幅14mm	
170	C-3 Ⅲ-②層	石錘	完形	90	50	18	130.3	デイサイト	左打欠幅42mm・右打欠幅30mm	
171	E-4 Ⅲ-②層	敲石・凹石	楕円定形	100	(87)	34	303.3	安山岩		
172	D-1 Ⅲ-②層	磨石・凹石	完形	128	90	62	940.6	角閃石安山岩	縁付者	
173	A-2 Ⅲ-②層	敲石	楕円定形	(87)	72	68	570.7	デイサイト		
174	B-1 Ⅲ-③層	磨石・敲石	完形	132	75	39	578.6	デイサイト		
175	C-3 Ⅲ-②層	磨石・敲石	完形	130	83	80	1059.3	角閃石安山岩	縁付者	

第193表　3区弥生時代～古代包含層出土陶磁器・土器・土製品観察表（第406～410図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	器種	成・整 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	A-2 Ⅲ-②層	土師器 壺底部	口縁 ～体部	口径(10.5) 器高(2.9) 胴径(18.4)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ヘラミガキ、肩部横刷毛目の斜状文2条・出形文1条、体部横ヘラミガキ 内面：口縁部横ヘラミガキ、肩部横斜方向調整、体部横ヘラケズリ→ナデ	底部穿孔2箇
2	B-1 Ⅲ-②層	土師器 小皿	体部 破片	器高(3.1)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：ナデ→竹管文2条以上 内面：ヘラケズリ	
3	B-1 Ⅲ-②層	土師器 壺	底部 破片	器高(1.6) 底径(3.3)	良	褐色	密 石英・砂粒	外面：指頭調整→縦ハケメ 内面：指頭調整→縦ハケメ	内外面煤付着 庄内式
4	A・B-1 Ⅲ-②層	土師器 甕	口縁 ～体部	口径(26.1) 器高(7.5) 胴径(22.6)	良	灰褐色	密 石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、口縁部横ヘラミガキ→縦状丁具による波状文5条以上、頸部～体胴横ヘラミガキ→横ハケメ 内面：横ハケミガキ	
5	B-1 Ⅲ-②層	土師器 甕	口縁 ～体部	口径(18.1) 器高(6.5)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、口縁部横ヘラミガキ、頸部ナデ、頸部以下胴部に2条の平行文、体部縦ハケメ 内面：口縁部～肩部横ヘラミガキ、体部横ヘラケズリ	外面口縁部煤付着
6	B-1 Ⅲ-②層	土師器 甕	破片	口径(19.6) 器高(5.2)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下胴部に2条の列点文 内面：口縁部横ナデ、頸部横ヘラケズリ	
7	B-2 Ⅲ-②層	土師器 甕	破片	口径(17.0) 器高(4.4)	良	灰褐色	密 石英	外面：横ナデ、頸部横状工具痕部による列点文 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	口縁過部赤彩
8	B-2 Ⅲ-②層	土師器 坪(ミカキ土器	注口部	口径：2.0 注口長：7.0	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：長軸方向のヘラケズリ→ヘラミガキ 内面：注口部～体部ヘラケズリ	
9	B-1 Ⅲ-②層	土師器 壺	つまみ部	直径：3.3 厚さ(3.3)	良	褐色	密	内外面：ヘラミガキ	外面煤付着 穿孔
10	B-1 Ⅲ-②層	土師器 壺	口縁 ～体部	口径(25.5) 器高(10.9) 胴径(25.6)	良	褐色	密 雲母・石英（φ6mm） 白色粒（φ4mm）	外面：口縁部指頭調整→横ナデ、体部叩き目 内面：口縁部指頭調整→横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	
11	C-1 Ⅲ-②層	土師器 壺	口縁～胴部1/4	口径(14.8) 器高(7.9) 胴径(14.1)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口頸部横ナデ 内面：口頸部横ヘラケズリ、体部横ヘラケズリ	外面煤大量に付着 内面煤～部付着
12	B-1 Ⅲ-②層	土師器 壺	口縁部	口径(27.6) 器高(10.4)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、胸部以下横ハケメ、肩部～頸部ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整→ナデ、頸部以下縦ヘラケズリ	内外面煤付着
13	B-1 Ⅲ-②層	土師器 壺	口縁部 1/3	口径(26.4) 器高(9.6)	良	褐色	密 石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下縦ヘラケズリ	内外面煤付着
14	D-1 Ⅲ-②層	土師器 壺	破片	器高(5.6)	良	褐色	密 砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下ハケメ 内面：口縁部横ハケメ、頸部以下横ヘラケズリ	口縁外部黒斑有 「煤」？
15	B-1 Ⅲ-③層	土師器 鉢形部分	1/2	口径(24.6) 器高(13.5) 底径(20.2)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面：交互横ナデ→横状工具による横線3波状文、横分部横ハケメ、頸部横ナデ 内面：全面横ヘラミガキ→縦ヘラミガキ、頸部上半縦ハケラケズリ、頸部下半横ナデ	内面胴部～部煤付着
16	B-1 Ⅲ-②層	土師器 鉢形部内	1/3	口径(25.5) 器高(10.3)	良	褐色	密 石英・砂粒	外面：横ナデ 内面：全面横ヘラミガキ→縦ヘラミガキ、接合部以下横ヘラケズリ	

17	H-1 Ⅱ-②層	土師器 坏	底部 破片	器高（0.8） 底径（9.2）	良	灰褐色	密 角閃石・雲母	外面：底部回転糸切り 内面：ナデ				外底面以外赤彩 外底部墨書「脱」?
18	D-1 Ⅱ-②層	土師器 坏	底部 破片	—	良	橙褐色	密 白色粒	内外面：指頭調整→ナデ				全面赤彩 外底面墨書「＋」か「×」
19	A-1 Ⅱ-②層	土師器 坏	底部 破片	—	良	橙褐色	密 石英・白色粒	外面：ヘラケズリ→ナデ 内面：ナデ				内底面赤彩 外底墨書「＋」か「×」
20	A-2 Ⅱ-②層	土師器 坏	底部 破片	底径（6.0）	良	黄灰白色	密	外面：底部回転糸切り、貼付高台 内面：ナデ				内底面刻書「大」
21	C-2 Ⅱ-②層	土師器 坏	底部 破片	—	良	褐色	密 石英・白色粒	外面：回転糸切り 内面：ナデ				内面赤彩 外面黒線刻
22	B-2 Ⅱ-②層	土師器 坏	破片	器高（1.9）	良	橙褐色	密 雲母	内外面：ナデ				赤彩 内面線刻
23	C-1 Ⅱ-②層	土師器 坏	2/3	口径（13.0） 器高 32 底径（8.2）	良	褐色	密 石英・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部ヘラ切り→指頭押不 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部指頭押圧				全面赤系赤彩 内底面線刻 外底～部縁付着
24	B-1 Ⅱ-②層	土師器 坏	底部	器高（4.9） 底径（10.8）	良	橙褐色	密	外面：体部横ナデ、底部指頭調整、貼付高台 内面：ナデ				全面黄～赤彩 外底面線刻「×」
25	A-0 Ⅱ-②層	土師器 鉢用土器	完形	長径：6.0 幅：5.8 厚さ：0.8	良好	灰褐色	密	環境部組成				重量：32.5g
26	B-1 Ⅲ-②層	土師器 甕	1/3	口径（36.6） 器高：35	良	橙褐色	密	内外面：ナデ				外面口縁部～内面赤彩 黒斑 内面～部煤付着
27	A-1 Ⅲ-②層	土師器 甕	1/2	口径（13.7） 器高：27	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部回転ナデ、天井部回転ヘラケズリ→ナデ 内面：ナデ				全面赤彩
28	D-1 Ⅲ-②層	土師器 高坏	脚部	器高（7.3）	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：縦ヘラケズリ→ナデ 内面：坏部ナデ、脚付部縦ヘラケズリ				脚柱部内周以外赤系彩
29	B-1 Ⅲ-②層	土師器 坏	5/8	口径（17.0） 器高：3.9 底径（11.0）	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部～体部横ナデ、底部ヘラケズリ→指頭調整→ナデ 内面：口縁部横ナデ、体部横ナデ→横ヘラミガキ、底部指頭調整→ナデ				外底面以外赤彩
30	A-1 Ⅲ-②層	土師器 坏	5/8	口径（12.8） 器高：3.7 底径：9.0	良	褐色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部～体部横ナデ、体部下半ヘラケズリ、底部ヘラケズリ→指頭調整 内面：口縁部～体部横ナデ、底部指頭調整				全面赤～赤彩
31	A-1 Ⅲ-②層	土師器 坏	1/8	口径（11.8） 器高：3.6 底径（5.8）	良	褐灰色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部～体部横ナデ、体部下半ヘラケズリ 内面：口縁部～体部横ナデ、底部指頭調整				赤彩
32	A-1 Ⅲ-②層	土師器 坏	1/2	口径（12.9） 器高：3.4 底径：8.7	良	灰褐色	密 石英・白色粒	外面：口縁部～体部横ナデ、底部ヘラケズリ 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ				全面赤彩
33	A-1 Ⅲ-②層	土師器 皿	1/3	口径（22.4） 器高：2.4 底径（13.8）	良	褐灰色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部～体部横ナデ、底部ヘラケズリ→ナデ 内面：ナデ				全面赤彩
34	A-1 Ⅲ-②層	土師器 鉢	1/4	口径（14.8） 器高：1.5 底径（12.0）	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部～体部横ナデ、底部ヘラケズリ 内面：口縁部～体部横ナデ、底部指頭調整→ナデ				全面赤彩
35	C-1 Ⅲ-②層	土師器 皿	1/3	口径（12.8） 器高：1.6 底径（8.6）	良	黒褐色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部ヘラ切り→指頭押圧→ナデ 内面：ナデ				全面煤付着
36	A-1 Ⅲ-②層	土師器 坏	5/8	口径（12.7） 器高：2.7 底径：9.1	良	灰褐色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部ヘラ切り→指頭押圧 内面：口縁部～体部横ナデ、底部指頭押圧→ナデ				外底面以外赤彩
37	E-1 Ⅲ-②層	土師器 坏	1/4	口径（12.4） 器高：3.1 底径：8.5	良	褐灰色	密 黄砂・石英・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部ヘラ切り→指頭押不 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部指頭押圧→ナデ				全面赤彩
38	A-2 Ⅲ-②層	土師器 坏	1/4	口径（13.4） 器高：3.2 底径：9.0	良	灰褐色	密 砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部ヘラ切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部指頭押圧→ナデ				全面赤彩
39	A-1 Ⅲ-②層	土師器 坏	1/4	口径（12.8） 器高：3.3 底径：8.0	良	灰褐色	密 砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部ヘラ切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ				全面赤彩
40	A-1 Ⅲ-②層	土師器 坏	1/3	口径（13.6） 器高：3.2 底径：9.6	良	灰褐色	密 石英・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部ヘラ切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ				全面赤彩
41	C-2 Ⅲ-②層	土師器 坏	1/2	口径（13.4） 器高：4.0 底径：7.4	良	褐色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部ヘラ切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部指頭押圧→ナデ				口縁～部煤付着
42	B-1 Ⅲ-②層	土師器 皿	2/3	口径（14.1） 器高：2.0 底径（7.6）	良	褐色	密 石英・砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半ヘラケズリ、底部ヘラケズリ→ナデ、貼付高台 内面：口縁部～体部横ナデ、底部指頭調整→ナデ				全面赤彩
43	A-1 Ⅲ-②層	土師器 鉢	口縁 完形	口径：15.5 器高：3.6 底径：11	良	褐灰色	密 石英・白色粒	外面：口縁部～体部横ナデ、体部下半ヘラケズリ、底部ヘラケズリ→ナデ、貼付高台 内面：口縁部～体部横ナデ、底部指頭調整→ナデ				器内内部以外赤彩
44	B-1 Ⅲ-②層	土師器 坏	1/3	口径（12.6） 器高：3.2 底径（9.4）	良	灰褐色	密 石英・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：ナデ				全面赤彩
45	C-1 Ⅲ-②層	土師器 坏	口縁 完形	口径（11.8） 器高：5.0 底径（6.5）	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り→板状圧痕 内面：口縁部～体部回転ナデ、体部ドキ指頭調整、底部ナデ				
46	C-1 Ⅲ-②層	土師器 坏	1/2	口径（11.6） 器高：4.4 底径（5.8）	良	褐灰色	密 雲母・黒色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：回転ナデ				
47	B-1 Ⅲ-②層	土師器 坏	1/4	口径（12.4） 器高：3.3 底径（5.8）	良	褐色	密 石英・砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り→板状圧痕 内面：回転ナデ				内面煤付着

48	A-2 Ⅲ-3層	土師器 坏	2/3	口径(12.2) 器高：5.5 底径：(6.6)	良	橙色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ，体部下半強調押圧，底部ヘラ切り→ナデ，貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ，底部ナデ		外面一部煤付着
49	A-2 Ⅲ-2層	土師器 坏	5/8	口径(13.2) 器高：3.7 底径：(6.6)	良	橙褐色	密 石英・白色粒・砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ，貼付高台 内面：回転ナデ		
50	D-2 Ⅲ-3層	土師器 坏	5/8	口径(13.5) 器高：6.8 底径：(8.7)	良	浅黄色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ，貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ，底部強調押圧		全面茶赤彩
51	C-1 Ⅲ-2層	土師器 坏	2/3	口径(15.8) 器高：4.6 底径：(6.6)	良	橙色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ，底部回転糸切り 内面：回転ナデ		
52	A-0 Ⅲ-3層	土師器 坏	口縁完形	口径(16.4) 器高：4.3 底径：(6.9)	良	橙色	密 雲母・石英・白色粒・赤色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ，底部回転糸切り 内面：回転ナデ		内外周煤付着 内面黒斑タール？付着
53	C-2 Ⅲ-3層	土師器 坏	1/3	口径(12.1) 器高：3.0 底径：(9.0)	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：回転ナデ，体部下半強調熱色，底部ヘラ切り 内面：回転ナデ→黒色処理，底部強調押圧		黒色土器 外面一部黒斑 内面煤付着
54	B-1 Ⅲ-2層	土師器 皿	1/10	口径(13.8) 器高：2.2 底径：(8.0)	良	橙色	密 白色粒・砂粒	外面：口縁部～体部端ヘラミガキ，底部回転糸切り，貼付高台 内面：黒色処理→ヘラミガキ		黒色土器
55	A-1 Ⅱ-2層	土師器 坏	2/3	口径(13.4) 器高：(6.6)	良	橙色	密 雲母・砂粒	外面：体部回転ナデ，底部ナデ，貼付高台 内面：黒色処理→ヘラミガキ		黒色土器 内面煤付着
56	B-2 Ⅱ-2層	土師器 坏	1/10	器高：3.0 底径：(8.4)	良	灰褐色	密 雲母・白色粒	外面：体部横ヘラミガキ，貼付高台 内面：黒色処理→ヘラミガキ		黒色土器
57	A-1 Ⅱ-2層	手捏ね 十器	破片	口径(12.0) 器高：(2.4)	良	灰褐色	密 砂粒	内外面：指頭調整→ナデ		
58	B-2 Ⅱ-2層	手捏ね 土器	破片	口径(10.8) 器高：(1.7)	良	橙色	密 雲母・砂粒	内外面：指頭調整→ナデ		
59	D-1 Ⅱ-2層	手捏ね 土器	破片	口径：(9.2) 器高：(1.4)	良	橙色	密 砂粒	内外面：指頭調整→ナデ		
60	B-1 Ⅱ-3層	手捏ね 土器	破片	口径：(9.0) 器高：(1.7)	良	橙色	密 雲母・砂粒	内外面：指頭調整→ナデ		
61	B-1 Ⅱ-2層	製塩土器	破片	口径(12.4) 器高：(4.6)	やや良	橙褐色	やや粗 石英(≦5mm)・砂粒	内外面：指頭調整		
62	A-1 Ⅱ-2層	製塩土器	破片	口径(13.4) 器高：(3.9)	やや良	橙褐色	やや粗 小石粒・砂粒	内外面：指頭調整		
63	C-2 Ⅱ-2層	製塩土器	破片	口径(12.4) 器高：(5.3)	やや良	橙褐色	やや粗 雲母・石英・砂粒	外面：指頭調整 内面：指頭調整・布目跡		
64	A-1 Ⅱ-3層	製塩土器	破片	口径(11.2) 器高：(3.6)	やや良	橙色	やや粗 石英・白色粒	内外面：指頭調整		内面下半内容物付着
65	C-1 Ⅱ-2層	製塩土器	破片	口径(12.4) 器高：(5.0)	やや良	橙褐色	やや粗 雲母・石英・砂粒	外面：指頭調整 内面：口縁部横ナデ，体部指頭調整・布目跡		
66	C-1 Ⅱ-3層	製塩土器	破片	口径(9.2) 器高：(4.5)	やや良	橙色	やや粗 雲母・石英・砂粒	内外面：指頭調整		
67	D-2 Ⅱ-2層	須恵器	破片	器高：(6.6) 胴径：(33.6)	良	灰色	密 石英・砂粒	外面：縦ハケメ，突帯部ナデ 内面：斜めハケメ		
68	C-1・2 Ⅱ-2層	須恵器	破片	器高：(8.1) 胴径：(30.0)	良	橙色～黒褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：指頭調整→縦ハケメ 内面：横ハケメ 下端部ナデ		内面煤付着
69	A-0 Ⅲ-2層	土師器 移動式竈	袖部	器高(24.4) 幅：(8.9) 厚さ(19.3)	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	底部：ヘラケズリ→ナデ→　部指頭調整 内面：体部ヘラケズリ→　部指頭調整		体部内面煤付着
70	D-1 Ⅲ-1層	土製品 支脚	体部	器高(14.5) 幅：(8.7) 厚さ(8.8)	良	褐色	密 石英・砂粒	体部：縦ヘラケズリ 脚部内面：ヘラケズリ		体部一部煤付着
71	C-1 Ⅲ-2層	鞴羽口	破片	長さ：(6.1) 幅：(3.4) 厚さ：(2.8)	良	灰褐色～黄色	密 石英・砂粒	内外面：ヘラケズリ		
72	A-1 Ⅲ-2層	鉄釉陶器 碗	破片	口径(12.8) 器高：(2.1)	良好	青灰色	密	内外面：回転ナデ		緑色釉
73	C-D-1・2 Ⅲ-2層	須恵器 甕	口縁～胴部	口径(34.6) 器高(11.1)	良好	灰色	密 角閃石・白色粒	外面：口縁部回転ナデ→櫛状工具による波状文2条、胴部平行叩き目 内面：口縁部回転ナデ，胴部当具による青海波文		
74	D-E-1 Ⅲ-2層	須恵器 甕	口縁～胴部	口径(34.6) 器高(11.1)	良好	青灰色	密 角閃石・白色粒	外面：口縁部回転ナデ→ヘラ状工具による波状文2条 内面：口縁部回転ナデ，胴部当具による青海波文		外周頸部帯？付着
75	B-1 Ⅲ-3層	須恵器 甕	口頸部破片	口径(28.8) 器高：(7.1)	良好	青灰色	密	外面：回転ナデ，口縁端部ヘラ状工具による波状文1条，口縁部櫛状櫛状工具による波状文2条 内面：回転ナデ		
76	A-2 Ⅲ-3層	須恵器 甕	胴1/2	器高：(9.3) 底径：(8.6)	良好	青灰色	密 石英・砂粒	外面：回転ナデ 内面：頸部絞り，体部回転ナデ		頸部一体部上半自然釉付
77	B-C-2 Ⅲ-2層	須恵器 甕	口縁～胴部1/2	口径(19.2) 器高：(5.8)	良好	青灰色	密 雲母・石英	内外面：回転ナデ		
78	A-1 Ⅲ-2層	須恵器 甕	底部1/2	器高：(4.0) 底径：(8.6)	良好	青灰色	密 砂粒	外面：体部回転ナデ，底部回転糸切り，貼付高台 内面：回転ナデ		外周体部ヘラによる線刻？
79	A-1 Ⅲ-2層	須恵器 甕	口縁～胴部破片	口径(15.2) 器高：(6.3)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部回転ナデ，冠部平行叩き目 内面：口縁部回転ナデ，頸部指頭調整→ナデ，冠部当具による青海波文		
80	B-1 Ⅲ-2層	須恵器 甲類	把手	長さ：(2.6) 幅：(3.0) 厚さ：(1.0)	良好	暗赤灰色	密 白色粒	外面：ヘラケズリ 内面：回転ナデ		
81	A-1 Ⅲ-3層	須恵器 提瓶	把手	幅広：(8.4)	良好	暗赤灰色～赤褐色	密 白色粒	外面：回転ナデ→平行叩き目 内面：横ヘラケズリ		

82	D-1 Ⅲ-①層	須恵器 壺	口縁～胴部破片	口径(21.5) 器高(8.9)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口頸部回転ナデ、胴部下行切り目 内面：口縁部回転ナデ、胴部指頭圧痕→ナデ、胴部当具による青海波文		
83	A-2 Ⅲ-①層	須恵器 壺	口縁部破片	口径(17.1) 器高(4.5)	良好	明赤灰色	密 白色粒	外面：口縁部平行叩き具→ナデ、胴部斜叩き 内面：口縁部回転ナデ、頸部指頭圧痕→ナデ、胴部当具による青海波文	胴部外面・口縁部内面自然釉灰	
84	D-1 Ⅲ-①層	須恵器 壺	底部1/3	器高(4.6) 底径(13.4)	良好	灰色	密 白色粒	外面：体部平行叩き目、底部ヘラケズリ 内面：体部当たりによる青海波文、体部下半指頭圧痕→ナデ、底部ナデ		
85	B-1 Ⅲ-①層	須恵器 蓋	5/8	口径(17.0) 器高 2.0	良好	灰色～青灰色	密	外面：口縁部回転ナデ、天井部回転ヘラケズリ 内面：口縁部～体部回転ナデ、天井部ナデ		
86	B-1 Ⅲ-①層	須恵器 蓋	1/4	口径(12.7) 器高(2.1)	良好	青灰色	密 石英・白粒	外面：口縁部回転ナデ、天井部回転ナデ→ヘラケズリ 内面：回転ナデ		外面煤付着
87	B-1 Ⅲ-②層	須恵器 蓋転用硯	1/4	口径(12.8) 器高 2.0	良好	青灰色	密 雲母・白色粒	外面：回転ナデ 内面：口縁部回転ナデ、天井部ナデ		
88	E-2 Ⅲ-②層	須恵器 蓋転用硯	破片	器高(1.6)	良好	青灰色	密 石英・白色粒	外面：回転ナデ 内面：煤黒		内面未整付着
89	A-2 Ⅲ-②層	須恵器 坏	2/3	口径(12.2) 器高 4.5 底径(8.4)	良好	暗赤灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
90	A-1 Ⅲ-③層	須恵器 坏	2/3	口径(11.2) 器高 4.3 底径 7.2	良好	暗赤灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
91	D-1 Ⅲ-①層	須恵器 坏	5/8	口径(13.6) 器高 5.3 底径 9.1	やや良	黄灰白色	密 石英	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
92	H-1 Ⅲ-②層	須恵器 坏	1/4	口径(14.0) 器高 4.1 底径(10.2)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
93	B-2 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/4	口径(10.4) 器高 4.6 底径(6.6)	良好	暗赤灰色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
94	B-1 Ⅲ-②層	須恵器 坏	1/2	口径(12.1) 器高 4.5 底径(7.8)	良好	赤褐色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
95	B-1 Ⅲ-②層	須恵器 坏	1/2	口径(12.8) 器高 4.8 底径 9.6	良	灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
96	B-2 Ⅲ-②層	須恵器 坏	2/3	口径(11.5) 器高 4.2 底径(6.3)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部ヘラケズリ 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
97	C-1 Ⅲ-②層	須恵器 坏	1/2	口径(12.9) 器高 2.4 底径(8.8)	良好	赤褐色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
98	B-1 Ⅲ-③層	須恵器 坏	2/3	口径(15.2) 器高 2.5 底径(12.4)	良好	灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
99	D-2 Ⅲ-①層	須恵器 坏	2/3	口径(15.2) 器高 2.5 底径(11.4)	良	灰色	密 石英・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
100	B-2 Ⅲ-②層	須恵器 灯明皿	1/4	口径(8.0) 器高 2.8 底径(6.0)	良	暗赤灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		口縁部内外面タール付着
101	A-2 Ⅲ-②層	須恵器 灯明皿	破片	器高 2.8 底径(6.0)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部ヘラケズリ 内面：回転ナデ		外面内外面底部タール付着 口縁部内面タール付着
102	B-1 Ⅲ-③層	須恵器 灯明皿	1/4	口径(10.2) 器高 3.0 底径(5.8)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		口縁部内外面タール付着
103	B-1 Ⅲ-②層	須恵器 坏	5/8	口径(13.6) 器高 4.0 底径 7.8	良好	灰色	密 砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半ヘラケズリ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
104	B-2 Ⅲ-②層	須恵器 坏	1/4	口径(11.4) 器高 4.0 底径(7.6)	良好	青灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
105	C-1 Ⅲ-②層	須恵器 坏	1/4	口径 12.6 器高 4.2 底径 8.2	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り・貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
106	H-2 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/4	口径(13.4) 器高 6.3 底径(10.4)	良好	青灰色～赤褐色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部ヘラケズリ・貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
107	C-1 Ⅲ-②層	須恵器 坏転用板	1/4以 定形	口径 19.1 器高 3.5 底径(12.0)	良	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り・貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部磨耗		
108	C-2 Ⅲ-①層	須恵器 坏	5/8	口径 17.8 器高 3.7 底径 10.9	良	青灰色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り・貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
109	B-1 Ⅲ-②層	須恵器 坏	5/8	口径 18.4 器高 2.9 底径 14.9	良	暗赤灰色	密 角閃石・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り・貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	口縁部外面煤付着	
110	A-1 Ⅲ-①層	須恵器 部厚用硯	破片	口径(13.0) 器高 1.5 底径(7.0)	良好	青灰色	密 砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部磨耗		
111	D-1 Ⅲ-①層	須恵器 坏転用硯	底部破片	器高(1.0) 底径(10.0)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：底部磨耗		内面底部墨付着
112	A-1 Ⅲ-①層	須恵器 坏転用硯	底部破片	器高(1.3) 底径(8.5)	良好	青灰色	密 角閃石・白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：体部回転ナデ、底部磨耗		内面底部墨跡・白色顔料？付着
113	B-2 Ⅲ-①層	須恵器 坏転用硯	底部1/8	器高(1.8) 底径(11.0)	良	灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：体部回転ナデ、底部磨耗		

114	D-1 Ⅲ-①層	須恵器 壺	破片	器高(1.9)	良好	青灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：口縁部縦斜ナデ、天井部ヘラケズリ 内面：回転ナデ		外面天井部周辺 外面口縁部黒色斑点 外面に自然釉付着
115	C-1 Ⅱ-①層	須恵器 坏	1/2	口径(11.4) 器高：3.9 高台径(7.2)	良好	灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		外面底部底面ヘラ描き・線刻
116	D-1 Ⅱ-①層	須恵器 坏蓋用鍔	底部1/2	器高(4.6) 高台(10.0)	良好	青灰色	密 黄褐・白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り、粘付高台 内面：体部回転ナデ、放射線状		外面高台内面刻
117	C-1 Ⅲ-②層	須恵器 坏	1/2	口径(12.8) 器高：3.7 底径(11.8)	良好	赤褐色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、粘付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		外面高台内墨書【O】?
118	D-1 Ⅱ-①層	須恵器 坏	1/2	器高(2.6) 高台径(6.8)	良	青灰白色	密	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り、粘付高台 内面：体部回転ナデ、底部ナデ		外面高台内墨書【寺】
119	E-2 Ⅲ-②層	須恵器 坏	破片	口径(12.8) 器高(3.8)	良	灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ 内面：口縁部～体部回転ナデ		外面焼付書墨痕 えそ
120	E-2 Ⅲ-③層	須恵器 鉢転十器	完形	長径：3.0 幅：2.9 厚さ：1.2	良好	青灰色	密	受体部転用		重量：14.6g
121	K-2 Ⅲ-③層	須恵器 転用土器	完形	長径：3.1 幅：2.7 厚さ：1.4	良好	青灰色	密	受体部転用		重量：12.2g
122	E-2 Ⅲ-③層	須恵器 転用土器	完形	長径：3.3 幅：2.7 厚さ：1.3	良好	青灰色	密	受体部転用		重量：10.9g
123	E-2 Ⅲ-③層	須恵器 転用土器	完形	長径：2.8 幅：2.7 厚さ：0.9	良好	青灰色	密	受体部転用		重量：9.0g
124	K-2 Ⅲ-③層	須恵器 転用土器	完形	長径：2.6 幅：2.5 厚さ：1.4	良好	青灰色	密	受体部転用		重量：10.4g
125	A-2 Ⅲ-③層	須恵器 転用土器	完形	長径：2.4 幅：2.2 厚さ：0.9	良好	青灰色	密	受体部転用		重量：7.6g
126	B-1 Ⅲ-③層	須恵器 転用土器	完形	長径：2.4 幅：2.0 厚さ：0.7	良好	青灰色	密	受体部転用		重量：5.8g
127	A-1 Ⅲ-③層	須恵器 鉢転十器	完形	長径：2.3 幅：2.2 厚さ：0.9	良好	青灰色	密	受体部転用		重量：6.1g
128	C-1 Ⅲ-③層	須恵器 転用土器	完形	長径：2.4 幅：2.1 厚さ：1.1	良好	青灰色	密	受体部転用		重量：7.2g
129	A-0 Ⅲ-③層	須恵器 転用土器	完形	長径：2.3 幅：2.3 厚さ：0.8	良好	青灰色	密	受体部転用		重量：5.5g
130	A-1 Ⅲ-②層	須恵器 転用土器	完形	長径：2.3 幅：2.1 厚さ：1.3	良好	青灰色	密	受体部転用		重量：8.2g
131	B-1 Ⅲ-②層	須恵器 転用土器	完形	長径：2.1 幅：1.9 厚さ：1.0	良好	青灰色	密	受体部転用		重量：5.6g
132	B-1 Ⅲ-①層	須恵器 転用土器	完形	長径：1.9 幅：1.9 厚さ：0.9	良好	青灰色	密	受体部転用		重量：5.3g
133	B-1 Ⅲ-①層	須恵器 転用土器	完形	長径：1.8 幅：1.8 厚さ：1.2	良好	青灰色	密	受体部転用		重量：4.8g
134	B-1 Ⅲ-②層	須恵器 土錘	1/2	長径：4.7 幅：1.7 厚さ(1.1)	良好	青灰色	密			重量：8.6g
135	D-1 Ⅲ-①層	須恵器 壺底	胴部破片	長径(11.8) 幅(9.6) 厚さ(4.7)	良好	青灰色	密	外面：ヘラケズリ→工具によるナデ 内面：ヘラケズリ→工具によるナデ		
136	A-2 Ⅲ-①層	平瓦	1/4	厚さ(2.1)	良	明灰白色	密 石英 (φ10mm)	凸面：格子目状工具による叩き目 凹面：布目状圧痕 側面：ヘラ切り→ナデ		

第194表　3区弥生時代～古代包含層出土金属製品観察表（第410・411・413図）

遺物No.	遺構・地区出土地区	種　類	部　位 残存率	材　質	最大長（cm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	断面形	メタル度	ランク	重量（g）	備　考
137	C-1 Ⅲ-①層	鉸具軸	ほぼ 完形	鉄	軸部(265)	円盤部：47	軸部：4 円盤部：4	錆化（△）	3	79.4		
138	K-2 Ⅲ-①層	鉸具軸	ほぼ 完形	鉄	軸部(185)	円盤部：47	軸部：3 円盤部：2	錆化（△）	5	18.2		
139	B-1 Ⅲ-②層	鉸具軸	円盤部～ 軸部	鉄	軸部(50)	円盤部：49	軸部：4 円盤部：3	錆化（△）	4	31.2		
140	C-2 Ⅲ-②層	鉸具軸	円盤部	鉄	—	円盤部：57	円盤部：2	錆化（△）	3	15.5	巻孔2個	
141	A-1 Ⅲ-①層	鉸具軸	円盤部	鉄	—	円盤部：46	円盤部：5	錆化（△）	4	18.6		
142	C-1 Ⅲ-②層	刀子?	ほぼ 完形	鉄	全長(106) 刃部(58) 茎部(48)	刃部：24 峯部：15	刃部：2 茎部：2	錆化（△）	4	23.1		
143	A-1 Ⅲ-①層	鐔	大部	鉄	68	27	2	5	H(○)	3	11.7	
144	B-1 Ⅲ-②層	銅付木金具	ほぼ 完形	銅	隅部径：30 金具部：90	隅部：3 金具部：4	隅部：3 金具部：4	4	L(●)	5	14.2	
167	A-2 Ⅲ-①層	帯金具 丸鞆	完形	銅	21	36	11				16.3	表金具・裏金具付き

168	A-1 Ⅲ-①層	鉄鍋・棒状 不明品	鉄鍋 種類不明品	鉄	完形(98) 刃部(67) 軸部(31)	刃部(32) 軸部：4	刃幅：4 軸部：3			1235	
					—	5	3				
169	B-1 Ⅲ-②層	鉄製品 用途不明	—	鉄	鉄片部：33 鉄棒：27	鉄片部：38 鉄棒：32	鉄片部：10 鉄棒：16			644	

第195表　3区弥生時代～古代包含層出土石器観察表（第411・412図）

遺物No.	遺構・地区 層位	種類	遺存状態	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	石材	備考
145	B-2 Ⅲ-②層	磨製石斧	1/2	(103)	67	40	444.3	輝緑岩	刃部角83度
146	C-1 Ⅲ-②層	磨製石斧	1/2	(101)	(32)	41	276.1	閃緑岩	刃部角73度
147	B-1 Ⅲ-②層	磨製石斧	1/2	(103)	(51)	(33)	153.3	蛇紋岩	刃部角77度
148	A-2 Ⅲ-①層	石鏃	破片	(69)	(59)	14	46.2	結晶片岩	
149	C-1 Ⅲ-③層	紡石	ほぼ完形	146	43	43	310.5	花崗岩	
150	B-1 Ⅲ-②層	紡石	ほぼ完形	106	27	26	113.7	凝灰岩	仕上紙 溝？付着
151	B-1 Ⅲ-②層	紡石	ほぼ完形	(120)	(45)	(33)	186.7	凝灰岩	仕上紙
152	B-1 Ⅲ-②層	紡石	1/2	(74)	(50)	(47)	176.6	凝灰岩	仕上紙
153	D-1 Ⅲ-①層	紡石	ほぼ完形	35	33	14	24.9	凝灰岩	仕上紙
154	A-2 Ⅲ-①層	紡石	1/2	(52)	(37)	(23)	57.7	凝灰岩	仕上紙 廃棄段状形
155	B-2 Ⅲ-①層	紡石	破片	(133)	(98)	(98)	308.5	花崗岩	
156	A-1 Ⅲ-②層	紡石	ほぼ完形	75	72	43	27.0	蛇石	
157	D-1 Ⅲ-②層	石鏃	完形	131	97	40	731.8	角閃石安山岩	左打欠幅27mm-右打欠幅39mm
158	D-2 Ⅲ-①層	石鏃	完形	92	70	34	289.1	デイサイト	上打欠幅40mm-下打欠幅23mm
159	C-1 Ⅲ-②層	磨石・凹石	完形	134	120	55	1219.0	角閃石安山岩	
160	C-1 Ⅲ-③層	磨石・凹石	完形	117	72	37	430.6	角閃石安山岩	
161	D-2 Ⅲ-①層	磨石・凹石	ほぼ完形	126	111	39	706.3	デイサイト	煤付着
162	D-1 Ⅲ-②層	磨石	完形	126	81	63	917.0	デイサイト	煤付着
163	D-1 Ⅲ-③層	磨石・凹石	完形	115	109	32	539.7	デイサイト	
164	B-1 Ⅲ-①層	磨石・凹石	完形	87	78	31	301.4	安山岩	
165	C-1 Ⅲ-②層	台石・敲石	破片	145	125	83	2174.4	玄武	煤付着
166	B-1 Ⅲ-②層	台石	ほぼ完形	(356)	284	77	10400.0	デイサイト	

第196表　4区弥生時代～古代包含層出土陶磁器・土器・土製品・石製品観察表（第414～419図）

遺物No.	遺構・地区 層位	器種	器位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	A-2 Ⅲ-③層	土師器 甕	完形	口径：23.3 器高：38.8 胴径：32.7 底径：8.5	良好	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁端部横ヘラミガキ、口縁部周辺横位工具による面調文、胴部横ハケメ、肩部横状工具による段状2条、体部縦ハケメ→縦・横ヘラミガキ 内面：口縁部横ヘラミガキ、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→横ヘラケズリ	焦部被成痕跡有 煤痕 外面・内面口縁部炭化物・煤付着
2	A-1 Ⅲ-③層	土師器 甕	ほぼ完形	口径：13.9 器高：19.8 胴径：17.3 底径：5.0	良好	褐色	密 角閃石・白色粒	外面：口縁部→胴部横ナデ、肩部横ハケメ、体部縦ミガキ 内面：口縁部指頭調整、胴部横ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→縦ヘラケズリ	黒斑 外面一部炭化物付着 墨入且か？
3	A-1 Ⅲ-③層	土師器 甕	ほぼ完形	口径：15.5 器高：13.5 胴径：16.0	やや良	褐色	密 角閃石・雲母・白色粒	外面：口縁部横ナデ、肩部横ハケメ、体部縦状工具による波状文→縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラミガキ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→縦ヘラケズリ	外面煤付着 外面体部一底部炭化物付着
4	B-1 Ⅲ-③層	土師器 甕	口縁～体部1/4	口径：16.6 器高：(9.8)	良好	褐色	密 石英・白色粒	外面：口縁部一肩部縦・横ヘラミガキ、肩部へラ状工具による段状文3条・貝殻腹縁による連続刺突文、体部横・縦ハケメ 内面：口縁部横・縦ヘラミガキ、体部横ヘラケズリ	口縁部煤付着 外面口縁部一胴部一部炭化物付着
5	B-4 Ⅲ-③層	土師器 甕	口縁～肩部破片	口径：(16.2) 器高：(4.9)	良好	褐色	密 角閃石・石英・白色粒	外面：口縁部横状工具による波状文、胴部横ヘラミガキ 内面：口縁部横ナデ、体部以下横ヘラケズリ	内外面口縁部一部煤付着
6	C-2 Ⅲ-①層	土師器 甕	口縁～体部1/4	口径：(15.6) 器高：(10.7)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、胴部横状工具波状による刺突文10個以上、体部縦・横ハケメ→ヘラ状工具による刺突文上下2条 内面：口縁部横ナデ、肩部以下横ヘラケズリ	外面煤付着
7	A-1 Ⅱ-②層	土師器 甕	口縁～体部	口径：13.4 器高：(11.1)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、胴部以下横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、肩部以下横ヘラケズリ	外面煤付着
8	B-3 Ⅱ-②層	土師器 小型甕	口縁～体部1/8	口径：(6.2) 器高：(4.7)	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部以下縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、肩部以下横ヘラケズリ	

9	B-3 Ⅱ-③層	土師器 甕	ほぼ 完形	L径:12.8 器高:11.0 胴径:13.8	やや良	褐色	密 角閃石・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、胴部以下切ヨリ 内面：口縁部横ナデ、胴部指頭調整→横ヘラケズリ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半縦ヘラケズリ	外面煤付着	
10	B-3 Ⅱ-③層	土師器 甕	1/2	口径:19.2) 器高:29.4 胴径:28.5)	良	橙色	密 角閃石・白英・石粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部縦ヘラケズリ、底部指頭調整→縦ヘラケズリ	外面体部同様 体部～底部：炭化物付着	
11	C-2 Ⅱ-③層	土師器 甕	口縁～体部1/4	L径:20.0) 器高:14.0)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部縦ヘラケズリ	外面煤付着	
12	B-3 Ⅱ-③層	土師器 甕	口縁～体部1/4	口径:26.8) 器高:13.5)	不良	褐色	密 雲母・石英・小石粒・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部縦ヘラケズリ	外面煤付着	
13	B-3 Ⅱ-③層	土師器 甕	口縁～体部1/3	口径:17.8 器高:(7.7)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部～肩部横ナデ、体部ヨコ8目 内面：口縁部横ナデ、体部縦ハケメ→ヘラケズリ		
14	B-2 Ⅱ-③層	土師器 甕	口縁～体部1/3	口径:31.6) 器高:(9.2)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁端部横ナデ、口縁部指頭調整→縦ハケメ→ナデ、体部縦ハケメ 内面：口縁部横ハケメ→ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着	
13	A-1 Ⅱ-③層	土師器 甕	口縁～体部1/3	L径:26.6) 器高:(11.3)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：縦ナデ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面一部煤付着	
16	B-3 Ⅱ-②層	土師器 甕	口縁～体部底部片	口径:19.6) 器高:(7.0)	良	橙褐色	密 雲母・白色粒・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、胴部指頭調整→横ヘラケズリ、体部横ヘラケズリ		
17	B-2 Ⅱ-②層	土師器 甕	L径～体部1/3	L径:18.8) 器高:(13.7)	良	褐色	密 雲母・石英	外面：口縁部横ナデ、頸部以下指頭調整→縦ヘラケズリ→ナデ、体部縦ヘラケズリ 内面：口縁部横ナデ、頸部強弾調整→斜めヘラケズリ→ナデ、体部縦ヘラケズリ	外面煤付着	
18	A-2 Ⅱ-②層	土師器 鉢	破片	L径:19.4) 器高:(5.1)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、口縁部強ヘラミガキ、体部縦・横ヘラミガキ 内面：横ヘラミガキ	内面炭素赤彩 外面煤付着	
19	A-1 Ⅱ-②層	土師器 鉢	破片	L径:16.6) 器高:(3.9)	良	褐色	密 石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部～底部ヘラケズリ 内面：斜めヘラケズリ	体部穿孔	
20	C-1 Ⅱ-③層	土師器 高坏	坏部	口径:20.8 脚径:(6.6)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒 内面：褐色	外面：坏部縦ハケメ→横・縦ヘラミガキ 内面：坏部縦ヘラミガキ 脚台部内部充填法	黒斑 外面赤彩？	
21	A-1 Ⅱ-③層	土師器 低脚坏	5/6	口径:14.0) 器高:4.3 底径:4.6	良	橙褐色	密 角閃石・雲母・石英・砂粒	外面：坏部縦・横ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部縦ヘラミガキ、脚部横ナデ		
22	C-1 Ⅱ-③層	土師器 低脚坏	2/3	L径:12.2) 器高:4.1 底径:(3.6)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：坏部横ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部縦・横ヘラミガキ、脚部横ナデ	黒斑	
23	A-1 Ⅱ-③層	土師器 低脚坏	脚部	器高:(3.6) 底径:7.2	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面：坏部ナデ→縦い横ヘラミガキ、脚部上半縦いヘラミガキ、脚先部横ナデ 内面：坏部横ヘラミガキ	黒斑 二次焼成	
24	B-3 Ⅱ-③層	土師器 低脚坏	2/3	口径:12.8) 器高:5.3 底径:(6.5)	良	灰褐色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部横ナデ、坏部縦ハケメ→横ヘラミガキ、脚部横ヘラミガキ 内面：坏部上半ヘラケズリ→ナデ→横ヘラミガキ、坏部下半ハケメ→ヘラケズリ→ナデ→斜いヘラミガキ、脚部横ヘラミガキ	黒斑 内外面一部煤付着	
25	C-4 Ⅱ-③層	土師器 低脚坏	脚部	器高:(2.3) 底径:4.7	良	褐色	密 雲母・石英	外面：縦・横ヘラミガキ 内面：坏部ヘラミガキ、脚部横ナデ	脚部上端穿孔2個	
26	A-1 Ⅱ-③層	土師器 鉢形器台	坏部破片	器高:(6.0)	良	褐色	密 角閃石・白色粒	外面：横ヘラミガキ、受部竹管による四心円文7個以上 内面：横ヘラミガキ	黒斑	
27	A-1 Ⅱ-③層	土師器 小型器台	脚部	器高:(5.5) 底径:12.0	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：裾台部～脚部布目状圧痕→縦ハケメ→縦・横ヘラミガキ、脚端部横ナデ 内面：裾台部～脚部上半横ヘラケズリ、脚部下半横ハケメ	脚部内面ヘラによる脚間2本二次焼成	
28	A-1 Ⅱ-③層	土師器 鼓形器台	受部～脚台部	口径:16.8 器高:(9.1)	良	褐色	密 角閃石・雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、受部縦ハケメ→横ヘラミガキ→横状工具による蓋痕文、脚台部縦ハケメ→横ヘラミガキ→ヘラ状工具による透編文7条 内面：縦・横ヘラミガキ	内外面赤彩 内外面受部～脚端付着	
29	C-1 Ⅱ-③層	土師器 壺	つまみ部	底径:2.9 器高:(1.4)	良	褐色	密 白色粒	外面：ハケメ→ナデ	つまみ部穿孔2個	
30	A-1 Ⅱ-②層	手捏ね 土器	1/3	器高:2.6) 胴径:(4.8) 底径:(3.4)	やや良	褐色	やや密	外面：体部指頭調整→横ナデ、底部ナデ 内面：指頭調整→横ナデ	二次焼成	
31	C-1 Ⅱ-③層	手捏ね 土器	ほぼ 完形	口径:7.8 器高:6.6	やや良	黒褐色	やや密	外面：指頭調整→ナデ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ、底部指頭調整		
32	A-1 Ⅱ-②層	製塩土器	破片	口径:(11.6) 器高:(5.1)	やや良	褐色	やや粗 雲母・石英・砂粒	内外面：指頭調整→布目圧		
33	B-2 Ⅱ-③層	製塩土器	破片	口径:(10.0) 器高:(4.0)	やや良	褐色	やや粗 雲母・石英・砂粒	内外面：指頭調整	二次焼成	
34	B-4 Ⅱ-③層	製塩土器	破片	L径:(9.8) 器高:(3.7)	やや良	橙褐色	やや粗 雲母・石英・砂粒	外面：指頭調整→ナデ 内面：指頭調整→ナデ→布目圧		
35	B-4 Ⅱ-③層	製塩土器	破片	L径:(9.8) 器高:(4.4)	やや良	橙褐色	やや粗 雲母・石英	外面：指頭調整 内面：指頭調整→布目圧		
36	C-3 Ⅱ-③層	製塩土器	破片	L径:(12.2) 器高:(2.7)	良	褐色	やや粗 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→ナデ 内面：口縁端部横ナデ、体部指頭調整→ナデ		
37	A-1 Ⅱ-③層	土師器 甕？	破片	器高:(2.3)	やや良	灰褐色	密 石英・白色粒	内外面：縦ナデ	L字部穿孔 外面煤付着	
38	C-1 Ⅱ-③層	須恵器	破片	器高:(10.8) 胴径:(35.4)	良	外面：褐色 内面：黒色	密 雲母・石英・砂粒	外面：縦・横ハケメ、突帯部ナデ 内面：指頭調整→横ヘラケズリ	内面煤付着	

39	A-D-1-3-4 Ⅱ-②層	上層部 三叉文部	2/3	器高(27.8) 幅 (13.6) 厚さ(8.5)	良好	褐色	密 角閃石・白色粒	体部～脚部縦・横ヘラケズリ	脚部最長 6.7cm×5.6cm 現高7.8cm 4.6cm×4.9cm 一本脚付壺	
40	A-1 Ⅱ-②層	土師器 坏	1/2	口径(13.8) 器高(3.31) 底径(10.4)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、体部横ヘラミガキ、底部ヘラケズリ 内面：口縁部～体部横ヘラミガキ、底部ナデ	全周赤彩	
41	B-2 Ⅱ-②層	土師器 坏	2/3	口径(13.3) 器高：2.6 底径(10.4)	良	橙褐色	密 雲母・石英	外面：口縁部～体部横ヘラミガキ、底部ヘラ切り→指頭押圧 内面：口縁部～体部横ヘラミガキ、底部指頭押圧	全周赤彩 外面：内面共赤彩痕付壺	
42	D-2 Ⅱ-②層	土師器 坏	完形	口径：13.3 器高：3.4 底径：9.4	良	褐色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部～体部横ヘラミガキ、底部ヘラ切り 内面：口縁部～体部横ヘラミガキ、底部指頭押圧→ナデ	外面黒以外薄い赤彩	
43	B-2 Ⅱ-②層	土師器 坏	2/3	口径：12.8 器高：3.6 底径：7.2	良	橙褐色	密 砂粒	外面：口縁部～体部横ヘラミガキ、底部ヘラ切り 内面：口縁部～体部横ヘラミガキ、底部指頭押圧→ナデ	全周赤彩	
44	B-2 Ⅱ-②層	土師器 坏	2/3	口径(11.8) 器高：3.1 底径：(7.6)	良	褐色	密 石英・砂粒	外面：口縁部～体部横ヘラミガキ、底部ヘラ切り→指頭押圧→ナデ 内面：口縁部～体部横ヘラミガキ、底部指頭押圧→ナデ	全周赤彩	
45	A-2 Ⅱ-②層	土師器 坏	2/3	口径：13 器高：3.6 底径：9.2	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部～体部横ヘラミガキ、底部ヘラ切り→指頭押圧 内面：口縁部～体部横ヘラミガキ、底部指頭押圧→ナデ		
46	B-1 Ⅱ-③層	土師器 坏	1/4	口径(12.0) 器高：3.8 底径：(4.4)	良	橙褐色	密 雲母	外面：口縁部～体部横ヘラミガキ、体部下半ハケメ、底部ヘラ切り→指頭押圧 内面：口縁部～体部横ヘラミガキ、底部指頭押圧→ナデ	全面赤彩	
47	C-2 Ⅱ-②層	土師器 坏	1/2	口径(11.8) 器高：4.6 底径：6.2	良	黄灰白色	密	外面：口縁部～体部横ヘラミガキ、底部指頭押圧→ナデ、切り 内面：横ヘラミガキ		
48	C-1 Ⅱ-③層	土師器 皿	破片	器高：(2.5) 底径(14.8)	良	褐褐色	密 石英・白色粒	外面：体部横ヘラミガキ、貼付高台 内面：横ヘラミガキ		
49	A-2 Ⅱ-②層	土師器 坏	2/3	口径(15.6) 器高：4.4 底径：5.9	良	褐色	密	外面：口縁部～体部上半横ヘラミガキ、体部下半横ナデ、 高型回転糸切り 内面：黒色処理～横ヘラミガキ	黒色土器	
50	C-1 Ⅱ-③層	土師器 坏	1/12 完形	口径：14 器高：7.1 底径：8.9	良	黄灰白色	密	外面：口縁部～体部横ヘラミガキ、底部回転糸切り→ナデ、切 付高台 内面：口縁部～体部横ヘラミガキ、底部ナデ	外面煤付着	
51	C-1 Ⅱ-②層	上師器 打消底	底部	器高(1.9) 底径：7.5	良	褐色～ 橙褐色	密 雲母・石英	外面：ナデ、貼付高台 内面：ナデ	上師器移転用 内外面煤付着	
52	C-1 Ⅱ-③層	上師器 打消底	底部	器高：3.3) 底径：8.9	良	灰褐色	密 雲母・石英	外面：ナデ、貼付高台 内面：ナデ	上師器移転用 外面煤付着	
53	C-1 Ⅱ-③層	上師器 坏	脚部 破片	器高(3.4) 底径(13.6)	良	褐色	密 白色粒	外面：磨耗調整不明 内面：横ヘラケズリ 脚部二角透し3箇以上	黒色	
54	B-1 Ⅱ-③層	土師器	破片	器高(1.7)	良	褐色	密 石英・砂粒	外面：ナデ 内面：横ヘラケズリ		
55	B-1 Ⅱ-③層	須恵器 瓶	破片	口径(14.0) 器高(2.6)	良好	灰色	密	内外面：回転ナデ	緑色釉	
56	C-2 Ⅱ-③層	須恵器 瓶	底部 破片	器高：(1.7) 底径：3.9	良好	青灰色	密	外面：高台内縁：高台内周箆削、削り所に高台 内面：見込横縦1条	緑色釉	
57	C-1 Ⅱ-③層	須恵器 瓶	底部 破片	器高：(2.2) 底径：7.1)	良好	青灰色	密	外面：高台縁部、削り出し高台 内面：見込横縦1条	緑色釉	
58	B-4 Ⅱ-③層	土師器 甕	胴片	器高：(7.0)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面：粗い縦ハケメ 内面：ヘラナデ	煤跡？	
59	B-2 Ⅱ-③層	土師器 皿	底部 破片	器高：0.6) 底径：8.0)	良好	赤褐色	密 白色粒	外面：底部回転糸切り 内面：横縦調整	内外面赤彩 内周底部墨書「大」	
60	C-3 Ⅱ-③層	土師器 皿	底部 破片	器高：0.9)	良好	赤褐色	密 角閃石・白色粒	外面：底部ヘラ切り→指頭押圧 内面：ナデ	内面底部墨付右肩 欠？	
61	D-1 Ⅱ-③層	須恵器 坏	口縁 完形	口径(15.0) 器高：2.8 底径：5.9	良	灰色	密 白色粒	内外面：回転ナデ	外面天井部墨書「中」	
62	A-4 Ⅱ-③層	須恵器 坏	底部 破片	器高：(1.5) 底径：(9.4)	良好	灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：回転ナデ	外面高台内墨書「五？」	
63	C-2 Ⅱ-③層	須恵器 坏	底部 破片	器高：(1.4) 底径：(6.6)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：ナデ	外面高台内墨書「鬼～鬼」	
64	A-3 Ⅱ-③層	須恵器 皿	底部	器高：(3.3) 底径：(7.8)	良好	青灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：体部回転ナデ、底部ヘラ切り、貼付高台 内面：回転ナデ	内面底部～部分熱減火 外面高台内線刻「×」	
65	C-1 Ⅱ-③層	須恵器 坏	底部 破片	器高：(1.5) 底径(11.4)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	外面高台内線刻「×」	
66	A-3 Ⅱ-③層	須恵器 坏	1/4	口径(15.5) 器高：6.8 底径(12.0)	良好	灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	内面底部線刻	
67	C-1 Ⅱ-③層	須恵器 坏	1/3	器高：(3.0) 底径：(7.4)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	外面底部線刻 内面底部線刻「×」	
68	A-3 Ⅱ-③層	須恵器 坏	1/3	器高：3.6 底径：(8.0)	良好	暗赤灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	外面底部線刻「×」	
69	B-1 Ⅱ-③層	須恵器 転用土師	完形	長径：27 幅：22 厚さ：12	良好	暗赤灰色	密 白色粒	要体部転用	重量：106g	
70	A-3 Ⅱ-③層	須恵器 転用土師	完形	長径：25 幅：24 厚さ：14	良好	青灰色	密 白色粒	要体部転用、東面墨痕	重量：116g	
71	A-4 Ⅱ-②層	須恵器 転用土師	完形	長径：26 幅：23 厚さ：14	良好	青灰色	密	要体部転用、側面～裏面墨痕	重量：104g	

72	A～C-1 Ⅱ-①層	須恵器 転用土器	完形	長さ：22 幅　：22 厚さ：08	良好	灰色	密	器体部転用		重量：6.1g
73	A·B·C-4 Ⅱ-③層	須恵器 転用土器	完形	長さ：24 幅　：25 厚さ：09	良好	青灰色	密	底体部転用		重量：7.0g
74	A-2 Ⅱ-①層	須恵器 転用土器	完形	長さ：12 幅　：21 厚さ：08	良好	灰色	密	底体部転用		重量：4.7g
75	C-1 Ⅱ-①層	須恵器 転用土器	完形	長さ：20 幅　：22 厚さ：09	良好	青灰色	密	器体部転用、側面～裏面磨滅		重量：5.7g
76	A-4 Ⅱ-③層	須恵器 転用土器	完形	長さ：22 幅　：22 厚さ：10	良好	青灰色	密	器体部転用、側面～裏面磨滅		重量：6.6g
77	C-1 Ⅱ-②層	須恵器 転用土器	完形	長さ：23 幅　：18 厚さ：08	良好	灰色	密	底体部転用、側面～裏面磨滅		重量：4.2g
78	C-1 Ⅱ-①層	須恵器 壺	2/3	口径(17.4) 器高(31.6) 底径(26.8)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：回転ナデ 内面：同転ナデ、頸部内面ナデ		内面口縁部～外面頸部自然降灰 外面体部下半粘土粒付着
79	C-1 Ⅱ-①層	須恵器 壺	1/2	胴径(17.2) 胴径(17.2) 底径(11.6)	良好	赤褐色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：回転ナデ		外面口縁部～肩部自然降灰
80	C-1 Ⅱ-②層	須恵器 壺	Ⅱ類部	口径(16.0) 器高(9.1)	良	灰色	密 白色粒	外面：回転ナデ 内面：口縁部同転ナデ、頸部絞り		内面口縁部～外面頸部自然降灰
81	A-3 Ⅱ-②層	須恵器 水瓶	Ⅱ類部	口径(4.1) 器高(8.4)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：回転ナデ、頸部絞り 内面：回転ナデ		内面口縁部自然降灰
82	A-4 Ⅱ-③層	須恵器 蓋	胴部破片	器高(1.4)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：回転ナデ、肩部内側浮文1箇以上 内面：回転ナデ		
83	A-2 Ⅱ-②層	須恵器 瓶	破片	器高(3.5)	良好	灰色	密 白色粒	外面：同転ナデ、肩部へラ状工具による連続文、横状工具による刺突文 内面：同転ナデ		
84	A-3 Ⅱ-②層	須恵器 短甕	胴部 把手	器高(3.5)	良好	灰色	密 白色粒	外面：胴部調整不明、把手部ヘラケズリ 内面：同転ナデ		外面自然降灰
85	A-3 Ⅱ-②層	須恵器 鉢	破片	口径(22.3) 器高(3.6)	良好	灰色	密 白色粒	外面：ロクロ調整、把手部ヘラケズリ 内面：同転ナデ		内面口縁部～頸部付着
86	B-2 Ⅱ-①層	須恵器 壺	2/3	口径(12.7) 器高：34	良好	灰褐色	密 黒砂・白色粒・砂粒	外面：回転ナデ 内面：口縁部同転ナデ、天井部ナデ		
87	B-3 Ⅱ-③層	須恵器 壺	2/3	口径(16.8 器高：34	不良	暗赤灰色	密 白色粒・砂粒	外面：回転ナデ 内面：口縁部同転ナデ、天井部ナデ		
88	C-1 Ⅱ-②層	須恵器 蓋転用硯	1/4	口径(12.6) 器高：17	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部同転ナデ、天井部同転ヘラケズリ 内面：口縁部同転ナデ、天井部磨滅		内面天井部墨付着
89	A-3 Ⅱ-②層	須恵器 坏	完形	口径：11.8 器高：5.6	良好	青灰色	密 黒母・石英・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転ヘラケズリ 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
90	B-1 Ⅱ-①層	須恵器 坏	1/2	口径(12.6) 器高：4.2 底径(6.4)	良好	灰色	密 黒母・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部同転ナデ、底部ナデ		
91	B-1 Ⅱ-①層	須恵器 坏	5/8	口径：12.6 器高：4.2 底径：9.3	良好	灰色～赤褐色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半ヘラケズリ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部同転ナデ、底部ナデ		
92	A-1 Ⅱ-②層	須恵器 坏	1/4	口径(12.3) 器高：4.2 底径(8.8)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
93	B-2 Ⅱ-③層	須恵器 坏	完形	口径：11.1 器高：5.0 底径：7.4	良好	暗赤灰色	密 石英多量・砂粒多量	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
94	B-2 Ⅱ-②層	須恵器 坏	1/2	口径(13.2) 器高：4.5 底径(9.2)	良好	青灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部同転ナデ、底部ナデ		
95	A-3 Ⅱ-②層	須恵器 坏	1/2	口径(11.6) 器高：3.8 底径：8.2	良	暗赤灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部同転ナデ、底部ナデ		
96	C-1 Ⅱ-③層	須恵器 坏	1/2	口径(10.2) 器高：2.9 底径(7.2)	良好	青灰色	密 黒母・白色粒	外面：口縁部～体部同転ナデ、底部同転糸切り 内面：口縁部～体部同転ナデ、底部ナデ		
97	C-1 Ⅱ-②層	須恵器 坏	1/2	口径(11.2) 器高：4.1 底径(7.6)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
98	B-2 Ⅱ-①層	須恵器 坏	2/3	口径：14.4 器高：2.4 底径：10.6	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
99	B-2 Ⅱ-②層	須恵器 蓋転用硯	1/4	口径(15.2) 器高：2.4 底径(10.2)	良好	青灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半ヘラケズリ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部同転ナデ、底部研磨		
100	A-1·C-2 Ⅱ-③層	須恵器 坏	1/2	口径：11.1 器高：4.4 底径：8.2	良好	赤褐色	密 黒母・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：口縁部～体部同転ナデ、底部ナデ		内外口縁部～高台外面　部墨付着
101	A-4 Ⅱ-①層	須恵器 坏	2/3	口径：15.2 器高：6.6 底径：9.0	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：口縁部～体部同転ナデ、底部ナデ		
102	C-4 Ⅱ-②層	土師器 坏	ほぼ 完形	口径：11.4 器高：4.5 底径：6.3	良	黄灰白色	密	外面：口縁部～体部同転ナデ、底部同転糸切り 内面：口縁部～体部同転ナデ、底部ナデ		内面　一部墨付着
103	B-2 Ⅱ-②層	須恵器 坏	ほぼ 完形	口径：12.4 器高：4.8 底径：7.7	良	灰色	密	外面：口縁部～体部同転ナデ、底部同転糸切り、貼付高台 内面：口縁部～体部同転ナデ、底部ナデ		

104	A-3 Ⅲ-②層	須恵器 高杯形脚	2/3	口径(17.6) 器高：3.5 底径(12.2)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部凝灰	内外面口縁部墨付着
105	D-2 Ⅲ-①層	須恵器 皿	1/3	口径(18.2) 器高：3.7 底径：12.6	良	灰色	密 雲母・石英	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：回転ナデ	
106	C-1 Ⅲ-①層	須恵器 坏転用硯	底部 破片	器高：1.3 底径(11.2)	良好	褐色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	内面全体墨付着
107	C-4 Ⅲ-②層	須恵器 壺	1/4	器高：2.7 底径：6.5	良好	青灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	内面底部墨付着
108	C-1 Ⅲ-③層	須恵器 坏転用硯	1/3	口径(13.2) 器高：4.2 底径：8.6)	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部凝灰、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部墨跡	内外面底部墨付着
109	B-1 Ⅲ-①層	須恵器 硯転用硯	底部	器高：1.9) 底径：10.9	良好	暗赤灰色	密 雲母	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：底部墨跡	内面底部墨付着
110	B-2 Ⅲ-③層	軒平瓦	1/2	長さ(15.7) 幅：(13.5) 厚さ：4.0	やや良	灰褐色	やや粗 砂粒	内面：粘土目状工具による布目痕 凸面：青灰状平面、格子叩 軒平部二重弧文、瓦部ナデ	二次焼成
114	B-2 Ⅲ-②層	石鏃	破片	器高：3.1)	—	—	—	外面：— 内面：—	沼石製 外面炭化物付着

第197表　4区弥生時代～古代包含層出土金属製品観察表（第418図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	種　類	器　位 残存率	材　質	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	その他計測値			重量 (g)	備　考
111	A-2 Ⅲ-②層	帯金具 高方	1/2	銅	25	22	(5)				2.1	銅銭4 個
112	B-1 Ⅲ-②層	鏃	刃部	鉄	66	30	3	磁着度 3	メタル度 無(△)	ランク 3	22.9	
113	C-1 Ⅲ-②層	鉄鏃・人釘・ 棒状不明品	鉄鏃 大刃 棒状不明	鉄	全長(50) 刃部(52) 茎部(41) 152 163	刃部:22 茎部：3 8 7	刃部:2 茎部:3 7 5	磁着度 4	メタル度 有(○)	ランク 5	61.5	

第198表　4区弥生時代～古代包含層出土石器・石製品観察表（第419・420図）

遺物No.	遺構・地区 出土層位	種　類	遺存状態	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	石　材	備　考
115	A-2 Ⅲ-②層	磨製斧	1/2	(51)	(30)	24	28.2	凝灰岩	
116	B-1 Ⅲ-①層	石鏃	14ほ定形	(18)	15	3	6.0	サヌカイト	刃部欠損
117	C-1 Ⅲ-①層	磨製石斧	1/4	(63)	(54)	(13)	32.2	緑泥片岩	刃部角74度
118	A-2 Ⅲ-②層	磨製石斧	破片	(39)	(56)	(15)	33.8	閃緑岩	刃部角90度
119	A-1 Ⅲ-②層	磨製石斧	破片	(43)	(31)	(11)	18.9	閃緑岩	刃部角105度
120	B-2 Ⅲ-②層	砥石	1/2	(41)	20	18	21.4	凝灰岩	
121	A-1 Ⅲ-①層	砥石	破片	(58)	32	25	47.2	砂岩	風化侵蝕
122	B-1 Ⅲ-②層	砥石	14ほ定形	113	34	29	400.4	凝灰岩	仕上砥
123	A-1 Ⅲ-①層	砥石	12ほ定形	83	37	29	89.7	凝灰岩	擦付痕
124	C-1 Ⅲ-②層	砥石	破片	(62)	(48)	42	188.1	花崗岩	
125	C-1 Ⅲ-①層	砥石	破片	(52)	(48)	(44)	119.3	凝灰岩	
126	C-2 Ⅲ-②層	砥石	破片	(60)	(49)	42	165.1	花崗岩	
127	A-3 Ⅲ-③層	砥石	1/2	(112)	105	75	1100.3	花崗岩	
128	A-3 Ⅲ-②層	砥石	1/2	(108)	(45)	(50)	261.0	凝灰岩	
129	A-3 Ⅲ-③層	砥石	1/3	(110)	(87)	(70)	664.2	花崗岩	表面に擦打痕
130	A-2 Ⅲ-③層	凹石	14ほ定形	49	40	29	73	輝石	
131	C-2 Ⅲ-②層	有孔石錘	定形	66	33	30	70.4	砂岩	孔径5mm
132	B-3 Ⅲ-③層	磨石・凹石	14ほ定形	117	(96)	39	520.3	デイサイト	
133	B-3 Ⅲ-②層	敲石・凹石	完形	119	100	45	754.8	デイサイト	
134	C-2 Ⅲ-②層	ハンマーストーン	定形	132	63	54	584.4	角閃石安山岩	
135	C-2 Ⅲ-②層	ハンマーストーン	完形	126	60	55	535.2	角閃石安山岩	

第199表　5区弥生時代～古代包含層出土土器・土製品観察表（第421～430図）

遺物No.	遺構・地区 所在層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	A-3・C-2 Ⅵ～Ⅶ層	上段器 壺	完形	口径:14.0 器高:30.4 胴径:28.4 底径:5.4	良	灰褐色	密 黄母・石英・砂粒	外面:口頸部横ナデ、胴部縦状工具による北越式胴の模様 上馬頭部による刺点文、体部縦・横ハケメ 内面:口頸部横ナデ、体部指頭調整、胴部以下横・斜めハケメ状工具、底部指頭調整→縦ヘラケリ	外面以下胴部・体部下半煤付着
2	A-3 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 壺	2/3	口径:15.6 器高:25.5 胴径:23.5	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面:口頸部横ナデ、頸部ヘラケズリ→指頭調整、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→縦ヘラケズリ 内面:口頸部横ナデ、頸部ヘラケズリ→指頭調整、体部横ヘラケズリ	外面一部煤付着
3	A-3・B-1 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 甕	口縁～胴部	口径:16.4 器高:14.9	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面:口頸部横ナデ、頸部縦状工具による波状文 内面:口頸部横ナデ、胴部下半指頭調整、体部横ヘラケズリ	外面煤付着
4	B-1 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 壺	口縁～胴部	口径:17.0 器高:8.9	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面:口頸部横ナデ、胴部縦状工具による波状文 内面:口頸部横ナデ、頸部指頭調整、体部横ヘラケズリ	
5	A-3 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 壺	口縁部	口径:17.6 器高:7.0	良	橙褐色～灰褐色	密 角閃石・石英	外面:口縁部横ナデ、頸部下半指頭調整、頸部竹管文 内面:口縁部横ナデ、頸部指頭調整・ナデ	外面薄い赤彩
6	B-3 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 壺	口縁部	口径:19.3 器高:8.6	良好	灰褐色	密 角閃石・石英・白色粒	外面:口頸部横ナデ、頸部指頭調整→縦ハケメ・ナデ、胴部横ヘラケズリ 内面:口頸部横ナデ、頸部指頭調整→ナデ、胴部横ヘラケズリ	外面煤付着
7	B-3 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 甕	口縁～胴部	口径:11.3 器高:9.8	良	黄灰白色	密 雲母・砂粒	外面:横ナデ 内面:口頸部横ナデ、頸部指頭調整、胴部縦ヘラケズリ	外面煤付着
8	D-1 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 壺	口縁部 1/4	口径:21.8 器高:11.5	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面:口縁部横ナデ、頸部縦ハケメ、方形突帯貼付 内面:口縁部横ナデ、頸部指頭調整、頸部下半指頭調整→縦ヘラケズリ	
9	A・B-1・2 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 壺	頸部破片	器高:5.8	良	灰褐色	密 石英・白色粒	外面:頸部横ハケメ→粗状工具による直線文→ナデ、三角突帯貼付、突帯約ヘラ状工具刻目による刻状文 内面:指頭調整→ナデ	内面黒鉛塗布痕
10	C-3 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 壺	頸部破片	器高:5.6	良好	灰褐色	密 石英・白色粒	外面:頸部ナデ→縦状工具による波状文 内面:頸部指頭調整→ナデ、刷ハケメ、胴部横ヘラケズリ	内面黒鉛塗布痕1個
11	D-3 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 器台脚	5/8	口径:11.8 器高:18.1 脚径:15.0	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒・砂粒	外面:口頸部横ナデ、ヘラケズリ、体部ハケメ→縦・斜めハケメ 内面:口縁部指頭調整→横ハケメ、体部ナデ、体部横ヘラケズリ	内外面炭化物付着 口縁部一部黒鉛
12	C-2 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 高杯脚	1/3	口径:11.6 器高:14.0 脚径:16.4	良	黄灰白色	密 石英・砂粒	外面:口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面:口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ	
13	A-1 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 壺	脚部	器高:3.5	良	黄灰白色	密	外面:脚部縦ハケメ、脚部底部指頭状、突帯部竹管文 内面:ナデ	
14	B-1 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 鉢蓋	体部破片	器高:4.5 脚部:15.2	良好	褐色	密 角閃石・雲母・石英・白色粒	外面:粗状工具による北越区胴の区画線による羽状文・刺突文、指頭ナデ痕ヘラミガキ 内面:横ヘラケズリ	外面体部下半炭化物付着 二次焼成
15	D-2 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 鉢蓋	体部破片	器高:3.8 脚径:14.0	良	橙褐色	密 角閃石・雲母・石英・白色粒	外面:北越式風の竹管文3条・ヘラ状工具による直線3条、刺状既線による刺突文 内面:横ヘラミガキ	内外面薄い赤彩
16	B-3 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 壺	頸片	口径:14.2 器高:3.1	良好	褐色	密 角閃石	外面:口縁部横ハケメ、頸部竹管文、突帯部竹管文 内面:ナデ	
17	D-1 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 壺	口縁破片	器高:4.1	良	黄灰白色	密 石英・白色粒	外面:口縁部横ナデ、頸部竹管文、体部ヘラミガキ 内面:横ハケメ→縦ヘラミガキ	
18	D-1 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 壺	口縁破片	器高:3.4	良好	黄灰白色	密 石英・白色粒	外面:口縁部横ナデ、頸部竹管文、竹管文施文の円形浮文貼付 内面:横ハケメ→縦ヘラミガキ	
19	A-2 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 小型壺	口縁～体部1/4	口径:8.6 器高:6.3	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面:口縁部～胴部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面:口縁部横ナデ、体部指頭調整→横ヘラケズリ	内面黑色
20	C-1 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 小型壺	口縁～胴部1/4	口径:7.0 器高:3.6	良	褐色	密 雲母・白色粒	外面:口縁部横ナデ、頸部縦ハケメ、体部横ハケメ 内面:口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	
21	B-1・2 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 短頸壺	1/4	口径:5.2 器高:6.0	良	褐色	密 石英・白色粒・砂粒	外面:口縁部～胴部横ナデ、体部縦ハケメ→ヘラミガキ 内面:口縁部横ナデ、頸部縦ハケメ→ヘラミガキ、体部横ハケメ→ヘラケズリ	内面口縁部～外面全体薄い赤彩 頸部穿孔
22	B-1 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 鉢蓋	破片	口径:11.2 器高:4.3	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面:横ナデ 内面:口縁部横ナデ、頸部下半横ヘラケズリ	外面山路部煤付着
23	A-3 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 器台	杯部完形 脚部破片	口径:14.5 器高:26.8 脚径:22.7	良	灰褐色	密 小英・白色粒	外面:口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面:口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→横ヘラケズリ	外面体部煤付着 内面底部黑化物付着
24	D-2 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 鉢	3/8	口径:14.6 器高:21.9 脚径:20.5	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面:口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ、胴部縦状工具による波状文 内面:口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半指頭調整→ヘラケズリ	外面煤付着
25	D-2 Ⅱ～Ⅲ層	土師器 鉢	2/3	口径:11.7 器高:18.5 脚径:20.0	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面:口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面:口縁部横ナデ、体部斜めヘラケズリ、脚部・底部指頭調整	外面煤付着
26	A-3 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 壺	口縁～体部1/3	口径:24.2 器高:19.9 脚径:34.2	良好	灰褐色	密 石英・黒母	外面:口頸部横ナデ、頸部縦状工具による直線文・粗状工具後端による刺点文、体部指頭調整→縦・横ハケメ 内面:口頸部横ナデ、頸部下半・体部中位指頭調整、体部ヘラケズリ→ハケメ	黑鉛 外面一部炭化物・煤付着
27	D-3 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 壺	口縁～体部	口径:17.9 器高:18.3 胴径:26.5	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面:口頸部横ナデ、頸部縦状工具による直線文・波状文、体部縦・横ハケメ 内面:口頸部横ナデ、胴部指頭調整、体部横ヘラケズリ	
28	A-3 Ⅲ～Ⅳ層	土師器 壺	口縁～体部	口径:15.4 器高:18.9 胴径:21.4	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面:口頸部横ナデ、体部縦・斜めハケメ、胴部縦状工具端部による羽状文（交叉せず） 内面:口頸部横ナデ、体部斜めヘラケズリ	内面黑色 外面煤付着

29	C-2 Ⅱ-①層	土師器 甕	2/3	口径(13.2) 器高(16.5) 胴径(17.5)	良	褐色	密 長石・砂粒	外面：口頸部横ナデ、頸部以下横・斜めハケメ、胴部横状工具による波状文 内面：口部部横ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半指圧調整→横ヘラケズリ	内面底部・外面煤付着	
30	B-3 Ⅱ-③層	土師器 甕	1/2	口径(15.2) 器高(22.1) 胴径(21.6)	良	褐色	密 雲母・石英・長石・砂粒	外面：口縁部→胴部横ナデ、屈部横状工具による波状文、体部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部縦・斜めハケメ	内外面煤付着	
31	D-2 Ⅱ-②層	土師器 甕	口縁～体部	口径(15.0) 器高(17.6) 胴径(20.6)	良	褐色	密 角閃石・雲母・石英・白色粒・砂粒	外面：口縁部→胴部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部指圧調整→横ヘラケズリ	外面炭化物・煤付着	
32	D-2 Ⅱ-③層	土師器 鉢	ほぼ完形	口径：14.6 器高(21.1) 胴径：19.7	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ、胴部縦状工具による波状文 内面：口縁部横ナデ、体部上半横ヘラケズリ、体部下半横ヘラケズリ→指圧調整	外面煤付着	
33	A-3 Ⅱ-③層	土師器 鉢	ほぼ完形	口径：34.4 器高：44.7 胴径：41.0 底径：8.0	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・斜めハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部縦・横ヘラケズリ、底部指圧調整	外面口縁部～体部上半煤付着	
34	D-1 Ⅱ-②層	土師器 甕	LI縁～体部 B1/3	口径(14.3) 器高(22.1) 胴径(22.2)	良	灰褐色	密 雲母・石英	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ→ナデ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半指圧調整→ヘラケズリ	外面体部下半煤付着	
35	D-1 Ⅱ-②層	土師器 甕	LI縁～体部	口径(15.6) 器高(22.3) 胴径(23.0)	良	褐色	密 角閃石・雲母・石英	外面：口頸部横ナデ、体縦横ハケメ→ナデ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半指圧調整→横ヘラケズリ	煤跡 外面炭化物・煤付着	
36	H-3 Ⅱ-②層	土師器 坩	LI縁～体部2/3	口径(16.0) 器高(15.8) 胴径(19.9)	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ、胴部縦状工具による波状文 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ		
37	A-C-2 Ⅱ-①層	土師器 坩	1/3	口径(13.7) 器高(18.4) 胴径(21.0)	良	褐色	密 石英・白色粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ、胴部横状工具による波状文 内面：口頸部横ナデ、体部横・縦ヘラケズリ→ナデ	内外面煤付着	
38	D-1 Ⅱ-③層	土師器 甕	LI縁～胴部2/3	口径(15.2) 器高：(9.3)	良	褐色	密 石英・雲母	外面：口縁部～胴部横ナデ、屈部へ向かって横ハケメ、胴部縦状工具による列点文 内面：口頸部横ナデ、屈部横ヘラケズリ	外面炭化物・煤付着	
39	B-1 Ⅱ-②層	土師器 甕	LI縁～体部B1/4	口径(13.9) 器高：(8.1) 胴径(14.6)	良好	褐色	密 角閃石・石英	外面：口縁部横状工具による波潰文、頸部横ナデ、胴部横状工具による波状文、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ヘラミガキ、体部横ヘラケズリ	外面炭化物・煤付着	
40	D-1 Ⅱ-②層	土師器 甕	LI頸部1/4	口径(17.3) 器高：(6.2)	良	灰褐色	密 石英・白色粒	外面：口縁部横状工具による波潰→ナデ、頸部横ハケメ→横ヘラミガキ、屈部無数横潰による刺突文 内面：口頸部横ヘラミガキ、屈部横ヘラケズリ	外面一部炭化物付着	
41	D-1 Ⅱ-③層	土師器 甕	LI底部～胴部3/3	器底：(7.4)	良好	黄灰白色	密 角閃石・雲母・石英	外面：口縁部横状工具による波状文、胴部横状工具による波状文・直線文 内面：口頸部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ	外面炭化物・煤付着	
42	A-D-4 Ⅱ-③層	土師器 甕	LI縁～胴部	口径(18.2) 器高：(9.8)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、胴部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラミガキ、頸部以下横ヘラケズリ	内外面青い赤彩 内面口縁部～外面煤付着	
43	C-3 Ⅱ-③層	土師器 甕	LI縁～胴B1/2	口径(16.2) 器高(20.0)	良	赤褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口頸部横ナデ、胴部縦状工具による直線文・波状文、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ→ナデ	外面頸付着	
44	D-2 Ⅱ-②層	土師器 壺	LI縁～体部B1/3	口径(14.6) 器高(13.3) 胴径(20.4)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口頸部横ナデ、体部指圧調整→縦・横ハケメ、胴部横状工具による列点文 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ、体部下半指圧調整→ヘラケズリ	煤跡 外面炭化物・煤付着	
45	C-2 Ⅱ-①層	土師器 坩	LI縁～体部B1/3	口径(14.8) 器底(15.1) 胴径(19.0)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、頸部以下横・横ハケメ、胴部縦状工具による波状文 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	外面炭化物・煤付着	
46	A-3 Ⅱ-③層	土師器 甕	LI縁～胴部	口径：15.2 器高(7.5)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口頸部横ナデ、胴部横ハケメ→ヘラ状工具連続による列点文（会釈せず） 内面：口頸部横ナデ、屈部横ヘラケズリ		
47	B-3 Ⅱ-③層	土師器 甕	2/3	口径：11.8 器高(16.1) 胴径(18.8)	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、頸部指圧調整、胴部以下指圧調整→横ヘラケズリ	外面体部煤付着	
48	A-3 Ⅱ-③層	土師器 甕	LI縁～胴部2/3	口径(12.2) 器高(9.4)	良	黄灰白色	密 白色粒・砂粒	外面：口頸部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、屈部指圧調整、体部横ヘラケズリ	内外面煤付着	
49	D-2 Ⅱ-③層	土師器 壺	LI縁～体部B1/2	口径(12.4) 器高(10.0) 胴径(13.9)	良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面：口頸部横ナデ、胴部横状工具による直線文・見返線間による列点文4列以上、体部縦・斜めハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ		
50	A-3 Ⅱ-③層	土師器 甕	LI縁～体部B1/2	口径(12.8) 器底：(9.8)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部縦・斜めハケメ 内面：口頸部指圧調整→ナデ、体部横ヘラケズリ		
51	C-2 Ⅱ-②層	土師器 甕	LI縁～体部B1/3	口径(11.8) 器底(10.1)	良	褐色	密 白色粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ	内面口縁部～外面口頸部煤付着	
52	D-2 Ⅱ-②層	土師器 甕	LI縁～胴B1/4	口径(15.0) 器底：(9.0)	良好	黄灰白色	密 石英	外面：口頸部横ナデ、胴部横・縦ハケメ→横状工具による波状文 内面：口頸部横ナデ、胴部横ヘラケズリ		
53	H-3 Ⅱ-①層	土師器 坩	LI縁～体部B1/4	口径(14.8) 器高：(9.6)	良好	灰褐色	密 角閃石・石英・白色粒	外面：口頸部横ナデ、屈部横状工具連続による列点文、体部縦ハケメ→ナデ 内面：口頸部横ナデ、頸部下半指圧調整、体部横ヘラケズリ		
54	D-1 Ⅱ-①層	土師器 甕	LI縁～体部B3/4	口径：15.5 器高(10.9)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部縦ハケメ、胴部横状工具による直線文、体部縦ハケメ 内面：口頸部横ナデ、屈部以下横ヘラケズリ	内外面煤付着	
55	D-3 Ⅱ-③層	土師器 甕	LI縁～胴部B1/4	口径(15.4) 器高(10.3)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口頸部横ナデ、胴部縦・横ハケメ→横状工具連続による列点文 内面：口頸部横ナデ、屈部指圧調整・横ヘラケズリ	外面頸付着	
56	B-3 Ⅱ-③層	土師器 壺	LI縁～胴部	口径(16.0) 器高(10.7)	良	褐色	密 雲母・石英	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部指圧調整→横ヘラケズリ		
57	D-2 Ⅱ-③層	土師器 甕	LI縁～体部B1/4	口径(14.9) 器高(12.4) 胴径(21.2)	良	灰褐色	密 雲母・石英	外面：口頸部横ナデ、胴部横状工具端部による列点文、体部横ハケメ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ		

58	D-2 II-②層	土師器 甕	口縁～体部1/4	口径(146) 器高(108)	良	灰褐色	密 雲母・石英	外面：口頸部横ナデ、胴部縦ハケ→横状工具による表面 内面：口頸部横ナデ、頸部下半指頭調整、体部横ヘラケズリ		
59	B-3 II-②層	土師器 小型丸底壺	完形	口径:10.9 器高：9.8 胴径:11.6	良	褐色	密 雲母・石英・ 砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部斜めハケ 内面：口頸部横ナデ、体部斜めヘラケズリ、底部指頭調整	外面体部煤付着	
60	D-1 III-①層	十師器 小型丸底壺	1/4	口径：(9.4) 器高：6.9 胴径:(10.2)	良	灰褐色	密 雲母・石英	外面：横ナデ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ		
61	A-3 II-①層	土師器 小型丸底壺	口縁～胴部1/4	口径：(9.0) 器高：(5.8)	良	黄灰白色	密 白色粒・砂粒	外面：口頸部横ナデ、胴部斜状工具痕跡による斜点文・横ハケ 内面：口頸部横ナデ、胴部指頭調整→横ヘラケズリ		
62	A-3 II-①層	土師器 小型丸底壺	口縁～体部1/4	口径：(8.8) 器高：(5.2) 胴径：(9.4)	良	黄灰白色	密 雲母・砂粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部指頭調整→横ヘラケズリ 内面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→横ヘラケズリ		
63	B-1 III-①層	土師器 小型丸底壺	口縁～胴部1/4	口径：(7.0) 器高：(3.4)	良	灰褐色	密 石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下斜めハケ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ		
64	C-3 III-②層	土師器 甕	胴部	器高：(4.0) 胴径:(15.7)	良	灰褐色	密 雲母・白色粒	外面：縦・横ハケ 内面：横ヘラケズリ→ナデ	内面水銀朱付着 外面煤付着	
65	B-1 III-①層	土師器 注口土器	口頸部～注口部	注口径:(28.7) 器高:(12.8)	良	褐色	密 角閃石・白色粒	外面：口縁部横ヘラミガキ、注口部ハケメ→長軸方向のヘラミガキ 内面：口縁部横ヘラミガキ	外面口頸部赤彩 注口部煤付着	
66	B-2 III-①層	土師器 注口土器	把手部	幅：2.2 厚さ：2.0	良	灰褐色	密	上面・側面民俗区画の爪形文3条	外面赤彩	
67	C-1 III-②層	土師器 注口土器	注口部	口径：17 注口長(5.5)	良	褐色	密 砂粒	外面：長軸方向のヘラミガキ		
68	D-2 III-②層	土師器 甕	底部	器高：(4.5) 底径:11.3	良	褐色	密 雲母・石英・ 砂粒	外面：体部縦・横ハケ 内面：体部横ヘラケズリ、底部指頭調整→ヘラケズリ	外面煤付着	
69	D-1 III-②層	土師器 甕	底部	器高：(3.3) 底径：3.3	良	黒茶色	密 雲母・石英・ 白色粒	外面：体部指頭調整→ヘラミガキ、底部ヘラミガキ 内面：指頭調整→ヘラケズリ	外面煤付着	
70	A-3 III-②層	土師器 高杯脚？	1/3	器高：(7.9) 脚径:(11.0)	良	橙褐色～褐色	密 雲母・石英・ 砂粒	外面：横ヘラミガキ 内面：体部指頭調整、脚部ヘラケズリ		
71	B-3 III-②層	土師器 甕	1/2	口径：(16.4) 器高：(13.6)	やや良	褐色	密 雲母・石英・ 白色粒	外面：口縁部～胴部横ナデ、体部叩き目 内面：口頸部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ、底部指頭調整	外面体部・内面底部煤付着	
72	B-2 III-②層	土師器 甕	口縁～胴部1/4	口径(11.0) 器高：(5.3)	良	褐色	密 雲母・石英・ 白色粒	外面：口縁部指頭調整→横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ→ナデ 内面：口縁部指頭調整→横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	外面煤付着	
73	B-3 III-②層	土師器 甕	口縁～体部1/3	口径:(13.4) 器高：(9.8)	良	橙褐色	密 雲母・石英・ 白色粒	外面：口縁部横・縦ヘラミガキ、体部横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ→ナデ	外面煤付着	
74	B-1 III-①層	土師器 甕	口縁～体部1/4	口径:(13.4) 器高：(7.9)	良好	褐色	密 雲母・石英・ 白色粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケ 内面：口頸部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着	
75	B-1 III-①層	土師器 甕	口縁～体部1/3	口径:(11.6) 器高：(7.5)	良	褐色	密 雲母・白色粒 ・砂粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケ 内面：口頸部指頭調整→横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面煤付着	
76	D-3 III-①層	土師器 甕	口縁～胴部1/4	口径:(14.4) 器高：(5.9)	良好	赤褐色	密 石英・白色 粒・砂粒	外面：口頸部横ナデ、胴部縦ハケ 内面：口頸部指頭調整→横ナデ、胴部横ヘラケズリ	内外面煤付着	
77	B-3 III-②層	土師器 甕	口縁～体部1/3	口径:(12.2) 器高：(8.7)	良	明石～黄灰白色	密 雲母・石英・ 白色粒・砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部以下縦・横ハケ 内面：口頸部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ	外面体部煤付着	
78	A-1 III-①層	土師器 甕	口縁～体部1/3	口径:(11.6) 器高：(7.5)	良	橙褐色	密 雲母・石英・ 砂粒	外面：口縁部指頭調整→横ナデ、頸部以下縦ナデ、胴部状工具痕跡による斜横文1列 内面：口頸部横ナデ、頸部以下指頭調整→横ヘラケズリ	内面口縁部～頸部付着	
79	B-3 III-②層	土師器 甕	口縁部1/3	口径:(25.1) 器高：(7.7)	良	褐色	密 雲母・白色粒	外面：口頸部横ハケメ→ナデ、胴部縦ヘラケズリ→ナデ 内面：口頸部横ハケメ→ナデ、胴部横ヘラケズリ→ナデ		
80	B-1 III-①層	土師器 甕	口縁～体部1/4	口径:(15.6) 器高：(8.4)	良	赤褐色	密 雲母・石英・ 白色粒	外面：口頸部指頭調整→横ナデ、体部縦ハケ・横ハケメ 内面：口頸部指頭調整→横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	内外面煤付着	
81	A-2 III-①層	土師器 甕	口縁～体部1/4	口径:(26.3) 器高:(13.0)	良	褐色	密 雲母・石英・ 白色粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦ハケ・横ハケ 内面：口頸部横ナデ、体部縦ヘラケズリ		
82	B-4 III-①層	土師器 甕	口縁～体部1/4	口径:(25.3) 器高:(13.2)	良	灰褐色	密 雲母・石英・ 白色粒	外面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→ナデ 内面：口頸部横ナデ、体部縦・横ヘラケズリ→ナデ	外面煤付着	
83	D-3 III-①層	土師器 壺	口縁～体部1/4	口径:(25.2) 器高:(14.5) 胴径:(21.1)	良	褐色	密 角閃石・雲 母・白色粒	外面：口頸部横ナデ、体部縦・横ハケ 内面：口頸部横ナデ、体部縦・横ヘラケズリ	内外面煤付着	
84	B-1 III-①層	土師器 小型丸底壺	口頸部1/3	口径：(8.6) 器高：(3.4)	良	褐色	密 石英・砂粒	外面：縦・横ヘラミガキ 内面：口縁部縦・横ヘラミガキ、体部横ヘラケズリ		
85	B-3 III-①層	土師器 小型丸底壺	体部	器高：(4.7) 胴径：7.0	良好	橙褐色	密 角閃石・雲 母・石英・白 色粒	外面：体部上半縦ハケメ、体部中位相線調整、体部下半縦・横ヘラミガキ 内面：底部横ヘラミガキ、体部ナデ、底部指頭調整→ナデ		
86	C-2 III-②層	土師器 鉢	口縁完形	口径:(10.1) 器高：4.2	良	灰褐色	密 雲母・石英・ 白色粒	外面：横ヘラミガキ 内面：つまみ部ナデ、天井部ヘラケズリ→ナデ、口縁部ナデ	黒斑	
87	B-1 III-②層	土師器 鉢	口縁完形	口径:22.2 器高:12.8	やや良	褐色	密 角閃石・白色 粒	外面：口縁部～体部縦・横ハケメ、体部下半叩き目 内面：口縁部横ナデ、体部縦ヘラケズリ	黒斑 外面炭化物付着	
88	D-2 III-③層	土師器 鉢	1/6	口径:(17.6) 器高：(7.2) 高台径：(7.6)	良	褐色	密 石英・白色粒	外面：縦・横ヘラミガキ 内面：縦・横ヘラミガキ	外面煤？付着 内面赤彩	
89	C-3 III-②層	土師器 鉢	体部～底部	器高：(4.8) 底径：(7.2)	良	黒褐色～暗褐色	密	外面：縦・横ヘラミガキ 内面：ヘラケズリ→ヘラミガキ	外面黒？付着 内面赤彩	

90	D-1 Ⅲ-②層	上部器 高坏	5/8	口径:21.8 器高:14.1 底径:12.6	良	黄灰白色	密 長石・石英・砂粒	外面：坏部横ヘラミガキ、坏底部→脚部縦ハケメ 内面：坏部縦ヘラミガキ、脚付部横ヘラケズリ、脚部縦ハケメ			
91	B-3 Ⅲ-③層	土師器 高坏	坏部一脚部	口径:23.4 器高:13.6)	良	灰褐色	密 長石・石英・白色粒	外面：口縁端部横ナデ、坏部横ヘラミガキ、坏底部→脚部縦ハケメ 内面：坏部横・縦ヘラミガキ、脚柱部横ヘラケズリ、脚部縦ハケメ 接合部刺突充填法			
92	A-3 Ⅲ-③層	土師器 高坏	坏部完形	口径:17.3 器高:12.2 底径:9.5	良	橙褐色	密 長石・石英・砂粒	外面：坏部縦ヘラミガキ、接合部縦ハケメ、脚部縦ヘラケズリ→縦ヘラミガキ 内面：坏部横・縦ヘラミガキ、脚柱部横ヘラケズリ、脚部ナデ 接合部刺突充填法			
93	A-3 Ⅲ-③層	土師器 高坏	坏部一脚部	口径:(31.0) 器高:(14.1)	良	灰褐色	密 長石・白色粒	外面：口縁端部横ナデ、坏部縦ヘラミガキ、接合部縦ハケメ、脚部縦ヘラミガキ 内面：坏部縦・横ヘラミガキ、脚柱部ヘラケズリ、脚部横ハケメ			
94	D-2 Ⅲ-②層	上部器 高坏	5/8	口径:17.4 器高:10.5 底径:12.0	やや良	黄灰白色	やや密 長石・石英・砂粒	外面：坏部ハケメ→縦ヘラミガキ、坏底部→脚部縦ハケメ 内面：坏部縦・横ヘラミガキ、脚柱部横ヘラケズリ、脚部横ハケメ 接合部刺突充填法			
95	B-3 Ⅲ-③層	土師器 高坏	坏部完形	口径:13.0 器高:9.7 底径:14.0	良	灰褐色	密 雲母・石英 (φ5mm) 砂粒	外面：横・斜めヘラミガキ 内面：不部横・斜めヘラミガキ、脚柱部横ヘラケズリ、脚部縦ハケメ 脚部内面以外黒系赤彩 脚部円形透し	脚部内面以外黒系赤彩		
96	C-2 第Ⅲ-③層	土師器 高坏	坏部1/3	口径:(23.4) 器高:(5.8)	良	灰褐色	密 長石・石英 (φ5mm) 砂粒	外面：口縁端部横ナデ、坏部横ヘラミガキ 内面：坏部縦・横ヘラミガキ 接合部刺突充填法	外面口縁部一部煤付着		
97	C-4 Ⅲ-③層	土師器 高坏	坏部2/3	口径:(16.1) 器高:(5.7)	良	赤褐色	密 長石・白色粒	外面：口縁部横ナデ、坏部横ヘラミガキ 内面：坏部縦・横ヘラミガキ 接合部円盤充填法	内外面被熱痕		
98	B-2 Ⅲ-③層	土師器 高坏	坏部1/3	口径:(17.2) 器高:(5.9)	良	灰褐色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部横ナデ、坏部横ヘラミガキ、坏底部縦ハケメ→縦ヘラミガキ 内面：坏部縦・横ヘラミガキ 接合部刺突充填法			
99	D-2 Ⅲ-①層	土師器 高坏	坏部	口径:(11.8) 器高:(4.7)	良	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：坏部縦ハケメ→縦ヘラミガキ 内面：坏部縦・横ヘラミガキ 接合部円盤充填法			
100	C-3 Ⅲ-①層	土師器 高坏	坏部	器高:(7.1) 脚径:11.6	良	褐色	やや密 長石・石英 砂粒多量	外面：坏部縦・横ヘラミガキ 内面：坏部縦ヘラミガキ、坏底部ヘラケズリ 接合部円盤充填法	ブランデーグラス形 内外面煤付着		
101	H-2 Ⅲ-②層	土師器 高坏	脚部	器高:(8.6) 底径:12.4	良	褐色	密 滑石・砂粒	外面：脚柱部ハケメ→縦ヘラミガキ→ヘラ状工具連続による列点文、脚部縦ヘラミガキ 内面：脚柱部縦ヘラケズリ、脚部横ハケメ			
102	A-3 Ⅲ-②層	土師器 高坏	脚部	器高:(9.3) 底径:(11.1)	良	褐色	密	外面：縦・横ヘラミガキ 内面：脚柱部縦ヘラケズリ、脚部横ハケメ	外面脚部煤付着		
103	A-3 Ⅲ-②層	土師器 低脚坏	2/3	口径:(16.6) 器高:7.7 底径:7.4	良	黄灰白色	密 滑石・石英	外面：坏部縦ハケメ→横ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部縦ハケメ→横ヘラミガキ、脚部横ナデ	内外面煤付着		
104	D-2 Ⅲ-②層	土師器 低脚坏	2/3	口径:(15.4) 器高:6.9 底径:(6.4)	良	灰褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、坏部縦ハケメ、坏底部以下横ナデ 内面：坏部横ヘラミガキ、脚部横ナデ			
105	C-2 Ⅲ-①層	土師器 低脚坏	5/8	口径:(15.8) 器高:(8.2)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、坏部縦ハケメ→横ハケメ、脚部横・縦ヘラミガキ 内面：坏部横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ	黒斑 漆成後焼化		
106	A-3 Ⅲ-③層	土師器 低脚坏	完形	口径:13.2 器高:4.8 底径:5.2	良	橙褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：坏部横ヘラミガキ、坏底部以下横ナデ 内面：坏部横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ			
107	A-3 Ⅲ-②層	土師器 低脚坏	ほぼ完形	口径:14.4 器高:4.3 底径:4.4)	良	黄灰白色	密 石英・砂粒	外面：坏部横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部横ヘラミガキ、脚部横ナデ			
108	A-3 Ⅲ-②層	土師器 低脚坏	2/3	口径:13.4 器高:4.1 底径:4.2	良	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：坏部ハケメ→横ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部縦ヘラミガキ、脚部横ナデ			
109	D-3 Ⅲ-②層	土師器 低脚坏	1/3	口径:(16.6) 器高:5.4 底径:(5.6)	良	褐色	密 滑石・石英・砂粒	外面：坏部→脚部縦ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部縦ハケメ、脚部横ナデ			
110	A-1 Ⅲ-①層	土師器 高坏	脚部	器高:(6.6) 底径:(7.4)	良	橙褐色	密 雲母・石英	外面：脚筒部縦→横ヘラミガキ、脚柱部横ヘラミガキ 内面：坏部ヘラミガキ、脚部ナデ→ヘラミガキ	内外面黒系赤彩		
111	H-2 Ⅲ-②層	土師器 低脚坏	坏部一脚部	器高:(2.0) 底径:(7.4)	良	黄黒白色	密 石英	外面：坏底部縦ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏底部ヘラミガキ、脚部横ナデ	内面坏底部漆付着		
112	B-3·C-1 Ⅲ-③層	土師器 小型砂金	2/3	口径:(10.3) 器高:7.8 底径:(17.8)	良	灰褐色	密 滑石・石英・白色粒	外面：坏部縦・横ヘラミガキ、脚部ハケメ→縦ヘラミガキ 内面：坏部縦ヘラミガキ、脚柱部横ヘラケズリ、脚部横ハケメ 脚部三方円形透し			
113	C-D-4 Ⅲ-③層	土師器 鼓形器台	2/3	口径:(18.7) 器高:9.2 底径:16.4	良	赤褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部端・接合部・脚端部横ナデ、受部・脚部縦・縦ヘラミガキ 内面：受部横・縦ヘラミガキ、脚部横ヘラケズリ 脚部二方円形透し			
114	H-3 Ⅲ-②層	土師器 鼓形器台	ほぼ完形	口径:21.6 器高:11.6 底径:16.7	良	灰褐色	密 滑石・石英・砂粒	外面：横ナデ 内面：受部縦・縦ヘラミガキ、脚部横ヘラケズリ	外周脚部ヘラによる複刻十条		
115	A-3 Ⅲ-③層	土師器 鼓形器台	2/3	口径:(16.8) 器高:9.7 底径:(14.0)	良	橙褐色	密 雲母・白色粒・砂粒	外面：横ナデ 内面：受部縦・縦ヘラミガキ、接合部ナデ、脚部横ヘラケズリ	外周脚部ヘラによる複刻2条		
116	A-3 Ⅲ-③層	土師器 鼓形器台	1/3	口径:(15.4) 器高:9.8 底径:(13.8)	良	橙褐色	密 雲母・石英・白色粒・砂粒	外面：受部・脚部縦ヘラミガキ、接合部ナデ 内面：受部横・縦ヘラミガキ、接合部以下縦ヘラケズリ 脚部円形透し			
117	C-1 Ⅲ-①層	土師器 鼓形器台	1/4	口径:(17.6) 器高:9.8 底径:(17.2)	良好	橙褐色	密 石英・白色粒	外面：受部縦・横ヘラミガキ、接合部以下ナデ 内面：受部横ヘラミガキ、脚部斜めヘラケズリ、脚端部横ナデ	外周脚部ヘラによる複刻2条		

118	D-4 Ⅱ-③層	土師器 鼓形器台	2/3	口径:16.1 器高:9.6 底径:14.7	良	褐色	密 角閃石・石英・白色粒・砂粒	外面:横ナデ 内面:受部横ヘラミガキ、脚部縦ヘラケズリ	
119	B-3 Ⅱ-③層	土師器 鼓形器台	1/3	口径:16.7 器高:10.4 底径:15.3)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面:口縁端部・脚部部横ナデ、受部～脚部縦・縦ヘラミガキ 内面:受部横ヘラミガキ、接合部ナデ、脚部横ヘラケズリ	
120	A-3 Ⅱ-③層	土師器 鼓形器台	1/2	器高:(8.8) 底径:(15.6)	良	橙褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面:受部・脚部横・縦ヘラミガキ、接合部・脚端部横ナデ 内面:受部横ヘラミガキ、脚部横ヘラケズリ	
121	E-3 Ⅱ-③層	土師器 鼓形器台	脚部1/4	器高:(6.8) 底径:(19.0)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面:横ナデ 内面:受部横ヘラミガキ、接合部ナデ、脚部斜めヘラケズリ	外面脚部ヘラによる線刻2条
122	C-2 Ⅱ-②層	土師器 鼓形器台	脚部破片	器高:(4.9) 底径:(16.6)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒	外面:横ナデ 内面:脚部横ヘラケズリ、脚部下半横ナデ	内面脚部ヘラによる線刻「×」
123	D-1 Ⅱ-②層	土師器 鼓形器台	脚片1/2	器高:(5.9) 底径:(20.4)	良	褐色	密 芯母・砂粒	外面:横ナデ、脚部ヘラ状工具痕による刻点文（6箇） 内面:横ヘラケズリ	脚裾
124	D-4 Ⅱ-②層	土師器 小型器台	2/3	口径:(8.8) 器高:(3.0) 底径:(6.2)	良	橙褐色	密 芯母・石英・白色粒	外面:口縁端部・脚端部横ナデ、受部～脚部横・縦ヘラミガキ 内面:受部横ヘラミガキ、接合部ナデ、脚部横ヘラケズリ	
125	H-3 Ⅱ-③層	土師器 小型器台	脚部1/2	口径:(8.4) 器高:(4.7)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・白色粒	外面:横・縦ヘラミガキ 内面:受部横ヘラミガキ、接合部以下横ヘラミガキ 接合部受部から穿孔	
126	C-1 Ⅱ-③層	土師器 壺	1/2	口径:(12.8) 器高:(4.5)	良	赤褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面:口縁部指頭調整→横ナデ、体部指頭調整→横ハケメ 内面:指頭調整→横ナデ	
127	B-1 Ⅱ-②層	手捏ね 土器	1/2	口径:(5.9) 器高:4.0 底径:(2.0)	良	灰褐色～橙色	密 石英	外面:指頭調整→ハケメ 内面:底部調整→ヘラケズリ	内外黒斑有
128	B-2 Ⅱ-②層	手捏ね 土器	底部	器高:(3.5) 底径:(2.5)	やや良	褐色	密 石英・白色粒	外面:横ヘラミガキ 内面:指頭調整・ヘラミガキ	黒斑
129	D-1 Ⅱ-②層	製造土器	破片	口径:(10.0) 器高:(4.7)	やや良	灰褐色	密 芯母・石英・白色粒	外面:指頭調整	
130	C-2 Ⅱ-②層	手捏ね 土器	底部	器高:(2.8) 底径:(2.4)	やや良	褐色	やや粗	外面:指頭調整→ナデ 内面:底部指頭調整→ナデ、脚部ナデ	
131	B-2 Ⅱ-②層	手捏ね 土器	脚部	器高:(1.9) 底径:(5.6)	良好	橙褐色	密 砂粒	内外面:指頭調整	
132	D-2 Ⅱ-③層	手捏ね 土器	完形	口径:3.8 器高:1.2 脚径:(4.2)	良	褐色	密 石英・白色粒・赤色粒	外面:指頭調整→ナデ、底面中心部刺突痕 内面:指頭調整→ナデ	
133	B-2 Ⅱ-③層	手捏ね 土器	完形	口径:2.2 器高:1.6	良	褐色	密 白色粒	内外面:指頭調整	
134	C-1b-1 Ⅱ-③層	手捏ね 土器	脚部	器高:(2.9) 底径:(3.0)	良	橙褐色	密 白色粒	内外面:指頭調整	
135	A-3 Ⅱ-③層	手捏ね 土器	完形	口径:1.5 器高:0.9	良	灰茶色	密	内外面:指頭調整	
136	H-1 Ⅱ-③層	土製品 勾玉	完形	長さ:3.8 幅:1.1 厚さ:1.0	良	褐色	密 角閃石・石英・白色粒	平捏ね成形→ナデ	竹根穿孔（孔径3mm） 重量：7.8g
137	D-2 Ⅱ-③層	角形 土製品	1/3	長さ:(6.9) 幅:(6.5) 厚さ:(4.2)	良	灰褐色	密 石英	外面:紐状部端部ヘラケズリ→ナデ、紐状部～底部ヘラケズリ 内面:指頭調整→ヘラケズリ	紐状部の粘質付近穿孔
138	D-1 Ⅱ-②層	奇形 土製品	1/3	長さ:(7.4) 幅:(5.9) 高さ:(2.6)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面:紐状部ヘラケズリ、底部ヘラケズリ→ナデ 内面:底部ヘラケズリ	
139	A-3 Ⅱ-②層	不明 土製品	完形	長さ:3.1 幅:2.8 厚さ:2.5	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面:指頭調整→ナデ、底面中心部穴（直径6mm・深さ12mm）	外面溝4条 重量：147g
140	C-2 Ⅱ-②層	不明 土製品	破片	長さ:(1.6) 幅:0.8 厚さ:0.7	良	褐色	密	外面:ナデ	
141	H-1 Ⅱ-③層	土玉	完形	長さ:1.7 幅:2.0 厚さ:1.8	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	外面:指頭調整	重量：5.6g
142	D-1 Ⅱ-②層	土師器 土器片錘	完形	長さ:4.2 幅:4.6 厚さ:0.8	良	茶灰色	密 雲母・石英・砂粒	裏海苔痕有	重量：15.8g
143	B-3 Ⅱ-②層	土師器 甕	口縁部	残口径:11.2 器高:(20.) 底径:(8.7)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒・小石粒	外面:縦ハケメ、絡手部ヘラケズリ・ナデ 内面:横・斜めヘラケズリ・ナデ	胴口部穿孔2箇
144	B-2 Ⅱ-②層	土師器 瓶	底部破片	厚さ:1.6	良好	褐色	密 角閃石・白色粒・小石粒	ヘラケズリ	
145	A-2 Ⅱ-③層	鞴羽口	先端部～体部	長さ:(7.8) 幅:(6.1) 厚さ:(2.3)	良	灰褐色～褐色	密	内外面:ヘラケズリ	
146	B-3 Ⅱ-③層	土製品 三叉支脚	1/2	器高:(12.0) 幅:(10.2) 厚さ:(7.2)	良	褐色	密 石英・白色粒	体部～脚部縦・横ヘラケズリ	底脚部長：(5.2) cm 突起部幅：3.5cm
147	B-3 Ⅱ-②層	土製品 三叉支脚	2/3	器高:(18.2) 幅:(11.2) 厚さ:(6.8)	良	橙褐色	密 角閃石・石英・白色粒	体部～脚部縦・横ヘラケズリ	底脚部長：6.0cm～6.3cm 突起部幅：3.7cm～3.5cm・3.2cm 一部煤付着
148	A-3 Ⅱ-③層	土師器 移動式竈	破片	器高:(18.6) 幅:(11.5) 厚さ:(10.6)	やや良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面:底部ナデ・一部指頭調整、体部縦ハケメ・一部指頭調整 内面:体部ヘラケズリ・一部指頭調整	体部内面煤付着

149	A-3 Ⅲ-①層	上部器 修復凸縁	破片	器高(12.3) 口縁 (38.9) 厚さ(1.43)	良	褐色	密 黒母多量・石英・砂粒	外面：受部ナデ、底部ヘラケズリ、体部ナデ 内面：受部ナデ、体部ヘラケズリ			内外強体部擦付著
150	B-1 Ⅲ-②層	土師器 坏	ほぼ完形	口縁 :135 器高 :30 底径 :11.5	良	褐色	密 石英・砂粒	外面：口縁部～体部横ナデ、底部ヘラケズリ 内面：口縁部～体部横ナデ、底部ナデ			内外面煤い赤彩
151	C-2 Ⅲ-①層	土師器 坏	1/4	口径(32) 器高 :28 底径 : 9.0)	良	褐色	密 雲母・白色粒・赤色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部ヘラ切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部指頭押圧→ナデ			外面赤彩
152	C-1 Ⅲ-①層	土師器 坏	1/4	L径(9.2) 器高 : 2.0 底径(4.6)	良	褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半ヘラケズリ→ナデ、底部ヘラ切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部指頭押圧→ナデ			内外面赤彩
153	C-1 Ⅲ-①層	上師器 皿	1/4	L径(18.4) 器高 : 2.0 底径(17.6)	良	灰褐色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部ヘラケズリ 内面：ナデ			内外面赤彩
154	D-3 Ⅲ-①層	土師器 坏	体部	口径 :147 器高(5.1)	良	橙褐色	密 雲母・石英・白色粒	内外面：口縁部～体部横ナデ			外面口縁部煤付著
155	A-3 Ⅲ-③層	土師器 坏	完形	口径 :129 器高 : 4.0 底径 : 4.9	良	褐色	密 雲母・石英	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部指頭糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ			内外面体部煤付著
156	A-4 Ⅲ-①層	上師器 甕	1/2	L径(13.8) 器高 : 18 底径(9.0)	良	褐色	密 白色粒・赤色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部ヘラ切り→指頭押圧 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部指頭押圧→ナデ			
157	B-3 Ⅲ-①層	土師器 坏	底部	器高(3.2) 底径 : 8.8	良	灰褐色	密 赤色粒・黒色粒	外面：底部回転糸切り、切り離痕 内面：ナデ			
158	C-2 Ⅲ-②層	土師器 灯明皿	底部	器高(4.0) 底径 : 9.4	良	黄灰白色	密 雲母・石英	外面：ナデ、貼付高台 内面：ナデ			土師器平転応用 外底面煤付著 内底面煤？付著
159	D-1 Ⅲ-①層	土師器 坏	底部破片	器高(2.9) 底径 : 8.8)	良	褐色	密 雲母・白色粒	外面：体部横ヘラミガキ、底部ナデ、貼付高台 内面：黒色処理→ヘラミガキ			黒色上器
160	C-3 Ⅲ-①層	土師器 坏	底部破片	器高(2.8) 底径(9.0)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：高台外側横ヘラミガキ、高台内ナデ、貼付高台 内面：黒色処理→ヘラミガキ			黒色上器
161	C-3 Ⅲ-①層	上師器 坏	底部破片	器高(1.6) 高径(10.8)	良	橙褐色	密 角閃石・石英・白色粒	外面：ナデ、貼付高台 内面：黒色処理→ヘラミガキ			黒色土器
162	C-1 Ⅲ-③層	土師器 皿	ほぼ完形	口径(17.4) 器高 : 4.3 底径 : 9.9	良	橙褐色	密 石英・白色粒	外面：口縁部～体部横ナデ、体部下半ヘラケズリ→ナデ、底部ナデ、貼付高台 内面：ナデ			外面高台内以外黒赤彩 外黒高台内墨書「○」
163	A-4 Ⅲ-③層	須恵器 坏	底部	器高(1.5) 底径(8.4)	良	褐色	密 雲母・白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：体部回転ナデ、底部ナデ			内面底部稜無跡
164	D-3 Ⅲ-①層	土師器 坏	底部1/4	器高(2.3) 底径(8.8)	良	褐色	密 雲母	外面：ナデ、切り離痕 内面：黒色処理→ヘラミガキ			黒色土器 外黒高台内墨書 外墨書?
165	C-2 Ⅲ-①層	須恵器 蓋	1/2	L径(17.1) 器高 : 3.5	良	青灰色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部回転ナデ、天井部回転ヘラケズリ→ナデ 内面：口縁部回転ナデ、天井部ナデ			内面「墨書？」
166	A-3 Ⅲ-①層	須恵器 皿	ほぼ完形	L径(14.8) 器高 : 2.5 底径 : 8.4	良	灰色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ			外面底部墨書「仲」
167	C-3 Ⅲ-①層	須恵器 皿	1/2	L径(18.7) 器高 : 4.0 底径 : 13.7	良	灰色	密 石英・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り→ナデ 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ			外面高台内墨書「大」
168	A-3 Ⅲ-①層	須恵器 坏	底部	器高(1.2) 底径(7.2)	良	灰色	密 黄母・石英・白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：体部回転ナデ、底部ナデ			内面底部墨書
169	B-1 Ⅲ-②層	須恵器 坏	底部	器高(0.9) 底径(6.8)	良	灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：体部回転ナデ、底部ナデ			外面底部墨書
170	C-3 Ⅲ-②層	須恵器 皿	1/2	口径(17.0) 器高(3.8) 底径(11.4)	良好	灰色	密 砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半ヘラケズリ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ			外面高台内墨書
171	D-2 Ⅲ-②層	須恵器 皿	底部破片	器高(1.4) 底径(14.8)	良	灰色	密 白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：体部回転ナデ、底部ナデ			外面底部墨書「神」
172	B-3 Ⅲ-②層	須恵器 高坏	1/2	口径(13.6) 器高 : 8.7 脚径 : 7.6	良好	青灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：同転ナデ 内面：坏部回転ナデ、坏底部ナデ、脚部回転ナデ 脚部三方向穿孔			内面坏部線刻「ノ」
173	D-3 Ⅲ-②層	須恵器 蓋	2/3	L径(11.4) 器高 : 4.6	良好	灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：口縁部回転ナデ、天井部回転ヘラケズリ 内面：口縁部回転ナデ、天井部ナデ			内面天井部線刻
174	C-4 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/2	L径(21.8) 器高 : 3.9 底径(8.0)	良	褐灰色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ			内面底部線刻「×」
175	A-1 Ⅲ-①層	須恵器 坏	底部破片	器高(0.7)	良	赤褐色	密	外面：回転糸切り 内面：ナデ			内面底部線刻「×」
176	C-1 Ⅲ-①層	須恵器 坏	底部1/2	器高(3.8) 底径(8.6)	良	青灰色	密 石英・白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：体部回転ナデ、底部ナデ			外面底部線刻 底部中心部焼成後穿孔
177	D-1 Ⅲ-①層	陶質土器 甕	破片	器高(8.1)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：縦方向の平行叩き→横方向にスリ消し 内面：回転ナデ			
178	C-4 Ⅲ-①層	陶質土器 甕	破片	器高(3.5)	良好	灰色	密 白色粒	外面：縦方向の平行叩き→横方向にスリ消し 内面：回転ナデ			
179	D-1 Ⅲ-②層	陶質土器 甕	破片	器高(3.1)	良好	青灰色	密	外面：縦方向の平行叩き→横方向にスリ消し 内面：回転ナデ			
180	B-1 Ⅲ-①層	須恵器 甕	口縁～体部1/2	口径(26.1) 器高(43.9) 胴径(43.4)	良好	灰色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部回転ナデ、体部平行叩き目 内面：口縁部回転ナデ、体部当ててによる同心円文			内面口縁部～外面肩部降灰熱痕状
181	D-1 Ⅲ-①層	須恵器 横瓶	口縁～体部	L径(12.1) 器高(7.5)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部回転ナデ、体部平行叩き目 内面：口縁部回転ナデ、胴部根部調整、体部当ててによる放射状文			内面口縁部自然降灰

182	C-4 Ⅲ-②層	須恵器 壺	口縁～体部1/8	口径(18.7) 器高(6.7)	良好	青灰色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部回転ナデ、胴部半仕切り目 内面：口縁部回転ナデ、頸部指頭調整、胴部指頭による 胴後丈		
183	B-2・D-1 Ⅲ-①層	須恵器 壺	破片	器高(5.9)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：回転ナデ→ヘラ状工具による波状文2条 内面：回転ナデ		内面白然薄状
184	B-1 Ⅲ-②層	須恵器 高杯型 器台	脚部破片	器高(8.1)	良好	赤褐色	密 砂粒・白色粒	外面：比較状面の櫛状工具による波状文 内面：回転ナデ 脚部2段透し		
185	A・B・D-1～3 Ⅲ-①層	須恵器 甲蓋	破片	器高(12.4)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：頂部回転ナデ、体部ホキ目、頂部ハケメ 内面：頂部回転ナデ、体部指頭圧による開心円文		外面黒斑色然陽状
186	A-2・D-1 Ⅲ-①層	須恵器 蓋	体部1/2	器高(6.0) 脚径(10.4)	良好	青灰色	密	外面：体部上半回転ナデ、中位櫛状工具による波状文、下半ヘラケズリ 内面：ナデ	頂部穿孔	
187	D-2 Ⅲ-①層	須恵器 蓋	体部破片	器高(4.5) 脚径(8.2)	良好	暗赤灰色	密 雲母・白色粒	外面：回転ナデ 内面：頂部破り、体部回転ナデ		
188	B-C-1 Ⅲ-①層	須恵器 蓋	体部破片	器高(4.0) 脚径(11.2)	良好	青灰色～灰色	密 白色粒	外面：頂部～肩部破り、体部回転ヘラ状工具による波状・櫛状工具部都による横刺文・回転ナデ 内面：頂部破り、肩部指頭調整、体部回転ナデ	頂部穿孔	
189	B-1 Ⅲ-②層	須恵器 蓋	体部破片	器高(2.8)	良好	青灰色	密 白色粒・砂粒	外面：肩部ヘラケズリ・比較区画の櫛状工具による波状文 内面：回転ナデ		
190	A-1 Ⅲ-②層	須恵器 蓋	破片	口径(9.1) 器高(3.6)	良好	青灰色	密 石英・砂粒	内外面：回転ナデ		内外面白然陽状
191	B-1 Ⅲ-①層	須恵器 鉢？ 高杯？	把手部破片	口径(9.6) 器高(3.3)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：回転ナデ、把手部ナデ 内面：回転ナデ		
192	A-1 Ⅲ-①層	須恵器 提瓶	把手部	器高(1.8)	良好	灰色	密 白色粒	外面：回転ナデ、把手部ナデ 内面：回転ナデ		
193	D-2 Ⅲ-①層	須恵器 提瓶	把手部	長さ(1.9) 幅：1.0	良好	灰色	密 白色粒	把手部：指頭調整・ナデ		
194	D-1 Ⅲ-①層	須恵器 鉢	破片	口径(18.4) 器高(6.6)	良	暗赤灰色	密	外面：回転ナデ 内面：口縁部回転ナデ、体部ナデ		
195	D-1 Ⅲ-②層	須恵器 鉢	1/8	口径(18.6) 器高(8.0)	良好	灰色	密 砂粒	内外面：回転ナデ		
196	D-1 Ⅲ-①層	須恵器 鉢	破片	口径(18.2) 器高(4.0)	良	暗赤灰色～青灰色	密 雲母・白色粒	内外面：回転ナデ		
197	A-3 Ⅲ-②層	須恵器 高坏	5/8	口径(16.6) 器高：11.7 高杯：10.1	良	灰色	密 白色粒	外面：回転ナデ 内面：坏部回転ナデ、坏底部ナデ、脚部回転ナデ 脚部：方2段方形透し		
198	B-1 Ⅲ-①層	須恵器 高坏	脚部	器高(5.3) 高杯：(8.9)	良好	青灰色	密 雲母・砂粒	外面：坏底部回転ヘラケズリ、脚部回転ナデ 内面：坏底部ナデ、脚部指頭ナデ 脚部三方ハラ切り込み視		
199	A-2 Ⅲ-②層	須恵器 壺	2/3	口径：135 器高：5.2	良好	灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：口縁部回転ナデ、天井部回転ヘラケズリ 内面：口縁部回転ナデ、天井部ナデ		
200	D-1 Ⅲ-①層	須恵器 壺	1/2	口径：138 器高：5.2	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部回転ナデ、天井部回転ヘラケズリ 内面：口縁部回転ナデ、天井部ナデ		
201	A-4 Ⅲ-①層	須恵器 壺	1/4	口径(15.9) 器高：4.6	良好	青灰色	密 砂粒・小石粒	外面：口縁部回転ナデ、口縁部～天井部回転ヘラケズリ、つまみ部回転ナデ 内面：口縁部回転ナデ、口縁部～天井部ナデ		
202	B-3 Ⅲ-①層	須恵器 壺	1/2	口径(19.6) 器高：3.8	良好	灰色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部回転ナデ、天井部回転ヘラケズリ、つまみ部回転ナデ 内面：口縁部回転ナデ、天井部ナデ		
203	A-1 Ⅲ-②層	須恵器 坏	完形	口径：10.2 器高：3.8	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転ヘラケズリ→ナデ 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
204	A-3 Ⅲ-②層	須恵器 坏	1/12完形	口径：10.4 器高：3.8	良好	灰色	密	外面：回転ナデ 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		外面白然陽状
205	B-4 Ⅲ-②層	須恵器 坏	完形	口径：10.6 器高：2.3	良好	青灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転ヘラケズリ 内面：口縁部ナデ		
206	D-2 Ⅲ-②層	須恵器 坏	5/8	口径：10.7 器高：4.2 底径：7.6	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
207	D-1 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/3	口径(10.4) 器高：3.7 底径：(7.2)	良好	青灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
208	C-3 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/2	口径(12.4) 器高：3.8 底径：(8.4)	やや良	灰色	密 白色粒・黒色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
209	B-2 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/4	口径(12.0) 器高：3.8 底径：(7.8)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
210	D-4 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/3	口径(12.8) 器高：4.2 底径：(7.6)	やや良	灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半指頭調整→回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
211	D-2 Ⅲ-①層	須恵器 皿	1/12完形	口径：(14.0) 器高：2.7 底径：7.9	やや良	赤褐色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部磨滅		
212	C-1 Ⅲ-①層	須恵器 鉢転用硯	1/4	口径(12.8) 器高：2.8 底径(10.8)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部磨滅		内面墨痕跡？付着
213	A-2 Ⅲ-①層	須恵器 皿	1/4	口径(14.8) 器高：2.3 底径：(11.0)	良好	青灰色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、体部下半ヘラケズリ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
214	B-4 Ⅲ-①層	須恵器 皿	2/3	口径：15.8 器高：1.3 底径(8.4)	良好	灰色	密 砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：ナデ		内面炭付着
215	D-2 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/12完形	口径(12.6) 器高：3.7 底径：7.6	良	灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り・板状圧痕 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		外面体部炭付着

216	A-4 Ⅲ-①層	須恵器 坏	口径完形	口径:12.4 器高: 4.0 底径: 6.6	良	灰色	密 茶母・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ，底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ，底部ナデ		
217	A-2 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/2	口径:12.8 器高: 4.2 底径: 9.4	良	灰色	密 石英・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ，底部回転糸切り，貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ，底部ナデ		
218	C-2 Ⅲ-①層	須恵器 皿	口径完形	口径:13.2 器高: 3.3 底径:14.2	良好	赤褐色	密 砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ，底部回転糸切り，貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ，底部ナデ		
219	B-1 Ⅲ-①層	須恵器 皿	1/2	口径:19.2 器高: 3.9 底径:13.2	やや良	灰色	密 長石・石英・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ，底部回転糸切り，貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ，底部ナデ		外面煤？付着
220	B-4 Ⅲ-①層	須恵器 坏	1/4	口径:16.1 器高: 5.5 底径:11.2	良好	青灰色	密 茶母・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ，底部回転糸切り，貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ，底部ナデ		
221	A-2 Ⅲ-①層	須恵器 短頸上器	1/4	口径:12.1 器高: 2.2	良好	灰色	密	蓋紐部，口縁端部～内面沿痕		重量：54.6g
222	C-3 Ⅲ-①層	須恵器 短頸上器	5/8	胴径: 12 高径: 7.2	良好	灰色	密 白色粒	外面胴部転用，内面剥離		重量：49.1g
223	B-1 Ⅲ-①層	平瓦	破片	厚さ: 2.1	良	暗灰白色	密 石英	凸面：格子目状工具による叩き目 凹面：布目状圧痕，模骨痕		内外面二次被熱

第200表　5区弥生時代～古代包含層出土金属製品観察表（第431図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種　類	部　位 残存率	材　質	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	属性・文様・その他特徴事項			重量（g）	備　考
224	D-2 Ⅲ-②層	小型鏡	1/4	青銅	（26）	(25)	（1）	鏡背：直径文 鏡形面研磨			2.4	鏡背磨形 年孔２個
225	D-1 Ⅲ-①層	帯金具 造力	楽形	銅	36	34	10				23.5	銅鈴６個 垂孔（28×３mm）
226	C-3 Ⅲ-①層	耳環	完形	青銅	22	6	8				7.3	
227	A-1 Ⅲ-③層	鉄鏃	完形	鉄	39	26	1	錆着度 6	メタル度 錆化（△）	ランク 5	12.6	刃部角23度
228	B-1 Ⅲ-③層	鉄鏃	完形	鉄	26	19	2	錆着度 3	メタル度 Ｍ(○)	ランク 3	4.7	刃部角75度 穿孔１個
229	B-3 Ⅲ-②層	鉄片	—	鉄	(23)	(18)	1	錆着度 4	メタル度 錆化（△）	ランク 2	3.0	
230	B-1 Ⅲ-③層	鉄鏃	完形	鉄	14	13	2	錆着度 4	メタル度 錆化（△）	ランク 5	2.1	刃部角55度 穿孔１個
231	D-2 Ⅲ-②層	刀子	破片	鉄	全長（23） 刃部: 11 茎部: 12	刃部: 11 茎部: 5	刃部: 2 茎部: 1	錆着度 4	メタル度 錆化（△）	ランク 3	2.4	目釘穴１個
232	A-2 Ⅲ-③層	環状不明品	—	鉄	31	5	5	錆着度 4	メタル度 錆化（△）	ランク 4	13.7	
233	C-3 Ⅲ-①層	鎹？	刃部	鉄	(30)	(20)	1	錆着度 4	メタル度 錆化（△）	ランク 2	3.8	
234	A-4 Ⅲ-①層	棒状不明品	—	鉄	(150)	5	10	錆着度 3	メタル度 錆化（△）	ランク 4	411.8	火箸状
235	B-4 Ⅲ-②層	針	2/3	鉄	(33)	4	3	錆着度 4	メタル度 錆化（△）	ランク 4	2.1	縫針
236	D-2 Ⅲ-②層	釣手状不明品	—	鉄	(38)	3	3	錆着度 4	メタル度 錆化（△）	ランク 3	4.8	
273	A-4 Ⅲ-②層	刀子	ほぼ完形	鉄	全長(103) 刃部: 80 茎部: (23)	刃部: 9 茎部: 4	刃部: 3 茎部: 4				17.9	

第201表　5区弥生時代～古代包含層出土石器・石製品観察表（第431～433図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種　類	部　位	遺存状態	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	石　材	備　考
237	A-4 Ⅲ-①層	不明石製品	完形	完形	97	60	21	181.6	滑石	市松状形
238	B-3 Ⅲ-①層	軽石軍	ほぼ完形	ほぼ完形	44	43	23	46.9	デイサイト	孔径８cm
239	B-3 Ⅲ-②層	不明石製品	破片	(32)	(31)	(10)	23.3	凝灰岩	玉作り用砥石？	
240	B-3 Ⅲ-③層	紡板品	ほぼ完形	ほぼ完形	22	21	3	2.3	緑色凝灰岩	
241	D-1 Ⅲ-②層	管玉	ほぼ完形	ほぼ完形	19	4	4	0.5	緑色凝灰岩	孔径２mm
242	D-1 Ⅲ-③層	石錘	2/3	(16)	14	3	0.7	サヌカイト	刃部欠損	
243	B-3 Ⅲ-②層	石製未製品	—	29	22	4	2.3	玉髄		
244	C-4 Ⅲ-③層	石錘	完形	47	34	9	12.0	黒曜石		
245	A-1 Ⅲ-①層	二次加工剥片	完形	30	26	5	4.9	黒曜石		
246	D-4 Ⅲ-③層	磨製石斧	1/2	(53)	(43)	(25)	81.6	閃緑岩	刃部角102度	
247	D-1 Ⅲ-③層	紡石	ほぼ完形	(110)	45	13	104.8	頁岩	仕上紡	
248	C-3 Ⅲ-①層	紡石	1/2	(98)	(71)	(26)	262.5	砂岩		
249	C-2 Ⅲ-③層	紡石	完形	173	49	27	344.6	凝灰岩	仕上紡	
250	A-1 Ⅲ-③層	紡石	1/2	(49)	27	13	27.2	頁岩	仕上紡	

251	B-2 Ⅱ-②層	砥石	1/2	(21)	22	22	14.7	凝灰岩	在上紙	
252	B-3 Ⅱ-②層	砥石	1/3	(69)	(47)	(42)	207.6	花崗岩		
253	D-3 Ⅲ-①層	砥石	完形	155	67	43	517.2	花崗岩		
254	A-3 Ⅱ-②層	砥石	2/3	(112)	(54)	(50)	319.0	凝灰岩		
255	C-3 Ⅲ-①層	砥石	ほぼ完形	(146)	(61)	(45)	616.9	砂岩		
256	B-1 Ⅲ-①層	砥石	1/2	(97)	(50)	(49)	353.3	凝灰岩		
257	D-2 Ⅲ-①層	砥石	2/3	(113)	60	46	410.1	花崗岩		
258	B-1 Ⅲ-①層	砥石	1/2	(83)	(46)	(37)	187.3	花崗岩		
259	C-3 Ⅲ-①層	砥石	1/2	(70)	(41)	(31)	106.0	砂岩	被熱後被熱	
260	B-1 Ⅲ-②層	砥石	1/2	(123)	(97)	(69)	218.1	砂岩		
261	A-2 Ⅲ-②層	八鍾	完形	139	110	62	792.2	安山岩	左打欠幅57mm・右打欠幅17mm	
262	B-1 Ⅲ-③層	石錘	完形	122	92	58	780.0	デイサイト	左打欠幅25mm・右打欠幅27mm	
263	C-4 Ⅲ-②層	石錘	ほぼ完形	(138)	86	47	735.5	角閃石安山岩	左打欠幅32mm・右打欠幅37mm	
264	D-1 Ⅲ-③層	石錘	完形	127	91	44	672.1	安山岩	左打欠幅37mm・右打欠幅33mm	
265	C-1 Ⅲ-①層	石錘	ほぼ完形	94	77	43	356.5	角閃石安山岩	左打欠幅43mm・右打欠幅40mm	
266	C-3 Ⅲ-②層	石錘	完形	108	89	47	542.8	安山岩	左打欠幅40mm・右打欠幅46mm	
267	C-3 Ⅲ-②層	石錘	完形	124	80	49	679.8	角閃石安山岩	左打欠幅38mm・右打欠幅33mm	
268	A-3 Ⅲ-③層	敲石・磨石	ほぼ完形	132	(72)	63	678.1	デイサイト		
269	D-2 Ⅲ-①層	敲石・磨石	完形	140	95	64	1223.2	角閃石安山岩		
270	A-1 Ⅲ-③層	敲石	完形	161	95	39	904.7	安山岩		
271	A-4 Ⅲ-③層	敲石	完形	148	135	49	970.2	デイサイト		
272	B-1 Ⅲ-③層	ハシマーストーン	ほぼ完形	(133)	57	36	357.8	デイサイト		

第202表　1区中世包含層出土磁器・土器観察表（第434図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	釉	調整・文様	備考
1	Ⅱ層中	青磁 浅形碗	底部破片	器高(1.2)	良好	灰白色	密	明緑灰色	外面：— 内面：劃花文	龍泉窯系浅形碗 1-2類
2	E 3	上師質 土器 小皿	3/5	口径(8.7) 器高 1.5 底径 5.2	良	黄灰白色	密	—	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
3	E-2	上師質 土器 小皿	2/3	口径(7.8) 器高 1.3 底径 4.2	良好	橙色	密	—	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
4	W-2	上師質 土器 坏	1/4	口径(12.8) 器高 4.3 底径 6.8	良	黄灰白色	密	—	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
5	W-5	上師質 土器 坏	底部	器高(2.2) 底径 6.0	良	橙色	密	—	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
6	W-2	上師質 土器 坏	底部破片	器高(1.6) 底径(7.3)	良好	灰褐色	密	—	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
7	W-1	土師質 土器 鍋	1/3	口径(32.6) 器高(14.2)	良好	黄灰白色	密 石英	—	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ→指頭調整 内面：口縁部横ナデ、体部横ハケメ	内面口縁部～外面屋台部 煤付着 内底面炭化物付着
8	W-1	土師質 土器 鍋	口縁～体部1/4	口径(34.0) 器高(12.6)	良好	黄灰白色	密 雲母・石英	—	外面：口縁部横ナデ、体部縦・横ハケメ→指頭調整 内面：口縁部横ナデ、体部横ハケメ	外面煤付着 内底面炭化物付着

第203表　3区中世包含層出土磁器・土器観察表（第435図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	釉	調整・文様	備考
1	Ⅱ層中	白磁 碗	破片	器高(3.5) 底径(5.2)	良好	灰白色	密	灰白色	外面：削り出し高台 内面：見込沈線	白磁碗V-2類
2	Ⅱ層中	白磁 碗	底部 破片	器高(2.0) 底径(5.6)	良好	灰白色	密	灰白色	外面：貼付、削り出し高台 内面：見込沈線	白磁皿V-2類
3	Ⅱ層中	土師質 土器 小皿	完形	口径 8.0 器高 1.7 底径 4.8	良	灰褐色	密 雲母・砂粒	—	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
4	Ⅱ層中	土師質 土器 小皿	1/4	口径(7.4) 器高 1.0 底径(5.6)	良	黄灰白色	密 白色粒・赤色粒	—	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	

5	Ⅱ層中	上師質土器小皿	破片	口径(7.4)器高:1.1底径(6.0)	良	黄灰白色	密白色粒・赤色粒	—	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ				

第204表　3区中世包含層出土金属製品観察表（第435図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	材質	外径(mm)	厚径(mm)	重量(mm)	その他計測値(mm)	重量(g)	備考
6	A-2 Ⅱ-②層	古銭	1/2	銅	35	7	1		19	皇宋通寶 1038年初鋳

第205表　4区中世包含層出土土器観察表（第436図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	広さ(cm)	焼成	色調	胎土	観察・文様	備考
1	撹乱去中 C-4	上師質土器鍋	破片	口径(35.4)器高(6.2)	良	灰褐色	密	内外面：陶磁ナデ	内外煤及化物付着

第206表　4区中世包含層出土金属製品観察表（第436図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	材質	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	磁着度	メタル度	ランク	重量(g)	備考
2	撹乱去中 C-4	火打金	完形	鉄	75	26	3				39.9	中央部穿孔

第207表　1区近世包含層出土陶磁器・土器観察表（第437図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	観察・文様	備考
1	Ⅱ層中	瓶類染付碗	底部	胎高(2.1)底径(3.1)	良好	黄灰白色	密	外面：釉所不明、高台部巻付～底部露胎、貫入内側：見込～重圏線内龍文、貫入	沖州窯16末～17c初頭
2	Ⅱ層中	碗類染付碗	底部	胎高(2.5)底径(5.0)	良好	白色	密	外面：高台部巻付露胎内面：見込無下文	伊万里18c
3	Ⅱ層中	碗類染付碗	1/4	器高(4.2)底径(4.2)	良好	白色	密	外面：高台内～重圏線内「大明年製」焼れ、高台部露付露胎内面：梅樹文	二次焼成肥前系？　幕末
4	Ⅱ層中	碗類染付碗	1/4	器高(3.9)底径(3.3)	良好	灰白色	密	外面：草花文、高台部巻付露胎内面：重圏線内五弁花	二次焼成幕末
5	Ⅱ層中	碗類染付皿	1/5	口径(12.8)器高:3.7底径(6.0)	良好	淡灰白色	密	外面：唐草文、高台内～重圏線内渦模、高台部巻付露胎内面：網目文、見込二重圏線内コンニャク印四五弁花	肥前18c後半
6	Ⅱ層中	碗類染付碗	底部破片	器高(2.3)	良好	白色	密	外面：高台内～重圏線内「大明年製」焼れ、玉入、貫入内面：見込～草無画、貫入	幕末
7	Ⅱ層中	碗類染付皿	破片	口径(13.8)器高(3.9)底径(7.9)	良好	白色	密	外面：竹車文、蛇の目高台？内面：縁巻き状四方圏線文	18c後半以降
8	Ⅱ層中	碗類染付皿	底部破片	器高(0.9)底径(4.2)	良好	白色	密	外面：高台内角張、高台部縁付露胎、絵の目高台、貫入内面：見込～重圏線内三方側面竹、貫入	肥前18c後半以降
9	Ⅱ層中	陶器鉢	1/5	器高(6.3)底径(4.8)	良好	淡灰褐色	密	外面：風鈴文、高台部巻付露胎、削り出し高台、貫入内面：貫入	陶胎染付肥前　18c以降
10	Ⅱ層中	陶器鉢	1/6	口径(12.2)器高(6.2)底径(5.6)	良好	灰褐色	密	口縁端面外面：灰緑色釉、貫入内面：灰緑色釉、貫入	在地系・布志名焼？18c以降
11	Ⅱ層中	土師質土器小皿	1/3	口径(6.2)器高:1.3底径(3.4)	良	灰褐色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り内面：回転ナデ	

第208表　1区近世包含層出土金属製品観察表（第437図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	部位残存率	材質	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	その他計測値(mm)	重量(g)	備考
12	Ⅱ層中	古銭	1/2	銅	外径(22.0)	穿径(5.0)	厚径：0.8	寛永通寶	1.3	1636年以前鋳造古寛永銭
13	Ⅱ層中	服字携帯	破片	銅	(42)	11	7	小口径：10	26	

第209表　3区近世包含層出土土器観察表（第438図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位残存率	法量(cm)	焼成	色調	胎土	観察・文様	備考
1	Ⅱ層中	土師質土器小皿	1/3	口径(8.8)器高:1.6底径(6.0)	良	橙褐色	密雲母・白色粒・赤色粒	外面：口縁部～体部四転ナデ、底部回転糸切り内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	

第210表　3区近世包含層出土金属製品観察表（第438図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	部位残存率	材質	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	その他計測値					重量(g)	備考
2	Ⅱ層中	鍋手部材	破口	銅	(35)	11	—	口径径：7cm 小口径：10					24	雌雄一対
3	C-1 Ⅱ層中	火打金	完形	鉄	77	29	3	磁着度 6	メタル度 付(○)	ランク 5			54.2	
4	N-1 Ⅱ-②層中	火打金？	1/3	鉄	(40)	(25)	3	磁着度 2	メタル度 錆化(△)	ランク 4			27.5	

第211表　5区近世包含層出土金属製品観察表（第439図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	器種	材質	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	相対度	メタル度	ランク	重量(g)	備考
1	1-7-2 II層中	火打金	ほぼ完形	鉄	50	24	3	5	錆化(八)	5	51.8	山形鋼上部平化

第212表　1区表採出土土器・土製品観察表（第440～442図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	器面残存率	法量(cm)	焼成	外面	胎土	調整・文様	備考
1	I層中	土師器 壺	口縁～体部	口径(20.0) 器高(17.7) 胴径(32.2)	良	黄灰白色	密 長石・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、胴部以下縦・横ハケメ、胴部横状工具による横状文 内面：口縁部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ	黒斑
2	I層中	土師器 壺	上縁～胴部1/3	口径(20.3) 器高(11.8)	良	褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ、胴部横状工具による横状文・横擬文 内面：口縁部横ナデ、胴部以下横ヘラケズリ	内面口縁部～外面赤彩
3	I層中	土師器 壺	上縁部1/3	口径(16.6) 器高(11.5)	良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部横・斜めハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整、胴部横ヘラケズリ	内面頸部ナデ具痕 黒斑
4	I層中	土師器 底部	口縁～体部1/3	口径(9.6) 器高(12.0) 胴径(13.3)	良	灰褐色	密 砂粒	外面：ハケメ→縦・横ヘラミガキ 内面：口縁部指頭調整→ナデ、頸部以下指頭調整→ヘラケズリ	
5	I層中	土師器 底部	口縁～胴部1/3	口径(11.4) 器高(4.2)	良	褐色	密 砂粒	外面：口縁部横ナデ、胴部縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整、胴部横ヘラケズリ	外面保付着
6	I層中	土師器 底部	口縁～胴部4/4	口径(8.4) 器高(4.0)	やや良	黄灰白色	密 雲母・石英・白色粒	外面：器壁調整不明 内面：口縁部横指頭状不明、胴部横ヘラケズリ	
7	I層中	土師器 鉢類	口縁～胴部1/5	口径(7.8) 器高(4.8)	良	黒茶色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、頸部以下縦・横ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下指頭調整→横ヘラケズリ	
8	I層中	土師器 壺	口縁～胴部3/3	口径(27.6) 器高(11.6)	良	灰褐色	密 石英	外面：口縁部横ナデ、胴部縦・横ハケメ→ナデ→黄状工具による横擬文 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	内面口縁部～外面頸部炭化物付着
9	I層中	土師器 壺	口縁～胴部1/3	口径(26.0) 器高(11.8)	良	暗灰白色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、胴部縦ハケメ→指状工具痕による列点文2條以上 内面：口縁部横ナデ、胴部横ハケメ→粗磨調整、胴部横ヘラケズリ→指頭調整	
10	I層中	土師器 壺	口縁～胴部1/4	口径(19.8) 器高(9.5)	良	黄灰白色	密 石英・砂粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、胴部横ヘラケズリ	外面～部屋付着
11	I層中	土師器 壺	口縁～体部1/3	口径(15.6) 器高(12.5) 頸径(22.0)	良	暗黒白色	密 石英・白色粒	外面：口縁部横ナデ、胴部以下縦ハケメ 内面：口縁部横ナデ、頸部以下横ヘラケズリ	外面口縁部炭化物・煤付着
12	I層中	土師器 壺	口縁～体部1/3	口径(20.2) 器高(22.7) 胴径(24.5)	良	褐色	密 石英・砂粒多量	外面：口縁部指頭調整→横ナデ、体部横ハケ後・縦・横ハケメ 内面：口縁部指頭調整→横ナデ、胴部以下→粗磨調整→横・縦ヘラケズリ	外面体部煤付着
13	I層中	土師器 底部	底部	器高(1.7) 底径(3.7)	良	黄灰白色	密 雲母・石英	外面：ナデ 内面：縦ハケメ・斜かいハケメ	
14	I層中	土師器 底部	底部	器高(1.8) 底径(3.2)	良	灰色	密 雲母・石英	外面：ナデ 内面：ハケメ	
15	I層中	土師器 壺	破片	口径(26.6) 器高(8.6)	良	褐褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：横ナデ 内面：口縁部横ナデ、頸部指頭調整→横ナデ、体部縦ヘラケズリ	鍋入品
16	I層中	土師器 鉢	1/3	口径(12.8) 器高(7.8) 底径(5.8)	良	褐色	密 砂粒	外面：縦・横ヘラミガキ、底平貼付底 内面：口縁部横ヘラミガキ、体部横ヘラケズリ、底部指頭調整→ヘラケズリ	内面口縁部～外面赤彩
17	I層中	土師器 小型丸底壺	1/2	器高(6.5) 胴径(8.6)	良	褐褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：ハケメ→横ヘラミガキ 内面：口縁部横ナデ、体部指頭調整→ナデ	
18	I層中	土師器 高杯	坏部	口径(15.3) 器高(5.1)	良	褐褐色	密	外面：縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面：横・縦ハケメ	
19	I層中	土師器 高杯	坏部	口径(16.8) 器高(4.2)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁端部横ナデ、坏部縦・横ヘラミガキ 内面：横・縦ハケメ 接合部円盤状痕跡	外面口縁部煤付着
20	I層中	土師器 高杯	脚部	器高(4.1) 底径(13.8)	やや良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：縦ハケメ→ヘラミガキ 内面：脚柱部縦・横ヘラケズリ、裾部横ハケメ 脚部二方円形透し	内外指側痕
21	I層中	土師器 高杯	脚部	器高(7.6) 底径(9.9)	良	褐褐色	密 雲母・砂粒	外面：縦ハケメ→横・縦ヘラミガキ 内面：脚柱部横ヘラケズリ、裾部横ハケメ・右旋痕→ナデ	
22	I層中	土師器 低脚坏	1/2	口径(14.3) 器高(4.6) 底径(4.2)	良	褐褐色	密 雲母・石英・砂粒	外面：横・縦ヘラミガキ 内面：坏部横・縦ヘラミガキ、脚部横ナデ	金属赤彩
23	I層中	土師器 低脚坏	1/2	口径(13.8) 器高(3.9) 底径(3.6)	良	褐褐色	密	外面：坏部縦・横ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部横ヘラミガキ、脚部横ナデ	外面口縁部煤付着
24	I層中	土師器 鉢形器台	1/3	口径(19) 器高(11.0) 底径(16.2)	良	褐色	密 砂粒	外面：横ナデ 内面：受部縦・横ヘラミガキ、脚部横・斜めヘラケズリ、脚端部横ナデ	外面解部ヘラによる横刻2条以上
25	I層中	土師器 鉢形器台	2/3	口径(20.1) 器高(9.6) 底径(19.6)	良	黄灰白色	密 石英・砂粒	外面：横ナデ 内面：受部縦ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横ヘラケズリ、脚端部横ナデ	外面解部ヘラによる横刻1条以上
26	I層中	土師器 鉢形器台	受部～脚部	器高(9.1) 底径(19.4)	良	黄灰白色	密 雲母・石英・白色粒	外面：横ナデ 内面：受部縦ヘラミガキ、接合部横ヘラケズリ→横ナデ、脚部横ヘラケズリ、脚端部横ナデ	
27	I層中	土師器 鉢形器台	1/2	口径(14.2) 器高：8.9 底径(13.6)	良	褐色	密 角閃石・泥母・石英・砂粒	外面：横ヘラミガキ 内面：受部縦・横ヘラミガキ、接合部～脚部横ヘラケズリ、脚部横ナデ 脚部円形透し	

28	Ⅰ層中	土師器 小型壺	1/3	口径(8.8) 器高(6.6)	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：縦ハケメ→横・縦ヘラミガキ 内側：横・縦横・縦ヘラミガキ、脚柱部横ヘラケズリ、裾部縦ハケメ 脚台部周辺部→穿孔		
29	Ⅰ層中	土師器 小型壺台	完形～脚部	脚高(8.2) 底径(10.6)	良	褐色	密 雲母・砂粒	外面：縦ハケメ→縦・横ヘラミガキ 内面：小型縦ヘラミガキ、脚柱部横ヘラケズリ・縦ハケメ、裾部指頭調整→ナデ 脚台部周辺部→穿孔、脚部円形透し２個		
30	Ⅰ層中	土師器 碗片	ほぼ完形	口径(13.3) 器高：2.9 底径：10.8	良	橙褐色	密	外面：口縁部～体部横ナデ、底部ヘラケズリ→指頭押圧→ナデ 内面：ナデ	山田体部被覆２条 全周薄い条黒赤彩	
31	Ⅰ層中	製塩土器	破片	口径(9.4) 器高(5.3)	やや良	褐色	やや粗 長石・石英・白色粒	内外面：指頭圧痕→ナデ		
32	Ⅰ層中	土師器 甕	口縁部 破片	厚さ：1.1	良	灰褐色～明褐色	密 雲母・石英・砂粒	内外面：ヘラケズリ 側面：ナデ		
33	Ⅰ層中	土師器 転用土錘	完形	長さ：9.5 幅：1.9 厚さ：0.8	良	橙褐色	密 雲母・石英・白色粒	雲母部転用	外面底部一部墨付 重量：210g	
34	Ⅰ層中	土師器 転用土錘	完形	長さ：4.9 幅：1.8 厚さ：0.4	良	黄灰白色	密 雲母・砂粒	環状部転用	重量：95g	
35	Ⅰ層中	土師器 坏	1/5	口径(13.2) 器高：2.8 底径(6.4)	良	橙褐色	密 砂粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部ヘラ切り→指頭圧痕 内面：横ナデ	全周薄い条黒赤彩 外面底部墨書 「こ？」ト	
36	Ⅰ層中	須恵器 皿	底部	器高(4.5) 底径(10.6)	良好	赤褐色～暗赤灰色	密	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：ナデ	外面高台内墨書？	
37	Ⅰ層中	須恵器 甕	胴部	長さ(21.5) 幅(11.9)	良	灰色	密	外面：縦ヘラケズリ 内面：縦・横ヘラケズリ、加工胴部		
38	Ⅰ層中	須恵器 蓋	1/2	口径(11.2) 器高：5.0	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部回転ナデ、天井部回転ヘラケズリ 内面：口縁部回転ナデ、天井部ナデ		
39	Ⅰ層中	須恵器 蓋	1/3	口径(13.8) 器高：2.6	良好	灰色	密 石英	外面：口縁部回転ナデ、天井部回転ヘラケズリ 内面：口縁部回転ナデ、天井部ナデ	内面一部墨付書	
40	Ⅰ層中	須恵器 蓋	1/2	口径(14.4) 器高：2.9	良	灰色	やや粗 石英	内外面：回転ナデ		
41	Ⅰ層中	須恵器 蓋	ほぼ完形	口径：18.0 器高：2.6	良好	青灰色	密	外面：口縁部回転ナデ、天井部回転ヘラケズリ 内面：口縁部回転ナデ、天井部ナデ	外面口縁部黒斑跡	
42	Ⅰ層中	須恵器 蓋	1/3	口径(14.6) 器高(1.7)	良好	灰色	密	外面：回転ナデ 内面：口縁部回転ナデ、天井部ナデ		
43	Ⅰ層中	須恵器 蓋	1/3	口径(19.0) 器高：2.8	良好	青灰色	密 石英	外面：口縁部回転ナデ、天井部回転糸切り 内面：口縁部回転ナデ、天井部ナデ	外面一部墨付書	
44	Ⅰ層中	須恵器 蓋	1/2	口径(20.6) 器高(2.3)	良好	灰白色	密 石英	外面：口縁部回転ナデ、天井部回転ヘラケズリ、つまみ部貼付痕 内面：口縁部回転ナデ、天井部ナデ		
45	Ⅰ層中	須恵器 坏	3/5	口径(12.4) 器高：3.4 底径(7.4)	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
46	Ⅰ層中	須恵器 坏	2/3	口径(13.7) 器高：3.8 底径：7.6	良好	青灰色	密 石英	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	内面底部使用痕跡著	
47	Ⅰ層中	須恵器 坏	1/5	口径(13.0) 器高：4.0 底径：8.0	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、底部外周ヘラケズリ 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
48	Ⅰ層中	須恵器 坏	1/3	口径(12.4) 器高：3.6 底径：8.6	良好	暗赤灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
49	Ⅰ層中	須恵器 坏	1/6	口径(12.4) 器高：4.4 底径：9.3	良好	青灰色	密 石英	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
50	Ⅰ層中	須恵器 坏	1/3	口径(12.4) 器高：3.5 底径：8.6	良好	暗赤灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
51	Ⅰ層中	須恵器 坏	1/3	口径(12.8) 器高：4.0 底径：8.2	良好	灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	内面底付着 外面被熱痕 打明皿	
52	Ⅰ層中	須恵器 坏	ほぼ完形	口径：12.4 器高：4.0 底径：8.4	良	灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	内面底部墨痕明りび	
53	Ⅰ層中	須恵器 皿	1/3	口径(13.0) 器高：2.5 底径：9.0	良好	灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
54	Ⅰ層中	須恵器 坏	1/2	口径(13.5) 器高：4.3 底径：8.8	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り→ナデ、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
55	Ⅰ層中	須恵器 皿	1/3	口径(14.6) 器高：2.0 底径(10.2)	良好	灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
56	Ⅰ層中	須恵器 皿	1/2	口径(14.6) 器高：3.8 底径(14.4)	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
57	Ⅰ層中	須恵器 皿	ほぼ完形	口径：14.2 器高：2.6 底径：9.0	良好	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		
58	Ⅰ層中	須恵器 底部破片	1/3	口径(14.6) 器高：2.5 底径(10.8)	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、底部外周ヘラケズリ 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部磨耗	外面底部墨付書	
59	Ⅰ層中	須恵器 甕	1/4	口径(17.4) 器高：3.6 底径(12.6)	良好	灰色	密 石英	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部静止糸切り、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ		

60	1 層中	須辺勝 長尾	把手部	長さ：3.4 幅：1.5	良	青灰色	密 黄白・石英	背面：ヘラケズリ 内面：指頭調整→ナデ		
61	1 層中	須辺勝 須和田区	底部破片	厚さ：1.1	良好	青灰色	密 黄白・白色粒	外面：刷毛目切り 内面：磨耗		外面底部刷毛書
62	1 層中	須辺勝 須和田区	底部破片	厚さ：0.8	良好	灰色	密 白色粒	外面：刷毛目切り 内面：磨耗		外面底部刷毛書

第213表　1 区表採出土石器観察表（第442・443図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	残存状態	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	石材	備考
63	1 層中	磨石	2/3	187	72	147	830.5	凝灰岩	穿孔 1 個（孔径10mm）
64	1 層中	石鏃	完形	160	101	33	867.0	デイサイト	上打欠幅28mm・下打欠幅17mm
65	1 層中	石錘	完形	216	150	38	1633.5	デイサイト	右打欠幅62mm・左打欠幅60cm
66	1 層中	石錘	完形	205	108	33	1027.0	デイサイト	上打欠幅30mm・右打欠幅60cm
67	1 層中	石錘	完形	143	94	47	838.2	角閃石安山岩	左打欠幅20cm・右打欠幅25mm
68	1 層中	石錘	完形	144	80	38	575.2	デイサイト	左打欠幅21mm・右打欠幅41mm
69	1 層中	石錘	完形	134	95	35	688.2	デイサイト	上打欠幅48mm・右打欠幅34cm

第214表　2 区表採出土土器・土製品観察表（第444図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	器位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	1 層中	土師器 皿口縁	口径 完形	口径：7.0 器高(1.1) 重量(10.2)	良	明茶白色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部指頭調整→ナデ、体部ナデ 内面：口縁部指頭調整→ナデ、底部板ヘラケズリ→ナデ、見込部指頭調整、体部横ヘラケズリ、底部指頭調整	
2	1 層中	土師器 鉢底部	胴部破片	器高(4.0)	良	橙色	密 石英・砂粒	外面：口縁部～底部板ヘラミガキ、胴部底部区画の横状工具による刻状文2条以上 内面：口縁部投弧状工具→横ヘラミガキ、胴部横ヘラケズリ	外面：黒斑付着
3	1 層中	土師器 高杯脚	破片	器高(2.1)	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：貝殻腹縁による近畿刺突文・北陸区画の竹管文2条 内面：ヘラケズリ	外面赤彩
4	1 層中	土師器 壺底部	破片	底高(1.6)	良	黒色	密 雲母・砂粒	外面：北陸区画の櫛描斜状文光沢の低高文 内面：ヘラケズリ	外面赤彩
5	1 層中	土師器 高杯	不明	口径：14.2 器高(.6)	やや良	黄灰白色	密 雲母・石英・砂粒多量	外面：杯部縦ハケメ→横ヘラミガキ 内面：横ヘラミガキ 摩耗のため定不明瞭	外面山陰部器付着 外面坏部破損痕
6	1 層中	土師器 高坏	脚部	器高(8.0) 底径(11.2)	良	橙褐色	密 砂粒	外面：脚部縦・横ヘラミガキ、脚部根元ナデ 内面：脚柱部横ヘラケズリ→指頭調整、脚部縦ハケメ→指頭調整 脚部二方円形透し	
7	1 層中	土師器 器台部分	脚部 1/4	器高(8.6) 底径(17.6)	良	黒色	密 雲母・石英・砂粒多量	外面：縦小刷→脚部横ヘラミガキ、脚部根元ナデ 内面：受部横ヘラケズリ、接合部ナデ、脚部横ヘラケズリ、脚部根元ナデ	
8	1 層中	土師器 鉢底部台	1/8	脚径(.8) 底径(14.8)	良	橙色	角閃石・雲母・砂粒	外面：ナデ 内面：受部横ヘラケズリ→指頭調整、脚部横ヘラケズリ、脚部根元ナデ	
9	1 層中	製塩土器	破片	口径(11.0) 器高(.4.9)	不良	黄灰白色	粗 石英・砂粒	内外面：指頭調整・布目跡	内外面強付着
10	1 層中	製塩土器	破片	口径(.9.6) 器高(.4.9)	不良	橙色	粗 雲母・石英・砂粒	内外面：指頭調整・布目跡	内外面強付着
11	1 層中	製塩土器	破片	口径(.9.4) 器高(.4.1)	不良	橙色	粗 雲母・白色粒・砂粒	内外面：指頭調整・布目跡	
12	1 層中	土師器 鉢	把手部	器高(.4.9) 幅径(34.8)	やや良	灰褐色	密 石英・砂粒	外面：把手部ヘラケズリ→指頭調整 内面：体部横ヘラケズリ	
13	1 層中	須辺勝 鉢底部	口縁～胴部破片	口径(11.8) 器高(.4.3)	良好	青灰色	密 石英・砂粒	外面：回転ナデ、胴部簡状工具による直線文 内面：回転ナデ	
14	1 層中	須辺勝 鉢底部	破片	口径(.9.2) 器高(.2.6)	良好	青灰色	密 石英・砂粒	内外面：回転ナデ	
15	1 層中	須辺勝 鉢付部	底部破片	器高(.4.3)	良好	青灰色	密 雲母・白色粒	外面：体部回転ナデ、体部下半～脚部ヘラケズリ、底部ヘラケズリ→ナデ、脚部貼付 内面：回転ナデ	
16	1 層中	須辺勝 鉢	底部破片	器高(.4.1) 底径(11.2)	良	青灰色	密 砂粒・白色粒	外面：体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：体部回転ナデ、底部ナデ	底部中央穿孔
17	1 層中	須辺勝 坏	1/4	口径(14.6) 器高：3.5 底径：8.8)	良好	青灰色	密 雲母・白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
18	1 層中	須恵器 蓋	3/4	口径(13.4 器高：2.5 底径：9.0)	良	青灰色	密 白色粒	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部ナデ	
19	1 層中	須恵器 甕底部	1/2	口径(16.2) 器高：3.5 底径(19.8)	良好	青灰色	密	外面：口縁部～体部回転ナデ、底部回転糸切り、貼付高台 内面：口縁部～体部回転ナデ、底部撫痕	内面底部墨付着
20	1 層中	平瓦	破片	厚さ：1.9)	良好	明灰白色	密 砂粒	内面：格子目状工具による叩き目 凹面：布目状圧痕	

第215表　2 区表採出土石器・石製品観察表（第444・445図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	種類	遺存状態	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	石材	備考
21	1 層中	石製品	部欠損	49	35	4	6.0	片岩	穿孔 2 箇（孔径2.5mm）
22	1 層中	石板	完形	40	22	15	11.9	千枚	
23	1 層中	石錘	完形	45	27	16	16.4	黒曜石	
24	1 層中	磨石	1/3	(97)	(41)	(39)	110.1	凝灰岩	
25	1 層中	敲石	1/2	(48)	(38)	20	89.5	花崗岩	

26	Ⅰ層中	砥石	破片	(49)	(47)	(27)	58.6	凝灰岩	仕上砥	

第216表　3 区表採出土土器観察表（第446図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	Ⅰ層中	上師器 底部糸切	体部 破片	口径(19.2) 器高(6.7)	良	明色	密 石英・雲母	外面：受部縦ナデ→縦ヘラミガキ、体部横ハケ 内側：受部横ヘラミガキ、接合部ナデ、脚部ヘラケズリ	内面詳細一部風化付着
2	Ⅰ層中	須恵器 転用土師	完形	長径：29 幅：27 厚さ：10	良好	青灰色	密	全体部転用	重量：10.6g
3	Ⅰ層中	須恵器 転用土師	完形	長径：22 幅：19 厚さ：10	良好	青灰色	密	全体部転用	重量：5.4g
4	Ⅱ層中	須恵器 転用土師	完形	長径：22 幅：21 厚さ：12	良好	灰色	密	全体部転用	重量：6.6g
5	Ⅱ層中	須恵器 転用土師	完形	長径：20 幅：18 厚さ：11	良好	暗赤灰色	密	全体部転用	重量：5.4g

第217表　3 区表採出土石器観察表（第446図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	遺存状態	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	石材	備考
6	Ⅰ層中	磨製石斧	完形	145	55	40	438.5	頁岩質	刃部角73度

第218表　5 区表採出土土器観察表（第447図）

遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	部位 残存率	法量 (cm)	焼成	色調	胎土	調整・文様	備考
1	Ⅰ層中	土師器 坏口縁	口縁～体部2/3	口径(11.0) 器高(3.8)	良	橙褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：口縁部ナデ→縦ヘラミガキ、体部横ハケ 内側：口縁部横ナデ、脚部下不指定調整、体部横ヘラケズリ	
2	Ⅰ層中	土師器 小皿丸底底	口縁～体部2/3	口径(9.1) 器高(1.0)	やや良	黄灰白色	密 雲母・石英・白色粒・赤粒	外面：口縁部横ナデ、脚部以下指・縦ハケ 内面：口縁部横ナデ、体部横ヘラケズリ	外面体部下半煤付着
3	Ⅰ層中	土師器 鉢胴部	胴部破片	器高(4.9) 胴径(29.7)	良	明色	密 石英・雲母	外面：体部ヘラミガキ→胴状工具による直線文・貝殻腹縁による列点文2条、体部下半ハケメ→ヘラミガキ 内面：横ヘラケズリ→縦ヘラミガキ	外面煤付着
4	Ⅰ層中	土師器 鉢胴部	胴部破片	器高(2.8)	良	明色	密 白色粒	外面：底部縦ヘラミガキ→ヘラ状工具による刺状文 内側：横ヘラケズリ	外面煤付着 黒斑
5	Ⅰ層中	土師器 鉢胴部	体部破片	器高(1.4)	良	灰褐色	密 雲母・白色粒	外面：細密三角突帯、ナデ→瓦形文 内面：ナデ	内外煤赤彩
6	Ⅰ層中	土師器 壺胴部	体部破片	器高(3.8)	良	灰茶色	密 石英・白色粒	外面：ヘラ状工具による山形文？・ヘラ状工具による直線文3条・竹管による同心円文2条・ヘラ状工具による直線文・ヘラ状工具による山形文？ 内面：ハケメ？	
7	Ⅰ層中	土師器 壺胴部	胴部破片	器高(3.9)	良	灰褐色	密 雲母・白色粒	外面：ナデ→ヘラ状工具による刺状文・指圧上 内面：ヘラケズリ	
8	Ⅰ層中	土師器 甕	胴部破片	器高(2.4)	良	橙色	密 雲母・石英・砂粒	外面：ハケメ→未定義 内面：ヘラケズリ	
9	Ⅰ層中	土師器 低脚坏	2/3	口径(11.7) 脚径：57 底径：60	良	橙褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：坏部横位調整→縦ハケメ、脚部縦ハケメ 内面：坏部横ヘラミガキ、脚部ナデ、脚端部指頭痕→ナデ	
10	Ⅰ層中	土師器 低脚坏	5/6	口径(14.2) 脚径(8.0)	良	橙色	密 雲母・砂粒	外面：坏部縦ハケメ、脚部横ナデ 内面：坏部ハケメ→横・横ヘラミガキ、脚部横ナデ	
11	Ⅰ層中	土師器 低脚坏	2/3	口径(19.1) 脚径：57 底径：52	良	黄灰白色	密 雲母・石英・白色粒	外面：坏部縦ハケメ→横ヘラミガキ、脚部横ナデ 内面：坏部縦ハケメ→横ヘラミガキ、脚部横ナデ	内面坏底部煤2箇以上 内外黒斑付着
12	Ⅰ層中	土師器 鉢形器台	破片	口径(21.7) 脚高(15.4)	良好	橙色	密 雲母・石英・白色粒	外面：受部・脚部横位工具による点刻文→縦・横ヘラミガキ、接合部横ヘラミガキ→横状下具による洗練区画の上段刻目による列点文2条 内面：受部→接合部縦・横ヘラミガキ、接合部→脚部縦・横ヘラケズリ	内外黒赤彩 黒斑
13	Ⅰ層中	土師器 鉢形器台	1/4	口径(20.6) 器高(10.4)	良	明色	密 雲母・砂粒	外面：受部・脚部横ヘラミガキ→竹管による同心円文1条、接合部ナデ 内面：受部→接合部横ヘラミガキ、接合部以下縦ヘラケズリ	内外黒炭付着
14	Ⅰ層中	土師器 小型壺台	脚部	器高(7.6) 底径：11.9	良	灰褐色	密 雲母・石英・白色粒	外面：縦・横ヘラミガキ 内面：横ヘラミガキ	
15	Ⅰ層中	須恵器 鉢底部	破片	口径(9.2) 器高(3.0)	良好	黒灰白	密 砂粒	内外面：横ナデ	内面口縁部一部炭付着 白色無機質

第219表　5 区表採出土石器・石製品観察表（第447図）

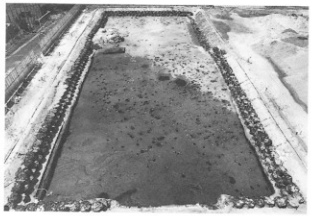
遺物No.	遺構・地区出土層位	器種	遺存状態	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	石材	備考
16	Ⅰ層中	管玉	完形	14	4	4	0.2	緑色凝灰岩	孔径2mm
17	Ⅰ層中	管玉未製品	—	(13)	(7)	(4)	0.3	緑色凝灰岩	孔径3mm
18	Ⅰ層中	砥石	1/2	65	39	20	27.4	凝灰岩	

写　真　図　版

調査前状況

1 区　最終面全景

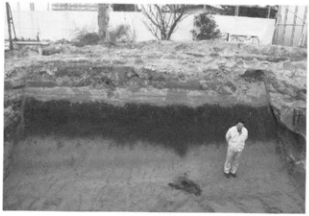
2 区　最終面全景



3 区　最終面全景

4 区　最終面全景

5 区　最終面全景

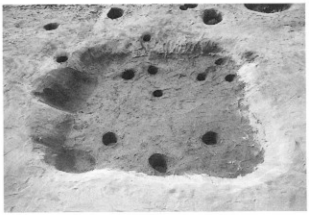


堆積状況

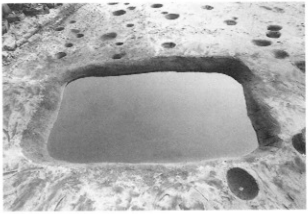
調査終了後状況

図版 2

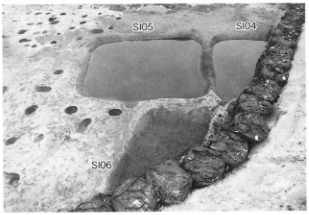
1 区　SI01



1 区　SI02



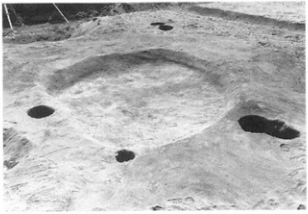
1 区　SI03



1 区　SI04・05・06

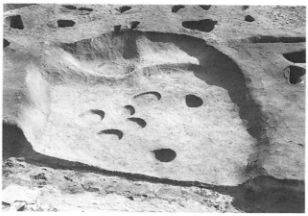
1 区　SI06遺物出土状況

2 区　遺構検出状況

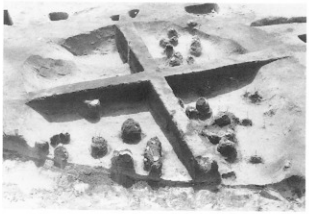


2 区　SI02（西から）

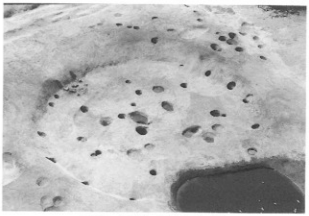
2 区　SI02（南から）



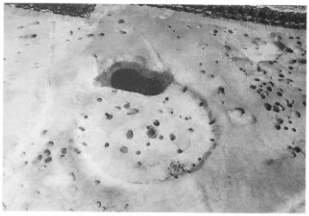
2 区　SI03



2 区　SI03遺物出土状況



2 区　SI04（南東から）



2 区　SI04（南西から）

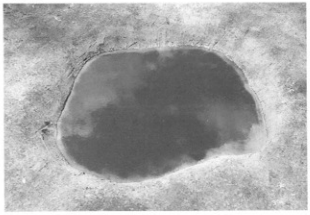
2 区　SI04ベッド状遺構

2 区　SI04遺物出土状況

2 区　SI04遺物出土状況

作業風景

図版 4



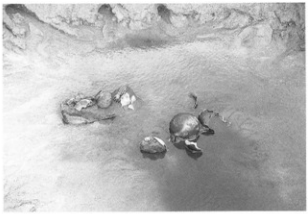
3 区　SI01

4 区　SI01・05

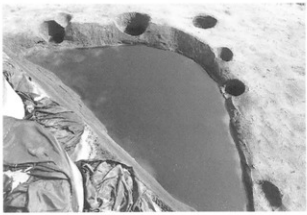
4 区　SI02

4 区　SI02遺物出土状況

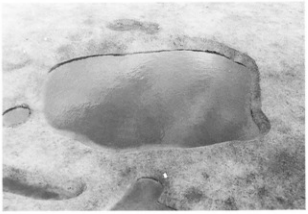
4 区　SI03



4 区　SI03遺物出土状況

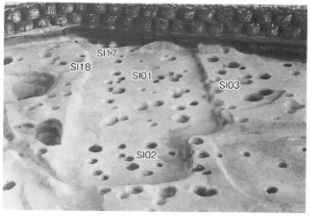


4 区　SI04

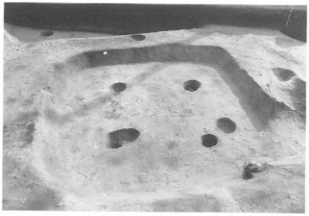


4 区　SI06

5 区　SI01



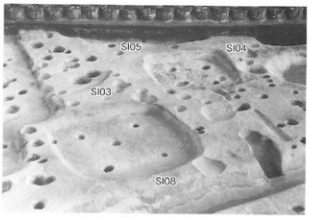
5 区　SI01・02・03・17・18（西から）



5 区　SI04

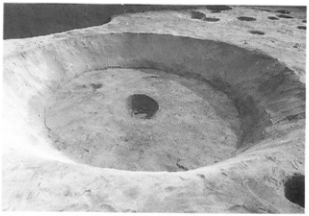
5 区　SI04　Pit内遺物出土状況

5 区　SI05



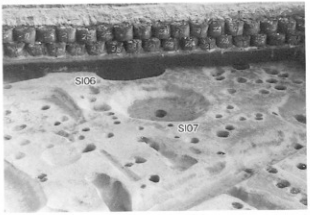
5 区　SI03・04・05・08

5 区　SI07　中央ピット土堤



5 区　SI07

図版 6

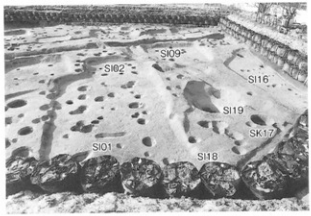


5 区　SI06・07

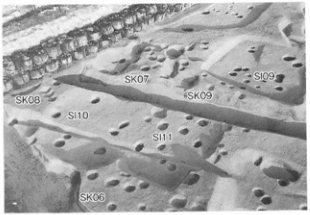
5 区　SI09

5 区　SI10・11（北東から）

5 区　SI10・11（南西から）



5 区　SI01・02・09・16・19・18　SK17

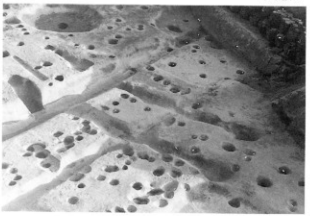


5 区　SI09・10・11　SK06・07・08・09

5 区　SI12

5 区　SI14

5 区　最終状況（南東から）



5 区　SB01

1 区　SD02完掘状況（1 区）

1 区　SD02遺物出土状況（1 区）

1 区　SD02遺物出土状況

1 区　SD02遺物出土状況（4 区）

1 区　SD02遺物出土状況

図版 8

1 区　SK05遺物出土状況

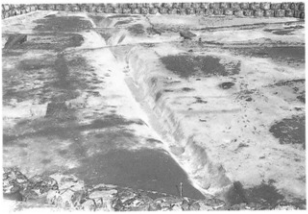
1 区　SK05完掘状況

5 区　SK06

5 区　SK07

5 区　SK12

3 区　柱穴群



5 区　SD11

5 区　SD11断面

2 区　SD05（北東から）

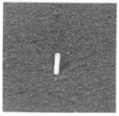
2 区　SD05（南側から）

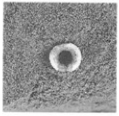
2 区　SD06

2 区　SD11・12

3 区　SD04

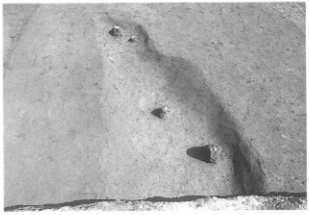
3 区　SD04



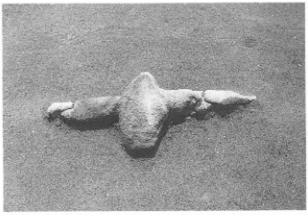


遺物出土状況

図版10



4区　SD05



遺物出土状況

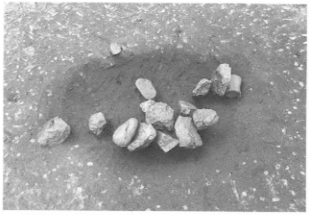
遺物出土状況

4区　SD07

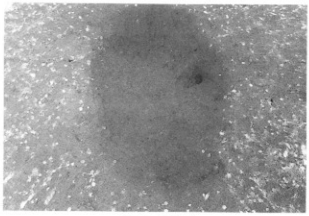
4区　SD11

5区　溝全景（西から）

5区　溝全景（南西から）



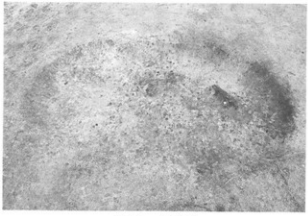
2区　SX01



2区　SX01

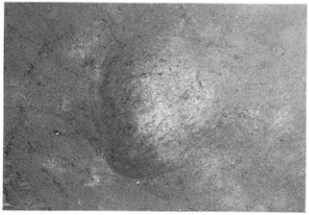
3区　鍛冶関連遺物廃棄土坑

3区　鍛冶関連遺物廃棄土坑



3区　土壙墓

3区　土壙墓内遺物出土状況

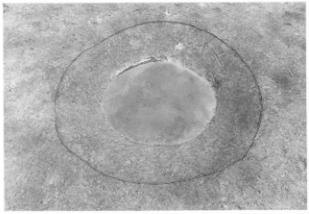


3区　SK10

作業風景

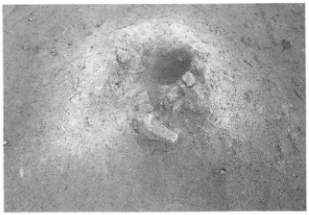
図版12

3区　SK08

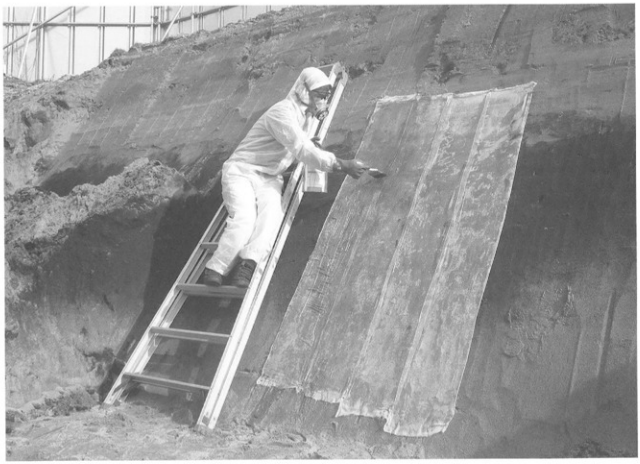


3区　SK09

2区　SK09



5区　竈跡



土層剥取り状況

3区　畝全景

1区　畝全景

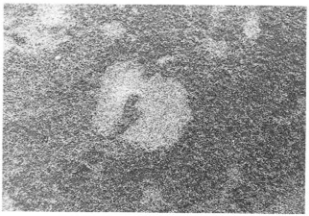
2区　畝全景

4区　畝全景

5区　畝全景

図版14

中世畠跡全景（合成写真）



足跡

3区　SD02

1区　畝中遺物出土状況

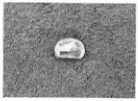
4区　竪穴状畝

1区　畝中遺物出土状況

4区　水溜状遺構

5区　畦10

遺物出土状況



図版16

2区　硬化面

2区　硬化面断面

5区　硬化面（西側から）

5区　硬化面（東側から）

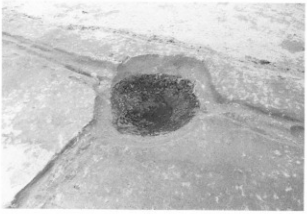
1区　SK01

1区　SK03

2区　SK01木枠

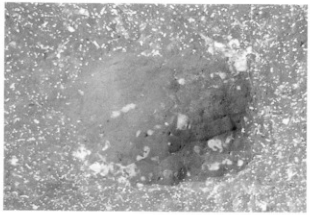
2区　SK01

2区　SK02



2区　SK04

2区　SK05



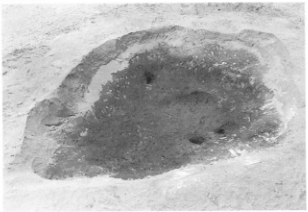
2区　SK06

2区　SK07

2区　SK08

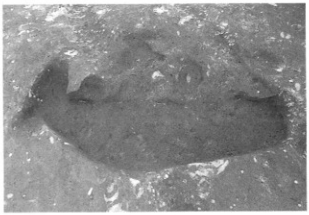
3区　SK01

図版18



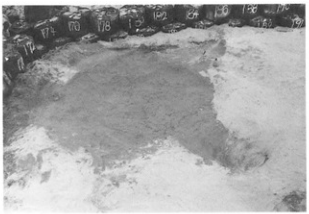
3区　SK02

3区　SK02内木枠



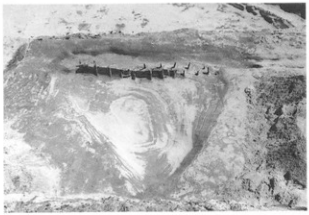
3区　SK03

4区　SK01

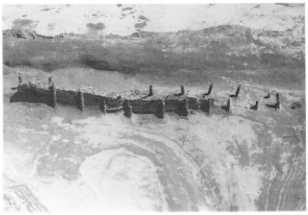


4区　SK02

4区　SK05



4区　SK03

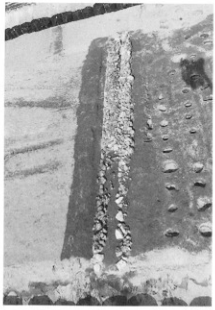


4区　SK03　柵列

4区　SK08

4区　SK09

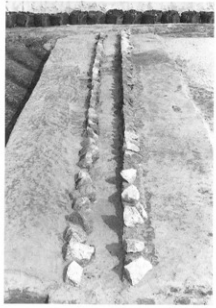
5区　SK01



1区　石列

5区　SK02

5区　SK03



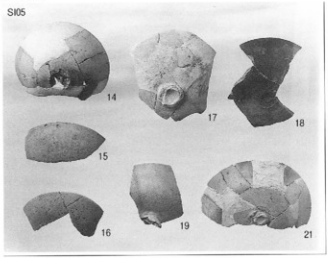
1区　石列

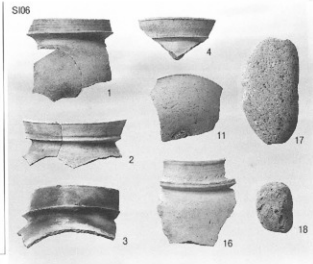
図版20

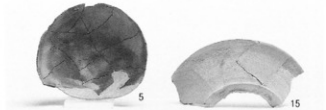
作業風景

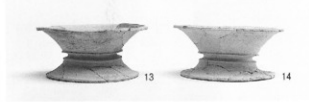
1区　遺構出土遺物

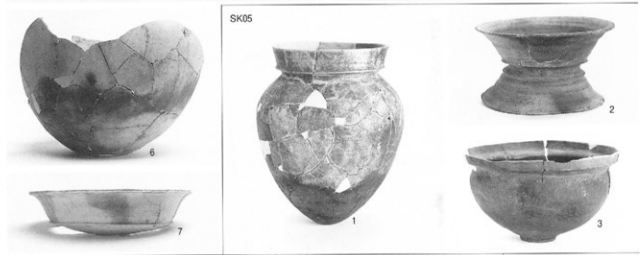
図版22

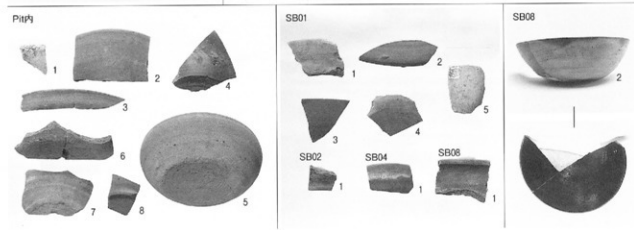










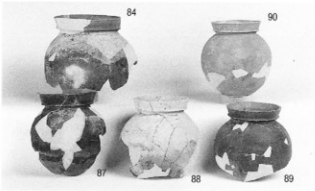


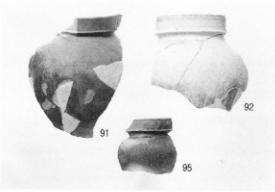
1区　遺構出土遺物

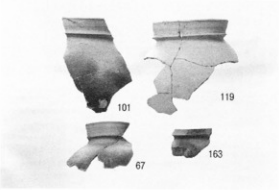
1区　SD02出土遺物

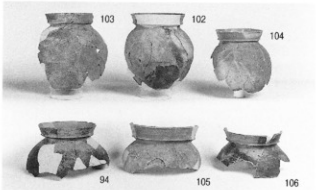
図版24

1区　SD02出土遺物

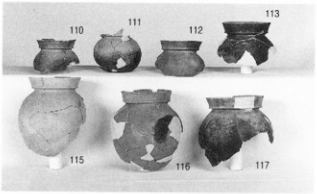

84
90
87
88
89


91
92
95

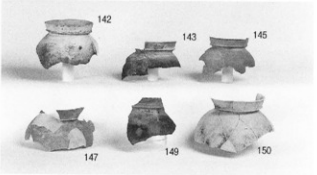

101
119
67
163

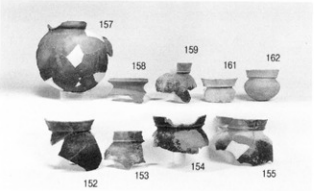

103
102
104
94
105
106

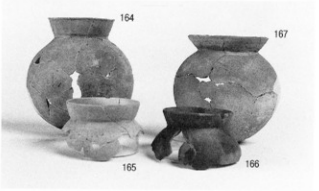
120
121
122
123
126
129


110
111
112
113
115
116
117

133
134
139
135
136
141

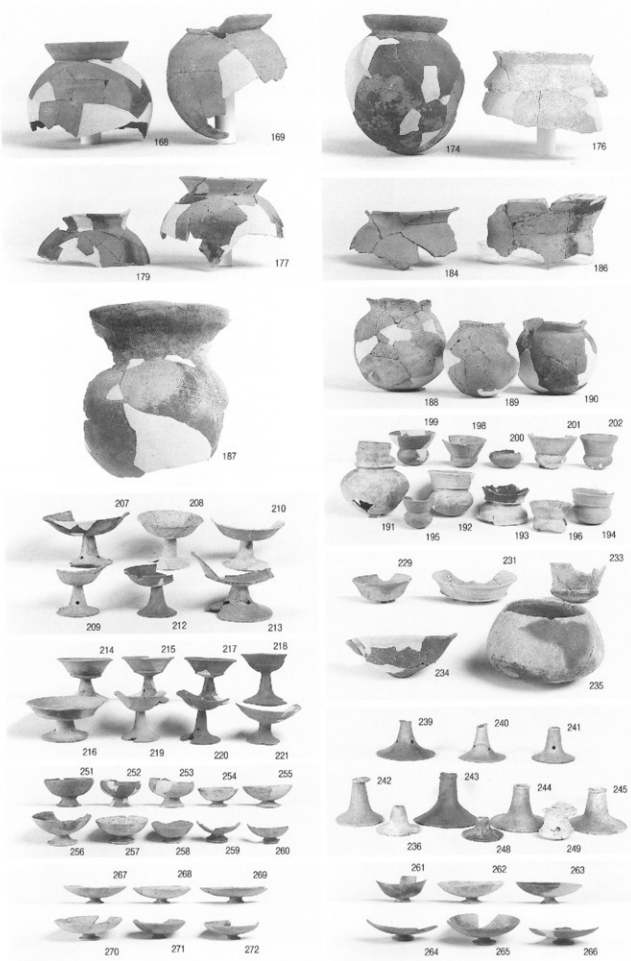

142
143
145
147
149
150


157
158
159
161
162
152
153
154
155


164
167
165
166

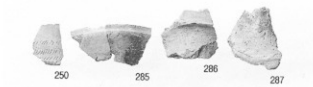
1区　SD02出土遺物

図版26



1区　SD02出土遺物

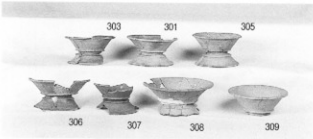
273
274
276
277
278
281
280
279
282


250
285
286
287

290
291
292
293
294
295

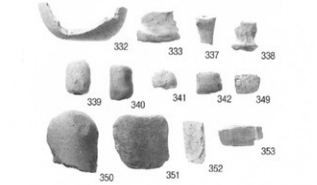
288
289

297
298
299
300
301
302


303
301
305
306
307
308
309

310
311
312
320
313
315
316
321

327
329
330
331
323
324
325
326


332
333
337
338
339
340
341
342
349
350
351
352
353

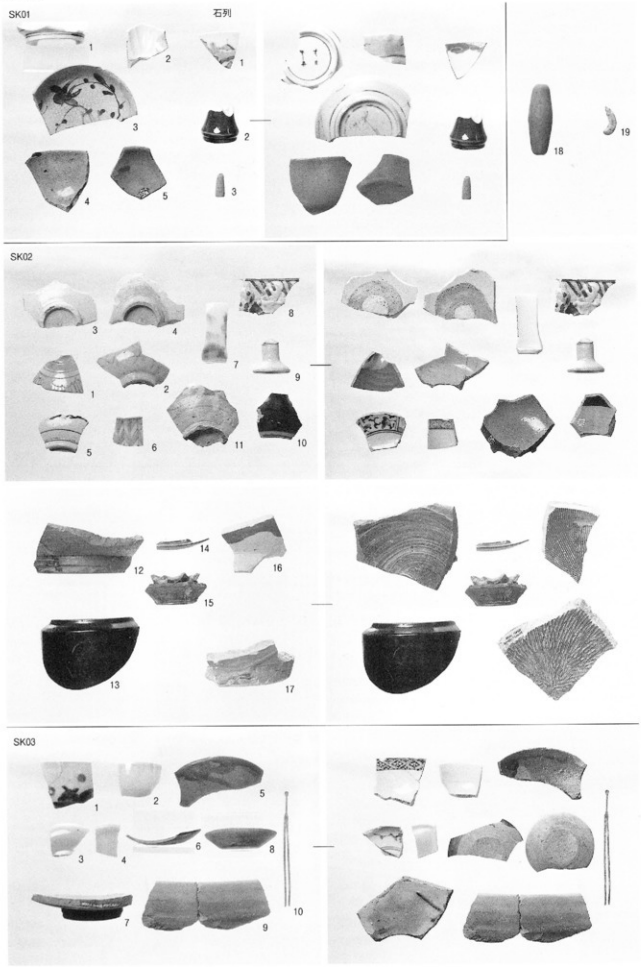
359
360
362
361
363
364

354
355
356
357
358
334
336

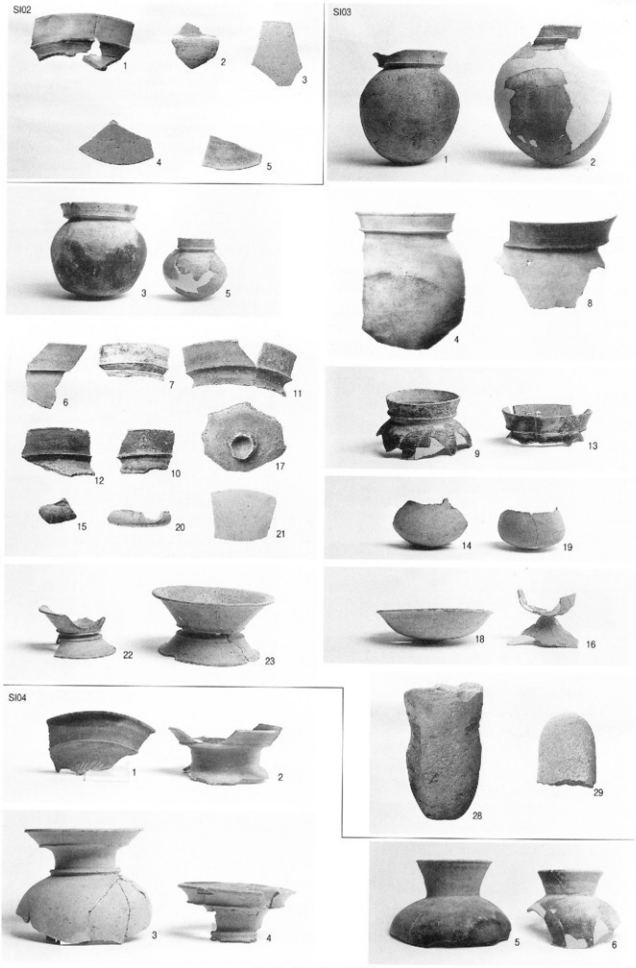
335

1区　SD02出土遺物

図版28

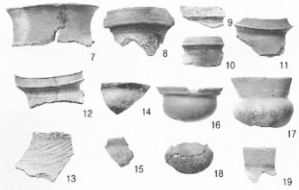


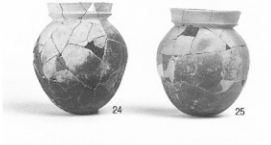
1区　遺構出土遺物

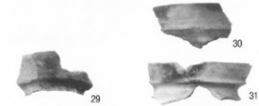

SI02
1
2
3
4
5
SI03
1
2
3
5
4
8
6
7
11
12
10
17
15
20
21
9
13
14
19
22
23
18
16
SI04
1
2
28
29
3
4
5
6

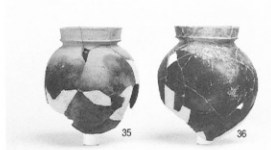
2区　遺構出土遺物

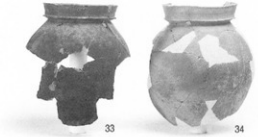
図版30

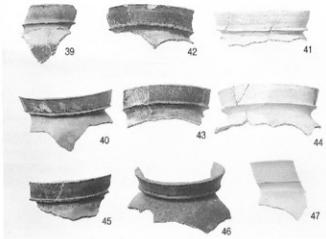




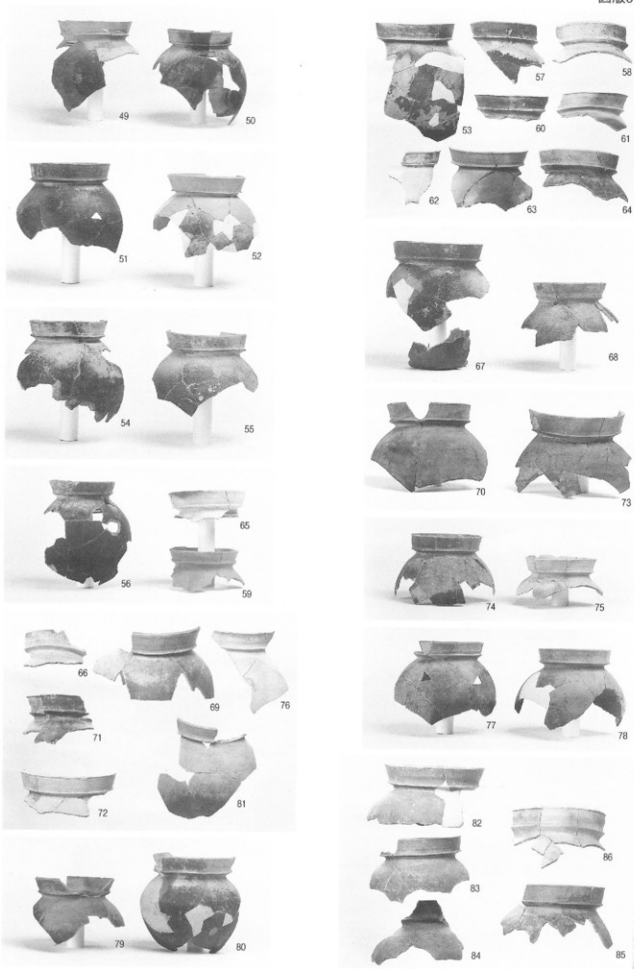








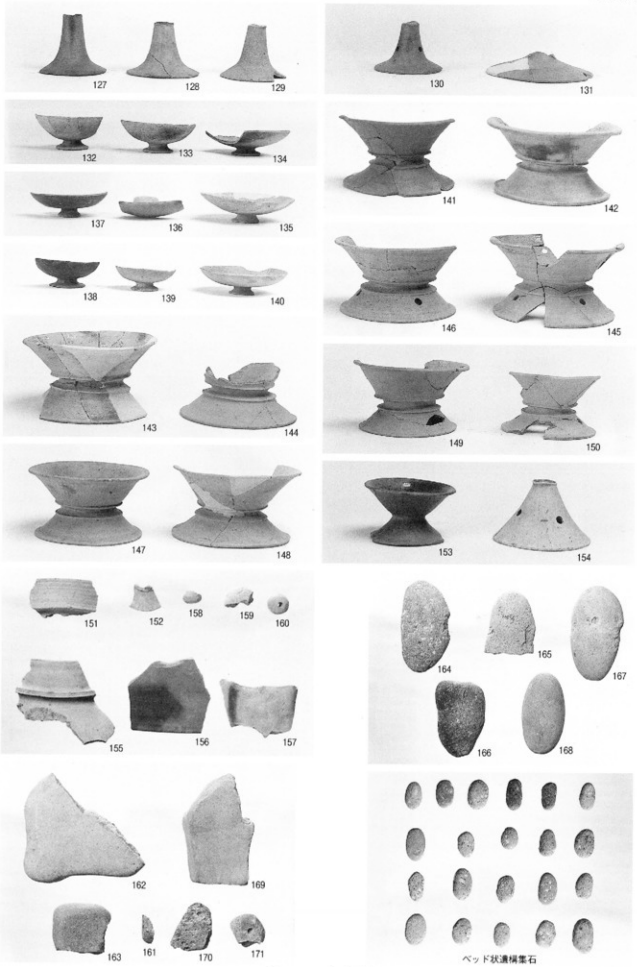
2区　SI04出土遺物


49
50
51
52
54
55
56
65
59
66
69
76
71
72
81
79
80
53
57
58
60
61
62
63
64
67
68
70
73
74
75
77
78
82
86
83
84
85

2区　SI04出土遺物

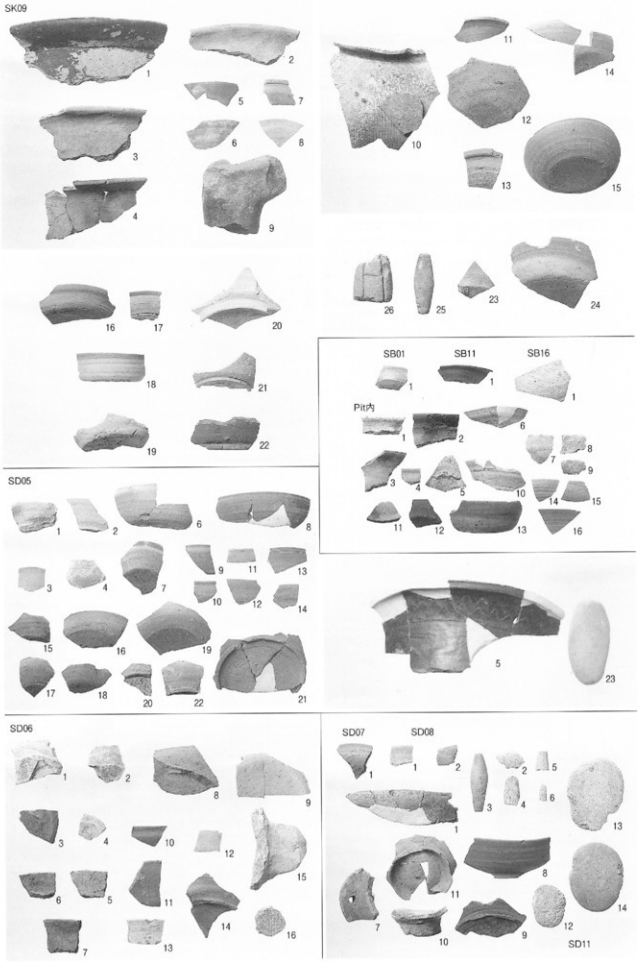
図版32

2区　SI04出土遺物

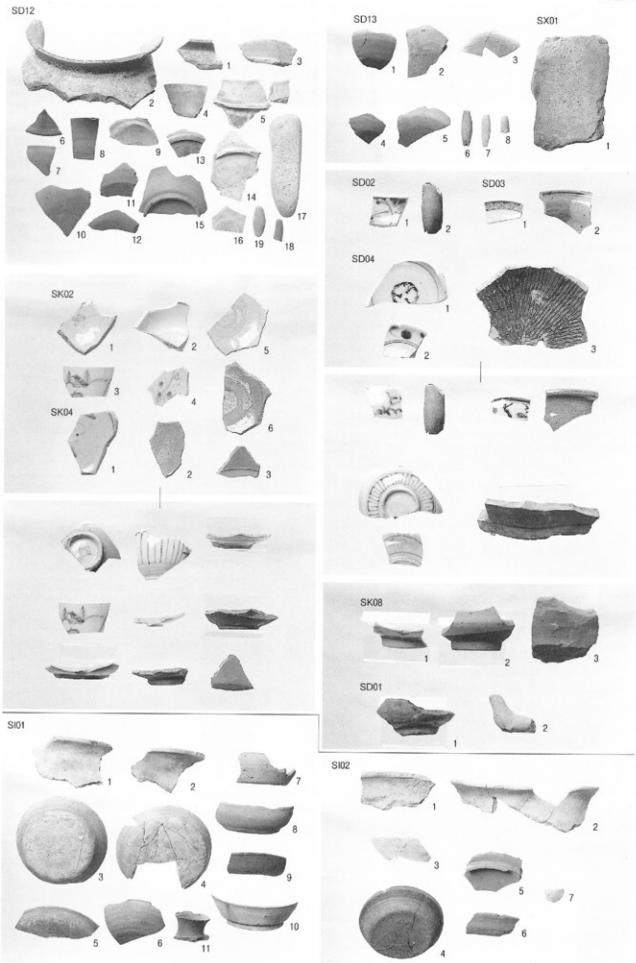

127
128
129
130
131
132
133
134
137
136
135
141
142
138
139
140
146
145
143
144
149
150
147
148
153
154
151
152
158
159
160
164
165
167
155
156
157
166
168
162
169
163
161
170
171
ベッド状遺構集石

2区　SI04出土遺物

図版34



2区　遺構出土遺物

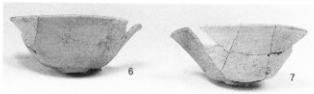


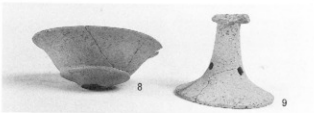
2・3区　遺構出土遺物

図版36

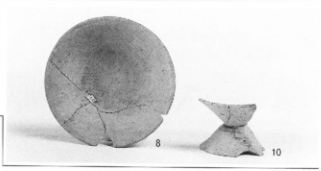
3区　遺構出土遺物

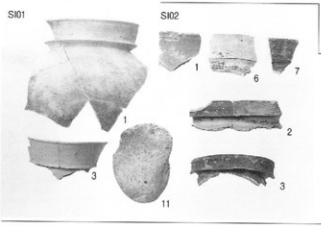
SI01
2

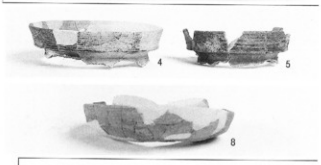

6
7

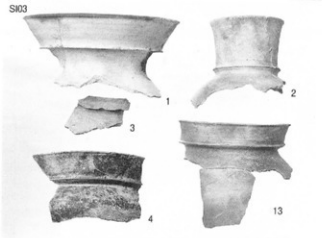

8
9

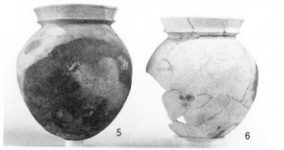
4
5


8
10

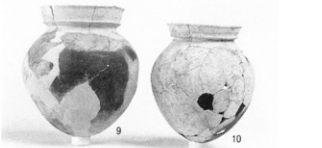

SI01
SI02
1
1
6
7
2
3
3
11


4
5
8


SI03
1
2
3
4
13


5
6

7
8

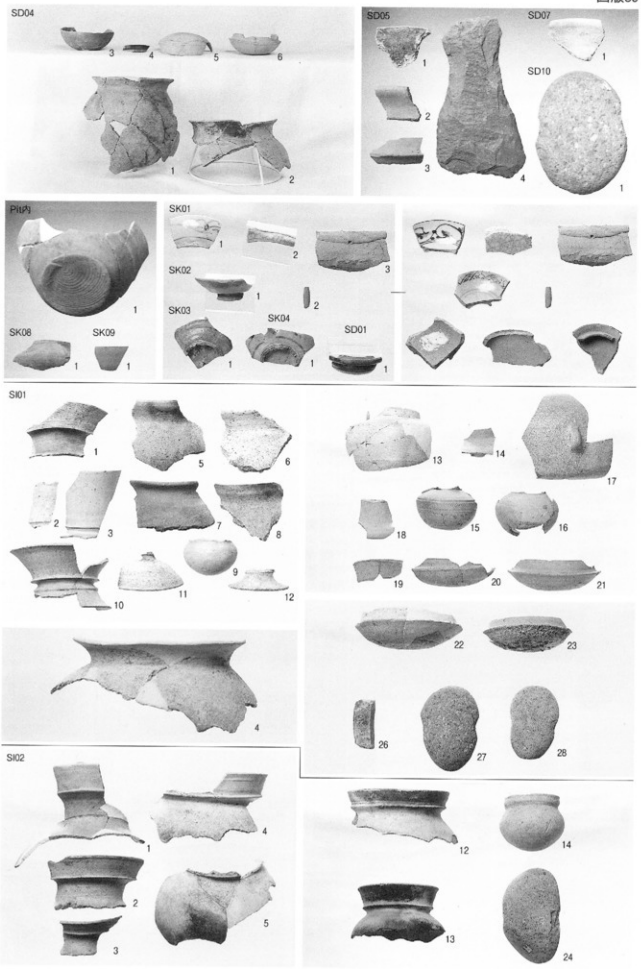

9
10

11
12

4区　遺構出土遺物

図版38

4区　遺構出土遺物


SD04
SD05
SD07
SD10
Pit内
SK01
SK02
SK03
SK04
SD01
SK08
SK09
SI01
SI02

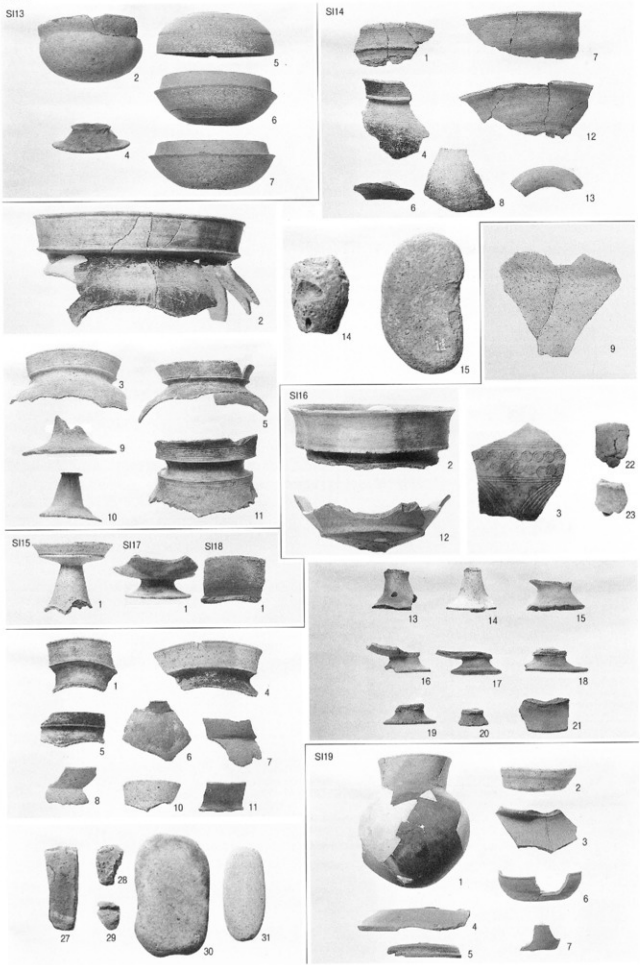
4・5区　遺構出土遺物

図版40

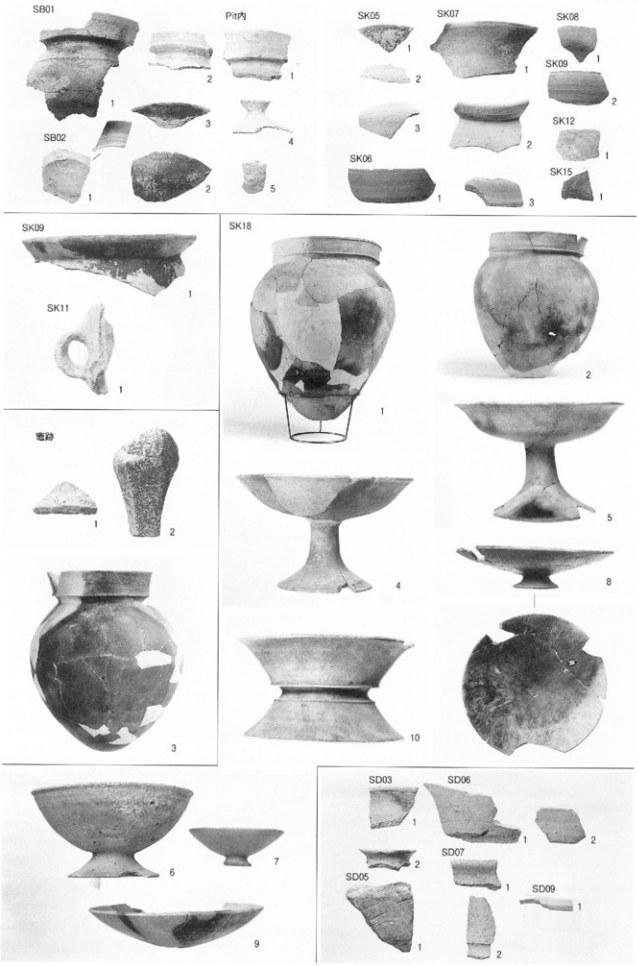
5区　遺構出土遺物

5区　遺構出土遺物

図版42



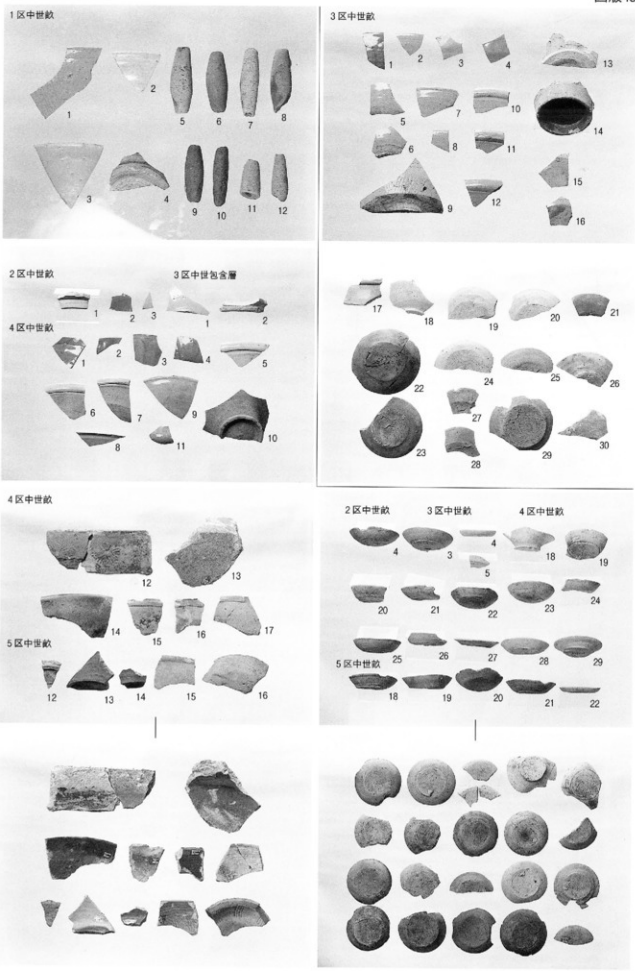
5区　遺構出土遺物


SB01
Pit内
SK05
SK07
SK08
SK09
SK12
SK15
SB02
SK06
SK09
SK11
SK18
壺跡
SD03
SD06
SD07
SD05
SD09

5区　遺構出土遺物

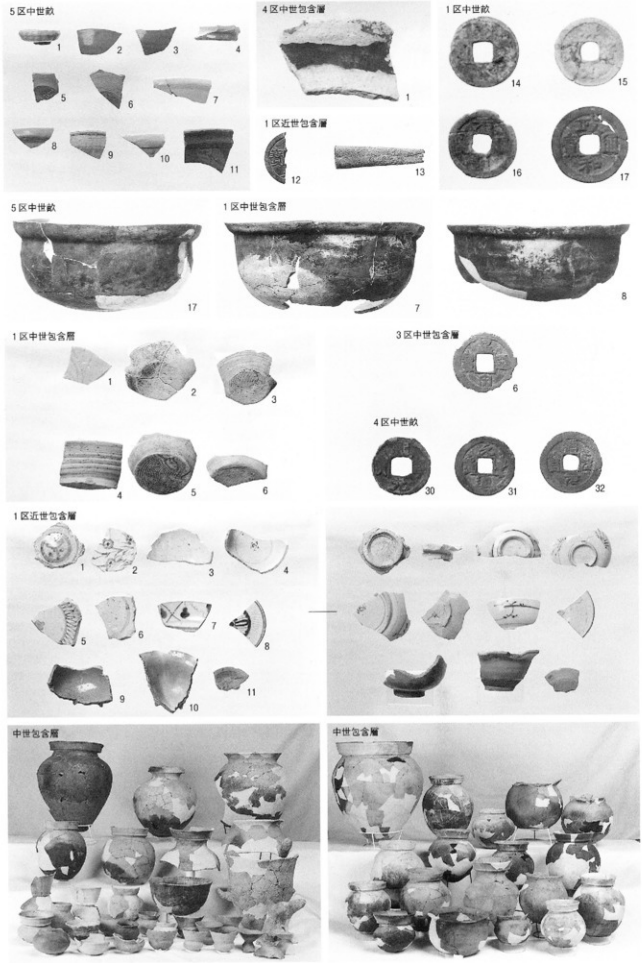
図版44

5区　遺構出土遺物

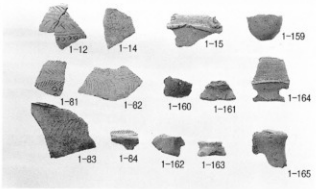


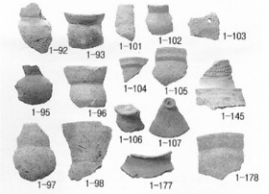
中世欵・中世包含層出土遺物

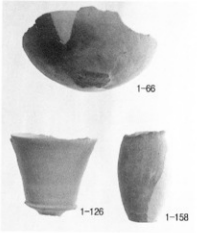
図版46

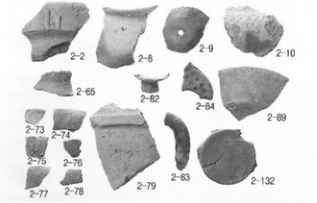


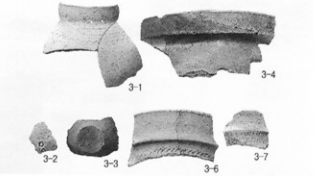
中世畝・中近世包含層・包含層出土遺物

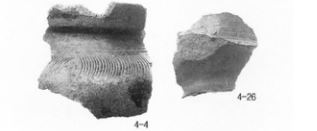




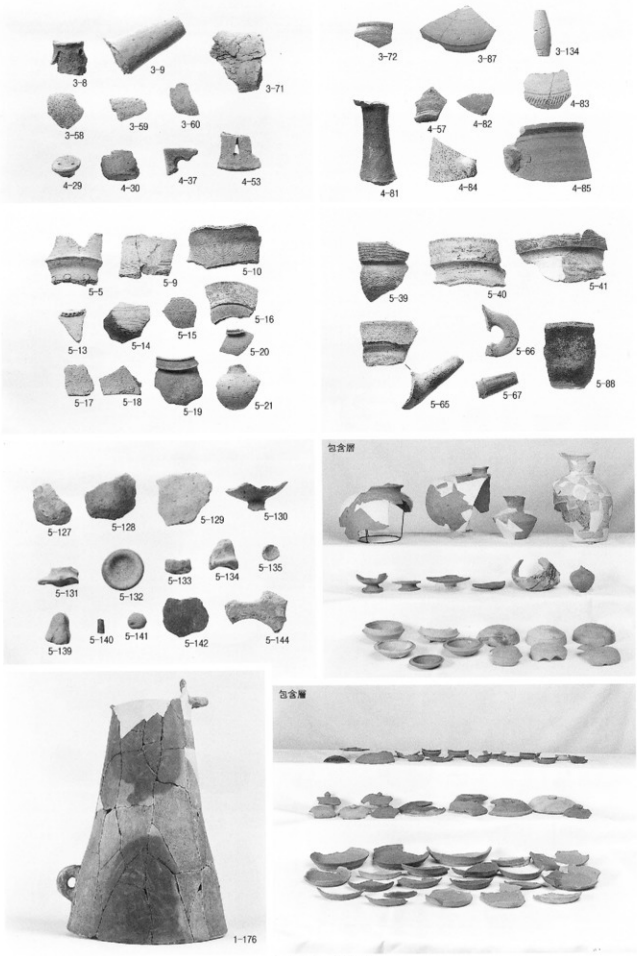








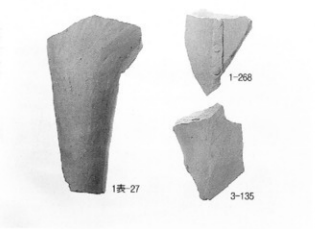
中世包含層・包含層出土遺物（※先頭の数字は区、「表」は表採遺物）

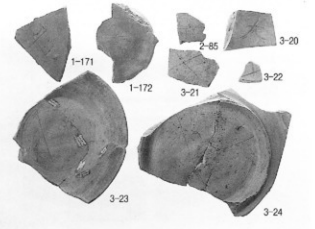

3-8
3-9
3-71
3-58
3-59
3-60
4-29
4-30
4-37
4-53
3-72
3-87
3-134
4-83
4-57
4-82
4-81
4-84
4-85
5-5
5-9
5-10
5-13
5-14
5-15
5-16
5-20
5-17
5-18
5-19
5-21
5-39
5-40
5-41
5-66
5-88
5-65
5-67
5-127
5-128
5-129
5-130
5-131
5-132
5-133
5-134
5-135
5-139
5-140
5-141
5-142
5-144
包含層
1-176
包含層

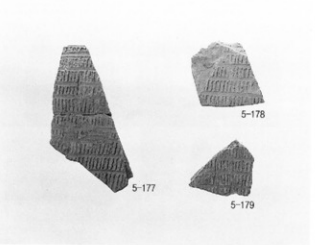
包含層出土遺物

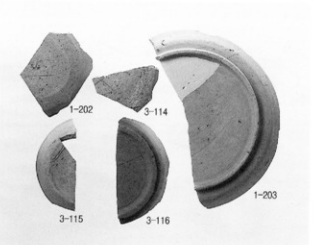
包含層

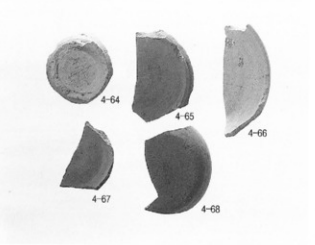
包含層

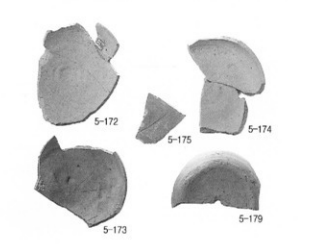

1表-27
1-268
3-135


1-171
1-172
2-85
3-20
3-21
3-22
3-23
3-24


5-177
5-178
5-179

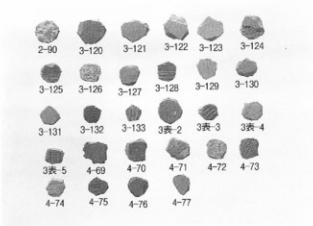

1-202
3-114
3-115
3-116
1-203

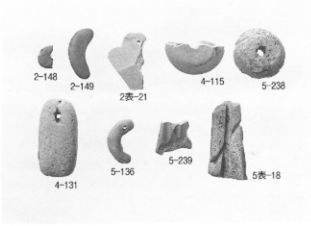

4-64
4-65
4-66
4-67
4-68

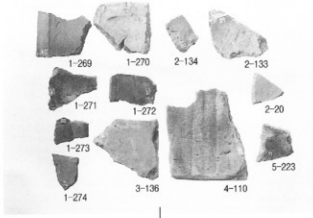

5-172
5-175
5-174
5-173
5-179

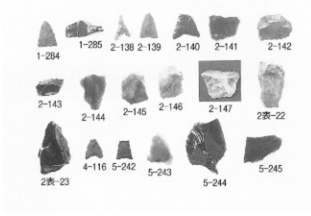
包含層出土遺物

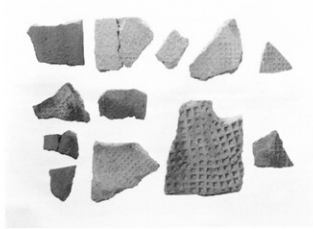
図版50

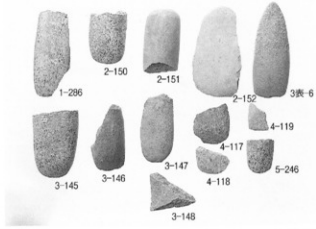


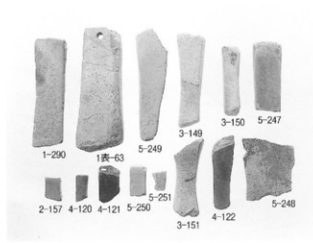






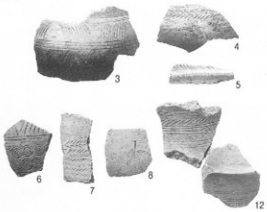




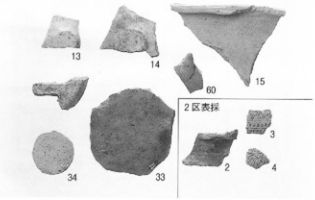


包含層・表採遺物

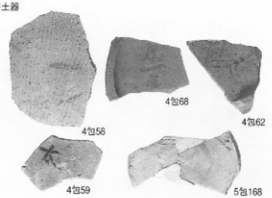
5区表採

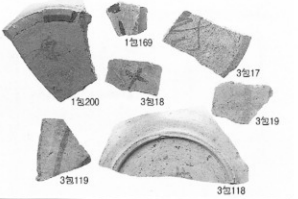


1区表採

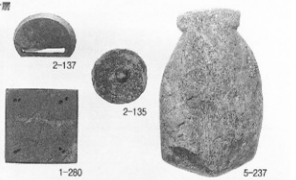


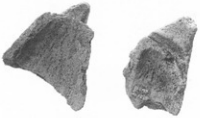
墓壙土器

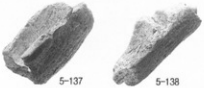


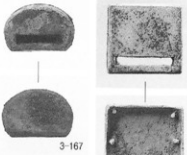


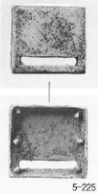
包含層



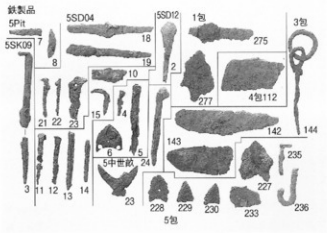


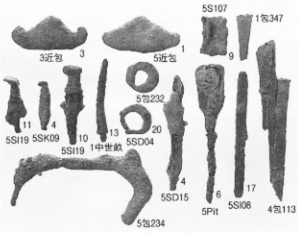


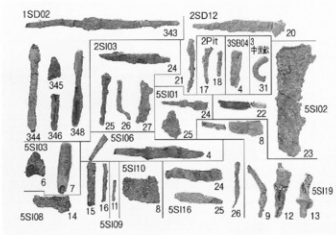


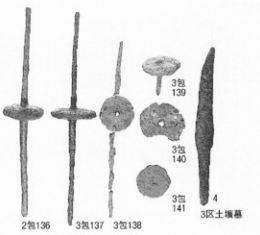


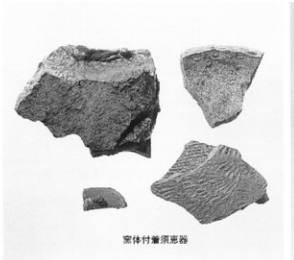
図版52


鉄製品
5Pit
5SK09
5SD04
5SD12
1包
3包
275
277
4包112
142
144
143
5中世敷
235
227
228
229
230
233
236
5包

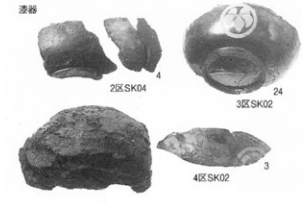

5SI07
1包347
3近包
5近包
5包232
5SI19
5SK09
5SI19
1中世敷
5SD04
5SD15
5包234
5Pit
5SI08
4包113

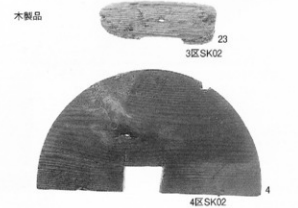

1SD02
2SD12
2SI03
2Pit
3SB04
中世敷
5SI01
5SI02
5SI06
5SI03
5SI10
5SI16
5SI19
5SI08
5SI09


3包
139
3包
140
3包
141
2包136
3包137
3包138
3区土壙墓


窯体付鬲須恵器

土錘


漆器
2区SK04
3区SK02
4区SK02


木製品
3区SK02
4区SK02

㈶米子市教育文化事業団文化財発掘調査報告書64

博労町遺跡

２０１１年３月

編集・発行　財団法人　米子市教育文化事業団

〒683-0011　鳥取県米子市福市281番地

ＴＥＬ　０８５９－２６－０４５５

印　　刷　勝美印刷株式会社